

令和八年三月

上杉文書調査報告書

― 第二分冊

文書編二―

米沢市教育委員会

第二分冊(文書編二)

第一項目	第二項目	第三項目	第四項目	ページ
藩政(578)	御日帳(19)	御日帳(8)		47
	奉行(101)	日帳類(29)		48
		目録(3)		48
		米藩日記(8)		47
		狀留(29)		50
		觸狀留(6)		52
		寛政改革(12)		52
		千坂家宛書狀(9)		53
		書狀類(16)		53
	江戸家老(62)	千坂高治宛書狀(59)		54
		日記類(3)		58
	城代・侍頭・役屋將(9)			58
	中之間(18)			59
	御右筆所(13)			60
	御記録方(77)	日記類(31)		61
		意見書・答書類(36)		63
		手控(10)		65
	絵図方(3)			65

第一項目	第二項目	第三項目	第四項目	ページ
藩政	郷村関係(62)	手引(7)		66
	御預所(71)	御預所廃止(61)		70
		幕藩関係(10)		75
	町奉行(17)			76
	勘定関係(22)			76
	寺社・宗門関係(15)	寺社(7)		78
		宗門改(8)		78
	藩校(4)			79
	意見書(16)			79
	孝子褒賞(54)	孝子伝(42)		80
		幕府へ書上(7)		82
		申渡書(5)		83
	森平右衛門一件(15)			83

第二分冊(文書編二)

第一項目	第二項目	第三項目	第四項目	ページ
法制(527)	幕法(62)	將軍家令條(39)		85
		憲法部類(9)		87
		觸達留(14)		87
	藩法(174)	御代々御式目(144)		88
		大令策(6)		95
		条目(9)		96
		觸狀・觸留(15)		96
	判例集(90)	御呵附引合(10)		97
		御呵附引合(10)		97
		御裁許鈔(7)		101
		御裁許鈔(7)		101
		博奕鈔等(7)		101
	裁許(39)	御濟口留(23)		102
		御裁許留(13)		103
		裁許書(3)		104
		先例集(5)		104
	御呵御免(162)	御免伺(94)	御記録方(74)	105
		御免掛(48)	御役所(20)	109
		御免掛(48)	御免掛事例(14)	110
		御免掛(48)	書上(34)	111
		御免申渡(15)		113

第二分冊 (文書編二)

第一項目	第二項目	第三項目	第四項目	ページ
幕末維新时期 (1479)	文久・元治年間 (223)	文久上洛 (64)	御上洛量帳 (45)	115
		日記類 (11)	日記類 (11)	117
		慶応元年～三年 (36)	曦山上洛記 (8)	118
		茂憲公御名代		
		御上洛記 (13)		129
		書状類 (7)		128
		手控 (17)		127
		貼込帳 (115)		120
		屋代郷 (20)		118
		明治元年 (902)		
		一月～四月 (37)		131
		閏四月～八月 (192)		133
		九月～二月 (160)		145
		貼継・貼込 (367)		155
		戊辰文書 (23)		157
		残存戊辰文書 (7)		162
		残存戊辰文書統集		165
		外題無し (102)		172

第一項目	第二項目	第三項目	第四項目	ページ
幕末維新时期	明治元年	日記・手控 (17)		179
		戊辰戦争時軍制 (33)		180
		編纂物 (96)	御日帳 (8)	181
			東京御帳 (11)	182
			機事叢録 (24)	182
			戊辰軍記 (19)	184
			御維新以降原稿 (7)	185
			戊辰事情等 (9)	185
			上杉史料 (12)	186
			戊辰史料 (6)	187
	明治二年～四年 (291)	明治二年 (224)		187
		明治三年 (50)		202
		明治四年 (17)		205
		米沢県・置賜県 (2)		206
		上杉伯爵家 (19)		206
		米沢義社 (6)		207
	廃藩置県以降 (27)			

文書編目録 凡例

全体について

- ・原則として当用漢字を用い、虫損や破損などによって判読困難な文字は■で示し、その他の解読不能な文字は□で示した。

編成と配列の順序について

- ・従来の分類を尊重しつつ、新たに項目を立て、史料一点ごとに編成し直した。基本的な考え方については、24ページの解題を参照。
- ・同一項目内の配列については、史料番号順を基本とした。但し、編年や、史料の主題などを考慮し、一部調整した箇所がある。
- ・これらの編成と調整により、目録上の配列は史料番号順ではない。

目録の記載内容について

- ・各史料の目録の記載内容は、次の通りである。
- ①史料番号 ②史料名(内容) ③員数(紙数または丁数) ④年代または時代 ⑤法量 ⑥形態 装丁 表紙 料紙 ⑦作成者表記↓受給者表記 ⑧(文書の場合のみ)書き出し…書き止め ⑨(文書で記載がある場合のみ)端書・端裏書 ⑩ラベル記載 蔵書印 ⑪状態 ⑫一括関係 ⑬備考 ⑭マイクロフィルムのリール番号

なお、史料上に記載が確認できない項目は、目録内容に記載していない。

- ①史料番号は、従来用いていた番号を踏襲した。これにより、雄松堂発売のマイクロフィルム版の目録と、親番号(冒頭の四桁)は共通する。包紙や箱などの一括史料や、複数の原本を貼り継ぐ、または合綴した史料などで、枝番号が無い場合は、新たに付与した。
- ・史料が作成・機能した時点で物理的に独立していたものは基本的に一点として扱い、目録に採録した。

- ・合綴史料集(複数の縦帳を合綴し、後補表紙を付した史料)の表紙と、書状や証書類を貼り継いだものの冒頭の表紙(主に反故紙を転用)は、基本的に一点として採録した(一部の史料集で内身が一点の場合は表紙とあわせて一点とした)。合綴や貼り継ぎ、外題の付与といった、伝来過程における史料管理の痕跡を示すものと判断したためである。

- ②史料名について、文書の場合は、受給者宛 発給者十文書名とした。受給者と

発給者は最も一般的な名称を用い、その他は実名を基本とした。三名以上の場合は、他〇名と略記した。省略する場合は、原則として、受給者は先頭の一名、作成者は最奥の一名のみを記した。

- ・記録や典籍の史料名については、外題や内題などの原表題がある場合は「」で括弧をつけて採用し(刊本の場合は「」)、冒頭に作成者を付すことを原則とした(一部、作成者を省略したものがある)。原表題が無い場合は、作成者十機能名とした。

・以上の史料名の付与については、国宝「上杉家文書」に関して、米沢市上杉博物館で従来用いていた、館内データベースの入力規則に準じた。

- ③員数は、一紙もの場合は通・巻・枚、冊子の場合は冊、帖などを記した。
- ④史料の作成年代が判明する場合は、史料の記載に関わらず、和暦、月日の形式に改めて記載し、推定した場合は()で括弧をつけて表記した。年代が判明しない場合は、形態や料紙などから時代区分を推定して記載した。時代区分の年代幅は次の通り。

室町時代(一三九二～一五七三) 桃山時代(一五七三～一六〇二)

江戸前期(慶長八年・一六〇三～延宝八年・一六八〇)

江戸中期(天和元年・一六八一～安永九年・一七八〇)

江戸後期(天明元年・一七八一～慶応三年・一八六七)

近代(明治元年・一八六八～昭和二〇年・一九四五)

現代(昭和二十一年・一九四六以降)

- ・写本類については、筆写された年代を記し、原本の年代は内容欄に記した。

- ⑤法量は、縦×横の順に記し、単位はcmで統一した。

- ⑥形態については、状もの場合は縦紙・折紙・継紙・切継紙などを記した。

- ・冊子の場合は、形態(縦帳・横帳・横半帳・洋装本)に続いて、装丁(袋綴冊子装・紙綴綴冊子装・長帳綴など)と、原表紙・後補表紙の色と模様を記した。
- ・料紙は、楮紙・斐紙・三椏紙・機械漉紙などと区分し、基本的に目視で判定可能な範囲にとどめ、一部については顕微鏡を用いて判断した。

- ⑦作成者表記と受給者表記は、住所や肩書、脇付、敬称等を含め、史料記載のまま採録することを原則としたが、長い場合は適宜省略した。また、三名以上の場合は、史料名と同様の基準で省略して記載した。

- ・筆写史料については、原本の作成者ではなく、筆写者を採録した。

- ⑧書き出しと書き止めは、文書の場合のみ、数文字分を採録した。

- ⑨文書の内容や年代などを記した端書や端裏書、端裏の付箋がある場合は採録し

た。但し、長い場合は適宜省略した。

⑩ラベル記載は、ラベル記載の文字を転記した。「ア㊦」といった記載の場合は、ア○本と採録した。市立米沢図書館の蔵書印や、現代の整理を示すペン書きの付箋類は、採録を省略した。

⑪状態は、史料原本を取り扱う際に注意が必要なほど破損している場合などに限定して記した。裏打ちなどの補修がある場合、この欄に記した。

⑫容器、封紙や包紙、合綴、紐などによる一括関係を採録した。なお、編成にあたり、一括関係のあるものは同一項目に収めた。但し、現代の麻紐や紙繕などで一括された史料については、一点ごとに編成しなおした。

⑬備考には、柱題、前欠や後欠、附属物、推定事項などを記した。

⑭雄松堂から発行されたマイクロフィルムのリール番号を記した。マイクロフィルムに未収録の場合は、「無」と記載した。なお、目録とリール番号の照合は、時間的な制約により、一部にとどめた。現物とマイクロフィルムで、枝番号が異なる場合などがある。

欠番（原本所在不明）の史料等について

・No.0087、1278、1451は、マイクロフィルム版目録の作成時点で原本が確認できず、今回の調査においても確認できなかった。マイクロフィルムに未収録で、米沢市上杉博物館でも現在、所蔵が確認できないため、欠番とした。

・マイクロフィルム版では、No.1272の安田治部書状を、No.1262-02として二重に撮影している。このため、No.1262-02は欠番とした。

・No.1065、1189、1347、1533の台紙となっていた封紙と、1345の台紙のうち封紙分は欠番とした（第一分冊47ページ表を参照）。

原本および複製の閲覧について

・原本の閲覧等に際しては、米沢市上杉博物館の特別利用許可申請の手続きをとること（詳細については、事前に同館に問合せ）。

・複製については、本史料群の大部分が、雄松堂により撮影され、マイクロフィルムとして販売されており、国立国会図書館はじめ国内外の主要な図書館等で閲覧できる。

・市立米沢図書館の郷土資料担当では、本史料群の主要史料について、マイクロフィルムの紙焼きを配架し、公開している。

軍制—軍制先例—御兵具所口伝書

0867-01 竹俣綱寛「御兵具所口伝書 一」(猪苗代組等の武器書上、米沢城内保管武具を場所ごとに記載)／一冊(六四丁)／安永五年六月／三一・五×二一・三／
 縦帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／竹俣東三／林泉文庫／126

0867-02 竹俣綱寛「御兵具所口伝書 二」(寛永年間の会津勢遣、元和八年の最上騒動、大坂の陣等における陣立て)／一冊(九〇丁)／(安永五年六月)／三一・二×二一・三／
 縦帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／林泉文庫／126

0867-03 竹俣綱寛「御兵具所口伝書 三」(川中島合戦の軍列や会津騒動時の下知、軍役中の禁制事項他)／一冊(六三丁)／(安永五年六月)／三一・〇×二一・三／
 縦帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／林泉文庫／126

0867-04 竹俣綱寛「御兵具所口伝書 四」(軍役における武器・槍・鉄砲等の取扱や軍金の負担)／一冊(五六丁)／安永六年三月二〇日／三一・二×二一・四／
 縦帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／竹俣東三／林泉文庫／126

0867-05 竹俣綱寛「御兵具所口伝書 五」(防火備品、御軍金の使途につき役所との折衝、武器修理の実績)／一冊(二七丁)／安永六年三月二〇日／三一・二×二一・三／
 縦帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／竹俣東三／林泉文庫／墨付七丁／126

軍制—軍制先例—大坂の陣

0689 「大坂供奉 附金銀払帳」写(大坂の陣供奉の士、後半は「大坂御陣二付而金銀払帳」)／一冊(六一丁)／江戸後期(年月日未詳)／一四・四×一八・六／
 横半帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／八 御記録所／途中にシミ、虫穴あり／末尾に「安政二年十二月十日以竹俣東三著御兵具蔵口伝書校」とあり、校正、書込み多数／13

0833 「慶長十九年十一月十一日於城州山科景勝公御自分御家中江被仰出御軍法之写 右同時 直江山城守御家中江申渡候掟之写」(大坂の陣に際し出された上杉景勝の軍法二二か条、直江兼統の掟一四か条)／一冊(八丁)／江戸後期(年月日未詳)／一六・五×四八・四／
 横帳 長帳綴 共紙原表紙 斐紙／墨付七丁／124

0835 「行軍纂録」(上杉氏の軍法「御押前之次第」、大坂の陣の上杉勢の陣立て及

び元和八年九月の山形城受取)／一冊(六七丁)／江戸後期(年月日未詳)／二六・六×一八・一／
 縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／図書第一九号 御記録所／「御押前之次第」は嘉永七年二月一〇日の(寺島)貞経の写、冬の陣の陣立図は嘉永七年正月の山田秀発の写／無

0876 「慶長十九年十月分 大坂御陣之留帳」(慶長一九年一〇月の景勝米沢出發から翌年二月の帰国まで、日時を追って上杉方の動向を記載)／一冊(三二丁)／江戸中期(年月日未詳)／一七・七×四七・七／
 横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／136

0877 □□□左衛門由緒書(大坂冬の陣における伏見組の状況他)／一通(七紙)／江戸後期(年未詳)午九月／一五・〇×二三・二・六／
 切継紙 楮紙／□□□左衛門／坂口次左衛門：委後者来次左近被存候事／柱題「慶長十九年大坂御陣場二而相勤候覚」／136

0878 志駄修理亮宛 安田上総介人数書上(大坂冬の陣に召し連れた安田能元の軍勢一〇名)／一通(二紙)／寛永元年八月六日／三一・九×七五・六／
 継紙 楮紙／安田上総介(花押)↓志駄修理亮殿 参／高四千三百三十：書付不申候以上／裏打あり／裏打紙の端裏に「大坂陣の時上総人数」と近代の書込あり、／136

軍制—軍制先例—軍令・行列等

0461 上杉氏諸士掟書案(山形出兵時の戦陣における規則、三三か条)／一通(四紙)／慶長五年九月三日／三三・四×一八四・五／
 継紙 斐紙／一第一武頭之不可背下知候：右条々堅可相守者也／裏打あり／前欠カ／067

0843 「御供之節心控」(藩主外出時の供揃に関する諸心得)／一冊(二四丁)／天保四年九月／九・七×一八・五／
 横半帳 袋綴冊子装 縹地花紋二重亀甲繫後補表紙 楮紙／赤ラベル表記無 林泉文庫／外題は「御行列帳」／124

0845 「鉄砲之諸事」(正月の鉄砲上覧に関する規則及び先例集)／一冊(三六丁)／江戸後期(年月日未詳)／七・八×二〇・二／
 横帳 長帳綴 茶地後補表紙 共紙原表紙 楮紙／伯爵上杉家／墨付三二丁、後補表紙の題箋は「御鉄砲例 御使番」／124

0846 「御令条掟 惣勢心得 押前掟」(安政六年八月一六日に陣之峰で行われた訓練に関する掟書と行列)／一冊(二〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／一九・一×一〇・一／
 横帳 表帳綴 共紙原表紙 楮紙／墨付一八丁、「御年譜」安政六年八月一六日条に関連記事あり／124

0848 小黒秀文「御行列帳」(在国の藩主が外出する際の行列構成及び行列に関する先例・軍法集)／一冊(五〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／一〇・一×一九・一／横帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／小黒秀文／一七三・オ〇本 林泉文庫／墨付四六丁／124

0853 「御軍役記録 完」(0853-01-04の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・四×一五・四／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙／コ〇本／0853-01-04合綴／0853は「御軍役記録 完」として一括され、表紙に「旧藩史料政事 一 写本」の貼紙あり、まとめられたのは文久元年三月以降／124

0853-01 「御軍役武器組分之帳」写(御守三〇人前等の武器の備え他、原本は寛永一七年四月付)／一冊(七丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・四×一五・四／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／0853-01-04合綴／124

0853-02 「御陣馬奉行／附遊軍勢」写(家臣の石高に応じた手勢の内訳)／一冊(五八丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・四×一五・四／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／0853-01-04合綴／墨付五七丁／124

0853-03 「御軍列仕立ノ事」写(一五万石の軍列仕立に関する本庄職長他四名の意見書、原本は明和三年三月一三日付)／一冊(二九丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・四×一五・四／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／0853-01-04合綴／【軍制】の「明和年間手配」関係／124

0853-04 「一二三之手騎銃隊御本陣隊押前略行列并図面」(人員及び部隊の配置図)／一冊(二〇丁)／文久元年三月／二三・四×一五・四／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／0853-01-04合綴／124

0860 「御家御軍役制 完」(御人数分「軍役之定」他、長臣以下の軍役規定、旗印等の彩色図あり、役職ごとの職掌)／一冊(二六丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・〇×一九・五／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／林泉文庫・小田氏蔵書之印・□□(丸形)／米沢藩以外の可能性もあり／124

0900 三手三十人頭答書写(武芸出精の方法を評議し回答、年齢、一芸専攻他)／一通(四紙)／文化四年五月／一四・二×九二・五／切継紙 楮紙／先達而御中老ヨリ以手控：可被相心得候事／端書「三手申合三拾人頭中江被相達候写」／137

軍制—武器改め—明曆

0863-01 荻戸正吉「御馬廻武器具御改之帳」(尻高他一七五名の組下一覧及び武器具等)／一冊(二〇六丁)／明曆二年九月五日／三三・〇×二二・四／豎帳 袋綴冊子装 茶地格子刷毛目原表紙 楮紙／荻戸九郎兵衛(黒印) ↓御奉行所／図書第八七号／0863-01-03包紙一括／包紙あり、ラベルは包紙にあり／125

0863-02 樋口兼能「武器具御改之帳五拾騎」(小幡他二二名の組下一覧及び武器具等)／一冊(二三三丁)／明曆二年九月二九日／三二・四×二二・三／豎帳 袋綴冊子装 茶地格子刷毛目原表紙 楮紙／樋口主水正(黒印) ↓御奉行所／0863-01-03包紙一括／125

0863-03 本村利盛「与板組武器具御改帳」(本村他一七八名の組下一覧及び武器具等)／一冊(二七四丁)／明曆二年九月三日／三一・五×二一・八／豎帳 袋綴冊子装 茶地格子刷毛目原表紙 楮紙／本村監物(黒印)／0863-01-03包紙一括／125

0864-01 平林正興宛 中条知資・黒川義元総御家中武器具目録(侍衆・大小姓衆・御右筆衆・御中之間衆・三手御馬廻の武器等)／一通(一紙)／明曆二年九月／三二・九×四四・六／豎紙 楮紙／中条越前守・黒川右衛門尉 ↓平林内蔵助殿／一五本 侍中：已上／端裏書「明曆□(式カ) 武器具御改帳入日記目録」／柱題「総御家中武器具役人改帳之目録」／125

0864-02 本庄忠長組武器具目録(侍衆本庄組の本庄弥次郎他二三名分)／一通(一九紙)／明曆二年八月四日／三三・五×八五・六／継紙 楮紙／甲 星黒塗五枚：改目録仕指上申候／端裏書「本庄弥次郎組」／異筆で本庄弥次郎組一四名の裏書あり／125

0864-03 中条知資・黒川義元宛 長尾景光組武器具目録(侍衆長尾組の柿崎主税他一五名分)／一通(二一紙)／明曆二年九月一八日／三三・八×九八・五・一／継紙 楮紙／長尾権四郎 ↓中条越前守殿・黒川右衛門殿／一 立物 金之図相：櫛改帳斯如候／端裏書「長尾権四郎組」／異筆で長尾組一六名の裏書あり、柱題「武器具改之目録」／125

0864-04 中条知資・黒川義元宛 市川房忠組武器具目録(侍衆市川組の山本寺但馬守他一五名分)／一通(二五紙)／明曆二年九月四日／三四・八×九五・〇・五／継紙 楮紙／市川土佐守 ↓中条越前守殿・黒川右衛門殿／一 甲 縮色五枚：鏡 黒塗 ごろく／端裏書「市川土佐守組」／異筆で市川土佐守組一六名の裏書あり、柱題「御軍役道具改之帳」／125

0864-05 須田秀満組武具馬具目録（侍衆須田組の須田秀満他一三名分）／一通（一九紙）／明曆二年九月一六日／三四・〇×八五六・六／楮紙／須田組／立物金ノまん字：目録仕差上申候／端裏書「須田相模守組」／異筆で須田相模守組一六名の裏書あり／125

0864-06 中条知賢・黒川義元宛 安田兵庫組武具馬具目録（侍衆安田組の上松頼母助他一三名分）／一通（二〇紙）／明曆二年九月一七日／三四・四×八八九・七／楮紙 楮紙／安田兵庫組中条越前守殿・黒川右衛門殿内物 丸之内二ツ：歩行具足拾領／端裏書「安田兵庫組」／異筆で安田兵庫組一四名の裏書あり、柱題「武具改之目録」／125

0864-07 黒川義元宛 大小姓武具馬具目録（大小姓 綱嶋頼昭他一四名分）／一通（二六紙）／明曆二年四月三日、九月二七日／三三・六×六七・四／楮紙 楮紙／福嶋頼負↓黒川右衛門殿／一 甲 頭かね黒塗：右之小道具有／端裏書「大小姓」／異筆で大小姓一五名の裏書あり、柱題「武具馬具御改二付而書付指上候事」、綱嶋頼昭以下一四名分は明曆二年四月三日付、栃本親房分は九月二七日付／125

0864-08 御使番武具馬具目録（御使番小越信家他二〇名分）／一通（二四紙）／明曆二年／三三・六×六二・七／楮紙 楮紙／御使番／甲 さび色紫糸：右小道具御座候／端裏書「御使番」／異筆で御使番二名の裏書あり、柱題「今度武具馬具御改付銘々調事付差上申事」、小越以下一五名は四月三日付、樋口伝兵衛以下二名は五月三日付、横田三郎左衛門以下四名は七月一四日付／125

0864-09 右筆衆武具馬具目録（佐野他九名）／一通（六紙）／明曆二年四月二七日／三三・八×一九七・一／楮紙 楮紙／御右筆所↓御奉行衆／胴 さねがしらため塗黒糸：去武具求上申候／端裏書「御右筆」／御右筆一〇名の裏書あり／125

0864-10-01 小田切正歳 御中之間武具馬具目録（小田切他二七名）／一通（二二紙）／明曆二年四月二日／三三・六×九〇・四／楮紙 楮紙／小田切権右衛門／一 甲 星六拾：メ七人／端裏書「御中之間」／柱題「今度武具馬具於御改銘々残書付差上申事」、御中之間二七名の裏書あり／125

0864-10-02 小田切正歳 御中之間武具馬具目録（曾根他六名）／一通（五紙）／明曆二年五月三日／三三・六×二〇・〇／楮紙 楮紙／小田切権右衛門／一 甲 さしさび色：差上申候 以上／端裏書「御中之間」／柱題「武具馬具御改二付書付差上申候事」、御中之間二七名の裏書あり／125

軍制—武器改め—寛政

0868-01 「武器御改帳 高家衆今大目付迄」（高家衆から大目付まで一七家の所有武具書上）／一冊（七五丁）／寛政九年閏七月／三一・六×二一・二／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 斐紙／御使番湯野川善次他五名／0868-01-01を紙綴で括り付け／0868は当初は寛政六年八月付で、寛政九年閏七月付で朱書き確認、改定あり、寛政六年と同九年で作成者に違いあり／126

0868-01-01 荏戸善政新用意武具類書上（寛政七年以降に新たに入手した武具類を藩に報告したもの）／一通（二紙）／（寛政九年）閏七月一日／一五・五×四五・五／切綴紙 楮紙／荏戸九郎兵衛／一 頭鉄兜二ツ：右之通御座候以上／0868-01に紙綴で括り付け／柱題「寛政七年武器御改後新用意之分書上之覚」／126

0868-02 「武器御改帳 侍組舟橋源太左衛門」（侍組一八八家分）／一冊（二五二丁）／寛政九年閏七月／三〇・五×二一・四／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 斐紙／御使番湯野川善次他五名／函書第四四号／126

0868-03 「武器御改帳 御馬廻組」（御馬廻組八三家分）／一冊（三三六丁）／寛政九年閏七月／三一・八×二一・五／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 斐紙／御使番湯野川善次他五名／0868-03-01を狭込／126

0868-03-01 道祐町年寄九兵衛・道祐町中宛 小森沢右衛門証文写（金一八〇両の抵当としていた京都の上杉屋敷を、返済不能により道祐町へ譲渡につき、原本は宝曆二年閏七月九日付）／一通（一紙）／江戸後期（年月日未詳）／三一・八×四二・一／豎紙 楮紙／一 町内上杉御屋敷：為後日一札依如件／端裏書「小森分之本書米沢へ差下」／0868-03に挟込／柱題「二札」、佐々木左京の奥書あり、宝曆二二年の閏月は四月／0868-03-01狭込／126

0868-04 「武器御改帳 五十騎組」（五十騎組八三家分）／一冊（四二二丁）／寛政九年閏七月／二一・一×三一・五／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／御使番湯野川善次他五名／126

0868-05 「武器御改帳 諸役頭中 御小納戸中 御厩方中 田村伊左衛門小国御役屋附」（諸役頭、御小納戸、小国御役屋附他八三家分）／一冊（一一〇丁）／寛政九年閏七月／二一・二×三一・六／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／御使番湯野川善次他五名／126

0868-06 「武器御改帳 三御殿 御近習中 御方々様御附中 築地御小姓」（諸近習八三家分）／一冊（一〇七丁）／寛政九年閏七月／二一・三×三一・四／豎帳 袋

綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／御使番湯野川善次他五名／126

0872101 「武器御改帳 与板組」(与板組分)／一冊(四三二丁)／寛政六年八月／三一・五×二一・〇／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／長井武右衛門他五名／128

0872102 「武器御改帳 御中之間通」(御中之間通分)／一冊(二八四丁)／寛政六年八月／三一・五×二一・四／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／長井武右衛門他五名／128

軍制—武器改め—文化

0873101 「高家衆武器御改帳」(構成員及び所有武具一覽)／一冊(二六丁)／文化八年六月／二九・七×一九・一／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／御武具蔵役頭左近寺周助他五名／129—130

0873102 「侍組武器御改帳」(本庄組、毛利組、竹俣組分)／一冊(二八四丁)／文化八年六月／二九・七×一八・九／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／図書第四五号／129—130

0873103 「侍組武器御改帳」(島津組、平林組分)／一冊(二六〇丁)／文化八年六月／二九・七×一九・〇／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／御武具蔵役頭左近寺周助他五名／129—130

0873104 「大小姓武器御改帳」(大小姓分)／一冊(一一三丁)／文化八年六月／二九・七×一九・〇／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／御武具蔵役頭左近寺周助他五名／129—130

0873105 「御中之間通武器御改帳」(中之間通、外様法体分)／一冊(四九丁)／文化八年六月／二九・七×一九・一／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／御武具蔵役頭左近寺周助他五名／129—130

0873106 「御馬廻組武器御改帳」(一番組、二番組分)／一冊(二五三丁)／文化八年六月／二九・七×一九・一／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／129—130

0873107 「御馬廻組武器御改帳」(三番組、四番組分)／一冊(二一九丁)／文化八年六月／二九・七×一九・二／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／129—

130

0873108 「御馬廻組武器御改帳」(五番組分)／一冊(一一三丁)／文化八年六月／二九・七×一九・一／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／御武具蔵役頭左近寺周助他五名／129—130

0873109 「五十騎組武器御改帳」(一番組、二番組分)／一冊(二八六丁)／文化八年六月／二九・七×一九・一／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／129—130

0873110 「五十騎組武器御改帳」(三番組、四番組分)／一冊(二六七丁)／文化八年六月／二九・七×一九・一／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／129—130

0873111 「五十騎組武器御改帳」(五番組分)／一冊(一三三丁)／文化八年六月／二九・七×一九・二／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／御武具蔵役頭左近寺周助他五名／129—130

0873112 「与板組武器御改帳」(一番組、二番組分)／一冊(三〇四丁)／文化八年六月／二九・七×一九・一／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／129—130

0873113 「与板組武器御改帳」(三番組、四番組分)／一冊(三二二丁)／文化八年六月／二九・七×一九・〇／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／129—130

0873114 「与板組武器御改帳」(五番組分)／一冊(四四丁)／文化八年六月／二九・七×一九・一／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／御武具蔵役頭左近寺周助他五名／129—130

0873115 「御小納戸組武器御改帳」(一冊(四二丁)／文化八年六月／二九・七×一九・一／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／御武具蔵役頭左近寺周助他五名／129—130

0873116 「御厩方武器御改帳」(一冊(三四丁)／文化八年六月／二九・七×一九・三／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／御武具蔵役頭左近寺周助他五名／129—130

軍制—武器改め—天保

0874-01 「武器御改帳 高家衆」(武田信順、畠山義郷、三本寺勝茂、二本松国潤)／一冊(一四丁)／(天保二年)／二六・九×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／131-133

0874-03 「武器御改帳 本庄組」(侍衆本庄組の本庄寛長他二一名分)／一冊(一〇丁)／(天保二年)／二六・九×一八・三／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／131-133

0874-05 「武器御改帳 長尾組」(侍衆長尾組の長尾景直他一八名分)／一冊(八六丁)／(天保二年)／二六・九×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／131-133

0874-06 「武器御改帳 平林組」(侍衆平林組の平林正亮他二六名分)／一冊(八三丁)／(天保二年)／二六・九×一八・三／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／131-133

0874-07 「武器御改帳 清野組」(侍衆清野組の清野秀貞他一七名分)／一冊(八六丁)／(天保二年)／二七・〇×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／131-133

0874-08 「武器御改帳 御中之間通」(大小姓、御中之間詰、御中之間、外様法体に属する丸田俊頼他六八名分)／一冊(一四八丁)／(天保二年)／二六・九×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／131-133

0874-10 「武器御改帳 御馬廻一番組」(一番組の龍口知機他四四名分)／一冊(一〇五丁)／(天保二年)／二六・九×一八・三／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／131-133

0874-11 「武器御改帳 御馬廻二番組」(二番組の小田切承政他三九名分)／一冊(九九丁)／(天保二年)／二六・九×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／131-133

0874-12 「武器御改帳 御馬廻四番組」(四番組の長秀興他四二名分)／一冊(一〇〇丁)／(天保二年)／二七・〇×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／131-133

0874-13 「武器御改帳 御馬廻五番組」(五番組の山岸丈昌他四三名分)／一冊(九四丁)／(天保二年)／二七・〇×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／131-133

冊(九四丁)／(天保二年)／二七・〇×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／131-133

0874-14 「武器御改帳 御馬廻組離」(組離の若林秀秋他三四名分)／一冊(八二丁)／(天保二年)／二六・九×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／131-133

0874-15 「武器御改帳 五十騎一番組」(一番組の笠原豊章他五一名分)／一冊(一五丁)／(天保二年)／二六・九×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／131-133

0874-16 「武器御改帳 五十騎二番組」(二番組の田中資生他五一名分)／一冊(一五丁)／(天保二年)／二七・〇×一八・三／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／131-133

0874-17 「武器御改帳 五十騎三番組」(三番組の楡井元敷他四八名分)／一冊(一〇五丁)／(天保二年)／二六・九×一八・三／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／131-133

0874-18 「武器御改帳 五十騎四番組」(四番組の片桐忠厚他四八名分)／一冊(一〇九丁)／(天保二年)／二六・九×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／131-133

0874-19 「武器御改帳 五十騎五番組」(五番組の行方知賢他五一名分)／一冊(一〇丁)／(天保二年)／二七・〇×一八・三／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／131-133

0874-20 「武器御改帳 五十騎組離」(組離の樋口兼道他四二名分)／一冊(一六丁)／(天保二年)／二六・九×一八・三／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／131-133

0874-21 「武器御改帳 与板一番組」(一番組の高津景林他五七名分)／一冊(一四〇丁)／(天保二年)／二七・〇×一八・三／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／131-133

0874-22 「武器御改帳 与板二番組」(二番組の小山広長他四八名分)／一冊(一九丁)／(天保二年)／二六・九×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／131-133

0874-23 「武器御改帳 与板三番組」(三番組の佐藤秀興他二名分)／一冊(一九丁)／(天保十二年)／二六・九×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／131-133

0874-24 「武器御改帳 与板四番組」(四番組の大熊秀政他一名分)／一冊(一四丁)／(天保十二年)／二六・九×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／131-133

0874-25 「武器御改帳 与板五番組」(五番組の窪田茂承他一名分)／一冊(一二丁)／(天保十二年)／二七・〇×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／131-133

0874-26 「武器御改帳 与板組離」(組離の棚橋方矩他五三名分)／一冊(一四六丁)／(天保十二年)／二六・九×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／図書第七号／131-133

0874-27 「武器御改帳 御小納戸」(御小納戸の富所元清他一名分)／一冊(四〇丁)／(天保十二年)／二七・〇×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／131-133

0874-28 「武器御改帳 御厩方」(御厩方の須崎祐右衛門他一名分)／一冊(二七丁)／(天保十二年)／二六・九×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／左近寺庄兵衛他五名／131-133

軍制—武器改め—嘉永

0874-02 「武器御改帳 高家衆」(武田信明、畠山義方、三本寺勝茂、二本松国潤)／一冊(一六丁)／(嘉永二年)／二六・九×一八・三／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／本来はNo.0875に属す／131-133

0874-04 「武器御改帳 広居組」(侍衆広居組の広居忠精他二六名分)／一冊(七二丁)／(嘉永二年)／二六・九×一八・三／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／本来はNo.0875に属す／131-133

0874-09 「武器御改帳 御中之間通」(大小姓、御中之間詰、御中之間、外様法鉢に属する綱島頼賢他八一名分)／一冊(二七一丁)／(嘉永二年)／二七・〇×一八・三／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／本来はNo.0875に属す／131-133

0874-29 「武器御改帳 御厩方」(御厩方の福地十左衛門他一名分)／一冊(一九丁)／(嘉永二年)／二六・九×一八・三／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／本来はNo.0875に属す／131-133

0875-01 「武器御改帳 本庄組」(侍衆本庄組の本庄寛長他一名分)／一冊(一六丁)／(嘉永二年)／二七・〇×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／134-135

0875-02 「武器御改帳 荏戸組」(侍衆荏戸組の荏戸政養他一名分)／一冊(一〇六丁)／(嘉永二年)／二七・〇×一八・三／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／図書第■号(下部破損)／134-135

0875-03 「武器御改帳 中條組」(侍衆中條組の中條明資他一名分)／一冊(一一丁)／(嘉永二年)／二七・〇×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙 楮紙／墨付二〇丁／134-135

0875-04 「武器御改帳 島津組」(侍衆島津組の島津教忠他一名分)／一冊(八九丁)／(嘉永二年)／二七・〇×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／134-135

0875-05 「武器御改帳 毛利組」(侍衆毛利組の毛利業広他一名分)／一冊(八四丁)／(嘉永二年)／二七・〇×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／134-135

0875-06 「武器御改帳 御馬廻一番組」(一番組の飯田殿次他一名分)／一冊(一〇四丁)／(嘉永二年)／二七・〇×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／134-135

0875-07 「武器御改帳 御馬廻二番組」(二番組の蓼沼重宗他一名分)／一冊(九五丁)／(嘉永二年)／二七・〇×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／134-135

0875-08 「武器御改帳 御馬廻三番組」(三番組の土井順平他一名分)／一冊(八七丁)／(嘉永二年)／二七・〇×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／墨付八六丁／134-135

0875-09 「武器御改帳 御馬廻四番組」(四番組の高山政孝他一名分)／一冊(九五丁)／(嘉永二年)／二七・〇×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／134-135

0875-110 「武器御改帳 御馬廻五番組」(四番組の山崎宗紀他三九名分)／一冊(九四丁)／(嘉永二年)／二七・〇×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／134-1135

0875-111 「武器御改帳 御馬廻組離」(組離若林秀秋他三二名分)／一冊(四六丁)／(嘉永二年)／二七・〇×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／134-1135

0875-112 「武器御改帳 五十騎一番組」(一番組の山田近雄他四九名分)／一冊(二二五丁)／(嘉永二年)／二七・〇×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／134-1135

0875-112-01 「武器目録」(宮島恭藏の新たに用意分)／一通(一紙)／慶応元年八月／二九・七×三七・六／折紙 楮紙／新用意：同塗家地右同断／0875-112の丸山忠次郎部分に挟込／134-1135

0875-113 「武器御改帳 五十騎二番組」(二番組の和田吉孝他四七名分)／一冊(一一一丁)／(嘉永二年)／二七・〇×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／134-1135

0875-114 「武器御改帳 五十騎三番組」(三番組の山吉盛芳他四八名分)／一冊(一一七丁)／(嘉永二年)／二七・〇×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／134-1135

0875-115 「武器御改帳 五十騎四番組」(四番組の大平次温他四八名分)／一冊(一一五丁)／(嘉永二年)／二七・〇×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／134-1135

0875-116 「武器御改帳 五十騎五番組」(五番組の登坂正敏他四七名分)／一冊(一一一丁)／(嘉永二年)／二七・〇×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／134-1135

0875-117 「武器御改帳 五十騎組離」(組離の浅間忠彰他四七名分)／一冊(四二丁)／(嘉永二年)／二七・〇×一八・三／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／134-1135

0875-118 「武器御改帳 与板一番組」(一番組の大石正介他五三名分)／一冊(二八丁)／(嘉永二年)／二六・九×一八・二／豎帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙 楮紙／134-1135

0875-119 「武器御改帳 与板二番組」(二番組の多功綱尚他五三名分)／一冊(三二丁)／(嘉永二年)／二六・九×一八・二／豎帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙 楮紙／134-1135

0875-120 「武器御改帳 与板三番組」(三番組の小幡長次他五二名分)／一冊(三六丁)／(嘉永二年)／二六・九×一八・二／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／134-1135

0875-121 「武器御改帳 与板四番組」(四番組の小嶋秀静他五一一名分)／一冊(二四丁)／(嘉永二年)／二六・九×一八・二／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／盛実／134-1135

0875-122 「武器御改帳 与板五番組」(五番組の大橋政親他五一一名分)／一冊(二二丁)／(嘉永二年)／二六・九×一八・二／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／134-1135

0875-123 「武器御改帳 与板組離」(組離の登坂政氏他五〇名分)／一冊(一六五丁)／(嘉永二年)／二六・八×一八・二／豎帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙 楮紙／134-1135

軍制—武器改め—旗指物馬驗図

0865-101 「小旗之絵図 本庄出羽守」(侍衆本庄重長組分)／一通(一一一紙)／寛永八年三月一〇日／一八・三×四〇〇・六／切継紙 斐紙／本庄出羽守／125

0865-102 「小旗之絵図 安田上総介与」(侍衆安田俊広組分)／一通(六紙)／(寛永八年)／一六・四×二九三・九／切継紙 斐紙／安田上総介／125

0865-103 「小旗之絵図 色部長門与」(侍衆色部光長組分)／一通(一〇紙)／寛永八年三月八日／一六・八×二八〇・八／切継紙 斐紙／色部長門守／125

0865-104 「小旗之絵図 嶋津玄蕃頭与」(侍衆嶋津利忠組分)／一通(六紙)／寛永八年三月八日／一八・一×四〇二・二／切継紙 斐紙／嶋津玄蕃頭／125

0865-105 「小旗之絵図 組離」(侍衆のうち組離分)／一通(一三紙)／(寛永八年)／一七・七×六四五・四／切継紙 斐紙／後補外題のみ／125

0865-106 「大小姓衆 小旗」(大小姓分)／一通(六紙)／(寛永八年)／一八・

八×三〇三・九／切継紙 斐紙／125

0865107 「御中之間衆 小簾紋」(御中之間分)／一通(五紙)／(寛永八年)／一六・二×二二三・五／切継紙 斐紙／125

0865108 「御馬廻衆 小簾之紋」(御馬廻組分)／一通(四一紙)／寛永八年三月九日／一六・四×一七〇六・五／切継紙 斐紙／三俣九兵衛／125

0865109 小簾紋 五十騎衆(五十騎組分)／一通(五一紙)／寛永八年三月一日／一七・〇×一八五五・七／切継紙 斐紙／深沢五右衛門尉／125

0865110 「自分之者之紋」(与板組分)／一通(三三紙)／江戸前期(年月日未詳)／一五・一×一二四五・一／切継紙 斐紙／125

0869 「旗指物馬験等書上面附帳」(高家衆、侍組から御厩方まで)／一冊(四三丁)／寛政六年一〇月／三一・六×一八・一／縦帳 袋綴冊子装 素紙地原表紙 楮紙／墨付四一丁／127

0870 旗指物馬験等書上面附帳(高家衆、侍組から御厩方まで)／一冊(四八丁)／天保二年一〇月／二七・四×一八・六／縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／127

0871101 「旗指物馬験図 高家衆 侍組」(高家衆、侍組分)／一帖(五八紙)／江戸後期(年月日未詳)／三六・一×一七・八／折本 縹地原表紙 楮紙／一部に貼紙による天保一二年分の追記や嘉永年間の追記あり／127

0871102 「旗指物馬験図 御中之間通」(御中之間通分)／一帖(二三紙)／江戸後期(年月日未詳)／三六・一×一七・九／折本 縹地原表紙 楮紙／一部に貼紙による天保一二年分の追記や嘉永年間の追記あり／127

0871103 「旗指物馬験図 御馬廻 上」(御馬廻組分)／一帖(四四紙)／江戸後期(年月日未詳)／三六・一×一七・九／折本 縹地原表紙 楮紙／一部に貼紙による天保一二年分の追記や嘉永年間の追記あり／127

0871104 「旗指物馬験図 御馬廻 下」(御馬廻組分)／一帖(三六紙)／江戸後期(年月日未詳)／三六・三×一七・九／折本 縹地原表紙 楮紙／一部に貼紙による天保一二年分の追記や嘉永年間の追記あり／127

0871105 「旗指物馬験図 五十騎 上」(五十騎組分)／一帖(五一紙)／江戸後期(年月日未詳)／三六・三×一七・九／折本 縹地原表紙 楮紙／一部に貼紙による天保一二年分の追記や嘉永年間の追記あり／127

よる天保一二年分の追記や嘉永年間の追記あり／127

0871106 「旗指物馬験図 五十騎 下」(五十騎組分)／一帖(五五紙)／江戸後期(年月日未詳)／三六・三×一七・九／折本 縹地原表紙 楮紙／一部に貼紙による天保一二年分の追記や嘉永年間の追記あり／127

0871107 「旗指物馬験図 与板 上」(与板組分)／一帖(五二紙)／江戸後期(年月日未詳)／三六・三×一七・九／折本 縹地原表紙 楮紙／第三四号／一部に貼紙による天保一二年分の追記や嘉永年間の追記あり／127

0871108 「旗指物馬験図 与板 下」(与板組分)／一帖(四九紙)／江戸後期(年月日未詳)／三六・三×一七・九／折本 縹地原表紙 楮紙／一部に貼紙による天保一二年分の追記や嘉永年間の追記あり／127

0871109 「旗指物馬験図 御小納戸御 厩方」(御小納戸、御厩方分)／一帖(二三紙)／江戸後期(年月日未詳)／三六・三×一七・九／折本 縹地原表紙 楮紙／一部に貼紙による天保一二年分の追記や嘉永年間の追記あり／127

軍制—家中軍役人数

0862101 具足紋等書上(御手明衆・御母衣衆・足輕等の被り物や具足他軍装)／一通(三紙)／江戸前期(年月日未詳)／三三・八×一四〇・四／継紙 楮紙／一だき角：一具足 御甲持／0862101109 貼紙／柱題「覚」／124

0862102 組衆別人数書上(侍組三手組、足輕まで、騎馬や武具ごとの人数、計四七二六名)／一通(七紙)／江戸前期(年月日未詳)／三四・五×三三〇・七／継紙 楮紙／本庄与 一拾四本 小簾：メ式千四拾人／0862101109 貼紙／文書奥に付箋あり「都合四千七百拾六人 此内へ入不申衆可有御座候 六千二不足二御座候」／124

0862103 本庄繁長軍役人数書上(鉄砲、長柄ノ鎗他一四の種別ごとの人数)／一通(二紙)／(寛永八年)三月一日／三三・二×九〇・七／継紙 楮紙／本庄出羽守／一 式拾人 鉄砲：メ百式拾壹人／0862101109 貼紙／柱題「御軍役人数之覚」／124

0862104 色部光長軍役人数書上(鉄砲、長柄他一八の種別ごとの人数)／一通(二紙)／寛永八年三月五日／三三・九×六四・五／継紙 楮紙／色部長門守／一 式十人 鉄砲：メ百廿式人／0862101109 貼紙／柱題「高三千三百石御軍役人数

覚」／124

0862105 安田俊広軍役人数書上(鉄砲、長柄他一八の種別ごとの人数)／一通(二紙)／寛永八年二月二三日／三三・九×七九・五／継紙 楮紙／安田上総介／一三拾人 鉄砲：メ百三拾三人／0862101109 貼継／柱題「高四千三百石御軍役人数覚」／124

0862106 志駄修理宛 黒金泰忠軍役人数書上(小簾、鉄砲他一四の種別ごとの人数)／一通(二紙)／寛永八年三月九日／三三・六×九三・六／継紙 楮紙／黒金上野介↓志駄修理殿／一 三本 小簾 指物左二 三人：メ六拾人／0862101109 貼継／柱題「高式千石分黒金上野御軍役之覚」／124

0862107 嶋津利忠軍役人数書上(鉄砲、長柄他一七の種別ごとの人数)／一通(二紙)／寛永八年三月五日／三三・九×六三・七／継紙 楮紙／嶋津玄蕃頭／一 拾人 鉄砲：メ七拾式人／0862101109 貼継／柱題「高式千三百石御軍役人数覚」／124

0862108 志駄修理亮宛 清野長範軍役人数書上(小性、手明他二一の種別ごとの人数)／一通(二紙)／寛永八年三月九日／三四・一×八一・六／継紙 楮紙／清野周防守(花押、黒印)↓志駄修理亮殿／一 壹騎 自分：都合百貳拾人／0862101109 貼継／柱題「覚」／124

0862109 軍役人数書上(侍衆を三隊に編成した際の人数内訳)／一通(七紙)／江戸前期(年月日未詳)／三三・八×二六二・一／継紙 楮紙／一五拾人 長尾権四郎：以上／0862101109 貼継／柱題「御軍役之人数」／124

0854 登坂高尚筆「承応三年御軍役帳」写(本庄出羽守以下、千坂兵部同心、信夫詰、米沢代官、江戸定詰等、計八四五人)／一冊(三三丁)／文久二年秋／一八・〇×一四・五／横半帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／登坂高尚(花押)／御記録所／124

軍制—上洛

0258 「御上洛道中并御在江中御日帳」(元和九年五月一七日〜九月一日、上洛した上杉定勝の道中及び京都滞在中の日記)／一冊(一三七丁)／江戸前期(年月日未詳)／二九・三×二一・二／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／乙第六一号古文書 図書籍経巻佛像器元和九年御上洛道中並御在江中御日記一冊北倉庫階過下第北棚上／背別紙包み、後に清書したものか／035

0259 登坂高尚筆「元和九年御上洛供奉」写(元和九年上洛時供をした米沢藩士の名前及び支給した米金他)／一冊(三六丁)／文久三年三月／一四・五×一八・一／横半帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／登坂高尚(花押)／御記録所／墨付三四丁／036

0261 「江戸ヨリ道中并御在京同御下御日帳」(寛永三年五月二三日〜一〇月二五日の日記、藩主上杉定勝の動向、諸大名他との交際・贈答他)／一冊(二二三丁)／寛永三年／二八・五×一九・〇／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／墨付二二丁／036

0262 「寛永十一年戊戌江戸御立道中同御在京中御遺物ノ覚」(寛永十一年六月三日〜八月二日、諸大名他との贈答記録)／一冊(三六丁)／寛永十一年／二三・三×一七・四／縦帳 列帖装 共紙原表紙 楮紙／墨付三四丁／036

0690101 「御上洛供奉人馬数并給銀帳」(主に三手組分の人馬数と費用、御借と合力の区別等)／一冊(二八丁)／寛永十一年／三一・八×二一・三／縦帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙 楮紙／原表紙欠カ、一丁目表に「寛永十一年六月 御上洛供奉人馬数并給銀帳」の付箋あり／113

0690102 舟山七右衛門「就御上雫御貯金銀渡方之帳留」(近習と徒、夫丸分の御賄と宿賃を積算、最後に侍組分を合算)／一冊(八七丁)／寛永十一年／三二・四×二二・〇／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／舟山七右衛門／図書第五六号／舟山は御賄役／113

0690103 「就御上雫御貯(金銀渡方之帳留)」(侍組分、藩士ごとに米沢から京都までの御賄と宿賃を積算)／一冊(一〇六丁)／(寛永十一年)／三二・四×二二・〇／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／原表紙下部欠損につき作成者不明／113

0851 行列書(上杉定勝の江戸からの上洛時)／一通(八紙)／寛永三年／一六・七×三二・六／切継紙 楮紙／百挺御鉄砲：メ 寛永三年／柱題「寛永三年五月二十三日 行列」／124

0858101 行列書(寛永十一年六月三日、上杉定勝の上洛時)／一通(六紙)／寛永十一年五月二七日／一六・八×二九・〇・三／切継紙 楮紙／百挺御鉄砲：御宿割二被遣／柱題「寛永拾一年 戌之年六月三日 行列之次第」／124

0858102 宿割覚書(江戸までは一番・二番、江戸からは三番の御馬廻・与板衆

に宿割を命ず)／一通(一紙)／江戸後期(年月日未詳)／一六・八×四二・〇／切紙楮紙／御馬廻 荻戸九郎兵衛：鑪久右衛門被遣也以上／柱題「亥元年御宿割」、枝番前号と関連するなら、亥年は寛永一二年の可能性あり、勸修寺とあるので京都に向かう可能性あり／124

1658 遠藤盛孝筆「元和九年御上洛御貸銀帳」写(侍組、馬廻組等金額人名一覽)／一冊(三二丁)／寛延元年七月／一四・一×一八・〇／横半帳 袋綴冊子装 浅葱地原表紙 楮紙／筆者遠藤盛孝也／御記録所／寛延元年平林恒広により西沢義孝所持の書を写し、本冊子はそれをさらに写したもので、末尾に寺島貞経の識語あり／230

1670 登坂高尚筆「長大夫旧記」写(長尾家所蔵の寛永期の上洛関係記録他)／一冊(三二丁)／文久二年／二三・四×一六・〇／縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／筆者登坂高尚／図書第四号 御記録所／末尾に文久二年一月、上洛一件詮議のため借受、書写した旨の記載あり／232

軍制—会津城請取

0879 「御日帳抜書」(寛永二〇年五月三日～六月二〇日)／一冊(二〇丁)／江戸中期(年月日未詳)／二九・六×二一・〇／縦帳 袋綴冊子装 白地厚紙後補表紙・共紙原表紙 斐紙／136

0880 「会津御勢遣 全」(軍役人数、諸大名の部署割、出兵した米沢藩士の供廻り詳細等)／一冊(二二九丁)／江戸中期(年月日未詳)／三〇・四×一九・四／縦帳 袋綴冊子装 素紙後補表紙 楮紙／御記録所／表紙裏打あり／一丁目に史料貼付、一部斐紙もあり／136

0881-01 黒川右衛門・新津右近宛 安田兵庫「会津御勢遣之時安田上総組人数之帳」／一冊(一五丁)／明暦二年二月七日／一六・六×四三・七／横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／安田兵庫↓黒川右衛門殿・新津右近殿／ア〇本／881-01-02 紙縫一括／136

0881-02 「御勢遣之時行列人数之覚」(寛永二〇年の会津若松城請取に派遣された米沢藩士(安田家カ)の人数内訳)／一冊(五丁)／江戸中期(年月日未詳)／一六・六×四三・七／横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／赤ラベル表記無／881-01-02 紙縫一括／墨付三丁、一丁目に赤枠のみ未記載のラベル貼付／136

0882 「寛永廿癸未五月会津御制使萬留」(侍衆から三手組までの出陣した者、他大名家の軍勢概要と割当部署、武具類の貸出等)／一冊(二四丁)／江戸前期(年月日

未詳)／一五・九×四二・三／横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／ク〇本／表題の「制」は「勢」の当て字か／136

0883-01 松平信綱他二名運署条目写(会津藩領における年貢未進、借物などの処置につき、原本は寛永二〇年五月六日)／一通(二紙)／江戸中期(年月日未詳)／三三・二×六八・九／継紙 楮紙／一 今度加藤式部少輔事：右條々依仰執達如件／0883-01-09 貼継／柱題「条目」、冒頭に「御普請御奉行衆分状之写」とある封紙を貼り継ぐ／136

0883-02 会津御勢人数目録(馬上250騎、鉄砲500丁他の人数と出し方の内訳)／一通(一紙)／(寛永二〇年)五月四日／三二・九×四三・二／縦紙 楮紙／一 馬上二百五十騎：ほろ釘貫たるへき事／端裏書「寛永廿年会津御勢遣」／0883-01-09 貼継／柱題「人数目録」／136

0883-03 会津御勢人数目録(馬上250騎、他の人数と出し方の内訳、02と同内容)／一通(二紙)／(寛永二〇年)五月四日／三二・九×八三・八／継紙 楮紙／一 馬上式百五拾騎：母衣釘めきたるへき事／端裏書「寛永廿年会津御勢遣候時」／0883-01-09 貼継／柱題「人数目録」／136

0883-04 掟書写(会津派遣につき)／一通(三紙)／寛永二〇年五月六日／三一・八×二二・四／継紙 楮紙／一 今度会津へ参候道中申付候行列のごとく可：可被成殿科者也仍如件／端裏書「寛永廿年会津御勢遣ノ時」／0883-01-09 貼継／柱題「掟」／136

0883-05 会津御勢行列書(五月一六日から一八日までの出立順)／一通(三紙)／(寛永二〇年五月カ)／三四・一×一〇七・五／継紙 楮紙／十六日鉄砲 一 四百挺：十八日三組侍衆／端裏書「寛永廿年五月会津御勢遣ノ時」／0883-01-09 貼継／柱題「行列」／136

0883-06 会津御勢中条目(会津藩領接收の人数につき武頭や町奉行等の職務内容)／一通(一紙)／(寛永二〇年)五月四日／三二・九×四三・六／縦紙 楮紙／一 惣武頭 松木内匠：在々々よせ置へき事／端裏書「寛永廿年会津御勢遣」／0883-01-09 貼継／柱題「覚」／136

0883-07 条目写(会津若松城請取の軍勢通行につき)／一通(三紙)／(寛永二〇年)五月九日／三三・四×九一・八／継紙 楮紙／一 今度会津江御通之衆：可処罪科者也仍如件／0883-01-09 貼継／柱題「定」、栃窪村に対し出されたものカ／136

0883-08 会津領二本松請取衆書上(改易された会津藩領のうち二本松接收に関

わる大名等)／一通(一紙)／江戸前期(年月日未詳)／三三・六×四一・九／折紙
 楮紙／二本松請取衆：加藤内蔵介二被下御目見奉公／0883101109貼継／見返
 し奥に墨書「寛永二十年五月会津城主加藤式部殿御改易付而覚書也」／136

0883109 黒川右衛門・新津右近宛 安田兵庫行列書(会津若松城請取時の安田
 上総介の編成)／一通(三紙)／明暦二年二月一日／一七・二×一二二・一／切継紙
 楮紙／安田兵庫↓黒川右衛門殿・新津右近殿／会津江御勢遣時：メ廿九騎／08831
 01109貼継／柱題「会津江御勢遣之時安田上総介組中行列之覚」／136

0884101 会津御勢遣供人数覚書写(会津藩加藤家の改易につき派遣された一
 四人の内訳)／一冊(四丁)／江戸後期(年月日未詳)／九・〇×二四・七／横帳 長
 帳綴 共紙原表紙 楮紙／136

0884102 「何方へ成共御勢遣可入敷ノため清元代人数付被成候帳也」(某所へ
 派遣する人数一三六人及び留守居四九人の内訳)／一冊(六丁)／江戸後期(年月日未
 詳)／九・一×二五・一／横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／清元は安田兵庫清元(一
 七世紀後半の人)／136

0884103 安田俊寛「会津御勢遣被供人数帳」(会津へ派遣された藩士の内訳)
 ／一冊(二丁)／(寛永二〇年カ)／一六・五×四一・五／横帳 長帳綴 表紙無し
 楮紙／俊広／末尾に江戸後期の加筆あり、俊広は安田上総介俊広／136

0896 覚書(寛永二〇年の会津城受取関連、担当の大名等書上、軍役規定、立札の
 写し)／一通(七紙)／江戸後期(年月日未詳)／一六・五×二五・五／切継紙 楮
 紙／在番被 仰付面々：此書抜二除之／端裏書「寛永廿年会津城請取之御方々其外御当
 領江御掟書之留」／柱題「寛永廿年五月廿二日会津城請取渡之事」／137

軍制—明和年間手配

0836101 本庄職長他四名「御当家御軍列 一」(上杉氏一五万石の軍法及び陣
 立て)／一冊(五八丁)／明和三年三月一三日／三三・六×二三・二／豎帳 袋綴冊子
 装 縹地原表紙 斐紙／本庄大和職長(花押) 他四名／墨付五七丁／124

0836102 「御軍列之内 戦フ者不戦者之任分ケ 一二」(米沢藩の陣立てのうち
 先手・旗本・遊軍・後備他の内訳)／一冊(二八丁)／明和三年三月一三日／三二・六
 ×二三・二／豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 斐紙／墨付二七丁／124

0836103 「御家中御人数元帳 三二」(御家中分限帳目録のうち軍役人、高家衆

以下の人数と供奉、留守の別他)／一冊(一一丁)／明和三年三月一三日／三三・六×
 二三・二／豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 斐紙／墨付一〇丁／124

0836104 「御軍列諸役割 四」(米沢藩の軍列内での諸役の担当者割当)／一
 冊(二五丁)／明和三年三月一三日／三三・六×二三・二／豎帳 袋綴冊子装 縹地原
 表紙 斐紙／墨付二四丁／124

0836105 本庄職長他四名「御留守式 五」(軍勢を出す際、米沢城等領内に留
 守として残す役職と人数規定)／一冊(二六丁)／明和三年三月一三日／三二・五×二
 三・二／豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 斐紙／本庄大和職長他四名／墨付二五丁／1
 24

0836106 本庄職長他五名「御勢遣被蒙仰候時御手配」(幕命により近隣へ出兵
 する際の先例及び手配詳細)／一冊(三五丁)／明和四年九月／三一・二×二二・四／
 豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 斐紙／本庄大和職長(花押) 他五名／墨付三四丁／1
 24

0836107 「御勢遣惣御人数積 荷馬等之大積共二」(幕命により近隣へ出兵す
 る際の軍勢や荷駄等の見積り規定)／一冊(二三丁)／明和四年九月／三一・六×二二・
 一／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 斐紙／墨付二二丁／124

0837 「御先手二之見押前行列 御旗本押前御行列 遊軍御後備押前行列」(戦陣
 の際の先手から後備までの行列書)／一冊(三二丁)／明和三年三月一三日／四八・四
 ×一六・四／横帳 長帳綴 共紙原表紙 斐紙／0836と関連／124

0855 本庄職長他四名「御軍役被蒙仰候時乗馬出シ方并御勢遣被蒙仰候節乗馬当分
 之評判」(幕府軍役として二五〇騎の出し方、近隣援兵時の軍役馬の出し方)／一冊(一
 〇丁)／明和三年三月一三日／一六・五×四八・五／横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙
 ／本庄大和他四名／墨付九丁、0861と同内容／124

0866 芋川正令他四名「御家之 御旗御馬印之儀別紙」(広居治部の覚書により、
 上杉家伝来の馬印や紺地日の丸などの旗の由緒と本数、寸法等書上)／一冊(五丁)／
 明和三年三月一三日／四八・六×一六・五／横帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 斐紙／芋
 川縫殿他四名／126

0841 「御当家御軍列 一 慶長十九年被仰出候御軍法并直江山城守掟書共」(上
 杉氏一五万石の軍法・陣立て、及び大坂の陣時の上杉景勝の軍法二二か条、直江兼続の
 掟一四か条)／一冊(六六丁)／明和三年三月一三日／三〇・三×二一・三／豎帳 袋
 綴冊子装 黄緑地原表紙 楮紙／コ〇本 伊佐早兼古書之宝／墨付六五丁、08361
 01と0833と同内容、「御当家御軍列 二」の末尾には本庄職長他五名の署名・花

押あり／124

0840 「御軍列之内 戦フ者不戦者之任分ケ 二」(米沢藩の陣立てのうち先手・旗本・遊軍・後備等の内訳)／一冊(二八丁)／明和三年三月一三日／三〇・三〇・二一・四／豎帳 袋綴冊子装 黄緑地原表紙 楮紙／コ〇本 伊佐早兼古書之宝／墨付二七丁、0836-02と同内容／124

0856 「御家中御人数元帳 三」(御家中分限帳目録のうち軍役人、高家衆以下の人数と供奉、留守の別他)／一冊(一一丁)／明和三年三月一三日／三〇・五×二一・五／豎帳 袋綴冊子装 黄緑地原表紙 楮紙／コ〇本 伊佐早兼古書之宝／墨付一〇丁、0836-03と同内容／124

0839 「御軍列諸役割割 四」(米沢藩の軍列内での諸役の担当者割当)／一冊(二六丁)／明和三年三月一三日／三〇・三〇・三〇・三〇・三〇・三〇・五／豎帳 袋綴冊子装 黄緑地原表紙 楮紙／コ〇本 伊佐早兼古書之宝／墨付二四丁、0836-04と同内容／124

0544 本庄職長他四名「御留守式 五」(軍勢を出す際、米沢城等領内に留守として残す役職・人数規定)／一冊(二六丁)／明和三年三月一三日／三〇・五×二一・五／豎帳 袋綴冊子装 黄緑地原表紙 楮紙／本庄大和職長他四名／オ〇本 伊佐早兼古書之宝／裏打あり／0836-05と同内容／082

0885 本庄職長他五名「御勢遣被蒙仰候時御手配」(幕命により近隣へ出兵する際、先例及び手配詳細)／一冊(三五丁)／明和四年九月／三〇・五×二一・五／豎帳 袋綴冊子装 黄緑地原表紙 楮紙／本庄大和(花押)他五名／御勢遣之儀者：奉存候以上／コ〇本 伊佐早兼古書之宝／墨付三四丁、下げ札五枚あり、0836-06と同内容／136

0861 本庄職長他四名「御軍役并御勢遣被蒙仰候節乗馬出シ方評判共二」(幕府軍役として二五〇騎の出し方、近隣援兵時の軍役馬の出し方)／一冊(二三丁)／明和三年三月一三日／三〇・五×二一・五／豎帳 袋綴冊子装 黄緑地原表紙 楮紙／本庄大和他四名／オ〇本 伊佐早兼古書之宝／墨付一二丁、0836と関連、0855と同内容／124

0838 「御行列 御先手二之見押前御行列 御籓本押前御行列 遊軍御後備押前御行列」(戦陣の際の先手から後備までの行列書)／一冊(六〇丁)／明和三年三月一三日／三〇・三〇・三〇・三〇・三〇／豎帳 袋綴冊子装 黄緑地原表紙 楮紙／オ〇本 伊佐早兼古書之宝／墨付五九丁、0837と同内容／124

0857 本庄職長他四名上書(公辺からの陣触に備え当時有人数をもって軍列大積り、新組増加の現状にあわせた軍役遂行のため評判し意見)／一通(五紙)／(明和四年)

九月／一五・八×一七六・八／切継紙 楮紙／本庄大和他四名／公方様何方江も御征伐として：相納可差置候以上／柱題「手控」、0836と関連、封紙墨書「御上洛行列 二巻 但他筆」とあり、別の封紙を転用カ／124

0893 本庄職長他五名副書(近国勢遣の手配につき補足、別帳の総人数を六備に編成のこと)／一通(四紙)／明和四年九月／一六・二×一八三・〇／切継紙 楮紙／本庄大和他五名／近国御勢遣：可然存候以上／柱題「覚」、0836-06と関連、別帳は0836-07カ／137

0894 本庄職長他五名書状(軍遣手配調べ仰せ付けられ、評判の上差し上ぐ)／一通(三紙)／亥(明和四年)一月／一六・〇×五五・三／切継紙 楮紙／本庄大和他五名／御勢遣被蒙：存奉候以上／0836-06と関連／137

軍制—海岸警備—文化年間

0842 「五十騎一ト備人数積并賄方法」写(一備え五〇騎総勢七六〇名の部隊編成と行軍法の規定、各種物資の一日分積算、原本は文化二年に篠田包好編纂)／一冊(一〇丁)／近代(年月日未詳)／二八・九×一七・八／豎帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／墨付八丁、末尾に「文化二年三月蒙 命 謹而奉呈之但陣屋之図二附ス」とあり、0859の原本と同時に作成カ／124

0859 篠田包好筆五十騎陣屋図写(部隊構成と配置図、注意事項につき)／一枚(一紙)／文化二年／八八・五×六四・〇／豎紙 楮紙／篠田甚左衛門藤原包好一ト五十騎ノ陣屋也：篠田甚左衛門藤原包好 謹図写／篠田包好が文化二年頭に写し、六月に献上したものとあり、0842「五十騎一ト備人数積并賄方法」の付図、彩色あり(墨、朱)、ヘラ跡あり／124

0887 「奥州会津松平金之助様分松前御備之御出勢上下人頭道中駅馬歩夫泊宿軒数会津分松前迄駅々泊」(会津藩松平家の蝦夷地警備対応につき)／一冊(一三三丁)／文化五年正月／一二・五×三三・五／横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／136

0888-01 「蝦夷松前役越後岩船郡役豫備 一」(序、一三三手人数手配の次第、藩主以下、諸藩士への達文等)／一冊(二四丁)／文化五年二月／二七・五×一九・〇／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／136

0888-02 「蝦夷松前役越後岩船郡役豫備 二」(軍令・押前掟・総勢心得)／一冊(一八丁)／文化五年二月／二七・五×一九・〇／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／136

0888-03 「蝦夷松前役越後岩船郡役豫備 三」(一二三の手出陣諸士へ達書) / 一冊(四五丁) / 文化五年二月 / 二七・五×一九・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙 / 136

0888-04 「蝦夷松前役豫備 四」(押前行列外諸組役筋へ達書(小荷駄差配、御細工組、勘定方等) / 一冊(四六丁) / 文化五年二月 / 二七・五×一九・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙 / 136

0888-05 「蝦夷松前役越後岩船郡役豫備 五」(関川村・渡辺三左衛門他、先量諸役筋へ達書) / 一冊(二六丁) / 文化五年二月 / 二七・五×一九・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙 / 136

0888-06 「蝦夷松前役越後岩船郡役豫備 六」(一の手御押前行列、人名は記載せず、役職名のみ) / 一冊(二〇丁) / 文化五年二月 / 二七・八×一九・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙 / 136

0888-07 「蝦夷松前役越後岩船郡役豫備 七」(二の手御押前行列、人名は記載せず、役職名のみ) / 一冊(二四丁) / 文化五年二月 / 二七・七×一九・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙 / 墨付二三丁 / 136

0888-08 「蝦夷松前役越後岩船郡役豫備 八」(三の手御押前行列、人名は記載せず、役職名のみ) / 一冊(三七丁) / 文化五年二月 / 二七・八×一九・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙 / 136

0888-09 「蝦夷松前役越後岩船郡役豫備 九」(御手配の次第諸向へ差紙と達書案、用人、諸藩士、幕府、境目番所等) / 一冊(三七丁) / 文化五年二月 / 二七・七×一九・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙 / 136

0888-10 「蝦夷松前役越後岩船郡役豫備 十」(代官所へ達書、賄、宿割、人馬継立等、役夫へ達書) / 一冊(四五丁) / 文化五年二月 / 二七・八×一九・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙 / 136

0888-11 「蝦夷松前役越後岩船郡役豫備 十一」(御兵具頭へ達書、武器、大工道具等諸組へ渡し方書上) / 一冊(三五丁) / 文化五年二月 / 二七・七×一九・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙 / 136

0888-12 「蝦夷松前役越後岩船郡役豫備 十二」(角御蔵へ達書、幕払い、刀、脇差、脚絆等の貸渡書上) / 一冊(九丁) / 文化五年二月 / 二七・七×一九・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙 / 136

0888-13 「蝦夷松前役越後岩船郡役豫備 十三」(丸田九左衛門へ達書、弾薬、玉薬、火繩銃等の準備数量書上) / 一冊(三三丁) / 文化五年二月 / 二七・七×一九・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙 / 136

0888-14 「蝦夷松前役越後岩船郡役豫備 十四」(作事屋頭へ達書、莫塵、大工道具等の支給、貸与書上、末尾は武芸所への稽古道具準備の達書) / 一冊(五二丁) / 文化五年二月 / 二七・八×一九・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙 / 136

0888-15 「蝦夷松前役越後岩船郡役豫備 十五」(御台所、郡割所、町奉行所へ達書、人馬継立、紙・蠟燭・味噌手配等) / 一冊(三〇丁) / 文化五年二月 / 二七・七×一九・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙 / 136

0888-16 「蝦夷松前役越後岩船郡役豫備 十六」(一二三の手御軍役積、騎馬・鉄砲・槍等武器別と組・役職別的人数) / 一冊(六丁) / 文化五年二月 / 二七・七×一九・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙 / 136

0888-17 「蝦夷松前役越後岩船郡役豫備 十七」(一の手目録と面付) / 一冊(四〇丁) / 文化五年二月 / 二七・七×一九・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙 / 136

0888-18 「蝦夷松前役越後岩船郡役豫備 十八」(二の手目録と面付) / 一冊(四〇丁) / 文化五年二月 / 二七・八×一九・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙 / 136

0888-19 「蝦夷松前役越後岩船郡役豫備 十九」(三の手目録と面付) / 一冊(四九丁) / 文化五年二月 / 二七・七×一九・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙 / 136

0888-20 「蝦夷松前役越後岩船郡役豫備 二十」(一二三の手近付、備内部での小部隊・屯の編成) / 一冊(三二丁) / 文化五年二月 / 二七・八×一九・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙 / 136

0888-21 「蝦夷松前役越後岩船郡役豫備 二十一」(一の手頭々へ諸渡物の調、物資の重量と運搬手段) / 一冊(三〇丁) / 文化五年二月 / 二七・七×一九・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙 / 136

0888-22 「蝦夷松前役越後岩船郡役豫備 二十二」(二の手頭々へ諸渡物の調、物資の重量と運搬手段) / 一冊(三九丁) / 文化五年二月 / 二七・七×一九・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙 / 136

0888-23 「蝦夷松前役越後岩船郡役豫備 二十三」(三の手頭々へ諸渡物の調、物資の重量と運搬手段) / 一冊(五七丁) / 文化五年二月 / 二七・七×一九・〇 / 豎帳袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙 / 136

0888-24 「蝦夷松前役越後岩船郡役豫備 二十四」(酒田より船廻諸品の調、味噌、塩、大豆、小豆、酒、白等) / 一冊(五丁) / 文化五年二月 / 二七・八×一九・〇 / 豎帳袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙 / 136

0888-25 「蝦夷松前役越後岩船郡役豫備 二十五」(寛政三年以来異船漂流御手当方被仰付候大御目付触) / 文化四年二月晦日まで記載 / 一冊(二二丁) / 文化五年二月 / 二七・七×一九・〇 / 豎帳袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙 / 136

0888-26 「蝦夷松前豫備 二十六」(蝦夷松前行程間繕のうち有用の箇条、南部他道中諸城下の物価、船数、職人の状況、仙台藩・会津藩の派兵詳細等) / 一冊(三二丁) / 文化五年二月 / 二七・七×一九・〇 / 豎帳袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙 / 136

0888-27 「蝦夷松前役越後岩船郡役豫備 二十七」(一二三の隊頭等ごとに渡す軍令、諸文書、達書、帳面、図面他) / 一冊(二三丁) / 文化五年二月 / 二七・七×一九・〇 / 豎帳袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙 / 136

0888-28 「蝦夷松前豫備 二十八」(松前と蝦夷地出張の幕臣名簿) / 一冊(二三丁) / 文化五年二月 / 二七・七×一九・〇 / 豎帳袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙 / 136

0888-29 「越後岩船郡豫備 二十九」(寛政九年岩船郡御備につき公儀へ御伺御下知の事、御預所郡奉行等より伺、享和元年渡辺三左衛門へ申渡書他) / 一冊(二五丁) / 文化五年二月 / 二七・七×一九・〇 / 豎帳袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙 / 136

0888-30 「松前御出勢之取調帳 三十」(一二三の手の総費用の勘定) / 一冊(二〇丁) / 文化五年二月 / 二七・七×一九・〇 / 豎帳袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙 / 136

0892 「蝦夷地御堅摺人別帳」写(蝦夷地警備に派遣された会津藩兵一覽) / 一冊(二七丁) / 文化五年閏六月 / 三三・二×二二・一 / 横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙 / 「文化五戊辰年間六月唐太島クシユコタンニテ写之」とあり / 137

0895 毛利方元宛 長尾景保他三名書状(蝦夷松前越後岩船郡御備の諸書を送付、

鷹山の御内慮を別冊とす) / 一通(三紙) / (文化年間カ) 九月一日 / 一五・三×九〇・四 / 切継紙 楮紙 / 権四郎他三名 ↓ 若狭殿 / 以別紙申入候 : 御沙汰致候以上 / 137

軍制—海岸警備—嘉永年間

0844 「御出馬押前御行列」(異船防御の幕命に際し三之手に藩主出陣時の行列書) / 一冊(二二丁) / 嘉永六年一〇月二七日 / 二・二×三二・三 / 横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙 / コ〇本 / 124

0850 「嘉永元年五月七日出張面附」(外国船警備のため越後へ派遣された軍勢の名簿) / 一冊(七丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 一四・七×三七・六 / 横帳 長帳綴 表紙無し 楮紙 / 赤ラベル表記無 / 124

0889-01 「嘉永元異船警備記 天」(外国船越後御領所沖に出現一件につき、軍勢の差向方の取調) / 一冊(九三丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二八・三×一八・五 / 豎帳袋綴冊子装 朱地原表紙 楮紙 / 御役所 御用掛 成田他四名 / カ〇本・一三 林泉文庫 / 三冊、墨付九〇丁、嘉永二年以降の作成 / 137

0889-02 「嘉永元異船警備記 地」(外国船越後御領所沖に出現一件につき、軍勢の差向方の濟口留) / 一冊(九九丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二八・三×一八・五 / 豎帳袋綴冊子装 朱地原表紙 楮紙 / 御役所 御用掛 成田他四名 / 一一三ノ2 林泉文庫 / 三冊、墨付九七丁、嘉永二年以降の作成 / 137

0889-03 「嘉永元異船警備記 人」(外国船越後御領所沖に出現一件につき、諸役場へ達書留) / 一冊(二二四丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二八・四×一八・五 / 豎帳袋綴冊子装 朱地原表紙 楮紙 / 御役所 御用掛 成田他四名 / 一一三ノ3 林泉文庫 / 三冊、墨付一二二丁、嘉永二年以降の作成 / 137

0890 「続異船警備記附文久三江戸警備 完」(外国船越後御領所沖に出現一件につき、軍勢の差向方、人数取調) / 一冊(六五丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二八・五×一八・二 / 豎帳袋綴冊子装 朱地原表紙 楮紙 / イ〇本 一一四 林泉文庫 / 墨付六一丁、五冊合綴、差向方人数取調四冊と江戸有事の軍勢編成、文久三年三月以降の作成 / 137

家臣団統制—先祖書・勤書—元文

0967-101 「先祖書 組離 高家 侍組」(上杉定勝以来、高家衆武田・畠山、本庄組須田他一家) / 一冊(二七二丁) / 元文五年二月 / 二九・七×一九・五 / 豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙 / 143-1146

0967-102 「先祖書 侍組」(上杉定勝以来、中條組山本寺、下條他一家) / 一冊(一四三丁) / 元文五年二月 / 二九・七×一九・五 / 豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙 / 143-1146

0967-103 「先祖書 侍組」(上杉定勝以来、市川組柿崎、岩井他一家) / 一冊(一五七丁) / 元文五年二月 / 二九・七×一九・五 / 豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙 / 143-1146

0967-104 「先祖書 侍組」(上杉定勝以来、安田組二本松、須田他一家) / 一冊(八六丁) / 元文五年二月 / 二九・七×一九・五 / 豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙 / 143-1146

0967-105 「先祖書 侍組」(上杉定勝以来、色部組安田、上松他一家) / 一冊(一〇三丁) / 元文五年二月 / 二九・七×一九・五 / 豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙 / 143-1146

0967-106 「先祖書 奉行 江戸家老 城代 近侍頭 奥取次」(上杉定勝以来、竹俣、千坂他七家) / 一冊(一七五丁) / 元文五年二月 / 二九・七×一九・五 / 豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙 / 143-1146

0967-107 「先祖書 御馬廻 一番組」(上杉定勝以来、本間、長尾他三七家) / 一冊(一一二丁) / 元文五年二月 / 二九・七×一九・五 / 豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙 / 143-1146

0967-108 「先祖書 御馬廻 二番組」(上杉定勝以来、小黒、大橋他三七家) / 一冊(一〇五丁) / 元文五年二月 / 二九・八×一九・五 / 豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙 / 143-1146

0967-109 「先祖書 御馬廻 三番組」(上杉定勝以来、上野、桃井他四三家) / 一冊(一五三丁) / 元文五年二月 / 二九・七×一九・五 / 豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙 / 143-1146

0967-110 「先祖書 御馬廻 四番組」(上杉定勝以来、西堀、古海他三九家)

一冊(一一四丁) / 元文五年二月 / 二九・七×一九・五 / 豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙 / 143-1146

0967-111 「先祖書 御馬廻 五番組」(上杉定勝以来、庄田、関他四二家) / 一冊(二二二丁) / 元文五年二月 / 二九・七×一九・五 / 豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙 / 143-1146

0967-112 「先祖書 五十騎 一番組」(上杉定勝以来、外山、西海枝他四九家) / 一冊(二三九丁) / 元文五年二月 / 二九・七×一九・五 / 豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙 / 143-1146

0967-113 「先祖書 五十騎 二番組」(上杉定勝以来、西方、矢崎他五五家) / 一冊(二四九丁) / 元文五年二月 / 二九・七×一九・五 / 豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙 / 143-1146

0967-114 「先祖書 五十騎 三番組」(上杉定勝以来、上野、上村他五一家) / 一冊(二三〇丁) / 元文五年二月 / 二九・七×一九・五 / 豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙 / 143-1146

0967-115 「先祖書 五十騎 四番組」(上杉定勝以来、志賀、売間他五二家) / 一冊(一七五丁) / 元文五年二月 / 二九・七×一九・五 / 豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙 / 143-1146

0967-116 「先祖書 五十騎 五番組」(上杉定勝以来、樋口、山吉他五二家) / 一冊(二三六丁) / 元文五年二月 / 二九・七×一九・五 / 豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙 / 143-1146

0967-117 「先祖書 与板 一番組」(上杉定勝以来、横田、角他五七家) / 一冊(一四八丁) / 元文五年二月 / 二九・八×一九・五 / 豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙 / 143-1146

0967-118 「先祖書 与板 二番組」(上杉定勝以来、坂田、篠田他五一家) / 一冊(二二八丁) / 元文五年二月 / 二九・七×一九・五 / 豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙 / 143-1146

0967-119 「先祖書 与板 三番組」(上杉定勝以来、沢崎、丸田他四八家) / 一冊(二二六丁) / 元文五年二月 / 二九・七×一九・六 / 豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙 / 143-1146

0967-120 「先祖書 与板 四番組」(上杉定勝以来、中津川、佐藤他五二家)

／一冊(二二九丁)／元文五年一月／二九・七×一九・五／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／143—146

0967—21 「先祖書 与板 五番組」(上杉定勝以来、小幡、大峽他五二家)／一冊(二七四丁)／元文五年一月／二九・六×一九・五／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／143—146

0967—22 「先祖書 猪苗代組」(上杉定勝以来、武沢、関口他五六家)／一冊(六六丁)／元文五年二月／二九・七×一九・五／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／143—146

0967—23 「先祖書 猪苗代組」(上杉定勝以来、上村、小山他六八家)／一冊(七九丁)／元文五年二月／二九・七×一九・六／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／143—146

0967—24 「先祖書 御徒組」(上杉定勝以来、池村、春日他三六家)／一冊(七九丁)／元文五年／二九・八×一九・五／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／143—146

0967—25 「先祖書 御徒組」(上杉定勝以来、小森沢、山田他四五家)／一冊(八二丁)／元文五年二月／二九・七×一九・五／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／143—146

0967—26 「先祖書 組付御扶持方」(上杉定勝以来、下村、鈴木他九一家)／一冊(二七二丁)／元文五年二月／二九・七×一九・五／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／143—146

0967—27 「先祖書 組付御扶持方」(上杉定勝以来、丸山、徳間他八五家)／一冊(二六二丁)／元文五年／二九・七×一九・五／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／143—146

0967—28 「先祖書 組外御扶持方」(上杉定勝以来、今井、豊崎他一〇七家)／一冊(二二二丁)／元文五年一月／二九・七×一九・五／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／143—146

0967—29 「先祖書 組外御扶持方」(上杉定勝以来、足立、大峽他一〇二家)／一冊(二五九丁)／元文五年／二九・七×一九・五／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／143—146

0967—30 「先祖書 組外御扶持方」(上杉定勝以来、吉見、赤井橋他五七家)

／一冊(二二八丁)／元文五年一月／二九・七×一九・五／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／143—146

0967—31 「先祖書 役所 代官 差紙 江戸御納戸 江戸御蔵方」(上杉定勝以来、中村、佐藤他一八家)／一冊(八九丁)／元文五年／二九・七×一九・五／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／143—146

0967—32 「先祖書 出家 沙門」(上杉定勝以来、林泉寺、龍言寺他二九寺院)／一冊(二一七丁)／(元文五年)／二九・七×一九・五／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／143—146

0967—33 「先祖書 御馬乗 御馬医」(上杉定勝以来、山下、西沢他二五家)／一冊(八一丁)／元文五年一月／二九・七×一九・五／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／143—146

0967—34 「先祖書 御使番」(上杉定勝以来、志賀、若林他一〇家)／一冊(六三丁)／元文五年一月／二九・六×一九・五／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／143—146

0967—35 「先祖書 御右筆 御中之間」(上杉定勝以来、相浦、池田他四〇家)／一冊(一八五丁)／(元文五年)／二九・七×一九・五／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／143—146

0967—36 「先祖書 近侍」(上杉定勝以来、桜井、松木他三三家)／一冊(一三五丁)／(元文五年)／二九・七×一九・五／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／143—146

0967—37 「先祖書 大小姓」(上杉定勝以来、佐伯、黒川他四一家)／一冊(九四丁)／(元文五年)／二九・六×一九・五／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／143—146

0967—38 「先祖書 御連枝方附并三田中小姓」(上杉定勝以来、安部、直海他四七家)／一冊(二四八丁)／(元文五年)／二九・七×一九・五／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／143—146

0967—39 「先祖書 大目付 六人年寄 三田御守 留守居 御中之間通」(上杉定勝以来、菰戸、塩井他一五家)／一冊(一〇五丁)／(元文五年)／二九・六×一九・五／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／143—146

0967—40 「先祖書 諸役頭并平御小納戸」(上杉定勝以来、長谷川、片倉他三

九家)／一冊(二二七丁)／(元文五年)／二九・七×一九・五／豎帳 袋綴冊子装
素紙原表紙 楮紙／143—146

0967—41 「先祖書 小国給人御扶持方 研師」(上杉定勝以来、佐藤、丹他三
○家)／一冊(六一丁)／(元文五年)／二九・六×一九・五／豎帳 袋綴冊子装 素
紙原表紙 楮紙／143—146

0967—42 「先祖書 外様法躰」(上杉定勝以来、有壁、中條他一六家)／一冊(七
一丁)／(元文五年)／二九・七×一九・五／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／
143—146

家臣団統制—先祖書・勤書—天明

0968—01 「先祖書 侍組」(元文五年以来、高家衆武田・畠山、本庄組黒川他
一四家)／一冊(二〇二丁)／天明五年一〇月／二九・五×一八・八／豎帳 袋綴冊子
装 素紙原表紙 楮紙／147—148

0968—02 「先祖書 侍組」(元文五年以来、色部組安田他一四家、竹俣組長尾
他二家)／一冊(八五丁)／天明五年一〇月／二九・五×一八・七／豎帳 袋綴冊子
装 素紙原表紙 楮紙／147—148

0968—03 「先祖書 侍組」(元文五年以来、嶋津組二本松他一四家、竹俣組山
本寺他一四家)／一冊(二〇二丁)／天明五年一〇月／二九・四×一八・八／豎帳 袋
綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／147—148

0968—04 「先祖書 御馬廻 一番組 二番組」(元文五年以来、小川、小黒他
三九家)／一冊(二〇六丁)／天明五年一〇月／二九・七×一八・八／豎帳 袋綴冊子
装 素紙原表紙 楮紙／147—148

0968—05 「先祖書 御馬廻 三番組」(元文五年以来、築地、本間他三九家)
／一冊(二〇九丁)／天明五年一〇月／二九・五×一八・八／豎帳 袋綴冊子装 素紙
原表紙 楮紙／147—148

0968—06 「先祖書 御馬廻 四番組 五番組」(元文五年以来、山本、夏井他
八〇家)／一冊(二六三丁)／天明五年一〇月／二九・五×一八・八／豎帳 袋綴冊子
装 素紙原表紙 楮紙／147—148

0968—07 「先祖書 五十騎 一番組 二番組」(元文五年以来、山田、桑原他

九七家)／一冊(二六九丁)／天明五年一〇月／二九・五×一八・七／豎帳 袋綴冊子
装 素紙原表紙 楮紙／147—148

0968—08 「先祖書 五十騎 三番組 四番組」(元文五年以来、小杉、橋爪他
八二家)／一冊(二四九丁)／天明五年一〇月／二九・五×一八・八／豎帳 袋綴冊子
装 素紙原表紙 楮紙／147—148

0968—09 「先祖書 五十騎 五番組」(元文五年以来、登坂、木幡他五二家)
／一冊(八四丁)／天明五年一〇月／二九・五×一八・八／豎帳 袋綴冊子装 素紙原
表紙 楮紙／147—148

0968—10 「先祖書 与板 一番組」(元文五年以来、宇津江、近藤他五五家)
／一冊(九八丁)／天明五年一〇月／二九・五×一八・八／豎帳 袋綴冊子装 素紙原
表紙 楮紙／147—148

0968—11 「先祖書 与板 二番組 三番組」(元文五年以来、塩井、大熊他一
〇七家)／一冊(二四〇丁)／天明五年一〇月／二九・五×一八・八／豎帳 袋綴冊子
装 素紙原表紙 楮紙／147—148

0968—12 「先祖書 与板 四番組 五番組」(元文五年以来、中里、平賀他一
〇四家)／一冊(二五三丁)／天明五年一〇月／二九・四×一八・八／豎帳 袋綴冊子
装 素紙原表紙 楮紙／147—148

0968—13 御記録所「先祖書 奉行 江戸家老 城代」(元文五年以来、千坂、
中條他三家)／一冊(一一四丁)／(天明五年)／二九・五×一八・八／豎帳 袋綴冊
子装 素紙原表紙 楮紙／御記録所／奉行千坂清高が命じ、片山紀兵衛、飯田右門が記
録とあり／147—148

0968—14 「先祖書 御祐筆 御中之間」(元文五年以来、香坂、大河原他四一家)
／一冊(二四九丁)／(天明五年)／二九・五×一八・八／豎帳 袋綴冊子装 素紙原
表紙 楮紙／147—148

0968—15 「先祖書 小国御役屋將 留守居 六人年寄 御中之間通」(元文五
年以來、舟橋、北條他二三家)／一冊(二二六丁)／(天明五年)／二九・四×一八・
八／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／147—148

0968—16 「先祖書 大小姓 御使番」(元文五年以来、嶋田、梅津他四五家)
／一冊(一一〇丁)／(天明五年)／二九・五×一八・八／豎帳 袋綴冊子装 素紙原
表紙 楮紙／147—148

0968-117 「先祖書 御方々御附」(元文五年以来、中牧、浅間他三名家) / 一册(一七六丁) / 天明五年 / 二九・四×一八・八 / 縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙 / 147-148

0968-118 「先祖書 麻布家老 御連枝傳役 近侍頭 奥取次 若殿傳役 近侍」(元文五年以来、須田、本庄他二名家) / 一册(二三〇丁) / (天明五年) / 二九・五×一八・八 / 縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙 / 147-148

0968-119 「先祖書 判所將 諸役頭 御番医師」(元文五年以来、樋口、山本他五名家) / 一册(二三〇丁) / 天明五年一〇月 / 二九・五×一八・八 / 縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙 / 147-148

0980-001 「元文五年以来代々勤書 一」(御厩方、次御勘定他二役) / 一册(二五二丁) / 天明五年一〇月 / 一六・〇×三九・七 / 横帳 長帳綴 素紙原表紙 楮紙 / 154-155

0980-002 「元文五年以来代々勤書 二」(御小納戸組、鮎貝御役屋附御扶持方他四役) / 一册(二二三丁) / 天明五年一〇月 / 一五・三×三八・七 / 横帳 長帳綴 素紙原表紙 楮紙 / 154-155

0980-003 「元文五年以来代々勤書 三」(猪苗代三組) / 一册(二〇七丁) / 天明五年一〇月 / 一五・五×三九・〇 / 横帳 長帳綴 素紙原表紙 楮紙 / 154-155

0980-004 「元文五年以来代々勤書 四」(組外御扶持方) / 一册(三〇四丁) / 天明五年一〇月 / 一五・九×四〇・〇 / 横帳 長帳綴 素紙後補表紙 楮紙 / 154-155

0980-005 「元文五年以来代々勤書 五」(組付御扶持方二組) / 一册(二四三丁) / 天明五年一〇月 / 一五・五×四一・〇 / 横帳 長帳綴 素紙原表紙 楮紙 / 154-155

0980-006 「元文五年以来代々勤書 六」(御徒二組、新御手明四組他二組) / 一册(三〇四丁) / 天明五年一〇月 / 一六・〇×三七・五 / 横帳 長帳綴 素紙原表紙 楮紙 / 154-155

0980-007 「元文五年以来代々勤書 七」(御守組、本御手明組他一役) / 一册(二四五丁) / 天明五年一〇月 / 一五・五×三八・七 / 横帳 長帳綴 素紙原表紙 楮紙 / 154-155

0980-008 「元文五年以来代々勤書 八」(芸者組、外様外科他一〇役) / 一册(一八七丁) / 天明五年一〇月 / 一五・六×三八・三 / 横帳 長帳綴 素紙原表紙 楮紙 / 154-155

0980-009 「元文五年以来代々勤書 九」(御膳部組、御台所組) / 一册(二七二丁) / 天明五年一〇月 / 一五・三×三八・六 / 横帳 長帳綴 素紙原表紙 楮紙 / 154-155

家臣団統制—先祖書・勤書—文化

0979-001 「勤書 高家衆 本庄組」(武田信久、信福他五二名) / 一册(六三三丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・〇×一九・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 150-153

0979-002 「勤書 千坂組 竹俣組」(千坂清高、高谷他七八名) / 一册(九八丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・〇×一八・九 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 150-153

0979-003 「勤書 嶋津組 平林組」(嶋津知忠、親忠他八四名) / 一册(八六丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・〇×一九・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 150-153

0979-004 「勤書 大小姓 御中之間詰 御中之間」(岩井忠重、忠久他二三名) / 一册(一〇七丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・〇×一九・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 150-153

0979-005 「勤書 御馬廻一番組」(益田秀高、秋山信興他二七名) / 一册(八六丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・〇×一八・四 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 150-153

0979-006 「勤書 御馬廻二番組」(武藤正尹、芹沢正利他一〇一名) / 一册(七二丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・〇×一八・八 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 150-153

0979-007 「勤書 御馬廻三番組」(庄田秀副、村山義永他九六名) / 一册(五九丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・〇×一八・六 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 150-153

0979-108 「勤書 御馬廻四番組」(山崎宗盈、石坂政方他一〇〇名) / 一冊(六九丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・〇×一九・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 150-153

0979-109 「勤書 御馬廻五番組」(石口弘充、歌川智次他九三名) / 一冊(六九丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二八・九×一九・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 石口弘充の誤カ / 150-153

0979-110 「勤書 五十騎二番組」(木村高成、笠原好善他一二四名) / 一冊(八五丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・〇×一九・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 150-153

0979-111 「勤書 五十騎二番組」(横田忠恒、山吉盛武他二五名) / 一冊(二〇二丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・〇×一八・七 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 150-153

0979-112 「勤書 五十騎三番組」(栗林頼容、桑原良安他二八名) / 一冊(一〇五丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・〇×一八・八 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 150-153

0979-113 「勤書 五十騎四番組」(売間信政、楡井從元他二六名) / 一冊(一〇九丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・〇×一九・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 150-153

0979-114 「勤書 五十騎五番組」(山吉盛侍、中村利忠他二六名) / 一冊(八四丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・〇×一九・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 150-153

0979-115 「勤書 与板一番組」(立岩則賀、大河原忠昭他二四六名) / 一冊(一三三丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・〇×一九・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 150-153

0979-116 「勤書 与板二番組」(沢田忠利、真野昌忠他二三四名) / 一冊(八九丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・〇×一九・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 150-153

0979-117 「勤書 与板三番組」(高梨頼恭、丸田盛庸他一三〇名) / 一冊(八八丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・〇×一九・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 150-153

0979-118 「勤書 与板四番組」(町田秀忠、静田守忠他一三九名) / 一冊(八八丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・〇×一九・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 150-153

0979-119 「勤書 与板五番組」(中津川秀将、上倉元智他一九九名) / 一冊(六二丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・〇×一九・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 150-153

0979-120 高梨源五郎・中津川次右衛門「勤書 三手一代入」(酒井忠於、駒沢安親他一六名) / 一冊(三二丁) / 文化一四年七月 / 二九・〇×一九・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 高梨源五郎・中津川次右衛門(黒印) / 150-153

0979-121 上村源五郎「勤書 猪苗代長尾組」(上村昆逸、長沢福允他八一名) / 一冊(七六丁) / 文化一四年七月 / 二九・〇×一九・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 五十人頭 上村源五郎 / 150-153

0979-122 浅間蔵造「勤書 猪苗代毛利組」(浅間正高、屋代盛征他七六名) / 一冊(六二丁) / 文化一四年七月 / 二九・〇×一九・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 五拾人頭 浅間蔵造 / 150-153

0979-123 「勤書 猪苗代大石組 年寄猪苗代」(山崎広次、秀周他七六名) / 一冊(八六丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・〇×一九・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 150-153

0979-124 「勤書 平御勘定役 御廟守 通判書 役所支配」(永井是真、政清他六七名) / 一冊(七〇丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・〇×一九・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 150-153

0979-125 「勤書 御小納戸組 御厩方」(高橋運応、佐藤吉次他二一六名) / 一冊(八二丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・〇×一八・九 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 150-153

0979-126 「勤書 差紙役 奉行所御附物書 江戸御家老御附物書 役所日記方 役所留書 江戸役所留書」(片倉貞如、栗林富田他四三名) / 一冊(六一丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・〇×一九・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 150-153

0979-127 「勤書 御勘定頭 御代官 御勘定頭次役 役所役 御代官所元々方 御預所代官 麻布御台所頭」(田中篤忠、浅見忠英他三四名) / 一冊(七六丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・〇×一九・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 1

50—153

0979—28 「勤書 外様法体 外様外科」(仙仁秀茂、秀之他七六名) / 一冊(一〇三丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・〇×一九・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 150—153

0979—29 「勤書 御茶道 御中之間茶道 掃除坊主」(青柳長年、羽鳥信蕃他一〇三名) / 一冊(六八丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・〇×一九・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 150—153

0979—30 「勤書 組附御扶持方 上」(井上寛照、萩不分他一四〇名) / 一冊(一〇九丁) / 文化一四年七月 / 二九・〇×一八・九 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 150—153

0979—31 「勤書 組附御扶持方 下」(登坂代重、大境弥英他二三七名) / 一冊(一〇七丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二八・六×一八・七 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 150—153

0979—32 「勤書 組外御扶持方 上」(町田真乘、石丸富好他一二六名) / 一冊(一三八丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二八・九×一九・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 150—153

0979—33 「勤書 組外御扶持方 中」(桜井重喬、片桐博昌他一二六名) / 一冊(一三三丁) / 文化一四年七月 / 二九・〇×一九・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 150—153

0979—34 「勤書 組外御扶持方 下」(橋爪矩寛、長谷川長行他二二二名) / 一冊(二七二丁) / 文化一四年七月 / 二八・八×一九・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 150—153

0979—35 「勤書 芸者組 御中之間小姓 捕手組 御守組 元御膳部組」(大野豊昌、豊義他二九名) / 一冊(一一二丁) / 文化一四年七月 / 二九・〇×一八・五 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 150—153

0979—36 「勤書 御徒二組」(有野富則、野口隆重他一七五名) / 一冊(九五丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・〇×一九・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 150—153

0979—37 「勤書 本御手明組」(井熊又左衛門、井熊英昔他二八一一名) / 一冊(一五〇丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・〇×一九・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地原

表紙 楮紙 / 150—153

0979—38 「勤書 新御手明二組」(豊野政利、猪俣定行他三〇二名) / 一冊(一四八丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・〇×一九・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 150—153

0979—39 「勤書 奉行同心組上」(山田許置、木村忠吉他一九三名) / 一冊(九五丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・〇×一九・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 150—153

0979—40 「勤書 奉行同心組下 江戸御家老同心組」(平賀政吉、平賀邦守他一八九名) / 一冊(八八丁) / 文化一四年七月 / 二九・〇×一九・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 150—153

0979—41 「勤書 三十人段母衣組」(星作右衛門、星三左衛門他一七三名) / 一冊(八二丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・〇×一九・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 150—153

0979—42 「勤書 御台所組」(渡部充芳、鈴木光高他一一九名) / 一冊(八一丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・〇×一八・二 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 150—153

0979—43 「勤書 御堂俗番組 御金蔵番組 御細工組 金山役人組 御鷹匠」(金沢仁奥、上村国重他一六五名) / 一冊(八八丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・〇×一九・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 150—153

0979—44 「勤書 御作事屋役人組 大工頭 御小細工頭 御小細工頭並 御鞍打」(山口元右衛門、山口保命他六五名) / 一冊(三四丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・〇×一九・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 150—153

0979—45 「勤書 御留守番組」(高井正統、八木満精他七四名) / 一冊(三四丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・〇×一九・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 150—153

0979—46 「勤書 諸御役屋附上 鮎貝御扶持方 荒砥御扶持方 中山御扶持方 同御手明」(和田敏道、上野知昭他一〇四名) / 一冊(七七丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・〇×一九・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 150—153

0979—47 「勤書 諸御役屋附下 糠野目御扶持方 同御手明 小国給人 同御扶持方 同御手明」(野老金豊、野老金明他一一名) / 一冊(八〇丁) / 文化一四年

七月／二九・〇×一九・〇／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／150—153

0979—48 「勤書 諸寺院上 真言宗 曹洞宗 臨濟宗 浄土宗 法華宗」(法音寺、蔵王堂他一六寺住職世代書上)／一冊(九九丁)／江戸後期(年月日未詳)／二八・八×一八・九／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／150—153

0979—49 「勤書 諸寺院下 浄土真宗 修驗 神主」(長命寺、西生寺他一寺住職世代書上、遠藤、戸内他二神職)／一冊(九四丁)／文化一四年七月／二九・〇×一八・三／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／150—153

0979—50 「勤書 外張番組」(増子清左衛門、増子助左衛門他一七七名)／一冊(九三丁)／江戸後期(年月日未詳)／二九・〇×一九・〇／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／150—153

0979—51 「勤書 御弓二組」(古藤源六、古藤木兵衛他二四七名)／一冊(九九丁)／江戸後期(年月日未詳)／二九・〇×一九・〇／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／150—153

0979—52 「勤書 百挺御鉄砲二組」(青木代右衛門、青木央長他二六一名)／一冊(九八丁)／江戸後期(年月日未詳)／二九・〇×一九・〇／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／150—153

0979—53 「勤書 御泊組 御土蔵番組 三十挺御手鎗組」(片桐朝興、片桐源市他二三三名)／一冊(七六丁)／江戸後期(年月日未詳)／二九・〇×一九・〇／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／150—153

0979—54 「勤書 伏願組 角之御蔵番」(中山平左衛門、中山隼人他二三四名)／一冊(八〇丁)／文化一四年七月／二九・〇×一九・〇／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／150—153

家臣団統制—先祖書・勤書—弘化

0981—01 「勤書 高家衆 侍組本庄」(武田信福、武田信順他五五名)／一冊(七五丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・五×一八・〇／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／156—159

0981—02 「勤書 大小姓 御中之間詰 御中之間」(芋川郁太、佐伯重儀他一〇八名)／一冊(八二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・五×一八・一／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／156—159

綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／156—159

0981—03 「勤書 侍組 清野」(清野秀範、安田秀俊他二九名)／一冊(四八丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・五×一八・一／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／156—159

0981—04 「勤書 侍組 平林」(平林正賀、平林正亮他三九名)／一冊(四九丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・五×一八・〇／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／156—159

0981—05 「勤書 侍組 市川」(市川房郷、市川房隆他三六名)／一冊(六三丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・五×一八・〇／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／156—159

0981—06 「勤書 侍組 長尾」(長尾景保、長尾景敏他四三名)／一冊(五三丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・五×一八・〇／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／156—159

0981—07 「勤書 御馬廻一番組」(増岡弘時、増岡直時他八八名)／一冊(六八丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・五×一八・〇／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／156—159

0981—08 「勤書 御馬廻二番組」(高山長敏、北村貞利他八一一名)／一冊(七二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・五×一八・〇／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／156—159

0981—09 「勤書 御馬廻三番組」(瀨下秀美、瀨下秀秋他八九名)／一冊(五七丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・五×一八・〇／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／156—159

0981—10 「勤書 御馬廻四番組」(長秀興、高橋吉雄他七九名)／一冊(六五丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・五×一八・〇／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／156—159

0981—11 「勤書 御馬廻五番組」(富永吉明、大滝知忠他八四名)／一冊(六五丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・五×一八・一／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／156—159

0981—12 「勤書 御馬廻組離」(若林政友、若林秀秋他六七名)／一冊(八二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・五×一八・一／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／156—159

楮紙／156—159

0981—113 「勤書 五十騎一番組」(登坂太包、登坂太愿他一〇五名)／一冊(八一丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・五×一八・〇／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／156—159

0981—114 「勤書 五十騎二番組」(福王寺繁昌、上屋正信他一〇八名)／一冊(八三丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・五×一八・〇／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／156—159

0981—115 「勤書 五十騎三番組」(浅間庄左衛門、小幡兵右衛門他四七名)／一冊(七七丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・五×一八・一／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／156—159

0981—116 「勤書 五十騎四番組」(片桐源之進、高村仙左衛門他九九名)／一冊(八〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・五×一八・二／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／156—159

0981—117 「勤書 五十騎五番組」(清水秀章、安部政儀他一〇八名)／一冊(七〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・五×一八・〇／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／156—159

0981—118 「勤書 五十騎組離」(上村高順、上村維道他七八名)／一冊(一三一丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・五×一八・〇／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／156—159

0981—119 「勤書 与板一番組」(高津景任、高津景林他一一六名)／一冊(七七丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・五×一八・〇／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／156—159

0981—120 「勤書 与板二番組」(板谷胤留、佐野清当他一〇二名)／一冊(六三丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・五×一八・〇／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／156—159

0981—121 「勤書 与板三番組」(棚橋方矩、丸田盛倫他一〇九名)／一冊(七八丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・五×一八・一／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／156—159

0981—122 「勤書 与板四番組」(森長忠、諸橋正定他一〇一名)／一冊(七〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・四×一八・〇／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙

楮紙／156—159

0981—123 「勤書 与板五番組」(窪田茂承、寺島貞政他九二名)／一冊(七四丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・五×一八・一／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／156—159

0981—124 「勤書 与板組離」(登坂政方、登坂政継他八八名)／一冊(一三三丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・五×一八・〇／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／156—159

0981—125 「勤書 組付御扶持方」(町田延秀、町田秀俊他二三〇名)／一冊(一六六丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・四×一八・〇／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／156—159

0981—126 「勤書 組付御扶持方」(佐藤為政、早川方久他二四三名)／一冊(一三三丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・四×一八・一／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／156—159

0981—127 「勤書 組外御扶持方 上」(浅間又左衛門、長沢盛房他一四五名)／一冊(一六五丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・五×一八・〇／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／156—159

0981—128 「勤書 組外御扶持方 中」(佐藤信就、佐藤信貞他一二七名)／一冊(一三三丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・五×一八・一／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／156—159

0981—129 「勤書 組外御扶持方 下」(浅野栄方、浅野直方他一三二名)／一冊(一四三丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・四×一八・〇／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／156—159

0981—130 「勤書 猪苗代毛利組」(北村尚信、佐藤信実他八五名)／一冊(五〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・五×一八・〇／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／156—159

0981—131 「勤書 猪苗代色部組」(平賀長栄、長沢福充他七七名)／一冊(五五丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・五×一八・〇／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／156—159

0981—132 「勤書 猪苗代広居組 年寄猪苗代」(小山広登、高橋邦義他一五四名)／一冊(八四丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・五×一八・〇／豎帳 袋綴冊子装

- 黄茶地原表紙 楮紙／156—159
- 0981—33 「勤書 御小納戸 御厩方」(井熊忠穹、丸山元貞他一二二名)／一冊(八二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・四×一八・〇／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／156—159
- 0981—34 「勤書 御勘定頭 同格 代官 御勘定頭次役 役所役 同格 代官 所元締役 諸普請頭取 御預所代官 支俵御台所改」(窪嶋政常、小林直清他三四名)／一冊(二〇九丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・五×一八・〇／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／156—159
- 0981—35 「勤書 御数寄屋頭 御茶道 御中之間茶道 掃除坊主 作事屋役人 大工頭 御小細工頭 同並 御鞍打」(橋本信善、我妻政成他九七名)／一冊(八一丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・五×一八・〇／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／156—159
- 0981—36 「勤書 差紙役 御附物書 役所日記方 同留書 江戸役所留書」(上野高寛、上野高康他四〇名)／一冊(五五丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・五×一八・〇／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／156—159
- 0981—37 「勤書 外様法体 外様外科」(水野秀文、水野光寿他七九名)／一冊(一〇八丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・五×一八・〇／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／156—159
- 0981—38 「勤書 芸者組 御中之間小姓 御守組 同格 元御膳部組」(大野豊義、大野豊明他二〇名)／一冊(九三丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・五×一八・一／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／156—159
- 0981—39 「勤書 三手一代入」(江部政典、佐藤義信他一一一名)／一冊(三二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・五×一八・一／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／156—159
- 0981—40 「勤書 奉行附同心 上」(片桐博昌、片桐長通他八三名)／一冊(一〇二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・五×一八・〇／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／156—159
- 0981—41 「勤書 奉行附同心 下 江戸御家老同心」(神尾満福、田中盛吉他九九名)／一冊(九九丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・五×一八・〇／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／156—159
- 0981—42 「勤書 平御勘定 役所支配 捕手 役所支配 通判書」(藤田信芳、藤田信年他七六名)／一冊(八〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・五×一八・〇／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／156—159
- 0981—43 「勤書 御堂俗番 御金蔵番 御坪役 御細工組 金山役人 御鷹匠」(上村昌豊、林邦連他二〇名)／一冊(六二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・五×一八・一／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／156—159
- 0981—44 「勤書 新手明」(永井行徳、永井福秀他三〇九名)／一冊(二五九丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・五×一八・〇／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／156—159
- 0981—45 「勤書 本手明 御廟守」(丸山益光、平井征信他二九九名)／一冊(一五一丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・五×一八・〇／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／156—159
- 0981—46 「勤書 御台所組」(大津吉孝、大津嘉時他一一二名)／一冊(七六丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・五×一八・一／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／156—159
- 0981—47 「勤書 御徒二組」(大峽敦宴、山田豊方他二六二名)／一冊(一〇一丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・五×一八・〇／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／156—159
- 0981—48 「勤書 諸役屋附 糠目 小国」(福嶋政賀、野老令明他一〇四名)／一冊(九六丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・五×一八・一／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／156—159
- 0981—49 「勤書 諸役屋附 鮎貝 荒砥 中山」(上野知昭、上野淑昭他一〇九名)／一冊(七八丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・五×一八・〇／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／156—159
- 0981—50 「勤書 伏嗅組 角御蔵番組」(市川朝良、長谷川信高他一〇六名)／一冊(六〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・五×一八・一／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／156—159
- 0981—51 「勤書 御泊組 御土蔵番組 三十挺御鎗組」(田村朴忠、大滝長政他一〇八名)／一冊(四二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・五×一八・一／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／156—159

0981-52 「勤書 百挺御鉄砲二組」(霜柿綱広、霜柿有綱他七九名)／一冊(八七丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・五×一八・一／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／156-159

0981-53 「勤書 御弓二組」(加賀吉孝、加賀吉清他一七五名)／一冊(七〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・五×一八・一／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／156-159

0981-54 「勤書 外張番組」(上村式軌、佐藤信孝他九五名)／一冊(二〇八丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・五×一八・〇／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／156-159

0981-55 「勤書 会所番 両辻番」(田中正信、田中正儀他二七四名)／一冊(一〇八丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・五×一八・一／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／156-159

0981-56 「勤書 段母衣組 御留守番組」(鑓保泊、安部最福他二三三名)／一冊(七五丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・五×一八・一／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／156-159

0981-57 「勤書 諸寺院 神職」(法音寺慈延良興、門城周盛他一二二名)／一冊(七五丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・五×一八・〇／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／法音寺、大乘寺他三寺、遠藤、戸内二神職／156-159

家臣団統制—先祖書・勤書—年代未詳等

0969 「米府侍組由緒 一」(武田他の計四二家、高家衆と侍組)／一冊(八一丁)／江戸後期(年月日未詳)／一八・八×一四・八／豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／三六 羽前米沢市林泉寺町伊佐早謙・□□自□／裏表紙内側に二冊之内 鮎川とあり／149

0970 今井兵右衛門・池田仁右衛門「組外御扶持方由緒書古実書上申帳」／一冊(一三丁)／明和六年一〇月八日／一四・七×三八・二／横帳 長帳綴 素紙後補表紙 楮紙／今井兵右衛門・池田仁右衛門／ク〇本／149

0972-01 「米藩輕輩履歴」(江戸初期、嘉永年間、高橋家他、藩医、絵師等一七家分)／一冊(二七丁)／江戸後期(年月日未詳)／一五・三×三六・五／横帳 長帳綴 表紙無し 楮紙／0972-01、02合綴／作成年代は嘉永、安政年間

頃カ、貼紙に墨書「米藩輕輩履歴」あり／149

0972-02 「米藩輕輩履歴」(江戸初期、天保・嘉永年間、高橋玄迪家他、藩医五家分)／一冊(七丁)／江戸後期(年月日未詳)／一五・〇×三六・五／横帳 長帳綴 表紙無し 楮紙／0972-01、02合綴／作成年代は嘉永、安政年間頃カ、高橋・堀内・富沢・細野・葦科・上村家／149

0974-01 「米府諸士伝 卷之上」(武田家他二四家の勤仕由緒)／一冊(八六丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・〇×一五・七／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／林泉文庫・東臯蔵書／149

0974-02 「米府諸士伝 卷之中」(下條家他三九家の勤仕由緒)／一冊(八三丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・〇×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙 楮紙／林泉文庫・東臯蔵書／149

0974-03 「米府諸士伝 卷之下」(春日家他一九家の勤仕由緒)／一冊(四一丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・〇×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙 楮紙／読史堂主謙／林泉文庫・東臯蔵書／末尾に明治二九年一〇月付で、誤謬が多いとする伊佐早謙の朱書書込あり／149

0975-01 「上杉藩諸士先祖書 一」(竹俣当綱、莅戸善政、竹俣義秀等の伝記、白井長尾氏他の勤仕由緒の草稿)／一冊(九四丁)／江戸後期(年月日未詳)／二四・八×二九・〇／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／エ〇本／0975はいずれも寸法の異なる複数の草稿を合綴、法量は表紙を採録／149

0975-02 「上杉藩諸士先祖書 二」(飯沼、黒金、本庄、直江他、主に侍組各家の勤仕由緒の草稿)／一冊(一一八丁)／江戸後期(年月日未詳)／二四・八×二〇・三／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／149

0975-03 「上杉藩諸士先祖書 三」(上杉勝延の行、風俗志・礼節志・芸芸伝、高津兵三郎他の伝記、勤仕由緒の草稿)／一冊(一〇六丁)／江戸後期(年月日未詳)／二四・一×二五・五／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／149

家臣団統制—分限帳—越後・会津時代

0529 北村言矩筆「旧職備考」写(長尾氏の系譜、謙信・景勝・定勝代の家臣名簿各種)／一冊(五一丁)／弘化四年五月二五日／一四・六×一八・〇／横半帳 長帳綴 黄茶地原表紙 楮紙／九 御記録所／岩井忠尽の所蔵本を北村言矩が書写した旨の寺島

貞経の識語あり／078

0944 片倉茂満筆「直江支配長井郡 分限帳 全」写（慶長五年に直江兼統支配下にあった与板衆他と、会津時代における上杉領各地の支城衆）／一冊（五三丁）／江戸中期（年月日未詳）／一五・三×二四・四／横帳 長帳綴 縹地後補表紙 楮紙／片茂満（黒印）／フ〇本／元禄・宝永期の切継紙を利用、片倉茂満は正徳元年一〇月二一日家督／139

1081 「秘函 永正永禄間記 永禄十年馬上帳 天正三年軍役帳」（上杉家家臣団の名簿や軍役、角御藏の赤筆笥と小川秀実の所蔵本から書写）／一冊（六三丁）／嘉永二年六月一〇日／二三・六×一五・五／縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／甲第四入号古文書匣□□経巻佛像□□永正永禄間記永正十年馬上記天正三年軍役帳 倉庫階下書□上杉伯爵家蔵書／三点の書写を合綴し製本、全点に（寺島）貞経の識語あり、「永正永禄間記」は嘉永五年遠藤盛孝写、「永禄十年馬上帳」は嘉永五年田中篤孝写、「天正三年軍役帳」は嘉永二年田中篤孝写／167

1082 遠藤盛孝筆「上田土籍 附三扶持方新神明百挺」写（上田長尾家家臣および慶長年間の扶持取家臣の分限帳）／一冊（五六丁）／嘉永三年／一四・一×一八・三／横半帳 長帳綴 浅葱地原表紙 楮紙／御記録所／下小口「上田土籍」の墨書あり、末尾に寺島貞経の識語あり／167

1083 登坂高尚筆「古代土籍」写（越後時代における上杉家家臣の名簿）／一冊（五二丁）／安政六年二月二三日／一四・六×一八・五／横半帳 長帳綴 茶地原表紙 楮紙／御記録所／下小口に「古代土籍」の墨書あり、末尾に寺島貞経の識語あり／167

1084 山吉盛実筆「越国諸土面附」写（越後時代の上杉家家臣の名簿と役付け）／一冊（九九丁）／江戸後期（年月日未詳）／一四・五×一八・四／横半帳 長帳綴 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／御記録所／墨付九八丁、下小口に「越国諸土」の墨書あり、末尾に寺島貞経の識語あり／167

1085 「越後分限帳」写／一冊（四〇丁）／江戸後期（年月日未詳）／二三・五×一五・四／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／御記録所／墨付三九丁、1081と同時期の書写カ／167

1086 「越後会津米沢間書」越後時代の城持ち家臣、会津時代の主要家臣の分限帳、元和八年の山形城受取の際の「御勢遣」人数他）／一冊（二四丁）／江戸前期（年月日未詳）／一四・六×一八・三／横半帳 長帳綴 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／乾・□□／裏打あり／表紙は紙背を利用、表紙後補表紙の外題は「古臣集 最上御勢遣 古御通帳」／167

1087-101 「文禄三甲午歳定納員数目録 上」写／一冊（四八丁）／嘉永四年六月一八日／一四・二×一八・〇／横半帳 長帳綴 共紙原表紙・浅葱地後補表紙 楮紙／御記録所／下小口に「文禄三年上」の墨書あり、末尾に寺島貞経の識語あり／168

1087-102 小幡忠敬筆「文禄三甲午歳定納員数目録 下」写／一冊（五二丁）／嘉永三年九月三日／一四・二×一八・〇／横半帳 長帳綴 共紙原表紙・浅葱地後補表紙 楮紙／御記録所／下小口「文禄三年下」の墨書あり、末尾に寺島貞経の識語あり／168

1088 「慶長五年直江支配」写（上杉家家臣の分限帳、会津時代の城代、慶長九年の御馬廻組・五十騎組の名簿）／一冊写（七一丁）／江戸後期（年月日未詳）／一四・一×一八・一／横半帳 長帳綴 茶地原表紙 楮紙／御記録所／下小口に「慶長五年」の墨書あり／168

1089 片倉茂満筆「慶長五直江支配分限帳」写（慶長五年時の直江兼統支配の長井郡に知行を有する上杉家家臣分）／一冊（二四丁）／江戸中期（年月日未詳）／一四・八×二〇・九／横半帳 紙釘装 共紙原表紙 楮紙／片倉茂満筆／貴ケ◎本 林泉文庫／1088「慶長五年直江支配」の前半と同一内容、料紙は紙背を使用、表紙に「林泉書院修史用書 丁亥七月旬片倉清見君所贈 岩山謙記」の朱書あり／168

家臣団統制—分限帳—江戸前期

0945 「米沢御引移後分限帳」写（侍衆他の米沢藩士及び肝煎・職人や寺社まで）／一冊（六四丁）／江戸後期（年月日未詳）／二九・五×一八・四／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・灰地後補表紙 楮紙／御記録所／後補の題箋に「寛永八年分限帳」とあるが年代比定の根拠不明／139

0946 山吉盛実筆「寛永廿一年 御扶持方帳」写（寛永二十一年御扶持方衆・御歩行衆他）／一冊（三九丁）／嘉永四年五月／一四・五×一八・四／横半帳 長帳綴 共紙原表紙・黄茶地後補表紙 楮紙／山吉盛実／御記録所／寛保三年七月に書写した物を嘉永四年五月山吉盛実が書写、（寺島）貞経の識語、万年筆の書込あり／139

0948 「正保四年分限帳」写（侍組他の藩士及び肝煎・職人や寺社まで）／一冊（六〇丁）／江戸後期（年月日未詳）／一四・五×一八・四／横半帳 長帳綴 黄茶地原表紙 楮紙／御記録所／139

0949 「慶安元年分限帳」写(侍組他の藩士及び肝煎・職人や寺社まで)／一冊(八四丁)／天保癸卯(天保一四年)三月二五日／一四・二×一八・九／横半帳 長帳綴 浅葱地原表紙 楮紙／御記録所／河田信親が写したものを平賀享吉が所持していた旨の記載あり／139

0950 「御家知行捻帳」写(侍組他、肝煎・職人や寺社他、慶安二年一二月の分限帳)／一冊(七七丁)／弘化丙午(弘化三年)／一四・一×一八・一／横半帳 長帳綴 縹地原表紙 楮紙／御記録所／宝曆三年に河田信親が写したものを天保一四年に書写後、弘化三年書写、榎旧光美本を書写／139

0951 遠藤盛孝筆「寛文三年分限帳」写(侍組他の藩士及び町方役人・寺社他)／一冊(九一丁)／慶応三年六月／一四・九×一九・一／横半帳 長帳綴 茶地原表紙 楮紙／遠藤盛孝／御記録所／139

0952 「寛文九年分限帳」写(侍組他の藩士及び大工頭・鉄砲頭他)／一冊(六〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／一四・四×一八・五／横半帳 長帳綴 黄茶地原表紙 楮紙／御記録所／体裁・筆跡など0948に似る／139

0953 色部隆長筆「景勝公御時代分限帳」写(侍組他の藩士及び肝煎・職人や寺社まで)／一冊(一一四丁)／元禄一七年三月六日／二九・一×一八・二／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／色部弥三郎／ラベルはがれ跡あり 林泉文庫／0945と同じくいわゆる「寛永八年分限帳」の写本／139

0983 「承応二年差紙帳」(大小姓衆以下、中間までの組衆ごとの藩士姓名と知行扶持高)／一冊(七六丁)／江戸後期(年月日未詳)／一四・二×一八・三／横半帳 長帳綴 茶地原表紙 楮紙／御記録所／0984と書式・表紙・料紙等が酷似／160

0984 明暦元年差紙帳(大小姓衆以下、三手組扶持方、手明鉄砲衆までの組衆ごとの藩士姓名と知行扶持高)／一冊(二五二丁)／江戸後期(年月日未詳)／一四・二×一八・二／横半帳 長帳綴 茶地原表紙 楮紙／御記録所／表紙の題箋欠損、末尾に文久元年三月に(登坂)高尚が校合した旨の記載あり／160

1023 「侍組祿席掌故」(慶長一二年二月侍衆知行附)「慶長一十九年大坂御陣供奉之侍衆」他六項目)／一冊(二八丁)／江戸後期(年月日未詳)／一四・五×一八・二／横半帳 長帳綴 白茶地後補表紙 楮紙／御記録所／163

家臣団統制—分限帳—江戸中期

0947 「諸組御知行帳」写(侍組他の藩士及び肝煎・職人や寺社まで)／一冊(四二丁)／享保一八年二月七日／一四・九×一九・一／横半帳 長帳綴 素紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／紙背利用のため種々楮紙を使用／139

0954 「享保九年三手分限帳」写(御馬廻組、新小姓、五十騎組、五十騎組新小姓、御役料被下候者)／一冊(五二丁)／江戸後期(年月日未詳)／一四・二×一八・二／横半帳 長帳綴 縹地原表紙 楮紙／御記録所／墨付四八丁、江戸後期カ／139

0955 「家中分限帳」(享保一〇年に国目付本田兵部・島井久太夫へ提出分)／一冊(二二四丁)／(享保一〇年)／二九・九×二〇・三／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／御記録所／提出者は上杉宗憲、裏表紙裏に寛文四年時における米沢藩家中の知行総高を記した貼紙あり／140

0956 「延享二年 分限帳 上」(知行取を中心とした中級藩士以上、下を欠く)／一冊(三四〇丁)／延享二年／三一・三×二〇・九／縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／御記録所／0957-101の正本か／140

0957-101 「延享二年 分限帳 上」(知行取を中心とした中級藩士以上)／一冊(三四〇丁)／延享二年／三一・八×二一・一／縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／裏打あり／0956の副本か／140

0957-102 「延享二年 分限帳 下」(主に扶持方他の下級藩士・女中・坊主・下男・寺社領等を含む)／一冊(二七九丁)／延享二年／三二・八×二一・二／縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／フ本／一部裏打あり／墨付二七八丁、副本か／140

0958 「分限帳」(中級藩士以上を収録、一部は姓や先祖の出身地・年齢・家督相続の年月日他を注記)／一冊(二七四丁)／安永二年一〇月／一六・二×二四・二／横帳 長帳綴 素紙原表紙 楮紙／フ〇本・九四 御記録所・林泉文庫／墨付一七三丁、九四ラベルに「二」のゴム印あり、「本庄弥次郎組」の部分に「安永四年歳付」と注記された姓名書を貼付／140

0965 「家中分限帳」(高家衆から諸役頭等、記載方法・人名他から享保一〇年に国目付へ提出の控と推測)／一冊(二〇〇丁)／江戸中期(年月日未詳)／三一・四×二二・三／縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／0955「御家中分限帳」と体裁や人名と俸禄がほぼ一致、「享保十三年より寛保元年の間の物と思われる 昭五五・三・六」とのメモ一点挟込／142

0986 「安永七年諸役面附 完」(郷村出役、御作事屋他、中下級役人八七四人)／一冊(一一九丁)／安永七年／一四・〇×一八・四／横半帳 長帳綴 共紙原表紙・黄茶地後補表紙 楮紙／御記録所／裏表紙穴あき／墨付一一二丁、本文中には年代を特定できる文言はなく後補表紙の題箋により判断／160

家臣団統制—分限帳—江戸後期

0523 「三摺一覽」(文政年間の米沢藩士分限帳及び献上物の格式、序列、役職他)／一冊(四九丁)／江戸後期(年月日未詳)／九・二×一七・八／横半帳 長帳綴 白茶地原表紙 斐紙／サ本 窪田蔵書／078

0610 「文化十年帳 上」(侍組の序列と分限帳、安永～文政年間の奉行他八五の藩役職の任免一覽)／一冊(五九丁)／文化一三年三月／一五・八×二〇・六／横半帳 長帳綴 白茶地原表紙 楮紙／御記録所／貼紙多数、文化一三年から文政年間にかけての変更点を付箋で補記／094

0959 小黒長三郎筆「寛政九年二月 分限帳」写(仰馬廻組以下の主に中級藩士)／一冊(八〇丁)／寛政一〇年二月／一四・九×一九・二／横半帳 長帳綴 茶地原表紙 楮紙／小黒長三郎／一部裏打あり／墨付七九丁／140

0960-01 「寛政九年 分限帳 上」(米沢新田藩や藩主一族を含む、主に中級藩士以上)／一冊(二三九丁)／寛政九年／二五・八×一八・二／縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／フ〇本 林泉文庫・羽前米沢市林泉寺町伊佐早謙／剥離したものを含む付箋多数、年齢を注記／141

0960-02 「寛政九年 分限帳 中」(御小納戸、御厩方以下、諸職人、諸下役、寺社、女中他)／一冊(二八五丁)／寛政九年／二五・八×一八・五／縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／林泉文庫・羽前米沢市林泉寺町伊佐早謙／中扉と表紙を貼り合わせている／141

0960-03 「寛政九年 分限帳 下」(本御手明、御廟役以下、鉄砲組、鎗組、弓組、研師、御下男他)／一冊(二三九丁)／寛政九年／二五・九×一八・五／縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／林泉文庫・羽前米沢市林泉寺町伊佐早謙／141

0961-01 「文化六年二月 分限帳 上」(中級藩士以上、年齢の注記あり)／一冊(二三九丁)／文化六年二月／二四・七×一九・二／縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／フ〇本／裏打あり／一部補修あり、中扉に「上 歳附 御役所分」の文字とともに所持人と思われる「本川」の記載あり／141

0961-02 「文化六年二月 分限帳 中」(小納戸・厩方・蔵番等の諸役人や社領・女中他、年齢の注記あり)／一冊(二九三丁)／文化六年二月／二四・六×一九・五／縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／裏打あり／一部補修あり、一部に付箋あり／141

0961-03 「文化六年二月 分限帳 下」(手明以下、同心・足軽・職人他、年齢の注記あり)／一冊(二四二丁)／文化六年二月／二四・七×一九・六／縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／裏打あり／一部補修の表紙に「九」の墨書のみ残った付箋剥がれあり、一部に付箋あり／141

0962 役人調帳(主な役職・姓名、三手組の一部の分限帳等、元治～明治元年の情報を追記)／一冊(六九丁)／江戸後期(年月日未詳)／九・七×一八・六／横半帳 長帳綴 縹地原表紙 楮紙／林泉文庫／墨付三九丁／141

0963-01 「慶応元年 分限帳 上」(中級藩士以上、年齢・家督相続年月の注記あり)／一冊(一四三丁)／慶応元年／二四・一×一九・六／縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／142

0963-02 「慶応元年 分限帳 中」(小納戸・厩方・蔵番他諸役人・寺社領・女中他、年齢及び家督相続年月の注記あり)／一冊(二九二丁)／慶応元年／二四・二×一九・六／縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／142

0963-03 「慶応元年 分限帳 下」(手明以下、同心・足軽・職人他、年齢・家督相続年月の注記あり)／一冊(二八八丁)／慶応元年／二四・六×一九・七／縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／142

家臣団統制—分限帳—近代

0966 桜幸盛「与板分限帳」(与板組、年齢・家督相続年月の注記あり)／一冊(二〇丁)／近代(年月日未詳)／二・五×一六・二／横半帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／桜幸盛／林泉文庫／表紙に「明治元年十二月校正」と墨書あるが、本文の家督相続年月には明治二年二月の記載あり／142

0964-01 「明治二年 大隊推 分限帳 上」(近習、役人、手明・足軽・職人・下男他、年齢・家督相続年月の注記あり)／一冊(二八〇丁)／明治二年／二四・三×一九・四／縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／142

0964-02 「明治二年 大隊推 分限帳 中」(一之大隊・二之大隊・三之大隊の分、年齢・家督相続年月の注記あり)／一冊(二一四丁)／明治二年／二四・一×一九・五／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／142

0964-03 「明治二年 大隊推 分限帳 下」(四之大隊・五之大隊・六之大隊・大砲隊・雷撃隊、遊撃隊の分、年齢・家督相続年月の注記あり)／一冊(三三九丁)／明治二年／二四・二×一九・七／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／142

家臣団統制—諸役任免一覧—御役成勤式

0522-01 「御役成勤式 卷二」(奉行職に関する職制及び先例集)／一冊(一〇三丁)／江戸中期(年月日未詳)／二三・四×一五・二／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／御記録所／0522-01-09 帙入り／墨付一〇二丁／078

0522-02 「御役成勤式 卷二」(江戸家老、侍頭に関する職制・先例集)／一冊(八六丁)／江戸中期(年月日未詳)／二三・五×一五・二／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／御記録所／0522-01-09 帙入り／墨付八二丁／078

0522-03 「御役成勤式 卷三」(御城代、諸境御役屋將、奥御取次、督学、大目付に関する職制及び先例集)／一冊(五八丁)／江戸中期(年月日未詳)／二三・五×一五・三／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／御記録所／0522-01-09 帙入り／墨付四九丁／078

0522-04 「御役成勤式 卷四」(御傳役他の近習と、米沢新田藩主家の家老、御用人、御留守居に関する職制及び先例集)／一冊(七〇丁)／江戸中期(年月日未詳)／二三・五×一五・二／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／御記録所／0522-01-09 帙入り／墨付五七丁、防虫剤を包んだと思われる明治八年二月二七日付金五〇銭の受取書挟込あり／078

0522-05 「御役成勤式 卷五」(三宰配頭、三手三十人頭、同諸物頭、伏囃頭、板谷將、新小姓頭に関する職制及び先例集)／一冊(一一七丁)／江戸中期(年月日未詳)／二三・四×一五・二／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／御記録所／0522-01-09 帙入り／墨付一一一丁／078

0522-06 「御役成勤式 卷六」(中之間年寄、御留守居、郡奉行、宗門奉行、御小道具頭、御預所郡奉行、儒者他に関する職制及び先例集)／一冊(七七丁)／江戸中期(年月日未詳)／二三・五×一五・二／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／御記録所／0522-01-09 帙入り／墨付六五丁／078

0522-07 「御役成勤式 卷七」(大小姓番頭、御使番、御右筆、御中之間番頭に関する職制及び先例集)／一冊(四四丁)／江戸中期(年月日未詳)／二三・五×一五・三／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／御記録所／0522-01-09 帙入り／墨付三五丁／078

0522-08 「御役成勤式 卷八」(判所將、御勘定頭、江戸御納戸頭、御作事屋頭、金山奉行他に関する職制及び先例集)／一冊(七三丁)／江戸中期(年月日未詳)／二三・四×一五・三／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／御記録所／0522-01-09 帙入り／墨付五五丁／078

0522-08-01 「覚書」(徳間逸八と富井又左衛門に先祖書清書のため御記録所勤務を命ずる)／一通(一紙)／江戸後期(年月日未詳)／一五・〇×七・三／小切紙 楮紙／安永三年二月：旗竹役筆被仰付／0522-01-09 帙入り／0522-08に挟込、他の史料から混入カ／078

0522-09 「御役成勤式 卷九」(御小納戸頭、御台所頭、御生飯役、旅作事、各屋敷將、御附馬上、役所役他に関する職制及び先例集)／一冊(六六丁)／江戸中期(年月日未詳)／二三・五×一五・三／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／御記録所／0522-01-09 帙入り／墨付四八丁／078

家臣団統制—諸役任免一覧—代徭集

0515-01 「代徭集 諸御使者」(幕府、朝廷他へ派遣した使者を一一の項目にわけ、派遣した年月と名前を列記)／一冊(九四丁)／江戸後期(年月日未詳)／一三・三×一七・九／横半帳 長帳綴 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／墨付五八丁、見出紙あり／074

0515-02 「代徭集 侍組 奉行今諸役屋將迄」(奉行・江戸御家老他一九の役職に就いた者の一覧)／一冊(一〇九丁)／江戸後期(年月日未詳)／一三・二×一七・九／横半帳 長帳綴 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／墨付七五丁、江戸後期にまとめられたものに明治初期に一部加筆、見出紙あり／074

0515-03 「代徭集 御馬廻」(御馬廻宰配頭、各足輕組頭等御馬廻組関係の頭の一覧)／一冊(七五丁)／江戸後期(年月日未詳)／一三・三×一八・〇／横半帳 長帳綴 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／墨付六〇丁、原表紙には「御馬廻馬上并信小姓頭共二」「堀江清治 清書済」とあり／074

0515-04 「代儀集 五十騎」(五十騎組宰配頭、三十人頭、各足輕組頭、新小姓頭等五十騎組関係の頭の一覽)／一冊(八一丁)／江戸後期(年月日未詳)／一三・二×一七・九／横半帳 長帳綴 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／墨付六八丁、見出紙あり／074

0515-05 「代儀集 与板」(与板組組宰配頭、三十人頭、御鉄砲大筒組頭、各足輕組頭、伏見頭等与板組関係の頭の一覽)／一冊(九九丁)／江戸後期(年月日未詳)／一三・二×一七・八／横半帳 長帳綴 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／墨付七七丁、原表紙に「与板書入済」とあり／074

0515-06 「代儀集 諸役頭組離」(御堂御守、大町判所將他二四の役職任命一覽)／一冊(一七〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／一三・二×一七・七／横半帳 長帳綴 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／墨付八七丁、原表紙に「再閱」とあり、見出紙あり、明治初期に一部加筆／074

0515-07 「代儀集 諸役頭組附并御扶持方御役人」(会谈所勤、桜田御屋敷將他二九の役職任命一覽)／一冊(一五八丁)／江戸後期(年月日未詳)／一三・一×一八・〇／横半帳 長帳綴 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／墨付一〇五丁、見出紙あり／074

0515-08 「代儀集 麻布御代々并御連枝様附并御医者・御小坊主・御目付共御前様御□属」(御鉄砲改役・御厥方奉行他一三二の役職任命一覽)／一冊(二〇〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／一三・二×一七・九／横半帳 長帳綴 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／墨付一二二丁、見出紙あり、明治初期に一部加筆／074

0515-09 「代儀集 御近習」(上杉定勝から齊定までの近習、御膳番他二七の役職任命一覽)／一冊(二二七丁)／江戸後期(年月日未詳)／一三・一×一七・八／横半帳 長帳綴 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／墨付八四丁、原表紙に「書統済再閱」とあり、明治初期に一部加筆／074

0515-09-01 「若殿様御用人」(若殿様御用人・御同所様御側役の任命一覽)／一冊(二二丁)／江戸後期(年月日未詳)／一三・一×一六・三／横半帳 長帳綴 表紙無し 楮紙／0515-09に挟込／074

0515-10 「代儀集 御中之間四組 京都御留守居」(大小姓組頭・御使番・御右筆筆頭他九の役職任命一覽)／一冊(二二〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／一三・二×一七・八／横半帳 長帳綴 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／墨付一四七丁、右筆吟味方・御記録方・御日帳方も記載、見出紙あり、原表紙に「代儀集」とあり、明治初期に一部加筆／074

0515-11 「代儀集 御中之間通」(御徒小姓百人組頭・御奏者番・諸司代他二五の役職任命一覽)／一冊(一〇八丁)／江戸後期(年月日未詳)／一三・一×一八・一／横半帳 長帳綴 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／墨付七〇丁、原表紙に「再閱」とあり、明治初期に一部加筆／074

0515-12 「代儀集 福島馬上他」(福島馬上・生善院中小姓他二〇の役職任命一覽)／一冊(四四丁)／江戸後期(年月日未詳)／一三・三×一八・一／横半帳 長帳綴 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／墨付三九丁／074

0516 「代儀集 乾」(侍組・御馬廻組・御新小姓頭他一九の役職任命一覽)／一冊(二一六丁)／元文三年三月一五日／二四・一×一八・八／横半帳 長帳綴 共紙原表紙・縹地後補表紙 楮紙／資輔(花押)／墨付一二二丁／074

0517 「代儀集 一侍組御役附」(奉行職兼郡代・江戸家老・中老他一七の役職任命一覽)／一冊(九〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／一四・五×一九・三／横半帳 長帳綴 浅葱地後補表紙 楮紙／林泉文庫・毛利蔵書／墨付六二丁／074

0518 「仕職儀集」(奉行職以下諸職任命一覽)／一冊(三八丁)／嘉永六年九月／二三・五×一五・六／縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／田中篤孝／御記録所／墨付三七丁、原書の選者不明にて、享保一五年一二月に平林恒広が写し、嘉永六年九月に田中篤孝によってさらに写しを作成／074

家臣団統制—諸役任免一覽—紹襲録

0519-01 「紹襲録」一(奉行、権大参事、江戸御家老、江戸家老格)／一冊(八二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・〇×一八・四／縦帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／御記録所／墨付五三丁／075-077

0519-02 「紹襲録」二(侍頭六組の歴史的経緯と歴代補任者)／一冊(六一丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・〇×一八・三／縦帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／御記録所／墨付四六丁／075-077

0519-03 「紹襲録」三(中老、城代、郡代、奥取次役他)／一冊(八五丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・〇×一八・三／縦帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／御記録所／墨付六六丁／075-077

0519-04 「紹襲録」四(鮎貝、荒砥、中山、高島、糠野目小国の各役屋將)／一冊(六八丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・〇×一八・四／縦帳 袋綴冊子装

白茶地原表紙 楮紙／御記録所／墨付四六丁／0751077

0519105 「紹襲録」五(福島城代、福島奉行、信夫町奉行、福島馬上、梁川城代他)／一冊(五七丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・〇×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／御記録所／墨付五六丁／0751077

0519106 「紹襲録」六(上杉景勝から綱勝までの近習総支配、小姓番頭他二二件)／一冊(一一〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・〇×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／御記録所／墨付一〇八丁／0751077

0519107 「紹襲録」七(上杉綱憲、宗憲の小姓頭、傅役他二九件)／一冊(八一丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・〇×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／墨付七八丁／0751077

0519108 「紹襲録」八(上杉宗房、重定の小姓頭、側役他二三件)／一冊(一〇二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・〇×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／墨付九八丁／0751077

0519109 「紹襲録」九(上杉鷹山、治広、顕孝の小姓頭、側役他二九件)／一冊(九六丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・〇×一八・五／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／墨付九三丁／0751077

0519110 「紹襲録」十(上杉齊定、茂憲の小姓頭、傅役他二七件)／一冊(二九丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・二×一八・五／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／墨付九二丁／0751077

0519111 「紹襲録」十一(上杉綱勝から茂憲までの御前様御附、医師他二二件)／一冊(八七丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・〇×一八・五／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／御記録所／墨付六〇丁／0751077

0519112 「紹襲録」十二(上杉徳姫から清姫、定勝から齊憲側室、千寿院、勝庸の傅役、中小姓他三五件)／一冊(一〇五丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・〇×一八・五／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／御記録所／墨付一〇〇丁／0751077

0519113 「紹襲録」十三(上杉徳松、憲孝、勝延、信謹等の傅役等近習三〇件)／一冊(一一七丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・〇×一八・五／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／御記録所／墨付九〇丁／0751077

0519114 「紹襲録」十四(米沢新田藩主家 上杉勝周、勝道他の御用人等近習)

／一冊(五二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・一×一八・五／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／御記録所／墨付四七丁／0751077

0519115 「紹襲録」十五(上杉勝周、勝道他の御小姓、御医師等)／一冊(六四丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・〇×一八・五／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／御記録所／墨付五六丁／0751077

0519116 「紹襲録」十六(督学、大目付、総監、中之間年寄、江戸留守居、江戸留守居手代)／一冊(一二三丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・〇×一八・五／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／御記録所／墨付九五丁／0751077

0519117 「紹襲録」十七(奏者番、郡奉行、宗門奉行寺社方兼帯、鉄砲改役他)／一冊(一一八丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・〇×一八・五／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／御記録所／墨付八五丁／0751077

0519118 「紹襲録」十八(提学、軍者、益田家陣代、躰者、儒者、助教他)／一冊(七二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・〇×一八・五／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／御記録所／墨付五五丁／0751077

0519119 「紹襲録」十九(大小姓組頭、大小姓番頭)／一冊(五一丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・〇×一八・五／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／御記録所／墨付三五丁／0751077

0519120 「紹襲録」二十(御使番)／一冊(九〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・〇×一八・五／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／御記録所／墨付八三丁／0751077

0519121 「紹襲録」二十一(御祐筆筆頭、御祐筆吟味方、御祐筆御記録方、御祐筆御日帳方)／一冊(九四丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・〇×一八・三／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／御記録所／墨付六三丁／0751077

0519122 「紹襲録」二十二(御祐筆)／一冊(七五丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・〇×一八・三／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／御記録所／墨付六三丁／0751077

0519123 「紹襲録」二十三(御中之間番頭、御中之間番)／一冊(八〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／二六・九×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／御記録所／墨付五四丁／0751077

0519124 「紹襲録」二十四(御中之間番)／一冊(一四四丁)／江戸後期(年

月日未詳)／二七・〇×一八・二／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／御記録所
／墨付一二二丁／075-1077

0519-125 「紹興録」二十五(御馬廻組 宰配頭、三十人頭)／一冊(八九丁)
／江戸後期(年月日未詳)／二六・八×一八・三／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙
楮紙／御記録所／墨付六四丁／075-1077

0519-126 「紹興録」二十六(御馬廻組 段母衣組頭、百挺鉄砲組頭、弓組頭、
長手鎗組頭)／一冊(八四丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・〇×一八・四／豎帳
袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／御記録所／墨付六三丁／075-1077

0519-127 「紹興録」二十七(御馬廻組 鉄砲足輕組頭三組、鎗足輕組頭、新小
姓頭)／一冊(八五丁)／江戸後期(年月日未詳)／二六・九×一八・二／豎帳 袋綴
冊子装 白茶地原表紙 楮紙／御記録所／墨付六五丁／075-1077

0519-128 「紹興録」二十八(五十騎組 宰配頭、三十人頭)／一冊(八八丁)
／江戸後期(年月日未詳)／二七・〇×一八・二／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙
楮紙／御記録所／墨付六六丁／075-1077

0519-129 「紹興録」二十九(五十騎組 御留守番組頭、外張番組頭、三十槍組
頭、弓組頭、長手鎗組頭)／一冊(六三丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・〇×一
八・四／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／御記録所／墨付四七丁／075-10
77

0519-130 「紹興録」三十(五十騎組 鉄砲足輕組頭三組、鎗足輕組頭三組、新
小姓頭)／一冊(九九丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・〇×一八・三／豎帳 袋
綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／御記録所／墨付七三丁／075-1077

0519-131 「紹興録」三十一(与板組 宰配頭、三十人頭)／一冊(八二丁)／
江戸後期(年月日未詳)／二七・〇×一八・三／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮
紙／御記録所／墨付五九丁／075-1077

0519-132 「紹興録」三十二(与板組 鉄砲総支配大筒組頭、御扶持方頭二組、
外張番組頭、鉄砲足輕組頭三組)／一冊(八七丁)／江戸後期(年月日未詳)／二六・
八×一八・三／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／御記録所／墨付七〇丁／07
5-1077

0519-133 「紹興録」三十三(与板組 鎗足輕組頭三組、伏囃頭)／一冊(六一
丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・〇×一八・三／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表
紙 楮紙／御記録所／墨付四五丁／075-1077

0519-134 「紹興録」三十四(御堂將兼次役、御廟將、判所將、勘定頭、同格、
江戸預所懸役)／一冊(一一二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二六・七×一八・〇/
豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／御記録所／墨付八四丁／075-1077

0519-135 「紹興録」三十五(代官、屋代郷代官、屋代郷出沒、代官副役他)／
一冊(九六丁)／江戸後期(年月日未詳)／二六・八×一八・三／豎帳 袋綴冊子装
白茶地原表紙 楮紙／御記録所／墨付八七丁／075-1077

0519-136 「紹興録」三十六(山林方役頭、牛森將、江戸御納戸頭、角御蔵役他)
／一冊(一一二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・〇×一八・二／豎帳 袋綴冊子
装 白茶地原表紙 楮紙／御記録所／墨付八六丁／075-1077

0519-137 「紹興録」三十七(御台所頭、同格、重定、治広の御隠殿御台所頭他)
／一冊(九三丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・〇×一八・三／豎帳 袋綴冊子装
白茶地原表紙 楮紙／御記録所／墨付八三丁／075-1077

0519-138 「紹興録」三十八(御厩頭、御鷹部屋横目、諸士年貢方役頭他)／一
冊(九九丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・〇×一八・三／豎帳 袋綴冊子装 白
茶地原表紙 楮紙／御記録所／墨付八〇丁／075-1077

0519-139 「紹興録」三十九(板谷御殿將、桜田御屋敷將、麻布御屋敷將他)／
一冊(七一丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・〇×一八・四／豎帳 袋綴冊子装
白茶地原表紙 楮紙／御記録所／墨付五四丁／075-1077

0519-140 「紹興録」四十(旅作事、道奉行、鮎貝御附馬上、荒砥同他)／一冊
(一一二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二六・九×一八・二／豎帳 袋綴冊子装 白
茶地原表紙 楮紙／御記録所／墨付一〇丁／075-1077

0519-141 「紹興録」四十一(京都御屋敷將、江戸御米蔵役頭、御茶詰、御代參
役)／一冊(五四丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・〇×一八・四／豎帳 袋綴冊
子装 白茶地原表紙 楮紙／御記録所／墨付四四丁／075-1077

0519-142 「紹興録」四十二(役所役頭取、同筆頭、役所役、同格、江戸役所役)
／一冊(一〇二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二六・九×一八・三／豎帳 袋綴冊子
装 白茶地原表紙 楮紙／御記録所／墨付八二丁／075-1077

0519-143 「紹興録」四十三(檢地定役、代官所元締、同格、郡割所総頭取他)
／一冊(八八丁)／江戸後期(年月日未詳)／二六・八×一八・二／豎帳 袋綴冊子装
白茶地原表紙 楮紙／御記録所／墨付七三丁／075-1077

0519-44 「紹襲録」四十四(法音寺、林泉寺)／一冊(四八丁)／江戸後期(年月日未詳)／二六・八×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／御記録所／墨付三七丁／075-077

0519-45 「紹襲録」四十五(使价集、御即位御名代、御入内、口宣請取他)／一冊(一一五丁)／江戸後期(年月日未詳)／二六・九×一八・三／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／御記録所／墨付九〇丁／075-077

0519-46 「紹襲録」四十六(猪苗代五十人頭、組外五十人頭他)／一冊(九八丁)／江戸後期(年月日未詳)／二六・九×一八・二／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／御記録所／墨付七〇丁／075-077

0520 「紹襲考」(紹襲録に関連し、その内容の補遺や役職任免記事の補足、役職制度の変遷等)／一冊(二〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／二一・一×一六・九／横半帳 列帖装 共紙原表紙 楮紙／安政四年九月以降の成立、貼紙が脱落したと思われる紙片類三点あり／078

家臣団統制—先例—濟口

0491-01 西卯吉「濟口手引 上」(役職毎の家督相続関係、遺跡相続、縁定、死別、隠居、閉門御免他の具体例)／一冊(一三七丁)／江戸後期(年月日未詳)／一五・五×一八・七／横半帳 長帳綴 茶地原表紙 楮紙／西卯吉／墨付一一六丁、0491の作者については一丁目表右下に異筆で「西卯吉撰」と墨書あり／070

0491-02 西卯吉「濟口手引 中」(役職毎の家督相続関係、遺跡相続、縁定、死別、隠居、閉門御免他の具体例)／一冊(四六丁)／江戸後期(年月日未詳)／一五・〇×一九・三／横半帳 長帳綴 茶地原表紙 楮紙／西卯吉／墨付三〇丁／070

0491-03 西卯吉「濟口手引 下」(奇特、双子、長寿他の特別な案件への賞与や対応の具体例)／一冊(四四丁)／江戸後期(年月日未詳)／一五・〇×一九・四／横半帳 長帳綴 茶地原表紙 楮紙／西卯吉／墨付一一丁／070

0492 「享保式年〇〇 御濟口帳 千〇〇〇」(侍組・三手組等の相続・家禄・役職等の処置)／一冊(九七丁)／享保二年／二四・一×一四・九／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／070

0493 「諸濟口先例鈔」(勤務・身なり・相続・服忌他の先例集)／一冊(九四丁)／江戸後期(年月日未詳)／二一・二×一九・四／横半帳 長帳綴 素紙布目模様原表紙

紙 楮紙／墨付五〇丁、表紙裏表紙に雲母を塗っている／070

0493-01 宮〇宛 次郎左衛門書状(御着城御迎に際する役成変更の者の先例)／一通(三紙)／文政二年四月二八日／一四・九×四六・九／切継紙 楮紙／次郎左衛門↓宮〇様／文政十二年四月十八日御役成左之通：御尤二御座候以上／0493の四五丁目に挟込／070

0494 「諸濟口雜集」(0494-01、13の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／一五・二×一九・四／横半帳 長帳綴 茶地後補表紙／中川手控／0494-01、13合綴／墨書「濟口簡明 附 御呵 三冊 格別賞賜 附 立見御進 一 雜例 但 口扎毎二目錄アリ」の紙貼付けあり／070

0494-01 物書所「濟口簡明 附御呵」(役職や身分、賞罰に関する二四九か条の先例集)／一冊(二二丁)／弘化四年七月二七日／一五・一×一九・一／横半帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／中 物書所／0494-01、13合綴／補修あり、表紙に朱書き「〇簡一番」「癸」「終業」、墨書「拾三ばん」、裏表紙に朱書き「簡明」あり／070

0494-02 物書所「濟口簡明 附御呵」(役職や身分、賞罰に関する二二〇か条の先例集)／一冊(一一丁)／嘉永元年四月二日／一五・一×一九・一／横半帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／中 物書所／0494-01、13合綴／補修あり、表紙に朱書き「〇簡二番」「は」、裏表紙に墨書で「簡明」とあり／070

0494-03 物書所「濟口簡明」(御使番、御徒目附、小姓等の役目に関する二三か条の先例集)／一冊(六丁)／安政三年九月三日／一五・一×一九・一／横半帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／中 物書所／0494-01、13合綴／補修あり、墨付一丁、表紙に朱書き「〇簡三番」、裏表紙に墨書「簡明」あり／070

0494-04 物書所「格別賞賜 附身立御進メ等」(藩から褒賞を受けた者二六件)／一冊(二〇丁)／弘化四年五月念二／一五・一×一九・一／横半帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／中 物書所／0494-01、13合綴／墨付三丁、念二は廿二日、表紙に朱書き「庚」、墨書「〇ばん」(会談所書上 御〇所濟口 振合)、裏表紙に墨書「格別之御賞」あり／070

0494-05 物書所「濟口ざつ例 三番」(医者・寺院・御奥附の役職、賞罰、相続他、九一件の先例集)／一冊(一六丁)／弘化四年三月朔日／一五・一×一九・一／横半帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／中 物書所／0494-01、13合綴／表紙に朱書き「甲」、「終業」、墨書「三ばん」あり／070

0494-06 物書所「濟口ざつ例 隠居家督 病死跡式 末々苗跡 妻 縁定 改

名〔隠居、相続、婚姻、改名に関する七三件の先例集〕／一冊（一五丁）／弘化四年四月二日／一五・一×一九・一／横半帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／中 物書所／0494-01-13合綴／表紙に朱書き「丙」、墨書「六ばん」あり／070

0494-07 物書所「濟口雜例」（大小姓、軒岐、緇侶、椒房及び諸寺院、御奥女中の勤務・賞罰他に関する二九二件の先例集）／一冊（二四丁）／弘化四年四月二六日／一五・一×一九・一／横半帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／中 物書所（花押）／0494-01-13合綴／表紙に朱書き「丁」、墨書「七ばん」あり、表紙に年号の×モ書きの貼紙あり／070

0494-08 物書所「濟口雜例 御小姓頭諸御役屋持 隱居家督」（隱居家督、改名及び駿河守様御駕籠脇、八朔土用寒中の際の使者に関する二〇〇件の先例集）／一冊（二六丁）／弘化四年五月六日／一五・一×一九・一／横半帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／中 物書所／0494-01-13合綴／墨付六丁、表紙に朱書き「戊」、墨書「八ばん」あり／070

0494-09 物書所「濟口雜例 諸御用懸 諸御附横目 諸懸人勤 附退役 御除等 精勤御賞等 類」（文化元年〜同八年、藩の諸役所勤における任免、勤務及び賞罰に関する一七五件の先例集）／一冊（二六丁）／弘化四年五月三日／一五・一×一九・一／横半帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／中 物書所／0494-01-13合綴／表紙に朱書き「己」「〇印 老」、墨書「九ばん」、裏表紙に墨書「御用遣 老」あり／070

0494-10 物書所「濟口雜例 諸御用懸 諸御附横目 諸懸人勤 類 附退役 御除 御免」（文化九年〜文政四年、藩の諸役所勤における任免、勤務及び賞罰に関する一七〇件の先例集）／一冊（二六丁）／弘化四年六月一日／一五・一×一九・一／横半帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／中 物書所／0494-01-13合綴／表紙に朱書き「辛」「〇印 武」「終業」、墨書「拾ばん」、裏表紙に墨書「御用遣 武」あり／070

0494-11 物書所「濟口雜例 諸御用懸 諸御附横目 類 附退役 御除 御免」（文政五年〜天保三年、藩の諸役所勤における任免、勤務及び賞罰に関する二三三件の先例集）／一冊（二八丁）／弘化四年七月二日／一五・一×一九・一／横半帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／中 物書所／0494-01-13合綴／表紙に朱書き「壬」「〇印 三」「終業」、墨書「拾ばん」、最終丁に「御用遣 三」とあり／070

0494-12 物書所「濟口雜例 諸御用懸 諸御附横目 類 附退役 御除 御免」（天保四年〜同一四年、藩の諸役所勤における任免、勤務及び賞罰に関する二〇九件の先例集）／一冊（二〇丁）／弘化四年九月一日／一五・一×一九・一／横半帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／中 物書所／0494-01-13合綴／表紙に朱書き「震」

「〇印 四」「終業」、裏表紙に墨書「御用遣 四」あり／070

0494-13 物書所「濟口雜例 御用遣類」（弘化元年〜同四年、藩の諸役所勤における任免、勤務及び賞罰に関する七九件の先例集）／一冊（二〇丁）／嘉永元年一月一日／一五・一×一九・一／横半帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／中 物書所／0494-01-13合綴／表紙に朱書きで「り」「〇印 五」「終業」、裏表紙に墨書「弘化代 御用遣」あり／070

家臣団統制—先例—五四・六義

0545-01 五匹（主に文化二年〜同四年、藩士の相続、縁組、役職任免、知行扶持の増減、褒賞、改名他）／一冊（二〇二丁）／江戸後期（年月日未詳）／一二・〇×一六・三／横半帳 列帖装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／墨付四八丁／082

0545-02 五匹（文化五年〜同九年、藩士の相続、縁組、役職任免、知行扶持の増減、褒賞、改名他）／一冊（二六二丁）／江戸後期（年月日未詳）／一二・二×一六・五／横半帳 列帖装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／墨付一八五丁／082

0545-03 「五匹」（文化一〇年〜同一四年、藩士の相続、縁組、役職任免、知行扶持の増減、褒賞、改名他）／一冊（二三九丁）／江戸後期（年月日未詳）／一二・〇×一六・〇／横半帳 列帖装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／墨付二〇二丁／082

0546-01 「六義 一編」（文政元年〜同七年、隱居家督並死跡、苗跡縁定、御役成加増他）／一冊（四七三丁）／江戸後期（年月日未詳）／一二・〇×一六・三／横半帳 列帖装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／墨付四五五丁、一五冊合冊／083-1084

0546-02 御記録所「六義 二編」（文政八年正月〜同一二年四月、隱居家督並死跡、苗跡縁定、御役成加増他）／一冊（二五二丁）／江戸後期（年月日未詳）／一一・六×一六・二／横半帳 列帖装 茶地原表紙 楮紙／御記録所／墨付二二八丁、六冊合冊／083-1084

0546-03 御記録所「六義 三編」（文政一二年五月〜天保五年、隱居家督並死跡、苗跡縁定、御役成加増他）／一冊（三六二丁）／江戸後期（年月日未詳）／一一・六×一六・〇／横半帳 列帖装 茶地原表紙 楮紙／御記録所／墨付三五四丁、八冊合冊／083-1084

0546-04 御記録所「六義 四篇」(天保五年三月、同一〇年、隱居家督並死跡、苗跡縁定、御役成増加俸他)／一冊(三七二丁)／江戸後期(年月日未詳)／一一・七×一六・五／横半帳 列帖装 素紙原表紙 楮紙／記室／墨付三四〇丁、八冊合冊／083-1084

0546-05 御記録所「六義 五篇」(天保一一年正月、嘉永二年二月、隱居家督、縁定嫡子成、御役成増加俸他)／一冊(四三五丁)／江戸後期(年月日未詳)／一一・〇×一六・二／横半帳 列帖装 茶地原表紙 楮紙／記室／墨付三七三丁、二冊合冊／083-1084

0546-06 「六義 六篇」(嘉永三年、同六年、隱居家督、縁定嫡子成、役成加秩他)／一冊(二二六丁)／江戸後期(年月日未詳)／一一・五×一五・七／横半帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／墨付一九八丁／083-1084

0546-07 「六義 七篇」(安政元年、同四年、隱居家督、縁定嫡子成、役成加秩他)／一冊(二二七丁)／江戸後期(年月日未詳)／一一・六×一五・八／横半帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／墨付二〇三丁／083-1084

0546-08 「六義 八篇」(安政五年、文久元年、隱居家督、縁定嫡子成、役成加秩他)／一冊(二四二丁)／江戸後期(年月日未詳)／一一・七×一五・七／横半帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／墨付二三三丁／083-1084

0546-09 「六義 九編」(文久二年正月、慶応元年三月、隱居家督、縁定嫡子成、役成加秩他)／一冊(三七〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／一一・八×一六・〇／横半帳 袋綴冊子装 白茶地茶斜目縞模様原表紙 楮紙／墨付三二五丁／083-1084

0546-10 「六義 十編」(慶応元年四月、同三年六月、隱居家督、縁定嫡子成、役成加秩他)／一冊(三八四丁)／江戸後期(年月日未詳)／一一・六×一六・〇／横半帳 袋綴冊子装 白茶地茶斜目縞模様原表紙 楮紙／墨付三三七丁／083-1084

0546-11 「六義 十一編」(慶応三年七月、明治元年二月、隱居家督、縁定嫡子成、役成加秩他)／一冊(四〇四丁)／江戸後期(年月日未詳)／一一・六×一六・〇／横半帳 袋綴冊子装 白茶地茶斜目縞模様原表紙 楮紙／墨付二七九丁／083-1084

0546-12 「六義 十二編」(明治二年一月、二月、隱居家督、縁定嫡子成、役成加秩他)／一冊(三九七丁)／近代(年月日未詳)／一一・四×一六・〇／横半帳 袋綴冊子装 白茶地茶斜目縞模様原表紙 楮紙／六ノ□／墨付二五六丁／083-1084

0546-13 「六義 十三編」(明治三年一月、八月、隱居家督、縁定嫡子成、役成加秩他)／一冊(八八丁)／近代(年月日未詳)／一一・六×一六・五／横半帳 袋綴冊子装 浅葱地原表紙 楮紙／六ノ□／083-1084

家臣団統制—先例—手控

0524 「大小姓組頭」(大小姓組頭・御中之間組他二一の役目の天明年間までの任命一覽)／一冊(一八六丁)／江戸後期(年月日未詳)／一四・五×一八・五／横半帳 長帳綴 素紙原表紙 楮紙／林泉文庫／表紙裏表紙は書状の紙背と片面黒色の紙を組み合わせて利用／078

0527 「雑集」(藩主在府時に奉行を任じた先例、寛政四年、文政二年の褒賞下賜、三宰配頭・小役頭他の職掌・任免記事)／一冊(三六丁)／江戸後期(年月日未詳)／一五・一×一九・二／横半帳 長帳綴 共紙原表紙・小豆地後補表紙 楮紙／裏打あり／墨付三〇丁冒頭に「定例龜鑑書抜 御留守年於御国許奉行職被仰付例」と記された丁あり、最初の内容の元表紙と推定、一部袋綴じの箇所あり／078

0528 中川富義筆「史局諸例」写(奉行職の氏名在任期間、書式勤方先例他)／一冊(八六丁)／弘化四年一月二七日／一五・〇×一九・〇／横半帳 長帳綴 茶地原表紙 楮紙／中川富義／元は毛利雅元の手控を奉行附物書吉池久助がまとめたこと他、本書成立に関する中川富義の後書あり、背に「千阪」の墨書あり／078

0533 正義「御役人附」(文化一四年時点の奉行以下の重臣から御荷物方他の下級役人に至る在職者一覽)／一冊(三〇丁)／文化一四年／六・八×一七・三／横半帳 標地原表紙 楮紙／正義(花押)／オ〇本／装丁は横半帳をさらに横長に半分にしたもの、別筆または貼紙で文政年間の変更点を追記／078

0536 御役所宛 益田十左衛門伺書(伏嗅組の道中勤の準備につき、綱憲以降の事例に基づき疑義を照会)／一通(二四紙)／明和七年九月一四日／一五・〇×一五・一三・一／切継紙 楮紙／益田十左衛門御役所／一 伏嗅組御仕立之儀：奉願存候以上／078

0542 先例手控(寛文四年、宝暦三年の家督相続、天明二年の麻布屋敷焼失の御目録、藩士間的女子縁定、元禄九年、延享二年の医学遊学者他)／一冊(二九九丁)／江戸中期(年月日未詳)／一一・二×二一・八／横帳 単葉装 共紙原表紙 楮紙／墨付一三三丁、表紙に「本郷」とあり／082

0543 昌隆「手控」(主に享保、寛政年間の、隱居家督病死跡式他の先例、欠所、

御叱他の懲罰記録、嫡子除・御暇他) / 一冊(一三七丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 一二・三×一五・七 / 横半帳 長帳綴 茶地原表紙 楮紙 / 昌隆(花押) / 裏打あり / 墨付一〇六丁 / 〇八二

0547 片桐忠成「校正服忌提要 全」米沢藩の肉親、親族等死去の際の服忌規定他) / 一冊(七一丁) / 文政八年二月 / 二七・四×一八・五 / 縦帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙 / 米沢 片桐成撰(印) / 作成者の印のうち一つは「米沢記室」、外枠や魚尾などを刻した木版刷りによる専用用紙を用いて書写 / 〇八五

0550 小黒秀文筆「格式帳」写(藩士の勤務・日常生活の先例・規制・心得・提出文書の書式他を二四項目に分類) / 一冊(三二丁) / 天保一五年三月 / 九・七×一八・四 / 横半帳 長帳綴 茶地原表紙 楮紙 / 小黒秀文 / カ〇本 林泉文庫 / 原本は文政一三年に舟田善右衛門他五名の六人番頭が再編した旨の記載あり / 〇八五

0551 「諸願書案文 全 上中」(米沢藩士が職務・家に関して作例する文書事例他) / 一冊(五二丁) / 慶応二年四月 / 九・七×一七・五 / 横半帳 長帳綴 素紙原表紙 楮紙 / 吉田氏 / 墨付四六丁 / 〇八五

0552 「諸先例手控 同雑集」(〇五五二一〇一、〇二の表紙) / 一冊 / 江戸後期(年月日未詳) / 一五・四×一八・七 / 横半帳 長帳綴 茶地後補表紙 / 〇五五二一〇一、〇二合綴 / 表紙と〇五五二一〇一の間に後補の白紙三枚あり、〇五五二一〇一、〇二は四冊程度を後に合綴 / 〇八五

0552一〇一 千坂物書所「諸先例手控」(文化年間から嘉永年間にかけて、千坂己五郎・琢磨が江戸家老・奉行在任中に扱った藩士の相続・縁組・賞罰他) / 一冊(五七丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 一五・四×一八・七 / 横半帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙 / 千坂物書所 / 〇五五二一〇一、〇二合綴 / 墨付三二丁 / 〇八五

0552一〇二 「諸先例雑集」(主に文政から慶応年間の、藩士の勤務・家に関する文例集、各役職に関するに勤務の心得他) / 一冊(二三七丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 一五・二×一八・八 / 横半帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙 / 〇五五二一〇一、〇二合綴 / 墨付七九丁 / 〇八五

0553 「侍頭諸済口達之雛形 縁定先例 部分」(〇五五三一〇一、〇二の表紙) / 一冊 / 江戸後期(年月日未詳) / 九・八×一八・九 / 横半帳 長帳綴 茶地原表紙 / 〇五三三一〇一、〇二合綴 / 〇八五

0553一〇一 富義「侍頭諸済口達之雛形」(嘉永二年、同三年の侍組家督相続した祝儀献上の書式) / 一冊(七丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 九・八×一八・九 / 横半帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙 / 富義 / 裏打あり / 〇五三三一〇一、〇二合綴 / 〇八五

0553一〇二 富義「縁定先例 部分」(主に文化元年、一部文化一一年までと安政三年における家督毎の藩士の婚姻記録) / 一冊(三二丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 九・八×一八・九 / 横半帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙 / 富義(花押) / 裏打あり / 〇五三三一〇一、〇二合綴 / 〇八五

0557 「格合帳并聞合事書入共二」写(勤務、文書提出に関する規定、先例を一四項目に分類) / 一冊(六三丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 一三・六×一八・一 / 横半帳 長帳綴 素紙原表紙 楮紙 / カ〇本 林泉文庫 / 墨付六〇丁、原本は安永七年一月に毛利雅元が記した旨の記載あり、文化八年頃まで増補、表紙に「旧藩史料 政事一 写本」の貼紙あり / 〇八五

0558 「諸事心控」写(寛政、弘化年間、藩士やその親族の慶事の際に係る藩士への下賜につき) / 一冊(二七丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 一三・五×一八・二 / 横半帳 長帳綴 浅葱地原表紙 楮紙 / シ〇本 林泉文庫 / 弘化二年頃まで記載、補修あり、表紙に「旧藩史料 政事一 写本」の貼紙あり / 〇八五

0559 「諸例手引 全」写(幕府と米沢藩の贈答・通交・米沢藩内の各種行事における先例・規定他を三二項目に分類) / 一冊(七二丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 一四・四×一八・三 / 横半帳 長帳綴 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙 / シ〇本 林泉文庫 / 墨付六二丁、表紙に「旧藩史料 政事一 写本」の貼紙あり / 〇八五

0560一〇一 立巖「温故知新」(諸行列ごとの供廻、先例、心得他) / 一冊(四二丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 一五・〇×一八・四 / 横半帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙 / 立巖 / 赤ラベル表記無 林泉文庫 / 560一〇一、〇二合綴 / 紙縫に「温故知新」墨書の史料名括り付け / 〇八五

0560一〇二 北原市之進日記抜書(天明五年、文化五年) / 一冊(八丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 一五・〇×一八・四 / 横半帳 長帳綴 表紙無し 楮紙 / 560一〇一、〇二合綴 / 墨付六丁 / 〇八五

0561 「書札之次第 全」(小笠原流の書札札) / 一冊(七二丁) / 江戸前期(年月日未詳) / 二三・二×一六・九 / 縦帳 袋綴冊子装 素紙後補表紙 楮紙 / シ〇本 伊佐早兼古書之宝 / 墨付七一丁、後補の題箋に「慶長年中」とあり、典籍の一種カ / 〇八五

0562 「諸事格合之留」写(隠居家督、役成、役職等の先規、役屋御普請場所、召状の文例、御修復の寺社、諸組へ屋敷の渡方他) / 一冊(五二丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 一三・六×一八・〇 / 横半帳 長帳綴 素紙原表紙 楮紙 / シ〇本 林泉文庫 / 墨付四九丁、見出しの付箋外れ、表紙に「旧藩史料 政事一 写本」の貼紙あり / 〇八五

0594 雑事留帳(寛永一三年〜文政一〇年、賞罰、儀式、贈答、藩士の職務や地方支配に関する規定他)／一冊(六三丁)／江戸後期(年月日未詳)／二四・二×一六・一／縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／裏打あり／複数人の筆跡、墨付六〇丁／092

0596 補任記録(宝暦元年一月四日〜同一三年一月四日、諸役職の補任者や知行扶持、褒美等)／一冊(七三丁)／宝暦元年／一二・〇×一六・一／横半帳 袋綴冊子装 長帳綴 楮紙／旧資料名は「江戸日帳」／092

0899 「砲故 亜(元和九年〜文化元年頃にかけて、鉄砲上覧等砲術関係の先例集)／二冊(四八丁)／(文化元年頃)／一五・二×一九・二／横半帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／137

0989 先邦衆書拔(文化一〇年五月〜元治元年九月、藩主入部祝他のため福島方面から来訪した者)／一通(五紙)／江戸後期(年月日未詳)／一四・七×一一・二・五／切継紙 楮紙／文化十年五月：御焼失二而为御伺罷越／柱題「先邦衆書拔」、後補の包紙に墨書「先邦衆書拔 林□文庫」とあり／160

0995 御記録所「侍中座並五人組附并家督年順之帳」(藩士の席次、侍組の名簿、上杉鷹山から斉定治政下で家督相続した藩士の名簿)／一冊(一五丁)／文化一〇年一月／一二・二×三一・七／横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／御記録所／表紙に「文政五年改正朱書」とあり、文政五年に朱書き・補筆／160

0998 達書写(五十騎組と御馬廻組の先勤争一件につき、互いに和解し勤仕するよう殿命)／一通(三紙)／近代(年月日未詳)／一六・一×一〇・一〇／切継紙 楮紙／御馬廻五十騎両隊：可為勤仕殿命也／160

1000 「絶家集」(改易や死罪等により家が断絶した米沢藩士の記録、慶長三年頃から享保八年まで)／一冊(六八丁)／江戸後期(年月日未詳)／二六・八×一八・三／縦帳 袋綴冊子装 白茶地茶斜刷毛目原表紙 楮紙／墨付六〇丁、下小口に「絶家集」の表記あり、棹線・魚尾及び丁数を刻した木版刷りによる専用用紙を使用／160

家臣団統制—江戸番転

0987 則秀「江戸御番帳」(安永八年〜嘉永六年の江戸参勤の御供方となる大小姓・馬廻・御使番他の役にある藩士の姓名)／一冊(一〇八丁)／安永八年／八・五×一六・五／横帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／則秀／エ〇本 林泉文庫／墨付一〇二丁、冒頭三丁は紙背、他も紙背利用多し／160

0987-001 達書(若殿様御番不足のため三手平番中他三名の人員補充につき)／一通(二紙)／天保七年八月二八日／一五・〇×二四・八／切継紙 楮紙／当九月中若殿様：此段可申達候／0987に挟込／若殿様は齊憲／160

0988 「御馬廻江戸百日番」(寛文四年〜天和三年の間、江戸番転を百日交代で務めた御馬廻組の者の名簿、欄外に五十騎組・与板組の者も記載)／一冊(四三丁)／江戸後期(年月日未詳)／一四・五×一七・八／横半帳 長帳綴 共紙原表紙・黄茶地後補表紙 楮紙／図書第九三号 御記録所／0988に挟込／江戸番転は貞享元年四月よりは三手ともに一年交代各組一〇人と制度替えになった旨を末尾に記載、挟込まれた文書や脱落した付箋類が一三点あり、単独で機能した分は枝番を付した／160

0988-001 江戸番転勤務記録写(延宝六年四月二七日〜九月九日分)／一通(二紙)／江戸後期(年月日未詳)／一五・〇×二八・六／切継紙 楮紙／延宝六年四月廿七日：為番手存其旨候□□／0988に挟込／0988-001は御馬廻組分カ／160

0988-002 江戸番転勤務記録写(延宝七年四月二五日〜二月二八日分)／一通(三紙)／江戸後期(年月日未詳)／一五・一×九〇・〇／切継紙 楮紙／延宝七年四月廿五日：書記可為候□□／0988に挟込／160

0988-003 江戸番転勤務記録写(延宝八年七月八日〜一〇月三日分)／一通(二紙)／江戸後期(年月日未詳)／一五・〇×一九・三／切継紙 楮紙／延宝八年七月八日：乍恐申渡候／0988に挟込／160

0988-004 江戸番転勤務記録写(天和元年三月九日〜一〇月二四日分)／一通(二紙)／江戸後期(年月日未詳)／一五・一×三三・九／切継紙 楮紙／天和元年三月九日：十月廿四日江戸到着／0988に挟込／160

0988-005 江戸番転勤務記録写(天和二年二月七日〜一月三日分)／一通(三紙)／江戸後期(年月日未詳)／一五・一×七〇・六／切継紙 楮紙／天和二年二月七日：罷有之旨□□／0988に挟込／160

0988-006 江戸番転勤務記録写(天和二年二月二日〜同三年五月二日分)／一通(一紙)／江戸後期(年月日未詳)／一五・一×二四・一／切紙 楮紙／十二月廿二日：去月廿七日上着／0988に挟込／160

0988-007 道中条目及江戸番転勤務記録写(天和三年五月付の道中条目、天和三

年六月一日から貞享元年四月二日(分)／一通(二紙)／江戸後期(年月日未詳)／一五・一×五一・七／切継紙 楮紙／天和三年五月七日：半年番為勤方御□□／0988に挟込／160

0988-108 江戸番勤務者書上写(貞享元年四月、同五年九月)／一通(一紙)／江戸後期(年月日未詳)／一四・五×一・六／小切紙 楮紙／多助／貞享元年四月五日：高梨源五郎／0988に挟込／160

家臣団統制—俸禄・手当

0852 清水康家宛 平林正恒黒印状(大塚の内「上さうきう」他を開発次第知行し、七年後より軍役賦課につき)／一通(一紙)／元和七年二月二八日／一六・五×四五・〇／切紙 楮紙／平林(黒印) ↓清水久左衛門／大塚ノ内上さうきう下さうきう高田山下ノ内：仍如件／124

0990 御役成御加増手控(天保元年、天保一三年分)／一冊(二〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／一五・〇×一八・〇／横半帳 長帳綴 表紙無し 楮紙／柱題「御役成之部」／160

0999 小倉権右衛門・香坂十兵衛宛 寺嶋喜左衛門他五名加増目録(朝岡助左衛門の下小松村における知行四二五石余の貢租内訳)／一通(二紙)／正保三年三月二三日／三四・二×六四・〇／継紙 楮紙／寺嶋喜左エ門(黒印)他五名 ↓小倉権右衛門殿・香坂十兵衛殿／一高四百貳拾五石：拾五文銀メ／柱題「朝岡助左衛門殿御加増目録」／160

1018 達書(保刈多四郎他五名、業替の鉄砲組にて抜群上達につき一石加増)／一通(二紙)／慶応二年一月二日／一四・九×四一・九／切継紙 楮紙／右者文久二年申達候事／柱題「覚」／162

藩政—御日帳—御日帳

- 0573 「元和九年御日帳」写（元和九年四月一三日、二月三〇日）／一冊（九二丁）／江戸後期（年月日未詳）／二四・〇×一六・二／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／甲第一号古文書図書為経巻佛像仏器元和九年御日記景勝公御薨去ノ時書庫階下書箱 上杉伯爵家蔵書／表紙を二重にして補強／087
- 0587 「御日帳」（寛文四年元旦、三月二十九日、江戸藩邸）／一冊（二二四丁）／寛文四年／三〇・九×二二・二／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／コ〇本・六九 林泉文庫／一丁目に「寛文四年正月ヨリ三月ニ至ル江戸邸ノ日記ナリ、中ニ當時ノ事実頗ル多シ」との近年の解説紙を挟込あり／088
- 0591 御日帳請取書（寛文元年、延宝四年、年号と書落の月日、人名）／一通（二紙）／貞享五年四月二十九日／三四・二×七〇・七／切継紙 楮紙／一寛文元：清水甚五 工門／裏打あり／柱題「御日帳請取申覚」／088
- 0593 江戸御日帳（元禄五年二月一日、同七年四月）／一冊（二二二丁）／元禄五年／二七・四×一八・五／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／七三 林泉文庫／下小口に「府」とあり／092
- 0592-101 「御日帳」（元禄一五年元旦、六月晦日、上杉綱勝関連）／一冊（四四三丁）／元禄一五年／二七・〇×一八・三／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／裏打あり／089-1091
- 0592-105 「御日帳」（明和元年元旦、四月一日、米沢在国中の藩主上杉重定関係）／一冊（二六四丁）／明和元年／二七・〇×一八・〇／豎帳 袋綴冊子装 茶地格子刷毛目原表紙 斐紙／089-1091
- 0592-107 「御日帳」（天明三年六月一日、二月二十九日、米沢在国中の藩主上杉鷹山関係）／一冊（三七九丁）／天明三年／二七・五×一八・五／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・白茶地後補表紙 斐紙／表紙虫損大／089-1091
- 0592-108 御日帳（寛政二年元旦、大晦日、当初は米沢、三月二十八日に江戸に向け出立、藩主上杉治広の生活中心で、作成は治広の側方と推定）／一冊（一九三丁）／寛政二年元旦／二三・三×一六・六／豎帳 袋綴冊子装 白茶地後補表紙 楮紙／裏打あり／表題無／089-1091

藩政—御日帳—米藩日記

- 0570-101 「米藩日記 元」（慶長六年、延宝五年二月二十九日の略年譜）／一冊（五五丁）／江戸後期（年月日未詳）／二七・〇×一八・〇／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／御記録所／086
- 0570-102 「米藩日記 亨」（延宝六年一月七日、天和三年二月二日の略年譜）／一冊（六六丁）／江戸後期（年月日未詳）／二七・〇×一八・〇／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／御記録所／086
- 0570-103 「米藩日記 利」（貞享一年元旦、元禄二年二月二十九日の略年譜）／一冊（五九丁）／江戸後期（年月日未詳）／二七・〇×一八・〇／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／御記録所／086
- 0570-104 「米藩日記 貞」（元禄三年元旦、同九年二月二十五日の略年譜）／一冊（四三丁）／江戸後期（年月日未詳）／二七・〇×一八・〇／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／御記録所／086
- 0571-101 「米藩日記 元」写（慶長六年、延宝五年二月二十九日の略年譜）／一冊（九六丁）／近代（年月日未詳）／二三・五×一五・三／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・浅葱地後補表紙 楮紙／四三四冊 林泉文庫／0570-101の写／087
- 0571-102 「米藩日記 亨」写（延宝六年正月七日、天和三年二月三十一日の略年譜）／一冊（一一〇丁）／近代（年月日未詳）／二三・五×一五・三／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・浅葱地後補表紙 楮紙／四三ノ三／0570-102の写／087
- 0571-103 「米藩日記 利」写（貞享一年元旦、元禄二年二月二十九日）／一冊（九五丁）／近代（年月日未詳）／二三・三×一五・四／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・浅葱地後補表紙 楮紙／四三ノ二・ヘ〇本／0570-103の写／087
- 0571-104 「米藩日記 貞」写（元禄三年元旦、元禄九年二月二十五日）／一冊（七四丁）／近代（年月日未詳）／二三・七×一五・四／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・浅葱地後補表紙 楮紙／四三ノ四／0570-104の写／087

藩政—御日帳—目録

0572 御日帳略目録(元和年間、天明年間、年号事の御日帳の冊数)／一通(三紙)／江戸後期(年月日未詳)／一四・二×八二・五／切継紙 楮紙／一元和年中 五冊：一寛政／裏打あり／柱題「新古御日帳年号并冊数調之覚」／087

0575 「御日帳冊数之認」(元和九年、寛政元年、御日帳目録、年代順、いろは順、二六箱の収納状況)／一冊(三五丁)／(寛政年間カ)(年月日未詳)／一五・五×二三・四／横半帳 長帳綴 共紙原表紙・縹地後補表紙 斐紙／コ〇本・四二 林泉文庫／墨付一四丁／087

0589 「日帳目録 完」(寛文四年七月二五日、元禄二年二月二八日、御日帳の記載事項の目録)／一冊(二〇二丁)／江戸中期(年月日未詳)／二二・二×一四・七／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙／二〇本 林泉文庫／外題には日帳とあるが、御日帳関連と推定／088

藩政—奉行—日帳類

0488 「寄合帳 上」(寛永一五年四月一日、慶安三年一月二四日、奉行・重臣合議の記録)／一冊(一九二丁)／江戸前期(年月日未詳)／三〇・五×二〇・三／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙・茶地横刷毛目後補表紙 楮紙／ヨ〇本 御記録所／補修あり、「ヨ〇本」ラベルの下に別のラベルあり／070

0581 「慶承日帳 完」写(慶安二年四月四日、承応三年七月七日、黒川義忠の奉行就任後の日記)／一冊(二二七丁)／近代(年月日未詳)／二三・七×一五・四／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・黄地後補表紙 楮紙／0582の写本／087

0582 「黒川右衛門尉奉行職被 仰付分段々日帳」(慶安二年四月四日、承応三年七月八日、黒川義忠の奉行就任後の日記)／一冊(一四一丁)／慶安二年／三一・三×二一・〇／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・白茶地茶横刷毛目後補表紙 楮紙／ケ〇本 林泉文庫・伊佐早兼古書之宝／裏打あり／後補表紙の外題は「慶承日帳」／無

0582-101 条目(玉野境界につき三か条)／一通(二紙)／江戸前期(年未詳)九月二九日／三三・四×四四・七／豎紙 楮紙／一 玉野境自先年…不申越義如何候事／柱「覚」、0582の九一丁目に挟込／無

0583 「黒川右衛門尉奉行職被 仰付分段々日帳」写(慶安二年四月四日、承応三

年七月八日、黒川義忠の奉行就任後の日記)／一冊(二六丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・〇×一八・三／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・黄茶地後補表紙 楮紙／御記録所／0582の御記録所による写本、後補表紙の外題は「慶承日帳」／087

0584 「承明日帳」写(承応三年六月二九日、明暦三年二月)／一冊(一一四丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・五×一八・一／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／御記録所／0585の御記録所による写本／087

0585 「黒川右衛門尉御用道承応三年六月より日帳差出候事書拔」(承応三年六月二九日から明暦三年二月)／一冊(一四一丁)／承応三年／三一・〇×二二・〇／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・白茶地茶斜編目後補表紙 楮紙／シ〇本 伊佐早兼古書之宝／明治四〇年六月付の伊佐早謙の覚書が貼付、後補表紙の外題は「承明日帳」／無

0588 中条知資「江戸通融状留」(米沢の中條等から江戸の重臣宛の書状などの御用留、福島宛を含む、寛文四年閏五月八日、七月二九日)／一冊(一八〇丁)／寛文四年閏五月八日／二六・九×一六・八／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／中条知資／図書第七二号 御記録所／原表紙に墨書「但福島江遣御用状同返報之留有」あり／088

0590-101 山吉盛実筆「削封日記 天」写(寛文四年五月一日、九月一日、原本は江戸家老千坂高治の日記を宮島貞剛が筆写したもの)／一冊(五一丁)／弘化丙午(弘化三年)／二七・〇×一八・二／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／山吉盛実／図書第五七号 御記録所／末尾に写本成立の経緯を記した(寺島)貞経の識語あり／088

0590-102 広居吉利筆「削封日記 地」写(寛文四年閏五月一〇日、七月二〇日、原本は奉行黒川義忠の日記)／一冊(五一丁)／丁未(弘化四年)三月／二七・〇×一八・二／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／広居吉利／御記録所／末尾に黒川家から借用し筆写させた旨の(寺島)貞経の識語あり／088

0649 長尾景光 日帳(元禄二年九月二五日、元禄三年三月一三日の公務日記)／一冊(八四丁)／元禄二年／二九・七×一九・五／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶横刷毛目後補表紙 楮紙／奉行 平景光／コ〇本 林泉文庫／表紙に「但手前御用月斗」「奉行平景光」とあり、「コ〇本」ラベルの下に別のラベルあり／108

0592-103-101 長尾景風「日帳」(宝暦一一年元旦、二月二九日、奉行長尾景風の日記)／一冊(一九九丁)／宝暦一一年／二七・九×一八・五／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／奉行職平景風／虫損多く裏打あり／挟込文書あり／平成五月二〇日に虫食多く補修したが、分厚くなったため、三月以降の記述を分冊(0592-103-102)にしたとの記載あり／089-1091

0592-03-01-01 色部政長・芋川正令宛 長尾景風書状(町奉行、鷹匠横目人選につき他二か条)／一通(三紙)／(宝暦一年)正月七日／一四・五×九七・八／切継紙 楮紙／兵庫↓長門様・縫殿様／昨晚迄二町奉行；印符相廻申候已上／0592-03-01に挟込／089-091

0592-03-01-02 清野秀祐答書控(鷹匠横目は渡部浅右衛門が適任)／一通(一紙)／延享四年正月一日／一四・〇×二四・五／切紙 楮紙／清野内膳／延享四年正月十一日；渡部へ申渡候事／裏打あり／0592-03-01に挟込／089-091

0592-03-01-03 色部政長・芋川正令宛 長尾景風書状(昨日便の大目付廻状は家中へ触れるべきか)／一通(二紙)／(宝暦一年二月三日)／一四・五×四五・〇／切継紙 楮紙／兵庫↓長門様・縫殿様／昨日便相違候；可被仰付候以上／0592-03-01に挟込／宛所の下に各自が意見を記載／089-091

0592-03-02 長尾景風「日帳」(宝暦一年三月一日～五月一日)／一冊(一三三丁)／宝暦一年／二八・〇×一八・四／縦帳 袋綴冊子装 コピー用紙後補表紙楮紙／奉行職平景風／虫損多く裏打あり／0592-03-01の分冊、挟込文書あり／表紙は平成四年補修原題をコピーしたもの／0089-091

0592-03-02-01 楡井安元書状(巡見使到着後の対応者人選練り合わせ案)／一通(二紙)／(宝暦一年)四月四日／一四・三×四八・〇／切継紙 楮紙／楡井六郎兵衛／御巡見御方々様；御義奉存知候以上／0592-03-02に挟込／089-091

0592-03-02-02 御用懸意見書(巡見使御下り御用勤の人選練り合わせ再考案)／一通(二紙)／(宝暦一年)四月五日／一四・三×三六・〇／切継紙 楮紙／御用懸／増子伝右衛門；無御座奉存知候以上／0592-03-02に挟込／089-091

0592-03-02-03 長尾景風宛 色部政長書状(御手口御用懸差支えにつき他)／一通(三紙)／(宝暦一年)四月四日／一四・七×五五・〇／切継紙 楮紙／長門↓兵庫様／御手紙致拝見候；無御座候以上／0592-03-02に挟込／089-091

0592-03-02-04 色部政長・芋川正令宛 長尾景風書状(二六日板谷へ御着殿につき明日より本丸へ出勤のところ私是不参)／一通(二紙)／(宝暦一年)四月二五日／一五・〇×五九・〇／切継紙 楮紙／兵庫↓長門様・縫殿様／明廿六板谷へ；可被仰付候以上／0592-03-02に挟込／宛所の下に各自が意見を記載／089-091

0597-01 長尾景風「日帳」(宝暦八年一月一日～二月三〇日)／一冊(八三丁)／宝暦八年／二九・七×一九・五／縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／平景風／092

0597-02 長尾景風「日帳」(宝暦九年一月一日～二月三〇日)／一冊(一八六丁)／宝暦九年／二八・五×一九・二／縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／奉行職平景風／092

0598-01 長尾景風「日帳」(宝暦九年三月一日～四月二九日)／一冊(九〇丁)／宝暦九年／二八・九×一九・〇／縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／奉行職平景風／092

0598-02 長尾景風「日帳」(宝暦九年七月一日～八月三〇日)／一冊(一九三丁)／宝暦九年／二八・八×一九・一／縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／奉行職平景風／092

0598-02-01 日帳断簡(三月一日分、落丁分カ)／一枚(一紙)／江戸中期(年月日未詳)／二九・五×三七・五／縦紙 楮紙／0598-02に挟込、綴跡あり／092

0599 「宝暦十三年記 全」(宝暦一三年元旦～五月一日、奉行芋川正令、千坂高敦の用番日帳)／一冊(二六三丁)／宝暦一三年／二八・〇×一八・五／縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙／ハ〇本 林泉文庫／093

0611 「文化十四年丑年略日記」(文化一四年正月～二月二九日)／一冊(八九丁)／文化一四年正月／一五・〇×一八・七／横半帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／フ〇本／挟込文書あり／作者は奉行の大石綱豊と推定／094

0611-01 覚書(銀方五〇〇石分の金・銭への換算)／一通(二紙)／(文化一四年)六月一六日／一五・〇×一八・〇／切紙 楮紙／一三拾壹両一分；右之通御座候以上／0611に挟込／柱題「覚」／094

1705 「長太夫旧記」写(寛永二年三月～慶安四年六月、侍組長尾家の奉公履歴)／一冊(二二丁)／近代(年月日未詳)／二三・五×一五・四／縦帳 袋綴冊子装 紫地七宝繋ぎ模様後補表紙 楮紙／函書第一四号伯爵上杉家／表紙に「旧藩史料政事一写本」の貼紙あり、長尾景泰は寛永三年から慶安元年まで奉行／無

藩政—奉行—状留

- 0592-04 御用状留(宝曆二年五月一日〜六月晦日、藩政全般に関わる書状・覚書、口上他、奉行色部政長関係)／一冊(三九二丁)／宝曆二年／二八・〇×一八・二／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／裏打ちあり／挟込文書あり／後補表紙外題「日帳」／089-091
- 0592-04-01 日帳書抜(宝曆七年六月三日分六か条)／一通(五紙)／(宝曆一年)／一五・一×九三・五／切継紙 楮紙／一四時花色：委細相見候 〆／0592-04に挟込／089-091
- 0592-04-02 窪田忠左衛門宛 阿部孝三郎書状(目賀多雲川他二名家督御礼につき)／一通(二紙)／(宝曆一年)五月一日／一四・九×三二・三／切継紙 楮紙／阿部孝三郎↓窪田忠左衛門様／御在府 寛延元年：御申上可被下候以上／0592-04に挟込／089-091
- 0592-04-03 横田三郎右衛門何書(郡方勤の二名江戸御供後の日数経過につき再出勤の可否)／一通(二紙)／(宝曆一年)五月六日／一五・〇×四二・五／切継紙 楮紙／横田三郎右衛門／御馬廻飯田：御伺申上候以上／0592-04に挟込／柱題「覚」／089-091
- 0592-04-04-01 榎井安元意見書(御徒目付候補者三名)／一通(二紙)／(宝曆一年)五月二日／一四・〇×三〇・一／切紙 楮紙／榎井六郎兵衛(黒印)／右之通吟味仕申上候：申置度奉存候以上／0592-04に挟込、0592-04-04-01-03封紙一括挟込／柱題「御徒目付書上」、封紙「上 御徒目付書上 榎井六郎兵衛」／089-091
- 0592-04-04-02 榎井安元意見書(五十人頭有野四郎兵衛代の候補者三名)／一通(二紙)／(宝曆一年)五月二日／一四・一×三五・八／切紙 楮紙／榎井六郎兵衛(黒印)／右之通吟味仕申上候：申置度奉存候以上／0592-04に挟込、0592-04-04-01-03封紙一括挟込／柱題「五十人頭有野四郎兵衛代書上」、封紙墨書「上 榎井六郎兵衛」／089-091
- 0592-04-04-03 榎井安元覚書(御徒目付代を御扶持人より書上げの先例)／一通(一紙)／(宝曆一年)己五月二日／一四・九×四一・四／切紙 楮紙／榎井六郎兵衛／御徒廻御扶持通：仰付候以上／0592-04に挟込、0592-04-04-01-03封紙一括挟込／柱題「御徒目付代之節廻御扶持人分茂書上申候先格左二相記申上候覚」、封紙墨書「御徒目付代之節 廻御扶持方書上 被仰付候覚書 榎井六郎兵衛」／089-091
- 0592-04-05 先例書(宝永四年一〇月二七日、須田千次郎家督)／一通(三紙)／江戸中期(年月日未詳)／一四・五×三八・〇／切継紙 楮紙／宝永四年十月：同人申渡候／0592-04に挟込／089-091
- 0592-04-06 先例書(享保一三年二月一日、芋川縫殿隠居、九郎左衛門家督)／一通(二紙)／江戸中期(年月日未詳)／一四・七×五一・五／切継紙 楮紙／享保十三年十二月：同人申渡候／0592-04に挟込／柱題「享保十三年十二月十六日」／089-091
- 0592-04-07 名前書(使者候補者二名、御誕生御歎使者五名)／一通(五紙)／江戸中期(年未詳)五月一日／一四・五×五九・〇／切継紙 楮紙／仁科孫三郎：右同断／0592-04に挟込／柱題「御使者可被 仰付人柄之覚」／089-091
- 0592-04-08 書抜(中之間詰下次右衛門御機嫌何使者勤の詰之間につき)／一通(二紙)／江戸中期(年月日未詳)／三〇・四×三七・四／切継紙 楮紙／下次右衛門：申渡候也／0592-04に挟込／折紙を半裁し二紙に分離、末尾に五月七日の日帳に入れおくべき旨の書込あり／089-091
- 0592-04-09 岩井造酒宛 皆川九郎左衛門意見書(式部様御手明候補者一名)／一通(二紙)／(宝曆一〇年)五月一日／一五・〇×三七・三／切継紙 楮紙／本御手明肝煎皆川九郎左衛門(黒印)↓岩井造酒殿／藤右衛門嫡子：相違無御座候以上／0592-04に挟込／089-091
- 0592-04-10 中沢新左衛門・横田三郎右衛門意見書(式部様召仕は新御手明組中に相応の人物無し)／一通(二紙)／(宝曆一〇年)五月一日／一五・七×一八・三／切紙 楮紙／中沢新左衛門・横田三郎右衛門／式部様江：無御座候以上／端裏書「中沢新左衛門・横田三郎右衛門」／0592-04に挟込／089-091
- 0592-04-11 達書(鈴木平四郎を式部様お抱えとす)／一通(一紙)／(宝曆九年)三月二日(宝曆九年)／一五・四×一八・五／切紙 楮紙／六月三日：可申渡候事／0592-04に挟込／089-091
- 0592-04-12 窪田忠左衛門宛 役所答書(式部様御手明交替の先例として宝曆九年の役所日帳書抜)／一通(二紙)／(宝曆一年)九月二八日／一五・〇×四〇・〇／切継紙 楮紙／役所↓窪田忠左衛門殿／中沢新左衛門：申上候以上／0592-04に挟込／柱題「御南量 宝曆九年三月廿二日役所日帳書抜」／089-091
- 0643 香坂昌惇筆「播磨守様御逝去之節御半領江被成候御用状写」(寛文四年の上

杉綱勝逝去に伴う半知関連、主に重臣間の書状) / 一冊(四四丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 一・二・三・七・二 / 横半帳 長帳綴 素紙後補表紙 楮紙 / 香坂昌惇 / ク〇本 林泉文庫 / 小口書「寛文四御用状留」、表紙に「旧藩史料政事」の貼紙あり、末尾に中條豊前が三の丸にご覧に入れ、その際に一部を写した旨の記載あり / 107

0644-05 御用状留(奉行平林正亮・江戸家老市川房隆らに関わる書状、触書他、嘉永六年七月二六日(八月二一日) / 一冊(三八丁) / (嘉永六年)七月二六日 / 一・三・八・一八・〇 / 横半帳 長帳綴 黄茶地後補表紙 楮紙 / 墨付三二丁、表紙貼付の題箋鉛筆書「状留」、將軍徳川家慶逝去関連の記事により作成年代推定 / 107

0645 「御用状留」(文久三年元旦、二月二〇日、奉行衆が発給・受給した文書の控) / 一冊(二四八丁) / (文久三年) / 一・三・〇・一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙 / 明治三五年読史堂用箋の断簡あり、黒紐で綴じる / 108

0648 長尾景光「御用留帳」(天和四年元旦、四月二八日の公務日記) / 一冊(一八七丁) / 天和四年 / 三・〇・七・二・〇・五 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 奉行 平景光 / コ〇本 林泉文庫 / 後補の黒紐で綴じ、四月二九日以降の分が欠落、裏表紙は後補、「コ〇本」ラベルの下に別のラベルあり / 108

0651 「御自分状之留」(享保四年四月二九日、七月一五日、国元の奉行らから主に江戸家老芋川正処宛の御用状) / 一冊(一一四丁) / 享保四年 / 三・〇・〇・二・〇・三 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・白茶地茶横刷毛目後補表紙 楮紙 / 朱書 / キ〇本・八五 林泉文庫 / 109

0655 「御用状留」(弘化五年正月五日、嘉永二年二月二六日、国元の奉行衆と江戸家老間で往復された御用状) / 一冊(二〇七丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 一・三・二・一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙 / 一〇 / 裏打あり / 黒紐で綴じ、表紙裏打ちあり / 111

0657 「御用状付札留」(安政七年正月三日、文久三年四月二八日、奉行発給の御用状、奉行の職務に関する諸事書留) / 一冊(二六六丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 一・三・九・一六・二 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / コ〇 林泉文庫 / 「コ〇」ラベルの下に別のラベルあり / 111

1497 「直江城州書簡」(慶長一四年五月、二月、直江兼統書状写) / 一冊(七二丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 一・四・六・一・九・二 / 横半帳 長帳綴 黄茶地原表紙 楮紙 / 御記録所 / 題箋標題下に「慶長十四年五月至極月」の墨書あり、下小口に「直江城州書牘」の墨書あり、本文中の一部は伊佐早謙による校訂の朱書あり、料紙や筆跡などから江戸前期に成立したものを江戸中期以降に書写したと推定 / 219

1499 「御状之認」(慶長一八年二月晦日、同一九年二月、直江兼統書状の留) / 一冊(五八丁) / 江戸前期(年月日未詳) / 二・五・四・一・六・二 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・紺布地流水模様後補表紙 楮紙 / 林泉文庫・伊佐早謙古書之宝 / 原表紙のものは紙縫綴冊子装で後補表紙は袋綴冊子装の装丁、後補表紙の標題は「直江兼統書翰留 慶長十九年 全」、後補表紙は布地 / 219

1503-01 「宝曆七年自分状留 乾」(宝曆七年五月一日、八月七日の芋川正令宛書状、主に安田貞広・色部政長・長尾景風の差出) / 一冊(一三〇丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二・九・七・一・九・五 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・白茶地茶横刷毛目模様後補表紙 楮紙 / ハ〇本 林泉文庫 / 補修あり、「ハ〇本」の下に01503-02と同じラベルあり、朱書きや墨書による校訂あり、「二七」の朱書きと「自分状留 二冊 右八宝曆七年芋川縫殿ノ状留ニシテ中二五月初日 同廿五日米沢領大洪水被害甚大ノ事ヲ記ス」の覚書挟込あり / 220

1503-02 「宝曆七年自分状留 坤」(宝曆七年八月七日、二月二八日の芋川正令宛書状、主に安田貞広・色部政長・長尾景風の差出) / 一冊(一四九丁) / (年月日未詳) / 二・九・六・一・九・三 / 縦帳 袋綴冊子装 白茶地茶横刷毛目模様後補表紙 楮紙 / 五九ノ二 / 芋川は江戸家老、安田らは国元の奉行と推定、補修あり、朱書きや墨書による校訂あり、元表紙が見当たらず本来は1503-01と一体のもので後世に二冊に分割か / 220

1504-01 「自分状留」(江戸家老広居忠紀宛の、主に竹俣当綱ら国許の奉行からの書状留、安永八年五月、同九年四月) / 一冊(二一七丁) / (安永八年頃) / 二・九・九・一・九・二 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 裏打あり / 墨付一一四丁、裏表紙は現代のもの / 220

1504-02 自分状留(江戸家老広居忠紀宛の、主に竹俣当綱ら国許の奉行からの書状留、安永四年五月、同五年五月) / 一冊(二二五丁) / (安永四年頃) / 二・九・九・一・九・八 / 縦帳 袋綴冊子装 素紙後補表紙 楮紙 / 元の表紙・裏表紙ともに欠落し現代の後補表紙を付す / 220

1504-03 自分状留(江戸家老須田満主宛の、主に竹俣当綱ら国許の奉行からの書状留、明和八年四月、同九年五月) / 一冊(九五丁) / (明和八年頃) / 二・九・九・一・九・八 / 縦帳 袋綴冊子装 素紙後補表紙 楮紙 / 補修あり、後補表紙は現代の裏打ちあり / 220

藩政—奉行—触状留

0652101 「奉行中より諸事触状之留」(元文元年五月、寛保三年、主に奉行が出した御用状、触達、書状他)／一冊(一九九丁)／江戸中期(年月日未詳)／四二・〇×一五・〇／横帳 長帳綴 素紙原表紙 楮紙／110

0652102 「從奉行中諸事触状留」(天明七年、寛政一二年六月、主に奉行が出した御用状、触達、書状)／一冊(三二〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／四〇・六×一五・九／横帳 長帳綴 素紙原表紙 楮紙／110

0652103 「從奉行中諸事触状留」(文化一〇年、文政六月、主に奉行が出した御用状、触達、書状)／一冊(三五六丁)／江戸後期(年月日未詳)／三〇・〇×一五・三／横帳 長帳綴 素紙原表紙 楮紙／110

0653101 「奉行中より諸事触状之留」(延享四年、宝暦三年、主に奉行が出した御用状、触達、書状)／一冊(三〇五丁)／江戸中期(年月日未詳)／四二・八×一五・七／横帳 長帳綴 素紙原表紙 楮紙／無

0653102 「從奉行中諸事触状之留」(明和六年、安永五年、主に奉行が出した御用状、触達、書状)／一冊(三五二丁)／江戸中期(年月日未詳)／三九・〇×一五・二／横帳 長帳綴 素紙原表紙 楮紙／無

0656 「從奉行中諸事触状留」(安政元年二月、万延元年一〇月、主に奉行が出した御用状、触達、書状他)／一冊(二八一丁)／江戸後期(年月日未詳)／一五・四×三七・三／横帳 長帳綴 茶地横刷毛目後補表紙 楮紙／111

藩政—奉行—寛政改革

0716101 中條至資「御統道御窮迫二付御基本為被相立萬御改革御執行帳 上」(財政再建、藩政改革に向けた会合、人事、政策等詳細、寛政二年八月、同三年六月)／一冊(二三三丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・七×一九・一／縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／御用掛中條豊前／115

0716102 中條至資「御統道御窮迫二付御基本為被相立萬御改革御執行帳 中」(寛政三年七月から同年二月)／一冊(二七七丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・七×一九・一／縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／御用掛中條豊前／表紙貼紙「元御記録所御長持入分」／115

0716103 中條至資「御統道御窮迫二付御基本為被相立萬御改革御執行帳 下」(寛政四年正月二五日、二八日)／一冊(二五〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・七×一九・二／縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／御用掛中條豊前／墨付四一丁／115

0654 荏戸善政「日記」写(寛政三年一月二九日、五月一四日、当時は中老職)／一冊(三八丁)／近代(年月日未詳)／二三・六×一六・〇／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／夕〇本／後補の題箋は「太華翁日記 完」、「夕〇本」ラベルの下に別のラベルあり／111

0827101 荏戸善政「総紙 上」写(寛三の改革)に藩政の改革すべき事項二三か条)／一冊(六五丁)／江戸後期(年月日未詳)／一二・八×一六・五／横半帳 長帳綴 素紙原表紙 楮紙／ソ〇本 林泉文庫／その後の実施状況などを朱書きで追記、総紙の下げ札あり、表紙に墨書「旧藩史料政事 共二 写本」の貼紙あり／123

0827102 荏戸善政「総紙 下」写(寛三の改革)に藩政の改革すべき事項二一か条)／一冊(五六丁)／江戸後期(年月日未詳)／一二・八×一六・五／横半帳 長帳綴 素紙原表紙 楮紙／林泉文庫／その後の実施状況などを朱書きで追記／123

0828 「総紙 後篇 完」(藩政の改革案、乾糧・御報恩日・伍什組合・かてもの)／一冊(二五丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・六×一五・八／縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／ソ〇本／123

0567 「嫡庶分式鍋停止 二種」写(0567101、04の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・五×一五・九／縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙／チ〇本／085

0567101 荏戸善政「御嫡庶御分式」写(寛政九年から同一二年にかけて米沢藩主嫡子・庶子の取り扱いにつき)／一冊(三七丁)／近代(年月日未詳)／二三・五×一五・九／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／0567101、04合綴／墨付三六丁／085

0567102 「赤湯鍋女御停止之並評判紙面」写(荏戸善政によるまとめ、寛政七年に赤湯の遊女が禁止された際の関連史料、享和二年に赤湯村で隠売した者の処分関連)／一冊(二〇丁)／近代(年月日未詳)／二三・五×一五・九／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／0567101、04合綴／085

0567103 「馬口勞町馬市江赤湯村給仕女罷越候一件御詮議聞濟書」写(米沢城下馬口勞町に現れた赤湯村給仕女の処分に関する寛政七年八月の文書)／一冊(一五丁)

／近代(年月日未詳)／二三・五×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／0567-01-04合綴／085

0567-04 「南町馬宿江赤湯村給仕女罷越候一件御詮議間濟書」写(米沢町城南町に現れた赤湯村給仕女の処分に関する寛政七年九月の文書)／一冊(八丁)／近代(年月日未詳)／二三・五×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／0567-01-04合綴／085

藩政—奉行—千坂家宛書状

0380 千坂高敦他二名宛 上杉勝承書状(上杉鷹山の側室に上杉勝延の娘お久野を取り持つよう内談)／一通(三紙)／(明和七年頃)四月吉日／一九・五×二五・三／切継紙 竹紙／上駿河守勝(花押) ↓千坂対馬殿へ他二名／別而内密申達候：内密ニ此段申込候不備／封紙あり、封紙墨書「極内密」、後補付箋「御部屋之件」／047

0381 千坂高敦・竹俣当綱宛 上杉勝承書状(上杉勝延死去により遺物を娘である鷹山側室お豊の方に譲渡他)／一通(六紙)／安永元年六月一日／一五・五×四四・五・六／切継紙 竹紙／上駿河守↓千坂対馬殿へ・竹俣美作殿へ／法性院様今度御卒去之砌：右二か条被承知置度存候以上／封紙あり、墨書「書付」、後補付箋「南台公御遺物件」／047

0383-01 千坂高敦他二名宛 上杉勝承書状(采女の養子縁組成就のために持参金二五〇両の捻出を依頼)／一通(三紙)／(明和七年頃)二月二七日／一九・四×二六四・三／切継紙 竹紙／上駿河守勝(花押) ↓千坂対馬殿へ他二名／尔来不申通候：偏に偏に頼入候不備／0383-01-02封紙一括／別紙追而書あり、封紙あり、墨書「書付」、後補付箋「采女君養子」、0383-01、383-02の追而書か一括封紙に入る／047

0383-02 平岡忠吉宛 吉田徳右衛門書状写(上杉勝承の弟采女の養子縁組について金田正峰が承知他、原本は二月二六日付)／一通(二紙)／(明和七年)／一九・五×一八二・三／切継紙 竹紙／以手紙啓上仕候：猶□貴顔候以上／0383-01、02封紙一括／柱題「来状之写」／047

0384 千坂高敦他三名宛 上杉勝承書状(大俵約令の伝達について江戸と米沢に差異が生じないよう取計要請)／一通(二紙)／江戸中期(年未詳)十一月三日／一九・三×一七二・六／切継紙 竹紙／上駿河守勝(花押) ↓千坂対馬殿へ他三名／以別紙申達候然者：此段申置度及別紙候不備／封紙あり、墨書「書付」、後補付箋「大俵」／047

0385 千坂高敦他三名宛 上杉勝承書状(大俵の伝達方法につき色部照長の考えの採用を止めたいと危惧)／一通(二紙)／江戸中期(年未詳)十一月三日／一九・三×一八二・二／切継紙 竹紙／上駿河守勝(花押) ↓千坂対馬殿へ他三名／猶又申述候然者：此段申達候不宣／封紙あり、墨書「書付密用」、後補付箋「大俵之件」／047

0386 千坂高敦他三名宛 上杉勝承書状(桜田邸、麻布邸類焼の状況報告、鍛冶橋御門番の当番免除依頼他)／一通(四紙)／(安永元年)三月三日／一五・五×一四一・六／切継紙 楮紙／上駿河守勝(花押) ↓千坂対馬殿へ他三名／去月廿九日大火ニテ桜田麻布御類焼：宜任入斗二候不備／0386-0387包紙一括／封紙あり、墨書「書付」、後補付箋「麻布類焼」／047

0387 上杉勝承書状(桜田邸、麻布邸の類焼により上杉勝承の鍛冶橋御門番の役目免除他)／一通(二紙)／(安永元年)二月／一六・三×五八・四／切継紙 楮紙／上杉駿河守／本書昨夜□ニ至候処：御三方様江宜被申上□候謹言／0386-0387包紙一括／047

0388-01 千坂高敦他二名宛 上杉勝職書状(西之丸御書院番金田正峰よりの養子希望につき調整を要請)／一通(二紙)／江戸中期(年未詳)二月二七日／一九・三×一八・三／切継紙 楮紙／上杉采女勝職(花押) ↓千坂対馬殿へ他二名／追日春暖相催候仍て無御障：致筆略要用斗申迫候以上／封紙あり、墨書「用事」、後補付箋「采女養子」、勝職は初代米沢新田藩主上杉勝周の次男、金田正矩／047

藩政—奉行—書状類

0382 本庄職長他七名宛 上杉勝承書状(江戸での大俵約令に対する不穏な評判)／一通(二紙)／明和四年十一月三日／一九・三×二三六・五／切継紙 竹紙／上駿河守勝(花押) ↓本庄大和殿へ他七名／日々ニ寒氣暮候得共：此段申度如是候不備／封紙あり、墨書「書付」、後補付箋「大俵」／047

0429 莅戸九郎兵衛宛 一志太夫富謙書状(莅戸と御屋形様に対する折禱終了の報告)／一通(一紙)／江戸後期(年未詳)九月／三八・三×五一・六／折紙 楮紙／一志太夫富謙(花押) ↓莅戸九郎兵衛／一筆啓上仕候：喜々時候恐惶謹言／050

0467 御使番御横目五名宛 千坂尚親・中条清資定書(御軍用金を御兵具蔵の管理下に置き家中へ貸出につき規定)／一卷(三紙)／享保八年二月二五日／三一・一×二三・〇／継紙 卷子本 紺地菱紋後補表紙 楮紙／千坂兵部(花押)(黒印)・中条周防(花押)(黒印) ↓御使番御横目 草間正左衛門(黒印) 他四名／御御兵具蔵諸御

道具：右之趣不可相背者也為其仍如件／紙剝離、見返し部分剝離／柱題「今度御兵具蔵江御軍用金附置候付未代定書之覺」、第一紙・第二紙の継目裏に中条周防の黒印、第二紙・第三紙の継目裏に千坂兵部の黒印あり、千坂、中條は奉行／067

0641 四名書状下書写（御郡中への申渡は江戸表にても直達が妥当、大殿様思召につき返答）／一通（二紙）／江戸後期（年未詳）一二月／一四・四×四八・九／切継紙楮紙／四人／御副書拜見：御答一通り申上候以上／大殿様は鷹山と推定、作成者は米沢にいる相応の重臣と推定、江戸の重臣宛カ、文中に典膳迄申し遣わすとあり、色部至長カ／107

0642 芋川正令他三名書状下書（御書拜見、存寄申し上げた色部照長へ御呵の是非につき返答）／一通（三紙）／（明和四年）安永元年一二月／一四・五×六〇・五／切継紙楮紙／芋川縫殿他三名／別而被成下 御書拜見：御答一通申上候以上／作成者の芋川正令、竹俣当綱、須田満主、千坂高敦の四名の在任時期から明和四年、安永元年と推定／無

0661 奉行衆宛 千坂兵部書状（阿野十兵衛・永井六兵衛らの処遇や京都からの借入銀につき）／一通（三紙）／江戸中期（年未詳）四月一六日／一七・一×七・一・八／切継紙楮紙／千坂兵部↓奉行衆／一阿野十兵衛十二日二到着申候：かわせ銀之才覺いたさ七候以上／112

0767 長尾景光他二名書状（私領分と預地における萱野の処置に関して桑折代官植伝兵衛との往復につき）／一通（三紙）／元禄二年九月一八日／一六・七×一三・三八／切継紙楮紙／長尾権四郎景光（花押）他二名／以五日飛脚申達候：可御心□候恐々謹言／後欠カ、宛先は幕府関係者と推定／123

1112 佐藤武左衛門他四名宛 飯田与左衛門書状（宰配頭連名御答書と先日書面共に対馬殿へ差出す）／一通（三紙）／江戸中期（年未詳）一月二日／一五・〇×四九・〇／切継紙楮紙／飯田与左衛門↓佐藤武左衛門様他四名／此度之御答書：如此御座候以上／宛先はいずれも五十騎組と推定、文中の対馬は奉行の千坂高敦カ、明和六年の鉄砲先動争関係の可能性あり／170

1508-01 四辻宰相中納言従者人数書上（士分六人、刀指二人、下部二人）／一通（一紙）／江戸中期（年月日未詳）／三一・六×四四・六／折紙楮紙／四辻宰相中納言殿：右之通御座候以上／裏打あり／1508-01-05 貼紙／江戸中期、後期、端裏に後筆で「上杉宮内大輔状 黒川右衛門宛、長尾権四郎外連状 元禄元年新井宿米通之件長尾権四郎訴状案 …」とあり、表紙に転用カ、元は折紙／221

1508-02 黒川右衛門宛 上杉宮内大輔書状（御見舞忝く返礼）／一通（一紙）／江戸前期（年未詳）二月八日／三一・二×四四・五／豎紙楮紙／長□（花押）／一

筆申入候：如此御座候恐惶頓首／端裏書「上杉宮内大輔 長□ 黒川右衛門様人々御中」／裏打あり／1508-01-05 貼紙／221

1508-03 中条知資・安田清元宛 竹俣義秀・長尾景光書状（紀伊徳川家より使者朝比奈惣左衛門遣わさる、来年御参府の上、智のあしらいになさるとのこと、上杉綱憲と寧姫の婚約関係）／一通（一紙）／（延宝元年カ）三月二九日／三二・五×四七・九／折紙楮紙／長尾権四郎景光（花押）・竹俣勘解由義秀（花押）↓中条越前殿・安田兵庫殿／猶期後首候恐々謹言：昨廿八日紀州様分／裏打あり／1508-01-05 貼紙／元は折紙、中條・安田は奉行／221

1508-04 長尾景光・安田通広書状案（兼ねて停止のところ御預地新宿村百姓が仙台へ米出し、番人小田弥兵衛へ乱暴につき死罪申し付けられたく）／一通（一紙）／（天和元年）西二月一〇日／三一・〇×四七・〇／豎紙楮紙／安田兵庫・長尾権四郎／上杉弾正大弼：科之軽重御座候以上／端裏書「東原殿直筆 天和元」／裏打あり／1508-01-05 貼紙／長尾・安田は奉行／221

1508-05 考証書（1508-04の内容や関連事項につき）／一通（一紙）／近代（年月日未詳）／三一・九×二二・五／豎紙機械漉紙／（按）西八元禄元年なり：義民など称するハ可□なり／1508-01-05 貼紙／221

1678-01 多仲他二名宛 荏戸政以書状（森重朝負より来翰につき政宿での評判に出席なられたく）／一通（二紙）／（文化四年カ）一〇月九日／一五・三×五七・四／切継紙楮紙／九郎兵衛↓多仲様他二名／昨夜本間信右衛門：被成度存候以上／糊離れ／1678-03と関連カ／232

1678-02 伊賀宛 書状案（御姫様御出府の饒別につき）／一通（六紙）／江戸後期（年月日未詳）／一四・四×一九五・九／切継紙楮紙／↓伊賀様／御姫様御出府二付：代御返候以上／端裏書「○松御伝候書面案」／232

1678-03 広居忠道・大石綱豊宛 荏戸政以書状（森重より門生一〇名函館へ派遣のこと来翰あり、明朝相談致したく）／一通（七紙）／（文化四年）一〇月八日／一四・七×一八八・〇／切継紙楮紙／九郎兵衛↓函書様・左膳様／只今本間信右衛門：御相談仕候以上／一部糊離れ／森重の函館派遣より年代を推定／232

藩政—江戸家老—千坂高治宛書状

0324 千坂高信他二名宛 上杉定勝書状（キリシタンにつき年寄衆の御状、山下次兵衛写本、御普請町場請取等）／一通（一紙）／江戸前期（年月日未詳）／三七・八×

五三・三／折紙 楮紙／(花押) ↓千坂安芸守との他二名七／先日従御年寄衆…不念之至候也／047

0325 千坂高治宛 上杉定勝書状(御宮参につき使者、年寄衆等への進物は並々衆へ照会し判断)／一通(二紙)／江戸前期(年未詳) 一月一〇日／三八・〇×五二・八／折紙 楮紙／(花押) ↓千坂兵部少輔とのへ／就御宮参為使者長尾左衛門…委細之状者左京所分可申遣候謹言／日付に後代の白紙付箋あり／047

0326 千坂高治宛 上杉定勝書状(長井伊達信夫領の様子を年寄衆まで申し入れの事)／一通(二紙)／江戸前期(年未詳) 一〇月一六日／三七・八×五三・三／切紙 楮紙／(花押) ↓千坂兵部少輔とのへ／一筆申遣候…可申存候也／047

0327 千坂高治宛 上杉定勝書状(越前宰相死去に伴う内証や御三家家老らへの書状や供物の報告)／一通(一紙)／江戸前期(年未詳) 八月二日／三六・四×五二・〇／折紙 楮紙／(花押) ↓千坂兵部少輔とのへ／一筆申越候去朔日之暁…惣之間万不申越候謹言／日付に後代の白紙付箋あり／047

0328 千坂高治宛 上杉定勝書状(鍋島勝茂の書状、おとく縁辺、土井利勝古河入り、キリシタン改他)／一通(二紙)／江戸前期(年未詳) 七月二日／三三・八×四九・〇／折紙 楮紙／(花押) ↓千坂兵部少輔殿へ／鍋嶋信濃殿申状届…猶重而可申越候謹言／折紙二紙を半分に折り一綴、日付に後代の白紙付箋あり／047

0329 千坂高治宛 上杉定勝書状(進物調達、諸大名より土産・書状届く、日光相輪塔出来の使者等)／一通(一紙)／江戸前期(年未詳) 五月二六日／三六・七×五一・八／折紙 楮紙／(花押) ↓千坂兵部少輔とのへ／今月十八日之書状披見候…猶重而可申遣候也／後代の白紙付箋あり／047

0330 千坂高信・千坂高治宛 上杉定勝書状(島原の乱について情報収集他)／一通(一紙)／(寛永一四年) 一月二七日／三七・八×五三・五／折紙 楮紙／(花押) ↓千坂安芸守殿へ・同兵部少輔とのへ／今月廿二日之状披見候…早々可申越候謹言／後代の白紙付箋あり／047

0331 千坂高治宛 上杉定勝書状(將軍日光社参に対する使者、御供の諸大名へ羽織給付、麻布邸作事)／一通(二紙)／江戸前期(年未詳) 三月二九日／三六・七×五一・七／折紙 楮紙／(花押) ↓千坂兵部少輔とのへ／今日廿一日之状披見…猶重可申越候也／047

0332 千坂高治宛 上杉定勝書状(將軍家男子誕生に伴う腰物進上、小悪尉の能面送付他)／一通(二紙)／江戸前期(年未詳) 三月八日／三六・六×五一・七／折紙 楮紙／(花押) ↓千坂兵部少輔とのへ／一筆申越候然者其元…可申越候也／047

0333 千坂高信・千坂高治宛 上杉定勝書状(島原の乱の情報受諾、加勢出兵の承諾他)／一通(二紙)／(寛永一四年) 一月一八日／三八・〇×五三・二／折紙 楮紙／(花押) ↓千坂安芸守とのへ・同兵部少輔とのへ／今月十三日之状披見候…可申越候也／中央に破れ大あり／047

0334 千坂高治宛 上杉定勝書状(堀田正盛の松本拜領につき書状、祝儀調達の指示)／一通(一紙)／(寛永一五年) 三月一八日／三七・七×五三・四／折紙 楮紙／(花押) ↓千坂兵部少輔とのへ／堀田加賀守殿為御加護増…可申越候也／047

0335 千坂高治宛 上杉定勝書状(定勝次女お虎の痲瘡をめぐる症状や養生の指示等)／一通(一紙)／江戸前期(年未詳) 正月一六日／三七・七×五三・二／折紙 楮紙／(花押) ↓千坂兵部少輔とのへ／今月十日牛之刻之書状…猶万吉重可申越候也／定勝の花押うつりがあり、折の再現可能／047

0336 千坂高治宛 上杉定勝書状(次女お虎の痲瘡からの回復、長女お徳の発熱による診察等)／一通(一紙)／江戸前期(年未詳) 三月六日／三七・七×五三・二／折紙 楮紙／(花押) ↓兵部少輔とのへ／二月廿七日同廿九日…不可油断者也／定勝の花押うつりがあり、折の再現可能／047

0337 千坂高信・千坂高治宛 上杉定勝書状(大学の小袖拝領、鍋島直茂からの鶴所望、傾奇・あやつり他)／一通(二紙)／江戸前期(年未詳) 一月一三日／三三・二×四八・四／折紙 楮紙／(花押) ↓千坂安芸守殿へ・千坂兵部少輔殿へ／十月廿一日同廿三日今月三日の…万吉重ね重ね以上／折紙二紙を半分に折り一綴／047

0338 千坂高治宛 上杉定勝書状(この度御法事により御預者赦免一件につき御年寄衆への案文送付)／一通(一紙)／江戸前期(年未詳) 正月九日／三六・六×五一・八／折紙 楮紙／(花押) ↓千坂兵部少輔とのへ／一筆申越候 今度就御法事…相濟候様二可然候也／後代の白紙付箋あり／047

0339 千坂高治宛 上杉定勝書状(黒井の上府、御樽肴納り御奉書、キリシタン詮索、会津在番他)／一通(七紙)／(寛永二〇年) 七月三日／一八・二×三二・〇・五／切紙 楮紙／(花押) ↓千坂兵部少輔とのへ／其元毎度留守之時分者…万吉至而可申遣也／後代付箋「(無題)」(白紙)／047

0340 千坂高治宛 上杉綱勝書状(蓼沼の下着、判紙の欠如、將軍の不例、太田備中息女の祝言他)／一通(三紙)／江戸前期(年未詳) 二月二三日／一八・五×一六二・五／切紙 楮紙／(花押) ↓千坂兵部少輔とのへ／一筆申越候蓼沼長右衛門廿一日晩…菱喰此度為登候也／裏打あり／後代付箋「御巡覽」／047

0341 千坂高治宛 上杉定勝書状(将軍御本丸移徙、祝儀進物の内意、土井利勝の下屋敷へ御成他)／一通(五紙)／江戸前期(年未詳)七月三日／一九・〇×二四六・二／切継紙 楮紙／(花押) ↓千坂兵部少輔とのへ／今月十五十七日書状披見候：重而可申遣■也／後代付箋「足移」鉛筆書／047

0342 千坂高治宛 上杉定勝書状(定勝の子供の江戸登り、土井利勝、松平信綱への対応、卯松元服他)／一通(三紙)／江戸前期(年未詳)二月二八日／一八・三×一四九・五／切紙 楮紙／(花押) ↓千坂兵部少輔とのへ／二月廿二日之書状披見候：万吉重而可申越候也／利勝大老、信綱は老中、花押うつりにより折の再現可能／047

0343 千坂高治宛 上杉綱勝書状(綱勝の病状報告、醍醐寺からの板札につき指示)／一通(一紙)／江戸前期(年未詳)四月二二日／三六・五×五二・三／折紙 楮紙／(黒印) ↓千坂兵部少輔とのへ／一筆申越候：猶重て可申候謹言／裏打あり／修理痕有、黒印は「宝」／047

0344 千坂高治宛 上杉綱勝書状(多人数予定の鳥狩を憂慮し、当月一五日まで詳細を伝えるよう指示)／一通(一紙)／江戸前期(年未詳)一月二六日／三六・八×五二・四／折紙 楮紙／(花押) ↓千坂兵部少輔とのへ／態飛脚二而申越候：委細可申越候謹言／花押うつりにより折の再現可能／047

0345 千坂高治宛 上杉綱勝書状(綱勝本復の祝儀についての書上げを指示)／一通(一紙)／江戸前期(年未詳)四月一四日／三六・八×五二・八／折紙 楮紙／(黒印) ↓千坂兵部少輔とのへ／今清水少右衛門登候：猶重而可申候謹言／墨汚れ多数見えるが、正しく折るとすべて墨移り、黒印は「宝」／047

0346 千坂高治宛 上杉綱勝書状(白銀下屋敷拝領につき関係者への礼状及び進物の指示他)／一通(一紙)／(明暦三年)六月二〇日／三三・九×四七・九／折紙 楮紙／(花押) ↓千坂兵部少輔とのへ／一新屋敷拝領之為御礼：此方ニも別紙書申候謹言／墨移りにより、折復元可能／047

0347 千坂高治宛 上杉綱勝書状(狩野探幽に芭蕉の絵、金屏風の発注、吉良義央の移徙の祝儀他)／一通(五紙)／江戸前期(年未詳)八月二六日／一八・五×二二六・七／切紙 楮紙／(花押) ↓千坂兵部少輔とのへ／一筆申越候下条采女廿日中ノ刻：右之通可越申候也／裏打あり／後代付箋「金屏風画ノ事」／047

0348 千坂高治宛 上杉綱勝書状(松平加賀守内儀からの贈与、西ノ丸での能実施他)／一通(七紙)／江戸前期(年未詳)六月二六日／一八・〇×二九一・六／切紙 楮紙／(花押) ↓千坂兵部少輔とのへ／一筆申越候：猶追々可申越候也／後代付箋「畠山家祝儀」／047

0349 千坂高治宛 上杉綱勝書状(徳川綱重と徳川綱吉他の加増、国替えの大名への祝儀他)／一通(四紙)／(寛文元年)閏八月一日／一八・三×一三六・七／切継紙 楮紙／(花押) ↓千坂兵部少輔とのへ／当十二日巳ノ刻 此同十七日到着：追々可申越候也／裏打あり／後代付箋「幕府雜事」／047

0349-01 千坂高治宛 上杉綱勝書状追而書(徳川綱重と徳川綱吉の本領の加増への対応につき)／一通(一紙)／(寛文元年)閏八月一日／一八・七×四二・〇／切紙 楮紙 ↓千坂兵部少輔とのへ／追而申越候左馬頭様：間合此方へ可申越候以下／裏打あり／0349が裏打された際はがれたか／047

0350 千坂高治宛 上杉綱勝書状(吉良家奥用人の俸禄に上杉家で援助、その候補者他)／一通(三紙)／江戸前期(年未詳)二月一日／一八・四×一二五・〇／切紙 楮紙／(花押) ↓千坂兵部少輔とのへ／飛脚ニテ申越候：品包ニ可申越候謹言／裏打あり／後代付箋「吉良家奥用人ノ件」／047

0351 千坂高治宛 上杉綱勝書状(桜田邸の普請につき、大門の跡に冠木門を建て番所に鍵を立てること、新屋敷の指図、長屋と休息所の事他)／一通(六紙)／江戸前期(年未詳)六月三日／一六・六×二〇九・六／切紙 楮紙／(花押) ↓千坂兵部少輔とのへ／其元□□□□：心安可存候重々可申候謹言／裏打あり／前欠、後代付箋「上屋敷工事」、花押移りあり／047

0352 千坂高治宛 上杉綱勝書状(上杉家の上屋敷、新屋敷普請の諸室と造作等)／一通(八紙)／江戸前期(年未詳)七月二二日／一七・九×四〇一・七／切継紙 楮紙／(花押) ↓千坂兵部少輔とのへ／坂田五郎右衛門登候間：重ねて可申越候謹言／後代付箋「御普請工事一件」／047

0353 千坂高治宛 上杉綱勝書状(水戸頼房の死去に伴う将軍徳川家綱へのお悔やみの手配他)／一通(四紙)／寛文元年八月四日／一八・五×二〇一・五／切継紙 楮紙／(花押) ↓千坂兵部少輔とのへ／水戸殿先月廿九日御遠行二付而：金二万已下此方へ越候得其意候也／裏打あり／後代付箋「水戸頼房殿死去」／047

0354 千坂高治宛 上杉綱勝書状(吉良義央に女子誕生、鶴姫)／一通(二紙)／(万治三年)三月一日／一八・一×二〇〇・〇／切継紙 楮紙／(花押) ↓千坂兵部少輔とのへ／三月十六日之飛脚：万吉追々可申越候也／後代付箋「吉良家誕生」／047

0355 千坂高治宛 上杉綱勝書状(台徳院様の二十七回忌、上屋敷や下屋敷の造作他)／一通(三紙)／江戸前期(年未詳)二月二二日／一八・四×一一一・八／切継紙 楮紙／(花押) ↓千坂兵部少輔とのへ／今度大工孫左衛門為替松浦□左衛門：可申候謹言／後代付箋「台徳院殿法事分」／047

0356 千坂高治宛 上杉綱勝書状(水戸光圀家督相続に伴う祝儀、竹俣が加州の件を務め帰着他)／一通(三紙)／(寛文元年)九月三日／一八・〇×一七・五／切継紙 楮紙／(花押) ↓千坂兵部少輔とのへ／一筆申越候：肥後守様へ可越候也／裏打あり／後代付箋「水戸光圀家督」／047

0357 千坂高治宛 上杉綱勝書状(麻布邸の造作につき指示、親戚筋の大名との交流他)／一通(五紙)／江戸前期(年未詳)九月一日／一八・二×二七・八／切継紙 楮紙／(花押) ↓千坂兵部少輔とのへ／前欠：猶追々可申候謹言／裏打あり／後代付箋「麻布邸工事」／047

0358 千坂高治宛 上杉綱勝書状(福島から届いたかやの実を吉良義冬へ献上他)／一通(三紙)／江戸前期(年未詳)一〇月一日／一七・一×一〇九・八／切継紙 楮紙／(花押) ↓千坂兵部少輔とのへ／一筆申越候：右同断状可越候也／後代付箋「納産ノ件」／047

0359 千坂高治宛 上杉綱勝書状(白銀邸の造作、上屋敷の材木の調達、鍋島光茂の初入部の贈答他)／一通(四紙)／江戸前期(年未詳)二月二日／一八・三×一五・〇／切継紙 楮紙／(花押) ↓千坂兵部少輔とのへ／庄兵衛登候二付一筆申越候：可申越候謹言／裏打あり／後代付箋「白銀邸工事分」／047

0360 千坂高治宛 上杉綱勝書状(上屋敷の生善院様の住居、公方様への初鮭献上他)／一通(九紙)／江戸前期(年未詳)八月二日／一八・二×四三五・八／切継紙 楮紙／(花押) ↓千坂兵部少輔とのへ／態々飛脚相立候：可遣候ノ状重て可申候謹言／裏打あり／後代付箋「普請工事之件」／047

0361 千坂高治宛 上杉綱勝書状(將軍への雁と鶴の進上に代わる真鴨に加える品につき吉良義冬の指示他)／一通(六紙)／江戸前期(年未詳)閏年八月一日／一八・五×二二八・二／切継紙 楮紙／(花押) ↓千坂兵部少輔とのへ／一筆申越候当月為御機嫌之：重而可越候也／後代付箋「吉良家移徒一件」／047

0362 千坂高治宛 上杉綱勝書状(奥々の歳暮につき綱勝母に相談、松平弾正への書状他)／一通(四紙)／江戸前期(年未詳)一二月二七日／一八・五×一六三・七／切継紙 楮紙／(花押) ↓千坂兵部少輔とのへ／生善院様□□具見登候而一筆申越候：可申越候猶追々可申候謹言／047

0363 千坂高治宛 上杉綱勝書状(台徳院様二十七年忌の対応、鍋島光茂の身内の不幸他)／一通(六紙)／(明暦四年)正月九日／一八・五×二五三・三／切継紙 楮紙／(花押) ↓千坂兵部少輔とのへ／一筆申越候今度：猶追而可申越候 謹言／047

0364 千坂高治宛 上杉綱勝書状(福島で馬市取立不入の儀に関する対応策と関連

条書)／一通(三紙)／江戸前期(年未詳)九月三日／一六・四×一一九・五／切継紙 楮紙／(花押) ↓千坂兵部少輔とのへ／態飛脚相立：小馬代差添可遣之候 謹言／裏打あり／後補付箋「福島馬市」墨付追而書一紙入／047

0365 千坂高治宛 上杉綱勝書状(重陽の節句の進物、保科正之の芝屋敷への奥方の移動時に祝儀他)／一通(六紙)／江戸前期(年未詳)九月二〇日／一八・五×二七八・三／切継紙 楮紙／(花押) ↓千坂兵部少輔とのへ／佐藤茂兵衛登候而一筆申越候：町奉行衆へ遣之可届候 謹言／後補付箋「御普請別件」／047

0366 千坂高治宛 上杉綱勝書状(三姫縁組につき老中へ御礼使者、酒井雅楽頭への本屋敷に移った祝儀他)／一通(五紙)／江戸前期(年未詳)一二月一日／一八・五×一七七・四／切継紙 楮紙／(花押) ↓千坂兵部少輔とのへ／お三内縁組相済候由：猶々可申候 謹言／後補付箋「初在翌年の件」／047

0367 千坂高治宛 上杉綱勝書状(御機嫌伺いの使者につき歳暮の進物の手配、奥への歳暮の指示他)／一通(三紙)／江戸前期(年未詳)一二月四日／一八・五×一〇九・九／切継紙 楮紙／(花押) ↓千坂兵部少輔とのへ／当月窺御機嫌之為使者：可賞味候 謹言／後補付箋「歳暮之件 雑事々々」／047

0368 千坂高治宛 上杉綱勝書状(上屋敷作事、將軍に進上品について伊豆殿の差込に從うこと他)／一通(六紙)／江戸前期(年未詳)六月二三日／一六・八×二八〇・〇／切継紙 楮紙／(花押) ↓千坂兵部少輔とのへ／坂田五左衛門廿日下着：重て可申越候 謹言／後補付箋「普請工事ノ件」／047

0369 千坂高治宛 上杉綱勝書状(吉良義央の初の日光名代勤への祝儀及び父義冬へは書状のみ送付他)／一通(三紙)／江戸前期(年未詳)正月二三日／一六・六×八三・一／切継紙 楮紙／(花押) ↓千坂兵部少輔とのへ／樋口為替北條兵衛登候而：礼□可申越候也／後補付箋「吉良上州別件、花押移りから最初に真中から二分の一折」／047

0370 千坂高治宛 上杉綱勝書状(福島の新しい馬町につき奉行三人が平林に尋ねたこと等の確認)／一通(三紙)／江戸前期(年未詳)七月二日／一六・一×一三四・七／切継紙 楮紙／(花押) ↓千坂兵部少輔とのへ／以飛脚申越候 然者：其方為心得態飛脚相立候 謹言／裏打あり／後補付箋「福島馬市」はがれ／047

0371 千坂高治宛 上杉綱勝書状(六月二八日の井伊直孝の死去に伴う老中への達書、使者、香典他)／一通(二紙)／(万治二年)七月五日／一八・〇×三八・二／切継紙 楮紙／(花押) ↓千坂兵部少輔とのへ／飛脚を以申越候：可相届候 謹言／裏打あり／後補付箋「井伊掃部死去」／047

0372 千坂高治宛 上杉綱勝書状(目付依頼の若州司農の候補の再吟味)／一通(四紙)／江戸前期(年未詳)十一月一日／一八・五×一七七・四／切継紙 楮紙／(花押) ↓千坂兵部少輔とのへ／先年より御目付衆ノ内四五人も…との為之也／後補付箋「御目付依頼之件」／047

0373 千坂高治宛 上杉綱勝書状(土屋但馬守娘と稲葉撞之助の祝言の祝儀の送付についての検討他)／一通(五紙)／江戸前期(年未詳)一月二五日／一八・〇×二一七・〇／切継紙 楮紙／(花押) ↓千坂兵部少輔とのへ／足輕替登候間一筆申越候…菱喰一羽出し候可料理候 謹言／裏打あり／本来二三条か「一」欠損／047

0374 千坂高治宛 上杉綱勝書状(表向きの北長屋を最初に建て、屋根は柿葺きにして四阿造にする他)／一通(五紙)／江戸前期(年未詳)八月二六日／一八・一×二〇八・六／切継紙 楮紙／(花押) ↓千坂兵部少輔とのへ／前欠：猶重て可申候謹言／裏打あり／後補付箋「普請工事之件」／047

0375 千坂高治宛 上杉綱勝書状(鍋島勝茂死去し火葬、香典の準備を一門中へ伝達他)／一通(三紙)／(明暦三年)三月三一日／一六・七×九〇・五／切継紙 楮紙／(花押) ↓千坂兵部少輔とのへ／鍋島信濃守殿廿四日ニ…追腹之者共書付□□謹言／後補付箋「鍋島信の死去付追腹之事」、折紙半裁／047

0376 千坂高治宛 上杉綱勝書状(上屋敷の休息所の指図手配他)／一通(五紙)／江戸前期(年未詳)七月一七日／一八・〇×一九六・二／切継紙 楮紙／(花押) ↓千坂兵部少輔とのへ／(前欠)殿に奉行扶持方へ…猶重て可申候謹言／裏打あり／後補付箋「普請工事之件」／047

0377 千坂高治宛 上杉綱勝書状(五月二七日拜領の新屋敷につき六人衆への礼状の指示他)／一通(五紙)／江戸前期(年未詳)六月七日／一六・八×二三五・八／切継紙 楮紙／(花押) ↓千坂兵部少輔とのへ／大石主馬下候二状披見…猶重而可申候謹言／後補付箋「白銀邸拜領」／047

0378 千坂高治宛 上杉綱勝書状(鍋島光茂に遣わされた鍋島勝茂の遺物、金子千両を米沢に下す他)／一通(五紙)／(明暦三年頃)七月三日／一八・二×一八六・四／切継紙 楮紙／(花押) ↓千坂兵部少輔とのへ／今度番替之足輕登候…猶坂田登候以下可申候謹言／後補付箋「遺金の件」／047

0379 千坂高治・新津統家 上杉綱勝書状(豊後様より鱗屋敷差上に関する返答あり他一八か条)／一通(五紙)／(明暦三年頃)三月一五日／一八・五×二四五・九／切継紙 楮紙／(花押) ↓千坂兵部少輔へ・新津右近助殿へ／当月為窺御機嫌…猶追て可申越候謹言／後補付箋「鱗邸差上ノ件」／047

0388-102 上杉綱勝書状追而書(一八日は七番の演能の予定が、竹俣不着のため二番で終了)／一通(二紙)／江戸前期(年月日未詳)／一八・二×二一・一／切継紙 楮紙／又申候 加州二而十八十九日…但□□能二候□也／上杉綱勝書状のいづれから外れたと思われるが、どの書状か不明／047

0388-103 上杉綱勝書状追而書(寒気のため薬を服用、二、三日で回復したため心配無用)／一通(二紙)／江戸前期(年月日未詳)／一八・四×三四・六／切継紙 楮紙／又申候 当一日時分より北風…無心元おもふましく候以上／上杉綱勝書状のいづれから外れたと思われるが、どの書状か不明／047

藩政—江戸家老—日記類

0251 「大銘目」(江戸藩邸の略日記、明和四年分、幕府他大名との交際、藩内人事等)／一冊(四三二丁)／(明和四年)／二四・二×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／一部裏打あり／034

0252 「大銘目」(江戸藩邸の略日記、明和五年分、幕府他大名との交際、藩内人事等)／一冊(四一五丁)／(明和五年)／二四・五×一五・六／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／一部裏打あり／035

1506-01 桜田邸御役所日帳(慶応二年正月～六月の日記、天候、書状や書類の御用留他)／一冊(二三四丁)／慶応二年／三〇・〇×一八・八／豎帳 袋綴冊子装 素紙後補表紙 楮紙／補修あり、下小口に「慶応二年正月六月迄」の墨書あり／220

藩政—城代・侍頭・役屋将

0090 広居忠清宛 安田信親・中条知資書状(江戸城での上杉綱憲元服の詳細、米沢の組中へ伝達のこと)／一通(三紙)／(延宝三年)十一月二九日／一六・六×六九・二／切継紙 楮紙／安田兵庫・中条越前↓広居治部殿／昨晚從江戸以飛脚申来候…御組中へ可被仰渡候以上／028

0531 御記録所宛 本庄大和「鮎貝御役屋勤式」(慶長三年～寛文五年の鮎貝城の来歴、明和五年までの城郭の構造及び役屋の管理・勤務等)／一冊(三一丁)／明和五年九月／三二・〇×二〇・一／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／本庄大和↓御記録所／ア○本 林泉文庫／裏打ちあり／綴じ直しの跡あり／078

0574 「元萬略記 完」(元和九年六月、万治元年二月二八日、主に色部家を中心とした上級藩士と藩主の動向、献上物、役職任免他)／一冊(二五二丁)／江戸前期(年月日未詳)／二三・九×一五・三／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙／ケ〇本 林泉文庫／一部裏打あり／「ケ〇本」ラベルの下に別のラベルあり、作者は侍組色部光長・利長と推定、色部光長は寛永三〇一七年に侍頭／087

0577 山吉盛実筆「長尾景泰日記」写(寛永一七年一月一日〜正保五年五月二八日、侍頭長尾景泰の略日記)／一冊(四〇丁)／嘉永二年七月一日／二三・六×一五・五／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／山吉盛実／図書第五号 御記録所／0578の一部の写本、割愛部分あり／087

0578 「長尾家日帳」(寛永一七年一月一日〜正保五年五月二八日、侍頭長尾景泰の略日記)／一冊(三九丁)／寛永一七年／二六・〇×一七・三／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／五六 伊佐早兼古書之宝／裏打あり／共紙原表紙他も裏打多数、後補の表題付箋あり、0577に嘉永二年の写あり／087

0592-02 「日帳」(享保六年七月二九日〜閏七月二九日、侍頭色部隆長関係)／一冊(一八七丁)／享保六年／二九・五×一九・七／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／裏打あり／修正や朱書の書込みあり／089-091

0724 嶋津玄蕃宛 安田俊広御借銀書上(手明二〇人、道具持、馬など計六八名に關する費用一六五兩余の明細)／一通(一紙)／江戸前期(年未詳)八月二四日／三六・四×五〇・五／豎紙 楮紙／安田六十郎(花押)↓嶋津玄蕃殿／人数合六拾八人上下共…六月廿日分有銀／紐が残存、安田は侍頭、嶋津玄蕃は奉行を務めた利忠または侍頭を務めた通忠／115

0991 吉江長重筆「屋形様下長井通御巡覽御役屋被遊御止宿候節御取扱之次第萬留帳」写(文政二年八月の上杉斉定が下長井方面巡覽時の止宿先等)／一冊(二四二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・七×一四・五／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／吉江喜四郎／ハ〇本／吉江喜四郎が自身の所持する記録を書写し藩に譲渡したものの、吉江は荒砥役屋將、表紙に「参考書」、表紙見返しに「昭和三年戊辰三月鈴木文蔵君所恵 林泉文庫主謙識」と朱書あり／160

1521-01 千坂兵部他二名達書(蔵元逼迫につき家中面々知行物成より臨時拝借米金通達)／一通(一二紙)／(江戸中期)辰七月／一五・三×四五七・五／切継紙 楮紙／千坂兵部他二名／一御蔵元御逼迫御統方無御座…具可被申含候以上／1521-01-10紐一括／柱題「覚」／221

藩政—中之間

0556 「御中之間米沢披露之留」(在國中藩士の外出時における道中での挨拶規定)／一冊(八丁)／享保五年一月／一九・五×一五・三／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／オ〇本／裏打あり／085

0592-09 御中之間日帳(寛政三年四月二六日〜同四年閏三月二八日、中之間年寄関係)／一冊(八六丁)／寛政三年／二三・〇×一五・五／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／平六／裏打あり／各日付の下に筆者と推定される人名(姓を欠く)を記載、当番として大目付丸山蔚明、中之間年寄黒井忠寄らを記載、前欠カ、表紙に蔵書印ではない朱印あり／089-091

0606-01 「御中之間日帳」(寛政五年五月四日〜同六年八月二二日)／一冊(一一〇丁)／寛政五年／二四・八×一五・三／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／大目付御中之間年寄／裏打あり／記録当番が交代で書き継ぐ／094

0606-02 「御中之間日帳」(文化四年五月三日〜同五年三月二九日)／一冊(九九丁)／文化四年／二三・三×一六・二／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御中□□□□□□／裏打あり／文化五年八月の上杉斉定元服の祝儀関係記録を合綴／094

0606-03 「御中之間日帳」(文化二年五月一〇日〜同三年六月四日)／一冊(一一二丁)／文化二年／二三・六×一六・五／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／□□□／裏打あり／094

0606-04 「御中之間日帳」(文政二年四月二七日〜同三年九月八日)／一冊(一七〇丁)／文政二年／二四・〇×一六・六／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／□□□／裏打あり／政三年三月將軍より拝領の鶴の「御啓之行事」に關する記録を合綴／094

0606-05 「御中之間日帳」(文政二年四月二八日〜同三年閏三月二八日)／一冊(二六一丁)／文政二年／二四・〇×一六・六／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御中之間年寄／裏打あり／天保三年二月三日の記事を補記／094

0606-06 「御中之間日帳」(文久三年一月二日〜同四年三月七日)／一冊(四七丁)／文久三年／二四・〇×一六・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／094

0620-01 「日記」(嘉永元年四月六日、同二年四月一日、桜田邸中之間詰藩士の日記)／一冊(三六丁)／嘉永元年／一・二・〇×三・一・〇／横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／0620-01-10紙綴綴／0620全体が作者は中之間番頭の立岩善右衛門幸成と推定、0620-02-10を再編成し書写したものか／無

0620-02 日記(嘉永元年六月一日、八月八日)／一冊(五丁)／嘉永元年／一・九×三・〇・九／横帳 長帳綴 表紙無し 楮紙／0620-01-10紙綴綴／七月二八日の記事に御登城とあり嘉永元年と判断、通し番号あり／無

0620-03 日記(嘉永元年八月一日、一八日)／一冊(二丁)／嘉永元年／一・九×三・一・一／横帳 長帳綴 表紙無し 楮紙／0620-01-10紙綴綴／八月二四日の記事に明一五日御登城とあり嘉永元年と判断／無

0620-04 日記(嘉永元年八月一日、九月八日)／一冊(三丁)／嘉永元年／一・九×三・一・一／横帳 長帳綴 表紙無し 楮紙／0620-01-10紙綴綴／八月九日の記事に上使御帰りに後に御登城及び老中へ御廻勤とあり永元年と判断、通し番号あり／無

0620-05 日記(嘉永元年九月九日、一〇月一日)／一冊(四丁)／嘉永元年／一・九×三・一・一／横帳 長帳綴 表紙無し 楮紙／0620-01-10紙綴綴／九月一日の記事に享徳院様二十七回忌とあり嘉永元年と判断、通し番号あり／無

0620-06 日記(嘉永元年一〇月二日、一〇月二七日)／一冊(三丁)／嘉永元年／一・八×三・一・一／横帳 長帳綴 表紙無し 楮紙／0620-01-10紙綴綴／一〇月一日の記事に御登城あり嘉永元年と判断、通し番号あり／無

0620-07 日記(嘉永元年一〇月二七日、一二月一四日)／一冊(五丁)／嘉永元年／一・二・五×三・四・三／横帳 長帳綴 表紙無し 楮紙／0620-01-10紙綴綴／一〇月二八日の記事に秋元但馬守、板倉内膳正兩人に振舞の記事あり嘉永元年と判断、通し番号あり／無

0620-08 日記(嘉永元年一二月一四日、同二年正月三日)／一冊(三丁)／嘉永元年／一・一・八×三・一・〇／横帳 長帳綴 表紙無し 楮紙／0620-01-10紙綴綴／文中に嘉永二年正月元日とあり、通し番号あり／無

0620-09 日記(嘉永元年一二月一四日、同二年二月二日)／一冊(八丁)／嘉永元年／一・二・〇×三・一・〇／横帳 長帳綴 表紙無し 楮紙／0620-01-10紙綴綴／一二月一六日の記事に紀州様尾州様讃岐守様板倉様訪問とあり嘉永元年と判断、通し番号あり／無

0620-10 日記(嘉永二年二月三日、三月二五日)／一冊(四丁)／嘉永二年／一・二・〇×三・一・九／横帳 長帳綴 表紙無し 楮紙／0620-01-10紙綴綴／二月二八日の記事に御登城し四ツ半時御帰殿とあり嘉永二年と判断、通し番号あり／無

藩政—御右筆所

0530 「御右筆諸録」(江戸初期から弘化元年頃までの右筆関係者任命記録)／一冊(三六丁)／江戸後期(年月日未詳)／一・二・〇×二・五・八／横半帳 袋綴冊子装茶地原表紙 楮紙／裏打あり／表紙左端に「片山厚□」の表記あり、一丁目に貼紙あり／078

0605-03 御右筆所「日記」(文化二年四月二七日、同三年三月二七日)／一冊(四七丁)／文化二年／一・二・〇×三・三・〇／横帳 長帳綴 茶地原表紙 楮紙／御右筆所／表紙に以前の綴じ穴あり／093

0605-04 御右筆所「日記」(文化四年四月二七日、同五年三月二九日)／一冊(四七丁)／文化四年／一・二・〇×三・三・〇／横帳 長帳綴 素紙原表紙 楮紙／御右筆所／093

0605-05 御右筆所「日記」(文化六年五月一日、文政七年四月一日)／一冊(四四丁)／文化六年／一・二・二×三・三・八／横帳 長帳綴 素紙原表紙 楮紙／御右筆所／表紙修復あり／093

0605-06 御右筆所「日記」(文政八年五月一七日、同九年三月二九日)／一冊(六〇丁)／文政八年／一・二・二×三・三・〇／横帳 長帳綴 素紙原表紙 楮紙／御右筆所／093

0605-07 御右筆所「日記」(文政一〇年五月七日、同十一年三月二九日)／一冊(七四丁)／文政一〇年／一・二・三×三・三・七／横帳 長帳綴 茶地横刷毛目原表紙 楮紙／御右筆所／093

0605-08 御右筆所「御留守年日記」(天保五年九月五日、同六年三月二六日)／一冊(四三丁)／天保五年／二・四・三×一・六・二／縦帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御右筆所／093

0605-09 御右筆所「日記」(安政二年五月六日、同三年七月二九日)／一冊(一五三丁)／安政二年／一・一×三・一・二／横帳 長帳綴 茶地横刷毛目原表紙 楮紙

／御右筆所／093

0614 御右筆所「日記」(文政二年四月二八日、天保元年三月二七日)／一冊(七五丁)／文政二年／一二・三×三三・〇／横帳 長帳綴 茶地原表紙 楮紙／御右筆所／097

0618 御右筆所略日帳(弘化二年一〇月七日、弘化三年七月二八日、御右筆所に關する勤務、人事他の記録)／一冊(六丁)／弘化二年／一五・五×三七・五／横帳 長帳綴 表紙無し 楮紙／赤ラベル表記無／墨付三丁／097

0720 御右筆所「御締道被仰出ニ付諸組分御伺書ニ存書上御差函之調」(儉約令に關して家臣団の各組からの伺いと御記録所、右筆所の回答)／一冊(五八丁)／天保一三年／二八・〇×一八・六／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御右筆所控／115

0742 御記録所・御右筆所言上書(上杉景勝から齊定まで侍組の由緒と高足一件への対応案)／一通(四紙)／江戸後期(年未詳)六月／一五・〇×一〇・三／切継紙 楮紙／御記録所・御右筆所・侍組之儀者：奉存候以上／訂正多数、柱題「高足一件存寄申出ニ付猶事実書差上申候」、前欠か／117

0901 御右筆所「上覽御鉄砲供奉日記」(藩主による鉄砲上覽に關する必要事項や結果)／一冊(二二丁)／慶応二年正月／一二・三×三二・〇／横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／御右筆所／赤ラベル表記無／慶応二年正月一五日、二五日／137

藩政—御記録方—日記類

0549-01 「記室要録 一」(寛文元年、安永六年、御記録方の職務概要)／一冊(七七丁)／天保一五年四月／二七・〇×一八・五／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／御記録所 片桐忠成著(落款)／御記録所／0549-01-06
 まで一括包み入、包にラベル「図書第一七号」とあり、0549は木版刷り外枠や魚尾などを木版で刷った用紙を用いて書写、片桐忠成は御記録所勤／085

0549-02 「記室要録 二」(安永七年、寛政二年、御記録方の職務概要)／一冊(五九丁)／天保一五年四月／二七・〇×一八・五／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／御記録所／085

0549-03 「記室要録 三」(寛政三年、文政一〇年、御記録方の職務概要)／一冊(八〇丁)／天保一五年四月／二七・〇×一八・五／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原

表紙 楮紙／御記録所／085

0549-04 「記室要録 四」(文政一一年、弘化二年、御記録方の職務概要)／一冊(九〇丁)／天保一五年四月／二七・二×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／御記録所／085

0549-05 「記室要録 五」(寛文年間、天保一五年、御記録方の歴代補任者、加増、年中行事他、一部嘉永・安政年間の記事を追加)／一冊(一〇五丁)／天保一五年四月／二七・二×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／御記録所／085

0549-06 「記室要録 六」(元和年間、天保一五年、御右筆の勤務、家禄の増減、相統報償、張師)／一冊(八一丁)／天保一五年四月／二七・二×一八・三／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／御記録所／085

0569-01 御記録所「序牘 一之巻」(文化六年正月、文政一〇年三月の略日記、御用留)／一冊(一七六丁)／江戸後期(年月日未詳)／二二・〇×一六・〇／横半帳 列帖装 共紙原表紙 楮紙／御記録所／086

0569-02 御記録所「序牘 二之巻」(文化一五年一月、文政三年二月の日記、御用留)／一冊(一四〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／二二・〇×一五・七／横半帳 列帖装 共紙原表紙 楮紙／御記録所／086

0569-03 御記録所「序牘 三之巻」(文政四年一月、同一一年二月の日記、御用留)／一冊(二二四丁)／江戸後期(年月日未詳)／一一・八×一六・二／横半帳 列帖装 共紙原表紙 楮紙／御記録所／表紙は一紙足し強度を補充／086

0569-04 御記録所「序牘 四之巻」(文政一二年一月、天保一二年一〇月の日記、御用留)／一冊(一八〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／二二・〇×一六・〇／横半帳 列帖装 素紙原表紙 楮紙／御記録所／086

0569-05 御記録所「序牘 卷五」(天保一一年一〇月、安政二年九月の日記、御用留)／一冊(二三〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／二二・〇×一六・二／横半帳 列帖装 縹地原表紙 楮紙／御記録所／裏表紙剥れ／086

0569-06 御記録所「序牘 卷六」(安政二年一〇月、明治三年七月の日記、御用留)／一冊(二四八丁)／江戸後期(年月日未詳)／二二・一×一六・三／横半帳 列帖装 縹地原表紙 楮紙／御記録所／挟込文書あり／墨付一五三丁／086

0569-06-01 御記録所宛 御日小屋書状(筆墨代請取と小印につき)／一通(二紙)／江戸後期(年未詳)正月二八日／一五・〇×一九・三／切継紙 楮紙／御日

小屋↓御記録所／先日筆墨代：御請取可被申候哉／「序牘卷六」の二二丁目に挟込／086

0602 「留帳」(安永一〇年正月二日〜寛政七年一〇月五日、御記録所等に勤務した藩士の勤務日記)／一冊(二六六丁)／安永一〇年／一六・〇×一九・八／横半帳列帖装 共紙原表紙 楮紙／墨付一五二丁、墨や紙などに関する記事が多く物品管理などを担当した者の記録か／093

0605-01 御記録所「日記」(寛政一一年四月二日〜享和二年一二月二六日)／一冊(六六丁)／寛政一一年／二・〇×一六・〇／横半帳 列帖装 共紙原表紙 楮紙／御記録所／三分の二程裏表紙破損／093

0605-02 御記録所「日記」(享和三年元旦〜文化四年一二月二二日)／一冊(一八丁)／享和三年／一・八×一六・三／横半帳 列帖装 共紙原表紙 楮紙／御記録所／墨付九八丁／093

0609 「御記録所局中之留」(文化五年〜天保七年の御記録所の勤務に関する伺い・報告・上申された文書の書留)／一冊(二四三丁)／文化五年／二・二×一五・八／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／綴紐外れあり／表紙に「三人 角屋 佐藤 北村」、「文政十一年より 四人 佐藤 小田切 片桐 富田」と記載あり、表紙は二重にして補強、挟込文書一点あり／094

0613-01 御記録所「日記 初編」(文政六年八月一日〜同八年五月三十一日)／一冊(九二丁)／文政六年／一・八×一六・三／横半帳 列帖装 茶地原表紙 楮紙／御記録所／林泉文庫／095-096

0613-02 御記録所「日記 二編」(文政八年六月一日〜同一〇年五月七日)／一冊(九五丁)／文政八年／二・〇×一六・二／横半帳 列帖装 黄茶地原表紙 楮紙／御記録所／林泉文庫／095-096

0613-03 御記録所「日記 三編目」(文政一〇年五月八日〜同一三年三月四日)／一冊(二二五丁)／文政一〇年／二・〇×一六・〇／横半帳 列帖装 素紙原表紙 楮紙／御記録所／林泉文庫／墨付二二三丁／095-096

0613-04 御記録所「日記 四篇」(天保元年三月一日〜同三年四月二日)／一冊(九七丁)／天保元年／二・〇×一六・二／横半帳 列帖装 白茶地原表紙 楮紙／御記録所／林泉文庫／墨付九五丁／095-096

0613-05 御記録所「日記 五編」(天保三年四月一日〜同五年九月五日)／一冊(一一八丁)／天保三年／二・〇×一六・四／横半帳 列帖装 素紙原表紙 楮紙

／御記録所／林泉文庫／095-096

0613-06 御記録所「日記 六編」(天保五年九月一日〜同九年六月三〇日)／一冊(一七七丁)／天保五年／二・〇×一六・五／横半帳 列帖装 素紙原表紙 楮紙／御記録所／林泉文庫／095-096

0613-07 御記録所「日記 七篇」(天保九年七月一日〜同一三年六月一九日)／一冊(一八九丁)／天保九年／二・〇×一六・四／横半帳 列帖装 深緑地原表紙 楮紙／御記録所／林泉文庫／095-096

0613-08 御記録所「日記 八編」(天保一三年六月二〇日〜弘化三年三月三〇日)／一冊(二六〇丁)／天保一三年／二・〇×一五・五／横半帳 列帖装 浅葱地原表紙 楮紙／御記録所／林泉文庫／095-096

0613-09 御記録所「日記 九編」(弘化三年四月一日〜嘉永二年一二月三十一日)／一冊(二六九丁)／弘化三年／二・〇×一七・三／横半帳 列帖装 黄茶地原表紙 楮紙／御記録所／林泉文庫 表紙剥離／異なる表紙が二枚あり一枚は破損大、墨付一六二丁／095-096

0613-10 御記録所「日記 十編」(嘉永三年元旦〜同七年六月三〇日)／一冊(一五八丁)／嘉永三年／二・〇×一六・五／横半帳 列帖装 素紙原表紙 楮紙／御記録所／林泉文庫／095-096

0613-11 御記録所「日記 十一編」(嘉永七年七月一日〜安政五年四月二九日)／一冊(二五七丁)／嘉永七年／二・〇×一六・五／横半帳 列帖装 浅葱地原表紙 楮紙／御記録所／林泉文庫／095-096

0613-12 御記録所「日記 十二編」(安政五年五月一日〜文久二年一二月二九日)／一冊(二五八丁)／安政五年／二・〇×一六・八／横半帳 列帖装 浅葱地原表紙 楮紙／御記録所／林泉文庫／095-096

0613-13 御記録所「日記 十三編」(文久三年元旦〜慶応三年一二月三〇日)／一冊(二〇七丁)／文久三年／二・〇×一六・五／横半帳 列帖装 白茶地茶斜編目原表紙 楮紙／御記録所／林泉文庫／墨付一九三丁／095-096

0537 御記録所「諸書物量帳」(安政四年閏五月〜慶応三年一二月、御記録所の担当者と思われる人名毎に年次を追って記録)／一冊(二〇丁)／慶応年中／一五・三×一九・〇／横半帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御記録所／赤ラベル表記無／078

藩政—御記録方—意見書・答書類

0042 「御系譜衆評 完」(0042101107の表紙)／一冊／江戸後期(年月日未詳)／二三・四×一五・四／豎帳 袋綴冊子装 縹地唐草唐花紋後補表紙／乙第四九号古文書図書経巻仏像□御系譜衆評一冊□倉庫階下書箱欄／0042101107合綴／貼込一点あり、「国史系譜 一 写本」の貼紙あり／003

0042101 御記録所「御系譜御書上二付従 公儀被 仰渡候御書付并江戸表分之御用状当局存寄之留」(御系譜御書上につき江戸からの御用状及び当局の回答他)／一冊(三二丁)／弘化三年四月／二三・四×一五・四／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御記録所／上杉伯爵家蔵書・林泉文庫／付札剥離／0042101107合綴／墨付三一丁／003

0042101101 御記録所答書(官位・昇殿に関わる書付)／一通(二紙)／江戸後期(年月日未詳)／一四・五×四〇・四／切紙 楮紙／御記録所／右御ケ条此節：上二付札仕候／0042101107合綴、0042101に挟込／二紙に分離しているため付箋状の紙で繋げている／003

0042101102 御記録所覚書(留守居より指摘のあった系譜の修正につき)／一通(二紙)／江戸後期(年月日未詳)／一四・九×八・〇／切紙 楮紙／御記録所／先便御留守居：差認相副申候／0042101107合綴、0042101に挟込／003

0042101103 広居忠精他三名宛 帯刀書状(御系譜の内容訂正、書き加え、別冊等の編集につき)／一通(三紙)／江戸後期(年月日未詳)／一〇月三日／一五・二×八三・九／切紙 楮紙／帯刀↓出雲殿他三名／以手紙申入候：為御承知申達候／0042101107合綴、0042101に挟込／003

0042102 御記録所「当春御書上御系図之内猶又従 公儀御尋之条江於桜田表取量御答之案并御用状共控」(先だつて差出の系図のうちお尋ねの箇条への対応案)／一冊(一〇丁)／文化八年三月二八日／二三・四×一五・四／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御記録所／付札剥離／0042101107合綴／003

0042102101 毛利方元宛 長尾景保他三名書状控(御系譜書上について江戸からの問合せに対する回答)／一通(二紙)／文化八年三月二九日／一四・七×六四・九／切紙 楮紙／権四郎他三名↓若狭殿／以別紙申入候：如斯御座候以上／0042101107合綴、0042102に貼付／003

0042102102 上杉憲房宛 足利尊氏御教書写(伊豆国奈古屋の地頭職補任の

こと、原本は元弘三年二月二九日付)／一通(一紙)／江戸後期(年月日未詳)／一四・一×一六・七／切紙 楮紙／伊豆国奈古屋郷：領掌之状如件／付札剥離／0042101107合綴、0042102に挟込／原本は国宝上杉家文書にあり、付箋あり／003

0042102103101 御記録所覚書(足利成氏の古河出奔の経緯につき)／一通(一紙)／江戸後期(年月日未詳)／一四・六×七・八／切紙 楮紙／右御ケ条成氏：御ケ条□入奉存候／0042101107合綴、0042102103101102別紙を用い接続／003

0042102103102 御記録所覚書(足利成氏出奔に関する誤記につき)／一通(一紙)／江戸後期(年月日未詳)／一四・六×七・八／切紙 楮紙／御記録所／付札之通常州：可有御座やと存申候／0042101107合綴、0042102103101102別紙を用い接続／003

0042102104 御記録所覚書(御館の乱における上杉憲政死去につき)／一通(二紙)／江戸後期(年月日未詳)／一四・六×一〇・一／切紙 楮紙／右御ケ条実八：死卜相調置候／0042101107合綴、0042102に挟込／003

0042102105 御記録所覚書(春日山城につき)／一通(二紙)／江戸後期(年月日未詳)／一四・六×一〇・〇／切紙 楮紙／右御ケ条越後国：別□無御座候／0042101107合綴、0042102に挟込／003

0042103 「不識公御寿影之事 附高野山無量光院御菩提所之事」(上杉謙信肖像の制作経緯、裏書、その後の供養他)／一冊(四丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・四×一五・四／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／0042101107合綴／作成者は御記録所カ／003

0042104 御帳抜書写(「阿久利之御方津軽采女殿江御縁定より以後之御帳」の抜粋、阿久利姫の吉良家から津軽家への縁定につき)／一冊(一丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・四×一五・四／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／0042101107合綴／作成者は御記録所カ／003

0042105 御記録所「浄光院様御年忌之節御附届之略」(浄光院の年忌供養に関する記録)／一冊(二丁)／文政七年九月／二四・四×一六・四／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／御記録所／0042101107合綴／浄光院は吉良阿久利カ／003

0042105101 取調覚書(浄光院埋葬地東北寺は吉良家菩提寺でない旨の回答を江戸表に伝達)／一通(一紙)／江戸後期(年月未詳) 九月二日／一四・三×一七・

○／切紙 楮紙／此一冊取調差上候：存奉候已上／0042-01-07合綴、0042-05に挟込／作成者は御記録所カ／003

0042-06 御記録所「御三代様御官名真偽奉伺候事」(上杉謙信、景勝、定勝の官位に関する考察)／一冊(六丁)／文政元年七月／二三・四×一五・四／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／御記録所／0042-01-07合綴／剥離している付箋一枚あり／003

0042-07 御記録所「書法御伺物」(上杉綱憲とその子の系譜の書き方を朱字で指示)／一冊(三丁)／江戸後期(年月日未詳)／二四・四×一六・四／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御記録所／0042-01-07合綴／003

0428 北村信精宛 南部又右衛門書状(上杉鷹山養子入りに関する御年譜の記載につき)／一通(二紙)／江戸後期(年月日未詳)／一二月一四日／一四・七×四七・八／切紙 楮紙／南部又右衛門↓北村孫四郎↓此間元徳院様御智養子：申候べく候／050

0490 御記録所意見書下書(東李山村長百姓和地半兵衛の御林守復役につき)／一卷(三紙)／嘉永元年三月／一四・五×七・七／切紙 楮紙 巻紙 楮紙／御記録所／御林守被召放：御申聞可被下候以上／端に保護紙貼付／070

0521 「御記録所手伝勤紹襲草稿」(御記録所手伝勤を命じられた者の姓名・任免年月日)／一冊(八丁)／江戸後期(年月日未詳)／二四・三×一六・二／縦帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／コ〇本／嘉永六年四月二三日にまとめられたものに更に数度の追記あり、最終追記は文久三年四月七日以降、「コ〇本」ラベルの下に別のラベルあり／078

0612 「記室奏議」写(記録所に問合せがあった事項に対する調書・返書の写し、文政元年〜同五年)／一冊(七三丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・〇×一五・七／縦帳 紙綴綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／キ〇本／作成者は御記録所カ／094

0732-01 御記録所「御政事書上 二」(安永七年正月〜同九年八月、藩上層部からの諮問を受け、主に古記録から先例を調べ提出した意見書類の控え)／一冊(二一五丁)／江戸後期(年月日未詳)／二八・三×一八・七／縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／記録方／墨付二二三丁／116

0732-02 御記録所「御政事書上 三」(安永九年八月〜天明二年二月の意見書類控え)／一冊(一六八丁)／江戸後期(年月日未詳)／二八・二×一八・八／縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／記録方／116

0732-03 御記録所「御政事書上 四」(天明三年正月〜同六年二月の意見書類

控え)／一冊(九二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二八・三×一八・八／縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／記録方／116

0752-01 御記録所「諸書上 一之巻」(寛政九年〜文政元年、藩内外からの例外的な願い出に対する見解や対応案)／一冊(七七丁)／江戸後期(年月日未詳)／二四・〇×一五・六／縦帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御記録所／シ〇本／一八〜二二丁、三〇丁〜五一丁は後に挿入、表紙に「但諸向より不尋常願出へ存寄 御尋之節之答 書留置」の朱書あり、「シ本」ラベルの下に別のラベルあり／117

0752-02 御記録所「諸書上 二之巻」(文政五年〜同十二年、藩内外からの例外的な願い出に対する見解や対応案)／一冊(四二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・一×一五・九／縦帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御記録所／六五ノ2／表紙に「文政二年八月改同十二年迄」の墨書あり、表紙補修あり／117

0752-03 御記録所「諸書上 三之巻」(文政一三年〜天保九年、藩内外からの例外的な願い出に対する見解や対応案)／一冊(一五九丁)／江戸後期(年月日未詳)／二四・八×一六・五／縦帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御記録所／シ〇本／一六丁〜二六丁目、四〇丁〜五〇丁目、七八丁〜八一丁目、九五丁目、一〇二丁〜一〇三丁目は後に挿入、「シ本」ラベルの下に別のラベルあり、墨付一五六丁／117

0824-01 志解摩宛 藤左衛門書状(不調法があった大船村鈴木七拾郎の子孫につき村方に糾し報告)／一通(三紙)／(弘化三年)三月一日／一五・四×六九・四／切紙 楮紙／藤左衛門↓志解摩様／大船村免許鈴木七拾郎：伝左衛門曾祖父二御座候以上／端裏書「弘化三年二月」／0824-01-04紙綴一括／志解摩は、御記録方の山吉素履カ、0824は「弘化三年書翰 四通」と書かれた後年の箋付きの首輪あり／123

0824-04 御記録所入記(上杉家の系譜関係九件一三冊、江戸控え分含め二六冊)／一通(一紙)／弘化三年九月／三二・四×四四・三／折紙 楮紙／御記録所／一番上杉弾正大弼綱憲以来系譜：右之通御座候以上／0824-01-04紙綴一括／柱題「入記」／123

0825-01 御記録所宛 代官所書状(大舟村免許鈴木七十郎の養子留蔵につき代官所留蔵と照合し回答)／一通(二紙)／(弘化三年)三月一三日／一五・一×三一・二／切紙 楮紙／御代官所↓御記録所／御紙面致拝見候：如斯御座候以上／0825-01-01紙綴一括／123

0825-02 御記録所宛 代官所書状(大舟村免許鈴木七十郎の養子留蔵一件、村方相沢為作より覚書提出す)／一通(二紙)／(弘化三年)三月一七日／一五・三×三一・三／切紙 楮紙／御代官所↓御記録所／大船村免許：度申候以上／0825-01-01

11紙縫一括／123

0825-03 御記録所宛 宗門御蔵書状（大舟村免許鈴木七十郎の養子留蔵一件、帳面虫食、焼失乱冊で不明と回答）／一通（二紙）／（弘化三年）三月二〇日／一四・六×四一・三／切継紙 楮紙／宗門御蔵↓御記録所／大船村免許：如此御座候以上／0825-011紙縫一括／123

0825-04 御記録所宛 宗門御蔵書状（大船村七十郎の一件、分からざる旨、重ねて回答）／一通（二紙）／（弘化三年）三月二五日／一四・七×二二・九／切継紙 楮紙／宗門御蔵↓御記録所／大船村七十郎：如此御座候以上／0825-011紙縫一括／123

0825-05 御記録所宛 代官所書状（九反田町源五右衛門家督相続一件につき回答）／一通（二紙）／（弘化三年）三月二七日／一四・七×三七・三／切継紙 楮紙／御代官所↓御記録所／九反田町鈴木：如斯御座候以上／0825-011紙縫一括／123

0825-08 役所宛 御記録所書状（御役進の無い列は、当局書留によれば御堂俗番以下、金山山廻他）／一通（三紙）／天保一年三月一日／一四・七×五八・二／切継紙 楮紙／御記録所↓御役所／但当局之書留如左：如斯候以上／0825-011紙縫一括／柱題「御役進無之列」／123

藩政—御記録方—手控

0477 幕府奉行所宛 相馬藩領・米沢藩領目安写（境目争いにつき、原本は、相馬藩領民は承応二年五月、米沢藩領は同年六月）／一通（一〇紙）／文政四年一〇月中旬／三一・三×四〇六・一／継紙 楮紙／一 従 御公儀様被仰付：御裁許来仰候仍如件／柱題「奉乍恐捧御目安言上」、奉行所宛 太左衛門他二名返答写あり、伊達郡石田村の山守菅野藤兵衛所蔵の資料から書写した旨の御記録所の覚書一点貼込、1781の絵図と関連カ／067

0576 目録（郡代役所日記、分限帳他の年次と冊数）／一冊（四丁）／近代（年月日未詳）／一五・一×三七・三／横帳 紙縫綴冊子装 表紙無し 楮紙／087

0579 「御記録所雑抄 全」（寛永〜文政年間の藩の日帳・賞罰・寺社・家臣由緒他の内容の写本を合綴）／一冊（五六丁）／近代（年月日未詳）／二三・〇×一五・四／縦帳 袋綴冊子装 紺地網目模様後補表紙 楮紙／図書第二〇号 林泉文庫／墨付五二丁／087

0579-01 本庄大和他四名宛 上杉鷹山書状写（今般の大検約令執行を進めるよう、原本は一月一三日付、安永頃カ）／一通（二紙）／江戸後期（年月日未詳）／二四・七×二七・七／縦紙 楮紙／今般大検約思立し：申述□氏為滞之／087

0617-01 「局中記」（少史三局が所管する職務の由緒、内容他）／一冊（九丁）／（明治三年八月頃）／二四・五×一六・三／縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／キ〇本／「キ〇本」ラベルの下に別のラベルあり／097

0617-02 「局中記 二」（天保九年六月〜弘化四年一二月の御記録方の人事記録）／一冊（四八丁）／江戸後期（年月日未詳）／二四・五×一六・四／縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／六三 三冊／挟込文書あり／097

0617-02-01 覚書（御右筆所、御記録所他の建替え要請に対し、御文庫普請に伴い大破の御日帳所を建替えのこと）／一通（二紙）／弘化二年二月／一五・〇×四六・八／切継紙 楮紙／右者諸書物多二相成：御普請之方相済候事／0617-02に挟込、柱題は「覚」／097

0617-02-02 寺島権内他二名願書写（天保一三年一月、片桐権左衛門への加増願いにつき）／一通（一紙）／江戸後期（年月日未詳）／二四・三×三三・二／縦紙 楮紙／拙者共同役片桐権左衛門儀：此段申上候以上／0617-02に挟込、挟み込まれた箇所に関連する記録を他の冊子史料から取り外し挟み込む、柱題「片桐権左衛門御加増御取成書増岡六老へ差出ス」／097

0617-03 「局中記 四」（安政六年五月〜明治三年九月、御記録方の賞与、人事、勤方）／一冊（五九丁）／安政三年／二四・五×一六・〇／縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／大三ノ二／墨付四二丁／097

1101 集古篇（古戦録抜書、「上杉輝虎註進状」、「胎田状」、「広居氏日記鈔」、上杉重房から謙信、景勝関連文書の写）／一冊（五三丁）／江戸後期（年月日未詳）／二三・六×一五・五／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／ココハヒ本 御記録所／筆跡の異なる写本の合本、一部に寺島貞経の識語や原本旧蔵者に関する記載あり／169

藩政—絵図方

1826 岩瀬小右衛門・井上権右衛門宛 中條清資「御堀浚之御絵図入り日記」（米沢城二の丸・三の丸の堀の浚渫に係る絵図面の詳細につき）／一冊（五丁）／正徳元年九月二一日／一五・四×四三・九／横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／中條修理↓絵図役

岩瀬小右衛門殿・井上権右衛門殿／No.1826の絵図と関連／234

1907 絵図方「御城下諸屋鋪軒数并花沢南原共目録」〔米沢城下及び上花沢、下花沢、南原各町の軒数〕／一冊（一八丁）／明和六年一〇月／一五・四×三九・六／横帳 紙釘装 共紙原表紙 楮紙／御絵図方／袋入1882、1883の絵図と関連／235

1975 「御絵図目録別帳目録諸書物共」（堀江頼安写「御絵図目録」、御記録所「別冊目録諸書物共」、御記録所「別冊目録先調ニ相洩候近來之分仮調」）／一冊（七二丁）／近代（年月日未詳）／二三・二×一五・二／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・紫地後補表紙 楮紙／オ〇本・一七九／墨付き五八丁、堀江頼安は明治元年に御記録方に任命、ラベルは「オ〇本」の下に「二七九」、表紙に「書目 一本」の貼紙、表紙下部に付箋「御（後欠）」あり／236

藩政—郷村関係—手引

0460-01 「郷村手引 一」（御郡中御取筒高の事他、五五か条）／一冊（五五丁）／江戸後期（年月日未詳）／二七・七×一七・八／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／0460-01-03包紙一括／包紙墨書「郷村手引 自一 三迄」／067

0460-02 「郷村手引 二」（宗門改の他三か条）／一冊（四六丁）／江戸後期（年月日未詳）／二七・五×一七・八／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／060-01-03包紙一括／067

0460-03 「郷村手引 三」（出生子取育の事他二八か条）／一冊（五四丁）／江戸後期（年月日未詳）／二七・五×一七・八／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／0460-01-03包紙一括／067

0460-04 「郷村手引 四」（百姓衣食住の儉約令他一〇六か条）／一冊（五七丁）／江戸後期（年月日未詳）／二七・四×一七・九／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／0460-04-06包紙一括／包紙墨書「郷村手引 自四 六迄」／067

0460-05 「郷村手引 五」（郷中備初等の事他六五か条）／一冊（五四丁）／江戸後期（年月日未詳）／二七・四×一七・七／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／0460-04-06包紙一括／067

0460-06 「郷村手引 六」（欠所者請取候者私に村方へ返すまじき事他八一か条）／一冊（五〇丁）／江戸後期（年月日未詳）／二七・五×一七・九／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／0460-04-06包紙一括／067

0534 「司農職掌手引」写（代官の職掌に関する先例・法令他、記事は明治三年まで）／一冊（五〇丁）／近代（年月日未詳）／二三・八×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／シ〇本・四六 林泉文庫／文久三年正月今成愛が写したものの写し、表紙に「旧藩史料 政事 一 写本」の貼紙あり／078

藩政—郷村関係—貢租

0663 「慶長四年信夫郡内家数人数帳」（信夫郡水原村・八丁目村・手明根村・金沢村分）／一冊（二五丁）／慶長四年／二七・九×一六・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・黄茶地後補表紙 楮紙／貴ケ〇本 林泉文庫・伊佐早兼古書之宝／「慶長四年信夫郡内家数人数帳 慶長拾五年池黒村年貢出納帳」の題箋のある帙に収録、但し後者は未収録／112

0672-01 長井・伊達信夫郡高目録（長井郡及び伊達・信夫郡から納入された物成の内訳）／一通（二紙）／寛永二六年閏一月三日／三三・〇×六六・一／継紙 楮紙／一 寛拾六分長井伊達信夫免相物成覚：四千三百三拾三石三斗三升六合／裏打あり／0672-01-02貼紙／柱題「長井伊達信夫免相物成覚」／113

0672-02 角之御蔵萬金銀請取払方目録（寛永二〇年分角の御蔵における金銀出納）／一通（四紙）／寛永二二年二月二六日／三四・五×一六五・五／継紙 楮紙／上屋藤兵衛、吉見次右衛門／一 九千六百拾五匁：残八枚ハ寛式拾壹へ存申候分／端裏書「寛式十分金銀納払之目録」／0672-01-02貼紙／柱題「寛永式拾年分角之御蔵而萬金銀請取払方之目録」／113

0673 高畑村惣百姓中宛 今井源五兵衛証文断簡（受給、発給部分のみ、0673-01-03の表紙に転用）／一通（二紙）／寛永二二年一〇月／三三・六×二二・四／豎切紙 楮紙／寛延二年巳十月：名主・組頭・惣百姓／0673-01-03貼紙／裏面に「古証文 寛永十七年長井郡…」等と内容の目録を記載／113

0673-01 長井郡伊達信夫高物成目録（寛永一七年時点の生産高と年貢高）／一通（三紙）／（寛永一七年頃）／三四・〇×二二・三／継紙 楮紙／一高六万五千石 百四拾六石三斗：寛拾六帳面ノ内同拾七二川欠永引／0673-01-03貼紙／柱題「長井郡伊達信夫高物成目録」／113

0673-02 米沢作事屋算用目録（寛永一〇年七月〜同一五年の経費）／一通（五紙）／寛永二二年八月一七日／三四・二×二〇五・一／継紙 楮紙／寛十分 一 拾壹貫九拾式匁七分：寛十六元へ可出分／0673-01-03貼紙／柱題「寛永十年七月朔日ヨリ米沢御作事屋御算用目録」／113

0673-03 長井信夫地足輕武頭目録(地足輕九四五人分の負担を米、金銀に換算、江戸定詰、米沢御作事屋定夫他の内訳)／一通(四紙)／江戸前期(年月日未詳)／三・四・五×一五八・四／継紙 楮紙／合九百四拾五人：一日二壱人分二五分四分二御座候／0673-01-03 貼継／柱題「長井信夫地足輕武頭目録」／113

0674 来次左近他三名給人知行地諸役定書(伊達郡信夫郡に知行地を有する給人に關する諸役規定)／一通(三紙)／寛永二〇年一〇月／三六・六×一五四・四／継紙 楮紙／左近(黒印) 他三名／一 米方納様てすくひ：右堅被定置所如件／端裏貼紙「伊達信夫」／林泉文庫／柱題「伊達信夫諸給人新古共所納之覚」／113

0675 来次左近他三名給人知行地諸役定書(長井郡に知行地を有する給人に關する諸役規定)／一通(三紙)／寛永二〇年一月／三六・六×一四七・三／継紙 楮紙／三河守(黒印) 他三名／一 年貢米銀前々相定候ことく：目安を以可申上者也仍定所如件／端裏書「長井給人」／伊佐早兼古書之宝・林泉文庫／柱題「長井郡諸給人納方」、「伊佐早兼古書之宝」印は左辺のみ／113

0676 小嶋次左衛門他二名目録(中小松、梨郷、寺泉、伊佐沢の役間と地足輕數割付につき)／一通(一紙)／寛文七年四月二日／三二・五×四三・二／堅紙 楮紙／小嶋次左衛門(黒印) 他二名／一 三拾式間五歩：右之通割付相極申候以上／柱題「御知行分役間地足輕引方之目録」、後欠／113

0683 星源左衛門他一〇名「中郡西通明和五年分御蔵入高物成納方帳」／一冊(九四丁)／明和五年一月二日／三〇・三×二〇・三／堅紙 袋綴冊子装 共紙原表紙・白茶地茶横刷毛目後補表紙 楮紙／星源左衛門他一〇名／メ〇本 林泉文庫／下小口に「明和五年物成納方帳全」の墨書あり／113

0684 永井喜惣兵衛他五名「関町寛政元年分御蔵入納方物帳」／一冊(一一七丁)／寛政六年閏一月三日／三一・七×二一・一／堅紙 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／郡奉行永井喜惣兵衛他五名／セ〇本 林泉文庫／背に「村」の墨書、本文末尾に「昭和二年丁卯五月四日購求林泉文庫主人謹」の墨書あり、墨付一〇丁／113

0685 御使番番上(筑前藩等諸藩の御使番五名、0685-01-02の表紙)／一通(一紙)／江戸後期(年月日未詳)／一六・八×二三・七／堅紙 楮紙／御使番筑前太田鉄太郎：同 鈴木董太郎／0685-01-02 貼継／端裏に墨書「旧藩執政評判紙面」と朱書「享和元年検地之件 荏戸善政手筆」し、表紙に転用／113

0685-01 覚書(領内の今年の検地方針につき)／一通(二紙)／江戸後期(年月日未詳)／一五・一×三二・九／切継紙 楮紙／↓検地横目中・同役人中／今年御作並ハ他国も豊二有之由：心を可被用候事／端裏書「享和元年九月廿日申渡 今年上作の所」印の村々検地願被下候也」／0685-01-02 貼継／113

0685-02 領内検地目録(享和元年九月に検地を行った一五ヶ村)／一通(二紙)／(享和元年) 九月二〇日／一五・一×二九・五／切継紙 楮紙／村々当一作引御検地割合左之通：合三百三町三畝式十九歩／端裏書「享和元年九月検地願の村々但今年豊作年也」／0685-01-02 貼継／113

0686 佐藤市右衛門他七名「西山上村之内大沢文化元年分御蔵入納方新帳」／一冊(三二丁)／文化二年二月／三一・五×二〇・七／堅紙 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御中之間年寄郡奉行兼帯 佐藤市右衛門(黒印) 他七名／二〇本 林泉文庫・羽前米沢市林泉寺町伊佐早謙／113

0687-01 「遠山村御蔵給人納方改帳 上」写(原本は明暦三年一〇月一六日)／一冊(七四丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・五×一六・八／堅紙 袋綴冊子装 共紙原表紙・黒地菱繋後補表紙 楮紙／二四／113

0687-02 「遠山村御蔵給人納方改帳 下」写(原本は明暦三年一〇月一六日)／一冊(八一丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・七×一六・〇／堅紙 袋綴冊子装 原表紙欠・黒地菱繋後補表紙 楮紙／ト〇本／113

藩政—郷村関係—訴訟

0479-01 容体書(山本ト泉、生駒元恕、藤木駿河守らによる貴人の顔の傷口や積気に関する治療記録)／一通(一紙)／江戸後期(年月日未詳)／三五・七×四四・五／堅紙 楮紙／正宗清陽散火湯調献：御事奉恐入候以上／0479-01-09 貼継／紙背を0479の表紙に転用、前欠／067

0479-02 小嶋正員宛 砂塚村肝煎孫左衛門口上書他二通写(萩生田村肝煎善右衛門と高梨村次郎兵衛の願書とも他国への米売払は付通のこと)／一通(七紙)／享保二年四月／三〇・四×二五・三・五／継紙 楮紙／砂塚村肝煎孫左衛門、同荷主善平↓小嶋十三郎殿／一 諸在郷手作米：被仰付可被下置候以上／0479-01-09 貼継／一通目の柱題「(前欠) 村々目安之写シ」、小嶋正員は代官／067

0479-03 小嶋正員宛 赤湯村問屋石岡彦六他二名答書(砂塚村、高梨村、萩生田村より付通の米を押しえ置く経緯につき挨拶)／一通(九紙)／享保二年五月二日／三〇・四×三四・〇／継紙 楮紙／赤湯村問屋石岡彦六(黒印) 他二名↓小嶋十三郎殿／砂塚村孫左衛門：御尋可被下置候以上／端裏書「当宿分差上候挨拶案、則御代官所分請取帰ル」／0479-01-09 貼継／他二名は赤湯村肝煎／067

0479-04 小嶋正貞宛 赤湯村問屋石岡彦六他二名答書(高梨村、砂塚村、萩生田村の馬主、牛主よりの預証文書を披見に入る)／一通(二紙)／享保二年四月／三〇・四×七七・〇／継紙 楮紙／赤湯村問屋石岡彦六(黒印) 他二名↓小嶋十三郎殿／高梨村次郎兵衛出米：入申通二御座候以上／0479-01-09 貼継／067

0479-05 小嶋正貞宛 □村問屋忠三郎他三名訴状(赤湯村より付通米押置一件につき、宿場継に仰せ付けられたく)／一通(二紙)／享保二年四月／三〇・五×五〇・五／継紙 楮紙／□村問屋忠三郎他三名↓小嶋十三郎殿／右之通赤湯村分：宿場次二被仰付可被下置候以上／0479-01-09 貼継／小嶋十三郎宛 赤湯村・川種村・小岩沢村の間屋等五名の連署部分を貼り継ぐ／067

0479-06 覚書(代官所への目安と挨拶書提出後の六月七日までの経過)／一通(一紙)／(享保二年)／三〇・五×二二・五／切紙 楮紙／右之通双方御代官所迄：十四文ト相定候事／0479-01-09 貼継／067

0479-07 萩生田村善右衛門宛 赤湯村問屋彦六他二名預証文(御代官所の仰せにより、押さえ置く米二俵分)／一通(二紙)／享保二年四月一日／三〇・五×三一・〇／切紙 楮紙／赤湯村問屋石岡彦六(黒印) 他二名↓萩生田村 善右衛門殿／米式俵者 三所府ニシテ：預り証文仍如件／0479-01-09 貼継／柱題「預り申米之事」／067

0479-08 砂塚村孫左衛門宛 赤湯村問屋彦六他二名預証文(御代官所の仰せにより、押さえ置く米六俵分)／一通(二紙)／享保二年四月一日／三〇・五×三八・〇／切紙 楮紙／赤湯村問屋石岡彦六(黒印) 他二名↓砂塚村 孫左衛門殿／米六俵者 三所府ニシテ：預り証文仍如件／0479-01-09 貼継／柱題「預り申米之事」、末尾に米を渡した際に証文二通は返却された旨の記載あり／067

0479-09 高梨村次郎兵衛宛 赤湯村問屋彦六他二名預証文(御代官所の仰せにより、押さえ置く米四俵分)／一通(二紙)／享保二年四月一日／三〇・七×三八・五／切紙 楮紙／赤湯村問屋石岡彦六(黒印) 他二名↓高梨村 次郎兵衛殿／米四俵者 三所府ニシテ：預り置申候仍而如件／0479-01-09 貼継／柱題「預り申米之事」、末尾に文意が良くないと受け取らず返却された旨の記載あり／067

0482 「茂庭村荷物附通事件」(安政三年、同五年の茂庭村、板谷駅国境等の荷物通過につき取決)／一冊(五四丁)／近代(年月日未詳)／二三・一×一五・二／豎帳袋綴冊子装 共紙原表紙・紺地亀布目後補表紙 楮紙／乙第四四号古文書圖書籍経巻佛像佛器 上杉伯爵家蔵書・林泉文庫／下札あり／067

藩政—郷村関係—免許百姓

0568 武四郎宛 喜兵衛・正太郎書状(古志田村御林守二宮勤兵衛は累代の御林守ではなく帰役御免)／一通(二紙)／江戸後期(年未詳)三月一日／一四・八×四〇・〇／切継紙 楮紙／喜兵衛・正太郎↓武四郎／昨日者以海卸□：如此御座候以上／加筆して返信を記載／085

0603-01 「郡奉行所記録」(上長井と屋代郷の免許百姓由緒)／一冊(三五丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・五×一五・四／豎帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙 楮紙／ク〇本・一八 御記録所／093

0603-02 「郡奉行所記録」(下長井の免許百姓由緒)／一冊(一四四丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・五×一五・四／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／御記録所／093

0603-03 「郡奉行所記録」(下長井の免許百姓由緒)／一冊(八二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・五×一五・四／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／御記録所／093

0603-04 「郡奉行所記録」(北条郷の免許百姓由緒)／一冊(七三丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・五×一五・四／豎帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙 楮紙／御記録所／093

0753 御代官所「小国郷免許由緒書上帳」(租税免除や苗字帯刀許可の免許百姓、遠藤三郎右衛門他一名)／一冊(一〇丁)／安政二年一月／一五・一×三七・四／横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／御代官所／ヲ〇本／墨付九丁／117

0754 「下長井免許由緒書」(下長井西部の免許百姓一六名)／一冊(七六丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・五×一五・四／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／シ〇本 御記録所／下小口に「下長井西」の墨書あり／117

0755 藤倉清右衛門他二名由緒書他写(西山上村藤倉清右衛門、鈴木金左衛門他の山守任命の由緒調書二通、原本は江戸中期)／一通(四紙)／(安政三年カ)／一四・八×八五・九／切継紙 楮紙／右者宝曆年中御林守：嘉永元年中奉伺御趣右之通／端裏書「安政三年」／柱題「免許由緒書 西山上村 藤倉清次衛門 鈴木金左衛門」／117

藩政—郷村関係—手控

0022 御代官所「御郡中郷分根源之儀於御代官所不分明相応勘定所二有之候浦生代村分之写并正保年中御取調之分上下長井之任分区々御座候付正保三年中御書上之写并当時之扱分被 仰付置候分兩様相調書上申帳」写（領内の郷方、通別の村附、代官以下の担当役人）／一冊（九丁）／寛政六年六月／一六・三×四一・二／横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／ク〇本・二六／差紙挿入あり、表紙に朱字で君上のお好みにより筆写させた旨の追記と「莅戸善政」の記載あり／002

0025 「出羽国置賜郡御林反別木数改帳」（米沢藩領の御林の所在地、面積、木の種類毎の本数）／一冊（二四丁）／享保八年四月／二五・九×一七・〇／縦帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／テ〇本／裏打あり／脱落した付箋あり／002

0026 「上杉家領山林銘細帳」写／一冊（四三丁）／安永一〇年四月／九・四×一四・四／横半帳 長帳綴 素紙後補表紙 楮紙／ウ〇本 林泉文庫／「ウ〇本」の下に別のラベルあり／002

0638 「萬留書之帳」（承応二年一〇月一八日、寛文二年四月六日、主に地方支配に関する御用留）／一冊（九八丁）／江戸前期（年月日未詳）／三二・〇×二一・四／縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／ヨ〇本 林泉文庫／末尾に仙台藩・山形藩・米沢藩の役人の名前を列挙、「ヨ〇本」ラベルの下に別のラベルあり、表紙裏の近代貼紙には郡代渡部久右工門の留書とあるが、内容から作者は北条郷代官安部七郎右衛門と推定／107

0665 「上杉藩下長井各村村勢調査書」写（文化二年四月時点における村別村勢）／一冊（七七丁）／近代（年月日未詳）／二五・〇×一六・五／縦帳 紙綴綴冊子装 素紙後補表紙 機械漉紙／ラベルの一部分跡あり／表紙・裏表紙共に本紙より一回り小さい薄い和紙を二つ折、「上杉鷹山公伝用紙」の原稿用紙を使用／112

0714 「去卯年非常之違作之続公私備初麦其上食糧之心得被 仰出候一件始終之留」（飢饉に備えた米、麦備蓄の再興・充実関連文書の留）／一冊（五二丁）／天明四年八月／二九・五×二〇・五／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・白茶地茶横刷毛目後補表紙 楮紙／テ〇本 林泉文庫／後補表紙「天明四年備荒 全」／114

0726 証文断簡（青葙関係、0726-01-02の表紙に転用）／一通／江戸後期（年月日未詳）／一六・〇×二一・四／切紙 楮紙／為相泥可申候：仍奥書如件／0726-01-02貼紙／「旧藩執政評判紙面」の墨書、「郡中出穀之件」の朱書あり、元は縦紙カ／115

0726-01 佐藤義陳・原正勤出穀中勘見積書（各地郷村出役より出穀高取調申出）／一通（三紙）／文化一〇年九月／一五・〇×七・二／切紙 楮紙／佐藤市右衛門・原三左衛門／文化十年分出穀：取調申上候以上／林泉文庫／0726-01-02貼紙／佐藤、原は郡奉行／115

0726-02 覚書（郡中入用米、出役中出穀見積では不足のため酒田御下米延引等手当方書上）／一通（三紙）／文化一〇年九月／一四・九×七五・二／切紙 楮紙／一五拾壹万八千五百拾八俵：御座候以上／0726-01-02貼紙／柱題「覚」／115

0751-01 達書（五番隊分隊長橋本誠之助他に対する処分）／一通（一紙）／江戸後期（年月日未詳）／一六・二×二四・〇／切紙 楮紙／五番隊分隊長：第六銃隊江組入／林泉文庫／751-01-02貼紙／0751-02の前に貼り付けて包紙代わりにし、「板谷庄屋佐藤與一左衛門書上」と表書／117

0751-02 代官所宛 宗川名右衛門答書（板谷村庄屋佐藤与市左衛門の罪科と慶長六年以来の先祖勤方）／一通（八紙）／天明三年七月／一六・一×三二・〇／切紙 楮紙／宗川名右衛門↓御代官所／今度御呵御免懸書上：庄屋御役目相務申候以上／端裏朱書「文化十年分」、同墨書「板谷庄屋佐藤與一左衛門書上」／751-01-02貼紙／117

0756 佐市右衛門宛 石井作兵衛書上（江俣村、上矢野目村他、村ごとの用水の管理状況他）／一通（三紙）／江戸後期（年月日未詳）七月二日／一五・四×九九・六／切紙 楮紙／石井作兵衛↓佐市右衛門様／村々田水之様子式番草運方相尋候処：可差出儀候者早々申上候以／林泉文庫／大名の名前を列記した別紙を端に貼紙ぎ包紙として代用、表書き黒書「旧藩農政」朱書「田水用水之件」／117

0832 山林方覚書（嘉永年間に不調法を犯した御林守六人の調書）／一通（三紙）／江戸後期（年月日未詳）三月一日／一四・九×七四・九／切紙 楮紙／山林方／古志田村二〇勤兵衛 右ハ：面々ニは無御座候 以上／柱題「覚」／123

0985 渡部忠知「萬勤方日記」（安永五年三月二八日、一二月二九日）／一冊（四二丁）／安永五年三月二八日／一二・三×二九・四／横帳 長帳綴 素紙原表紙 楮紙／源忠知（花押）／マ〇本／渡部は郷村出役／160

1036 代官所他三名書状（田畑等の農事の心得につき上杉鷹山より申渡し）／一通（二紙）／寛政八年七月五日／一四・三×四九・二／切紙 楮紙／代官所他三名／近來□□：可被申付候／端裏書「寛政八年七月五日被仰出即日六郎兵衛宅へ召出申渡」／後補裏打／柱題「手控」／163

1091 「越後七郡古代之絵図關残村高書拔」(近世初期における頸城郡と瀬波郡の村高)／一冊(三六丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・五×一五・五／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／図書第六号 御記録所／168

1528 小川源左衛門宛 馬場次郎兵衛書状(二〇〇両のうち小出分差支えにつき何とか借り受け、蠟分五〇〇両分払う)／一通(四紙)／江戸後期(年月日未詳)五月二三日／一五・八×一六三・五／切継紙 楮紙／馬場次郎兵衛↓小川源左衛門様／先達而之御報今廿參日相達：御脇見可被下候以上／端裏書「五月廿三日馬場次郎兵衛より二百両小松借受之蠟之事」／作者は馬場頼綱、宛先は小川尚篤と推定、小川が郷村出役として小出村を管轄中カ／221

1695-01 「刻石伝 附録共三冊」(明和四年、天保三年、米沢藩の農政や民政に関する触書他)／一冊(五四丁)／江戸後期(年月日未詳)／一六・〇×二二・九／豎帳 袋綴冊子装 黄地後補表紙 楮紙／乙第一一七号古文書図書経巻佛像刻石伝二冊(上)倉庫階下書箱号欄 柳塘藏書・伯爵上杉家／各丁の折り目に丁数を記す、下小口に「下郷村二冊□□」の墨書あり／無

1695-02 「刻石伝 附録 下」(安永元年、天保三年、米沢藩の農政や民政に関する勤務規定や生活上の心得、触書他)／一冊(三二八丁)／江戸後期(年月日未詳)／一五・一×二二・六／豎帳 袋綴冊子装 黄地後補表紙 楮紙／乙第一一七号古文書図書経巻佛像刻石伝二冊(下)倉庫階下書箱号欄／伯爵上杉家／各丁の折り目に丁数を記す／無

藩政—御預所—御預所廃止

0770 室高六右衛門他五名宛 木和田村肝煎惣左衛門他三一名「御領所分御私領江飛入高米銀出方帳」(屋代郷のうち幕府領となった木和田村他六か村の中で米沢藩領の村分となる耕地の諸貢租内訳)／一冊(三六丁)／元禄二年七月九日／三〇・五×二〇・五／豎帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／木和田村肝煎惣左衛門(黒印)他三一名↓室高六右衛門殿他五名／表紙右上角に「イ」の墨書あり、差出は各村の肝煎・組頭計三二名、室高は御預所郡奉行／123

0771 室高六右衛門他五名宛 福沢村肝煎十右衛門他一九名「御私領分御領江飛入高米銀出方帳」(米沢藩領の糠野目村他七か村のうち、幕府領となった屋代郷分となる耕地の諸貢租内訳)／一冊(三四丁)／元禄二年七月九日／三一・〇×二〇・八／豎帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／福沢村肝煎十右衛門(黒印)他一九名↓室高六右衛門殿他五名／表紙右上角に「イ」の墨書あり、差出は各村の肝煎・組頭計二〇名、室高は御預所郡奉行／123

0772 小嶋次左衛門「御私領分山崎村龜崎村川沼村松沢村惣高米銀浮役共出方帳」(山崎村他三か村の村高・年貢高・浮役他の内訳)／一冊(一七丁)／元禄二年五月一六日／三〇・二×二〇・七／豎帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／小嶋次左衛門(黒印)／墨付一四丁、小嶋次左衛門のものと思われる割印が表紙一カ所裏表紙二カ所あり、表紙右上角に墨書あり、小嶋は代官／123

0773 肝煎半三郎・同内蔵助「入込高御年貢米銀出方書上申帳」(入生田村のうち米沢藩領糠野目村分となる耕地の諸貢租内訳)／一冊(七丁)／元禄二年五月一四日／三一・八×二一・九／豎帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／肝煎半三郎(黒印)・同内蔵助(黒印)／半三郎の割印が表紙二カ所裏表紙一カ所あり、表紙右上角に墨書あり／123

0774 舟田善右衛門宛 金屋村次兵衛「御領所金屋村本地開共二 御私領分東山上村梓山村堂森村飛入高入込高米銀出方之帳」(金屋村のうち米沢藩領東山上村・梓山村・堂森村分となる耕地の諸貢租内訳)／一冊(八丁)／元禄二年五月一四日／三一・六×二〇・九／豎帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／金屋村次兵衛(黒印)↓舟田善右衛門殿／次兵衛の割印が表紙裏表紙に各一カ所あり、表紙右上角に「ロ」の墨書あり、舟田は御預所代官／123

0775 舟田善右衛門宛 川井村三左衛門「御領所川井村本地 羽黒川向御私領分花沢境江飛越申田地高物成米銀出方帳」(川井村のうち米沢藩領花沢村分となる耕地の諸貢租内訳)／一冊(一〇丁)／元禄二年五月一四日／三一・二×二一・二／豎帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／川井村三左衛門(黒印)↓舟田善右衛門殿／三左衛門の割印が表紙二カ所裏表紙一カ所あり、表紙右上角に「ロ」の墨書あり、舟田は御預所代官／123

0776 小嶋次左衛門「御領所境へ御私領分飛越田地高物成米銀浮役共出方帳」(山崎村他五か村のうち米沢藩領分となる耕地の諸貢租内訳)／一冊(一七丁)／元禄二年五月一六日／三〇・一×二〇・九／豎帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／小嶋次左衛門(黒印)／小嶋次左衛門の割印が表紙一カ所裏表紙二カ所あり、表紙右上角に「ロ」の墨書あり、小嶋は代官／123

0777 一本柳村肝煎五右衛門他三名「山崎村江拔高物成御年貢米銀出方帳」(一本柳村のうち山崎村分となる耕地の諸貢租内訳)／一冊(三三丁)／元禄二年五月一四日／三一・七×二一・五／豎帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／一本柳村肝煎五右衛門他三名／表紙右上角に「ロ」の墨書あり／123

0778 長谷川兵左衛門「新田村一種代分御私領江飛越御年貢出方帳」(新田村のうち窪田村・中田村分となる耕地の諸貢租内訳)／一冊(四丁)／元禄二年五月一四日／三一・八×二一・三／豎帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／長谷川兵左衛門(黒印)

／兵左衛門の割印が表紙裏表紙各一カ所にあり、表紙右上角に「口」の墨書あり、長谷川兵左衛門は郡代職下役／123

0779 伊藤長五郎「桑山村一種代分御私領江入込御年貢出方帳」(桑山村のうち米沢藩領分となる耕地の諸貢租内訳)／一冊(四丁)／元禄二年五月一日／三一・七×二一・二／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／伊藤長五郎(黒印)／表紙右上角に「口」の墨書あり／123

0780 長谷川兵左衛門「金屋村一種代分御私領江飛越御年貢出方帳」(金屋村のうち米沢藩領分となる耕地の諸貢租内訳)／一冊(四丁)／元禄二年五月一日／三一・八×二一・四／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／長谷川兵左衛門(黒印)／兵左衛門の割印が表紙裏表紙各一カ所にあり、表紙右上角に「口」の墨書あり、長谷川兵左衛門は郡代職下役／123

0781 長谷川兵左衛門「河井村一種代分御私領江飛越御年貢出方帳」(河井村のうち米沢藩領分となる耕地の諸貢租内訳)／一冊(四丁)／元禄二年五月一日／三一・八×二一・四／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／長谷川兵左衛門(黒印)／兵左衛門の割印が表紙裏表紙各一カ所にあり、表紙右上角に「口」の墨書あり、長谷川兵左衛門は郡代職下役／123

0782 舟田善右衛門宛 新田村肝煎新助・次左衛門「新田村松河飛越御私領江入込御年貢米銀出方帳」(新田村のうち米沢藩領分となる耕地の諸貢租内訳)／一冊(八丁)／元禄二年五月一日／三一・三×二一・〇／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／新田村肝煎新助(黒印)・同次左衛門(黒印) ↓舟田善右衛門殿／新助の割印が表紙に、次左衛門の割印が裏表紙に各一カ所あり、表紙右上角に「口」の墨書あり、舟田は御預所代官／123

0783 笹生源左衛門「御領所江入込申高出方之帳」(東山上村のうち米沢藩領分となる耕地の諸貢租内訳)／一冊(四丁)／元禄二年五月一日／三一・九×二一・四／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／笹生源左衛門(黒印)／表紙右上角に「口」の墨書あり、笹生は代官／123

0784 小嶋次左衛門「福沢村窪田村萱野反畝付之帳」(福沢村・窪田村のうち萱野の内訳)／一冊(四丁)／元禄二年五月一日／三〇・四×二一・二／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／小嶋次左衛門(黒印)／次左衛門の割印が表紙裏表紙に各一カ所にあり、表紙右上角に「口」の墨書あり、小嶋は代官／123

0785 一本柳村肝煎五右衛門他三名「飛入高御年貢米銀出方書上申帳」(一本柳村のうち米沢藩領分山崎村分なる耕地の諸貢租内訳)／一冊(四丁)／元禄二年五月一日／三一・七×二一・二／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／一本柳村肝煎五右

衛門(黒印) 他三名／表紙右上角に「口」の墨書あり／123

0786 木和田村肝煎惣左衛門「飛入高御年貢米銀出方書上申帳」(木和田村のうち米沢藩領分花沢村分なる耕地の諸貢租内訳)／一冊(四丁)／元禄二年五月一日／三一・二×二一・七／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／木和田村肝煎惣左衛門(黒印)／表紙右上角に「口」の墨書あり／123

0787 露藤村肝煎半左衛門・仁兵衛「飛入高御年貢米銀出方書上申帳」(露藤村のうち米沢藩領分窪田村・糠野目村分なる耕地の諸貢租内訳)／一冊(七丁)／元禄二年五月一日／三一・九×二〇・九／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／露藤村肝煎半左衛門(黒印)・同仁兵衛(黒印)／表紙右上角に「口」の墨書あり／123

0788-01 小嶋次左衛門他五名宛 山崎村肝煎忠兵衛・文左衛門請取証文(山崎村漆木役定につき)／一通(二紙)／元禄二年七月一日／三一・五×五二・二／繼紙 楮紙／山崎村肝煎 忠兵衛(黒印)・同組頭 文左衛門(黒印) ↓小嶋次左衛門殿他五名／一 三拾三本：為後日仍如件／端裏付箋「山崎村漆木請取」／0788-01-1 2 紐一括／柱題「山崎村御領所老本柳村へ入込申地分二漆相添請取申事」、裏面紙継目に継目印一顆あり／123

0788-02 笹生源左衛門他五名宛 金屋村肝煎次兵衛他二名請取証文(金屋村田地替地代金請取につき)／一通(二紙)／元禄二年七月一日／三一・五×七一・六／繼紙 楮紙／金屋村肝煎 次兵衛(黒印) 他二名 ↓笹生源左衛門殿他五名／一 三十九石：無御座候仍如件／端裏付箋「金屋村漆之代金請取之証文」／0788-01-1 2 紐一括／柱題「金谷村田地御私領へ飛越地永代相申証文之事」、裏面紙継目に継目印一顆あり／123

0788-03 遠藤間兵衛他五名宛 窪田村右兵衛他七名請取証文(窪田村田地替地代金請取につき)／一通(二紙)／元禄二年七月八日／三一・一×五三・〇／繼紙 楮紙／窪田村地主 右兵衛(黒印) 他七名 ↓遠藤間兵衛殿他五名／一 七石壹八升：為後日之仍如件／端裏付箋「窪田村田地請取証文」／0788-01-1 2 紐一括／柱題「御領所御私領田地替仕に付而代金被下置候受取申事」、裏面紙継目に継目印一顆あり／123

0788-04 小嶋次左衛門他五名宛 新田村肝煎新助他二名売渡証文(新田村田地川西窪田村へ売渡につき)／一通(三紙)／元禄二年七月一日／三一・六×八一・〇／繼紙 楮紙／新田村肝煎 新助(黒印) 他二名 ↓小嶋次左衛門殿他五名／一 高九石壹斗：為後日仍如件／0788-01-1 2 紐一括／柱題「新田村田地川西窪田村江永代相渡申内地方替並売渡申証文之事」、裏面紙継目二箇所に継目印各一顆あり／123

0788-05 花沢村肝煎太郎兵衛宛 川井村肝煎三右衛門他二名替地証文(河井村・花沢村勝手道地替につき)／一通(二紙)／元禄二年七月九日／三一・五×六四・〇／継紙 楮紙／河井村肝煎 三右衛門(黒印) 他二名↓花沢村肝煎 太郎兵衛殿／免四ツ九分三毛：為後日仍如件／端裏付箋「新田村田地代金請取証文」／0788-0112紐一括／柱題「御領御私領之百姓以勝手道地替仕付当村分川西花沢村飛越之地方相渡申証文之事」、裏面紙継目に継目印一顆あり／123

0788-06 笹生源左衛門他五名宛 川井村肝煎三右衛門他二名壳渡証文(川井村百姓田地川西花沢村へ壳渡につき)／一通(二紙)／元禄二年七月一日／三一・五×四八・九／継紙 楮紙／川井村肝煎 三右衛門(黒印) 他二名↓笹生源左衛門殿他五名／一 拾六石五斗：為後日仍如件／端裏付箋「川井村田地代請取証文」／0788-0112紐一括／柱題「川井村百姓田地川西花沢村江飛越地永代壳渡申証文之事」／123

0788-07 笹生源左衛門他五名宛 川井村肝煎三右衛門他二名請取証文(羽黒川西向田地代請取につき)／一通(二紙)／元禄二年七月九日／三一・五×四九・五／継紙 楮紙／川井村肝煎 三右衛門(黒印) 他二名↓笹生源左衛門殿他五名／右之通代金請取：請取申候仍如件／端裏付箋「川井村田地代請取証文」／0788-0112紐一括／柱題「羽黒川西向田地代請取申事合六両壹分ト壹両壹分」、裏面紙継目に継目印一顆あり／123

0788-08 遠藤間兵衛他五名宛 川沼村庄左衛門他二名請取証文(川沼村田地代金請取につき)／一通(二紙)／元禄二年七月二五日／三二・〇×四六・〇／継紙 楮紙／地主 川沼村 庄左衛門(黒印) 他二名↓遠藤間兵衛殿他五名／一 三石壹斗：指上申候仍如件／端裏書「川沼村田地代請取証文」／0788-0112紐一括／柱題「御領所御私領田地替仕二付而代金被下置請取申事」／123

0788-09 遠藤間兵衛他五名宛 福沢村拾右衛門他七名請取証文(福沢村田地替代金請取につき)／一通(二紙)／元禄二年七月二五日／三二・一×六五・五／継紙 楮紙／福沢村地主 拾右衛門(黒印) 他七名↓遠藤間兵衛殿他五名／一 高五拾七石：指上申候仍如件／端裏書「ふく沢村田地代金請取証文」／0788-0112紐一括／柱題「御領所御私領田地替仕二付而代金被下置請取申事」、裏面紙継目に継目印一顆あり／123

0788-10 遠藤間兵衛他五名宛 糠野目村九左衛門他三名請取証文(糠野目村田地替代金請取につき)／一通(三紙)／元禄二年七月二五日／三二・〇×六〇・五／継紙 楮紙／ぬかのめ村地主 九左衛門(黒印) 他三名↓遠藤間兵衛殿他五名／一 高式十式石：指上申候仍如件／端裏書「糠ノ目村田地代請取証文」／0788-0112紐一括／柱題「御領所御私領田地替二付而代金被下置請取申事」、裏面紙継目二箇所に継目印各一顆あり／123

0788-11 小嶋次左衛門他五名宛 亀崎村肝煎長兵衛証文(亀崎村漆役木竹森村へ臨時勤につき)／一通(一紙)／元禄二年七月一日／三一・五×四一・五／豎紙 楮紙／亀崎村肝煎 長兵衛(黒印) ↓小嶋次左衛門殿他五名／一 三拾式本：為後日仍如件／端裏付箋「亀崎長兵衛漆之請狀代金請取申証文」／0788-0112紐一括／柱題「亀崎村漆役木竹森村江臨時二相勤申証文之事」／123

0788-12 遠藤間兵衛他五名宛 東山上村忠左衛門九名請取証文(東山上村田地代金請取につき)／一通(二紙)／元禄二年七月二五日／三二・〇×五八・一／継紙 楮紙／東山上村地主 忠左衛門(黒印) 他九名↓小嶋次左衛門殿他五名／一 高式石式升：指上申候仍如件／端裏書「東山上村田地代請取証文」／0788-0112紐一括／柱題「御役所御私領田地替仕二付而代金被下置請取申事」、裏面紙継目に継目印一顆あり／123

0789-01 小嶋次左衛門他五名宛 露藤村肝煎平左衛門他三名請取証文(露藤村田地糠野目村へ替代金請取につき)／一通(二紙)／元禄二年七月一日／三一・五×六六・〇／継紙 楮紙／露藤村肝煎 平左衛門(黒印) 他三名↓小嶋次左衛門殿他五名／一 高三拾式石：為後日仍如件／端裏付箋「露藤漆之代金御取請狀」／0789-0114包紙一括／柱題「当村平兵衛田地川西之糠野目村飛地永代相渡申請候証文之事」、包紙墨書「御領百姓替地願書拾四通 岩瀬小右衛門」、付箋墨書「五〇四 御領百姓替地願書 十四通」、裏面紙継目に継目印一顆あり／123

0789-02 室高六郎右衛門他六名宛 川井村肝煎三右衛門願書(川井村私領分の花沢村境へ飛越高につき)／一通(一紙)／元禄二年五月二七日／三三・八×四五・二／豎紙 楮紙／川井村肝煎 三右衛門(黒印) ↓室高六郎右衛門殿他六名／從当村御私領分：為後日仍如件／端裏書「追而川井村替地願書」／0789-0114包紙一括／柱題「以書付御願申上候事」／123

0789-03 室高六郎右衛門他六名宛 新田村肝煎次左衛門・新助願書(私領新田村分の中田村へ飛越高につき)／一通(一紙)／元禄二年六月二日／三三・八×四五・二／豎紙 楮紙／新田村肝煎 次左衛門(黒印)、同助(黒印) ↓室高六郎右衛門殿他六名／從当村御私領分：為後日仍如件／端裏書「追而新田村替地願書」／0789-0114包紙一括／柱題「以書付御願申上候事」／123

0789-04 遠藤作兵衛他二名宛 一本柳村組頭次郎右衛門他二名願書(飛越田地につき口上)／一通(二紙)／元禄二年五月二七日／三一・一×六四・四／継紙 楮紙／一本柳村組頭 次郎右衛門(黒印) 他二名↓遠藤作兵衛殿他二名／今度御領被指上候：為後日仍如件／端裏書「一本柳村替地願書」／0789-0114包紙一括／柱題「口上之覚」、裏面紙継目に継目印一顆あり／123

0781-05 遠藤作兵衛他二名宛 金屋村惣右衛門他二名願書(飛越田地につき口上) /一通(一紙) /元禄二年五月二七日 /三二・〇×四三・二 / 榑紙 / 金屋村組頭惣右衛門(黒印) 他二名 ↓遠藤作兵衛殿他二名 / 今度御領被指上候 : 為後日仍而如件 / 端裏書「金屋村替地願書」 / 0789-01114 包紙一括 / 柱題「口上之覚」 / 123

0789-06 室高六郎右衛門他六名宛 新田村肝煎次左衛門・新助願書(私領新田村分の窪田村・中田村へ飛越高につき) / 一通(一紙) / 元禄二年六月二日 / 三三・八×四五・二 / 榑紙 / 新田村肝煎 次左衛門(黒印)・同 新助(黒印) ↓室高六郎右衛門殿他六名 / 従当村御私領分 : 為後日仍如件 / 端裏書「追而新田村替地願書」 / 0789-01114 包紙一括 / 柱題「以書付御訴訟申上候事」 / 123

0789-07 遠藤作兵衛他二名宛 木和田村組頭与兵衛他四名願書(飛越田地につき口上) / 一通(一紙) / 元禄二年五月二七日 / 三二・〇×四三・二 / 榑紙 / 木和田村組頭 与兵衛(黒印) 他四名 ↓遠藤作兵衛殿他二名 / 今度御領被指上候 : 為後日仍如件 / 端裏書「木和田村替地願書」 / 0789-01114 包紙一括 / 柱題「口上之覚」 / 123

0789-08 遠藤作兵衛他二名宛 入生田村組頭鴨左衛門他三名願書(飛越田地につき口上) / 一通(一紙) / 元禄二年五月二七日 / 三二・一×四三・二 / 榑紙 / 入生田村与頭 鴨左衛門(黒印) 他三名 ↓遠藤作兵衛殿他二名 / 今度御領被指上候 : 為後日仍如件 / 端裏書「入生田村替地願書」 / 0789-01114 包紙一括 / 柱題「口上之覚」 / 123

0789-09 室高六郎右衛門他六名宛 木和田村肝煎惣左衛門願書(私領木和田村分の花沢村境へ飛越高につき) / 一通(一紙) / 元禄二年六月二日 / 三三・八×四五・二 / 榑紙 / 木和田村肝煎 惣左衛門(黒印) ↓室高六郎右衛門殿他六名 / 従当村御私領分 : 為後日仍如件 / 端裏書「追而木和田村替地願書」 / 0789-01114 包紙一括 / 柱題「以書付御訴訟申上候事」 / 123

0789-10 遠藤作兵衛他二名宛 川井村組頭甚兵衛他三名願書(飛越田地につき口上覚) / 一通(一紙) / 元禄二年五月二七日 / 三二・二×四三・一 / 榑紙 / 川井村組頭 甚兵衛(黒印) 他三名 ↓遠藤作兵衛他二名 / 今度御領被指上候 : 為後日仍如件 / 端裏書「川井村替地願書」 / 0789-01114 包紙一括 / 柱題「口上之覚」 / 123

0789-11 遠藤作兵衛他二名宛 露藤村組頭三郎右衛門他四名願書(飛越田地につき口上覚) / 一通(一紙) / 元禄二年五月二七日 / 三二・一×四三・五 / 榑紙 / 露藤村組頭 三郎右衛門(黒印) 他四名 ↓遠藤作兵衛殿他二名 / 今度御領被指上候 : 為後日仍如件 / 端裏書「露藤村替地願書」 / 0789-01114 包紙一括 / 柱題「口上之覚」 / 123

上之覚」 / 123

0789-12 小嶋次左衛門他五名宛 副沢村肝煎十右衛門他二名願書(御領・私領飛入高につき) / 一通(二紙) / 元禄二年七月一〇日 / 三二・〇×五二・二 / 繼紙 / 榑紙 / 福沢村肝煎 十右衛門(黒印) 他二名 ↓小嶋次左衛門殿他五名 / 一御領御私領飛入高 : 為後日仍如件 / 端裏書「追而福沢村分申出地替之願書」 / 789-01114 包紙一括 / 柱題「御請状差上申事」 / 123

0789-13 遠藤作兵衛他二名宛 新田村組頭利右衛門他八名願書(飛越田地につき口上覚) / 一通(一紙) / 元禄二年五月二七日 / 三二・〇×四三・五 / 榑紙 / 新田村組頭 利右衛門(黒印) 他八名 ↓遠藤作兵衛殿他二名 / 今度御領被指上候 : 為後日仍如件 / 端裏書「新田村替地願書」 / 0789-01114 包紙一括 / 柱題「口上之覚」 / 123

0789-14 室高六郎右衛門他六名宛 入生田村肝煎内蔵助・半三郎願書(私領入生田村分の糠野目村へ入込高につき) / 一通(一紙) / 元禄二年六月三日 / 三三・七×四五・〇 / 榑紙 / 入生田村肝煎 内蔵助(黒印)・同 半三郎(黒印) ↓室高六郎右衛門殿他六名 / 従当村御私領分 : 為後日仍如件 / 端裏書「追而入生田村替地願書」 / 0789-01114 包紙一括 / 柱題「以書付御訴訟申上候事」 / 123

0790-01 遠藤作兵衛他二名宛 露藤村肝煎平左衛門・仁兵衛「御領所露藤村分御私領へ飛入田地替二付而願申横折帳」 / 一冊(四丁) / 元禄二年六月一日 / 一六・三×四三・一 / 横帳 長帳綴 共紙原表紙 榑紙 / 露藤村肝煎 平左衛門(黒印)・同 仁兵衛(黒印) ↓遠藤作兵衛殿他二名 / 0790-01107 包紙一括 / 包紙裏書「元禄式年 替地願書横折帳 七冊 六月三日 御領所」・墨書付箋「五〇五 替地願書 七冊」・包背装部分に肝煎平左衛門の割印あり / 123

0790-02 遠藤作兵衛他二名宛 川井村組頭甚兵衛他三名「御領所川井村分田地御私領江地替仕二付而百姓勝手申上帳」 / 一冊(五丁) / 元禄二年六月二日 / 一六・〇×四二・一 / 横帳 長帳綴 共紙原表紙 榑紙 / 川井村組頭 甚兵衛(黒印) 他三名 ↓遠藤作兵衛殿他二名 / 0790-01107 包紙一括 / 墨付三丁 / 123

0790-03 遠藤作兵衛他二名宛 一本柳村肝煎五右衛門他三名「御領一本柳村分御私領江飛入高御替地願申横折帳」 / 一冊(六丁) / 元禄二年六月二日 / 一五・六×四〇・六 / 横帳 長帳綴 共紙原表紙 榑紙 / 一本柳村肝煎五右衛門(黒印) 他三名 ↓遠藤作兵衛殿他二名 / 0790-01107 包紙一括 / 墨付四丁・包背装部分に肝煎五右衛門と五郎右衛門、小左衛門の割印あり / 123

0790-04 遠藤作兵衛他二名宛 入生田村平兵衛他二名「御領入生田村田地御私領江替地仕二付而百姓願申上帳」 / 一冊(七丁) / 元禄二年六月三日 / 一五・六×四一・

六／横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／入生田村百生平兵衛(黒印) 他二名↓遠藤作兵衛殿他二名／0790101507包紙一括／墨付五丁、包背装部分に肝煎半三郎と内蔵助の割印あり／123

0790105 遠藤作兵衛他二名宛 木和田村惣左衛門・与兵衛「御領所木和田村の御私領へ飛入田地替二付而願申面付帳」／一冊(五丁)／元禄二年六月一日／一五・八×四一・六／横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／木和田村肝煎惣左衛門(黒印)・組頭与兵衛(黒印)↓遠藤作兵衛殿他二名／790101507包紙一括／墨付三丁、包背装部分に肝煎惣左衛門の割印あり／123

0790106 遠藤作兵衛他二名宛 金屋村長兵衛他六名「御領金屋村田地御私領江替地仕二付而百性願申上帳」／一冊(五丁)／元禄二年六月三日／一六・〇×四三・五／横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／金屋村百生長右衛門(黒印) 他六名↓遠藤作兵衛殿他二名／0790101507包紙一括／墨付三丁、包背装部分に肝煎次右衛門の割印あり／123

0790107 舟田善右衛門他二名宛 新田村組頭利右衛門他八名「御領所新田村の御私領江飛入田地替二付て願申面付帳」／一冊(五丁)／元禄二年五月二九日／一五・九×四二・三／横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／新田村組頭利右衛門(黒印) 他八名↓舟田善右衛門殿他二名／0790101507包紙一括／包背装部分に肝煎新助の割印あり／123

0791101 糠野目村肝煎利左衛門他二名宛 入生田村肝煎半三郎他三名替地証文(御領・御私領地道地替のため入生田村より糠野目村へ飛越地相渡すにつき)／一通(五紙)／元禄二年七月九日／三一・五×一七三・二／継紙 楮紙／入生田村きも入半三郎(黒印) 他三名↓糠野目村肝煎利左衛門殿他二名／一高三拾七石：証文仍如件／0791101510包紙一括／包紙に「ト御領御私領替地証文拾通同小嶋次左衛門充所式通：此分江戸へ同役中為相登候分 岩瀬小右衛門」、柱題「御領御私領之百性以勝手道地替任二付糠野目村江飛越地相渡申証文之事」、紙継裏に半三郎の押印あり／123

0791102 福沢村善右衛門他二名宛 新田村肝煎新助他五名替地証文(御領・御私領地道地替のため新田村より川西窪田村へ飛越の地方相渡すにつき)／一通(三紙)／元禄二年七月九日／三一・四×一七・九／継紙 楮紙／新田村きも入新助(黒印) 他五名↓福沢村善右衛門殿他二名／一高百拾三石：証文仍如件／端裏貼紙「新田村今窪田村へ差越地替証文」／0791101510包紙一括／柱題「御領御私領之百性以勝手道地替任二付而當村今川西窪田村江飛越之地方相渡シ申証文之事」、紙継裏に新助の押印あり／123

0791103 木和田村惣右衛門宛 花沢村六郎兵衛・頭源三郎替地証文(御領・御私領地道地替のため木和田村より飛越の地方川西花沢村請取につき)／一通(二紙)／元

禄二年七月九日／三一・六×四八・六／継紙 楮紙／花沢村きも入六郎兵衛(黒印)・同村与頭源三郎(黒印) ↓木和田村惣右衛門殿／一高式拾五石：証文仍如件／端裏貼紙「木和田村今花沢村へ飛入地相渡シ申二付証文」／0791101510包紙一括／柱題「御領御私領之百性以勝手道地替二付木和田村今川西花沢村へ飛越之地方請取申証文之事」、紙継裏に六郎兵衛の押印あり／123

0791104 東山上村源兵衛他三名宛 金屋村肝煎次兵衛他二名替地証文(御領・御私領地道地替のため金谷村より川西東山上村他三村へ飛越の地相渡すにつき)／一通(四紙)／元禄二年七月九日／三一・五×一三五・八／継紙 楮紙／金や村きも入次兵衛(黒印) 他二名↓東山上村源兵衛殿他三名／東山上村：証文仍如件／端裏貼紙「金屋村今東山上村花沢村堂森村へ差越地替証文」／0791101510包紙一括／柱題「御領御私領之百性以勝手道地替任二付當村今川西東山上村花沢村并堂森村三ヶ所へ飛越之地相渡申証文之事」、紙継裏に次兵衛の押印あり／123

0791105 小嶋次左衛門宛 龜崎村長兵衛長兵衛替地証文(御領・御私領地道地替のため龜崎村高の分竹森村へ相渡申すにつき)／一通(三紙)／元禄二年七月一日／三一・六×八八・九／継紙 楮紙／龜崎村肝煎長兵衛(黒印) ↓小嶋次左衛門殿／一高三百四拾：為後日仍如件／端裏貼紙「龜崎村田地竹森村へ地替致候高付小嶋次左衛門所へ差遣式通之内」／0791101510包紙一括／柱題「御領御私領之百性以勝手道地替二付而龜崎村高之分竹森村へ相渡申地方証文之事」、紙継裏に長兵衛の押印あり／123

0791106 花沢村太郎兵衛宛 木和田村肝煎惣左衛門他三名替地証文(御領・御私領地道地替のため木和田村より川西花沢村へ飛越の地方相渡すにつき)／一通(二紙)／元禄二年七月九日／三一・四×五五・二／継紙 楮紙／木和田村肝煎惣左衛門(黒印) 他三名↓花沢村太郎兵衛殿／一高式拾五石：証文仍如件／端裏貼紙「木和田村今花沢村へ差越地替之証文」／0791101510包紙一括／柱題「御領御私領之百性以勝手道替任二付當村今川西花沢村へ飛越之地方相渡申証文之事」、紙継裏に惣左衛門の押印あり／123

0791107 糠野目村肝煎里左衛門他二名宛 露藤村肝煎平左衛門他五名替地証文(御領・御私領地道地替のため露藤村より川西糠野目村へ飛越の地方相渡すにつき)／一通(二紙)／元禄二年七月九日／三一・五×一二六・九／継紙 楮紙／露藤村肝煎平左衛門(黒印) 他五名↓糠野目村肝煎里左衛門殿他二名／一高三拾式石：証文仍如件／端裏貼紙「露藤村今糠野目村差越地替証文」／0791101510包紙一括／柱題「御領御私領之百性以勝手道地替二付當村今川西糠野目村へ飛越之地方相渡申証文之事」、紙継裏に平左衛門の押印あり／123

0791108 小嶋次左衛門・遠藤作兵衛宛 竹森村平内・久左衛門替地証文(御領・御私領地道地替のため龜崎村高の分村へ請取申すにつき)／一通(二紙)／元禄二年七月

九日/三一・六×六九・一/継紙 楮紙/竹森村肝煎平内(黒印)・同村組頭久左衛門(黒印)↓小嶋次左衛門殿・遠藤作兵衛殿/一高三百四拾:証文仍如件/端裏貼紙「亀崎村田地竹森村へ差越申二付小嶋次左衛門所へ差遣証文武通ノ内」/0791101110 包紙一括/柱題「御領御私領之百姓以勝手道替地二付亀崎村高之分当村江請取申証文之事」、紙継裏に平内の押印あり/123

0791109 遠藤作兵衛他二名宛 入生田村肝煎内蔵他四名口上書覚(御私領分福沢村田地用水等他一か条につき)一通(二紙)/元禄二年五月二十九日/三二・〇×六六・〇/継紙 楮紙/入生田村肝煎内蔵(黒印)他四名↓遠藤作兵衛殿他二名/一当村十徳林下:御座候仍如件/端裏書「入生田村くれ切場野府替書付」/0791101110 包紙一括/柱題「口上書二而申定候覚」、紙継裏に平左衛門の押印あり/123

0791110 山崎村肝煎忠兵衛他二名宛 一本柳村肝煎五右衛門他六名替地証文(御領・御私領道地替のため山崎村・川沼村へ一本柳村より飛越の地方相渡すにつき)一通(五紙)/元禄二年七月九日/三一・四×一四五・九/継紙 楮紙/一本柳村肝煎五右衛門(黒印)他六名↓山崎村肝煎忠兵衛殿他二名/一高志石四斗:証文仍如件/端裏貼紙「金屋村分東山上村花沢村堂森村へ差越地替証文」/0791101110 包紙一括/柱題「御領御私領之百姓以勝手道地替二付当村分川西糠野目村へ飛越之地方相渡申証文之事」、紙継裏に五右衛門の押印あり/123

藩政—御預所—幕藩関係

0474 荒川権六郎・辻六郎左衛門「御代官所取計之儀御尋二付申上候覚」写(出羽国幕府領に関する年貢諸役の取扱、普請等、地方支配の指針)/一冊(一六丁)/江戸後期(年月日未詳)/二九・五×一九・二/豎帳 紙綴綴冊子装 素紙原表紙 楮紙/文中に「辻六郎左衛門御代官所奥州常州之儀当年被仰付候二付」とあり、荒川・辻は幕府代官と推定/067

0718 上杉弾正大弼御預所「天保五午年御勘定目録」(出羽・越後国における御物成金米渡方につき)/一冊(二二丁)/天保七年六月/三二・二×二三・四/豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙/上杉弾正大弼御預所/テ〇本 林泉文庫/115

0769 御勘定所宛 服部伊左衛門他六名何書(米沢藩預地となった屋代郷三万石及び同所新田の年貢高・引高の額につき)一通(二紙)/貞享五年八月/四二・〇×一〇四・九/継紙 楮紙/上杉弾正大弼内 服部伊左衛門(黒印)他六名↓御勘定所/覚一 高三万石:為御伺如此御座候已上/端上部に貼紙あり、辰九月七日付の付記あり、封紙に二重に収められ、勘定奉行小菅正武らの押切印のある証文、立帰新田の証文である旨を記載、表側の封紙裏には嘉永二年六月に修復につき貸借と記載/123

0795 注進状案(大洪水のため田畑作皆水損につき御勘定所へ届け出のこと)/一通(六紙)/宝暦七年五月/二四・六×一一九・六/継紙 楮紙/当村之去ル:御注進如此/柱題「乍恐以書付御注進申上候御事」、校訂箇所あり/123

0804 土肥懿平申達書(高畠村・小郡山村他四ヶ村が織田信浮知行所となるにつき、該当の村高目録と引渡出役五名書留)/一通(二紙)/明和四年二月/三三・〇×九五・三/継紙 楮紙/土肥丹下(黒印)/一高式千五百:御座候已上/端裏書「十月」/柱題「覚」、包紙表に「竹俣美作殿へ土肥丹下差出申由ニ:明和五年」、同裏に「御預所之内高畠村々近村六ヶ村織田八百八様江相渡り:郡奉行所」とあり、土肥は預所奉行、1814の絵図と関連/123

0805 上新田村伊兵衛他三二名請取証文(新田村若神子川除普請場所につき、私領中田村川原地と堀替えのこと預所郡奉行所申渡の通り、別紙絵図面にて取交し)/一通(五紙)/明和五年四月/三一・七×二〇五・五/継紙 楮紙/御料上新田村名主伊兵衛(黒印)他三二名/御預所置賜郡:如此申渡置候事/柱題「覚」、包紙「御預所大和田村御私領中田村分差上候書付」(上部破れ)、紙継部分に郡奉行所の押印、1812、1813の絵図と関連/123

0806 富樫三郎右衛門他三名宛 相森村百姓代三左衛門他八三名証文(預所領三五ヶ村のうち六ヶ村が織田領となり御料私領の村境改を別紙絵図の通り承知す)/一通(六紙)/明和五年二月/三三・一×二四九・八/継紙 楮紙/相森村百姓代三左衛門(黒印)他八三名↓上杉弾正大弼様御内富樫三郎右衛門殿他三名/米沢御預所置賜郡:差上申処仍如件/端裏書「ト」/柱題「差上申一札之事」、紙継ぎ目に作成者一四名の裏印あり、1812、1813の絵図と関連/123

0807 御預所御役所宛 入生田村名主市之助他六名証文(糠野目地境松川通川筋欠落につき、預所私領代官立会の上、絵図面にて掘割普請見分完了のこと)/一通(二紙)/寛政元年一〇月/三二・二×六四・一/継紙 楮紙/羽州置賜郡御預所入生田村名主市之助(黒印)他六名↓米沢様御預所御役所/御私領糠野目:差上申処仍如件/柱題「差上申一札之事」、紙継ぎ目に作成者七名の裏印あり、1815の絵図と関連/123

0814 「前半部欠損」評判書(幕府への御預所向寄替内願につき、竹俣当綱・荻戸善政他、藩内の評議)/一冊(二二丁)/江戸後期(年月日未詳)/一三・〇×一六・九/横半帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙/オ〇本 林泉文庫/□蔵書/表紙欠損大/表紙貼紙「旧藩史料政事二」/123

1812-102 亀岡村他五ヶ村宛 米沢御預所郡奉行所証文(預所上新田村若神子の川除普請につき中田村川原地に堀替えのこと)/一通(五紙)/明和五年四月/三三・八×一九一・七/継紙 楮紙/米沢御預所郡奉行所(印)↓御料亀岡村他五ヶ村/御預所置賜郡:申渡置候事/1812-101の絵図と袋入一括/柱題「覚」/234

藩政一町奉行

0525-01 「当官記事 綱目」(町奉行小鷹甚五左衛門が下役原田悦忠に尋ねまとめた町奉行の職掌先例集、総目録)／一冊(一六丁)／正徳四年五月／一五・一×二〇・六／横半帳 長帳綴 灰地原表紙 楮紙／小鷹甚五左衛門藤原元弥／一三冊の一冊目で目録、墨付二三丁、一丁目に挟込あり／078

0525-02 「当官記事 一」(町奉行就任後、役屋引移、役成御礼、神文他一一条)／一冊(一九丁)／正徳四年五月／一五・一×二〇・六／横半帳 長帳綴 灰地原表紙 楮紙／裏打あり／078

0525-03 「当官記事 二」(藩主在国時の正月儀礼他二一条)／一冊(二七丁)／正徳四年五月／一五・〇×二〇・六／横半帳 長帳綴 灰地原表紙 楮紙／078

0525-04 「当官記事 三」(江戸御上下の節見送・出迎の勤め様の事他一一条)／一冊(二七丁)／正徳四年五月／一五・〇×二〇・五／横半帳 長帳綴 灰地原表紙 楮紙／078

0525-05 「当官記事 四」(江戸御上下の節町方へ触書の事他二一条)／一冊(一九丁)／正徳四年五月／一五・〇×二〇・五／横半帳 長帳綴 灰地原表紙 楮紙／078

0525-06 「当官記事 五」(笹野観音、保呂波両祭礼の節に同心出勤の事他一一条)／一冊(一六丁)／正徳四年五月／一五・〇×二〇・五／横半帳 長帳綴 灰地原表紙 楮紙／078

0525-07 「当官記事 六」(詮議の節取定め様大概記他、刑罰規定中心の一一条)／一冊(一四丁)／正徳四年五月／一五・〇×二〇・五／横半帳 長帳綴 灰地原表紙 楮紙／078

0525-08 「当官記事 七」(籠守番の事他、牢屋関係一一条)／一冊(二二丁)／正徳四年五月／一五・二×二〇・五／横半帳 長帳綴 灰地原表紙 楮紙／078

0525-09 「当官記事 八」(北町・新桶屋町に住む河原者が藩外に出る際の手続き他七一条)／一冊(一一丁)／正徳四年五月／一五・二×二〇・五／横半帳 長帳綴 灰地原表紙 楮紙／078

0525-10 「当官記事 九」(抜参宮、欠落者への対応他七一条)／一冊(九丁)／正徳四年五月／一五・二×二〇・六／横半帳 長帳綴 灰地原表紙 楮紙／078

0525-11 「当官記事 十」(日市立増金量り様のこと他九一条)／一冊(一八丁)／正徳四年五月／一五・〇×二〇・六／横半帳 長帳綴 灰地原表紙 楮紙／078

0525-12 「当官記事 十一 十二」(火事場勤、同町人詰他防火関係三一条、町方における自殺者の取扱規定他六一条)／一冊(一一丁)／正徳四年五月／一五・二×二〇・五／横半帳 長帳綴 灰地原表紙 楮紙／078

0525-13 「当官記事 十三」(河原者宗門改め他四一条)／一冊(六丁)／正徳四年五月／一五・一×二〇・五／横半帳 長帳綴 灰地原表紙 楮紙／078

0481 「別冊 町奉行所御済口留帳抄書」(天保後期、弘化年間、褒賞や先例の変更等町奉行が処置した済口七件と、藩からの拝借金対象の町人名簿等)／一冊(一九丁)／江戸後期(年月日未詳)／二四・二×一六・一／縦帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／マ〇本／067

0719 「町家難渋者江多分致手当身分御引立并御扶持被成下候面々申達書」(町方支配の者で難渋者救済に功績があった者の業績報告)／一冊(一六丁)／天保八年二月二六日／二五・八×一七・五／縦帳 袋綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／墨付一四丁／115

0801 米沢町奉行所宛 竹田縫殿助・竹田源次郎願書(竹田からくり不繁昌につき城下にて披露御免)／一通(三紙)／明和九年九月／三〇・五×九四・四／継紙 楮紙／竹田近江大掾藤原清一倅同縫殿助(黒印)・手代同源次郎(黒印) ↓米沢町御奉行所様／一私共儀撰州：奉存候已上／柱題「乍恐以書付奉願上候」／123

0824-03 町奉行所答書(萩野中山村角右衛門の他には、同日に当役場で御呵の「覚右衛門」という者なし)／一通(二紙)／(弘化三年)三月七日／一五・二×三五・五／切紙 楮紙／町奉行所／中山口追払：相見不申候以上／端裏朱書「弘化三年 町奉行所返書」／0824-01-04紙繕一括／柱題「天保九年十月十四日 荒砥松岡山博打一件御裁許、三月七日付の権内宛 紋蔵の下札あり」／123

藩政一勘定関係

0480 「青芋一件奏儀」(京都屋敷將小幡源吾右衛門が知らせた奈良登せの青芋駄賃と、先例となる西村久左衛門等の関連文書、海上輸送への変更、売払の取決等)／一冊(五四丁)／近代(年月日未詳)／二三・〇×一五・二／縦帳 袋綴綴冊子装 共紙原表紙・紺地亀布目後補表紙 楮紙／乙第五四号古文書図書「経巻佛像佛器 上杉伯爵家蔵書・林泉文庫」／067

0601 本間蔵右衛門他六名「京都市日記書拔 壹」(明和元年四月二日〜安永七年九月一六日、京都屋敷関係)ノ一冊(一一三丁)ノ明和元年四月二日ノ二四・五・一六・七ノ豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙ノ本間蔵右衛門他六名ノキ〇本ノ六名ノ一部は京都屋敷將、京都留守居ノ093

0607 「文政八年四月 御檢地方之大凡目当」(勘定所の所管のうち主に耕地に関する江戸後期の法令類書抜と、「稻の名目」)ノ一冊(三九丁)ノ江戸後期(年月日未詳)ノ二・八・一七・〇ノ横半帳 長帳綴 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙ノオ本 林泉文庫ノ表紙貼紙「旧藩史料政事一 写本」、後補の表紙に「御勘定所日帳書抜」とあり、作成は御勘定所ノ094

0692 「出方帳」(勘定方が所管した金銀錢の支出台帳)ノ一冊(二六九丁)ノ元禄五年ノ三〇・二・二〇・八ノ豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙ノテ〇本 林泉文庫ノ114

0693 「御蔵金銀払方帳」(勘定方が所管した金銀錢の支出台帳)ノ一冊(三〇七丁)ノ享保五年ノ三〇・七・二〇・九ノ豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙ノ□□□ノ八・オ〇本 林泉文庫ノ表紙に作成者の表記があるが擦れて読めずノ114

0695 「寅之御元金之帳」(山田善兵衛差上金に基づく家中への借付金、元禄一六年〜享保三年の毎年の元利金)ノ一冊(二二丁)ノ享保七年二月一〇日ノ三一・七・二一・七ノ豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙ノ内藤新五左衛門他六名ノト〇本ノ見返しに中條清資の序文ありノ114

0696 「御印府御貯金御長持入帳」(宝永六年〜享保一一年分)ノ一冊(二二丁)ノ享保一一年三月一七日ノ三〇・二・二・九ノ豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙ノ内藤新五左衛門六名ノコ〇本ノ見返しに中條清資の序文ありノ114

0697 中條清資御貯金目録 (中條量の軍用金、山田善兵衛差上金他の由来と詳細)ノ一通(二〇紙)ノ享保一一年三月三日ノ三〇・七・三八〇・三ノ繼紙 楮紙ノ中條周防清資(花押)(黒印)ノ一三千七百九十兩ノ右意趣申上候以上ノ柱題「御貯金目録」、「御貯金目録 中條周防」と書かれた封紙あり、0187101にも関連資料ありノ114

0698 中条清資宛 倉崎七左衛門他六名証文(貯収俵数)ノ一通(五紙)ノ享保一一年三月一七日ノ三〇・八・二〇七・八ノ繼紙 楮紙ノ倉崎七左衛門(黒印)ノ中條周防殿ノ一七千七拾五俵ノ為後日仍如件ノ柱題「別段御貯収俵数改書上申事」、「御量別段御貯収俵数改書付」と書かれた封紙ありノ114

0699 中俣源右衛門他五名宛 岩井五郎右衛門書状(御貯金は軍用の他は流用せず、

中條の差込に任すべく)ノ一通(三紙)ノ享保一一年五月一四日ノ三〇・八・九一・七ノ繼紙 楮紙ノ岩井五郎右衛門実名(花押)(黒印)ノ中俣源右衛門殿他五名ノ今度中條周防ノ可伝候以上ノ「御勘定頭中 岩井五郎右衛門」と書かれた封紙ありノ114

0700 岩井祖識宛 倉崎七左衛門他五名証文(御貯金の帳面目録に関する中條周防口上につき)ノ一通(四紙)ノ享保一一年五月一四日ノ三一・三・一四〇・三ノ繼紙 楮紙ノ倉崎七左衛門(黒印)他五名ノ岩井五郎右衛門殿ノ今度中條周防ノ為後日仍如件ノ「上 御勘定所」と書かれた封紙ありノ114

0702 岩井祖識宛 中條清資口上書(初入部軍用御貯金の経緯、御屋形様へ意見の方法につき他二箇条)ノ一通(八紙)ノ(享保一二年)三月三日ノ一五・五・三一四・九ノ切繼紙 楮紙ノ中條周防ノ岩井五郎右衛門殿ノ此度始而御国許江之ノ可被御申聞候以上ノ柱題「口上」、「口上 中條周防」と書かれた封紙ありノ114

0707 「堺屋次郎助江御道具御質入并云々」(堺屋への借金につき御道具質入および返済分の勘定帳)ノ一冊(三八丁)ノ宝暦八年六月ノ二三・〇・一五・一ノ豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・紺地後補表紙 楮紙ノ御納戸ノサ〇本 林泉文庫ノ原表題「堺屋次郎助江御道具御質入并御返済方申定帳」ノ114

0709 楡井安元他二名宛 小川尚興答書(新人別錢借上御用懸なれど返済不能の経緯を上役へ伝達不足につき詫び)ノ一通(四紙)ノ宝暦一〇年一月ノ三一・二・一六・七・〇ノ繼紙 楮紙ノ小川与捨太(黒印)ノ楡井六郎兵衛殿他二名ノ御尋先年新人別錢御借入ノ無御座奉存候以上ノ柱題「御尋付而御答申上候事」、小川は勘定頭で同年二月御役召放、楡井は大目付、池田は勘定頭筆頭ノ114

0712 三俣武兵衛宛 御金蔵請取証文(江戸屋敷類焼により錢一〇貫文上納)ノ一通(二紙)ノ明和九年一〇月九日ノ三一・五・三四・五ノ豎紙 楮紙ノ御金蔵(黒印)(黒印)ノ三俣武兵衛殿ノ合拾貫文ノ仍如件ノ柱題「江戸御屋敷類焼付而差上錢上納之事」ノ114

0713 真嶋舎人他四名宛 御金蔵請取証文(御馬廻足輕五組より当年凶作差上金二両二分)ノ一通(二紙)ノ天明三年一二月三日ノ三二・二・四三・八ノ豎紙 楮紙ノ御金蔵(黒印)(黒印)ノ真嶋舎人殿他四名ノ合式両式分者ノ仍如件ノ柱題「当年凶作付而差上金上納之事」ノ114

0717 御役所「御蔵金銀納方帳」(文化六年正月一日〜同二月二九日)ノ一冊(八三丁)ノ文化六年ノ三一・〇・二〇・六ノ豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙ノ御役所ノオ〇本・六五 林泉文庫ノ墨付八四丁ノ115

0723 「三谷家分仮貸之事」(明君・賢君の特徴に係る竹俣当綱書状写と、三谷家

より資金借用につき)／一冊(二四丁)／江戸後期(年月日未詳)／一三・〇×一七・二／横半帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／一〇四 林泉文庫／後補表紙貼紙「旧藩史料政事一写本」／1115

0725 御手当中勘見積書(米方返石と、少知と少扶持の者への手当金の内訳)／一通(二紙)／江戸後期(年月日未詳)／一五・〇×五二・五／切継紙 楮紙／一〇万五千五百俵：一〇万八千両／林泉文庫／柱題「此度米方式分御返石并少知少扶持之者江被成下御手当中勘見積」冒頭に反故紙を貼り継ぎ「旧藩執政手当見込書」と記載／1115

0823 「萬割物」(上米、買米、諸貢租等、勘定に関する定法他)／一冊(二六丁)／江戸後期(年月日未詳)／一四・八×一八・八／横半帳 長帳綴 素紙後補表紙 楮紙／裏打あり／補修あり／123

0829 万定法手控(各種貢租、家臣の知行や手当、領内産物等の高の詳細)／一冊(四三丁)／江戸後期(年月日未詳)／一五・四×二〇・二／横半帳 長帳綴 茶地後補表紙 楮紙／キ〇本・一〇一 羽前米沢市林泉寺町伊佐早謙・□□□書／仮題、表紙墨書「旧藩史料政事」とあり、末尾に明治二、三年の米沢藩財政の内訳・見積に関する資料を合綴、表紙に題箋の残闕あり「冊」の字のみ残る／123

1215-01 橋本主税宛 古手屋長右衛門・市兵衛書状(御蔵芋百駄を大坂着値段をもって払下願)／一通(三紙)／江戸後期(年月日未詳) 正月一四日／一六・四×一〇六・二／切継紙 楮紙／古手屋長右衛門・市兵衛(黒印) ↓橋本主税様 御詰合中様／新年之御慶賀：奉願上候早々謹言／端裏書「五通之内」／1215-01、05紙綴一括／京都での取引関係と推定、端裏にある付箋の番号とラベルの鉛筆書き枝番号の順番不一致／170

藩政—寺社・宗門関係—寺社

0246 高野山金蔵院代照違書(元禄五年に廃寺の高野山観音院で先祖供養を行っていた米沢藩領民らの処置につき)／一通(二紙)／(元禄一一年カ)八月／三二・〇×五〇八・一／継紙 楮紙／高野山金蔵院代照／一 高野山観音院之儀：御聞合可罷成候以上／赤ラベル表記無／柱題「□□金蔵院代僧乍恐以口上書以御改申上候事」、本紙に別の文書を貼付ぎ表紙としており墨書「古証文 元禄十一年高野山金蔵院代僧口上書」とあり／034

0636 小幡長富「留帳」(宝暦五年正月二八日、六月二五日の公務日記)／一冊(六七丁)／宝暦五年／二四・五×一五・三／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／長富(花押)／ト本／裏打あり／小幡長富は宗門奉行寺社奉行兼帯／107

0703-01 法音寺宛 亀岡村大聖寺願書(昇進につき登城御目見えの取り成し依頼)／一通(一紙)／安政四年七月／二九・七×三四・八／豎紙 楮紙／亀岡村大聖寺(黒印) ↓法音寺／拙寺儀：奉頼存候以上／0703-01、04紙綴綴、0703-03、04貼綴／柱題「以書付奉頼候事」、封紙あり／114

0703-02 法音寺添書(昇進により登城御目見え取次につき)／一通(一紙)／(安政四年)七月／一四・八×二五・八／切紙 楮紙／法音寺／亀岡大聖寺：添書を以申上候以上／0703-01、04紙綴綴、0703-03、04貼綴／114

0703-03 寺社奉行所添書(亀岡村大聖寺御目見えは御評判次第御下知下された)／一通(一紙)／(安政四年)七月／一五・二×四〇・九／切紙 楮紙／寺社奉行所／亀岡村大聖寺：申上候以上／0703-01、04紙綴綴、0703-03、04貼綴／114

0703-04 喜久弥他三名宛御役所伺書(昇進での御目見えは先例無し、御下知下された)／一通(一紙)／(安政四年)七月二八日／一四・六×一八・〇／切紙 楮紙／御役所 ↓喜久弥他三名／右之通：奉伺候以上／0703-01、04紙綴綴、0703-03、04貼綴／本紙左下に願いの通り取り計らう旨の追記あり／114

1668 「領内寺社帳」(寺社石高につき堂宮九〇か所、真言宗一三九ヶ寺他、一五万石時代)／一冊(七四丁)／江戸後期(年月日未詳)／二九・八×二〇・四／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／231

藩政—寺社・宗門関係—宗門改

0664 安田若狭宛封書(0664-01、06の表紙に転用)／一通／江戸中期(年月日未詳)／三二・二×四五・三／豎紙 楮紙／無：無／0664-01、06貼綴／封書の表紙、安田若狭とのへとあり／112

0664-01 植野伊右衛門他二名宗門改総人数之目録／一通(二紙)／元禄六年一月二日／三三・七×九五・二／継紙 楮紙／植野伊右衛門(黒印)他二名／一 三万千四百拾五人：無御座候以上／0664-01、06貼綴／柱題「元禄六年宗門改総人数之目録」／112

0664-02 河原之者諸修行者乞食宗門改人数目録／一通(一紙)／元禄六年一月二日／三四・一×四四・四／豎紙 楮紙／一 三百八拾三人：壹人 出家／0664-01、06貼綴／柱題「元禄六年河原之者諸修行者乞食宗門改人数目録」／112

0664-03 河原之者諸修行者乞食宗門改人数目録／一通(二紙)／元禄八年一月二日／三一・五×四三・一／豎紙 楮紙／一 三百八拾五人：喜人 出家／0664-01、06貼継／柱題「元禄八年河原之者諸修行者乞食宗門改人数目録」／112

0664-04 村山吉右衛門他二名宗門改総人数之目録／一通(三紙)／元禄一四年一月二日／三三・八×一〇六・七／継紙 楮紙／村山吉右衛門(黒印) 他二名／一 式万九千九百六拾人：無御座候以上／0664-01、06貼継／柱題「元禄十四年宗門改総人数之目録」／112

0664-05 河原之者諸修行者乞食宗門改人数目録／一通(二紙)／元禄一四年一月二日／三三・六×四五・〇／豎紙 楮紙／一 三百七拾六人：式人 出家／0664-01、06貼継／柱題「元禄十四年河原之者諸修行者乞食宗門改人数目録」／112

0664-06 米沢藩領人数覚書／一通(二紙)／元禄一四年一月二日／一六・八×七二・二／切継紙 楮紙／一 拾式万八千六百九拾六人：式百八拾九人減／0664-01、06貼継／柱題「覚」／112

0666 飯田与総右衛門・高山弥右衛門「天保十一年以来宗門総人数書上」(文久二年まで)／一冊(二五丁)／文久三年二月／三〇・〇×一九・二／豎紙 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／飯田与総右衛門・高山弥右衛門／テ〇本／表紙の袋綴じの間に「天保十一歳 人口一」と書かれた付箋あり／112

藩政—藩校

0416 「学館御取立御用向取量留帳」(安永四年二月二四日、同六年四月二二日の藩校興讓館設立時の記録)／一冊(一五五丁)／安永四年／三〇・五×二一・一／豎帳 袋綴綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／図書第三号／挟込二枚あり／049

0419 「積奠行事 役成祝式 風儀史料二入ルモノ」(0419-01、02の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／一七・七×一六・四／切紙 素紙後補表紙 楮紙／林泉文庫／419-01、02貼継／表紙に「林泉文庫」の墨書あり／049

0419-01 積奠行事次第書(八月二二日の積奠行事につき、主に藩主の動向)／一通(五紙)／江戸後期(年月日未詳)／一三・五×一一・五・四／切継紙 楮紙／八月廿一日 一 積菜二付：一 御帰殿 ×／林泉文庫／0419-01、02貼継／049

0419-02 大滝蔵日記(二月一八、四月九日、足軽鉄砲組頭就任時の手控、行

事、献立他)／一通(一一紙)／江戸後期(年月日未詳)／一三・五×三五・六・四／切継紙 楮紙／御用之儀御座候間昨日：一 初寄二而正九ツ時二罷越候事／林泉文庫／0419-01、02貼継／作者は天保六年二月に鉄砲足軽組頭就任の大滝新蔵秀政カ／049

藩政—意見書

0711 竹俣当綱口上書案(米沢藩の財政逼迫とその対策につき)／一通(四紙)／宝暦一三年九月／一七・七×一四七・三／切継紙 楮紙／竹俣美作／蔵元逼迫政事：可被下候以上／紙背に九月七日付書状案文あり、竹俣は当時江戸家老／114

0733-01 竹俣当綱「国政談 乾」写(前期藩政改革における諸政策の記録と意見、原本は天明二年頃)／一冊(二二三丁)／近代(年月日未詳)／二四・〇×一六・一／豎帳 袋綴綴冊子装 灰地雲母引後補表紙 楮紙／ヨコ本 林泉文庫／墨付一二丁、「ヨコ本」の下に別ラベルあり／116

0733-02 竹俣当綱「国政談 坤」写(前期藩政改革における諸政策の記録と意見、原本は天明二年頃)／一冊(九三三丁)／近代(年月日未詳)／二三・九×一六・〇／豎帳 袋綴綴冊子装 灰地雲母引後補表紙 楮紙／一〇八ノ2 林泉文庫／墨付九二丁／116

0734 荏戸善政「荏戸九郎兵衛献芹書」写(財政再建を主とした藩政改革意見書、原本は文化七年九月近藤五郎左衛門宛)／一冊(三二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二八・一×一九・一／豎帳 袋綴綴冊子装 茶地梅桜模様後補表紙 楮紙／惟善堂／墨付三〇丁／116

0735 荏戸善政「好古堂隨筆 政語附言 全」写(荏戸善政の政治意見書「政語」の補足、原本は江戸後期)／一冊(二五丁)／近代(年月日未詳)／二三・四×一五・八／豎帳 袋綴綴冊子装 共紙原表紙・縹地角切り二重繋ぎ花菱模様後補表紙 楮紙／「太華源鵬士雲著」とあり／116

0739 荏戸善政「政語 全」(君臣や安民他六項目に関する意見書)／一冊(五九丁)／寛政元年／二五・七×一八・七／豎帳 袋綴綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／セ〇本・70門129号伊佐早謙 林泉文庫／「好古堂」の用箋を使用／117

0730 「革政議」(藩政全般に関わる改革や儉約に関する意見書とその回答)／一冊(四一丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・六×一五・五／豎帳 袋綴綴冊子装 茶地後補表紙 楮紙／図書第二号 御記録所／意見についてはその判断を朱筆で記す／1

藩政—孝子褒賞—孝子伝

0736 「御為建白書」(青葙・漆・紅花等諸役の貨幣代納につき) / 一冊(五六丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 一六・八×一一・九 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙 / 野口 / 才本 伊佐早兼古書之宝・林泉文庫 / 原表紙の表題は「上叶」 / 117

0427 側意見書(百姓出身の医者等御側医の考え方につき) / 一冊(二七丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二三・四×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙 楮紙 / 図書第七号 御記録所 / 050

0744 意見書(米不足のため年貢米の換金および資金繰りにつき) / 一通(五紙) / 江戸後期(年月日未詳) / 一四・五×一四九・〇 / 切継紙 楮紙 / 近年米不足ニ而御示相願申候 / 117

0745 佐藤弥五郎意見書(平米御蔵の正米不足対応につき預札禁止他) / 一通(二紙) / 江戸後期(年月日未詳) 七月 / 一五・四×六二・〇 / 切継紙 楮紙 / 佐藤弥五郎 / 平米御蔵之儀近來 : 右之趣御沙汰仕候以上 / 柱題「覚」 / 117

0746 意見書(文政一三年の米不足の理由三ヶ条と対応案、上米の用途見積他) / 一通(九紙) / (文政一三年) / 一四・九×二六〇・九 / 切継紙 楮紙 / 富国之本者米穀を貴するニあり : 可申と存候 / 117

0747 意見書(褒賞の腰物作成につき) / 一通(二紙) / 江戸後期(年月日未詳) / 一五・〇×三二・六 / 切継紙 楮紙 / 御紙面之趣 : 可然との御沙汰ニ候 / 117

0748 意見書(米価安定と備蓄米他につき) / 一通(六紙) / 江戸後期(年月日未詳) / 一五・五×一七四・一 / 切継紙 楮紙 / 糶甚貴傷人甚賤 : 難儀に及事惜哉 / 117

0749 意見書(御備糶の繰合につき) / 一通(三紙) / 江戸後期(年月日未詳) / 一四・八×七四・四 / 切継紙 楮紙 / 井墓の管見を以 : 愚慮相陳申候 / 117

0750 意見書(御備糶の入替仕法につき) / 一通(三紙) / 江戸後期(年月日未詳) / 一四・九×九七・五 / 切継紙 楮紙 / 米価之貴賤得宜 : 愚考可仕候 / 117

0757-01 「孝子伝目録」(享保一三年四月、天保一四年) / 一冊(九五丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 一四・四×一八・五 / 横半帳 袋綴冊子装 浅葱地原表紙 楮紙 / 御記録所 / 挟込一点あり / 118-121

0757-02 「孝子伝」一(享保一三年四月、安永七年二月) / 一冊(一七四丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 三〇・五×一九・八 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 118-121

0757-03 「孝子伝」二(安永七年三月、天明五年五月) / 一冊(二六五丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 三〇・四×二〇・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 118-121

0757-04 「孝子伝」三(天明五年六月、寛政三年一〇月) / 一冊(九〇丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・六×一九・三 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 118-121

0757-05 「孝子伝」四(寛政三年一月、同七年二月) / 一冊(一四〇丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・三×一八・五 / 縦帳 袋綴冊子装 山吹地原表紙 楮紙 / 墨付一三九丁 / 118-121

0757-06 「孝子伝」五(寛政八年一月、同九年二月) / 一冊(二二六丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・五×一八・五 / 縦帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 118-121

0757-07 「孝子伝」六(寛政一〇年一月、同一年二月) / 一冊(一八五丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・六×一八・五 / 縦帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 墨付一八四丁 / 118-121

0757-08 「孝子伝」七(寛政一二年一月、享和元年四月) / 一冊(二二四丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・八×一八・八 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 118-121

0757-09 「孝子伝」八(享和元年五月、同二年二月) / 一冊(二二二丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・七×一八・八 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 118-121

0757-10 「孝子伝」九(享和三年一月、同三年二月) / 一冊(二二二丁)

／江戸後期(年月日未詳)／二九・五×一八・八／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙
 楮紙／118—121

0757—111 「孝子伝 拾」(文化元年三月、同二年二月)／一冊(一四一丁)
 ／江戸後期(年月日未詳)／二九・八×一八・八／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙
 楮紙／118—121

0757—112 「孝子伝 拾二」(文化三年二月、同四年二月)／一冊(一六六丁)
 ／江戸後期(年月日未詳)／二九・八×一八・七／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮
 紙／補修あり／118—121

0757—113 「孝子伝 十二」(文化五年三月、同七年二月)／一冊(二二七丁)
 ／江戸後期(年月日未詳)／二九・八×一八・八／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮
 紙／補修あり／118—121

0757—114 「孝子伝 十三」(文化七年一〇月、同九年三月)／一冊(七九丁)
 ／江戸後期(年月日未詳)／二八・四×一八・二／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙
 楮紙／118—121

0757—115 「孝子伝 十四」(文化九年三月、同一〇年二月)／一冊(八六丁)
 ／江戸後期(年月日未詳)／二八・二×一八・三／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙
 楮紙／118—121

0757—116 「孝子伝 十五」(文化一一年一月、同一二年七月)／一冊(七六丁)
 ／江戸後期(年月日未詳)／二八・二×一八・三／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙
 楮紙／墨付七五丁／118—121

0757—117 「孝子伝 十六」(文化二二年七月、同一三年一月)／一冊(八九丁)
 ／江戸後期(年月日未詳)／二八・三×一八・三／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙
 楮紙／118—121

0757—118 「孝子伝 十七」(文化二四年一月、文政二年一月)／一冊(七九丁)
 ／江戸後期(年月日未詳)／二八・二×一八・三／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙
 楮紙／墨付七八丁／118—121

0757—119 「孝子伝 十八」(文政二年三月、同三年四月)／一冊(六二丁)／
 江戸後期(年月日未詳)／二八・二×一八・二／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮
 紙／118—121

0757—120 「孝子伝 十九」(文政三年四月、同四年二月)／一冊(八六丁)

／江戸後期(年月日未詳)／二八・二×一八・二／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙
 楮紙／墨付八五丁／118—121

0757—121 「孝子伝 二十」(文政五年閏一月、同六年二月)／一冊(七〇丁)
 ／江戸後期(年月日未詳)／二八・二×一八・三／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙
 楮紙／118—121

0757—122 「孝子伝 二十一」(文政七年三月、同九年二月)／一冊(一〇七丁)
 ／江戸後期(年月日未詳)／二八・二×一八・三／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙
 楮紙／118—121

0757—123 「孝子伝 二十二」(文政一〇年二月、同一二年二月)／一冊(一一
 一丁)／江戸後期(年月日未詳)／二八・二×一八・二／豎帳 袋綴冊子装 白茶地
 原表紙 楮紙／118—121

0757—124 「孝子伝 二十三」(文政一三年二月、天保三年二月)／一冊(一
 一六丁)／江戸後期(年月日未詳)／二八・三×一八・二／豎帳 袋綴冊子装 表紙無
 し 楮紙／118—121

0757—125 「孝子伝 二十四」(天保四年一月、同八年二月)／一冊(一七〇丁)
 ／江戸後期(年月日未詳)／二八・四×一八・二／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮
 紙／墨付一六一丁、後欠カ／118—121

0757—126 「孝子伝 廿五」(天保九年七月、同一二年三月)／一冊(二二八丁)
 ／江戸後期(年月日未詳)／二八・五×一八・三／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙
 楮紙／墨付二四丁／118—121

0757—127 「孝子伝 廿六」(天保一三年二月、同一四年二月)／一冊(二五
 七丁)／江戸後期(年月日未詳)／二八・五×一八・三／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原
 表紙 楮紙／墨付一五丁／118—121

0757—128 「孝子伝 廿七」(天保二四年一月、二月)／一冊(二〇六丁)／
 江戸後期(年月日未詳)／二八・五×一八・三／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮
 紙／二六卷と重複あり／118—121

0757—129 「孝子伝 廿八」(弘化元年二月、同二年二月)／一冊(八二丁)
 ／江戸後期(年月日未詳)／二八・六×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙
 楮紙／118—121

0757-30 「孝子伝 廿九」(弘化三年四月、同四年二月) / 一冊(二二二丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二八・五×一八・三 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 118-121

0757-31 「孝子伝 三十」(嘉永元年三月、同三年二月) / 一冊(二一八丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二八・六×一八・三 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 118-121

0757-32 「孝子伝 卅二」(嘉永四年二月、同六年一月) / 一冊(二四六丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二八・五×一八・二 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 118-121

0757-33 「孝子伝 卅二」(安政元年三月、同三年二月) / 一冊(二五三丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二八・六×一八・三 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 118-121

0757-34 「孝子伝 卅三」(安政四年一月、二月) / 一冊(二二一丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二八・五×一八・四 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 118-121

0757-35 「孝子伝 卅四」(安政五年三月、万延元年二月) / 一冊(一五〇丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二八・六×一八・四 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 118-121

0757-36 「孝子伝 卅五」(文久元年一月、同二年二月) / 一冊(二二四丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二八・六×一八・四 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 118-121

0757-37 「孝子伝 卅六」(文久三年一月、慶応元年二月) / 一冊(二二九丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二八・六×一八・四 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 墨付一三八丁 / 118-121

0757-38 「孝子伝 卅七」(慶応二年、明治元年二月) / 一冊(二四七丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・六×一八・四 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 118-121

0763-01 「孝子伝拾遺 上」(安永四年二月、文化一四年五月) / 一冊(九六丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二八・六×一八・四 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 122

0763-02 「孝子伝拾遺目録 下」(文政元年五月、天保一二年閏一月) / 一冊(八丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 一五・〇×一九・九 / 横半帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙 / 122

0763-03 「孝子伝拾遺 下」(文政元年五月、天保一二年閏一月) / 一冊(八一丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二八・六×一八・四 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 122

1506-02 孝子伝(弘化四年、嘉永四年、藩内の善行者への顕彰) / 一冊(二七八丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・九×二〇・二 / 豎帳 袋綴冊子装 素紙後補表紙 楮紙 / 冒頭の二丁は修理時にまぎれた別文書か / 220

藩政—孝子褒賞—幕府へ書上

0758 高橋吉輔「上杉弾正大弼領分出羽国置賜郡在町孝行并奇特之者書上」 / 一冊(五七丁) / 寛政三年七月 / 二七・五×一九・八 / 豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 上杉弾正大弼内 高橋平左衛門 / 包紙あり、包紙墨書「寛政三年七月 上杉弾正大弼領分出羽国置賜郡在町孝行并奇特之者書上 上杉弾正大弼内 高橋平左衛門」 / 122

0759 郡奉行所「御預所三郡村々孝行奇特之者江明和二年今当時迄御私領御普被成下候分書上帳」(明和二年六月、文化八年五月、御預所内の孝行者、奇特者が受けた褒賞の書上) / 一冊(九四丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 三〇・七×二〇・〇 / 豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 郡奉行所 / 幕府への届出の有無は未詳の段階で、藩内で調べた草稿 / 122

0760 高橋吉輔「上杉弾正大弼御預所孝行并奇特之者書上」(明和二年、天明六年、御預所内の孝行者、奇特者の書上) / 一冊(六丁) / 寛政三年七月 / 二七・四×一九・八 / 豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 上杉弾正大弼内 高橋平左衛門 / 包紙あり、包紙墨書「寛政三年七月 上杉弾正大弼御預所孝行并奇特之者書上 上杉弾正大弼内 高橋平左衛門」 / 122

0761 長井高康他二名「御巡見衆御尋二付御領内孝貞之者書上帳」 / 一冊(五〇丁) / 天明八年 / 三〇・五×二〇・二 / 豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙 / 上杉弾正大弼内 長井庄左衛門他二名 / 表紙には天明八年六月とあるが、本文最後の頁に奥書としてか天明八年八月と記載あり / 122

0762 「上杉弾正大弼領分出羽国置賜郡在町孝行并奇特之者書上」(文化元年三月

同二年(二月)／一冊(四二丁)／文化六年／二三・九×一六・三／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御名内 御留守居名／ウ〇本／裏表紙に墨書あり／122

0764-01 佐藤官兵衛他二名「就御尋孝養之者書上帳 上巻」(文政七年三月、天保八年六月の領内の孝養褒賞対象者のうち存命の者)／一冊(七六丁)／天保九年閏四月／二七・二×一八・五／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／上杉弾正大弼内佐藤官兵衛他二名／上巻と下巻の表記間違い、本来の下巻／122

0764-02 「就御尋孝養之者書上帳 下巻」(文化八年閏二月、文政六年一二月の領内孝養褒賞対象者のうち存命の者)／一冊(六四丁)／天保九年閏四月／二七・二×一八・五／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／上巻と下巻の表記間違い、本来の上巻／122

藩政—孝子褒賞—申渡書

1012 覺書(留守幾蔵、父の看病及び孝行により綿三把を賜る)／一通(六紙)／弘化二年二月二九日／一四・八×一九二・〇／切継紙 楮紙／此者父に事：右之通被成下候／162

1016 申渡書(儀兵衛妻つる、嫡子大狭三次ら貞実につき褒賞金授与)／一通(七紙)／(文久二年) 四月一日／一四・七×二〇三・六／切継紙 楮紙／此者父に：申渡之候事／端裏書「写済」／162

1017 申渡書(香坂勘解由、親孝行につき章典として綿二把授与)／一通(八紙)／(文久二年) 八月二七日／一四・九×二三四・二／切継紙 楮紙／此者父母ニ：申渡之候事／端裏書「写済」／162

1020 申渡書(善三郎、妻つき親孝行につき玄米二俵ずつ授与)／一通(七紙)／(慶応元年) 二月二六日／一五・一×二四五・七／切継紙 楮紙／此もの左父母：申渡之候事／端裏書「慶応元」／163

1021 申渡書(りう、子甚吉孝行につき玄米授与)／一通(七紙)／(明治三年) 四月一七日／一五・五×二一九・〇／切継紙 楮紙／此者共父母：申渡之候事／端裏書「写済 美作量」／163

藩政—森平右衛門一件

0729-01 宝曆文書(0729-01の表紙)／一卷／近代(年月日未詳)／三一・二×二二・一／卷子装 紺地円繁模様原表紙 楮紙／0729-01-01-05 卷子装／116

0729-01-01 芋川正令他三名書状(森平右衛門討留一件につき芋川ら出府、森の悪行委細は別紙につき言上)／一通(二紙)／宝曆一三年二月／三一・二×八九・三／継紙 楮紙／芋川縫殿(黒印)他三名／今般美作御：別紙二申上候以上／0729-01-01-05 卷子装／柱題「言上」、別紙は0729-02-02／116

0729-01-02 加賀嶋小兵衛他一三名宛 山浦丹波他一〇名書状(上杉家の窮状につき執り成し願い)／一通(七紙)／宝曆一三年八月一日／二七・三×二四〇・四／継紙 楮紙／上杉大炊頭家来 山浦丹波景義(花押)他一〇名↓尾張様御内 加賀嶋小兵衛様／大炊頭家督以来：誠信誠恐謹言／0729-01-01-05 卷子装／柱題「謹上」、米沢藩士から尾張藩士宛、山浦らは上杉大炊頭家来とあり／116

0729-01-03 本庄職長他九名連判状(森平右衛門討留一件後、御政事改同意につき)／一通(八紙)／宝曆一三年二月一日／二六・五×二八七・九／継紙 楮紙／本庄大和(黒印) 職長(花押)他九名／一 今度竹俣美作：仍連判如件／0729-01-01-05 卷子装／柱題「連判申合之事」／116

0729-01-04 竹俣当綱宛 芋川正令書状(御前様御抱瘡症心願の返礼として内々に御肴拝領につき御礼)／一通(三紙)／江戸中期(年未詳) 二月八日／一四・九×九二・二／切継紙 楮紙／正令拝↓当綱公／不揃之天氣御座候：頼入存候以上／0729-01-01-05 卷子装／『山形県史資料編一六』未収録／116

0729-01-05 竹俣当綱宛 本庄職長書状(旧臘一七日付の密書拝読、我々六人より連署をもって貴様へ申し達す)／一通(二紙)／(宝曆一三年カ) 正月六日／一五・三×四三・二／切継紙 楮紙／職長(黒印)↓当綱公御報／旧臘十七日付之：恐惶謹言／0729-01-01-05 卷子装／『山形県史資料編一六』未収録／116

0729-02 宝曆文書(0729-02の表紙)／一卷／近代(年月日未詳)／三二・〇×二二・三／卷子装 紺地円繁模様原表紙 楮紙／0729-02-01-06 卷子装／116

0729-02-01 本庄職長他八名連判状(森平右衛門討留一件後、御政事改同意につき)／一通(六紙)／宝曆一三年二月一日／三一・六×二四六・六／継紙 楮紙／本庄大和(黒印) 職長(花押)他八名／一 今度竹俣美作：仍連判如件／729-0

2—01—06巻子装／柱題「連判申合之事」、0729—01—03と同文言だが、
 広居左京清応を欠く／116

0729—02—02 芋川正令他三名書状（森平右衛門討留一件につき芋川ら出府、
 森の悪行委細は別紙につき言上）／一通（一〇紙）／宝暦一三年二月／三一・五×四三
 四・七／継紙 楮紙／芋川縫殿他三名／一 此者年来：取行申候以上／0729—02
 —01—06巻子装／0729—01—01の別紙に相当／116

0729—02—03 竹俣当綱宛 藁科松柏書状（国家の大儀成就、この末はなお大
 切他につき）／一通（一紙）／（宝暦一三年）二月一八日／二八・三×四〇・六／折紙
 楮紙／藁科松柏↓竹鳳公 御左右中／両度之尊書着拜見仕候：奉存候以上／0729—
 02—01—06巻子装／「藁科松柏密書」と貼紙あり／116

0729—02—04 高津達恒書状（貴公様の身の上进心なく、近習頭種村・村山取
 り除き他助言）／一通（二紙）／（宝暦一三年）／二八・九×三八・九／折紙 楮紙／
 達恒（花押）（血判）／先日御見立申上候：可有照覧者也／0729—02—01—0
 6巻子装／「高津恒達密書」と貼紙あり／116

0729—02—05 四名宛 五十嵐弥悦他一名連判状控（森平右衛門切腹の段承
 知、御為宜しからざるため村山清太、種村伊惣を御除き下されたく）／一通（三紙）／
 宝暦一三年二月一九日／一四・七×六九・六／切継紙 楮紙／五十嵐弥悦他一名↓何々
 四人宛／此度 御家之：奉頼存候以上／0729—02—01—06巻子装／柱題「以
 連判奉願候事」、「東岳公近臣連判願書」と貼紙あり／116

0729—02—06 書状（藁科松柏が今朝の密事、今晚召出しの様子、村山・種村
 は外様へ差し出さなくては成就せず他）／一通（二紙）／（宝暦一三年）／一五・二×
 六九・七／切継紙 楮紙／松か今朝密事：申事候穴賢／0729—02—01—06巻
 子装／「木村丈八密書」と貼紙あり／116

0731 伐森策（森利真に対する弾劾状や政治改革に関する意見書）／一冊（五九丁）
 ／江戸後期（年月日未詳）／二三・六×一五・四／豎帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙
 楮紙／御記録所／史料名は冊子小口の記載を採用／116

0819 「森平右衛門事件概略」（「森平右衛門事跡」、「森平右衛門誅戮一件之留」、
 宝暦期の財政悪化に関する文化七年「御難渋有増書抜」）／一冊（七一丁）／近代（年
 月日未詳）／二二・三×一五・二／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・紺地後補表紙
 楮紙／モ〇本 林泉文庫／0815と一連のものか／123

法制—幕法—將軍家令條

0432-01 「將軍家令條目錄 一」(卷一、八の所収目錄) / 一冊(六八丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二八・六×一八・六 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 051-052

0432-02 「將軍家令條目錄 二」(卷九、一四の所収目錄) / 一冊(六二丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二八・六×一八・六 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 051-052

0432-03 「將軍家令條目錄 三」(卷二五、二二の所収目錄) / 一冊(六四丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二八・六×一八・七 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 051-052

0432-04 「將軍家令條 一」(寛永三年六月、正保二年七月) / 一冊(七六丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・二×一九・三 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 圖書第七六号 / 051-052

0432-05 「將軍家令條 二」(正保三年三月、寛文四年三月) / 一冊(一三四丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・二×一九・三 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 051-052

0432-06 「將軍家令條 三」(寛文四年七月、天和三年一〇月) / 一冊(一〇七丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・二×一九・四 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 051-052

0432-07 「將軍家令條 四」(貞享元年三月、元禄八年一〇月) / 一冊(九二丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・二×一九・三 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 051-052

0432-08 「將軍家令條 五」(元禄九年四月、同一六年七月) / 一冊(八六丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・二×一九・四 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 051-052

0432-09 「將軍家令條 六」(元禄一六年一〇月、宝永七年四月) / 一冊(七六丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・二×一九・四 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 051-052

0432-10 「將軍家令條 七」(正徳元年四月、同四年五月) / 一冊(七四丁)

江戸後期(年月日未詳) / 二九・二×一九・四 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 051-052

0432-11 「將軍家令條 八」(正徳四年六月、享保七年四月) / 一冊(八七丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・二×一九・四 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 051-052

0432-12 「將軍家令條 九」(享保七年五月、同一八年一二月) / 一冊(八三丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・二×一九・四 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 051-052

0432-13 「將軍家令條 十」(享保一十九年九月、延享三年六月) / 一冊(六七丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・二×一九・四 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 051-052

0432-14 「將軍家令條 十一」(延享四年四月、明和三年一二月) / 一冊(一〇二丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・二×一九・五 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 051-052

0432-15 「將軍家令條 十二」(明和四年五月、安永三年四月) / 一冊(八九丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・一×一九・五 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 051-052

0432-16 「將軍家令條 十三」(安永四年二月、同六年九月) / 一冊(六六丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・二×一九・三 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 051-052

0432-17 「將軍家令條 十六」(文化九年一二月、文政四年一二月) / 一冊(七七丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二八・八×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 051-052

0432-18 「將軍家令條 十七」(文政五年四月、同一二年一二月) / 一冊(五一丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二八・七×一八・六 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 051-052

0432-19 「將軍家令條 十八」(天保元年三月、同七年一二月) / 一冊(五六丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二八・八×一八・七 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 051-052

0432-20 「將軍家令條 十九」(天保八年二月、同一二年一月) / 一冊(八四丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二八・八×一八・六 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 051-052

0432-21 「將軍家令條 二十」(天保一三年二月、一月) / 一冊(五二丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二八・八×一八・六 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 051-052

0432-22 「將軍家令條 二二」(天保一四年二月、二月) / 一冊(六一丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二八・八×一八・七 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 051-052

0432-23 「將軍家令條 二二」(弘化元年一〇月、嘉永元年五月) / 一冊(六七丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二八・七×一八・六 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 墨付二七丁 / 051-052

0433-01 「將軍家令條 一」(寛永三年二月、寛文三年九月) / 一冊(八九丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 三〇・七×二一・六 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 函書第五五号 / 053

0433-02 「將軍家令條 二」(寛文四年七月、元禄一六年七月) / 一冊(一一九丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 三〇・七×二一・五 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 053

0433-03 「將軍家令條 三」(元禄一六年一〇月、正徳四年四月) / 一冊(八八丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 三〇・七×二一・五 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 053

0433-04 「將軍家令條 四」(正徳四年五月、享保七年三月) / 一冊(五〇丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 三〇・七×二一・五 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 053

0433-05 「將軍家令條 五」(享保七年五月、延享二年閏二月) / 一冊(四七丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 三〇・六×二一・七 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 053

0433-06 「將軍家令條 六」(延享四年正月、明和三年一月) / 一冊(四五丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 三〇・七×二一・六 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 053

0433-07 「將軍家令條 七」(明和四年五月、同七年二月) / 一冊(四七丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 三〇・七×二一・五 / 豎帳 袋綴冊子装 山吹地原表紙 楮紙 / 053

0433-08 「將軍家令條 八」(明和八年一月、安永三年四月) / 一冊(六二丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 三〇・七×二一・五 / 豎帳 袋綴冊子装 山吹地原表紙 楮紙 / 053

0433-09 「將軍家令條 九」(安永四年二月、同六年五月) / 一冊(七八丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 三〇・七×二一・五 / 豎帳 袋綴冊子装 山吹地原表紙 楮紙 / 053

0434 「將軍家令條拾遺 全」(寛永三年六月、明和元年一月) / 一冊(一四三丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 三〇・六×二一・五 / 豎帳 袋綴冊子装 山吹地原表紙 楮紙 / 墨付一四二丁、0433未所収分を補遺 / 053

0435-01 「將軍家令條拾遺 一」(安永六年一〇月、天明四年二月) / 一冊(八一丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二八・七×一八・八 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 054

0435-02 「將軍家令條拾遺 二」(天明五年二月、同七年二月) / 一冊(六三丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二八・六×一八・七 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 054

0435-03 「將軍家令條拾遺 三」(天明八年三月、寛政二年二月) / 一冊(六三丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二八・七×一八・七 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 054

0435-04 「將軍家令條拾遺 四」(寛政三年正月、同九年四月) / 一冊(七三丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二八・七×一八・七 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 054

0435-05 「將軍家令條拾遺 五」(寛政九年五月、享和二年四月) / 一冊(六一丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二八・七×一八・七 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 054

0435-06 「將軍家令條拾遺 六」(寛政九年五月、文化八年二月) / 一冊(五一丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二八・七×一八・七 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 墨付四八丁 / 054

法制—幕法—憲法部類

- 0437-01 「憲法部類 一」写（殿中向、御城内、下場）／一冊（五六丁）／江戸後期（年月日未詳）／二七・一×一九・〇／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／図書第七一号 御記録所／054
- 0437-02 「憲法部類 二」写（規式御成、鷹野御成、御鷹場向、御掘上水）／一冊（四九丁）／江戸後期（年月日未詳）／二七・二×一九・〇／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／御記録所／054
- 0437-03 「憲法部類 三」写（御役、御番、組付）／一冊（八一丁）／江戸後期（年月日未詳）／二七・一×一九・〇／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／御記録所／054
- 0437-04 「憲法部類 四五」写（養子、家督、縁組養女、諸屋敷、辻番）／一冊（六九丁）／江戸後期（年月日未詳）／二七・三×一九・〇／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／御記録所／054
- 0437-05 「憲法部類 六」写（火車）／一冊（三三丁）／江戸後期（年月日未詳）／二七・二×一九・一／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／御記録所／054
- 0437-06 「憲法部類 七」写（諸国地方、百姓出入、鉄砲、道中筋、海路）／一冊（八七丁）／江戸後期（年月日未詳）／二七・三×一八・九／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／御記録所／054
- 0437-07 「憲法部類 八九」写（金銀、米銭、借金、博奕、無尽）／一冊（八一丁）／江戸後期（年月日未詳）／二七・四×一九・〇／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／御記録所／054
- 0437-08 「憲法部類 十之上」写（諸御書付）／一冊（八五丁）／江戸後期（年月日未詳）／二七・四×一九・〇／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／御記録所／054
- 0437-09 「憲法部類 十之下」写（諸御書付、奉公人）／一冊（八六丁）／江戸後期（年月日未詳）／二七・二×一八・九／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／御記録所／054

法制—幕法—触達留

- 0283 御用留（大目付触他「將軍家命令」、江戸屋敷の水道整備の「御普請方達」、増上寺・寛永寺他の修復関係「御修復」）／一冊（四三六丁）／江戸後期（年月日未詳）／一五・〇×三六・五／横帳 長帳綴 茶地原表紙 楮紙／墨付四三三丁、年月日を追って記録された①④の横帳四冊を合綴、①嘉永四年〜慶応元年、②慶応元年〜二年、③天保一三年正月〜元治元年四月、④天保一三年正月〜元治元年一月二八日／043
- 0436 「江戸武家諸法度」（元和令、寛永令を所収）／一冊（二四丁）／江戸後期（年月日未詳）／二六・七×一九・二／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／図書第三七号／墨付七丁／054
- 0438 「公儀御定百ヶ条」写（公事方御定書の写）／一冊（七三丁）／江戸後期（年月日未詳）／二三・五×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／乙第五二号古文書図書経巻佛像 上杉伯爵家蔵書／054
- 0439 「慶安御触書」写（農民の生活について定めた触書）／一冊（一四丁）／江戸後期（年月日未詳）／二六・〇×一七・二／豎帳 袋綴冊子装 表：白茶地雷門繫地桐唐草型押地原表紙 裏：紺地菊花二重亀甲繫ぎに竜原表紙 楮紙／御記録所／054
- 0440 「米沢民政御触書」（慶安御触書の写）／一冊（一五丁）／江戸後期（年月日未詳）／二六・二×一八・〇／豎帳 袋綴冊子装 白地厚紙後補表紙 楮紙／上村蔵書／054
- 0441 「金銀御吹替二付御触書」（宝永七年〜享保一五年の貨幣改鑄につき）／一冊（四五丁）／江戸中期（年月日未詳）／二四・五×一五・二／豎帳 袋綴冊子装 紙原表紙 楮紙／キ〇本 林泉文庫／墨付三五丁／054
- 0443 触書写（大目付触、日本総船印を日の丸とする）／一通（二紙）／嘉永七年七月／一四・七×五一・〇／継紙 楮紙／大船製造に付ては：右ノ通可被相触候／端裏書「嘉永七寅七月□書之大目付触也」／054
- 0445 幕府大目付触留帳（元治元年二月三日〜慶応二年二月一日）／一冊（三六丁）／江戸後期（年月日未詳）／一五・二×三七・八／横帳 長帳綴 表紙無し 楮紙／054
- 0446 触書写（大目付触、文久三年一月の江戸城落雷への対応）／一通（四紙）／江戸後期（年月日未詳）／一五・〇×一三一・九／切継紙 楮紙／御本丸二丸炎上に二付：可被相叶申候事／林泉文庫／柱題「追々相違候大御目付触之写」、別紙に裏書き

された要約を貼継ぎ、貼継部に林泉文庫の押印、端裏に長文の書込あり／054

0458 荏戸善政筆「公制秘鑑 全」写（享保く延享期の幕府の法令集、一二一か条）／一冊（八五丁）／寛政八年一月〇日／一二・八×一六・三／横半帳 長帳綴 素紙原表紙 楮紙／荏戸六郎兵衛善政／コ〇本 林泉文庫／墨書七九丁、表紙に「旧藩史料政事 一 写本」の貼紙あり／066

0459 「公制秘鑑」写（享保く延享期の幕府の法令集、一一一か条）／一冊（八六丁）／江戸後期（年月日未詳）／二三・四×一五・三／縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／コ〇本 御記録所／無

0740 「政鑑」（幕府法に基づく相論裁決の方針、奥六郡司安倍氏の系譜を示す太平記第二七の抜粹）／一冊（二六丁）／江戸後期（年月日未詳）／三〇・三×一九・三／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙／七〇本・七八 林泉文庫／冒頭に「御評定式目」とあり、最後に無関係の前太平記の差込みあり／117

0765 「高札之写」（天和二年五月く貞享四年一二月の幕府制札、延享三年四月の米沢藩制札）／一冊（二六丁）／江戸中期（年月日未詳）／二七・六×二〇・〇／縦帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／背を共紙で包む／122

0818 江戸幕府触書（在方にて用水等の管理徹底のこと）／一通（二紙）／（享保一一年）午一〇月／三二・二×四九・八／継紙 楮紙／悪水不滞用水引渡儀：在々二入念可被申付候以上／123

法制—藩法—御代々御式目

0447-01 「御代々御式目 目録」（一く二二巻、上杉景勝から治広まで）／一冊（一七三丁）／江戸後期（年月日未詳）／二九・五×一九・五／縦帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／墨付一七二丁／055-058

0447-02 「御代々御式目之目録 一」（二二く三〇巻、上杉治広から斉定まで）／一冊（七四丁）／江戸後期（年月日未詳）／二九・五×一八・六／縦帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／055-058

0447-03 「御代々御式目之目録 二」（三二く四二巻、上杉斉定から斉憲まで）／一冊（五六丁）／江戸後期（年月日未詳）／二九・五×一八・五／縦帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／墨付四六丁／055-058

0447-04 「御代々御式目 一」（上杉景勝、定勝、天正九年五月二八日く正保二年七月二六日）／一冊（一三二丁）／江戸後期（年月日未詳）／二九・二×一九・五／縦帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／墨付一三〇丁／055-058

0447-05 「御代々御式目 二」（上杉綱勝、正保三年八月二九日く寛文四年五月）／一冊（一三三丁）／江戸後期（年月日未詳）／二九・四×一九・三／縦帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／墨付一三二丁／055-058

0447-06 「御代々御式目 三」（上杉綱憲、寛文五年二月朔日く元禄五年九月七日）／一冊（一三三丁）／江戸後期（年月日未詳）／二九・五×一九・三／縦帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／墨付一三二丁／055-058

0447-07 「御代々御式目 四」（上杉綱憲、元禄六年八月一日く同一六年七月二八日）／一冊（二〇〇丁）／江戸後期（年月日未詳）／二九・四×一九・四／縦帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／墨付九九丁／055-058

0447-08 「御代々御式目 五」（上杉吉憲、元禄一六年九月く宝永六年八月一日）／一冊（七六丁）／江戸後期（年月日未詳）／二九・五×一九・四／縦帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／二二丁目逆さ綴じ、墨付七五丁／055-058

0447-09 「御代々御式目 六」（上杉吉憲、宝永七年四月一日く正徳五年一二月三日）／一冊（七〇丁）／江戸後期（年月日未詳）／二九・四×一九・三／縦帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／墨付六九丁／055-058

0447-10 「御代々御式目 七」（上杉吉憲、享保元年正月七日く同七年二月一四日）／一冊（一一八丁）／江戸後期（年月日未詳）／二九・五×一九・二／縦帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／墨付一七二丁／055-058

0447-11 「御代々御式目 八」（上杉宗憲、享保七年九月七日く同一九年五月九日）／一冊（二四九丁）／江戸後期（年月日未詳）／二九・四×一九・四／縦帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／墨付一四八丁／055-058

0447-12 「御代々御式目 九」（上杉宗房、享保一一年一〇月く延享三年八月一〇日）／一冊（二二八丁）／江戸後期（年月日未詳）／二九・二×一九・一／縦帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／墨付一二七丁／055-058

0447-13 「御代々御式目 十」（上杉重定、延享三年一〇月六日く寛延元年一月二六日）／一冊（八三丁）／江戸後期（年月日未詳）／二九・五×一九・四／縦帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／墨付八二丁／055-058

0447-14 「御代々御式目 十一」(上杉重定、寛延元年二月一日〜同三年一月八日) / 一冊(九七丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・五×一九・三 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 墨付九六丁 / 055-058

0447-15 「御代々御式目 十二」(上杉重定、宝暦元年二月〜同五年二月七日) / 一冊(九六丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・四×一九・三 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 墨付九五丁 / 055-058

0447-16 「御代々御式目 十三」(上杉重定、宝暦六年六月八日〜同八年一月晦日) / 一冊(七七丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・四×一九・四 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 墨付七六丁 / 055-058

0447-17 「御代々御式目 十四」(上杉重定、宝暦九年四月二六日〜明和四年三月二九日) / 一冊(二二二丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・五×一九・三 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 墨付二二丁 / 055-058

0447-18 「御代々御式目 十五」(上杉鷹山、明和四年六月〜二月) / 一冊(六六丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・五×一九・三 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 墨付六五丁 / 055-058

0447-19 「御代々御式目 十六」(上杉鷹山、明和五年五月二八日〜同八年一月二六日) / 一冊(八五丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・五×一九・三 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 墨付八四丁 / 055-058

0447-20 「御代々御式目 十八」(上杉鷹山、安永五年正月〜同九年二月) / 一冊(九二丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・四×一九・三 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 卷一七は欠本、墨付九二丁 / 055-058

0447-21 「御代々御式目 十九」(上杉鷹山、天明元年二月一〇日〜同四年一月二三日) / 一冊(八二丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・五×一九・三 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 墨付八一丁 / 055-058

0447-22 「御代々御式目 二十」(上杉治広、天明五年二月一五日〜同八年二月四日) / 一冊(九六丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・三×一九・二 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 墨付九五丁 / 055-058

0447-23 「御代々御式目 二十一」(上杉治広、寛政元年四月二六日〜同三年六月) / 一冊(一〇四丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・二×一九・三 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 墨付一〇三丁 / 055-058

0447-24 「御代々御式目 廿二」(上杉治広、寛政三年七月〜同七年二月) / 一冊(一六七丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・三×一八・八 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 055-058

0447-25 「御代々御式目 廿三」(上杉治広、寛政八年正月〜同一年三月) / 一冊(八一丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・三×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 055-058

0447-26 「御代々御式目 廿六」(上杉治広、寛政一〇年三月二六日〜同一年二月二九日) / 一冊(七七丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・三×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 055-058

0447-27 「御代々御式目 廿七」(上杉治広、寛政一二年正月一〇日〜享和元年一月) / 一冊(八四丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・五×一八・九 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 055-058

0447-28 「御代々御式目 二十八」(上杉治広、享和二年正月〜同三年二月二八日) / 一冊(五四丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・五×一八・九 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 055-058

0447-29 「御代々御式目 二十九」(上杉治広、文化元年二月二日〜同三年一月) / 一冊(七一丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・三×一八・八 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 055-058

0447-30 「御代々御式目 三十」(上杉治広、文化四年二月〜同九年二月) / 一冊(九四丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・五×一八・八 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 055-058

0447-31 「御代々御式目 三十一」(上杉齊定、文化一〇年六月〜同一年一月一九日) / 一冊(八二丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・五×一八・九 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 055-058

0447-32 「御代々御式目 三十二」(上杉齊定、文化二年二月〜文政二年二月二〇日) / 一冊(七二丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・六×一八・九 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 055-058

0447-33 「御代々御式目 三十三」(上杉齊定、文政三年三月〜同五年二月) / 一冊(六一丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・六×一八・九 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 055-058

0447-34 「御代々御式目 三十四」(上杉斉定、文政六年正月、同一〇年二月一日) / 一冊(七九丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・五×一八・八 / 縦帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 055-058

0447-35 「御代々御式目 三十五」(上杉斉定、文政十一年正月六日、天保三年二月) / 一冊(六三丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・六×一八・九 / 縦帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 055-058

0447-36 「御代々御式目 三十六」(上杉斉定、天保四年三月、同四年二月) / 一冊(八三丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・六×一八・八 / 縦帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 055-058

0447-37 「御代々御式目 三十七」(上杉斉定、天保五年二月、同七年二月) / 一冊(四五丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・六×一八・九 / 縦帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 055-058

0447-38 「御代々御式目 三十八」(上杉斉定、天保八年二月、同九年一月二七日) / 一冊(五〇丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・六×一八・九 / 縦帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 055-058

0447-39 「御代々御式目 三十九」(上杉斉憲、天保一〇年四月二日、同一二年二月) / 一冊(六〇丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・四×一八・七 / 縦帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 055-058

0447-40 「御代々御式目 四十」(上杉斉憲、天保一三年二月七日、同一四年二月二〇日) / 一冊(九二丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・五×一八・七 / 縦帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 055-058

0447-41 「御代々御式目 四十二」(上杉斉憲、弘化元年三月、同四年二月) / 一冊(三七丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・五×一八・六 / 縦帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 墨付三四丁 / 055-058

0448-01 「御代々御式目 一」(上杉景勝、天正十一年七月、元和四年七月三日、定勝、元和九年五月六日、正保二年七月朔日) / 一冊(二二丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・七×一八・六 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 墨付一〇丁 / 059-061

0448-02 「御代々御式目 二」(上杉綱勝、正保三年八月、寛文四年五月) / 一冊(二五丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・七×一八・二 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 墨付一二丁 / 059-061

0448-03 「御代々御式目 三」(上杉綱憲、寛文五年二月朔日、貞享元年六月六日) / 一冊(八四丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・七×一八・五 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 墨付八二丁 / 059-061

0448-04 「御代々御式目 四」(上杉綱憲、貞享二年九月二八日、元禄十五年八月) / 一冊(二〇八丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・五×一八・四 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 墨付一〇六丁 / 059-061

0448-05 「御代々御式目 五」(上杉吉憲、宝永元年八月五日、享保七年二月四日) / 一冊(九六丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・八×一八・七 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 墨付九五丁 / 059-061

0448-06 「御代々御式目 六」(上杉宗憲、享保七年六月朔日、同一八年九月九日) / 一冊(九八丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・五×一八・四 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 059-061

0448-07 「御代々御式目 七」(上杉宗房、享保二〇年六月六日、延享二年八月二日) / 一冊(八二丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・七×一八・六 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 墨付八〇丁 / 059-061

0448-08 「御代々御式目 八」(上杉重定、延享三年一〇月六日、寛延元年二月一九日) / 一冊(一〇〇丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・三×一八・四 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 墨付九九丁 / 059-061

0448-09 「御代々御式目 九」(上杉重定、寛延二年二月二日、宝暦五年二月二〇日) / 一冊(八七丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・五×一八・四 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 墨付八五丁 / 059-061

0448-10 「御代々御式目 十」(上杉重定、宝暦五年、明和四年三月四日) / 一冊(一七三丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・五×一八・八 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 墨付一七一丁 / 059-061

0448-11 「御代々御式目 十一」(上杉鷹山、明和四年六月、安永三年五月) / 一冊(一五六丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・五×一八・七 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 墨付一五四丁 / 059-061

0448-12 「御代々御式目 十二」(上杉鷹山、安永三年五月一七日、同六年四月) / 一冊(九三丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・四×一八・五 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 墨付九一丁 / 059-061

0448-113 「御代々御式目 十三」(上杉鷹山、安永六年八月三日、同九年四月一九日) / 一冊(六七丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・八×一八・六 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 059-1061

0448-114 「御代々御式目 十四」(上杉鷹山、天明元年二月一〇日、同四年一〇月八日) / 一冊(八八丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・六×一八・四 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 059-1061

0448-115 「御代々御式目 十五」(上杉治広、天明五年二月一五日、同八年一二月四日) / 一冊(二〇二丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・七×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 059-1061

0448-116 「御代々御式目 十六」(上杉治広、寛政元年四月二六日、二月) / 一冊(五九丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・六×一八・四 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 059-1061

0448-117 「御代々御式目 十七」(上杉治広、寛政二年正月二九日、同三年一二月二日) / 一冊(六一丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・八×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 059-1061

0448-118 「御代々御式目 十八」(上杉治広、寛政四年正月二五日、同五年一二月晦日) / 一冊(五七丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・七×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 059-1061

0448-119 「御代々御式目 十九」(上杉治広、寛政六年元旦、二月) / 一冊(八七丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・五×一八・四 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 059-1061

0448-120 「御代々御式目 廿」(上杉治広、寛政七年二月一一日、二月) / 一冊(六一丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・六×一八・四 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 059-1061

0448-121 「御代々御式目 廿一」(上杉治広、寛政八年正月元日、同九年一二月晦日) / 一冊(九七丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・七×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 059-1061

0448-122 「御代々御式目 廿二」(上杉治広、寛政一〇年正月元日、同一年六月) / 一冊(九〇丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・七×一八・四 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 059-1061

0448-123 「御代々御式目 廿三」(上杉治広、寛政一一年七月、同二年二月) / 一冊(五五丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・七×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 059-1061

0448-124 「御代々御式目 廿四」(上杉治広、享和元年二月、二月) / 一冊(六七丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・六×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 059-1061

0448-125 「御代々御式目 廿五」(上杉治広、享和二年正月、文化元年一二月一六日) / 一冊(八六丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・五×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 059-1061

0448-126 「御代々御式目 廿六上」(上杉治広、文化二年三月、同四年七月) / 一冊(五四丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・七×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 059-1061

0448-127 「御代々御式目 廿六下」(上杉治広、文化四年七月二七日、同九年一月) / 一冊(五〇丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・八×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 059-1061

0448-128 「御代々御式目 廿七上」(上杉齊定、文化一〇年六月、同一年九月) / 一冊(八五丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・六×一八・四 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 059-1061

0448-129 「御代々御式目 廿七下」(上杉齊定、文化一一年一月一一日、文政二年一二月二〇日) / 一冊(五七丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・七×一八・七 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 裏表紙内側に墨書あり / 059-1061

0448-130 「御代々御式目 二十八」(上杉齊定、文政三年三月、同五年二月) / 一冊(六三丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・五×一八・六 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 059-1061

0448-131 「御代々御式目 二十九」(上杉齊定、文政六年正月、同一年一二月一五日) / 一冊(八七丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・五×一八・七 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 059-1061

0448-132 「御代々御式目 三十」(上杉齊定、文政一一年正月六日、天保三年二月) / 一冊(六一丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・五×一八・九 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 059-1061

0448-33 「御代々御式目 三十一」(上杉斉定、天保四年三月、同四年二月) / 一冊(七六丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・四×一八・六 / 縦帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 059-1061

0448-34 「御代々御式目 三十二」(上杉斉定、天保五年二月、同七年二月) / 一冊(五七丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・五×一八・八 / 縦帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 059-1061

0448-35 「御代々御式目 三十三」(上杉斉定、天保八年二月、同九年一月二七日) / 一冊(六三丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・六×一八・七 / 縦帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 059-1061

0448-36 「御代々御式目 三十四」(上杉斉憲、天保一〇年四月二一日、同一三年二月) / 一冊(六二丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・五×一八・八 / 縦帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 059-1061

0448-37 「御代々御式目 三十五」(上杉斉憲、天保一三年二月七日、同一四年二月二〇日) / 一冊(九八丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・五×一八・七 / 縦帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 059-1061

0448-38 「御代々御式目 三十六」(上杉斉憲、弘化元年三月、同四年五月) / 一冊(五一丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・五×一八・九 / 縦帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 墨付四〇丁 / 059-1061

0449-01 「御代々御式目 二」(上杉綱勝、正保二年八月、寛文四年五月) / 一冊(一〇三丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二六・一×一七・七 / 縦帳 袋綴冊子装 山吹地原表紙 楮紙 / 卷一欠本 / 062-1063

0449-02 「御代々御式目 三」(上杉綱憲、寛文五年二月朔日、貞享元年六月六日) / 一冊(六二丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二五・六×一七・六 / 縦帳 袋綴冊子装 山吹地原表紙 楮紙 / 062-1063

0449-03 「御代々御式目 四」(上杉綱憲、貞享二年九月二六日、元禄一五年八月) / 一冊(八六丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二五・九×一七・六 / 縦帳 袋綴冊子装 山吹地原表紙 楮紙 / 062-1063

0449-04 「御代々御式目 五」(上杉吉憲、宝永元年八月五日、享保七年二月一四日) / 一冊(六六丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二五・九×一八・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 山吹地原表紙 楮紙 / 062-1063

0449-05 「御代々御式目 六」(上杉宗憲、享保七年六月朔日、同一八年九月九日) / 一冊(七三丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二五・九×一七・九 / 縦帳 袋綴冊子装 山吹地原表紙 楮紙 / 062-1063

0449-06 「御代々御式目 七」(上杉宗房、享保二〇年六月一六日、延享二年八月二日) / 一冊(六二丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二五・八×一七・九 / 縦帳 袋綴冊子装 山吹地原表紙 楮紙 / 延享二年八月二日の命令の末尾に「七月」と記載あり / 062-1063

0449-07 「御代々御式目 八」(上杉重定、延享三年一〇月六日、寛延元年二月) / 一冊(八二丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二五・六×一七・九 / 縦帳 袋綴冊子装 山吹地原表紙 楮紙 / 062-1063

0449-08 「御代々御式目 九」(上杉重定、寛延二年二月六日、宝曆五年二月廿日) / 一冊(六八丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二五・七×一七・八 / 縦帳 袋綴冊子装 山吹地原表紙 楮紙 / 墨付六七丁 / 062-1063

0449-09 「御代々御式目 十」(上杉重定、宝曆五年七月二一日、明和四年三月四日) / 一冊(一三三丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二五・七×一七・九 / 縦帳 袋綴冊子装 山吹地原表紙 楮紙 / 明和四年三月四日の命令の末尾に「二月」と記載あり / 062-1063

0449-10 「御代々御式目 十一」(上杉鷹山、明和四年六月、安永三年五月) / 一冊(二二三丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二五・五×一七・九 / 縦帳 袋綴冊子装 山吹地原表紙 楮紙 / 062-1063

0449-11 「御代々御式目 十二」(上杉鷹山、安永三年五月一七日、同六年四月) / 一冊(七八丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二六・〇×一七・七 / 縦帳 袋綴冊子装 山吹地原表紙 楮紙 / 062-1063

0449-12 「御代々御式目 十三」(上杉鷹山、安永六年八月三日、同九年四月九日) / 一冊(五一丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・九×一五・九 / 縦帳 袋綴冊子装 山吹地原表紙 楮紙 / 062-1063

0449-13 「御代々御式目 十四」(上杉鷹山、天明元年二月一〇日、同四年一月二三日) / 一冊(六九丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二五・七×一七・九 / 縦帳 袋綴冊子装 山吹地原表紙 楮紙 / 062-1063

0449-14 「御代々御式目 十五」(上杉治広、天明五年二月一五日、同八年二月四日) / 一冊(八四丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二五・七×一七・八 / 縦帳

袋綴冊子装 山吹地原表紙 楮紙／挟込文書あり／062-063

0449-115 「御代々御式目 十六」(上杉治広、寛政元年四月廿六日、同元年二月)／一冊(四九丁)／江戸後期(年月日未詳)／二五・九×一七・九／豎帳 袋綴冊子装 山吹地原表紙 楮紙／062-063

0449-116 「御代々御式目 十七」(上杉治広、寛政二年正月廿九日、同三年二月三日)／一冊(四八丁)／江戸後期(年月日未詳)／二五・六×一七・八／豎帳 袋綴冊子装 山吹地原表紙 楮紙／062-063

0449-117 「御代々御式目 十八」(上杉治広、寛政四年正月廿五日、同五年一月晦日)／一冊(四九丁)／江戸後期(年月日未詳)／二五・九×一八・一／豎帳 袋綴冊子装 山吹地原表紙 楮紙／062-063

0449-118 「御代々御式目 十九」(上杉治広、寛政六年元旦、同六年二月)／一冊(七二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二五・九×一八・〇／豎帳 袋綴冊子装 山吹地原表紙 楮紙／墨付七二丁／062-063

0449-119 「御代々御式目 二十」(上杉治広、寛政七年二月一日、同七年二月)／一冊(四九丁)／江戸後期(年月日未詳)／二五・八×一八・一／豎帳 袋綴冊子装 山吹地原表紙 楮紙／062-063

0449-120 「御代々御式目 二十一」(上杉治広、寛政八年元旦、同九年二月晦日)／一冊(七五丁)／江戸後期(年月日未詳)／二五・八×一七・七／豎帳 袋綴冊子装 山吹地原表紙 楮紙／062-063

0449-121 「御代々御式目 二十二」(上杉治広、寛政一〇年正月元日、同一年六月)／一冊(八三丁)／江戸後期(年月日未詳)／二五・七×一八・〇／豎帳 袋綴冊子装 山吹地原表紙 楮紙／062-063

0449-122 「御代々御式目 二十三」(上杉治広、寛政一一年七月、同二年二月)／一冊(五〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／二六・〇×一七・五／豎帳 袋綴冊子装 山吹地原表紙 楮紙／062-063

0449-123 「御代々御式目 二十四」(上杉治広、享和元年二月、同元年二月)／一冊(五三丁)／江戸後期(年月日未詳)／二六・〇×一七・八／豎帳 袋綴冊子装 山吹地原表紙 楮紙／062-063

0449-124 「御代々御式目 二十五」(治広、享和二年正月、文化元年二月六日)／一冊(七一丁)／江戸後期(年月日未詳)／二五・七×一七・八／豎帳 袋綴

冊子装 山吹地原表紙 楮紙／062-063

0449-125 「御代々御式目 二十六」(上杉治広、文化二年三月、同九年二月)／一冊(九二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二五・八×一八・〇／豎帳 袋綴冊子装 山吹地原表紙 楮紙／062-063

0449-126 「御代々御式目 二十七」(上杉治広、文化一〇年六月、同一年一月九日)／一冊(六一丁)／江戸後期(年月日未詳)／二六・〇×一八・〇／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／062-063

0449-127 「御代々御式目 二十八」(上杉治広、文化二年二月、文政二年二月二〇日)／一冊(五三丁)／江戸後期(年月日未詳)／二五・九×一七・八／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／062-063

0449-128 「御代々御式目 二十九」(上杉治広、文政三年三月、同五年二月)／一冊(四九丁)／江戸後期(年月日未詳)／二六・〇×一七・九／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／062-063

0449-129 「御代々御式目 三十」(上杉治広、文政六年正月、同一年二月五日)／一冊(六四丁)／江戸後期(年月日未詳)／二五・九×一七・九／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／062-063

0449-130 「御代々御式目 三十一」(上杉治広、文政一一年正月六日、天保三年二月)／一冊(四九丁)／江戸後期(年月日未詳)／二六・〇×一七・九／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／062-063

0449-131 「御代々御式目 三十二」(上杉治広、天保四年三月、同四年二月)／一冊(六一丁)／江戸後期(年月日未詳)／二五・九×一七・九／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／062-063

0449-132 「御代々御式目 三十三」(上杉治広、天保五年二月、同七年二月)／一冊(四三丁)／江戸後期(年月日未詳)／二六・〇×一七・八／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／062-063

0449-133 「御代々御式目 三十四」(上杉治広、天保八年二月、同九年一月廿七日)／一冊(四七丁)／江戸後期(年月日未詳)／二五・九×一七・九／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／062-063

0449-134 「御代々御式目 三十五」(上杉治広、天保一〇年四月二一日、同一年二月)／一冊(四八丁)／江戸後期(年月日未詳)／二六・〇×一七・八／豎帳

袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／062—063

0449—35 「御代々御式目 三十六」(上杉齊憲、天保一三年二月七日、同一四年一二月)／一冊(七〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／二五・九×一七・八／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／062—063

0449—36 「御代々御式目 三十七」(上杉齊憲、弘化元年二月、同四年五月)／一冊(五二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二五・八×一七・七／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／墨付二七丁／062—063

0450—01 「御代々御式目 一」(元禄五年五月二六日、宝永七年四月一九日)／一冊(二二四丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・〇×一四・四／豎帳 袋綴冊子装 標地原表紙 楮紙／コ〇本 林泉文庫／064—065

0450—02 「御代々御式目 二」(正徳元年五月三日、享保六年七月一六日)／一冊(一一四丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・〇×一四・二／豎帳 袋綴冊子装 標地原表紙 楮紙／林泉文庫／064—065

0450—03 「御代々御式目 三」(享保六年七月二〇日、延享三年八月一〇日)／一冊(二二〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・〇×一四・三／豎帳 袋綴冊子装 標地原表紙 楮紙／林泉文庫／五〇丁目に項目一から四のうち、四の覚書の貼付あり／064—065

0450—04 「御代々御式目 四」(延享三年一〇月六日、宝暦六年一〇月)／一冊(一五三丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・〇×一四・三／豎帳 袋綴冊子装 標地原表紙 楮紙／林泉文庫／064—065

0450—05 「御代々御式目 五」(宝暦七年二月一五日、同九年二月一四日)／一冊(八九丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・〇×一四・四／豎帳 袋綴冊子装 標地原表紙 楮紙／林泉文庫／064—065

0450—06 「御代々御式目 六」(宝暦一〇年二月三日、安永八年一月四日)／一冊(一七〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・〇×一四・二／豎帳 袋綴冊子装 標地原表紙 楮紙／林泉文庫／064—065

0450—07 「御代々御式目 七」(安永九年二月三日、天明八年一月四日)／一冊(一九二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・〇×一四・一／豎帳 袋綴冊子装 標地原表紙 楮紙／林泉文庫／064—065

0450—08 「御代々御式目 八」(寛政元年四月二六日、同三年二月二日)

／一冊(一〇〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／二二・六×一四・六／豎帳 袋綴冊子装 標地原表紙 楮紙／林泉文庫／三、六丁目に貼付三紙あり／064—065

0450—09 「御代々御式目 九」(寛政四年正月二五日、同七年一二月)／一冊(一八九丁)／江戸後期(年月日未詳)／二二・六×一四・六／豎帳 袋綴冊子装 標地原表紙 楮紙／林泉文庫／一三七丁目に説明書き一枚挟込あり／064—065

0450—10 「御代々御式目 十」(寛政八年元旦、同一〇年一二月二日)／一冊(一三六丁)／江戸後期(年月日未詳)／二二・五×一四・五／豎帳 袋綴冊子装 標地原表紙 楮紙／林泉文庫／八四丁目に貼付あり／064—065

0450—11 「御代々御式目 十一」(寛政一一年三月二〇日、同一二年一二月)／一冊(九二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・五×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 標地原表紙 楮紙／林泉文庫／064—065

0450—12 「御代々御式目 十二」(享和元年二月二八日、同三年二月二八日)／一冊(一三三丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・四×一五・六／豎帳 袋綴冊子装 標地原表紙 楮紙／林泉文庫／一〇九丁目に貼付あり／064—065

0450—13 「御代々御式目 十三」(文化元年二月二日、同九年一月)／一冊(一五九丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・三×一五・五／豎帳 袋綴冊子装 標地原表紙 楮紙／林泉文庫／064—065

0450—14 「御代々御式目 十四」(文化一〇年六月、文政二年一二月二〇日)／一冊(一四九丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・一×一五・七／豎帳 袋綴冊子装 標地原表紙 楮紙／林泉文庫／064—065

0450—15 「御代々御式目 十五」(文政三年三月、同一〇年一二月一五日)／一冊(一三四丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・〇×一五・五／豎帳 袋綴冊子装 標地原表紙 楮紙／林泉文庫／九三丁目に一枚挟込あり／064—065

0450—16 「御代々御式目 十六」(文政一一年正月六日、天保四年一〇月)／一冊(二二八丁)／江戸後期(年月日未詳)／二二・七×一五・五／豎帳 袋綴冊子装 標地原表紙 楮紙／林泉文庫／064—065

0450—17 「御代々御式目 十七」(天保五年二月、同九年一二月二七日)／一冊(九七丁)／江戸後期(年月日未詳)／二二・七×一五・七／豎帳 袋綴冊子装 標地原表紙 楮紙／林泉文庫／064—065

0450—18 「御代々御式目 十八」(天保一〇年四月二一日、同一四年正月八日)

／一冊(一二七丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・三×一五・五／豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／林泉文庫／064-065

0450-119 「御代々様御式目録 十九」(弘化元年二月二日、安政二年七月朔日)／一冊(一六二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二二・八×一五・六／豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／林泉文庫／墨付一六二丁／064-065

0451-01 「御代々様御式目録 二」(上杉景勝、宗房、天正九年五月二八日、延享三年八月一日)／一冊(八九丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・〇×一四・五／豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／コ〇本 林泉文庫／066

0451-02 「御代々様御式目録 二二」(上杉重定、治広、延享三年一〇月六日、享和三年一二月二八日)／一冊(二五五丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・〇×一四・三／豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／林泉文庫／066

0451-03 「御代々様御式目録 三」(十三之巻、十九之巻、文化元年二月二日、嘉永五年一〇月)／一冊(七七丁)／江戸後期(年月日未詳)／二二・五×一五・五／豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／赤ラベル表記無 林泉文庫／墨付五四丁／066

0452 「御代々様御式目録御年譜中抄出 完」(上杉景勝、宗房、天正九年五月二六日、延享元年一二月二日)／一冊(四三丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・〇×一四・三／豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／コ〇本 林泉文庫／066

0453 「御代々御式目録 十五」写(明和四年六月、同四年二月)／一冊(三六丁)／江戸中期(年月日未詳)／二五・〇×一六・五／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／オ〇本／066

0454-01 「御式目拾遺 二」写(上杉定勝、綱憲、元和九年五月二六日、元禄一四年一二月九日)／一冊(二四丁)／宝暦七年七月／二二・七×一五・五／豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／オ〇本 林泉文庫／0447の遺漏部分を集録、巻末に写しの経緯を記載／066

0454-02 「御式目拾遺 二二」写(上杉吉憲、宗房の補遺、享保四年二月六日、延享二年八月二日)／一冊(五七丁)／(宝暦七年)／二二・七×一五・五／豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／林泉文庫／066

0454-03 「御式目拾遺 三」写(上杉重定の補遺、延享四年正月二六日、寛延三年一二月八日)／一冊(四一丁)／(宝暦七年)／二二・八×一五・五／豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／林泉文庫／066

0454-04 「御式目拾遺 四」写(上杉重定の補遺、宝暦三年一月晦日、明和九年九月五日)／一冊(七七丁)／(宝暦七年)／二二・六×一五・五／豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／林泉文庫／066

0455 「治憲公御代御代々御式目録」(安永三年九月二〇日、天明五年二月一五日)／一冊(五二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・〇×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙 楮紙／元の綴じ穴あり／066

法制—藩法—大令策

0457-01 「大令策 景勝公自慶九年至寛永年中 一」写(上杉景勝、定勝治世下で出された軍法・法度類)／一冊(三五丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・八×一五・二／豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／タ〇本 林泉文庫・国威胤印・□□氏・□□□／表紙貼紙「史料門 文書部 共七」、補修あり、「タ〇本」の下に別のラベルあり、二は欠本／066

0457-02 「大令策 吉憲公 三」写(上杉吉憲、宗憲、宗房代に出された藩政関係覚書、法度類)／一冊(五四丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・八×一五・七／豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／タ〇本 林泉文庫・国威胤印・□□氏・□□□／一部裏打あり／表紙貼紙「史料 文書部 一欠共五」、補修あり／066

0457-03 「大令策 重定公 四」写(上杉重定、鷹山代に出された藩政関係覚書、法度類)／一冊(三八丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・七×一五・三／豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／林泉文庫・国威胤印・□□氏・□□□／表紙貼紙「史料 文書部 一欠共六七」／066

0457-04 「大令策 治広公自天明七年至寛政五年三月 五」写(上杉治広代の藩政関係覚書、書状類)／一冊(三二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・八×一五・三／豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／林泉文庫／表紙貼紙「史料 文書部 一欠共六七」、補修あり／066

0457-05 「大令策 寛政九年 六」写(上杉治広代の寛政九年に出された藩政関係覚書、書状類)／一冊(二二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・七×一五・四／豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／林泉文庫／表紙貼紙「史料 文書部 一欠共六七」／066

0457-06 「大令策 文化十年ヨリ 七」写(上杉齊定代の文化一〇年一二月、天保九年五月の覚書、書状類)／一冊(二七丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・八

×一五・三／豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／林泉文庫／一部裏打あり／表紙貼紙「史料 文書部 一欠共六七」、補修あり／066

法制—藩法—条目

0462-01 須田九郎左衛門他七名宛 松木石見守他四名条目写(地方支配につき九か条、原本は正保四年八月吉日)／一通(四紙)／江戸前期(年月日未詳)／三三・三×一四九・八／継紙 楮紙／松木石見守他四名↓須田九郎左衛門殿他七名／一長井拾八万石八二割候：連判之書出如此仍如件／林泉文庫／0462-01-02貼継／柱題「相定条々」、右端に朱印「伊佐早兼古書之宝」の蔵書印の割印カあり／067

0462-02 新津右近宛 黒川義忠他二名条目(江戸詰藩士の賄金や「馬之喰料」等に関する五か条)／一通(二紙)／承応四年二月吉日／三一・二×八七・二／継紙 楮紙／黒川右衛門(黒印)他二名↓新津右近殿／一江戸定詰並：可被申付者也仍如件／0462-01-02貼継／柱題「覚」／067

0463 上杉綱勝条目写(俵約等に関する六か条、原本は正保四年一月七日付)／一通(三紙)／江戸前期(年月日未詳)／三四・三×一〇九・一／継紙 楮紙／一傍輩中寄合振舞：可為改易者也仍如件／裏打あり／柱題「御条書之面今以可相守事」、奏者として松木石見守他六名の連署あり／067

0464 富所三郎兵衛・朝岡助左衛門宛 上杉綱勝条書(郡代役目に関する二一か条)／一通(六紙)／承応三年八月二八日／三〇・九×二六〇・四／継紙 楮紙／(黒印)↓富所三郎兵衛との・朝岡助左衛門との／一今度郡代二被仰付候：可為曲事者也仍如件／林泉文庫・伊佐早兼古書之宝／柱題「条書」、黒印の印文「実勝」／067

0469 上杉治広達書(日常生活の心構えに関する条目を鷹山時代と同様に再令)／一通(三紙)／天明七年七月二四日／三二・〇×一二四・一／継紙 楮紙／彈正／他家之風似すへからさる事：違失致ましく候事／柱題「定勝様寛永年中被仰出候事」／067

0471 上杉定勝條目写(他家の家風を真似せず、律儀を作法とすること他三条)／一通(六紙)／天保一〇年五月／二九・八×一九四・三／豎紙 楮紙／御名／他家之風似すへからさる事：堅可相守被候也／柱題「定勝様寛永年中被仰出に」／067

0472 上杉家条目写(幕府よりの条目を厳守他一か条)／一通(七紙)／江戸後期(年月日未詳)／三一・四×二七〇・六／継紙 楮紙／一 従公儀被仰出：堅可相守者也／柱題「條々」／067

0475 上杉家中支配条目(在々御用、惣知行、金山、直江家中のこと等全一か条)／一通(一紙)／江戸前期(年月日未詳)／三四・一×四六・〇／豎紙 楮紙／一 在々御用之事：直江家中之事／067

0678 須田右近・長尾景光給人知行地諸役定書(米沢藩領に知行地を有する給人に関する諸役規定)／一通(四紙)／天和三年一〇月一日／三三・九×一七八・〇／継紙 楮紙／須田右近・長尾権四郎／一 毎歳年貢米銀從昔如御定：相背族者可被行曲事者也仍如件／柱題「諸給人知行方所納之覚」／113

法制—藩法—触状・触留

0266 「先公御滞府上意 附条令潤色数件」(天保二年上杉斉定の滞府に際しての上意書、天保一三年の大俵関係上意書他二二件)／一冊(五六丁)／近代(年月日未詳)／二六・三×一七・五／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地後補表紙 楮紙／セ〇本 林泉文庫／墨付五三丁、表紙は転用紙で表紙裏に記載あり／036

0444 「典礼略志」写(米沢藩の法令、典礼等)／一冊(三六丁)／江戸後期(年月日未詳)／七・九×一六・一／横半帳 長帳綴 素紙原表紙 楮紙／テ〇本／表紙貼紙「旧藩史料政事 一 写本」／054

0456 国初令(0456-01、02の表紙)／一冊／江戸後期(年月日未詳)／二二・八×一六・二／豎帳 袋綴冊子装 茶地布目原表紙 楮紙／乙第一一五号古文書 図書経巻仏像仏国初令一冊□倉庫階下□書箱一号／0456-01-02合綴／冊子表紙に外題など記述無し、全体の下小口に「国初令」と記載／066

0456-01 北村言矩筆 直江兼統書出写(慶長九年〜元和五年、米沢藩の軍法・武芸稽古の条目、各種掟等写二四点)／一冊(三二丁)／弘化四年／二二・八×一六・二／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／御記録所／0456-01-02合綴／合冊の末尾に、丁未(弘化四年)一二月二〇日付の御記録所(寺島)貞徑の識語あり、二冊とも菅名芳忠所蔵の原本を北村言矩が写したもので、史料名は識語を参考とした／066

0456-02 北村言矩筆 辰公御書出写(寛永二年〜同二年、家中の席次や法度他一三点)／一冊(二三丁)／弘化四年／二二・八×一六・二／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／0456-01-02合綴／筆写の経緯は0456-01と同様／066

0465 「元禄十四巳年御法度書」(元禄一四年一月〜宝永七年二月の法令類の留)／一冊(四六丁)／元禄一四年一月／一五・八×二〇・九／横半帳 列帖装 素紙原

表紙 楮紙／横半帳、列帳装のため、丁数ではなく綴じられた折紙の枚数を丁数に記入
／067

0468-01 鎌問屋掟 乾 (鎌問屋に関する一五か条)／一通(一二紙)／明和七年二月／三四・五×五〇六・三／継紙 楮紙／三問屋→鎌前座中／一十分一御横目御出勤之節：無相違可被相心得候仍如件／林泉文庫／裏打あり／柱題「掟」、本紙と見返し紙の継ぎ目二か所に「伊佐早兼古書之宝」の印あり、巻の表に「鎌問屋掟 乾 読史堂所蔵」墨書題箋貼付／067

0468-02 鎌問屋掟 坤 (鎌問屋に関する一〇か条)／一通(八紙)／明治初期カ(年月日未詳)／三三・七×三〇七・六／継紙 楮紙／鎌三問屋／第一条 一県庁より被仰出候：右之条々堅相守可申候事／林泉文庫／裏打あり／柱題「定」、本紙と見返し紙の継ぎ目二か所に「伊佐早兼古書之宝」の印あり、巻の表に「鎌問屋掟 坤 読史堂所蔵」墨書題箋貼付／067

0470 「寛政度四民御締之條々此度御潤色之上改而被仰出候行事」(綱紀肅正・質素儉約令、役職・階層別の藩士、町人、百姓、寺院宛、後半は差紙文案)／一冊(六八丁)／天保一三年／二七・七×一八・七／縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／ク〇本 林泉文庫／溝淵進馬の名刺を挟込／067

0473 林甚左衛門触書(幕府からの条目を組下に申渡すべし)／一通(二紙)／江戸後期(年未詳)寅一〇月／二九・八×八七・七／継紙 楮紙／林甚五左衛門(花押)(黒印)／一 公儀御法度：此方へ可申来として以上／柱題「覚」／067

0476 触書(天明四年、寛政三年酒造停止につき)／一通(三紙)／江戸後期(年未詳)九月／一五・一×四三・二／切継紙 楮紙／改所／一 酒御停止年：商売被仰下候／林泉文庫／柱題「酒御停止年」、証文断簡の紙背を表紙に転用、表紙墨書「旧藩執政評判紙面」、朱書「造酒停止之件一」／067

0554 「看病不参命令 全」(安永九年二月発令の看病不参制度に関連する正保三年以降の文書の書写)／一冊(三三丁)／安永九年／二七・〇×一八・二／縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／図書第三五号 御記録所／作成者は御記録所カ／085

0555 「一類自分遠慮御定」(罪科に処せられた藩士の親族・忌中にある者の「自分遠慮」の規定関連)／一冊(六八丁)／江戸後期(年月日未詳)／三〇・七×二一・二／縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／図書第三八号 御記録所／墨付六三丁、作成者は御記録所カ／085

0662 諸組頭宛 達書写(御謹慎中につき領内質素にすべきこと)／一通(三紙)／(明治元年)一〇月／一四・五×四一・八／切継紙 楮紙／↓諸組頭々／御謹慎中に

つき：可申達旨□□候事／端裏書「素 綿式把把陀嬰」／112

0886 触書写(海浜警備受命につき諸経費を捻出のため儉約、計一五か条)／一通(五紙)／寛政九年一月／一四・八×二二〇・二／切継紙 楮紙／一今度海浜御備：二可限候事／端裏朱書「寛政九年十一月」／柱題「覚」、朱筆にて注記・修正あり／136

法制一判例集—御阿附引合

0496-01 「御阿附引合 二」(犯御法、抜宮參、通物、徒党他)／一冊(七二丁)／天明三年八月／一四・七×一九・八／横半帳 袋綴冊子装 山吹地原表紙 楮紙／墨付五〇丁、毛利雅元の序文あり、天明三年以降も書き継ぐ／073

0496-02 「御阿附引合 二」(心得違、粗末、失念、紛失他)／一冊(八三丁)／天明三年八月／一四・五×一九・八／横半帳 袋綴冊子装 山吹地原表紙 楮紙／墨付五九丁／073

0496-03 「御阿附引合 三」(出勤遅成、不叶役目、名跡公事、上意違背他)／一冊(五六丁)／天明三年八月／一四・七×二〇・〇／横半帳 袋綴冊子装 山吹地原表紙 楮紙／墨付二五丁／073

0496-04 「御阿附引合 四」(狼藉、人勾引、酒乱、打擲、喧議他)／一冊(六三丁)／天明三年八月／一四・六×二〇・〇／横半帳 袋綴冊子装 山吹地原表紙 楮紙／墨付三二丁／073

0496-05 「御阿附引合 五」(偽、語、私、慮外、乗打他)／一冊(七五丁)／天明三年八月／一四・八×一九・八／横半帳 袋綴冊子装 山吹地原表紙 楮紙／墨付四〇丁／073

0496-06 「御阿附引合 六」(牢拔、困破、欠落、立帰他)／一冊(四二丁)／天明三年八月／一四・八×二〇・〇／横半帳 袋綴冊子装 山吹地原表紙 楮紙／墨付二六丁／073

0496-07 「御阿附引合 七」(私曲、奸曲、奸佞、引負他)／一冊(六五丁)／天明三年八月／一四・六×一九・八／横半帳 袋綴冊子装 山吹地原表紙 楮紙／墨付三八丁／073

0496-008 「御阿附引合 八」(不仁、不孝、不和合、毒害他) / 一冊(五〇丁) / 天明三年八月 / 一四・六×二〇・〇 / 横半帳 袋綴冊子装 山吹地原表紙 楮紙 / 墨付二六丁 / 〇73

0496-009 「御阿附引合 九」(密通、相对死、横死、御蔵破他) / 一冊(八四丁) / 天明三年八月 / 一四・七×二〇・〇 / 横半帳 袋綴冊子装 山吹地原表紙 楮紙 / 墨付五八丁 / 〇73

0496-110 「御阿附引合 十」(雜) / 一冊(三〇丁) / 天明三年八月 / 一四・五×二〇・〇 / 横半帳 袋綴冊子装 山吹地原表紙 楮紙 / 墨付二二丁 / 〇73

法制—判例集—中典類聚

0483-001 「中典類聚 首卷」(編纂に係る序文・凡例と卷一、二八の目録) / 一冊(二六丁) / 天保八年二月 / 二七・〇×一八・二 / 竖帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 片桐成謹書于記室署中(落款) / 二丁目に印あり / 〇68

0483-002 「中典類聚 一」(殺害、人殺、親殺他一件) / 一冊(三五丁) / 天保八年二月 / 二七・〇×一八・三 / 竖帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 墨付二五丁 / 〇68

0483-003 「中典類聚 二」(失倫、不孝、不貞他一件) / 一冊(五三丁) / 天保八年二月 / 二七・〇×一八・二 / 竖帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 墨付二五丁 / 〇68

0483-004 「中典類聚 三」(盜賊、盜賊、御城内盜) / 一冊(四五丁) / 天保八年二月 / 二七・一×一八・一 / 竖帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 墨付四一丁 / 〇68

0483-005 「中典類聚 四」(盜賊、刀盜、土蔵破他九件) / 一冊(四九丁) / 天保八年二月 / 二七・〇×一八・二 / 竖帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 墨付三〇丁 / 〇68

0483-006 「中典類聚 五」(盜賊出奔、立帰盜賊他六件) / 一冊(五七丁) / 天保八年二月 / 二七・〇×一八・三 / 竖帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 墨付四二丁、糊付挾込文書あり / 〇68

0483-007 「中典類聚 六」(勾引・破牢・落書・奢侈) / 一冊(四七丁) / 天

保八年二月 / 二六・九×一八・二 / 竖帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 墨付二〇丁 / 〇68

0483-008 「中典類聚 七」(利慾、私曲、引負他四件) / 一冊(四七丁) / 天保八年二月 / 二七・〇×一八・三 / 竖帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 墨付三六丁 / 〇68

0483-009 「中典類聚 八」(利慾、揺取、拾取他九件) / 一冊(六六丁) / 天保八年二月 / 二七・〇×一八・三 / 竖帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 墨付四一丁 / 〇68

0483-110 「中典類聚 九」(女色、相对死他六件) / 一冊(五二丁) / 天保八年二月 / 二七・〇×一八・二 / 竖帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 墨付三五丁、糊付挾込文書あり / 〇68

0483-111 「中典類聚 十」(博奕、博奕宿) / 一冊(五三丁) / 天保八年二月 / 二七・〇×一八・二 / 竖帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 墨付三九丁 / 〇68

0483-112 「中典類聚 十一」(博奕、筒取、再犯他二〇件) / 一冊(六四丁) / 天保八年二月 / 二六・九×一八・五 / 竖帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 墨付三七丁 / 〇68

0483-113 「中典類聚 十二」(乱暴、酒乱、礫打他九件) / 一冊(六六丁) / 天保八年二月 / 二七・一×一八・二 / 竖帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 墨付四五丁、糊付挾込文書あり / 〇68

0483-114 「中典類聚 十三」(偽巧、偽詐、贋金他六件) / 一冊(三八丁) / 天保八年二月 / 二七・〇×一八・三 / 竖帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 墨付二五丁、糊付挾込文書あり / 〇68

0483-115 「中典類聚 十四」(失行、身分不相応、不行跡他二二件) / 一冊(七一丁) / 天保八年二月 / 二七・〇×一八・三 / 竖帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 墨付五二丁 / 〇68

0483-116 「中典類聚 十五」(犯法、御城門、御門限他五件) / 一冊(七一丁) / 天保八年二月 / 二七・〇×一八・三 / 竖帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 墨付五二丁 / 〇68

0483-117 「中典類聚 十六」(犯法、諸勸化、度量衡他五件) / 一冊(四六丁)

／天保八年二月／二七・〇×一八・二／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／墨付二七丁／068

0483118 「中典類聚 十七」(犯法、百姓城下出、苗字他七件)／一冊(四三丁)／天保八年二月／二七・〇×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／墨付二二丁／068

0483119 「中典類聚 十八」(田穀、米穀・年貢他三件、産物、糸綿・青苧他三件)／一冊(四六丁)／天保八年二月／二七・〇×一八・三／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／墨付二五丁／068

0483120 「中典類聚 十九」(犯禁、米通、酒糶他二件)／一冊(四二丁)／天保八年二月／二七・〇×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／墨付三五丁、糊付挟込文書あり／068

0483121 「中典類聚 二十」(出奔、出奔立帰他一件)／一冊(二九丁)／天保八年二月／二六・九×一八・九／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／墨付一六丁／068

0483122 「中典類聚 廿一」(出奔、御呵中出奔、有罪出奔他三件)／一冊(三七丁)／天保八年二月／二七・〇×一八・五／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／墨付二二丁／068

0483123 「中典類聚 廿二」(誼諱、負手疵他三件)／一冊(三七丁)／天保八年二月／二七・一×一八・三／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／墨付二三丁／068

0483124 「中典類聚 廿三」(訴訟・強訴、争論、義絶、地論他五件)／一冊(五〇丁)／天保八年二月／二七・〇×一八・五／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／墨付三七丁／068

0483125 「中典類聚 廿四」(乱心・狐魅、横死・自殺他二件)／一冊(二八丁)／天保八年二月／二七・一×一八・五／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／墨付一三丁／068

0483126 「中典類聚 廿五」(荷担・罪人宿他四件)／一冊(五〇丁)／天保八年二月／二七・一×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／墨付三六丁／068

0483127 「中典類聚 廿六」(過失、心得違・失火他三件)／一冊(五〇丁)

／天保八年二月／二七・一×一八・五／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／墨付三〇丁／068

0483128 「中典類聚 廿七」(過失、遅引・油断他七件)／一冊(四九丁)／天保八年二月／二七・〇×一八・三／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／墨付三五丁／068

0483129 「中典類聚 廿八」(自首、雑事)／一冊(三八丁)／天保八年二月／二七・一×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／墨付一四丁／068

0484101 「中典類聚 首卷」(編纂に係る序文・凡例と卷一、二八の目録)／一冊(二六丁)／天保八年二月／二六・八×一八・五／豎帳 袋綴冊子装 朱地原表紙 楮紙／片桐成謹書于記室署中(落款)／二丁目に朱印あり／無

0484102 「中典類聚 一」(殺害、人殺・親殺他二件)／一冊(四九丁)／天保八年二月／二七・〇×一八・三／豎帳 袋綴冊子装 朱地原表紙 楮紙／墨付二五丁／無

0484103 「中典類聚 二」(失倫、不孝・不貞他二件、火付・火盜他七件)／一冊(四七丁)／天保八年二月／二七・〇×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 朱地原表紙 楮紙／墨付二六丁／無

0484104 「中典類聚 三」(盜賊・御城内盜)／一冊(六五丁)／天保八年二月／二七・〇×一八・三／豎帳 袋綴冊子装 朱地原表紙 楮紙／墨付三九丁／無

0484105 「中典類聚 四」(盜賊、刀盜・土蔵破他八件)／一冊(五二丁)／天保八年二月／二七・〇×一八・五／豎帳 袋綴冊子装 朱地原表紙 楮紙／墨付三五丁／無

0484106 「中典類聚 五」(盜賊、盜賊出奔・立帰盜賊他七件)／一冊(六五丁)／天保八年二月／二七・〇×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 朱地原表紙 楮紙／墨付三八丁／無

0484107 「中典類聚 六」(女勾引他二件、牢破他一件等)／一冊(四九丁)／天保八年二月／二七・〇×一八・五／豎帳 袋綴冊子装 朱地原表紙 楮紙／墨付一八丁／無

0484108 「中典類聚 七」(利慾、私曲・引負他五件)／一冊(五四丁)／天保八年二月／二七・〇×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 朱地原表紙 楮紙／墨付三五

丁／無

0484-109 「中典類聚 八」(利慾、揺取・拾取他八件)／一冊(七一丁)／天保八年二月／二七・〇×一八・五／豎帳 袋綴冊子装 朱地原表紙 楮紙／墨付四丁／無

0484-110 「中典類聚 九」(女色、相对死他九件)／一冊(六三丁)／天保八年二月／二七・〇×一八・五／豎帳 袋綴冊子装 朱地原表紙 楮紙／墨付三七丁／無

0484-111 「中典類聚 十」(博奕・博奕宿)／一冊(五七丁)／天保八年二月／二七・〇×一八・五／豎帳 袋綴冊子装 朱地原表紙 楮紙／墨付三五丁／無

0484-112 「中典類聚 十一」(博奕、筒取・再犯他一〇件)／一冊(六二丁)／天保八年二月／二七・〇×一八・五／豎帳 袋綴冊子装 朱地原表紙 楮紙／墨付三五丁／無

0484-113 「中典類聚 十二」(乱暴・酒乱・礫打他九件)／一冊(七四丁)／天保八年二月／二七・〇×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 朱地原表紙 楮紙／墨付四三丁／無

0484-114 「中典類聚 十三」(偽巧、偽詐・贗金他六件)／一冊(四〇丁)／天保八年二月／二七・〇×一八・五／豎帳 袋綴冊子装 朱地原表紙 楮紙／墨付二四丁／無

0484-115 「中典類聚 十四」(失行、身分不相応・不行跡他二二件)／一冊(八五丁)／天保八年二月／二七・〇×一八・五／豎帳 袋綴冊子装 朱地原表紙 楮紙／墨付五二丁／無

0484-116 「中典類聚 十五」(犯法、御城門・御門限他五件)／一冊(八六丁)／天保八年二月／二七・〇×一八・五／豎帳 袋綴冊子装 朱地原表紙 楮紙／墨付五三丁／無

0484-117 「中典類聚 十六」(犯法、諸勸化・度量衡他五件)／一冊(四四丁)／天保八年二月／二七・〇×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 朱地原表紙 楮紙／墨付二七丁、犯法下とあるが中の誤りカ／無

0484-118 「中典類聚 十七」(犯法、百姓城下出・苗字他七件)／一冊(三九丁)／天保八年二月／二七・〇×一八・五／豎帳 袋綴冊子装 朱地原表紙 楮紙／墨付二二丁／無

0484-119 「中典類聚 十八」(田穀、米穀・年貢他三件)、産物(糸綿、青芋他三件)／一冊(四四丁)／天保八年二月／二七・〇×一八・五／豎帳 袋綴冊子装 朱地原表紙 楮紙／墨付二五丁／無

0484-120 「中典類聚 十九」(犯禁、米通・酒糶他二件)／一冊(五〇丁)／天保八年二月／二七・〇×一八・五／豎帳 袋綴冊子装 朱地原表紙 楮紙／墨付三六丁／無

0484-121 「中典類聚 二十」(出奔、出奔立帰他一件)／一冊(三〇丁)／天保八年二月／二七・〇×一八・五／豎帳 袋綴冊子装 朱地原表紙 楮紙／墨付一九丁／無

0484-122 「中典類聚 廿一」(出奔、御呵中出奔・有罪出奔他三件)／一冊(三八丁)／天保八年二月／二七・〇×一八・三／豎帳 袋綴冊子装 朱地原表紙 楮紙／墨付二二丁／無

0484-123 「中典類聚 廿二」(誼諱・負手疵他三件)／一冊(三八丁)／天保八年二月／二七・〇×一八・五／豎帳 袋綴冊子装 朱地原表紙 楮紙／墨付二四丁／無

0484-124 「中典類聚 廿三」(訴訟・強訴、争論、義絶・地論他五件)／一冊(六五丁)／天保八年二月／二七・〇×一八・三／豎帳 袋綴冊子装 朱地原表紙 楮紙／墨付三九丁／無

0484-125 「中典類聚 廿四」(荷担・罪人宿他四件)／一冊(五八丁)／天保八年二月／二七・〇×一八・五／豎帳 袋綴冊子装 朱地原表紙 楮紙／墨付三二丁／無

0484-126 「中典類聚 廿五」(乱心・狐魅、横死・自殺他二件)／一冊(三〇丁)／天保八年二月／二七・〇×一八・五／豎帳 袋綴冊子装 朱地原表紙 楮紙／墨付一三丁／無

0484-127 「中典類聚 廿六」(過失、心得違・失火他三件)／一冊(五〇丁)／天保八年二月／二七・〇×一八・五／豎帳 袋綴冊子装 朱地原表紙 楮紙／墨付三〇丁／無

0484-128 「中典類聚 廿七」(過失、遅引・油断他七件)／一冊(六九丁)／天保八年二月／二七・〇×一八・五／豎帳 袋綴冊子装 朱地原表紙 楮紙／墨付四丁／無

0484-29 「**典類聚** 廿八」(自首、雜事)／一冊(四二丁)／天保八年二月／二七・〇×一八・四／**豎帳** 袋綴冊子装 朱地原表紙 楮紙／墨付一三丁／無

0485-01 「**典類聚目錄**」写(卷一〜二七の目錄および紛失、遅引他一〇件)／一冊(四八丁)／江戸後期(年月日未詳)／二四・〇×一六・六／**豎帳** 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／内表紙に「今井忠一」とあり、表紙裏表紙は紙背文書を利用、墨付四二丁／069

0485-02 「**典類聚** 二」写(人殺、親殺他三六件)／一冊(一〇二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・六×一五・六／**豎帳** 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／墨付七九丁／069

0485-03 今井吉左衛門筆 **典類聚** 二 写(盜賊出奔、立掃盜賊他三三件)／一冊(一〇二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・五×一六・〇／**豎帳** 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／今井吉左衛門写之／墨付七九丁、外題には卷数記載なし／069

0485-04 今井吉左衛門筆 **典類聚** 三 写(女色、相对死他二九件)／一冊(七六丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・六×一六・二／**豎帳** 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／今井吉左衛門写之／墨付六四丁、外題には卷数記載なし／069

0485-05 **典類聚** 四 写(偽詐、贖金他三三件)／一冊(一〇四丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・五×一六・〇／**豎帳** 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／墨付九〇丁、外題には卷数記載なし／069

0485-06 **典類聚** 五 写(百姓城下出、苗字他二九件)／一冊(八六丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・七×一六・二／**豎帳** 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／墨付七二丁、外題には卷数記載なし、表紙裏表紙は文書を再利用／069

0485-07 **典類聚** 六 写(喧嘩、負手疵他二八件)／一冊(九六丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・六×一六・二／**豎帳** 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／墨付七三丁、外題には卷数記載なし、表紙裏表紙は文書を再利用／069

0485-08 「**不事書拔 典類聚**」写(寛政元年二月一四日〜安政元年)／一冊(七〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・五×一六・二／**豎帳** 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／表題の「**典類**」に墨消し／069

法制—判例集—御裁許鈔

0487-01 「**御裁許鈔** 壹」(失倫、妻子殺、人殺、毒害、姦巧他)／一冊(八六丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・二×一五・八／**豎帳** 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／天保三年、文久元年の判例一九一件を収録、表紙は文書を再利用、表紙裏に茨城齊宮庸の人名と花押あり、墨付五四丁／069

0487-02 「**御裁許鈔** 貳」(火付、追剥並奪取、屋師、取逃喰逃他)／一冊(一〇八丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・〇×一六・〇／**豎帳** 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／墨付七三丁／069

0487-03 「**御裁許鈔** 三」(御城内盜附官賊、盜賊並中宿、立掃盜賊、土蔵破他)／一冊(二二七丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・〇×一五・八／**豎帳** 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／墨付九九丁／069

0487-04 「**御裁許鈔** 四」(乱暴、酒乱、打擲、語体並默算、喧嘩他)／一冊(八二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・〇×一五・八／**豎帳** 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／墨付四八丁／069

0487-05 「**御裁許鈔** 五」(非道不人情、不義並女勾引、不行跡他)／一冊(八三丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・〇×一五・八／**豎帳** 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／墨付五七丁／069

0487-06 「**御裁許鈔** 六」(猥訴、疎忽、不作業、不行届、遲滞)／一冊(九六丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・〇×一五・七／**豎帳** 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／墨付八二丁、五五丁目に挟込文書あり／069

0487-07 「**御裁許鈔** 七」(私曲、役職不叶、差引、差繕、江戸逃下他)／一冊(一一二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・〇×一五・七／**豎帳** 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／墨付六二丁／069

法制—判例集—博奕鈔等

0513-01 「**博奕鈔** 一 寛政四ヨリ文化九マテ」(御馬廻組永并代右衛門 門屋借牢舎 伊三郎他)／一冊(六五丁)／江戸後期(年月日未詳)／一四・九×一八・八／**横半帳** 長帳綴 白茶地茶横刷毛目原表紙 楮紙／図書第八九号／墨付六四丁／074

0513-02 「博奕鈔 二 文化十ヨリ文政五マテ」(組外鈴木文義他) / 一冊(六一丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 一四・八×一九・九 / 横半帳 長帳綴 白茶地茶横刷毛目原表紙 楮紙 / 墨付六〇丁 / 074

0513-03 「博奕鈔 三 文政六ヨリ天保三マテ」(赤湯村判頭武吉他) / 一冊(七〇丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 一四・九×一八・七 / 横半帳 長帳綴 白茶地茶横刷毛目原表紙 楮紙 / 墨付六九丁 / 074

0513-04 「博奕鈔 四 天保四ヨリ同十マテ」(若林九郎左衛門組足輕牢舎上村吉四郎他) / 一冊(七二丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 一四・八×一八・八 / 横半帳 長帳綴 白茶地茶横刷毛目原表紙 楮紙 / 墨付七〇丁 / 074

0513-05 「博奕鈔 五 天保十一ヨリ弘化三マテ」(宮村助左衛門子判下助吉他) / 一冊(六二丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 一四・七×一九・八 / 横半帳 長帳綴 白茶地茶横刷毛目原表紙 楮紙 / 墨付六一丁 / 074

0513-06 「博奕鈔 六 弘化四ヨリ安政二マテ」(玉川村判頭辰義他) / 一冊(一〇〇丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 一四・七×一九・八 / 横半帳 長帳綴 白茶地茶横刷毛目原表紙 楮紙 / 墨付八五丁 / 074

0486 罪科先例三等例 (寛政期以降の判例集、三手以上、訴文組足輕陪臣、町人出家に分け記載) / 一冊(四二丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二六・六×一八・二 / 縦帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 御記録所 / 木版印刷の枠組紙に記載、旧目録での題は「肆管三等例」、下小口墨書「三等例三」 / 069

法制—裁許—御済口留

0495-01 御記録所「御済口留 一之巻」(罪科と刑罰を記した御裁許書の控、文化三年五月一六日、文化六年一〇月二二日晦日) / 一冊(七三丁) / 文化三年五月 / 二四・一×一六・二 / 縦帳 紙縫綴冊子装 素紙原表紙 楮紙 / 御記録所 / 挟込文書あり / 071-072

0495-02 御記録所「御済口留 二之巻」(文化六年九月晦日、同一一年一二月一八日) / 一冊(一四三丁) / 文化六年九月 / 二三・九×一六・一 / 縦帳 紙縫綴冊子装 素紙原表紙 楮紙 / 御記録所 / 0495-02-01、18 挟込 / 墨付一四二丁 / 071-072

0495-02-01 御裁許書写(文化一〇年七月一日、奥山良助の隠居禁足恩赦)

一通(一紙) / 江戸後期(年月日未詳) / 一五・〇×七・五 / 小切紙 楮紙 / 文化七年七月十一日 : 右者文化五年六月中御呵 / 0495-02の一、二丁目間に挟込 / 071-072

0495-02-02 御裁許書写(会所番組小野塚与惣と常次郎の恩赦) / 一通(一紙) / 江戸後期(年月日未詳) / 一五・〇×一三・五 / 小切紙 楮紙 / 文化七年四月六日 : 右同断一件二付御呵 / 0495-02の一七、一八丁目間に挟込 / 071-072

0495-02-03 御裁許書写(大小姓黒川次兵衛の減刑) / 一通(一紙) / 江戸後期(年月日未詳) / 一四・九×二・五 / 小切紙 楮紙 / 六月二十一日 : 申渡之候事 / 0495-02の一七、一八丁目間に挟込 / 071-072

0495-02-04 御裁許書写(大石村市兵衛の禁足他) / 一通(二紙) / 江戸後期(年月日未詳) / 一五・〇×六・七 / 切継紙 楮紙 / 文化七年十月二十八日 : 右同断一件之節御呵 / 0495-02の三五、三六丁目間に挟込 / 071-072

0495-02-05 御裁許書写(文化一一年七月一日、足輕横沢徳蔵の姉よし囲入恩赦) / 一通(一紙) / 江戸後期(年月日未詳) / 一四・九×六・六 / 小切紙 楮紙 / 文化十年七月十一日 : 右者文化七年六月中御呵 / 0495-02の三五、三六丁目間に挟込 / 071-072

0495-02-06 御裁許書写(元足輕渡部平内の徒罪他恩赦) / 一通(一紙) / 江戸後期(年月日未詳) / 一四・八×三・〇 / 小切紙 楮紙 / 文化七年十月廿三日 : 右同断一件之節御呵 / 0495-02の三五、三六丁目間に挟込 / 071-072

0495-02-07 御裁許書写(荻戸御附物書須貝清左衛門の慎恩赦) / 一通(四紙) / 江戸後期(年月日未詳) / 一四・九×七・七 / 切継紙 楮紙 / 文化八年二月十四日 : 右之通被仰存之 / 継目剥離 / 0495-02の三六、三七丁目間に挟込 / 071-072

0495-02-08 御裁許書写(与板組中沢権左衛門の構無し) / 一通(一紙) / 江戸後期(年月日未詳) / 七・五×一四・一 / 小切紙 楮紙 / 無御構与板中沢権左衛門 : 御済口御申付候事 / 0495-02の三九、四〇丁目間に挟込 / 071-072

0495-02-09 御裁許書写(御兵具頭中村久兵衛の慎御免) / 一通(一紙) / 江戸後期(年月日未詳) / 一四・九×四・四 / 小切紙 楮紙 / 文化八年三月十日 : 今日今御免之事 / 0495-02の四〇、四一丁目間に挟込 / 071-072

0495-02-10 御裁許書写(足輕中山卯左衛門欠落、苗字断絶他処罰者書上)

／一通(一紙)／江戸後期(年月日未詳)／一四・七×二二・四／小切紙 楮紙／文化八年八月十八日：歳違ひ白状／0495-022の四一、四二丁目間に挟込／071-072

0495-021-11 御裁許書写 (小国御役屋附御扶持方近茂一郎親隠居門之丞の手段具欠所他一名)／一通(一紙)／江戸後期(年月日未詳)／一四・九×一三・八／小切紙 楮紙／文化八年五月十二日：右之通被仰付之／0495-022の四二、四三丁目間に挟込／071-072

0495-021-12 御裁許書写 (松原村武左衛門子与市の禁足他二三名罪科)／一通(四紙)／江戸後期(年月日未詳)／一四・七×五八・九／切紙 楮紙／文化八年九月二日：御渡之筈二候／継目剥離／0495-022の四三、四四丁目間に挟込／071-072

0495-021-13 御裁許書写 (御本丸御門番組田中吉藏父隠居藤吉の手道具欠所他三名罪科)／一通(一紙)／江戸後期(年月日未詳)／二三・七×六・八／豎切紙 楮紙／文化八年十二月十九日：斎藤与蔵 ヂ／0495-022の四七、四八丁目間に挟込／071-072

0495-021-14 御裁許書写 (島津組新津太郎八の慎御免)／一通(一紙)／江戸後期(年月日未詳)／一五・〇×四・四／小切紙 楮紙／文化九年九月晦日：今日令御免之事／0495-022の五五、五六丁目間に挟込／071-072

0495-021-15 御裁許書写 (御介組足輕保刈久米蔵の打首)／一通(一紙)／江戸後期(年月日未詳)／一四・八×五・七／小切紙 楮紙／文化九年十二月十九日：右之通御呵／0495-022の六三、六四丁目間に挟込／071-072

0495-021-16 御裁許書写 (五十騎組綿貫利惣右衛門の御国先御免他一件)／一通(一紙)／江戸後期(年月日未詳)／一五・〇×七・四／小切紙 楮紙／五月十九日：今日令御免／0495-022の六九、七〇丁目間に挟込、同箇所別貼紙剥離あり／071-072

0495-021-17 御裁許書写 (中殿様御小姓頭須田教馬妹の格帳御免他)／一通(二紙)／江戸後期(年月日未詳)／一五・〇×一五・二／切紙 楮紙／文化十年二月廿日：被 仰付置候処右同断／継目剥離／0495-022の七〇、七一丁目間に挟込／071-072

0495-021-18 御裁許書写 (五十騎組下垣清太の遠慮御免他一件)／一通(一紙)／江戸後期(年月日未詳)／一四・九×四・九／小切紙 楮紙／文化十年三月十日：被 仰付置候処右同断／0495-022の七一、七二丁目間に挟込／071-072

2

0495-03 御記録所「御濟口留 三之巻」(御裁許書控、文化一二年二月八日、文化一三年一月二九日、御馬廻組長尾清馬他)／一冊(六八丁)／文化一二年／二四・一×一六・〇／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御記録所／071-072

0495-03-01 御裁許書写 (神保蘭室閉門のところ、病気のため長年の功績により恩赦)／一通(二紙)／江戸後期(年月日未詳)／一四・七×二六・五／小切紙 楮紙／十二月八日：召出申出之／0495-03の九、一〇丁目間に挟込／071-072

0495-04 御記録所「諸濟口留 四之巻」(御裁許書控、文化一三年一月、文政元年一〇月)／一冊(八八丁)／文化一三年一月／二三・五×一六・五／豎帳 紙縫綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／御記録所／071-072

法制—裁許—御裁許留

0495-05 御記録所「御裁許留 五之巻」(文政元年九月、同四年二月)／一冊(九八丁)／文政元年九月／二四・〇×一六・五／豎帳 紙縫綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／御記録所／071-072

0495-06 御記録所「御裁許留 六之巻」(文政四年三月一七日、二月二七日)／一冊(七八丁)／文政四年三月／二三・九×一六・四／豎帳 紙縫綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／御記録所／墨付七六丁／071-072

0495-07 御記録所「御裁許留 七之巻」(文政五年二月二三日、同二年二月二七日)／一冊(七三丁)／文政五年二月／二四・二×一六・五／豎帳 紙縫綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／御記録所／六六丁目と六七丁目間に糊付き挟込文書あり／071-072

0495-08 御記録所「御裁許留 八之巻」(文政一二年五月二四日、天保元年一月晦日)／一冊(八四丁)／文政一二年五月／二三・八×一六・三／豎帳 紙縫綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／御記録所／071-072

0495-09 御記録所「御裁許留 九之巻」(天保二年一月晦日、同三年五月一〇日)／一冊(七七丁)／天保二年二月／一六・二×二二・八／豎帳 紙縫綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／御記録所／三丁目と四丁目間に糊付き挟込文書あり／071-072

0495-110 御記録所「御裁許留 十之巻」(天保三年五月一日、同六年二月)／一冊(一〇五丁)／天保三年五月／一六・二×二三・一／豎帳 紙縫綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／御記録所／墨付一〇三丁／0711-072

0495-111 御記録所「御裁許留 十一之巻」(天保六年四月二三日、同八年五月四日)／一冊(七〇丁)／天保六年四月／一六・二×二三・二／豎帳 紙縫綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／御記録所／0711-072

0495-112 御記録所「御裁許留 十二之巻」(天保七年一月九日、同十二年一月六日)／一冊(二〇〇丁)／天保七年一月／一六・一×二三・四／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／御記録所／墨付九八丁、原表紙裏に天保七年の追記あり／0711-072

0495-113 御記録所「御裁許留 十三之巻」(天保十三年二月七日、嘉永元年二月二七日)／一冊(八二丁)／天保十三年二月／一六・一×二四・五／豎帳 紙縫綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／御記録所／墨付七九丁／0711-072

0495-114 御記録所「御裁許留 十四之巻」(嘉永二年正月一七日、安政四年二月二七日)／一冊(八六丁)／嘉永二年正月／一六・三×二四・五／豎帳 紙縫綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／御記録所／墨付八二丁、外題には巻数記載なし／0711-072

0495-115 御記録所「御裁許留 十五之巻」(安政五年三月一六日、元治元年二月二日)／一冊(七七丁)／安政五年三月／一六・三×二四・二／豎帳 紙縫綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／御記録所／墨付七四丁、外題には巻数記載なし／0711-072

0495-116 御記録所「御裁許留 十六之巻」(慶応元年三月、明治元年二月二七日)／一冊(七七丁)／慶応元年三月／一六・一×二三・七／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御記録所／墨付二二丁、外題には巻数記載なし／0711-072

0514 色部「博奕書拔」(文政八年、天保三年、博打による処罰者書上)／一冊(八六丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・〇×一五・七／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／色部／ラベルのはがれ跡あり／原表紙の外題は「博打御呵書拔」／074

法制—裁許—裁許書

0489-001 裁許書(中島菊太郎の銃扱い不備、森本常之助の脱走につき、0489-002の表紙に転用)／一卷(一紙)／近代(年未詳)四月二二日／一六・〇×三六・五／切紙 楮紙／三番隊補裨 中島菊太郎：同廿三日捕先入牢／林泉文庫／紙背に「中條春泰裁許状」の墨書あり／070

0489-002 裁許書(中條春泰の実母殺しに対する本人及び、親戚他一人の罪状と処分)／一卷(六七紙)／天明四年二月一六日／一六・〇×二七九・五／切紙 楮紙／其方実母を弑逃去候処：町奉行申渡之／林泉文庫／柱題「御裁許」、「御貯金帳面式冊」等の記載がある別史料を入れる袋を包紙に転用、包紙に「キ〇本」のラベルあり／070

0512 「御裁許書」(文化三年六月一九日に笹野観音門前で発生した酒興不作行につき、旅館・藩士一人処分)／一冊(二四丁)／文化三年八月二日／二四・〇×一五・五／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／図書量／図書量とあり、広居忠道担当分／074

法制—御呵御免—先例集

0510-001 「御呵御免者早引 上」(寛政元年、天保二年の、盗賊、私欲、引負、乱心、拔参宮、打擲の罪人)／一冊(二〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／二二・五×一五・三／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・縹地後補表紙 楮紙／墨付五八丁／073

0510-002 「御呵御免者早引 中」(寛政二年、天保二年の、婦人江立障、誼議、為負手疵、博奕、偽巧、疑罪、徒党の罪人)／一冊(七九丁)／江戸後期(年月日未詳)／二二・七×一五・二／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・縹地後補表紙 楮紙／墨付四五丁、最終丁に「文化十四年丁丑四月 角屋彦五郎 北村孫四郎 湯野川文三郎 神保甲作」と御記録所員の墨書あり、本文の内容と時間的に齟齬があり混入と推定／073

0510-003 「御呵御免者早引 下」(寛政三年、天保二年の、欠落、不孝、不法、色欲、謀書謀判、家内不和、荷担、破牢、火付、雑事の罪人)／一冊(二八四丁)／江戸後期(年月日未詳)／二二・七×一五・二／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・縹地後補表紙 楮紙／墨付六〇丁／073

1002 旧赦録(天皇や将軍、米沢藩主の親族の法事や死去に伴う恩赦の記録、慶安

元年五月、享保二年六月／一冊(七八丁)／江戸後期(年月日未詳)／二六・八×一八・九／豎帳 袋綴冊子装 白茶地茶斜刷毛目原表紙 楮紙／墨付六五丁、地に「旧赦録」の表記あり、枠線・魚尾及び丁数を刻した木版刷りによる専用の用紙を使用／160

1019 「御赦宥大意正名表共 完 附刑印」(各罪状の赦免に関する手引)／一冊(三三丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・六×一五・六／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／墨付三二丁／163

法制—御呵御免—御免同—御記録方

0498-01 御記録所「三月御経付御呵者御免御窺帳」(侍組嶋津伊兵衛他四二名)／一冊(三三丁)／寛政二年二月／二四・二×一五・〇／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御記録所／0498-01、07合綴／下札に恩赦減刑の案を記載、表紙に朱書「一」とあり、墨付三〇丁、0498-01、07は全て貼付多数／073

0498-02 御記録所「三月御経付御呵者御免御窺帳」(侍組井上主膳他三四名)／一冊(二九丁)／寛政三年二月／二四・二×一五・〇／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御記録所／0498-01、07合綴／墨付二八丁／073

0498-03 御記録所「三月御経付御呵者御免御窺帳」(侍組井上主膳他五〇名)／一冊(二四丁)／寛政四年閏二月／二四・二×一五・〇／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御記録所／0498-01、07合綴／073

0498-04 御記録所「三月御経付御呵者御免御窺帳」(五十騎組小鷹甚五左衛門他七名)／一冊(七丁)／寛政五年二月／二四・二×一五・〇／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御記録所／0498-01、07合綴／墨付六丁／073

0498-05 御記録所「三月御経付御呵者御免御窺帳」(御馬廻組石栗善右衛門他一名)／一冊(二〇丁)／寛政六年四月／二四・二×一五・〇／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御記録所／0498-01、07合綴／墨付九丁／073

0498-06 御記録所「三月御経付御呵者御免御窺帳」(高家山本寺本蔵他四五名)／一冊(一九丁)／寛政六年五月／二四・二×一五・〇／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御記録所／0498-01、07合綴／墨付一八丁／073

0498-07 御記録所「当三月御経二付御免者御窺帳」(組外御扶持方熊蔵他一二名)／一冊(八丁)／寛政八年三月／二四・二×一五・〇／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙

紙 楮紙／御記録所／0498-01、07合綴／073

0499-01 御記録所「三月御経二付御呵者御免御窺帳 下書」(元侍組齊藤貢当代波門他八名)／一冊(七丁)／寛政九年二月／二四・〇×一六・〇／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御記録所／0499-01、13合綴／0499は張札に御記録所の判断と最終的な決定事項あり、表紙に朱書「二」とあり、墨付五丁／073

0499-02 御記録所「当三月御経二付御呵者御免御窺帳」(中之間番頭上屋新八郎他二名)／一冊(八丁)／寛政一〇年三月／二四・〇×一六・〇／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御記録所／0499-01、13合綴／073

0499-03 御記録所「当三月御経二付御呵者御免御窺帳」(御台所頭土田助右衛門他二六名)／一冊(九丁)／寛政一一年二月／二四・〇×一六・〇／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御記録所／0499-01、13合綴／073

0499-04 御記録所「当三月御経二付御呵者御免御窺帳」(侍組隠居平林爰凌他六名)／一冊(六丁)／寛政一二年三月／二四・〇×一六・〇／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御記録所／0499-01、13合綴／墨付五丁／073

0499-05 御記録所「当三月御経二付御呵者御免御窺帳 下書」(侍組井上主膳他八名)／一冊(六丁)／寛政一三年二月／二四・〇×一六・〇／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御記録所／0499-01、13合綴／墨付五丁／073

0499-06 御記録所「当三月御経二付御呵者御免御窺帳 下書」(御馬廻組内藤木工之助他二四名)／一冊(八丁)／享和二年三月／二四・〇×一六・〇／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御記録所／0499-01、13合綴／073

0499-07 御記録所「当三月御経二付御呵者御免御窺帳 下書」(五十騎組角屋元弥他一五名)／一冊(七丁)／享和三年二月／二四・〇×一六・〇／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御記録所／0499-01、13合綴／073

0499-08 御記録所「当三月御経二付御呵者御免御窺帳」(侍組小鷹志津摩他二名)／一冊(二二丁)／文化元年二月／二四・〇×一六・〇／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御記録所／0499-01、13合綴／墨付一一丁／073

0499-09 御記録所「当三月御経二付御呵者御免御窺帳」(五十騎組多功丹下他八名)／一冊(六丁)／文化二年二月／二四・〇×一六・〇／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御記録所／0499-01、13合綴／墨付五丁／073

0499-110 御記録所「当三月御経ニ付御呵者御免御窺帳」(与板組中津川永吉他二〇名)ノ一冊(一一丁)ノ文化三年二月ノ二四・〇×一六・〇ノ豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙ノ御記録所ノ0499-101ノ13合綴ノ073

0499-111 御記録所「当三月御経ニ付御呵者御免御窺帳」(元御馬廻組窪嶋半兵衛他一三名)ノ一冊(八丁)ノ文化四年二月ノ二四・〇×一六・〇ノ豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙ノ御記録所ノ0499-101ノ13合綴ノ墨付七丁ノ073

0499-112 御記録所「当三月御経ニ付御呵者御免御窺帳」(御馬廻組富永周蔵他九名)ノ一冊(六丁)ノ文化五年二月ノ二四・〇×一六・〇ノ豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙ノ御記録所ノ0499-101ノ13合綴ノ墨付五丁ノ073

0499-113 御記録所「当三月御経ニ付御呵者御免御窺帳」(御馬廻組安江五郎左衛門他二四名)ノ一冊(二三丁)ノ文化六年二月ノ二四・〇×一六・〇ノ豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙ノ御記録所ノ0499-101ノ13合綴ノ073

1007-001 御記録所「当三月御経ニ付御呵者御免御窺帳」(文化七年二月ノ同一四年一月)ノ一冊(八四丁)ノ文化七年二月ノ二四・〇×一五・七ノ豎帳 紙縫綴包背装 共紙原表紙 楮紙ノ御記録所ノ表紙裏打ありノ1007-001-01ノ03挟込ノ袋書「御呵者御免伺帳」ノ付札多数、墨付七六丁、八冊合綴ノ161

1007-001-001 御記録所伺書(黒金宮内、神村作左衛門赦免)ノ一通(四紙)ノ文化七年二月ノ一五・六×一八・〇ノ切継紙 楮紙ノ御記録所ノ右者寛延二年ノ奉存候以上ノ端裏朱書「文化七」、端裏書「御記録所」ノ1007-001の一二丁目に挟込みノ柱題「以前例奉窺候寛」ノ161

1007-001-002 御記録所伺書(安部藤左衛門、近清左衛門他の苗字取立につき)ノ一通(三紙)ノ文化一三年二月ノ一五・〇×六・〇ノ切継紙 楮紙ノ御記録所ノ右五人ノ者ノ被成下候哉ノ端裏朱書「文化十三年」、端裏書「御記録所」ノ1007-001の五八丁目に挟込みノ161

1007-001-003 御役所宛 御記録所伺書(市郎左衛門の罪科詳細につき)ノ一通(二紙)ノ文化一三年二月ノ九日ノ一四・六×三九・七ノ切継紙 楮紙ノ御記録所ノ御役所 付札ニテ御渡いたしノ先達而致御問合ノ可被申候已上ノ端裏朱書「文化十三年」ノ1007-001の五八丁目に挟込みノ161

1007-002 御記録所「当三月就御経御呵者御免御窺帳」(文政元年二月ノ同四年二月)ノ一冊(六七丁)ノ文政元年二月ノ二四・〇×一六・三ノ豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙ノ御記録所ノ袋書「御呵者御免伺帳」ノ付札多数、墨付六一丁、四冊合綴ノ161

1007-003 御記録所「当三月御経ニ付御呵者御免御窺帳」(文政五年二月ノ同一年一月)ノ一冊(六六丁)ノ文政五年二月ノ二三・八×一六・四ノ豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙ノ御記録所ノ袋書「御呵者御免伺帳」ノ付札多数、墨付五六丁、七冊合綴ノ161

1007-004 御記録所「当三月御経ニ付御呵者御免御窺帳」(文政九年二月ノ同二年二月)ノ一冊(六一丁)ノ文政九年二月ノ二四・〇×一六・三ノ豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙ノ御記録所ノ袋書「御呵者御免窺帳」ノ付札多数、墨付五四丁、五冊合綴、一部稿本差込ありノ161

1007-005 御記録所「当三月御経ニ付御呵者御免御窺帳」(天保元年二月ノ同五年三月)ノ一冊(八四丁)ノ天保元年二月ノ二三・九×一六・二ノ豎帳 紙縫綴包背装 共紙原表紙 楮紙ノ御記録所ノ袋書「御呵者御免伺帳」ノ付札多数、墨付七〇丁、七冊合綴ノ161

0500-001 御役所「御経ニ付御伺書」(五十騎組佐藤十九郎他五名)ノ一冊(七丁)ノ天保七年二月ノ二四・〇×一六・二ノ豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙ノ御役所ノ0500-001ノ02合綴ノ付箋に記録所ノ判断と最終的な決定事項を記載ノ073

0500-002 御役所「当三月御経ニ付御伺書」(与板組梅沢宗三郎他三三名)ノ一冊(二四丁)ノ天保七年二月ノ二四・〇×一六・二ノ豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙ノ御役所ノ0500-001ノ02合綴ノ付箋に御記録所ノ判断と最終的な決定事項を記載ノ073

0500-003 山本忠睦・高津景林願書(今度御経につき追払処分ノ源兵衛及び永年処分者ノ減刑を町奉行が申請)ノ一通(二紙)ノ天保七年三月二日ノ一五・〇×四二・二ノ切継紙 楮紙ノ山本此面、高津隼人ノ今度御経ニ付ノ此段申上候以上ノ端裏書「町奉行」ノ0500-001ノ02の綴じ紐に紙縫で括付ノ関連する凡例を記した御記録所ノ書付一点挟込ノ073

0501 御記録所「奉伺候別冊」(文化五年に罪科に処せられた、御小納戸一代入奥山良助ノ減刑ノ赦免ノ伺)ノ一冊(一四丁)ノ弘化四年二月ノ二四・〇×一六・五ノ豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙ノ御記録所ノ表紙に0501-001ノ08を括付ノ073

0501-001 御記録所伺書(奥山良助一件役所趣意行き違い、扶持高につき御下知下されたく)ノ一通(三紙)ノ弘化四年二月ノ一四・九×六一・三ノ切継紙 楮紙ノ御記録所ノ奥山良助事昨年ノ猶又申上候以上ノ0501-001ノ08表紙に括付ノ073

0501-02 御記録所答書案（奥山良助給恩一件、役所と論行き違いつき再度当局の存寄を具申す）／一通（二紙）／（弘化四年）／一四・七×三四・五／切継紙 楮紙／御記録所／本文奥山良助給恩：乍恐申上候／0501-01-08表紙に括付／訂正多数／073

0501-03 伺書案（奥山良助一件役所趣意行き違い、扶持高につき御下知下されたく）／一通（一紙）／（弘化四年）／一五・二×二〇・七／切紙 楮紙／奥山良助事昨年：猶又申上候以上／0501-01-08表紙に括付／0501-01と内容類似／073

0501-04 達書案（御小納戸組奥山良助、同文沢、御経後の支配扶持高につき）／一通（二紙）／江戸後期（年月日未詳）／一四・九×三五・〇／切継紙 楮紙／一三人扶持：御扶持取二御座候以上／端書朱書「奥山御呵之節被召上候御扶持高差紙書江間合返翰」／0501-01-08表紙に括付／柱題「覚」、御記録所から差紙所への返答の朱筆あり／073

0501-05 御記録所言上書（奥山良助赦免後三人扶持五石とする役所の示した案につき、寺島権右衛門他先例を挙げ反論）／一通（七紙）／江戸後期（年月日未詳）／一四・八×一九九・四／切継紙 楮紙／御記録所／御呵者御免伺ハ：旁此段申上候／0501-01-08表紙に括付／073

0501-06 御記録書言上書案（奥山良助赦免後三人扶持五石とする役所の示した案につき、寺島孫助他先例を挙げ反論）／一通（三紙）／江戸後期（年月日未詳）／一四・八×四二・九／切継紙 楮紙／御記録所／奥山御役所支配者：古来未曾有之事二御座候／0501-01-08表紙に括付／073

0501-07 村越八右衛門他三名宛 御役所伺書（奥山良助事、先祖の勤め方に免じ町医師へ召し入れ一人扶持下されたく）／一通（四紙）／文政七年二月／一五・〇×一一・八・六／切継紙 楮紙／御記録所／村越八右衛門他三名／御小納戸被 召放：此段奉伺候／端書朱書「弘化四年奥山良助事相伺候処役所今文政七年中両寺島比競を以：」／0501-01-08表紙に括付／073

0501-08 寺島権内宛 小島泰助書状（初役奥山良助家督の達書、当局控より書き抜き返答）／一通（三紙）／（弘化四年）二月六日／一四・八×五二・七／切継紙 楮紙／小島泰助寺島権内様／御華墨之趣：御報迄早々以上／端書朱書「弘化四年二月奥山良助家督問合」／0501-01-08表紙に括付／073

1007-06 御記録所「当三月御経ニ付御呵者御免御伺帳」（天保一二年二月、弘化二年二月）／一冊（一五三丁）／天保一二年二月／二三・五×一五・五／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御記録所／袋書「御呵者御免伺帳」、付札多数、墨付一

三三丁、八冊合綴／161

1007-07 御記録所「当三月御経ニ付御呵者御免御伺帳」（弘化三年二月、嘉永四年二月）／一冊（二五八丁）／弘化三年二月／二三・六×一五・三／豎帳 紙縫綴包背装 共紙原表紙 楮紙／御記録所／袋書「御呵者御免伺帳」、付札多数、墨付一四二丁、九冊合綴／161

1007-08 御記録所「当三月御経ニ付御呵者御免御伺帳」（嘉永五年閏二月、安政六年二月）／一冊（一五六丁）／嘉永五年閏二月／二三・六×一五・三／豎帳 紙縫綴包背装 共紙原表紙 楮紙／御記録所／袋書「御呵者御免伺帳」、付札多数、墨付一四七丁、八冊合綴／161

1007-09 御記録所「当三月御経ニ付御呵者御免御伺帳」（安政七年二月、元治二年二月）／一冊（九〇丁）／安政七年二月／二三・六×一五・三／豎帳 紙縫綴包背装 共紙原表紙 楮紙／御記録所／袋書「御呵者御免伺帳」、付札多数、墨付八一丁、八冊合綴／161

0502 御記録所「当三月御経ニ付御呵者御免御伺帳」（町奉行縫殿右衛門嫡子江口復蔵他一五名）／一冊（一三三丁）／元治二年二月／二四・五×一六・五／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御記録所／付箋一点剥離／073

0504 御記録所「当三月御経ニ付御呵者御免御伺帳」（侍組清野頼馬他一六名）／一冊（一五五丁）／慶応二年二月／二三・九×一六・七／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御記録所／付箋多数あり、0505と一部内容異なる、背表紙を和紙でくむ／073

0505 御記録所「当三月御経ニ付御呵者御免御伺帳」（侍組清野頼馬他一六名）／一冊（一六六丁）／慶応二年二月／二四・〇×一六・四／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御記録所／付箋多数あり／無

0506 御記録所「当三月御経ニ付御呵者御免御伺帳」（五十騎組南齊虎吉他一〇名）／一冊（七丁）／慶応三年二月／二四・二×一六・五／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御記録所／0507と一部内容異なる、紙縫りを綴じ直す／073

0507 御記録所「当三月御経ニ付御呵者御免御伺帳」（与板組登坂又四郎妻ひさ他七名）／一冊（七丁）／慶応三年二月／二三・五×一六・二／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御記録所／付箋多数あり／073

0508 御記録所「当三月御経ニ付御呵者御免御伺帳」（町奉行縫殿右衛門嫡子江口復蔵他一一名）／一冊（一〇丁）／明治元年二月／二四・五×一六・五／豎帳 紙縫綴

冊子装 共紙原表紙 楮紙／御記録所／付箋多数あり、0509と一部内容異なる／073

0509 御記録所「当三月御経二付御呵者御免御伺帳」(町奉行縫殿右衛門嫡子江口復蔵他一名)／一冊(九丁)／明治元年二月／二四・二×一六・三／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御記録所／紙縫りを綴じ直す／無

1010-01 御役所宛 御記録所願書(樋口伊兵衛、小川久右衛門他三名の検議下された)／一通(二紙)／(文化一〇年)二月二〇日／一四・八×五三・三／切継紙楮紙／御記録所↓御役所／御繁用之内：上申候以上／端裏朱書「文化十年袋」／1010-01-08紐一括／付札あり／162

1010-02 御記録所伺書(当年初入部につき、鷹山初入部の前例にならない格別の御沙汰あるべきか)／一通(二紙)／文化一〇年二月／一五・五×四一・三／継紙楮紙／御記録所／明和六年十二月：奉親候以上／1010-01-08紐一括／162

1010-03 御記録所伺書控(佐藤市三郎、大峽右膳次他二名赦免)／一通(二紙)／文化一〇年五月／一四・九×四三・四／切継紙 楮紙／御記録所／右定例之御免：此段奉伺候以上／端裏書「控」／1010-01-08紐一括／柱題「以別紙奉伺候覚」／162

1010-04 御記録所伺書(上杉鷹山初入部および御婚礼につき御呵者御免の沙汰)／一通(二紙)／文化一〇年二月／一五・四×四二・三／切継紙 楮紙／御記録所／明和六年十二月：奉親候以上／端裏書「御記録所」、同朱書「文化十年」／1010-01-08紐一括／1010-02と同内容、付札二枚あり／162

1010-05 御記録所書状下書(御呵者扶持米加減につき評判す)／一通(三紙)／文化一〇年五月／一四・九×五三・五／切継紙 楮紙／御記録所／享保十四年之：評判仕候已上／端裏書「文化十年五月キ□木名左衛門御呵後書物差出候二付存別書下案」／1010-01-08紐一括／162

1010-06 御記録所伺書(御経の時に御呵御免の規程無きにつき評判の不知を下された)／一通(二紙)／文化一〇年二月／一四・八×四二・〇／切継紙 楮紙／御記録所／御両代様御初：此段申上候已上／1010-01-08紐一括／162

1010-07 上倉七兵衛・大平八郎左衛門届書(追放刑の乙次が帰参御免、その居所を伝達す)／一通(一紙)／文化一一年二月二日／一五・〇×二八・〇／切紙 楮紙／上倉七兵衛・大平八郎左衛門／右者先年追放：御届申上候以上／1010-01-08紐一括／162

1010-08 御記録所伺書(長太郎、捻五郎他三八名の苗字取立につき)／一通(七紙)／文化一三年二月／一四・九×二四七・二／切継紙 楮紙／御記録所／天明三年五月中：夫々相立候哉／端裏書「文化十三年二月御記録所」／1010-01-08紐一括／付札多数／162

1015-01 御記録所「当三月御経二付御呵者御免伺帳大草稿」(西海枝正蔵、諸橋孫惣他四三名)／一冊(二丁)／安政四年三月／一四・九×一九・〇／横半帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／御記録所／1015-01-10紐一括／柱題「安永四年三月御経二付御呵御免取調」、付札多数／162

1015-02 「安政五年御免者伺帳大草稿」(亡相馬伝右衛門、龍次他四三名)／一冊(二丁)／(安政五年三月)／一五・二×一九・二／横半帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／付札の剥離多数／1015-01-10紐一括／付札多数、挟込み史料「安政五年三月御免者取調面附」あり／162

1015-03 「万延元御免伺帳大草稿」(江口繁蔵、甚左衛門他五七名)／一冊(二丁)／万延元年／一五・三×一八・八／横半帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／付札の剥離多数／1015-01-10紐一括／付札多数／162

1015-04 「万延二文久元御免伺大草稿」(江口繁蔵、青柳稻蔵他四三名)／一冊(九丁)／万延二年／一五・六×一九・一／横半帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／付札の剥離多数／1015-01-10紐一括／付札多数／162

1015-05 「御免調文久二年大草稿」(江口繁蔵、青柳稻蔵他四七名)／一冊(一丁)／文久二年／一五・二×一九・〇／横半帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／付札の剥離多数／1015-01-10紐一括／付札多数／162

1015-06 「元治元文久四年御免調大草稿」(金蔵、政次郎他六〇名)／一冊(一五丁)／文久四年／一五・〇×一八・五／横半帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／付札の剥離多数／1015-01-10紐一括／付札多数／162

1015-07 「元治二年御免調大草稿」(金蔵、堀内忠八他五二名)／一冊(九丁)／元治二年／一五・四×一八・九／横半帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／付札の剥離多数／1015-01-10紐一括／付札多数／162

1015-08 「慶応二年御免調大草稿」(金蔵、堀内忠八他四六名)／一冊(八丁)／慶応二年／一五・六×一九・一／横半帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／付札の剥離多数／1015-01-10紐一括／付札多数／162

1015-09-01 「慶応三年御免調大草稿別冊共二」(相馬九右衛門、坂上彦左

衛門他八名)／一冊(二丁)／慶応三年／一四・八×一八・八／横半帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／付札の剥離多数／1015-011-10紐一括、1015-09-011-02紙縫一括／付札多数／162

1015-09-02 沙汰書(博奕で追払いとなった渡部直松帰参につき御免のこと)／一通(二紙)／慶応三年六月／一四・六×四五・八／切継紙 楮紙／春主膳家来：右之通被仰付之／端裏書「御記録所」／1015-011-10紐一括、1015-09-011-02紙縫一括／柱題「覚」／162

1015-110 御記録所「大草稿」(追払や永年他の罪人で年数を経て減刑御呵の者、御馬医堀内忠八他四四名)／一冊(九丁)／明治元年二月／一四・九×一八・七／横半帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／御記録所／付札の剥離多数／1015-011-10紙縫一括／付札多数／162

1004 御記録所「御婚礼并御初入部二付御呵御免□□□□仰付者之書拔」(上杉鷹山の婚礼初入部につき、御馬廻組山田次郎左衛門他三三名)／一冊(一三丁)／明和六年二月二日／二四・一×一六・五／竖帳 紙縫綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／御記録所／原表紙下部欠損部分を裏打ち／罪状を記した付札あり／161

0825-06 長右衛門・文左衛門宛 孫兵衛・権内書状(与板組酒田九五郎罪状御免調落につき報告)／一通(一紙)／(弘化三年)四月二日／一四・九×二三・六／切紙 楮紙／孫兵衛・権内↓長右衛門様・文左衛門様／拙者文化元年：き答に及候以上／端裏書「三月十四日後おつて御免の例」／0825-011-11紙縫一括／権内は御記録方の寺島権内カ、扱った部署は未詳だが御記録所に収めた／123

0825-07 権内・孫兵衛宛 長右衛門・文左衛門書状(御経御免の例につき、名前、年月等回答されたく)／一通(一紙)／(弘化三年)四月二日／一四・七×二〇・七／切紙 楮紙／長右衛門・文左衛門↓権内様・孫兵衛様／御経御免者：可込申候以上／0825-011-11紙縫一括／権内は御記録方の寺島権内カ、扱った部署は未詳だが御記録所に収めた／123

0825-110 又右衛門・題助宛 左源次書状(御呵御免の長町忠八の母しけ、死去につき報知)／一通(一紙)／江戸後期(年未詳)六月一八日／一四・八×二一・七／切紙 楮紙／左弥次カ↓五左衛門様、越助様／今般御史面拝見：可申候以上／0825-011-11紙縫一括／扱った部署は未詳だが御記録所に収めた／123

法制—御呵御免—御免向—御役所

1011-01 「役所伺帳写 附町奉行伺」(天保一年々嘉永元年)／一冊(五二丁)／天保一年／二四・五×一六・六／竖帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御記録所粘紙存知草稿／1011-011-18封紙・紙縫一括、1011-011-02袋一括／挟込文書四点あり、弘化五年三月二日合綴、袋ウワ書「役所御免伺帳写」／162

1011-02 「役所伺帳へ当局存寄付札」(嘉永二年々同四年)／一冊(二八丁)／嘉永二年／二四・二×一六・四／竖帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1011-011-18封紙・紙縫一括、1011-011-02袋一括／162

1011-03 「嘉永五年役所伺帳写」(処罰より相当年数経過のため御免の吟味なされたく)／一冊(三丁)／嘉永五年／二四・八×一六・四／竖帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／紙縫綴じ外れ／1011-011-18封紙・紙縫一括／挟込み文書あり／162

1011-04 「色部殿物書伺書」(組外中野久吉他五名)／一冊(七丁)／嘉永四年二月／二四・六×一六・三／竖帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1011-011-18封紙・紙縫一括／162

1011-05 「嘉永六年役所伺」(孝吉、登坂貞吉他三一名)／一冊(三丁)／嘉永六年／二四・五×一六・六／竖帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1011-011-18封紙・紙縫一括／162

1011-06 蔵井作兵衛・行方亦蔵「嘉永七年役所伺」(藤次、佐藤厄次他一八名)／一冊(三丁)／(嘉永七年)二月晦日／二四・三×一六・七／竖帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／蔵井作兵衛・行方亦蔵／紙縫綴じ外れ／1011-011-18封紙・紙縫一括／付札あり、挟込み文書あり／162

1011-07 行方亦蔵・江口縫殿右衛門「安政二年役所伺」(沢周吉、茂左衛門他一〇名)／一冊(二丁)／(安政二年)二月一〇日／二四・九×一六・七／竖帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／行方亦蔵・江口縫殿右衛門／紙縫綴じ外れ／1011-011-18封紙・紙縫一括／付札あり／162

1011-08 小見市兵衛・高野猪熊宛 御役所「安政三年役所伺」(登坂貞吉、孫次郎他一三名)／一冊(三丁)／安政三年二月／二四・九×一六・六／竖帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御役所↓小見市兵衛殿・高野猪熊殿／紙縫綴じ外れ／1011-011-18封紙・紙縫一括／付札あり、挟込み文書あり／162

1011109 小見市兵衛・高野猪熊宛 御役所「安政四年役所伺」(よに、田那部伊三郎他一七名)／一冊(二丁)／(安政四年)二月／二四・二六・四／豎帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御役所↓小見市兵衛殿・高野猪熊殿／紙綴綴じ外れ／101110118封紙・紙綴一括／162

1011110 松本嘉久弥・小島伊右衛門宛 御役所「安政五年役所伺」(佐藤市之丞、国分庄吉他九名)／一冊(二丁)／安政五年二月／二四・三六・六／豎帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御役所↓松本嘉久弥殿・小島伊右衛門殿／紙綴綴じ外れ／101110118封紙・紙綴一括／162

1011111 御役所「安政六年役所伺」(小泉兵八郎、細合樂水他二八名)／一冊(二丁)／安政六年二月／二四・六六・五／豎帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御役所／紙綴綴じ外れ／101110118封紙・紙綴一括／162

1011112 御役所「安政七年役所伺」(龍藏、菅原清吉他二二名)／一冊(三丁)／安政七年二月／二四・九六・六／豎帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御役所／紙綴綴じ外れ／101110118封紙・紙綴一括／墨付二丁／162

1011113 西卯吉・河村馬之助宛 御役所「万延二年役所伺」(山田仙太郎、須田儀右衛門他一九名)／一冊(三丁)／万延二年二月／二四・三六・五／豎帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御役所↓西卯吉殿・河村馬之助殿／紙綴綴じ外れ／101110118封紙・紙綴一括／挟込み文書あり／162

1011114 西卯吉・河村馬之助宛 御役所「文久二年役所伺」(小泉兵八郎、国分庄吉他九名)／一冊(二丁)／文久二年二月／二四・二六・六／豎帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御役所↓西卯吉殿・河村馬之助殿／紙綴綴じ外れ／101110118封紙・紙綴一括／付箋貼付け／162

1011115 御役所「御役所伺 前冊共二書入」(上野民弥、金子七郎他二一名)／一冊(六丁)／文政六年／二四・一六・四／豎帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御役所／101110118封紙・紙綴一括／挟込み文書あり、付札あり／162

1011116 関谷忠蔵宛 御役所「文久三年役所伺」(清野頼馬、黒川五三太他三名)／一冊(三丁)／(文久三年)二月／二四・六六・八／豎帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御役所↓関谷忠蔵殿／101110118封紙・紙綴一括／162

1011117 酒井手水助・上村栄吉宛 御役所「文久四年役所伺」(清野頼馬、黒川五三太他二五名)／一冊(三丁)／文久四年二月／二四・四六・八／豎帳 紙綴

綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御役所↓酒井手水助殿・上村栄吉殿／101110118封紙・紙綴一括／162

1011118 関谷忠蔵・藤田庸助宛 御役所「元治二年役所伺」(江口復蔵、なへ他一六名)／一冊(三丁)／元治二年二月／二四・四六・八／豎帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御役所↓関谷忠蔵殿・藤田庸助殿／101110118封紙・紙綴一括／162

10113 山崎孫兵衛・今成庄左衛門宛 御役所「御呵御免者御伺書」(上野善蔵、佐藤丹右衛門らに御加恩として扶持米を給したく)／一冊(六丁)／文政三年二月／一六・五二四・五／豎帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御役所↓山崎孫兵衛殿・今成庄左衛門殿／付札にて回答／162

1014 御役所「御経二付御伺書」(金子六左衛門、中野幾右衛門他二一名)／一冊(二丁)／文政九年二月二十五日／二五・五六一六・七／豎帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御役所／162

法制—御呵御免—御免掛—御免掛事例

0497101 片山紀兵衛 御呵者御免懸 一(編纂に至る経緯、既存の御呵御免の対象者、侍組、中の間、三手組他)／一冊(八三丁)／天明三年五月／二八・九六一九・九／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／片山紀兵衛／墨付八二丁、朱筆や貼紙でその後の減刑を追記／073

0497102 片山紀兵衛「御呵者御免懸 二」(既存の御呵御免の対象者、城代支配から三扶持方、徒組他)／一冊(六五丁)／(天明三年五月)／二八・八六一九・五／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／朱筆や貼紙でその後の減刑を追記／073

0497103 片山紀兵衛 御呵者御免懸 三(既存の御呵御免の対象者、各役屋付から勘定頭支配、百姓他)／一冊(四二丁)／(天明三年五月)／二八・八六一九・五／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／朱筆や貼紙でその後の減刑を追記／073

1003101 「御呵御免懸者書抜帳 一」(宝暦六年〜天明八年二月一日)／一冊(七四丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・五六一五・七／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・白茶地後補表紙 楮紙／地に「御免懸一」とあり／161

1003102 「御呵者御免懸 卷二」(寛政元年二月二七日〜天明八年二月二日)／一冊(二四二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・六六一五・〇／豎帳 袋綴冊子

装 白茶地後補表紙 楮紙／墨付一・九丁、地に「御免懸二」とあり／161

1003-003 「御阿者御免懸 卷三」(宝暦六年〜天明八年二月三日)／一冊(九四丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・五×一五・一／豎帳 袋綴冊子装 白茶地後補表紙 楮紙／地に「御免懸三」とあり／161

1003-004 「御阿御免懸書拔帳 卷四」(文政四年九月二十九日〜同二年九月八日)／一冊(七〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・二×一五・七／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・白茶地後補表紙 楮紙／地に「御免懸四」とあり／161

1003-005 「御阿御免懸書拔帳 五」(文政二年五月二十四日〜天保五年九月)／一冊(八七丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・三×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・白茶地後補表紙 楮紙／墨付六一丁、地に「御免懸五」とあり／161

1003-006 「御阿者御免懸 六」(天保六年七月一〇日〜同二年二月二四日)／一冊(九〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・四×一五・二／豎帳 袋綴冊子装 白茶地後補表紙 楮紙／地に「御免懸六」とあり／161

1003-007 「御阿者御免懸 七」(天保二年正月〜弘化四年二月)／一冊(七八丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・五×一五・三／豎帳 袋綴冊子装 白茶地後補表紙 楮紙／地に「御免懸七」とあり／161

1003-008 「御阿者御免懸 八」(嘉永元年二月一四日〜安政四年二月)／一冊(八四丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・四×一五・三／豎帳 袋綴冊子装 白茶地後補表紙 楮紙／墨付七七丁、地に「御免懸八」とあり／161

1003-009 「御阿者御免懸 九」(安政五年三月二六日〜慶応三年一〇月一〇日)／一冊(六五丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・七×一六・五／豎帳 紙縫綴包背装 共紙原表紙 楮紙／地に「御免懸九」とあり／161

1003-10 「御阿者御免懸 十」(明治元年分)／一冊(九八丁)／近代(年月日未詳)／二四・〇×一六・二／豎帳 紙縫綴包背装 共紙原表紙 楮紙／墨付二丁、地に「御免懸十」とあり／161

1006 「御阿御免懸者書拔帳 一」(天明三年二月一九日〜同八年二月二一日)／一冊(九九丁)／江戸後期(年月日未詳)／二四・一×一五・二／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／161

法制—御阿御免—御免掛—書上

0511-001 御役所「御阿御免懸之者書上帳」(免許町運次郎他四〇名)／一冊(一三丁)／寛政一二年三月／二四・五×一六・三／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御役所／紙縫に括付文書一点あり、0551は追払、永牟、改易他の処分を受け、その後御免となった藩士、領民の記録／074

0511-0101 貞茂宛 □右衛門書状(追掃処分となっていた堀内藤左衛門につき)／一通(二紙)／(寛政一年)三月五日／一五・六×三〇・〇／切継紙 楮紙／□右衛門↓貞蔵様／被仰下候義二付而：被下度右□□候以上／0511-01に紙縫で括付／柱題「覚」／074

0511-002 御役所「御阿御免懸之者書上帳」(免許町運次郎他二七名)／一冊(一〇丁)／享和二年二月／二四・五×一六・五／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御役所／074

0511-003 御役所「御阿御免掛之者書上帳」(二の丸御門番小幡円蔵他二〇名)／一冊(九丁)／享和三年二月／二四・五×一六・七／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御役所／墨付五丁／074

0511-004 御役所「御阿御免懸之者書上帳」(二の丸御門番小幡円蔵他一三名)／一冊(八丁)／享和四年二月廿日／二四・三×一六・三／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御役所／貼付多数あり／074

0511-005 御記録所「明和元年以来乱心自滅縊死之者書上」(乱心・自殺関係、足輕南齊四郎兵衛他七名)／一冊(五丁)／文化元年三月／二四・三×一六・五／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御記録所／貼付多数あり／074

0511-006 御役所「御阿御免懸之者書上帳」(本御手明組真嶋弥五助他一四名)／一冊(六丁)／文化二年二月／二四・五×一六・五／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御役所／貼付多数あり／074

0511-007 御役所「御阿御免懸之者書上帳」(本御手明組真嶋弥五助他二〇名)／一冊(七丁)／文化三年二月／二四・五×一六・五／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御役所／補修あり、貼付多数あり／074

0511-008 御役所「御阿御免懸之者書上帳」(大乘寺弟子観了他二六名)／一冊(一〇丁)／文化四年正月／二四・五×一六・五／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御役所／貼付多数あり／074

0511109 御役所「御呵御免懸之者書上帳」(同心組後藤能治他二四名)／一冊(九丁)／文化五年二月／二四・五×一六・三／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御役所／貼付多数あり／074

0511110 御役所「御呵御免懸之者書上帳」(与板組土橋平次他三〇名)／一冊(一丁)／文化六年正月／二四・〇×一六・三／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御役所／貼付多数あり／074

0511111 御役所「御呵御免掛之者書上帳」(与板組土橋平次他三一名)／一冊(一〇丁)／文化七年二月／二四・五×一六・五／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御役所／貼付多数あり／074

0511112 御役所「御呵御免懸之者書上帳」(深沢吉次他一八名)／一冊(八丁)／文化八年二月／二四・二×一六・三／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御役所／貼付多数あり／074

0511113 御役所「御呵御免懸之者書上帳」(足輕渡部基助他一六名)／一冊(七丁)／文化九年二月／二四・五×一六・三／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御役所／0511113を挟込／貼付多数あり／074

0511113-01 裁許状写(改易処分後病死した渡部基助の処置につき)／一通(一紙)／江戸後期(年月日未詳)／一四・八×二三・一／切紙 楮紙／右者安永九年九月廿七日御呵：旁被召出可然哉と存候／0511113に挟込／作成年代は天明三年頃／074

0511114 御役所「御呵御免掛之者書上帳」(百挺鉄砲組横尾丑之助他一九名)／一冊(八丁)／文化一〇年二月／二四・五×一六・五／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御役所／括付文書あり、貼付多数あり／074

0511114-01 登坂権右衛門・須田縫殿右衛門伺書(免許町女判頭まきの禁足御免につき)／一通(一紙)／文化一〇年二月四日／一五・七×三〇・八／切紙 楮紙／登坂権右衛門・須田縫殿右衛門／当三月中御経二付：被仰付度奉存候以上／端裏書町奉行)／0511114に括付／074

0511115 御役所「御呵御免懸之者書上帳」(百丁鉄砲組横尾丑之助他一六名)／一冊(九丁)／文化一一年二月／二四・七×一六・七／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御役所／貼付多数あり／074

0511116 御役所「御呵御免掛之者書上帳」(御本丸御門番組大峽伝七他一八名)／一冊(九丁)／文化一二年二月五日／二四・五×一六・六／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御役所／貼付多数あり／074

紙原表紙 楮紙／御役所／貼付多数あり／074

0511116-01 寺社奉行所伺状写(閉門処分となった□□寺住職の処分につき)／一通(一紙)／(文化一二年)亥二月八日／一五・四×二六・六／切紙 楮紙／寺社奉行所／□□村□□寺先年不調法：此段申上候以上／端裏書「亥ノ二月八日酒井左衛門様分：」／074

0511117 御役所「御呵御免掛之者書上帳」(五十騎組多功丹下他二三名)／一冊(七丁)／文化一三年二月／二四・五×一六・七／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御役所／括付文書あり、貼付多数あり／074

0511117-01 中里丹下・登坂権右衛門伺書写(大川渡部惣太親判下仙太の禁足御免につき)／一通(一紙)／(文化一三年)子二月一日／一四・六×二七・六／切紙 楮紙／登坂権右衛門・中里丹下／右者去年不調法之義：御伺申上候以上／端裏書「町奉行所」／0511117に括付／注題「覚」／074

0511118 御役所「御呵御免懸之者書上帳」(平山村運吉母りす他一八名)／一冊(八丁)／文化一四年正月二八日／二四・五×一六・七／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御役所／貼付多数あり／074

0511119 御役所「御呵御免懸之者書上帳」(足輕陣内彦右衛門他二〇名)／一冊(八丁)／文化一五年二月廿日／二四・五×一六・三／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御役所／表紙に括付文書あり、貼付多数あり／074

0511119-01 町奉行所伺書写(困入処分となった免許町十助子判下孝助の困入御免につき)／一通(一紙)／文化拾五月十五日／一四・九×三八・二／切紙 楮紙／町奉行所／右者先年不調法之義有之：此段申上候以上／端裏書「町奉行所」／0511119の表紙に括付、柱題「覚」／074

0511120 御役所「御呵御免懸之者書上帳」(侍組井上隼人他二四名)／一冊(一二丁)／文政二年正月／二四・二×一六・五／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御役所／貼付多数あり／074

0511121 御役所「御呵御免懸之者書上帳」(侍組井上隼人他一八名)／一冊(九丁)／文政三年二月／二四・五×一六・六／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御役所／貼付多数あり／074

1009101 御役所「御呵御免懸之者書上帳」(百挺鉄砲組横尾丑之助他四一名)／一冊(一四丁)／文化一〇年二月／二四・五×一六・七／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御役所／1009101、06包紙一括／括付文書あり、付札あり、

墨付一二丁、一括の包紙墨書「竹千代様御誕生ニ付赦御取行ニ付伺帳一式」／162

1009-01-01 登坂次右衛門・樋口源五郎意見書（長尾権四郎組八右衛門の出牢御免を取成し下されたく）／一通（一紙）／（文化一〇年）二月一日／一五・四×二三・五／切紙 楮紙／登坂次右衛門・樋口源五郎／右者不調法：申上候以上／端裏書「町奉行所」／1009-01-06包紙一括、1009-01に一括／柱題「覚」／162

1009-02 御役所「御呵御免懸之者書上帳」（下高山村庄兵衛他四〇名）／一冊（一三丁）／文化一〇年二月／二四・五×一六・五／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御役所／1009-01-06包紙一括／付札あり、墨付一二丁／162

1009-03 御記録所「御叱御免懸之者書上帳」（小白川村嘉七他七二名）／一冊（四八丁）／文化一〇年二月／二三・三×一六・二／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御記録所／1009-01-06包紙一括／付札あり、墨付四六丁／162

1009-04 郡割所「御欠所者定価屋渡り出奉公年数懸り人数取調書上帳」（萩生村清蔵他五五名）／一冊（一二丁）／文化一〇年二月一日／二五・〇×一五・三／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／郡割所／1009-01-06包紙一括／付札あり、墨付一〇丁／162

1009-05 「此度於江府竹千代様御誕生為御祝赦就御取行御呵御免申渡書」（侍組井上準人他三二名）／一冊（一四丁）／文化一〇年二月／二四・七×一六・七／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／荏戸量／1009-01-06包紙一括／下書き、墨付一二丁／162

1009-06 宗門御蔵「御呵者書上帳」（猪苗代組大野平馬妻他六五名）／一冊（九丁）／文化一〇年二月一日／一五・七×三九・九／横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／宗門御蔵／1009-01-06包紙一括／付札あり、墨付八丁／162

法制—御呵御免—御免申渡

0503 「当三月就御経御呵者御免申渡書」（町奉行縫殿右衛門嫡子江口復蔵他一七名の恩赦減刑申渡の控え）／一冊（六丁）／元治二年三月一日／二四・三×一六・五／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／長尾量／0502の伺帳の人名とは異同あり／073

0824-02 山田喜右衛門届出書（永囲入のところ御経出困御免となった中小松村

庄六後家させ病死）／一通（二紙）／（弘化三年）三月／一四・九×一七・二／切紙 楮紙／山田喜右衛門／永囲入 中小松村庄六後家させ：此段御届申上候以上／824-01-04紙縫一括／柱題「覚」、御免申渡に便宜的に含めた／123

1005 「不時御呵御免者申渡書」（明和六年二月一日〜天保一〇年六月一日、藩主の初入部、婚礼他に際し）／一冊（六八丁）／明和六年一〇月八日／二三・二×一五・七／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／墨付六四丁／161

1008-01 「御経ニ付御呵者御免申渡下書 一」（寛政三年三月〜文化四年三月一四日）／一冊（一三二丁）／寛政三年／二三・一×一五・五／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／地に「御免申渡書」、下書き八冊を合綴、墨付二八丁、豊前量、広居量とあり／162

1008-02 「御経ニ付御呵者御免申渡下書 二」（文化五年三月一四日〜同二年三月一四日）／一冊（五九丁）／文化五年／二三・四×一五・六／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／地に「御免申渡書」、下書き八冊を合綴、墨付四四丁、長尾量、広居量、荏戸量、毛利量とあり／162

1008-03 「御経ニ付御呵者御免申渡下書 三」（文化一三年三月一四日〜文政四年三月一四日）／一冊（五八丁）／文化一三年／二三・四×一五・六／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／地に「御免申渡書」、下書き八冊を合綴、墨付五五丁、長尾量、大石量とあり／162

1008-04 「御経ニ付御呵者御免申渡下書 四」（文政五年四月一八日〜文政一一年三月）／一冊（七一丁）／文政五年／二三・五×一五・六／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／地に「御免申渡書」、下書き七冊を合綴、墨付六七丁、毛利量、下書御記録所、大石量御記録所下書、千坂量とあり／162

1008-05 「御経ニ付御呵者御免申渡下書 五」（文政二年三月一〇日〜天保六年三月一四日）／一冊（六〇丁）／文政二年／二三・四×一五・七／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／題箋上部のみ固定された状態／地に「御免申渡書」、下書き七冊を合綴、墨付五五丁、草稿御記録所、孫三郎量、御記録所手控、千坂量等とあり／162

1008-06 「御経ニ付御呵者御免申渡下書 六」（天保七年三月一四日〜同二年三月一四日）／一冊（六七丁）／天保七年／二三・四×一五・七／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／地に「御免申渡書」、下書き六冊を合綴、毛利量御記録所手控、御記録所控、毛利量、色部量等とあり／162

1008-107 「御経二付御呵者御免申渡下書 七」(天保一三年三月一四日、弘化四年三月一四日)／一冊(八八丁)／天保一三年／二三・二×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／地に「御免申渡書」、下書き六冊を合綴、上総量、毛利量、毛利量御記録所控、広居量御記録所控とあり／162

1008-108 「御経二付御呵者御免申渡下書 八」(嘉永元年三月一四日、安政元年三月一四日)／一冊(七七丁)／嘉永元年／二三・五×一五・七／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／地に「御免申渡書」、下書き八冊を合綴、広居量、色部量御記録所控、長尾量、色部量草稿、千坂量等とあり／162

1008-109 「御経二付御呵者御免申渡下書 九」(安政二年三月一四日、慶応二年三月一四日)／一冊(八八丁)／安政二年／二三・五×一五・七／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／地に「御免申渡書」、下書き七冊を合綴、墨付七九丁、平林量、平林量御記録所控、権四郎量、長尾量、千坂量、竹俣量とあり／162

1008-110 当三月就御経御呵者御免申渡書(御馬廻組室伏市右衛門元妻ちえ他一八名)／一冊(七七丁)／安政七年三月一四日／二四・三×一六・四／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／権四郎量／墨付五丁、権四郎量とあり／162

1008-111 御記録所御呵者御免申渡下書(与板氏登坂又四郎妻ひさ他九名)／一冊(五丁)／慶応三年三月一四日／二四・四×一六・六／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御記録所／墨付二丁、色部量御記録所とあり／162

1008-112 御呵者御免申渡下書(侍組清野輶馬他一名)／一冊(五丁)／明治元年三月一四日／二四・四×一六・六／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／長門量／162

幕末維新期—文久・元治年間—文久上洛—御上洛量帳

- 0270-01 「文久三年 御上洛量帳 卷首」(総目録) / 一冊(一一一丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・四×一八・四 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地後補表紙 楮紙 / 図書第七三号 / 037-041
- 0270-02 「文久三年 御上洛量帳 卷之二」(文久二年一〇月〜二月、金銭や諸物品の出納・調達他、「御評判」部 米沢量) 四一項目 / 一冊(一四二丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・四×一八・四 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙 楮紙 / 037-041
- 0270-03 「文久三年 御上洛量帳附録 卷之壹」(文久二年の幕府の制度改革に伴う江戸屋敷の改変関係) / 一冊(五八丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・六×一八・三 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙 楮紙 / 037-041
- 0270-04 「文久三年 御上洛量帳 卷之二」(文久三年正月〜六月、「御評判」部 京都量) 三一項目 / 一冊(一一三丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・六×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙 楮紙 / 037-041
- 0270-05 「文久三年 御上洛量帳附録 卷之二 大尾」(江口縫殿右衛門北陸道中記、五十嵐左門中山道越後路道中記) / 一冊(六五丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・五×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙 楮紙 / 037-041
- 0270-06 「文久三年 御上洛量帳 卷之三」(文久三年二月〜四月、金銭や諸物品の出納・調達他、「御評判」部 京都量) 二八項目 / 一冊(一一三丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・五×一八・六 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙 楮紙 / 037-041
- 0270-07 「文久三年 御上洛量帳 卷之四」(文久三年四月〜六月、金銭や諸物品の出納・調達他、「御評判」部 京都量) 五五項目 / 一冊(一六三丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・五×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙 楮紙 / 037-041
- 0270-08 「文久三年 御上洛量帳 卷之五」(文久三年五月〜七月、金銭や諸物品の出納・調達他、「御評判」部 京都量) 三三項目 / 一冊(一四四丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・三×一八・四 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙 楮紙 / 037-041
- 0270-09 「文久三年 御上洛量帳 卷之六」(文久三年六月〜九月、金銭や諸物品の出納・調達他、「御評判」部 京都量) 一七項目 / 一冊(一〇三丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・四×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙 楮紙 / 037-041
- 0270-10 「文久三年 御上洛量帳 卷之七」(文久三年七月〜八月、金銭や諸物品の出納・調達他、「御評判」部 京都量) 二五項目 / 一冊(一一三丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・五×一八・四 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙 楮紙 / 037-041
- 0270-11 「文久三年 御上洛量帳 卷之八」(文久三年八月〜九月、金銭や諸物品の出納・調達他、「御評判」部 京都量) 二四項目 / 一冊(一一一丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・五×一八・四 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙 楮紙 / 037-041
- 0270-12 「文久三年 御上洛量帳 卷之九」(文久三年八月〜一〇月、金銭や諸物品の出納・調達他、「御評判」部 京都量) 三五項目 / 一冊(一二四丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・六×一八・四 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙 楮紙 / 037-041
- 0270-13 「文久三年 御上洛量帳 卷之十」(文久三年一〇月〜同四年二月、金銭や諸物品の出納・調達他、「御評判」部 米沢京都量) 二六項目 / 一冊(八九丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・三×一八・四 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙 楮紙 / 037-041
- 0270-14 「文久三年 御上洛量帳 卷之十一」(文久四年二月〜慶応元年一〇月、金銭や諸物品の出納・調達他、「御評判」部 米沢量) 一五項目 / 一冊(一〇六丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・五×一八・六 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙 楮紙 / 037-041
- 0270-15 「文久三年 御上洛量帳 卷之十二」(文久三年三月〜二月、金銭や諸物品の出納・調達他、「御評判」部 米沢量) 三五項目 / 一冊(九八丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・四×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙 楮紙 / 明治九年三月一七日付の置賜県庁宛の為替方煙草税預書が挟み込み / 037-041
- 0270-16 「文久三年 御上洛量帳 卷之十三」(文久三年一〇月〜同四年三月、金銭や諸物品の出納・調達他、「御評判」部 米沢量) 二六項目 / 一冊(九二丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・六×一八・四 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙 楮紙 / 037-041

0270-117 「文久三年 御上洛量帳 卷之十四」(文久二年九月、同三年二月、金銭や諸物品の出納・調達他、「米沢量」一二項目)／一冊(八六丁)／江戸後期(年月日未詳)／二九・二×一八・八／豎帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙 楮紙／037-1041

0270-118 「文久三年 御上洛量帳 卷之十五」(行列帳四種、「御行列」部 米沢京都量)／一冊(一〇七丁)／江戸後期(年月日未詳)／二九・六×一八・五／豎帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙 楮紙／037-1041

0270-119 「文久三年 御上洛量帳 卷之拾六」(京都での行列帳三種)／一冊(一〇六丁)／江戸後期(年月日未詳)／二九・九×一八・二／豎帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙 楮紙／037-1041

0270-120 「文久三年 御上洛量帳 卷之拾七」(京都での行列帳三種)／一冊(九八丁)／江戸後期(年月日未詳)／二九・五×一八・三／豎帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙 楮紙／037-1041

0270-121 「文久三年 御上洛量帳 卷之十八」(行列帳六種、「御行列」部 京都量)／一冊(一一一丁)／江戸後期(年月日未詳)／二九・三×一八・二／豎帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙 楮紙／037-1041

0270-122 「文久三年 御上洛量帳 卷之十九」(安政四年八月、文久四年四月、心得等の触達、「御触達」部 京都量)一二四項目)／一冊(一一〇丁)／文久三年／二九・四×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙 楮紙／037-1041

0270-123 「文久三年 御上洛量帳 卷之二十」(安政四年八月、文久三年二月、金銭や諸物品の出納・調達、事務処理他、「御濟口」部 米沢量)九七項目)／一冊(一四九丁)／江戸後期(年月日未詳)／二九・八×一八・二／豎帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙 楮紙／037-1041

0270-124 「文久三年 御上洛量帳 卷之二十一」(文久三年二月、四月、金銭や諸物品の出納・調達他、「御濟口」部 京都量)八九項目)／一冊(一二三丁)／江戸後期(年月日未詳)／二九・六×一八・五／豎帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙 楮紙／037-1041

0270-125 「文久三年 御上洛量帳 卷之貳拾貳」(文久三年五月、七月、金銭や諸物品の出納・調達他、「御濟口」部 京都量)五九項目)／一冊(一二五丁)／江戸後期(年月日未詳)／二九・七×一八・六／豎帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙 楮紙／037-1041

0270-126 「文久三年 御上洛量帳 卷之二十三」(文久三年七月、九月、金銭や諸物品の出納・調達他、「御濟口」部 京都量)四四項目)／一冊(九六丁)／江戸後期(年月日未詳)／二九・八×一八・六／豎帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙 楮紙／037-1041

0270-127 「文久三年 御上洛量帳 卷之二十四」(文久三年八月、一〇月、金銭や諸物品の出納・調達他、「御濟口」部 京都量)一六項目)／一冊(一〇六丁)／江戸後期(年月日未詳)／二九・六×一八・六／豎帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙 楮紙／037-1041

0270-128 「文久三年 御上洛量帳 卷之二十五」(文久三年一〇月、慶応二年二月、金銭や諸物品の出納・調達他、「御濟口」部 米沢京都量)四九項目)／一冊(九二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二九・六×一八・五／豎帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙 楮紙／037-1041

0270-129 「文久三年 御上洛量帳 卷之二十六」(文久二年一〇月、一二月、米沢・江戸・京都の御役所間の用状留、「御用状」部 米沢量)二六項目)／一冊(一三五丁)／江戸後期(年月日未詳)／二九・五×一八・二／豎帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙 楮紙／037-1041

0270-130 「文久三年 御上洛量帳 卷之二十七」(文久三年正月、三月、米沢・江戸・京都の御役所間の用状留、「御用状」部 米沢量)二六項目)／一冊(一三九丁)／江戸後期(年月日未詳)／二九・七×一八・五／豎帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙 楮紙／037-1041

0270-131 「文久三年 御上洛量帳 卷之二十八」(文久三年三月、同四年二月、米沢・江戸・京都の御役所間の用状留、「御用状」部 米沢量)三三項目)／一冊(一一八丁)／江戸後期(年月日未詳)／二九・七×一八・二／豎帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙 楮紙／037-1041

0270-132 「文久三年 御上洛量帳 卷之二十九」(文久二年一月、同三年九月、米沢・江戸・京都の御役所間の用状留、「御用状」部 京都量)四四項目)／一冊(一二二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二九・六×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙 楮紙／037-1041

0270-133 「文久三年 御上洛量帳 卷之三十」(文久三年三月、六月、米沢・江戸・京都の御役所間の用状留、「御用状」部 米沢量)／一冊(一一九丁)／江戸後期(年月日未詳)／二九・五×一八・五／豎帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙 楮紙／037-1041

02700-34 「文久三年 御上洛量帳 卷之三十一」(文久三年五月、二月、米沢・江戸・京都の御役所間の用状留、「御用状之部 米沢量」) / 一冊(二〇二丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・四×一八・四 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙 楮紙 / 037-041

02700-35 「文久三年 御上洛量帳 卷之三十二」(文久二年九月晦日、同三年二月六日の日記、「日記之部 米沢京都量」五三項目) / 一冊(一〇三丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・六×一八・五 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙 楮紙 / 037-041

02700-36 「文久三年 御上洛量帳 卷之三十三」(文久三年二月七日、四月八日の日記、「日記之部 京都量」六八項目) / 一冊(九三丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・六×一八・五 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙 楮紙 / 037-041

02700-37 「文久三年 御上洛量帳 卷之三十四」(文久三年四月一日、七月二〇日の日記、「日記之部 京都量」九七項目) / 一冊(七八丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・六×一八・七 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙 楮紙 / 037-041

02700-38 「文久三年 御上洛量帳 卷之三十五」(文久三年七月二一日、九月二二日の日記、「日記之部 京都量」一〇七項目) / 一冊(一二五丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・四×一八・四 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙 楮紙 / 037-041

02700-39 「文久三年 御上洛量帳 卷之三十六」(文久三年九月二三日、元治元年三月の日記、「日記之部 米沢京都量」六六項目) / 一冊(九三丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・六×一八・五 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙 楮紙 / 037-041

02700-40 「文久三年 御上洛量帳 卷之三十七」(米沢から江戸への道中での寺社や宿などへの心遣等の少額支出、「配賦之部 京都量」) / 一冊(六七丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・五×一八・四 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙 楮紙 / 037-041

02700-41 「文久三年 御上洛量帳 卷之三十八」(供奉した藩士の姓名や荷物割振、経費他、「米沢量」) / 一冊(一四四丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・五×一八・五 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙 楮紙 / 037-041

02700-42 「文久三年 御上洛量帳 卷之三十九」(京都屋敷詰堀尾重興による朝廷や諸大名への贈答記録、「京都量」) / 一冊(七六丁) / 江戸後期(年月日未詳) /

二九・六×一八・四 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙 楮紙 / 037-041

02700-43 「文久三年 御上洛量帳 卷之四拾」(文久三年正月、一〇月、京都で支出した経費、「金銭御用意之部 京都量」) / 一冊(一三六丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・三×一八・四 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙 楮紙 / 最後に「卷之三十九」と記載あり / 037-041

02700-44 「文久三年 御上洛量帳 卷之四十一」(文久三年の上洛中に要した什器や食料品、紙他の消耗品の書上、「諸品御用意之部 京都量」) / 一冊(九三丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・五×一八・五 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙 楮紙 / 037-041

02700-45 「文久三年 御上洛量帳 卷之四拾貳」(御所警衛に対する褒詞及び在京中の藩士への賞罰、「米沢京都量」四項目) / 一冊(一〇三丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・六×一八・五 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙 楮紙 / 037-041

幕末維新期—文久・元治年間—文久上洛—日記類

0621 木漕政愿「京都日記」(文久二年一月二三日、同三年六月一六日) / 一冊(一九三丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二四・五×一七・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地格子刷毛目原表紙 楮紙 / 敬堂 / キ〇本 林泉文庫 / 下小口に「京都日記ノ一」と墨書あり、後にまとめたものか / 097

0622 荏戸政養「皇東両都日記」(文久三年三月二八日、一〇月二八日) / 一冊(一五〇丁) / 文久三年 / 二三・二×一六・八 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 政養 / 維新資料 / 下小口に「京都江戸日記三」と墨書あり、内題は「皇都日記」、荏戸は江戸家老 / 097

0622-01 杉原謙覚書(皇東両都日記帳は江戸家老荏戸政養自筆の日記で幕末の貴重な内容) / 一通(一紙) / 近代(年月日未詳) / 一八・三×五三・八 / 切紙 楮紙 / 政養ノ血類者謙しるす / 此皇京両都日記帳ハ：唯一の資料也 / 0622-01に挟込 / 097

0625-01 「御上洛御日帳」(文久三年元旦、二月二八日、一月一日米沢発駕、九日江戸着、二月一〇日京都着) / 一冊(四三三丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・〇×一九・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地横刷毛目原表紙 楮紙 / 図書第八三号 / 098-1099

0625-02 「御上洛御日帳」(文久三年三月一日～四月二九日)／一冊(三二五丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・〇×一九・〇／豎帳 袋綴冊子装 茶地横刷毛目原表紙 楮紙／098-099

0625-03 「御上洛御日帳」(文久三年五月一日～六月二九日)／一冊(二二六丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・五×一九・〇／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地横刷毛目後補表紙 楮紙／098-099

0625-04 「御上洛御日帳」(文久三年七月一日～八月三十一日)／一冊(二〇六丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・八×一八・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地横刷毛目後補表紙 楮紙／098-099

0625-05 「御上洛御日帳」(文久三年九月一日～十一月三日)／一冊(三三七丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・五×一九・〇／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地横刷毛目後補表紙 楮紙／098-099

0635 「日誌」(文久三年正月二日～一〇月一日、主に京都情勢に関する書状類、京都本陣日記の写他)／一冊(二四丁)／(文久三年)／一五・〇×一九・五／横半帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／二〇本／107

0646 「御在京中 御状留」(文久三年正月～九月、上杉齊憲・茂憲宛書状及び両人の書状、口上書書留)／一冊(五九丁)／文久三年／一六・〇×二四・五／横半帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／108

0658 青海川宇右衛門他二名宛 御役屋達書(六月二七日の米沢藩主参内及びその後の在京中の動向を報知)／一通(三紙)／(文久三年)八月二五日／一五・〇×九・〇七／切継紙 楮紙／御役屋↓青海川宇右衛門他二名／六月廿七日 屋形様御参内：可被申達候以上／端書に墨書「亥六月廿七日御参内同八月四日重御旨を以御覚留」と朱書き「御在京中之悦之御触留」の後筆あり、便宜的に日記類に収めた／112

幕末維新期—文久・元治年間—文久上洛—曦山公上洛記

0268-01 「曦山公上洛記 卷之一」稿本(上杉齊憲の上洛記録、文久二年六月一日～同三年三月二九日)／一冊(七〇丁)／近代(年月日未詳)／二四・五×一七・一／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・黄茶地後補表紙 楮紙／キ〇本・〇冊／キ〇本ラベルの下に別のラベルあり読める文字は「〇冊」、校訂の朱書きあり、後補の表題「曦山公上洛記 元」／036

0268-02 「曦山公上洛記 卷之二」稿本(文久三年四月一日～六月二九日)／一冊(六七丁)／近代(年月日未詳)／二四・六×一七・一／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・黄茶地後補表紙 楮紙／一一〇ノ2／校訂の朱書きあり、後補の表題「曦山公上洛記 亨」／036

0268-03 「曦山公上洛記 卷之三」稿本(文久三年七月一日～八月一七日)／一冊(六五丁)／近代(年月日未詳)／二四・七×一七・一／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・黄茶地後補表紙 楮紙／一一〇ノ3／校訂の朱・墨書きあり、後補の表題「曦山公上洛記 利」／036

0268-04 「曦山公上洛記 卷之四」稿本(文久三年八月一八日～二月二五日)／一冊(六〇丁)／近代(年月日未詳)／二四・六×一七・一／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・黄茶地後補表紙 楮紙／一一〇ノ4／校訂の朱書きあり、後補の表題「曦山公上洛記 貞」／036

0269-01 「曦山公上洛記 卷一」(上杉齊憲の上洛記録、文久二年六月一日～同三年三月二九日)／一冊(七一丁)／近代(年月日未詳)／二六・三×一七・三／豎帳 袋綴冊子装 黄地銀砂子散し原表紙 楮紙／0268の清書本／無

0269-02 「曦山公上洛記 卷二」(文久三年四月一日～六月二九日)／一冊(六六丁)／近代(年月日未詳)／二六・三×一七・九／豎帳 袋綴冊子装 黄地銀砂子散し原表紙 楮紙／0268の清書本／無

0269-03 「曦山公上洛記 卷三」(文久三年七月一日～八月一七日)／一冊(六六丁)／近代(年月日未詳)／二六・六×一七・八／豎帳 袋綴冊子装 黄地銀砂子散し原表紙 楮紙／0268の清書本／無

0269-04 「曦山公上洛記 卷四 終」(文久三年八月一八日～二月二五日)／一冊(五九丁)／近代(年月日未詳)／二六・五×一七・七／豎帳 袋綴冊子装 黄地銀砂子散し原表紙 楮紙／0268の清書本／無

幕末維新期—文久・元治年間—屋代郷

0826-01 書状(麦田安次郎・花井咲太郎を練兵修業させた、0826-01-01～07の表紙に転用)／一通／近代(年月日未詳)／三一・二×二一・七／折紙 楮紙／右者今般練：所江止宿之／0826-01-07貼継／後欠、後半は0826-02カ、紙背に「文久三年屋代郷事件 蟪斧 乾 林泉文庫」と記し表紙に転用／12

幕末維新期—文久・元治年間—貼込帳

0826—02—05 嶋田多門宛 上郷村々願書写(屋代郷の百姓一統、連印差上は御免下されたく)／一通(二紙)／文久四年正月二三日／二九・五×四六・三／継紙楮紙／郡中上郷村々連印御奉行様／去春中屋代郷：可被成ト奉願上候／端裏書「是ハ公裁ニ致度趣之願也」／0826—02—01 10貼紙／柱題「乍恐以書附奉申上事」／123

0826—02—06 御用掛方・御教道方宛 根岸村他一三ヶ村願書写(公裁願いたき存慮につきひとまず帰村評判の上、二三日未明に回答いたす所存のこと)／一通(二紙)／文久四年正月二日／二九・五×五一・三／継紙 楮紙／根岸村他一三ヶ村御用掛様・御教道方様／此度仙台表江：奉願上候以上／端裏書「元治元年」／0826—02—01 10貼紙／柱題「以書附奉申上事」／123

0826—02—07 春日宮蔵・渡辺源右衛門宛 竹森村御林守市郎兵衛他七名答書写(野火類焼にて竹森村内御林反別のうち五二八本焼失につき)／一通(三紙)／文久三年七月／二九・五×九八・三／継紙 楮紙／竹森村御林守市郎兵衛他七名／春日宮蔵殿・□辺源右衛門／御林反別：不申上候以上／端裏書「文久三亥年入川の清水焼失御吟味御答書写し」／0826—02—01 10貼紙／柱題「御吟味ニ付御答書申上候」、二位宿村総代才吉の奥書あり／123

0826—02—08 御役所宛 竹森村御林守市郎兵衛他七名請合証文(野火類焼にて竹森村内御林焼失につき、御林守両人は暇を仰せ渡さる旨承知)／一通(二紙)／元治元年／二九・五×四八・二／継紙 楮紙／竹森村御林守市郎兵衛他七名御役所／上杉弾正大弼様：奉差上処如件／端裏書「濟口御請証文ハ江戸表分御下知と米沢御役所ニハ文之差出申候」／0826—02—01 10貼紙／柱題「奉差上御請証文之事」／123

0826—02—09 春日宮蔵・渡辺源右衛門宛 助七郎他五名願書写(焼失した御林五二八本の内訳及び焼失分の増役にて当惑につき村請御免下されたく)／一通(三紙)／文久三年／二九・五×七九・六／継紙 楮紙／助七郎他五名御出役春日宮蔵殿・渡辺源右衛門殿／御林焼松：差上申処如件／端裏書「文久三亥年川清水御林高畑村分大立迄野火焼木書上候写し」／0826—02—01 10貼紙／柱題「差上申一札之事」／123

0826—02—10 触書(大目付触、他領へ罷越す心得違いの者を嚴重に制導すべきこと)／一通(四紙)／江戸後期(年月日未詳)／一五・二×九五・二／切継紙 楮紙／諸国百姓共：御役人方左／0826—02—01 10貼紙／柱題「天明元年八月御触」、関連文書一点を貼紙／123

1189 外題なし(1189—01—56の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／三二・二×四六・〇／堅紙 共紙後補表紙／元は紙綴綴冊子装／無

1189—01 長尾景孝宛 木滑政愿・高津景尊書状(両都の形勢切迫、外患内憂、幕議攘夷に一決他)／一通(二紙)／(文久三年)八月二四日／一五・四×八九・七／楮紙／木要人・高単人／権四郎様侍史／八月十五日：奉拝祈候頓首／元は切継紙／無

1189—02 長尾景孝他三名宛 竹俣久綱書状(奥向残らず焼失、御方々様駿河守様御住居所へ立除き)／一通(二紙)／(安政三年)正月二日／一六・五×五六・五／楮紙／美作／権四郎殿他三名／以飛脚申入候：御座候以上／元は切継紙／無

1189—03 長尾景孝他三名宛 竹俣久綱書状(立退後も御方々様異条なし、白金御奥は補理不日引き移りの手配他)／一通(三紙)／(安政三年)正月三日／一六・三×一二・七／楮紙／美作／権四郎殿他三名／尚亦以四日：差立申候以上／元は切継紙／無

1189—04 米沢詰之間宛 江戸詰之間書状(両御奥が白金住居の時は手薄にて当惑、奥向普請につき小姓頭の筈と遠察)／一通(三紙)／(安政三年)正月五日／一六・三×八二・五／楮紙／江戸詰之間／米沢御詰之間／一翰奉拝呈候：草々拝呈頓首／竹俣久綱筆、元は切継紙／無

1189—05 高津景尊宛 新兵衛書状(御貸遊ばされ候人へ御仕向の儀別紙の通り、当月下旬までに出府他)／一通(三紙)／(元治元年)正月六日／一六・〇×一〇五・七／楮紙／新兵衛／高津様／一翰奉拝呈候：奉希上候再拜／高津景尊筆の下げ札あり、元は切継紙／無

1189—06 詰之間宛 木滑政愿・高津景尊書状(東公領内願も申し上げず進達取計、左兵衛督様無心の義、仙台表の模様如何、御参府忠勤他)／一通(三紙)／(元治元年カ)正月七日／一五・五×八九・〇／楮紙／要人・単人／御詰之間／元日御差立脚便：奉拝祈候以上／元は切継紙／無

1189—07 高津景尊・木滑政愿書状(屋代郷につき仙台藩埒もなき申立て、斉藤へ米沢藩三万頂戴の建白懇談)／一通(三紙)／(元治元年カ)二月一日／一五・五×一二・三・五／楮紙／高津単人・木滑要人／去ル八日私共：申上候以上／端裏書「極密もの」／詰之間筆の下げ札あり、元は切継紙、斉藤は斉藤辰吉／無

1189—08 米沢詰之間宛 江戸詰之間書状(尾張前大納言・会津中将着府、近日

隠居願書進達、鉄丸来月初旬まで登らされたく等、左兵衛督様直話) / 一通(九紙) / (慶応元年)二月三日 / 一四・七×三一四・〇 / 楮紙 / 江詰之間 ↓ 米御詰之間 / 大鹿御字眼: 如斯御座候以上 / 元は切継紙、左兵衛督様は吉井信発 / 無

1189-109 高津景尊・木滑政愿書状 (隠居御家督願の手順につき内史の話) / 一通(二紙) / (慶応元年)二月三日 / 一六・三×五二・六 / 楮紙 / 高津隼人・木滑要人 / 左兵衛督様: 奉存候以上 / 元は切継紙 / 無

1189-110 国司信濃宛 毛利慶親・定広軍令写 (諸隊上京につき長州藩軍令) / 一通(二紙) / (元治元年) / 二四・八×三四・〇 / 楮紙 / 一今度其方事: 可申付者也 / 柱題「申聞条々」、元は豎紙 / 無

1189-111 書付 (長州諸隊上京につき御留守惣城代・殿様御供等の家臣名、天王山切腹者書置) / 一通(二紙) / (元治元年) / 二四・七×三四・二 / 楮紙 / 御黒印御書: 護至尊也 / 付箋ウワ書「長州父子黒印軍令条々之写」、元は豎紙、前番号と同一資料カ / 無

1189-112 米沢詰之間宛 桜田詰之間書状 (国許非常の大火につき水野侯より金一万両御拝領) / 一通(五紙) / (元治元年)七月一日 / 一四・八×一五七・〇 / 楮紙 / 桜田詰之間 ↓ 米沢御詰之間 / 以手紙申入候: 如此御座候以上 / 『上杉家御年譜』元治元年七月一日条に全文掲載、元は切継紙、桜田詰は色部久長カ / 無

1189-113 大滝忠恕・多門宛 若林秀秋書状 (役人衆自身廻村済みの候上、島田奉行同道再廻村他) / 一通(三紙) / (元治元年)七月一日 / 一四・五×八四・五 / 楮紙 / 作兵衛 ↓ 新蔵様・多門様 / 日々堪兼候: 得御意候頓首 / 元は切継紙、異筆にて宛名の様を消して脇に下と記し、差出人名に様、脇に上で記す / 無

1189-114 会談所宛 書状 (烏有道人作の戯篇、島田が実情尋問すれば嫌疑涉りむつかしきにつき他) / 一通(七紙) / (元治元年)七月一日 / 一四・五×一二〇・五 / 楮紙 / 高畑 ↓ 会談所 / 僕久潜伏: 得御意候頓首 / 元は切継紙、筆跡から大滝忠恕筆と推定 / 無

1189-115 御南宛 若林秀秋書状 (氏家へ休息にて然るべしと達し置くにつき) / 一通(二紙) / (元治元年)七月一日 / 一四・五×二六・二 / 楮紙 / 作兵衛 ↓ 御南様 / 豊年穰之無終: 申上候以上 / 異筆にて差出人の脇に上、宛名の脇に下、また「詰之間披見」等の書き込みあり / 無

1189-116 竹俣久綱・荻戸政養宛 千坂高雅書状 (大目付より別紙の通来り御披見に廻す) / 一通(二紙) / 江戸後期(年未詳)七月一日 / 一四・五×二七・〇 / 楮紙 / 与一 ↓ 両公 / 豊年無終とハ: 被下度候頓首 / 『別紙披見』等の久綱・政養の書き込みあり、元は切継紙 / 無

みあり、元は切継紙 / 無

1189-117 風説書 (禁中において大合戦等禁門の変につき京都・大津宿より申候写) / 一通(二紙) / (元治元年)七月 / 一五・五×六九・〇 / 楮紙 / 当月十九日: 布袋屋へ申来ル / 端裏書「西伊勢蔵布袋屋へ参候節京都より参り候一通写」 / 元は切継紙 / 無

1189-118 水野忠精宛 色部久長答書 (総裁職内命につき国方存慮尋まで暫時猶予願ひ) / 一通(三紙) / (元治元年)七月二日 / 一五・五×一四七・〇 / 楮紙 / 昨日被仰含: 奉歎願候謹白 / 『上杉家御年譜』元治元年七月二日条に全文掲載、元は切継紙 / 無

1189-119 書状 (禁裏近辺へ長州人多数押寄せ大騒動につき老中より回達) / 一通(四紙) / (元治元年)七月 / 一四・五×一一五・〇 / 楮紙 / 然者昨十八日: 以急乱筆 / 端裏書「七月廿三日西刻京都より申来候由二而閣老より御回し写」 / 『上杉家御年譜』元治元年七月二三日条に全文掲載、元は切継紙 / 無

1189-120 書状 (禁裏近辺へ長州人多数押寄せ大騒動につき老中より回達) / 一通(三紙) / (元治元年)七月 / 一四・五×一〇一・〇 / 楮紙 / 然者昨十八日: 以急乱筆 / 端裏書「七月廿三日西刻京都より申来候由二而閣老より御回し写」 / 1189-119と同文、元は切継紙 / 無

1189-121 上杉斉憲建白書写 (松平大膳太夫上屋敷警衛につき仕法替願) / 一通(四紙) / (元治元年)七月 / 一六・〇×二二五・〇 / 楮紙 / 松平大膳大夫: 建白仕候以上 / 端裏書「御建白写」 / 『上杉家御年譜』元治元年七月二九日条に全文掲載、元は切継紙 / 無

1189-122 米沢詰之間宛 桜田詰之間書状 (水野侯から長州上屋敷破却、浪人召捕援兵差出の内達、早急三〇〇人御登を要請) / 一通(八紙) / (元治元年)七月二五日 / 一四・五×二八八・〇 / 楮紙 / 桜田詰之間 ↓ 米沢御詰之間 / 去ル廿三日: 可被成候以上 / 『上杉家御年譜』元治元年七月二五日条に全文掲載、元は切継紙 / 無

1189-123 竹俣久綱宛 杉原親賢書状 (長州征伐当地屋敷破却、天子玉座御移は虚説他) / 一通(五紙) / (元治元年)七月二五日 / 一五・八×二五四・〇 / 楮紙 / 石見 ↓ 美作様 / 鼓手兩人: 不取敢申上候以上 / 元は切継紙 / 無

1189-124-101 米沢詰之間宛 桜田詰之間書状 (長州侯上屋敷請取のため松平中務大輔へ御加勢他) / 一通(七紙) / (元治元年)七月二六日 / 一五・〇×二四二・二 / 楮紙 / 桜田詰之間 ↓ 米沢御詰之間 / 昨夜四時頃: 可申入存候以上 / 1189-124-101、102紐一括 / 『上杉家御年譜』元治元年七月二六日条に全文掲載、高津景尊宛

木滑政愿書状〔御年譜〕掲載を付す、元は切継紙／無

1189-24-02 高津景尊宛 木滑政愿書状（屋敷より長州立ち退きの歎願書差し出しにつき）／一通（二紙）／（元治元年）七月二六日／一七・四×二二・三／楮紙／木滑要人↓高津隼人様／当邸詰之重役：如斯御座候／1189-24-01、02紐一括／元は切紙／無

1189-25 御詰之間宛 書状（江戸長州屋敷召上にて人数登らせ武器の手配につき）／一通（二紙）／（元治元年）七月二九日／一五・二×四二・六／楮紙／小子↓御詰之間／須賀川入口：右草々不入人尽／元は切継紙、竹俣久綱筆の筆／無

1189-26 五十嵐美真宛 宮島誠一郎・小田切勇之進探索書（禁門の変の状況につき会津藩儒者庄田半蔵の話）／一通（二〇紙）／（元治元年）七月三一日／一五・六×四一五・〇／楮紙／熊蔵・勇之進↓左門様／先達而京都：奉折候頓首／元切継紙、宮島誠一郎・小田切勇之進二人の筆／無

1189-27 探索書（長州残兵追撃、新潟から京地へ廻した船下関にて奪い取られる）／一通（五紙）／（元治元年）八月／一五・六×一三六・〇／楮紙／一七月廿日：大略荒増申上候／端裏書「京地風聞書」／柱題「八月朔日暁若松城江京都表分り飛脚到着左之通」、元は切継紙、宮島誠一郎筆の筆跡／無

1189-28 長尾景孝宛 杉原親賢他二名書状（総裁職内命辞退を左兵衛督周旋、飛鳥井様へ縁組、御西退隱御内意他）／一通（二〇紙）／（元治元年）八月七日／一五・八×五〇八・〇／楮紙／石見他二名↓権四郎様／右地上々様：早々申上候以上／端裏書「極秘」／元は切継紙／無

1189-29 探索書（毛利大膳太夫軍令状写、水戸浪士引き取り、長州上屋敷破却他）／一通（三紙）／（元治元年）八月／一六・〇×一一六・五／楮紙／八月七日小見鍋蔵：探索書不申候／柱題「八月七日小見鍋蔵京師一乱聞繕書差出候内」、元は切継紙／無

1189-30 長尾景孝・莅戸政養宛 竹俣久綱書状（総裁職内命辞退につき左兵衛督と相談、水野閣老より御沙汰止みとの談）／一通（五紙）／（元治元年）八月九日／一四・七×一四五・七／楮紙／美作↓権四郎殿・九郎兵衛殿／以別紙申入候：如斯御座候／「上杉家御年譜」元治元年八月七日条に全文掲載、元は切継紙／無

1189-31 米沢詰之間宛 桜田詰之間書状（長州追討供奉留守番の御請、長州家来殿重取締の建白、会津への見舞使者他）／一通（八紙）／（元治元年）八月七日／一六・〇×二七四・四／楮紙／桜田詰之間↓米沢御詰之間／東出府之上：申入候以上／「上杉家御年譜」元治元年八月七日条に全文掲載、元は切継紙／無

1189-32 米沢詰之間宛 桜田詰之間書状（幕府親征にて変化朝夕を図りがたき時勢につき出立見合わせ）／一通（二紙）／（元治元年）八月一〇日／一六・〇×八六・五／楮紙／桜田詰之間↓米沢御詰之間／以別紙申入候：草々申入候以上／元は切継紙／無

1189-33 長尾景孝宛 竹俣久綱書状（暫時滞留仰付けられ、大夫、中庶子方承知なく困り入るにつき周旋願）／一通（三紙）／（元治元年）八月一〇日／一五・二×六四・四／楮紙／美作↓権四郎様／寸紙拜呈：奉歎願候以上／元は切継紙／無

1189-34 竹俣久綱歎願書（総裁職内命は国方家臣末々に至るまで不承服につき沙汰止みのこと）／一通（五紙）／（元治元年）八月／一五・八×一九三・二／楮紙／上杉弾正大弼内竹俣美作／先達而同勤：奉嘆願候謹白／「上杉家御年譜」元治元年八月五日条に全文掲載、元は切継紙／無

1189-35-01 桜田詰之間宛 米沢詰之間書状（天機伺使者上京につき諸藩の振合聞繕の上評議専要）／一通（二紙）／（元治元年）八月一四日／一四・七×五六・二／楮紙／米沢詰之間↓さくら田御詰之間／去ル十九日：御申越被成候以上／1189-35-01に02が紙縫で一括／「上杉家御年譜」元治元年八月二五日条に全文掲載、元は切継紙／無

1189-35-02 長尾景孝他二名宛 竹俣久綱書状（評議君慮と符合につき使者色部長門・大國筑後上京、諸家模様聞繕）／一通（二紙）／（元治元年）八月二一日／一五・七×四〇・七／楮紙／美作↓権四郎殿他二名／此御評意：如斯御座候以上／1189-35-01に02が紙縫で一括／「上杉家御年譜」元治元年八月二五日条に全文掲載、1189-35-01の返状、元は切継紙／無

1189-36 桜田詰之間宛 米沢詰之間書状（天下の政務与謀沙汰止み恐れ、長州追討將軍親征、会津公への使者、屋代郷他）／一通（五紙）／（元治元年）八月一四日／一五・二×一五三・〇／楮紙／米沢詰之間↓さくら田御詰之間／脚力川支二而：御座候以上／竹俣久綱筆の付札あり、元は切継紙／無

1189-37 長尾景孝宛 木滑政愿書状（変動も計りがたきにつき同役様一日も早く上京の方）／一通（二紙）／（元治元年）八月晦日／一五・三×八二・七／楮紙／木要人↓権四郎様侍史／御西御同役様：申上候頓首／元は切継紙／無

1189-38 米沢詰之間宛 書状（上京につき麻布侯・古賀先生の御趣意承る）／一通（二紙）／（元治元年）八月晦日／一九・〇×四〇・五／楮紙／小子↓米沢御詰之間／道中先いつれ：此上二御座候／元は切継紙、作者は片山一貫カ／無

1189-39-01 米沢詰之間宛 桜田詰之間書状（上杉へ総裁職の内命につき左

兵衛督の話、水野閣老・水戸様より総裁職の内命) / 一通 (二紙) / (元治元年) 七月一日 / 一四・〇×四七・八 / 楮紙 / 桜田詰之間 ↓ 米沢御詰之間 / 去八日 明九日 : 申入候以上 / 返状を付す、元は切継紙 / 無

1189-39-02 書状 (外藩家格にもなく御請あい成らず) / 一通 (四紙) / (元治元年) 七月二日 / 一五・二×五九・九 / 楮紙 / 御細翰之趣 : 以粘紙申入候 / 1189-39-01 の返状、元は切継紙 / 無

1189-40 米沢詰之間宛 桜田詰之間書状 (水野閣老より太守様へ折々登城あるよう仰せ) / 一通 (一〇紙) / (元治元年) 七月二日 / 一四・三×三五・四・五 / 楮紙 / 桜田詰之間 ↓ 米沢御詰之間 / 去十九日 : 申入候以上 / 『上杉家御年譜』元治元年七月二二日条に全文掲載、元は切継紙 / 無

1189-41 追討令写 (禁闕に対し発砲の罪軽からずにつき長州追討のこと) / 一通 (二紙) / (元治元年) 七月二日 / 一四・八×七三・六 / 楮紙 / 松平大膳大夫 : 可有之事 / 元は切継紙 / 無

1189-42 桜田尊公宛 書状 (屋代郷御頂戴なくては鎮静の期見えず他) / 一通 (二紙) / (元治元年) 七月二日 / 一五・五×九一・一 / 楮紙 / 耄 ↓ 桜田尊公侍史 / 今日も猶 : 相承候頓首 / 末尾の紙が最初に貼られている、元は切継紙 / 無

1189-43 色部久長宛 長尾景孝他三名書状 (総裁職内命につき美作発足、委曲は同人出府の上御沙汰に及ぶべし) / 一通 (四紙) / (元治元年) 七月二日 / 一四・七×九〇・二 / 楮紙 / 権四郎他三名 ↓ 長門殿 / 本月廿二日 : 如是御座候以上 / 元は切継紙 / 無

1189-44 色部久長宛 竹俣久綱書状 (総裁職内命は断然請がたし、屋代郷につき御吟味役人以外の外) / 一通 (三紙) / (元治元年) 七月二日 / 一六・五×九七・五 / 楮紙 / 美作 ↓ 長門様 / 不時御登城 : 可被下候 / 元は切継紙 / 無

1189-45 米沢詰之間宛 桜田詰之間書状 (長州家来警衛、江戸屋敷打入の企ての説、人数不足軍器不備にて登せ評判願) / 一通 (五紙) / (元治元年) 七月二日 / 一六・二×二四・〇 / 楮紙 / 桜田詰之間 ↓ 米沢御詰之間 / 先便前略申入候 : 申入候以上 / 異筆の付札あり、元は切継紙 / 無

1189-46 桜田詰之間宛 米沢詰之間書状 (長州邸藩士の請取、人数武器の手配、会津邸へ見舞い使者、小田切・宮島が近国探索) / 一通 (六紙) / (元治元年) 八月二日 / 一五・二×九八・一 / 楮紙 / 米沢詰之間 ↓ 桜田御詰之間 / 両都之形勢 : 可申入候以上 / 元は切継紙 / 無

1189-47 桜田詰之間宛 米沢詰之間書状 (抜隊龍隊司令官御下知につき) / 一通 (二紙) / (元治元年) 八月二日 / 一五・一×二七・二 / 楮紙 / 米沢詰之間 ↓ 桜田御詰之間 / 抜隊龍隊 : 可被下候 / 元は切継紙 / 無

1189-48 達書 (八月一日一件以降偽勅風説につき宸輪写、長州征伐につき一橋慶喜宛書状写) / 一通 (二紙) / (元治元年) 八月二日 / 一六・二×七三・二 / 楮紙 / 一橋中納言 : 尽すやう候 / 柱題「八月二日総登城之折御達」、元は切継紙 / 無

1189-49 上杉齊憲伺書写 (桜田門外と松平大膳大夫家来引移りの陸軍所の警固行届かねるにつき) / 一通 (二紙) / (元治元年) 八月七日 / 一六・二×三六・三 / 楮紙 / 非常之節 : 御伺仕候以上 / 『上杉家御年譜』元治元年八月七日条に全文掲載、元は切継紙 / 無

1189-50 黒井繁邦他三名上書 (長州藩御預人警衛の陸軍所御手薄につき意見書) / 一通 (三紙) / (元治元年) 八月一日 / 一四・七×一三六・六 / 楮紙 / 黒井小源太他三名 / 拙者共今般 : 此段申上候以上 / 柱題「覚」、元は切継紙 / 無

1189-51 人名等書上 (長州藩士預人の名前、元長州屋敷へ警衛割合、警衛頭取出張人名) / 一通 (六紙) / (元治元年七月) 八月二日 / 一六・二×二四・〇・五 / 楮紙 / 御家様松平中務大輔様 : 繰合出張之方 / 『上杉家御年譜』元治元年七月二日・二八日条に記載、元は切継紙 / 無

1189-52 水野忠精書付写 (御手許より金一万両御内々下さるにつき) / 一通 (二紙) / (元治元年六月二日) / 一四・三×二五・一 / 楮紙 / 当節御暇 : 御内々被下之 / 『上杉家御年譜』元治元年六月二日条に全文掲載、元は切継紙 / 無

1189-53 米沢詰之間宛 江戸詰之間書状 (諸侯参勤復し驚愕、世の間繕い、陸軍所警衛、公領につき仙台藩吏不届、筑波山浪賊退散) / 一通 (三紙) / (元治元年) 九月一日 / 一五・五×一一・一 / 楮紙 / 江戸詰之間 ↓ 米沢御詰之間 / 以別紙申入候 : 御届候以上 / 元は切継紙 / 無

1189-54 柳間席廻状写 (柳之間への大船製造に関し老中への伺書と答書につき) / 一通 (二紙) / (安政元年カ) / 一五・〇×四四・五 / 楮紙 / 御老中江 : 御申進之 / 元は切継紙 / 無

1189-55 長尾景孝宛 新保朝綱・杉原親賢書状 (参勤妻子嫡子改革以前に復し、長州討伐につき天下人心居合如何他) / 一通 (五紙) / (元治元年) 九月一日 / 一四・五×二四三・七 / 楮紙 / 左馬之助・石見 ↓ 権四郎様 / 別紙奉拜啓候 : 奉願候以上 / 元は切継紙 / 無

1189—56 覚書（長州脱藩筑波党へ加わる虚説、水戸の合戦で官軍大敗他、登城時・府内で得た情報）／一通（五紙）／（元治元年）一〇月、十一月／一六・〇×一六五・七／楮紙／十月朔日御登城：よく出候以上／元は切継紙／無

1533 古文書集（上杉大炊頭宛 酒井左衛門尉封紙を1533—01—54の表紙に転用）／一冊／近代（年月日未詳）／三三・二×四六・三／堅紙 楮紙／表題は添付の現代のラベルによる／221

1533—01 和歌詠草写（「たやすからざる世に武士の忠誠のころをよろこひてよめる」とあり、原本は文久三年一〇月）／一枚（一紙）／江戸後期（年月日未詳）／三二・七×四六・五／堅紙 楮紙／たやすからざる世に：世々のおもひて／221

1533—02 孝明天皇宸翰写（堂上以下粗暴論増長のところ掃攘にて感悦につき右一箱遣わす、1533—01の添書か、原本は文久三年一〇月九日）／一通（一紙）／江戸後期（年月日未詳）／三三・〇×四七・〇／折紙 楮紙／堂上以下疎暴論不正之所置：右巻箱遣之者也／221

1533—03 添状写（文久三年八月一八日内命により参内・周旋の御賞として箱入御製二首下賜につき、拝領し重宝秘蔵のこと、原本は明治二年）／一通（一紙）／近代（年月日未詳）／二七・一×三八・〇／堅紙 楮紙／此宸翰者文久三亥年八月十八日：一身ヲ離サス重宝秘蔵仕候／1533—01、02の添状、1533—04に糊付け／木板／221

1533—04 江戸警固大名等書上（嘉永六年六月三日夜北アメリカ蒸気船浦賀渡来につき江戸御固大名・旗本人数書上、図入り）／一枚（二紙）／嘉永六年六月／四〇・六×二九・〇／堅紙 楮紙／嘉永六丑年六月相州浦賀御奉行：人数ことごとく巨細にするす／木板／221

1533—05 狂歌写（異国船渡来につき江戸での狂歌）／一通（三紙）／（嘉永六年）／一四・五×八三・八／切継紙 楮紙／陣羽織鳥渡異国人からひ張：又御出かい八月／端裏書「嘉六 今度異船渡来ニ付江戸狂歌」／221

1533—06 長尾景直他三名宛 竹俣久綱書状（非常の大変にて一人役所にては行き届かず、昨夜両御奥方々様駕籠にて御庭で夜明かす、江戸地震の報知）／一通（二紙）／（安政二年）一〇月四日／一六・五×六二・〇／楮紙／美作↓権四郎殿他三名／以別紙申入候然者：右早々申入候以上／元は切継紙／221

1533—07 長尾景直他三名宛 竹俣久綱書状（江戸地震につき江戸表御奥向等の状況、江戸屋敷の被害状況の詳細報知）／一通（五紙）／（安政二年）一〇月四日／一六・七×二〇二・二／楮紙／美作↓権四郎殿他三名／尚亦以飛脚申入候然者全：脚便相

設申入候以上／元は切継紙／221

1533—08 長尾景直他三名宛 竹俣久綱書状（江戸地震につき御奥方々様始め三屋敷に死人一切なし）／一通（三紙）／（安政二年）一〇月二日／一四・九×七一・六／楮紙／美作↓権四郎殿他三名／以早飛脚申入候然者今夜四ツ半頃：鎮火之上御用向可申入候以上／元は切継紙／221

1533—09 五平太宛 木滑政愿書状（江戸地震につき江戸各所における被害状況報知）／一通（六紙）／（安政二年一〇月一〇日）／一五・五×一九七・四／楮紙／要人↓五平太様／大変一件御手前方江之：万々御披見奉願候以上／元は切継紙／221

1533—10 上杉弾正大弼役位宛 新善光寺口上書（旧因縁のごとく御寄附下されたく願ひ）／一通（三紙）／亥（文久三年）二月／一七・八×一一六・九／楮紙／泉浦寺山内・新善光寺↓上杉弾正大弼様御役位御中／当寺本尊者人皇八十七代：被為聞召詔宜奉希候已上／端裏書「口上書」／元は切継紙／221

1533—11 伺書（公方様二条城到着時刻および警衛人数につき伺ひ）／一通（二紙）／（文久三年）三月二日／一九・六×四二・〇／楮紙／一明後四日公方様御京着：御教示被下度奉願候／端裏書「奉伺候覚」／下札下部欠／元は切継紙、下札あり、木滑政愿の筆／221

1533—12 条目（京都守衛時における隊士心得）／一通（二紙）／（文久三年）／一六・二×三六・六／楮紙／苅戸・竹俣美作↓千坂との／一御所向之御用砌不可：懇ニ可被相達候以上／端裏書「御守衛士心得条々」／元は切紙、朱書き・修正・付箋あり、草稿か／221

1533—13 意見書（攘夷親征実現への対応を要請、行幸供奉等拜命の上は身命をなげうち尽力すべきこと）／一通（一紙）／（文久三年）／一五・八×四〇・四／切紙 楮紙／先達而豊丘公へ：少しも遺憾無御座候／元は切紙／221

1533—14 若林秀秋宛 苅戸政養書状（御家の趣意は右の通りにて、周旋方の談判いずれにて事が起こるか不審につき参考のため回覧のこと）／一通（一紙）／江戸後期（年月日未詳）／一五・八×二五・〇／切紙 楮紙／苅戸↓若林様御親披／御家の御趣意ハ右之通り：参考之為相廻申候以上／元は切紙／1533—13に関する内容カ／221

1533—15 書状（長州藩からの接触への対処経過報知）／一通（二紙）／江戸後期（文久三年カ）一九日／一六・一×四〇・九／楮紙／荒木道へ罷出候処今朝：勿々頓首／元は切継紙／221

1533-16 江戸・米沢宛 京都書状(攘夷親征に向けた工作について報知、今日御用にて四侯参内いまだ御帰り前にて模様分ならず)／一通(三紙)／(文久三年)八月一日／一六・一〇七二・六／楮紙／京都両弟↓江戸・米沢賢兄(前欠)儀二御座候：御用状二相讓申候頓首/前欠、元は切継紙/221

1533-17 若林秀秋宛 木滑政愿・高津景尊書状(囚人出奔の報告につき愕然、此表の事柄は単人が探索も不明明にて油断なく探索のこと他)／一通(四紙)／(文久三年)七月七日／一六・六〇一四七・三／楮紙/単人・要人↓作兵衛様/七月九日飛脚到着二付旧冬内済：別而奉拝察候事二御座候示答/元は切継紙/221

1533-18 若林秀秋・大滝忠恕宛 木滑政愿・高津景尊書状(出奔預人捕縛のこと、新蔵様御上京につき伺、諸大名上京のこと仙台・佐竹は未だ分ならず)／一通(四紙)／(文久三年)七月二日／一五・四〇一三三・九／楮紙/単人、要人↓作兵衛様・新蔵様/二白御沙汰書一冊別封：御承知置可被下候以上/元は切継紙/221

1533-19 若林秀秋・大滝忠恕宛 本多左京・布岡式部書状(明五日会津藩馬揃にてご主人様ご苦勞の儀、御中宿の儀承知)／一通(三紙)／(文久三年)八月四日／一六・四〇五二・九／楮紙/布岡式部・本多左京↓若林作兵衛様・大滝新蔵様御答/御紙表拜見候如：如此御座候以上/元は切継紙/221

1533-20 中里盛直宛 多門書状(大賊召捕、広野惣左衛門数度願出にて店板榭等大破し川へ投げ去られるにつき大工人足手当てなされたく)／一通(四紙)／(文久三年)一〇月一日／一四・九〇一〇・三／楮紙/多門↓丹下様/以来防風雷雨の晴候如：右得御意度如斯御座候以上/元は切継紙/221

1533-21 石原孫助・斎藤達吉宛達書(屋代郷村々百姓共騒動につき出張吟味のこと)／一通(一紙)／亥(文久三年)三月一日／二〇・六〇九・五／楮紙↓評定所留役 石原孫助・同 斎藤辰吉/一羽州置賜郡屋代郷村々：場所出張吟味被仰付/元は切継紙/221

1533-22 井上正直宛 伊達慶邦届書(羽州置賜郡屋代郷村々百姓共騒立一件への対処報告、原本は文久三年カ)／一通(三紙)／江戸後期(年月日未詳)／一四・三〇一〇四・五／楮紙/一羽州置賜郡屋代郷村々百姓共：一通り申上候/元は切継紙/221

1533-23 江戸詰之間宛 米沢詰之間書状(大火の模様につき承知、文政七年の例により借金または御救小屋手配申達)／一通(三紙)／(元治元年)四月二三日/一五・一〇九五・〇／楮紙/米沢詰之間↓江戸御詰之間/以別紙申入候然者：以四日飛脚申入候以上/元は切継紙/221

1533-24 本間孫四郎願書(非常の大火につき駿河守様より金一〇〇両お手当のところ、各別の助力も差し上げたたく)／一通(二紙)／(元治元年)五月一日/一三・七〇四二・一／楮紙/本間孫四郎/一金百両 駿河守様より：此段被仰上候以上/柱題「覚」、元は切継紙/221

1533-25 毛利業広宛 長尾景直書状(麻布侯より御大變御察し金一〇〇両進ぜられ受納につき江戸表へ沙汰のこと)／一通(三紙)／(元治元年)五月一日/一四・八〇四一・七／楮紙/景直↓上総公/麻布侯より御大變御察金：御心を用られ恐入申候頓首/元は切継紙/221

1533-26 覚書(非常大火にて諸役向焼失にて便宜の地へ場所替)／一通(二紙)／元治元年四月二日/一五・八〇七四・七／楮紙/今度非常大火諸役向焼失二付便宜之地：取行之方御決評二相成候事/元は切継紙/221

1533-27 江戸詰之間宛 米沢詰之間書状(御登勢驚愕、屋代郷警衛へも差し向けることにて鉄砲等不足)／一通(四紙)／(元治元年)六月二日/一四・五〇一一・七／楮紙/詰之間↓御詰之間/去廿日御差立之飛脚昨夜着浪人静謐：御沙汰可申上候不尽/元は切継紙/221

1533-28 高津景尊・木滑政愿書状(浪士騒立につき追討令および潜伏の風聞、浪士騒動に対する対応につき)／一通(四紙)／(元治元年)六月二日/一五・七〇七二・〇／楮紙/木滑要人・高津単人/浪士騒立候二付而八夫々御追討も：相略申候此段申上候以上/元は切継紙/221

1533-29 達書(非常の節は竹橋門外へ出、田安仮御殿にいる大目付・目付の内へ届けるよう)／一通(一紙)／江戸後期(年月日未詳)／一四・四〇一一・三／楮紙/非常の節ハ竹橋御門外へ：相届候様達之事/元は切継紙/221

1533-30 江戸詰之間宛 米沢詰之間書状(屋代郷取締として渋谷驚郎下すところ激烈の廉なく寛大、その後の対応につき報知)／一通(三紙)／(元治元年)六月二日/一四・六〇六六・九／楮紙/詰之間↓江戸御詰之間/一昨廿日賃便江申入候通り屋代郷：可申入如斯御座候以上/元は切継紙/221

1533-31 米沢詰之間宛 桜田詰之間書状(浪士一条につき竹橋御門固めのこと、警衛上京につき)／一通(六紙)／(元治元年)六月二日/一四・五〇一五二・五／楮紙/桜田詰之間↓米沢御詰之間/飛脚並賃便江之御用状：御挨拶旁如此御座候以上/元は切継紙/221

1533-32 覚書(屋代郷百姓仙台城下表へ出訴におよぶ者の書上)／一通(一紙)／江戸後期(年月日未詳)／一四・五〇三三・二／楮紙/屋代郷百姓共仙台城下表江：

沢木栄之助／端裏書「屋代郷百姓共仙台城下表江：山吉与助控之写し」／元は切紙／221

1533-33 米沢詰之間宛 桜田詰之間書状（上州・野州浪士不法にて暫時御暇は下されざる旨今夕方御達、井上侯より催促書お渡しになり愕然、道中筋油断なく御登方評決のこと）／一通（四紙）／（元治元年）六月一日／一四・四×一六一・一／楮紙／桜田詰之間↓米沢御詰之間／各地上々様益御機嫌能：以飛脚如此御座候以上／付札五点あり、元は切紙／221

1533-34 達書（昨夜願隨寺庫裏脇に葉積あり、何者か火を灯す者あり、武士体ものも抜き身振り回し、火辺へ近寄れば怪我いたす等の申触ある由）／一通（一紙）／（元治元年カ）六月六日／一五・九×二八・三／楮紙／昨夜四ツ時頃願隨寺庫裏脇：申触し候もの有之候由／元は切紙／221

1533-35 書状（上州・野州浪士騒動につき暫時御暇下されざる旨御達のこと、御固人数備えるよう御達にて用心のこと）／一通（四紙）／（元治元年）／一五・九×一二・〇／切紙／楮紙／以別紙申入候土用入候得共各地：旁早速為御登有之度よし申上候以上／元は切紙／221

1533-36 会谈所上書（拝領金のうち江戸詰と焼失人へ御恵賜金員割合につき）／一通（二紙）／（元治元年カ）七月一日／一四・六×六六・一／楮紙／会谈所／先達而御拝領金之内思召を以江戸詰：猶又鄙衷申上候以上／元は切紙／221

1533-37 歎願書写（重大の内命蒙り本懐の至も、このたびの内命沙汰止に相成るよう嘆願、原本は元治元年八月）／一通（二紙）／（元治元年）／一五・九×四五・八／楮紙／先達而同勤色部長門被召出御名折々：多恐也此段奉嘆願候以上／元は切紙、木滑政愿の筆、上杉齊憲家臣竹俣久綱名で出したものか／221

1533-38 長尾景直宛 杉原親賢・新保朝綱書状（欽之助様御法号につき先例にあわせ大童子のこと、京都情勢・長州征討の状況につき報知）／一通（五紙）／（元治元年）九月一日／一四・五×一七七・五／楮紙／石見・左馬之助↓権四郎様 侍史／欽之助様御法号為差登被下候二付：相至恐入申候頓首百拜／元は切紙／221

1533-39 報告書（長州の形勢につき、管中の風説にて御進発は上洛と御改めのこと、禁門の変戦況他）／一通（二紙）／（元治元年）／一五・八×五八・〇／楮紙／〇九〇七日会津侯より尚又重役早二而：手続キを稽古屋敷江申事也／端裏書「追々時勢素之書付等ヲ差下可申度候処：」／元は切紙／221

1533-40 長尾景直宛 大國頼隣他二名書状（長州侯への挨拶一条につき、長州よりの直書等上裁のこと）／一通（六紙）／（元治元年）四月三日／一五・七×二四三・

五／楮紙／筑後他二名↓権四郎様／一輪拝啓仕候：条已早々申上候以上／元は切紙／221

1533-41 書状写（長州藩の直書に対する返翰写、原本は元治元年三月）／一通（三紙）／（元治元年）／一五・七×一四・〇／楮紙／旧臘旬五御目付之芳翰：旁如此御座候恐惶謹言／端裏書「長州侯江御挨拶之写」／元は切紙／221

1533-42 米沢詰之間宛 桜田詰之間書状（両都警衛につき京都へ名代派遣のは非につき、広野総左衛門へ乱妨の大賊仙台にて召し捕らえ）／一通（四紙）／（慶応元年カ）五月二六日／一五・七×一六二・六／楮紙／桜田詰之間↓米府御詰之間／本月十八日之御別紙令披見候：御沙汰可有之候以上／付札六点あり、元は切紙／221

1533-43 米沢詰之間宛 江戸詰之間書状（京都警衛幕府より御免のように見え恐悦、去一八日曉田安殿焼失）／一通（三紙）／（慶応元年）閏五月二一日／一六・〇×一二六・一／楮紙／江戸詰之間↓米沢御詰之間／御名代御伺御差函遅成候而は：よろしく可申達御沙汰候以上／付札七点あり、元は切紙／221

1533-44 長尾景直宛 竹俣久綱書状（銃練専要の折柄、西洋流も一人位は御登にても然るべきか、西尾・上田両閣老退役願につき天下大變）／一通（三紙）／（慶応元年カ）八月一日／一六・五×一二三・〇／楮紙／美作↓権四郎様／七月十二日之御細翰奉拝読候：却而ハ御自愛奉庶希候頓首／元は切紙／221

1533-45 書状（君上名代として戸田殿二条城へ登城につき従四位上推叙のことにて祝儀献上、国許非常の衰質のため御暇願）／一通（四紙）／（元治元年）／一四・六×一五三・一／楮紙／以別紙申入候先以各地：右為可申入如此御座候／端裏書「元治元」／元は切紙／221

1533-46 書状草稿（水野閣老へ登城沙汰止になるよう申立にて君上にも申入のところ聞済にて恐悦、長征につき天下重大の事件にて御受けの他なく）／一通（六紙）／（元治元年）／一六・一×二三二・八／楮紙／東出府之上折々御登城御沙汰止二：飛脚申入候以上／端裏書「元治元」／元は切紙／221

1533-47 書状草稿（京都表長州人数入り込みにて京地鎮撫の議論、長州檜屋敷の破却および浪人捕縛につき人数派遣の評議）／一通（六紙）／（元治元年）／一四・一×二二二・〇／楮紙／去ル廿三日黄昏大御目付：無／元は切紙、書止部分見え消しし赤字訂正、赤字部分「御取置可申成候以上」カ、作成者は江戸詰之間と推定／221

1533-48 書状草稿（頑民一条公裁願いにつき多人数仙台に滞留にて早速落着するよう、信義を失うは美政の瑕瑾）／一通（六紙）／（元治元年）／一四・八×一八三・二／楮紙／昨日之御沙汰書間坊より相達候所：無油断御手配有之度存候／元は切紙／

221

15333-49 書状草稿（此度騒擾につき御伺の使者上京のところ、非常の時勢につき進献一切御受納しないとのこと）／一通（三紙）／（元治元年）／一五・五×九四・五／楮紙／追日秋冷二相移候得共：寸楮拝呈頓首／元は切継紙／221

15333-50 意見書（御隠居家督につき、公儀の模様を見合わせて遅れ家臣追々暴発にいたれば取締方如何にて深く御考のこと）／一通（七紙）／（慶応元年四月）／一五・一×二一五・七／楮紙／今般御隠居家督思召立之儀は：此段申上候再拜具／元は切継紙、『上杉家御年譜一七』に同文の意見書が慶応元年四月三日付竹俣美作・荻戸九郎兵衛宛 若林作兵衛にて掲載あるが、本意見書は木滑政愿の筆による／221

15333-51 水野忠精宛 上杉齋憲書状写（隠居家督の儀につき一念なく宿志貫徹するよう周旋下されたく、原本は慶応二年五月二三日）／一通（二紙）／（慶応二年）／一五・四×八三・二／楮紙／只今左兵衛督職を以御内示被下候：深御心得置被下度候／端裏書「五月十三日水閣老へ御挨拶直書」／元は切継紙、柱題「水閣老御答に御直書」／221

15333-52 水野忠精宛 上杉齋憲書状案（不本意ながら隠居の上早速御暇にて帰国したく、原本は慶応二年五月一日）／一通（三紙）／（慶応二年）／一四・二×一〇二・七／楮紙／然ハ兼而御頼談仕候国情之儀：此段も御心得置被下度奉存候／端裏書「水閣老へ御直書」／元は切継紙、柱題「水閣老御直書早案 序米略々」／221

15333-53 徳川慶喜宛 達書写（慶喜へ此頃輦轂不穩につき守衛総督を任ずること、原本は元治元年三月）／一通（一紙）／（元治元年）／一七・八×四六・七／切紙楮紙↓「橋中納言」此頃輦轂之下彼是不穩二付：被安敷慮候様可有処置被仰出候／元は切継紙／221

15333-54 米沢詰之間宛 江戸詰之間書状（板倉閣老へ御暇条御伺のところ来月初旬御願済の内話、人数不足につき役所評判別紙の通り早急御登せられたく）／一通（七紙）／（慶応二年）五月二二日／一四・六×一二二・七／楮紙／桜田詰之間↓米沢御詰之間／以別紙申入候先以各地上々様：以飛脚如此御座候以上／15333-01-54 貼込／付札三点あり、元は切継紙／221

幕末維新期—文久・元治年間—手控

0891 高山弥右衛門「桜田御門外広小路持口御備隊」（行列図、広小路と東物見脇の持口と日比谷御門外御用屋敷の各隊、御出馬の本隊他）／一冊（二九丁）／元治元年

九月／三三・〇×一一・〇／横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／添持 高山弥右衛門／赤ラベル表記無／墨付二四丁／137

1038 立岩則親「手控帳」（元治元年四月一六日〜一〇月一六日、米沢の大火関係）／一冊（五六丁）／元治元年三月／一五・〇×三九・〇／横帳 長帳綴 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／立岩則親／墨付五三丁、一丁目の表題「我妻土産」／163

1039 立岩則親「荏戸美家計」（主に幕府や他藩宛の江戸留守居高津景尊、中之間年寄木滑政愿他の書状控）／一冊（四二丁）／元治元年三月／一五・三×四〇・七／横帳 長帳 綴共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／立岩則親／二丁目の表題「塵芥皆集是」／163

1325-01 「維新私史料」（文久二年頃の諸国風説）／一冊（七二丁）／文久二年頃／二三・四×一六・一／縦帳 袋綴冊子装 白茶地茶斜刷毛目原表紙 楮紙／幟〇本 林泉文庫／文久二年四月一三日条に挟込文書あり／複数人の筆／171

1325-01-01 申上書下書（御手許本より御記録所拝借の書籍唐錦六冊を類焼につき）／一通（一紙）／文久二年頃／一四・九×一一・八／小切紙 楮紙／御手本御本御記録所拝借：此段申上候以上／文久二年四月一三日条に挟込／柱題「覚」／171

1325-02 維新私史料 二（文久三年頃の京都始め諸国風説、書状、国許への報告他）／一冊（六九丁）／文久三年頃／二三・四×一六・一／縦帳 袋綴冊子装 白茶地茶斜刷毛目原表紙 楮紙／林泉文庫／複数人の筆、旧図書館ラベルには3とあるが、下小口記載の「維新私史料 二」に従い順番を入れ替え、末尾に近代の解説紙一枚挟込／171

1325-03 維新私史料 三（文久二、三年頃の諸国風説）／一冊（七九丁）／文久三年頃／二三・四×一六・一／縦帳 袋綴冊子装 白茶地茶斜刷毛目原表紙 楮紙／林泉文庫／複数人の筆、旧図書館ラベルには2とあるが、下小口記載の「維新私史料 三」に従い順番を入れ替え／171

1325-04 維新私史料 四（文久二年九月一日〜二三日の日記、報告、風説他）／一冊（七〇丁）／文久二年頃／二三・四×一六・一／縦帳 袋綴冊子装 白茶地茶斜刷毛目原表紙 楮紙／林泉文庫／複数人の筆／171

1325-05 維新私史料 五（京都詰藩士による明治元年正月の情勢報告書）／一冊（七二丁）／明治元年頃／二三・四×一六・一／縦帳 袋綴冊子装 白茶地茶斜刷毛目原表紙 楮紙／林泉文庫／「米沢一藩名義…」部分に挟込／複数人の筆／171

幕末維新期—文久・元治年間—書状類

- 1325—05—01 達書控（上杉茂憲、京都警衛御殿に際し御劔拝領）／一通（二紙）／明治元年頃／一五・〇×七六・〇／切継紙 楮紙／從京都之飛脚：以先格可被相達候以上／端裏朱書「慶応二寅十月十八日 世子茂憲公御劔御拝領」／1325—05に挟込／171
- 1325—06 維新私史料 六（慶応三年一月、一二月の京都情勢報告書）／一冊（八三丁）／明治元年頃／二三・四×一六・一／豎帳 袋綴冊子装 白茶地茶斜刷毛目原表紙 楮紙／林泉文庫／複数人の筆、墨付八〇丁／171
- 1329 「戊辰史料」（1329の表紙）／一冊／近代（年月日未詳）／二三・五×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 朱地原表紙 楮紙／ホ〇本／1329—01—04合綴／172
- 1329—01 御役所「元治元年七月京都表騒乱一条同所御屋敷將分来状右二付大御目付御触達并関東筋物騒浮浪人戦争等之諸書物写」（京都屋敷將堀尾重興よりの来状、幕府大目付触他）／一冊（二二丁）／元治元年七月／二三・五×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御役所／林泉文庫／1329—01—04合綴／172
- 1329—02 堀尾重興「長州藩士所々致屯集不穩候二付早速引払候様精々尽力説得可仕旨 御所分被 仰出候旨御老中今蒙御達伏見駅長州家老江説得手続書」（七月七日、一四日、幕府や諸藩との調整、長州藩との交渉等の経過報告）／一冊（二四丁）／元治元年七月／二三・五×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／京都詰 堀尾保助／1329—01—04合綴／172
- 1329—03 「御届書附録」写（戊辰戦争の八月末からの越後、福島、庄内での降伏交渉の推移、招魂碑の祭文案他）／一冊（四八丁）／近代（年月日未詳）／二三・五×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1329—01—04合綴／無地の野紙を使用／172
- 1329—04 「管見論」（兄弟喧嘩につき教諭に反論、侍組と組外等の階級論）／一冊（八丁）／安政七年閏三月／二三・五×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1329—01—04合綴／172
- 1505 「御上洛以来京都江戸御用状留」（文久三年正月、一〇月、石清水行幸への藩主供奉、攘夷親征、八月一八日政変等につき）／一冊（二〇〇丁）／文久三年／二二・九×一六・一／豎帳 大和綴 素紙原表紙 楮紙／長尾／墨付九八丁、破損した下札あり、警備の人数や物品の書付挟込あり、奉行長尾権四郎の役人の手控と推定／220
- 0903—01 木村高継書状（薬研坂老公からの情報、水戸浪士が騒動に乗じて和宮、天璋院を奪取の計画あり、京都滞在の薩摩藩からの申し出により計画は延引のこと他）／一通（四紙）／（元治元年）一〇月晦日／一四・五×一三四・〇／切継紙 楮紙／丈八／薬研坂老公：相認申上候以上／903—01—05紙縫一括／薬研坂老公は吉井信発／137
- 0903—02 浅間甚三郎願書（桃井与橘・浦井只見へ稽古筒一丁張り立てお渡し下されたく）／一通（一紙）／江戸後期（年未詳）六月／一四・六×三八・〇／切紙 楮紙／浅間甚三郎／先年江戸表砲術修行中：此段御伺申上候以上／903—01—05紙縫一括／慶応年間の可能性あり／137
- 1211 若林秀秋宛 木滑政愿・高津景尊書状（頑民一条、常州浪士一件、御進発因循、加州割拠の謀計、御革政向他）／一通（一紙）／（元治元年）一〇月一六日／三一・六×四〇・五／折紙 楮紙／木小子・高小子↓若尊翁玉床下／九月晦日御細翰誦先以：折角御自愛奉拝謝候頓首／170
- 1385—05 徳川家茂請書（横浜鎖港海岸防禦長州処置勅書につき、原本は（元治元年四月）／一通（三紙）／近代（年月日未詳）／一六・五×一三九・〇／切継紙 楮紙／横浜之儀者：御請奉申上候／1385—01—10紙縫一括、1385—05—06封紙一括／177
- 1385—06 幕府沙汰書写（前々御定の割合に心得、参勤交代のこと、原本は元治元年九月一日カ）／一通（二紙）／近代（年月日未詳）／一七・七×五四・五／切継紙 楮紙／万石以上之面々：可有之旨被仰出候／1385—01—10紙縫一括、1385—05—06封紙一括／177
- 1522—01 達書写（非常の大火につき諸事対応の調査・届出の通達）／一通（五紙）／（文久三年カ）三月／一五・〇×一二五・七／切継紙 楮紙／右者此度之大火二付而：其様子委細可被差出候事／端裏書「覚」／1522—01—06紙縫一括／柱題「覚」、文久三年三月五日に米沢城下で大火あり、文中に若林作兵衛の記載があり、年代を推定／221
- 1675 木滑政愿・高津景尊宛 松本誠蔵報告書（元治元年下関戦争の詳細につき、二通の書状写、絵図一枚）／一冊（五丁）／元治元年八月二日／二五・〇×一六・八／豎帳 紙縫綴冊子装 表紙無し 楮紙／松本誠蔵↓木滑要人様・高津隼人様／232

幕末維新期—慶応元年～三年—茂憲公御名代御上洛記

0276-01 「茂憲公御名代御上洛記 一」(0276-01-01、02の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二五・四×一六・五／豎帳 紙縫綴包背装 素紙原表紙／五六四冊・シ〇本／0276-01-01、02合綴／042

0276-01-01 「茂憲公御名代御上洛記 一」(上杉茂憲の上洛に関する慶応元年一月九日～二月一九日の記録)／一冊(五七丁)／近代(年月日未詳)／二四・九×一六・五／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／0276-01-01、02合綴／四冊巻二、三欠本、表紙に朱字で「二閱了」とあり、稿本、朱文字や貼紙等による校訂多数あり／042

0276-01-02 御記録所「慶応元年十二月 若殿様御上洛供奉」(上杉茂憲の上洛供奉家臣の書上)／一冊(一九丁)／近代(年月日未詳)／二四・六×一六・五／豎帳 紙縫綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／御記録所／0276-01-01、02合綴／稿本、朱書き・貼紙等による校訂あり、途中から料紙が変わる、表紙は素紙原表紙、裏表紙は共紙原表紙／042

0276-02 「茂憲公御名代御上洛記 四・五・六」(0276-02-01、03の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二五・二×一七・五／豎帳 紙縫綴包背装 素紙原表紙／シ〇本／0276-02-01、03合綴／042

0276-02-01 「茂憲公御名代御上洛記 四」(慶応二年二月分)／一冊(四四丁)／近代(年月日未詳)／二四・六×一六・七／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／0276-02-01、03合綴／表紙に朱書きで「二閱了」とあり、稿本、朱書き・貼紙等による校訂多数あり、途中で料紙が変わる／042

0276-02-02 「茂憲公御名代御上洛記 五」(慶応二年三月分)／一冊(二九丁)／近代(年月日未詳)／二四・二×一六・〇／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／0276-02-01、03合綴／表紙に朱書きで「二閱了」とあり、稿本、朱書き・貼紙等による校訂多数あり、途中で料紙が変わる／042

0276-02-03 「茂憲公御名代御上洛記 六」(慶応二年四月分)／一冊(三八丁)／近代(年月日未詳)／二四・九×一六・五／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／0276-02-01、03合綴／表紙に朱書きで「二閱了」とあり、稿本、朱書き・貼紙等による校訂多数あり、途中で料紙が変わる／042

0276-03 「茂憲公御名代御上洛記 七・八」(0276-03-01、02の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二四・六×一七・五／豎帳 紙縫綴包背装 素紙

原表紙／五六ノ3／0276-03-01、02合綴／042

0276-03-01 「茂憲公御名代御上洛記 七」(慶応二年五月分)／一冊(四三丁)／近代(年月日未詳)／二四・二×一七・五／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／0276-03-01、02合綴／表紙に朱書きで「二閱了」とあり、稿本、朱書きや貼紙等による校訂多数／042

0276-03-02 「茂憲公御名代御上洛記 八」(慶応二年六月～七月分)／一冊(五二丁)／近代(年月日未詳)／二四・〇×一六・八／豎帳 紙縫綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／0276-03-01、02合綴／表紙に朱書きで「二閱了」とあり、稿本、朱書きや貼紙等による校訂多数／042

0276-04 「茂憲公御名代御上洛記 九・十」(0276-04-01、02の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二四・二×一七・五／豎帳 紙縫綴包背装 素紙原表紙／五六ノ4／0276-04-01、02合綴／稿本、二冊一綴、十の表紙に朱書きで「二閱了」とあり／042

0276-04-01 「茂憲公御名代御上洛記 九」(慶応二年八月～九月分)／一冊(五〇丁)／近代(年月日未詳)／二四・〇×一七・〇／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／0276-04-01、02合綴／稿本、朱書きや貼紙等による校訂多数／042

0276-04-02 「茂憲公御名代御上洛記 十」(慶応二年一〇月分)／一冊(三五丁)／近代(年月日未詳)／二四・〇×一六・五／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／0276-04-01、02合綴／表紙に朱書きで「二閱了」とあり、稿本、朱書きや貼紙等による校訂多数／042

幕末維新期—慶応元年～三年—日記・諸記録

0274-01 「御上洛探索密記 一」(元治二年一月～慶応二年五月)／一冊(一〇四丁)／元治二年／一四・〇×一九・〇／横半帳 長帳綴 素紙原表紙 楮紙／一九ノ5／筆跡等から作成者は堀尾重興と推定／042

0274-02 「御上洛探索密記 二」(慶応二年六月～九月)／一冊(八三丁)／慶応二年／一四・〇×一九・〇／横半帳 長帳綴 素紙原表紙 楮紙／一九ノ6 林泉文庫／筆跡等から作成者は堀尾重興と推定／042

- 0274-03 「御上洛探索密記 三」(慶応二年九月分) / 一冊(二五丁) / (慶応二年)九月 / 一四・〇×一九・〇 / 横半帳 長帳綴 素紙原表紙 楮紙 / 一九ノ七
林泉文庫 / 筆跡等から作成者は堀尾重興と推定 / 042
- 0275-01 「御上洛手控 一」(元治元年、京都警衛担当時) / 一冊(九一丁) / 元治元年 / 一四・〇×一九・〇 / 横半帳 長帳綴 素紙原表紙 楮紙 / 一九七冊 / 筆跡等から作成者は堀尾重興と推定 / 042
- 0275-02 「御上洛手控 二」(慶応二年正月、五月、京都警衛担当時) / 一冊(九四丁) / 慶応二年 / 一四・〇×一九・〇 / 横半帳 長帳綴 素紙原表紙 楮紙 / 一九ノ二・コ本 林泉文庫 / 筆跡等から作成者は堀尾重興と推定 / 042
- 0275-03 「御上洛手控」(元治元年、京都警衛担当時の雑記) / 一冊(九九丁) / 元治元年 / 一四・〇×一九・〇 / 横半帳 長帳綴 素紙原表紙 楮紙 / 一九ノ三 / 表紙表題部分欠損、冒頭に「梅沢孫太郎方秘書借受写」とあり、筆跡等から作成者は堀尾重興と推定 / 042
- 0277 「若殿様御上洛供奉」(上杉茂憲上洛に供奉した人員) / 一冊(二二丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・二×二〇・〇 / 縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 七〇本 / 042
- 0278 堀尾重興「若殿様御上洛表盤之控 三」(上杉茂憲上洛関係の贈答、使者、触達他、慶応二年四月一日、五月二九日) / 一冊(一〇〇丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 一四・〇×一九・〇 / 横半帳 袋綴冊子装 素紙後補表紙 楮紙 / 堀尾重興 / 七〇本 林泉文庫 / 墨付九四丁 / 042
- 0279 「若殿様京都御下向御行列帳」(上杉茂憲の京都からの帰路の行列人数) / 一冊(二二丁) / 慶応二年一月 / 二・〇×三三・五 / 横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙 / 042
- 0627 甘粕継成「寓京日録 一」(慶応三年一月一日、二月四日の日記) / 一冊(三九丁) / 近代(年月日未詳) / 一一・五×一六・〇 / 横半帳 長帳綴 茶地原表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 甘粕自身が「丁卯上京日記」(市立米沢図書館蔵)などをもとに清書、野紙を使用、内容に蒸気船の見取図、他に船中からみた沿岸の絵三種が貼付されてきたようだが脱落 / 100
- 0634 「京都留守居橋本主税日記」(0634-01、02の表紙) / 一冊 / 近代(年月日未詳) / 一一・五×一七・五 / 横半帳 長帳綴 素紙後補表紙 / キ〇本 / 0634-01、02合綴 / 107

0634-01 橋本信之「慶応三年十一月 京都御屋鋪將被 仰付萬受取諸事留帳」(慶応三年一〇月二五日、二月三〇日、京都御屋敷將としての公務日記) / 一冊(六二丁) / 慶応三年 / 一二・五×一七・五 / 横半帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙 / 橋本主税 / 林泉文庫 / 0634-01、02合綴 / 墨付五一丁、後補表紙題箋に「京都留守居橋本主税日記」とあり / 107

0634-02 橋本信之「慶応四辰歳正月吉旦 日記」(明治元年元旦、二月一日、京都御屋敷將としての公務日記) / 一冊(五九丁) / 明治元年 / 一二・五×一七・五 / 横半帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙 / 橋本信之控 / 林泉文庫 / 0634-01、02合綴 / 墨付五三丁 / 107

0659 「從奉行中諸事触状留」(慶応元年閏五月、二月二八日、奉行御用状、幕府からの触、藩内の達書他) / 一冊(三八九丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 一五・〇×三六・五 / 横帳 長帳綴 茶地縦刷毛目後補表紙 楮紙 / 112

0902 「旗章腰牌」(御馬廻組大砲腰牌、小山孫太郎腰牌) / 一冊(七丁) / 慶応三年五月 / 一五・四×三八・一 / 横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙 / 0902 / 裏打あり / 137

幕末維新时期—慶応元年—三月—書状類

0660-01 青海川宇右衛門他二名宛 御役屋達書(上杉茂憲参内の状況報告) / 一通(二紙) / (慶応二年)三月一日 / 一五・一×四六・五 / 切継紙 楮紙 / 御役屋↓青海川宇右衛門他二名 / 去る五日京都出立之：為承知申達候以上 / 端裏書「若殿様御参内」 / 拝龍顔天盃御頂戴： / 112

0660-02 青海川宇右衛門他三名宛 御役屋達書(上杉茂憲参内の状況報告) / 一通(一紙) / (慶応二年)四月二〇日 / 一五・二×四七・〇 / 横切紙 楮紙 / 御役屋↓青海川宇右衛門他二名 / 從京都之飛脚到着：支配下江茂可被相達候以上 / 端裏書「慶応二寅四月若殿様御参内」 / 拝龍顔天盃御頂戴： / 112

0903-05 大石琢蔵宛 警谷書状(去月二九日に新徴組小林登之助宅に押し込みあり、江戸の治安と諸大名の警衛、前橋浪士よりの密告の江戸放火一件他) / 一通(五紙) / (慶応三年頃カ)一月一日 / 一四・九×一六三・八 / 切継紙 楮紙 / 警谷押↓琢蔵君 / 去月念九日御出し之花書：余者重便候恐惶謹言 / 0903-01、05紙縫一括 / 137

1222-06 千坂高雅他三名宛 毛利業広書状(薩州と戦争、留邸見込みに一御正

義在らせられたきもの) / 一通(四紙) / (慶応三年) 二月二五日 / 一五・〇×二五・〇 / 切継紙 楮紙 / 上総↓太郎左衛門殿他三名 / 今廿五日暁桜田御門今: 後便二譲り候以上 / 1222-01-10 紙縫一括 / 170

1229-08 名古屋四郎探索書(薩州・徳川・英国等外国の動向につき御小人目付伊藤謙之助より聞書) / 一通(四紙) / (慶応三年) 二月二七日 / 一四・七×二三五 / 切継紙 楮紙 / 名古屋四郎 / 名古屋四郎: 聞取之俣申上候以上 / 端裏書 / 御先生聞繕両通之内 / 1229-01-10 紙縫一括 / 170

1232-04 木滑政原宛 色部久長書状(昨年八幡原も主水様御下乗は先例の姿につき、治定の上は使番へ達のことか、御一評下されたく) / 一通(三紙) / (慶応三年) 八月一七日 / 一五・〇×六三・五 / 切継紙 楮紙 / 長門↓要人様 / 昨日麻大夫より: 草々如此御座候以上 / 色部が江戸滞在中で、八幡原大演習の時期などから年代を推定 / 170

1242 千坂高雅他四名宛 竹俣美作書状(長州去月の末薩摩・安芸の誘引にて西宮まで押し出し今にも戦争始まる模様、会津・桑名・幕府必死の勢のこと) / 一通(二紙) / (慶応三年) 二月八日 / 一五・〇×四二・五 / 切継紙 楮紙 / 美作↓太郎左衛門様他四名 / 次第に寒冷に相移候処: 其節と草々拜呈候 / 封紙あり / 170

1413-05 色部久長他二名宛 毛利業広書状(川越藩脱藩浪士が明朝日に江戸市中放火、西之丸に乱入し、天璋院・和宮奪取の企てあり、吉井藩留守居より片桐藤右衛門に報知他) / 一通(五紙) / (慶応三年) 一月三日 / 一四・五×一四・〇・五 / 切継紙 楮紙 / 上総↓長門殿他二名 / 今晦日夕刻薬研坂御留守居入来: 以三日飛脚如斯御座候已上 / 1413-01-05 紙縫一括 / 包紙あり、包紙に「古文書 戊辰以前 一通」とあり、奥に紙縫あり、吉井藩留守居の来訪をうけて同藩邸を訪れ、木村高広が老公(信発)から直に伺った旨を書きとったものを「結副差下」すとあるので、この紙縫に結ばれたものか / 177

幕末維新期—明治元年—一月～四月

0430-01 上杉斎憲建白書草稿(徳川慶喜・松平容保への寛典処置願) / 一通(一紙) / 明治元年三月 / 二一・〇×五五・八 / 継紙 楮紙 / 臣藤原斎憲 / 皇統一系萬古不易: 誠惶誠恐頓首謹言 / 0430-01-02 封紙一括 / 包紙ウウ書 / 昭和十五年一月目黒三郎氏献上、0430、0431が収められていた包装あり / 050

0430-02 斎憲公御年譜抜書(慶喜・容保寛処置願の建白書提出前後) / 一冊(三丁) / 近代・昭和期(年月日未詳) / 二四・〇×一六・二 / 縦帳 紙縫綴冊子装 表紙

無し 機械漉紙 / 0430-01-02 封紙一括 / 050

1110 長吏宮坊官宛 園城寺学頭代万徳院・円宗院願書(復古の典、行われる時節につき往古のごとく例歳年頭参内の許可願) / 一通(二紙) / (慶応四年正月) / 三一・六×八四・一 / 継紙 楮紙 / 園城寺儀者: 奉願候以上 / 端裏書「三井寺口上書」 / 柱題「口上寛」 / 170

1111-01 米沢藩少属半二郎・高山政康宛 目黒忠利書状(雲井龍雄一条につき浮説流害、贖金事件で福岡藩知事罷免) / 一通(三紙) / (明治三年) 七月五日 / 一五・二×一七・三 / 切継紙 楮紙 / 八郎↓半二郎様・政康様 / 残暑尚強烈: 如此御座候 / 1111-01-03、05 / 07 封紙一括、01 / 08 封紙一括 / 封紙あり / 170

1111-02 上杉勝道願書(諸藩同様の取り扱いに対する御礼および東京行幸に際し天機伺願) / 一通(二紙) / (明治元年) 一月二日 / 一六・五×五九・七 / 切継紙 楮紙 / 今年閏四月: 奉申上候以上 / 1111-01-03、05 / 07 封紙一括、01 / 08 封紙一括 / 柱題「十一月廿一日駿河守様より御差出二相成候写」 / 170

1111-03 色部久長他二名宛 千坂高雅・毛利業広書状(麻布奥様御忍御下りにつき籠脇の面々の報告) / 一通(三紙) / (明治元年) 正月 / 一四・七×六八・七 / 切継紙 楮紙 / 千坂太郎左衛門・毛利上総↓色部長門殿他二名 / 一筆令啓達候: 恐々謹言 / 1111-01-03、05 / 07 封紙一括、01 / 08 封紙一括 / 封紙あり / 170

1111-04 酒井忠篤嘆願書(謝罪嘆願につき勤王の実効を表すため箱館賊徒鎮撫委任願) / 一通(二紙) / (明治元年) 一月 / 一四・三×四〇・五 / 切継紙 楮紙 / 源忠篤 / 負罪之臣: 誠惶々々頓首 / 端裏書「庄藩より再応赦」之願面 / 1111-04、08 封紙一括、1111-01-08 封紙一括 / 170

1111-05 千坂高雅宛 浅羽道弘書状(仙台境不安心につき討会の列に入れずもとのまま屋代郷境へ向置を願う) / 一通(二紙) / (明治元年) 四月 / 一四・六×三五・三 / 切紙 楮紙 / 徳太郎↓太郎左衛門様 / 極内々申上候: 覚悟二御座候 / 1111-01-03、05 / 07 封紙一括、01 / 08 封紙一括 / 170

1111-06 千坂高雅・甘粕継成宛 浅羽道弘書状(二井宿閑所に来る長州・薩摩・仙台の遊人に御固大将古海が面談につき報告) / 一通(一紙) / (明治元年) 四月七日 / 二九・四×三五・二 / 折紙 楮紙 / 徳太郎↓太郎左衛門様・備後様 / 早急申上候: 申上候以上 / 1111-01-03、05 / 07 封紙一括、01 / 08 封紙一括 / 170

1111-07 合言葉覚書（戦場の合言葉とその理由）／一通（二紙）／慶応四年三月／二九・六×三六・六／折紙 楮紙／山と問バ：合言葉御座候／1111-01-03、05-07封紙一括、01-08封紙一括／柱題「別紙合言葉」／170

1111-08 大滝忠恕・倉崎清典宛 三浦清之進他二名書状（会津降人取扱、建白仙台と評判、村松も憐れ、古幕臣説得、色部首級取扱他）／一通（五紙）／（明治元年）一月二六日／一四・七×一五・五／切紙 楮紙／三浦清之進他二名市川宮内様・倉崎七左衛門様／敵寒之砌隔地：恐惶謹言／端裏書「東京より十一月廿六日付」／1111-04、08封紙一括、1111-01-08封紙一括／封紙あり／170

1113 長州藩役所宛 願人居村役人嘆願書（正月一八日、播州中村町百姓強勢乱暴にて大混乱につき鎮定願）／一通（一紙）／（明治元年カ）正月二〇日／二四・五×三二・七／豎紙 楮紙／願人居村役人・当地にて取次小沢甚兵衛↓長州様御役所／播州多可郡：奉存候以上／端裏書「播州一揆」／柱題「急御願奉申上候」／170

1116 山吉助五郎「新発田藩大野俊三郎談判書」（越後につき新発田藩大野俊三郎と山吉助五郎・大石琢蔵との談判の次第報告）／一冊（九丁）／慶応四年二月／一五・〇×三八・〇／横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／山吉助五郎／去ル十一日：存せられ候事／三ノ六／170

1118 願書（大坂市中出火の砌私共人数引連れ消方、および屎委託につき）／一通（一紙）／慶応四年二月／二七・二×五五・六／豎紙 楮紙／願人↓上／一今般以 御威光：偏二奉願上候以上／端裏付箋「大坂火消」／柱題「乍恐奉願上候口上之覚」／無

1119 大石琢蔵報告書（討会につき新発田藩大野俊三郎と対談報告）／一冊（二丁）／慶応四年二月／一五・〇×三六・二／横帳 長帳綴 表紙無し 楮紙／大石琢蔵（黒印）／右者当十二日：申上候以上／二ノ五ノ二／170

1125 上杉斉憲宛 鎮撫総督布達写（仙台人数繰込次第先鋒教導し来月十日まで討ち入るべきこと）／一通（二紙）／（明治元年）三月／一四・九×二〇・一／切紙 楮紙／鎮撫総督朱印↓御名／其藩会津隣境：可討入事／170

1127 森長義宛 千坂高雅書状（行人中御兩人参与御殿御詰、書記方詰め、病院隊頭怪我人見届）／一通（二紙）／（明治元年）四月一三日／一四・六×三六・三／切紙 楮紙／御殿↓軍政府／行人中御兩人：如斯二御座候以上／袖裏ウワ書「美保次様御同役中 太郎左衛門」／170

1128 上杉斉憲使者口上書案（討会先鋒仰付けられにつき御二方様のうち鄙邑御来臨を懇願）／一通（二紙）／（明治元年）四月三日／一七・六×五一・六／切紙 楮紙／上杉弾正大弼使者森三郎左衛門・堀尾保助／此度討会先鋒：奉願候以上／170

1130 諸組頭宛 達書（軍役勤め難き者陣代差出、陣代料召し上げ、一兵一銃持参、侍組兵卒差出）／一通（三紙）／（明治元年カ）四月三日／一五・三×六六・七／切紙 楮紙↓諸組頭々／右者朝二有を：可被相達候事／筆跡から作成者は斎藤篤信と推定／170

1131 達書（討会先鋒蒙るにつき急速諸勢繰り出し手後れなきよう心得るべし）／一通（一紙）／（明治元年）四月一日／一四・五×四二・〇／切紙 楮紙／先達而討会応援：可被申達候以上／170

1134-01 竹俣久綱宛 毛利業広書状（一旦引戻の評議一決、長谷川頼母の書物を渡す）／一通（四紙）／（明治元年）正月一五日／一四・五×二五・五／切紙 楮紙／業広↓久綱公／御持下之件：副申候已上／マイク口では1134-02／170

1134-02 諸彦宛 毛利業広書状（徳川大敗、後日徳川朝敵の名を消すよう周旋尽力を願う）／一通（六紙）／（明治元年）正月／一三・五×一七六・〇／切紙 楮紙／業広↓諸彦／美作殿御直命：御執成奉願候／マイク口では1134-03／170

1136 米沢藩軍令写（陣中での心得）／一通（五紙）／（明治元年）四月／三五・五×一六一・五／紙 楮紙／御判／一 総督大隊頭：拾一行軍法者也／柱題「軍令」討会の際に作成、原本は四月八日に軍務総督千坂太郎左衛門に渡されたもの／170

1137-03 二本松藩伺書（会津藩梶原平馬、謝罪のため仙台へ罷出につき米沢藩対応伺い）／一通（五紙）／（明治元年）四月二四日／一七・七×一三四・七／切紙 楮紙／一先頃会津家臣：相同度候事／1137-01-09紙綴一括／柱題「覚」／170

1207-02 達書写（会津討伐王命遵奉につき家中へ諭達、原本は明治元年四月付）／一通（四紙）／近代（年月日未詳）／一五・〇×八六・〇／切紙 楮紙／此度上意 被仰含：相諭置候へ之事二候／端裏書「戊辰四月」／1207-01-10紙綴一括／「上杉家御年譜」明治元年四月五日条に全文掲載、甘糟継成筆／無

1207-05 中里盛直他二名宛 木滑政愿・片山一貫書状（白石にて仙台藩家老若老と会津謝罪使節に閑し対談につき）／一通（四紙）／（明治元年）四月二六日／一四・八×一八・〇／切紙 楮紙／木滑要人・片山仁一郎↓中里丹下様他二名／昨日於福島養老泉：御鳴声奉祈候頓首／端裏書「戊辰四月」／1207-01-10紙綴一括／片山一貫筆／170

1207-07 大滝忠恕・倉崎清典宛 山田秀発報告書（仙台藩一条弥三郎上下他高畠へ罷り越しにつき）／一通（一紙）／（明治元年）四月二五日／一四・七×一五・三／切紙 楮紙／山田民弥↓大滝新蔵様・倉崎七左衛門様／以手紙得御意：書中得御意候

以上／120710110紙縫一括／封紙あり／170

1207108 覚書(世上浮議告諭、仙台へ使節派遣、会津藩士応接等、四月四日会評の内容)／一通(二紙)／(明治元年)四月四日／一四・五×二〇・七／切紙 楮紙／一頭々世上：一極底大策御決評／端裏書「戊辰四月」／1207101110紙縫一括／甘糟継成筆／170

1207109 中川富義意見書(会津謝罪周旋の手順につき建言)／一通(三紙)／(明治元年)四月／一四・七×七五・〇／切紙 楮紙／会津にて此上：不憚多恐申上候／端裏書「戊辰四月中川雪堂先生建議」／1207101110紙縫一括／170

1207110 久保民次意見書(会津討伐のため上下何十人陣屋補理見分につき)／一通(六紙)／(明治元年)四月／一四・七×一〇四・五／切紙 楮紙／久保民次／会津討伐二付：筈と奉存候誠惶謹言／端裏書「戊辰四月」／1207101110紙縫一括／一部糊はがれ／170

1286 意見書(王政復古の大変革も形跡怪しきこともあり、淀伏見戦争も薩長による暴発との風聞もあり、この上は応援の朝命いか得心得然るべきや)／一通(四紙)／(明治元年二月)／一五・〇×九七・〇／切紙 楮紙／本文ノ如キハ只使命ノ大略ヲ述：御示教被下度奉願候／付札はがれ／甘粕継成の筆／171

1287 上意大旨達書(会津討伐先鋒につき家中一統人心団結、国家のため誠忠尽力致すべく組中支配下へ伝達のこと)／一通(三紙)／(明治元年四月)／一五・一×七五・七／切紙 楮紙／斎藤主計・大平主馬／上意之大旨此度奥羽鎮撫使追々：申達候ニとの上意二候／171

1320 大滝忠恕「鎮撫使御下向ニ付仙台出張心控」(明治元年三月一日～閏四月一日)／一冊(二五丁)／明治元年三月／一二・三×一六・〇／横半帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／忠恕(花押)／チ〇本／171

1384 三瀧政清届書控(貢士人選指出および江戸開成所抜擢又者雇名元取調につき)／一通(三紙)／(明治元年)四月二日／一七・七×八三・〇／切紙 楮紙／米沢中将内三瀧清蔵／今般王政御一新：此段御届申上候以上／宛先は太政官と推定／177

1413104 宸翰写(朕百官諸侯に広く誓い、列祖の御偉業を継ぎ、億兆を安撫し、国威を四方に宣布せんとす云々)／一通(五紙)／(明治元年)三月／二〇・五×二七四・八／切紙 楮紙／朕幼弱を以て猝に大統を紹ぎ：国家の為に精々其分を尽すべき事／1413101105紙縫一括／包紙あり、柱題「御宸翰之御写」／177

1520104 千坂高雅他二名宛 毛利業広書状(徳川慶喜帰府後の情勢報知、昨日

竹俣美作へ遣わした一冊にて大抵の形勢判明につき発足見合わせのこと)／一通(六紙)／(明治元年)正月一三日／一四・六×二一六・七／切紙 楮紙／上総↓太郎左衛門殿他二名／以別紙申入候然は：御同船ニ而帰府之由ニ候／端裏書「正月十三日付口」／1520101105紙縫一括／221

1521109 西方揆助闇書(仙台御乗込の節、無礼のあった平勘定平吹清助・粕谷駒太郎への詮議につき)／一冊(二丁)／(明治元年四月頃)／二四・二×一六・五／豎帳 表紙無し 楮紙／間人西方揆助／1521101110紙縫一括／221

幕末維新期—明治元年—閏四月～八月

0431101 上杉斉憲建白書草稿(奥羽列藩歎願書提出につき松平容保寛大処置願)／一通(五紙)／明治元年五月／一八・九×一九九・五／切紙 楮紙／上杉斉憲／臣斉憲誠惶誠恐謹言：誠惶誠恐頓首再拜奏ス／0431101102封紙一括／包紙ウワ書「昭和十五年一月目黒三郎氏献上」、付箋などで加除修正あり／050

0431102 斉憲公御年譜抜書(松平容保への寛大処置願提出前後)／一冊(九丁)／近代(昭和年月日未詳)／二四・〇×一六・五／豎帳 紙縫綴冊子装 表紙無し 機械漉紙／0431101102封紙一括／050

1120 軍政府宛 大野俊三郎意見書(民情掌握のため越後米沢境界線を年貢半減等対策案)／一冊(三丁)／(明治元年)八月一日／三〇・〇×一九・〇／豎帳 紙縫綴冊子装 表紙無し 楮紙／大野俊三郎／御軍政府／一今度下関：多罪々々頓首／二一ノ5ノ1／封筒に入り、封筒にオ〇本／170

1122101 新庄藩他九藩用人宛 森長義廻状(上杉斉憲着府を報知)／一通(二紙)／(明治三年)三月一日／一六・二×八六・二／切紙 楮紙／米沢藩森三郎↓新庄藩他九藩右公御用人様／以廻章致啓上候：如斯御座候以上／1122101106を1122101101の封紙で一括／封紙あり／170

1122102 西郷隆盛宛 三光院書状(姫路藩への高配につき礼状、高須隼人上京し別紙の通り名代として申上)／一通(三紙)／(明治元年)五月二六日／一七・五×九五・〇／切紙 楮紙／三光院↓西郷吉之輔様／一翰啓上仕候：可奉万謝候恐惶謹言／1122101106を1122101101の封紙で一括／170

1122103 西郷吉二郎宛 仁礼平蔵書状(官軍勝利にて同慶、白河合戦での手負い、惠贈品に対し礼状)／一通(二紙)／(明治元年)六月一日／一六・三×八五・五／切紙 楮紙／仁礼平蔵↓西郷吉二郎参人々御中／益御機嫌能：如斯御座候謹言／

1122-01-06を1121-01の封紙で一括/170

1122-04 香坂清典・小野塚忠左衛門宛 佐沢良平書状(去秋中彈藥等交易にて新潟での鉄砲代金として生糸請取強談につき処置願)一通(四紙)明治二年四月/一五・五〇・一七・〇/切継紙 楮紙/佐沢良平↓香坂七左衛門様・小野塚忠左衛門様/去秋中彈藥鉛等:奉企望候事/端裏書「生糸一件佐沢良平差出候書面」/1122-01-06を1122-01の封紙で一括/170

1122-05 西郷隆盛宛 高須隼人書状(当春以来の弊藩變動一条につき直之助名代として上京につき御礼申し上げ)一通(四紙)明治元年五月二七日/一七・五〇・一五・〇/切継紙 楮紙/高須隼人↓西郷吉之助様参人々御中/一筆啓上仕候:如此御座候已上/1122-01-06を1122-01の封紙で一括/170

1122-06 西郷吉二郎宛 安田泰助書状(施条銃三挺、御用金他につき)一通(二紙)明治元年七月二六日/二六・三〇・七六・〇/切継紙 楮紙/安田泰助↓大里攻口ニ而西郷吉次郎様玉床下/一施條銃:頓首不尽/端裏書「元西馬口労町」/1122-01-06を1122-01の封紙で一括/170

1132 竹俣久綱宛 書状(梶原平馬より北越合従、九条より偽官軍差留の書付頂戴等につき依頼)一通(五紙)明治元年閏四月二日/一四・五〇・一五・〇/切継紙 楮紙/小子↓美作様/先達而湯の原:一筆相同申候以上/竹俣の返答を記した付札あり、筆跡から作成者は千坂高雅と推定/170

1133 弁事伝達所達書(織田兵部大輔内山本外也帰につき固場所通行)一通(一紙)明治元年閏四月二日/一五・四〇・四二・五/切紙 楮紙/弁事伝達所(黒印)/右之者帰邑:通行可為致事/織田兵部大輔は天童藩主織田信敏/170

1134-03 人数書(福島へ出兵の二本松藩人数および指揮官)一通(三紙)明治元年八月/一五・四〇・八四・五/切継紙 楮紙/庭坂口より福島表へ:四百七十三人/端裏書「二本松兵隊調」/マイクロでは1134-04/170

1134-04 千坂益三郎上書(ロシアへ援兵依頼、仙台藩と合従他薩賊打倒策)一通(五紙)明治元年八月二〇日/一四・五〇・一五・七・五/切継紙 楮紙/千坂益三郎/逆賊日二増長:念願二御座候恐惶多罪/マイクロでは1134-06/170

1134-06 沢為量家中・新庄藩戸沢家中宛 堀尾重興歎願書(副総督警衛に参上したいが道中難儀のため諸藩解兵等書中をもって御願)一通(三紙)明治元年閏四月二日/一九・二〇・八三・三/切継紙 楮紙/堀尾保助↓沢様御内御家中様・戸沢中務大輔様御内中村養作様竹村直次様/未得貴意候へ共:如此御座候恐惶謹言/裏に陣屋詰藩士の名前あり、マイクロでは1134-01/170

1134-07 上杉斉憲宛 輪王寺宮令旨写(薩賊排斥につき)一通(一紙)明治元年七月/三〇・八〇・三七・八/豎紙 楮紙/嗟呼薩賊:命執達如件/1134-07-09は同文/無

1134-08 上杉斉憲宛 輪王寺宮令旨写(薩賊排斥につき)一通(一紙)明治元年七月/二八・八〇・三八・四/豎紙 楮紙/嗚呼薩賊:命執達如件/無

1134-09 上杉斉憲宛 輪王寺宮令旨写(薩賊排斥につき)一通(一紙)明治元年七月/三〇・八〇・三七・六/豎紙 楮紙/嗟呼薩賊:命執達如件/無

1134-10 軍政府宛 朝岡虎吉上書(ロシア・フランス・プロイセンに奥羽越を質として委任、白石に太政官を立て軍議評定)一通(四紙)明治元年八月/一九・七〇・一九・〇/切継紙 楮紙/朝岡虎吉↓御軍政府/謹而天下之形勢を察し:死罪百拜敬具/柱題「乍恐以書付見込申上候事」/無

1134-13 上書(訓練につき一五匁筒等得手好の道具をもって稽古修行)一冊(二丁)明治元年三月五日/一四・九〇・三六・六/横帳 表紙無し 楮紙/恐多態与姓名不記(黒印)/一訓練も始終:愚存申上候頓首/柱題「謹而奉言上候事」、折紙二紙の右端を糊で継いでいる、マイクロでは1134-07/170

1135 天童藩士野呂武大夫口上書(先般援兵を願ったところ家族一同尊藩へ罷り出る様仰せ下され有難く)一通(四紙)明治元年閏四月/一六・六〇・二七・〇/切継紙 楮紙/織田兵部大輔使者野呂武大夫/先般弊邑非常:御挨拶旁以使者申置候/170

1137-02 大滝忠恕・堀尾重興宛 松前藩士氏家札請書(奥羽列藩盟約にて出兵につき戦争計りがたく諸陣屋へ談判の趣等承知)一通(三紙)明治元年五月一日/一六・〇〇・〇〇・〇/切継紙 楮紙/松前志摩守内氏家札↓大滝新蔵殿・堀尾保助殿/今般奥羽御列藩:伺公仕候以上/1137-01-09紙縫一括/柱題「口上之覚」/170

1137-05 上杉斉憲宛 堀直賀書状(当地へ罷出につき御懇情成し下されにつき御礼)一通(二紙)明治元年/一七・三〇・五二・六/切継紙 楮紙/堀左京亮↓弾正大弼様江/弥御健達:以使者申上候/1137-01-09紙縫一括/堀直賀は越後村松藩主/170

1137-06 蝕書写(徳川家達の家督相続につき)一通(三紙)明治元年閏四月/一五・三〇・五七・五/切継紙 楮紙/一徳川亀之助:右之通可被相触候/1137-01-09紙縫一括/1137-06、07は同一封紙/170

1137-07 片桐忠静宛 香坂七右衛門書状(徳川公相統の触書別紙写にして差し上げ)一通(二紙) / (明治元年)五月一日 / 一五・三五六・五 / 切継紙 楮紙 / 七右衛門 / 藤右衛門様 / 先以御発足以来 : 可申上候以上 / 1137-01 / 09 紙縫一括 / 170

1138 大滝忠恕・堀尾重興宛 館林藩土尾友之進他四名口上書(奥羽列藩盟約につき戦争計り難く談判の趣等承知、御同腹の段を引請) / 一通(四紙) / (明治元年)五月一日 / 一六・四一・一四・五 / 切継紙 楮紙 / 妹尾友之進(黒印) 他四名 / 大滝新藏殿・堀尾保助殿 / 今般奥羽御列藩 : 申上度伺公仕候以上 / 柱題「口上之覚」 / 170

1139 齊藤篤信宛 総督書状(小貫口敗軍、田井口切迫につき二小隊派遣の指示) / 一通(二紙) / (明治元年)六月八日 / 一四・〇×三九・〇 / 切紙 楮紙 / 総督 / 齊藤主計殿 / 昨晚小貫口 : 可被成候以上 / 170

1140-03 三郎左衛門宛 熊之助書状(白川口戦況、仙台藩情気の風説、棚倉にて仙台・会津等軍議につき) / 一通(七紙) / (明治元年)五月二〇日 / 一四・七×二一六・二 / 切継紙 楮紙 / 熊之助 / 三郎左衛門様 / 飛脚御差立候而 : 御厭申様奉折候以上 / 端裏書「戊辰五月」 / 1140-01 / 07 紙縫一括 / 170

1140-04 中里盛直宛 大滝忠恕書状(天童藩主と面会、庄将と会議、筑前藩より米沢へ救助依頼、白川切迫他) / 一通(三紙) / (明治元年)五月二日 / 一六・〇×九五・〇 / 切継紙 楮紙 / 新藏 / 丹下様 / 只今口台の脚力 : 可申上候頓首 / 端裏書「二本松方認 五月二日付大滝書面」 / 1140-01 / 07 紙縫一括 / 一部欠損 / 170

1140-05 大滝忠恕宛 片山一貫他二名書状(沢殿付属勢秋田へ落行の風聞あるにつき秋田藩内之丞と談判) / 一通(二紙) / (明治元年)五月四日 / 一五・〇×四二・五 / 切継紙 楮紙 / 片山他二名 / 大滝様 / 啓急去ル朔日 : 相略申候草々 / 端裏書「戊辰五月」 / 1140-01 / 07 紙縫一括 / 170

1140-06 賢大夫宛 愚意見書(御親兵隊頭御免除、銃術剣術御親兵につき歎願) / 一通(五紙) / (明治元年)五月一〇日 / 一四・五×一二五・〇 / 切継紙 楮紙 / 愚隠拜 / 賢大夫君玉机下 / 久々仙台表 : 奉折候不 / 端裏書「戊辰五月」 / 1140-01 / 07 紙縫一括 / 170

1140-07 直海秀雅宛 江口親常書状(賊兵繰出しにつき相馬藩・我隊少人数のため援軍派遣願) / 一通(三紙) / (明治元年)七月一日 / 一五・七×四八・四 / 切継紙 楮紙 / 江口縫殿右衛門親常(花押) / 直海新兵衛殿 / 只今矢コキ村 : 如此御座候以上 / 1140-01 / 07 紙縫一括 / 旧目録は全六通とあり / 無

1144 達書(中興野固改めにつき) / 一通(二紙) / (明治元年)六月一日 / 一

五・二×二九・八 / 切継紙 楮紙 / 中興野固 : 決評二候事 / 170

1145 齊藤篤信宛 軍政府達書(深夜急撃のため諸隊より勇士取調差出すべし) / 一通(二紙) / (明治元年)六月八日 / 一三・八×四七・八 / 切継紙 楮紙 / 軍政府 / 齊藤主計殿 / 此間之戦状 : 可被差出候以上 / 端裏書「往々切迫」 / 170

1146-01 庄田秀苗宛 宮島誠一郎書状(奥羽列藩同盟建白書提出につき勝海舟・榎本武揚らと相談、榎本の奥羽応援他) / 一通(八紙) / (明治元年)六月八日 / 一五・〇×三三・〇・五 / 切継紙 楮紙 / 誠一郎拜 / 惣五郎様 / 拜面以来御懐敷 : 留筆仕候頓首拜白 / 端裏書「密」 / 1146-01 / 05 紙縫一括 / 170

1146-02 仙台藩重役中・米沢詰之間中宛 宮島誠一郎書状(建白書につき勝・榎本・山岡ら配慮、官兵平潟上陸の風聞、建白書を京都へ提出然るべし) / 一通(五紙) / (明治元年)六月八日 / 一五・〇×一九六・〇 / 切継紙 楮紙 / 宮島誠一郎吉久(花押) / 仙台御重役中様・米沢御詰合中様 / 此表二於而 : 奉仰望候頓首拜啓 / 端裏書「六月十八日付 宮島誠一郎」 / 1146-01 / 05 紙縫一括 / 170

1146-03 嶋津教忠宛 宮島家久書状(庭坂口防禦困難、二本松彰義隊合兵、八島田事件およびかね他) / 一通(四紙) / (明治元年)八月三日 / 一四・九×八九・五 / 切継紙 楮紙 / 三河 / 利島様 / 昨昼迄之條々 : 奉願候以上 / 1146-01 / 05 紙縫一括 / 170

1147-01 木滑政愿・片桐忠静宛 小見鍋藏書状(南部秋田を説得、仙台より鉛受取、宮様白石城御安座を諸藩歎願) / 一通(五紙) / (明治元年)六月二六日 / 一四・八×一五九・六 / 切継紙 楮紙 / 鍋藏 / 要人様・藤右衛門様 / 昨日脚便相達候 : 乱筆申上候頓首 / 端裏書「六月廿六日付 小見鍋藏書面」 / 1147-01 / 04 紙縫一括 / 170

1147-02-02 千坂高雅他二名宛 仙台藩土坂時秀・増田繁幸書状(白川表戦争に及び勝利なく散乱、福島へ差置く人数繰出し二本松藩と防戦) / 一通(二紙) / 明治元年五月二日 / 一五・二×四四・〇 / 切継紙 楮紙 / 坂英力時秀・増田曆次繁幸 / 千坂太郎左衛門様他二名 / 一筆致啓達候 : 恐惶謹言 / 1147-01 / 04 紙縫一括、1147-02-01 / 02 合綴 / 170

1147-02-01 坂時秀他二名宛 千坂高雅・竹俣久綱書状控(白川表戦争勝利なく福島表人数繰出し二本松藩と防戦の趣承知) / 一通(二紙) / (明治元年五月) / 一五・一×八八・七 / 切継紙 楮紙 / 千坂太郎左衛門・竹俣美作 / 坂英力様他二名 / 御札致拝見候 : 御座候以上 / 1147-01 / 04 紙縫一括、1147-02-01 / 02 合綴 / 坂は仙台藩士 / 170

1147-03 仙台藩布告写 (日光宮様の思召にて賊徒追討のため出陣につき伊達慶邦布告および重役添書) / 一通(五紙) / (明治元年) 六月二日 / 一五・二×一七九・五 / 切継紙 楮紙 / 大義を伸皇国: 御意之事 / 1147-01-04 紙繕一括 / 柱題「藩江布告写」 / 170

1147-04 高山政康宛 倉崎清典他二名書状 (新発田へ主意吹込、会津疎暴の振舞あり、越後広大にて千余の兵必要、兵糧米手配) / 一通(三紙) / (明治元年) 五月七日 / 一四・七×八五・二 / 切継紙 楮紙 / 倉崎七左衛門他二名 / 高山与太郎様 / 拜誦越地之形勢: 御座候以上 / 端裏書「戊辰五月」 / 1147-01-04 紙繕一括 / 170

1148 軍令 (六月二日夜大口より十二瀨へ進撃諸隊割合、合言葉) / 一通(二紙) / (明治元年) 六月 / 一三・八×三八・九 / 切紙 楮紙 / 先鋒 新発田二小队: 虎卜答 / 柱題「六月廿一日夜大口より十二瀨江進撃諸隊割合」 / 170

1149 齊藤篤信・原三左衛門宛 軍政府達書 (大兵をもって押参り中興野等を破り見附までも焼き払い等) / 一通(三紙) / (明治元年) 六月二三日 / 一四・五×四五・二 / 切継紙 楮紙 / 軍政府 / 齊藤主計殿・原三左衛門殿 / 黒川村庸三: 可被相量候 / 端裏書「越地報告危変之条」 / 170

1150 木滑政愿宛 小幡親徳書状 (庄内藩士が上山止宿にて話した越後平瀧の様子) / 一通(二紙) / (明治元年) 六月二五日 / 一四・五×四七・一 / 切継紙 楮紙 / 小幡源吾 / 木滑要人様 / 一庄内藩木村: 入御覧候頓拜 / 柱題「詮義事有之上ノ山へ役目之者遣候所今日罷戻左之通」 / 170

1151 軍監軍目付宛 達書 (手柄の者討死手負の者御賞誉につき隊頭・隊長より取調書本陣へ差出のこと) / 一通(一紙) / (明治元年) 六月 / 一五・一×一八・三 / 切紙 楮紙 / 軍監・軍目付 / 右者去月: 被仰出候事 / 170

1152 軍令 (六月二八日より振旗合印等の指示) / 一通(二紙) / (明治元年) 六月 / 一三・六×二七・五 / 切紙 楮紙 / 一振旗ハ: 自印ニ可致事 / 柱題「六月廿八日今」 / 170

1153 齊藤篤信宛 軍政府達書 (増岡孫二郎軍事不任にて御免被免) / 一通(二紙) / (明治元年) 六月二八日 / 一三・五×一五・七 / 切継紙 楮紙 / 軍政府 / 齊藤主計殿 / 増岡孫二郎: 伝達可有之候以上 / 端裏書「増岡御返シ」 六月廿八日 / 170

1154 齊藤篤信宛 軍政府達書 (振旗合印等の指示) / 一通(一紙) / (明治元年) 六月二八日 / 一三・七×二九・〇 / 切紙 楮紙 / 軍政府 / 齊藤主計殿 / 一 振旗之様: 可被相達候以上 / 柱題「今日より改而左之通」 / 170

1155 齊藤篤信宛 軍政府達書 (合印合旗改を隊頭へ達すべし) / 一通(二紙) / (明治元年) 七月三日 / 一三・五×二七・三 / 切継紙 楮紙 / 軍政府 / 齊藤主計殿 / 一 合印ハ白木綿胴巻: 不漏様可被相達候以上 / 柱題「□□之色」 / 170

1156 木滑政愿他二名宛 小見鍋蔵書状 (宮様白石表御安座を列藩歎願、宮様軍事の指揮につき覚王院と談判) / 一通(三紙) / (明治元年) 七月五日 / 一五・〇×一〇・一・二 / 切継紙 楮紙 / 鍋蔵 / 要人様他二名 / 昨四日昼後: 早々申上候以上 / 端裏書「七月五日付□□□□」 / 170

1157-01 中里盛直・木滑政愿宛 佐藤忠恕書状 (上山藩の庄内藩院内繰出し周旋願、新庄藩不信、援兵弾薬送付願) / 一通(二紙) / (明治元年) 七月八日 / 一四・四×九五・〇 / 切継紙 楮紙 / 孫兵衛 / 丹下様・要人様 / 一筆致啓上候: 乱書草々申上候以上 / 1157-01-02 合綴 / 170

1157-02 木滑政愿・中里盛直宛 佐藤忠恕書状 (白河へ繰出す庄内藩に院内口繰出しを談判、国境取戻のため援兵弾薬送付願) / 一通(三紙) / (明治元年) 七月九日 / 一四・四×八一・五 / 切継紙 楮紙 / 孫兵衛 / 要人様・丹下様 / 今八日楯岡止宿: 如此御座候以上 / 1157-01-02 合綴 / 170

1158 木滑政愿・中里盛直宛 古藤政徳・中條政恒書状 (院内峠の状況、新庄藩への疑念、弾薬送付願、御国の出兵を諸藩渴望他) / 一通(二紙) / (明治元年) / 一四・二×七二・二 / 折紙 楮紙 / 伝之丞・与七郎 / 要人様・丹下様 / 再応拜呈仕候: 如斯御座候頓首 / 下札あり、封紙あり、元来は1157を包んでいたもの / 170

1159 齊藤篤信・菅名清忠宛 軍政府達書 (瀧上儀助軍事不任につき御役御免帰国の旨隊頭へ伝達) / 一通(二紙) / (明治元年) 七月九日 / 一三・八×二〇・八 / 切継紙 楮紙 / 軍政府 / 齊藤主計殿・菅名但馬殿 / 瀧上儀助: 可有伝達候以上 / 端裏書「瀧上御返シ」 七月九日 / 170

1160 若林秀秋・木滑政愿宛 静慮庵慈隆書状 (平城落城につき弊邑救援および岩城回復願) / 一通(三紙) / (明治元年) 七月一日 / 一五・五×一一・三・五 / 切継紙 楮紙 / 静慮庵慈隆 / 若林作兵衛様・木滑要人様 / 一 翰奉啓: 奉希候恐惶 / 170

1162 毛利業広宛 鈴木政基書状 (最上表切迫にて本庄大和手勢不足につき応援のため出兵繰出) / 一通(三紙) / (明治元年) 七月一日 / 一五・〇×七八・〇 / 切継紙 楮紙 / 鈴木清蔵政基 (花押) / 毛上総様参入々御中 / 一筆啓上仕候: 棒愚札候恐惶謹言 / 170

1163 木滑政愿・中里盛直宛 佐藤源右衛門書状 (平応援のため二本松兵と合兵するも落城につきこれより最上出張) / 一通(二紙) / (明治元年) 七月一日 / 一六・

○×六〇〇／切継紙 楮紙／源右衛門↓要人様・丹下様／御紙面致拜見候：御推見可被下候／端裏書「戊辰七月」／170

1164 木滑政愿・中里盛直宛 大滝忠恕書状（異国人へ注文物条約取りきめ、兵賦農兵取り立て、弥彦奉納物送付他）／一通（二紙）／（明治元年）七月十九日／一六・〇×四五・〇／切継紙 楮紙／新蔵↓要人様・丹下様／当港先ツ：勿々拝啓／端裏書「七月十九日付越新聞分大滝□□書之留」／下札あり／170

1165 島津教忠宛 江口親常書状（最上表危急につき佐藤源右衛門へ隊下引率差出の御用状御請）／一通（三紙）／（明治元年）七月十九日／一五・〇×七四・〇／切継紙 楮紙／江口縫殿右衛門↓嶋津利馬様／一筆啓上仕候：以飛札申上候以上／170

1166 書上（越後戦線につき軍議にて定めた同盟諸藩の担当）／一通（三紙）／（明治元年）七月十九日／一六・〇×五一・五／切継紙 楮紙／大野村：向山村隊／柱題「七月十九日軍議之上諸藩方面相定候ヶ所」／170

1167-01 三国左近宛 純義隊長渡辺綱之介書状（仙台藩兵隊も集まり小生兵隊疲れのため川俣宿まで引き上げ）／一通（三紙）／（明治元年）七月八日／一六・一×七四・一／切継紙 楮紙／純義隊長渡辺綱之介↓米沢様御藩三国左近様／其後不得貴意：如此御座候／1166-01-03貼継／三国左近は三本左近のことカ／170

1167-02 米沢藩軍事方宛 平藩軍事方書状（探索方報告にて賊徒堀坂筋繰出と申し上げるも湯本口繰出の説承り注進）／一通（二紙）／（明治元年）七月七日／一六・〇×四三・五／切継紙 楮紙／平城軍事方↓米沢様御陣宮御軍事方様／只今綴村探索：如此御座候勿々頓首／1166-01-03貼継／170

1167-03 直海秀雅宛 江口親常書状（我隊越後引揚、蓬田村到着、一〇日その表へ繰出し）／一通（三紙）／（明治元年）七月八日／一五・八×四六・〇／切継紙 楮紙／江口縫殿右衛門親常（花押）↓直海新兵衛宛／一筆致啓達候：如斯御座候恐々謹言／1166-01-03貼継／170

1168 書上（七月二日栃尾方面進撃の諸隊分担）／一通（三紙）／（明治元年）七月／一三・五×一〇五・五／切継紙 楮紙／大先鋒：衝鋒隊不残／柱題「七月廿一日栃尾方面進撃人数配当」／170

1169 島津教忠宛 江口親常書状（相馬三春応援仰せ付られにつき御請、当方合戦始まり引上ぐべき様なき形勢）／一通（二紙）／（明治元年）七月二五日／一五・四×三四・〇／切継紙 楮紙／江口縫殿右衛門親常（花押）↓島津利馬様参人々御中／尊書拝見仕候：如斯御座候恐惶謹言／端裏書「戊辰七月」／170

1170 名前書（七月二五日の進撃死傷者）／一通（二紙）／（明治元年）七月二五日／一三・六×五九・〇／切継紙 楮紙／太刀傷腕：三橋貞吉／端裏書「土ヶ谷死傷」／柱題「七月廿五日進撃死傷人」／170

1171 島津教忠宛 香坂頼母書状（賊軍新発田上陸につき大里峠・熊坂峠を警固、配下と農兵を下関へ繰出し）／一通（三紙）／（明治元年）七月二八日／一五・〇×五八・三／切継紙 楮紙／香坂頼母（花押）↓島津利馬様／一筆致啓上候：如此御座候恐惶謹言／封紙あり／170

1172-01 上杉斉憲宛 輪王寺宮令旨（薩摩藩殲滅につき）／一通（二紙）／（明治元年）七月／三九・五×五四・八／豎紙 楮紙／清淨林院梵忍（花押）・大円覚院義観（花押）↓米沢中将殿／嗟呼薩賊：執達如件／1172-01-02封紙・封筒一括／封紙あり、封紙ウワ書「戊辰ノ役白川宮御令旨（朱筆）「輪王寺一品大王」」／170

1172-02 輪王寺宮令旨添状（奥羽越列藩に宮御方御依頼につき当分は米沢中将殿・仙台中將殿にて施行）／一通（二紙）／（明治元年）七月／二二・五×五六・五／切継紙 楮紙／此度奥羽越：御事二候／1172-01-02封紙・封筒一括／170

1173 列藩同盟軍令（隊頭下知なきうち私に進退禁止等）／一通（二紙）／（明治元年）七月／二〇・〇×三三・五／豎紙 楮紙／一勝之為に：可行軍法者也／柱題「列藩約束之軍律」、一枚目と二枚目左下部分が付着、裏に「越後烈戦参考書類二七」とあり、筆跡は斉藤篤信／170

1174-01-01 三浦政清宛 森長義書状（歎頼書は大滝六老持参につき仙台藩重役福島まで出張すればこの上の都合）／一通（二紙）／（明治元年九月）一日／一八・四〇二二・〇／切継紙 楮紙／三郎右衛門↓清蔵様／大六老最早：可被下候以上／1174-01-01-02合綴／170

1174-01-02 木滑政愿・中里盛直宛 森長義書状（相馬表に徳川氏陸軍隊着船、富岡宿に軍事局を立て總督参謀を定める他）／一通（二紙）／（明治元年）七月二日／二〇・八×二七・〇／豎紙 楮紙／森三郎右衛門↓木滑要人様・中里丹下様／一最上表合戦：拝呈仕候敬白／1174-01-01-02合綴／170

1174-04 片山一貫・小見鍋蔵宛 平田要書状（三春藩違約反逆により討伐を公議府会評にて決定他）／一通（三紙）／（明治元年）七月二七日／一五・五×一三三・七／切継紙 楮紙／要↓仁一郎様・鍋蔵様／一簡拝啓：如此御座候以上／端裏書「七月廿七日平田要書状」／170

1174-05 上書写（御国中の丁壮を兵とし家中一統から金銀類集め金子鋳鑄局を開く等、原本は明治元年七月）／一通（五紙）／（明治元年）七月／一五・〇×一三・

九／切継紙 楮紙／此度之戦争：奉申上候已上／端裏書「戊辰七月御二ノ丸御頭建白写」／170

1174-106 木滑政愿・中里盛直宛 大滝忠恕書状（諸方面の戦い、新潟港への重役詰、見附本陣にて賞典取調、農兵兵賦取立他）／一通（二紙）／（明治元年）七月一八日／一五・八×九三・五／切継紙 楮紙／新蔵↓要人様・丹下様／爾後当地相替：啓上候頓首／170

1174-107 島津教忠宛 佐藤忠恕書状（新庄反逆味方大敗にて米沢・仙台・上山三藩相談し庄内松山領へ引き取り）／一通（三紙）／（明治元年）七月一三日／一四・八×七九・五／切継紙 楮紙／佐藤孫兵衛（黒印）↓島津利馬様／一筆啓上仕候：御座候以上／端裏書「戊辰七月」／170

1174-108 木滑政愿・中里盛直宛 林辺大八他二名書状（新庄・秋田戦線、諸藩盟主として日光宮様天下定まるまで御指揮する外なし他）／一通（二紙）／（明治元年）七月二六日／一四・三×三七・〇／折紙 楮紙／林辺大八他二名↓木滑要人様・中里丹下様／以飛札申上候：奉仰願候謹言／170

1174-109 大滝忠恕他二名宛 木滑政愿他二名書状（越後戦闘、平落城、新潟港規則、戦場賞罰、農兵兵賦取立他）／一通（五紙）／（明治元年）七月二四日／一四・五×二九・七／切継紙 楮紙／米沢三人↓越後三兄／十七日之貴翰：相略候／端裏書「七月廿四日付越後より之書面」／封紙には木滑筆の差出人・宛名の他に、大滝筆の差出人大滝新蔵、宛名木滑要人・中里丹下が記載、大滝書状（1174-105）封紙を転用／170

1174-110 島津教忠宛 江口親常書状（最上表出張仰せ付けられるところ、当表は引場なりがたきにつき）／一通（三紙）／（明治元年）七月二五日／一五・四×五七・二／切継紙 楮紙／江口縫殿右衛門親常（花押）↓島津利馬様人々御中／尊書拝見仕候：如斯御座候恐惶謹言／封紙あり／170

1175 島津教忠宛 大國頼隣書状（板谷での評議、賊は庭坂李平へ繰出す勢にて援軍派遣願等）／一通（一紙）／（明治元年）八月三日／二七・〇×三四・〇／豎紙 楮紙／大國筑後↓島津利馬様／今明時板谷着：奉願候以上／端裏書「戊辰七月」／170

1176 四条隆平言上書（越後不日に鎮静、民政は勤めがたし、高倉卿死去、官代より金穀仕送り無し他）／一通（八紙）／（明治元年）八月五日／一九・三×三五・〇／切継紙 楮紙／隆平（前欠）承仕扱々恐悦：如斯候也謹言／前欠、文書に豎紙を糊継ぎし「明治元年戊辰八月四條隆平卿文書／林泉文庫（林泉文庫印）」と記す／170

1177 木滑政愿・片桐忠静宛 二本松藩士和田要人書状（家中の妻子引き分け手配

のため御領内関門通り方につき伺）／一通（三紙）／（明治元年）八月六日／一四・七×七七・〇／切継紙 楮紙／和田↓木滑様・片桐様／昨日者尊巻：被成候頓首／170

1178 毛利業広他二名宛 千坂高雅書状（惣軍引揚迅速帰国仰せ出だされ御達の趣承知）／一通（二紙）／（明治元年）八月八日／一六・二×六〇・〇／切継紙 楮紙／千坂太郎左衛門↓毛利上総殿他二名／火急総軍引揚：早々以上／170

1179 米沢詰之間宛 新保朝綱書状（相馬破盟、仙台兵駒ヶ峯にて戦争、白石城危機、使者の日光入決定、仙台侯大奮発等）／一通（三紙）／（明治元年）八月一〇日／一五・六×一〇七・七／切継紙 楮紙／左馬之助↓米沢御詰之間侍史／片山口頭委々：奉願候已上／端裏書「戊辰八月」／170

1180 竹俣久綱宛 香坂頼母書状（村上塩野町の間か瀬波辺り切迫につき両口へ出兵仰付られたし）／一通（二紙）／（明治元年）八月一〇日／一五・〇×四三・六／切継紙 楮紙／香坂頼母↓竹俣美作様／以飛札申上候：此段申上候以上／封紙あり／170

1181 千坂高雅宛 庄内藩士石原多門書状（御賢慮伺たく明朝拝願願）／一通（三紙）／（明治元年）八月一日／一六・五×七八・〇／切継紙 楮紙／石原多門↓千坂太郎左衛門様／以手紙得貴意候：斯其節候以上／170

1182 軍令（国家危急大事の際につき諸隊各々必死の覚悟を極め御洪恩に報いるべし他）／一通（三紙）／（明治元年）八月二日／一六・三×一四二・二／切継紙 楮紙／総督・参謀／一此度之防禦：可行軍法もの也／柱題「軍令」／170

1183 千坂高雅宛 庄内藩士石原多門書状（玉川口敗軍にて加勢願い断りのこと余儀なし）／一通（五紙）／（明治元年）八月二日／一五・五×一三九・〇／切継紙 楮紙／多門↓与一様／華墨致拝見候：斯鳳眉候不尽／170

1184-101 千坂高雅他三名宛 長尾景孝書状（賊徒会津猪苗代まで打入につき小田井蔵大隊御城下へ差越しにつき宜しく指揮なさるべし）／一通（二紙）／（明治元年）八月二五日／一四・八×三六・〇／切継紙 楮紙／権四郎↓太郎左衛門様他三名／賊徒会津猪苗代迄：可被成候以上／封紙あり／170

1184-102 千坂高雅宛 孫四郎書状（大國大隊頭等福島へ繰出し、若殿様出馬等）／一通（三紙）／（明治元年）八月一四日／一三・九×九六・〇／切継紙 楮紙／孫四郎↓太郎左衛門様侍史／一筆致啓上候：申上候恐惶謹言／作者は本間孫四郎カ／170

1184-103 石原多門宛 千坂高雅書状案（玉川口敗軍につき応援兵隊差上申すべき様なし）／一通（四紙）／（明治元年）八月二日／一五・二×九四・五／切継紙

楮紙／与一↓多門様／大意二得：御知迄早々以上／糊はがれ／太郎左衛門を墨塗し与一と記す、石原は庄内藩士／170

1184-04 米沢詰之間宛 新保朝綱書状(御国表異論の輩殿科に処せられ然るべきにつき)／一通(二紙)／(明治元年)八月二〇日／一五・五×三二・二／切継紙楮紙／白石詰↓御詰之間／別啓拝呈仕候：無御座候已上／一部糊はがれ／170

1184-05 御家老中宛 江口親常書状(二本松落城、御国境に迫るにつき相馬引き上げ帰陣仰せ付られ承知)／一通(二紙)／(明治元年)八月三日／一六・七×四六・三／切継紙 楮紙／縫殿右衛門↓御家老中様／八月三日之夜：可申上候以上／170

1184-06 木滑政愿・中里盛直宛 田中源之進書状(一二日諸道進撃につき尽力願)／一通(一紙)／(明治元年)八月一日／一四・五×二一・三／切紙 楮紙／田中源之進↓木滑要人様・中里丹下様／一書致呈上候：差馳候以上／170

1184-07-01 書取(仙台藩後藤正左衛門書取の写等津輕藩内情につき)／一通(四紙)／(明治元年)／九八・〇×一五・二／切継紙 楮紙／今般奥羽御盟約：勤仕致居候事／1184-07-01-02封紙一括／柱題「辰之七月十一日弘前城下旅宿御当番佐藤英馬棍文左衛門罷越演説之書取」、糊はがれ、封紙ウウ書「木滑要人様・片桐藤右衛門様 白石詰片山仁一郎・小見鍋蔵」／170

1184-07-02-01 木滑政愿他二名宛 小見鍋蔵書状(相馬出張、江口宰配頭と集會し、福島を救い御国境を丈夫にすると決定)／一通(四紙)／(明治元年)八月四日／一四・六×六九・六／切継紙 楮紙／鍋蔵↓会谈所御三人様／御国江鳥渡：早略申上置候以上／1184-07-01-02封紙一括／1184-07-02-01、02は一紙、小見・片山が別々に記す／170

1184-07-02-02 木滑政愿他二名宛 片山一貫書状(芹沢善三郎と評議し福島城危急につき板谷口の兵隊を福島に派遣他)／一通(三紙)／(明治元年)八月四日／一四・六×一〇八・四／切継紙 楮紙／仁一郎↓要人様他二名／一昨二日：匆々頓首敬白／1184-07-01-02封紙一括／170

1184-08 木滑政愿他二名宛 黒井繁邦書状(別紙御二ノ丸頭の存寄につき金銀御家中町在より募集等採用願他)／一通(三紙)／(明治元年)八月一日／一四・五×七七・八／切継紙 楮紙／小源太↓要人様他二名／態々致啓上候：恐惶謹言／端裏書「黒井書面 御二ノ丸建白」／一部糊はがれ、端裏に木滑の筆で「黒井書面御二ノ丸建白」とあり／170

1184-09 人名書(八月一〇日越後国岩船郡での手負討死行方不明者)／一通(七紙)／(明治元年)／一五・〇×一六一・〇／切継紙 楮紙／鉄砲疵：後藤敬三郎／「八

月十日於越後国岩船郡梨ノ木峠及一戦手負討死之事」同十二日於同国同郡榎木峠同断」とあり、糊はがれ／170

1184-10 毛利業広他二名宛 千坂高雅書状(庄内切迫につき多少最上へ出兵ありたく、天童・屋代郷・仙台への不信懸念他)／一通(三紙)／(明治元年)八月一日／一五・〇×一〇九・〇／切継紙 楮紙／太郎左衛門↓御詰之間／庄内八定めし：可申候以上／封紙あり／170

1185 参謀宛 香坂全昌意見書(関の攻取り等、越後諸口状況につき)／一通(二紙)／(明治元年)八月五日／一五・六×七一・〇／切継紙 楮紙／勘解由↓御参謀／扱々極切迫：拝呈仕候頓首／170

1186 軍政府宛 小川忠弘書状(与板隊大里峠へ出張の趣承知、両参謀のうち一人御固場所御高覧願)／一通(一紙)／(明治元年)八月一日／一六・〇×一五・八／切紙 楮紙／小川源太郎↓大里峠軍政府／金丸八ツ口：申上候以上／170

1187-01 木滑政愿他二名宛 黒井繁邦書状(兵三郎隊頭仰せ付られ東方へ差向、駒ヶ峯に援兵派遣等)／一通(二紙)／(明治元年)八月六日／一四・三×四一・二／切継紙 楮紙／小源太↓要人様他二名／一翰致啓上候：早々□御返し(欠損)／1187-01-02包紙一括／170

1187-02 下条親英・黒井繁邦宛 千坂高雅書状(小池兵三郎に出会い、撤兵隊早々相返しにつき)／一通(一紙)／(明治元年)八月一日／二一・〇×二六・七／切紙 楮紙／太郎左衛門↓外記様・小源太様／黒沢峠二而：可被下候以上／1187-01-02包紙一括／170

1188 千坂高雅宛 本庄昌長書状(賊徒国境に迫り切迫是非なき次第、弾薬懸念につき)／一通(三紙)／(明治元年)八月一日／一四・七×七五・八／切継紙 楮紙／大和↓太郎左衛門様／賊徒国境江：奉願候以上／封紙あり／170

1190 木滑政愿他二名宛 小見鍋蔵書状(新潟にてスネルと約定鉄砲の船着、会津・米沢・仙台にて頼む玉薬、鉄船延引他)／一通(四紙)／(明治元年)八月二日／一四・八×九三・六／切継紙 楮紙／鍋蔵↓要人様他二名／十六日夕仙台表江着：乱筆用事而已申上候頓首／封紙あり／170

1191 賢叔宛 拙甥書状(会津落城間近につき参殿し忠諫を願う、政府の決慮綱木まで申越を願う)／一通(四紙)／(明治元年)八月二日／一五・一×一二四・〇／切継紙 楮紙／拙甥拝書↓賢叔君机下／一薩賊人民を：御申越被成下度奉歎願候不一／170

1192 窪田源右衛門上書（土氣減少につき御引立てのため米成し下されたく等、北条源之進私へ相託す）／一通（三紙）／（明治元年）八月二四日／一五・〇×九四・八／切継紙 楮紙／窪田源右衛門／北條源之進私江相托申候条：其大略書付ニシテ申上候以上／封紙あり／170

1193 千坂高雅・木滑政愿宛 会津藩土萱野長修書状（至極切迫につき援兵願）／一通（三紙）／（明治元年）八月二七日／一五・四×二六・〇／切継紙 楮紙／萱野権兵衛↓千坂太郎左衛門様・木滑要人様／益御勇健奉恭賀候：右御頼迄早啓申上候以上／封紙あり／170

1194-01 千坂高雅宛 今井久右衛門請書（南境手薄につき諸隊一同引揚帰国のこと承知）／一通（一紙）／（明治元年）八月二九日／一四・七×二六・三／切紙 楮紙／今井久右衛門↓千坂太郎左衛門様／貴札拜見仕候：右御請為可申上如斯御座候以上／1194-01-03 封紙一括／封紙ウワ書「天童より今井久右衛門」／170

1194-02 書状（庄内藩大勝利につき弾薬兵糧分取、南部大館を攻め落す）／一通（二紙）／（明治元年）／一五・一×四四・〇／切継紙 楮紙／莊藩今日早打ニ而罷通り：御座候以上／1194-01-03 封紙一括／170

1194-03 千坂高雅宛 今井久右衛門書状（尾花沢より小国へ探索方古藤伝之丞他、拙者隊下召し連れ罷越様につき）／一通（三紙）／（明治元年）八月三一日／一四・八×六三・二／切継紙 楮紙／久右衛門↓太郎左衛門様／此度諸隊引揚帰国：一同願迄差上申候以上／1194-01-03 封紙一括／170

1196 奉行宛 老翁上書（白石に西賊入の風説、会津藩への信義と先代様よりの血統廟堂の大義と軽重早く見切り処置も格別他）／一通（二紙）／（明治元年）八月／三〇・〇×四六・七／継紙 楮紙／老翁↓御奉行／一仙台之戦士何国之合戦ニモ：申上候欽白／端裏書「上」／封紙あり、筆跡から作成者は高津景尊カ／170

1197 手配書（御嘆願書を清川・六十里越・越後三方へ重役をもって御進達の事他）／一通（二紙）／（明治元年カ）八月／一五・五×四一・七／切継紙 楮紙／一御歎願書清川六拾里：御ハツシ置候様致度事／端裏書「戊辰八月大里宮より米沢江申候手控」／柱書「至急御手配之条件」／170

1207-03 草川治左衛門・中村文弥探索書（討庄戦争につき上山一ノ手白岩へ出張、奥羽鎮撫総督府市中高札の写等上山・山形・寒河江・柴橋の動向）／一冊（三二）／明治元年閏四月／一四・三×三六・七／横帳 長帳綴 表紙無し 楮紙／草川治左衛門・中村文弥／1207-01-10 紙縫一括／170

1207-04 原田桂助・中丸左伊太探索書（山形開城の風聞、庄内勢は谷地寒河江

辺に屯集等、上山表探索の次第）／一通（二紙）／（明治元年）閏四月六日／一四・七×七三・二／切継紙 楮紙／中山御扶持方 原田桂助・中山左伊太／閏四月六日上山表：詮議仕差出申候／端裏書「戊辰四月」／1207-01-10 紙縫一括／端裏異筆で「戊辰四月」とあるが誤り／170

1207-06 計画書（山形・天童・漆山・柏倉・東根・尾花沢各領の所置他）／一通（三紙）／（明治元年）八月頃／一四・七×八五・〇／切継紙 楮紙／一山形 右者君を：招仕向可申事 大略／端裏書「戊辰四月」／1207-01-10 紙縫一括／柱題「最上鎮撫一条略」、端裏異筆で「戊辰四月」とあるが誤り／170

1215-02 高山政康宛 上山藩土中村祐右衛門書状（山形藩より願いの一条熟談下されたく）／一通（二紙）／（明治元年）八月一六日／一五・〇×五五・〇／切継紙 楮紙／上山藩中村祐右衛門↓高山与太郎／昨朝者早速御出会：草々如此御座候頓首／1215-01-05 紙縫一括／170

1222-01 竹俣久綱宛 旧幕臣安田幹雄書状（ロシア人一条出帆の手続、至急取計申さずば不都合につき）／一通（三紙）／（明治元年）八月一〇日／一六・三×九四・五／切継紙 楮紙／安田幹雄↓竹俣美作様／昨夜者登 城：如斯御座候早々以上／1222-01-10 紙縫一括／170

1222-02 竹俣久綱宛 旧幕臣安田幹雄書状（事情は板倉小笠原両侯の意中、スネルへ鼓舞の段願う他）／一通（三紙）／（明治元年）八月三日／一六・四×七三・五／切継紙 楮紙／安田幹雄↓竹俣美作様／前略昨日者事拙速：期再会之時候勿々謹言／1222-01-10 紙縫一括／170

1222-03 詰之間宛 岩村虎雄・宮島誠一郎書状（仙台使者暗殺の一条秘隠ならず、仙台の手にて南部の謝罪を取計の一策につき）／一通（三紙）／（明治元年九月）／一五・五×一〇二・〇／切継紙 楮紙／虎雄・誠一郎↓御詰之間／岩村先生江之御答書：此旨拜呈仕候／1222-01-10 紙縫一括／170

1222-04 木滑政愿宛 宮島誠一郎書状（取調の書類を越後へ御遣しのお運びありたき旨、岩村演説につき）／一通（二紙）／（明治元年九月）／一五・三×五一・〇／切継紙 楮紙／宮島熊蔵↓木滑要人様／拜呈仕候、昨夜分取調：奉得貴意候頓首／1222-01-10 紙縫一括／170

1222-05 木滑政愿宛 高鍋藩土岩村虎雄書状（庄内の義は越後総督御引き受けにて渡辺氏の方より何とも仕様もなき趣）／一通（四紙）／（明治元年）九月二七日／一五・一×一一・〇／切継紙 楮紙／岩村虎雄↓木滑要人様／弥御機嫌克奉大賀：如此御座候頓首敬白／1222-01-10 紙縫一括／170

1224-05 片山一貫宛 小見鍋蔵書状(宮様御発興等日割を但木と相談につき) / 一通(二紙) / (明治元年) 七月一日 / 一四・八×五二・〇 / 切継紙 楮紙 / 鍋蔵 ↓ 仁一郎様 / 昨朝御出起立前: 要事而已早々申上候頓首 / 端裏書「仙台表小見并平田より書面其俵差上申候間御覽可被下候」 / 1224-01-11紙縫一括 / 170

1224-06 越後御三人宛 米沢三人書状(蒸気船上陸、新発田合兵の趣、兵隊繰出しの評判、旧幕の領地収納、佐渡へ一隊立置く) / 一通(四紙) / (明治元年) 七月二七日 / 一四・五×九三・二 / 切継紙 楮紙 / 米沢三人 ↓ 越後御三人様 / 宮様御駕: 別紙二得御意候以上 / 端裏書「米より越江之書面也七月廿三日付」 / 1224-01-11紙縫一括 / 木滑政愿の筆 / 170

1224-07 片桐忠静他二名宛 片山一貫書状(宮様、徳山山中両侯、諸藩役人白石へ奉迎につき但木に面談論破) / 一通(三紙) / (明治元年) 七月一日 / 一五・二×八一・七 / 切継紙 楮紙 / 片山仁一郎 ↓ 片桐藤右衛門様他二名 / 去ル三日白石着: 右用事而已勿々頓首 / 1224-01-11紙縫一括 / 170

1224-09 小見鍋蔵宛 平田要書状(世子白川へ御出陣、官様白石へ御発興、陸奥寺白石へ御発途の御治定につき) / 一通(一紙) / (明治元年) 七月九日 / 二五・五×三二・五 / 堅紙 楮紙 / 平田要 ↓ 小見鍋蔵様御用筋 / 一簡拝啓来十一日: 要用一通如此御座候以上 / 1224-01-11紙縫一括 / 170

1265 大村参謀書状(諸官軍は多人数も弱兵、金穀払底難決のこと、品川より黒船乗り込み越後高田まで着、二七日西園寺中納言到着) / 一通(二紙) / (明治元年) / 一八・八×一〇一・四 / 切継紙 楮紙 / 戦ヨリ之事ニ而右両藩ハ: 御勤仕之由相伺恐悦奉 / 裏打ちあり / 前後欠、本紙の裏に朱書後筆「大村参謀手簡□」、官軍側の書状と推定 / 170

1266 福島藩士小笠原藤吾書状(白川城は敵襲来し切迫、御隠居内膳正、甲斐守様の奥方様他、その御国許へ立退のこと相談) / 一通(三紙) / (明治元年七月) / 一五・八×一〇一・五 / 切継紙 楮紙 / 板倉甲斐守様御使者 小笠原藤吾 / 残暑之砌御座候得共: 御頼被仰進候 / 170

1267 届書(先般日光宮様会津表へ御越のところ、このたび貴藩へ下向につき御帰国挨拶) / 一通(一紙) / (明治元年六月) / 二〇・〇×五一・〇 / 切紙 楮紙 / 残暑之砌御座候得共: 御挨拶以使者申述候 / 封紙あり / 170

1269 長岡藩士河井継之助届書写(高頭周辺の戦況書き出し) / 一通(一紙) / (明治元年六月) / 一五・八×三五・〇 / 切紙 楮紙 / 高頭江前所四五小隊: 諸藩之内一小隊進み候 / 端裏書「河井継書出之事」 / 端裏書「河井継書出之事」 / 170

1270 書状写(大面口合戦味方大勝利、出羽より出兵米沢・山形・庄内・上山・天童の他戦況報知) / 一通(二紙) / (明治元年五月頃) / 一四・三×五二・八 / 切継紙 楮紙 / 一 昨廿七日之模様: 成候様申出候 / 柱題「村松治兵衛殿御住居江申来状之写」 / 170

1271-01 甘粕継成書状(赤谷表急迫の御報告に驚き応援として散兵一小隊派遣、河井継之助入来、長岡表の事情把握) / 一通(三紙) / (明治元年七月頃) / 一三・五×三四・五 / 切継紙 楮紙 / 備後 / 赤谷表急迫之御報告: 御心を用ひ可被下候以上 / 1271-01-03封紙一括 / 170

1271-02 届書(明二四日諸口総勢一同攻撃につき打ち掛け手配につき報知) / 一通(一紙) / (明治元年七月) / 一四・〇×三六・五 / 切紙 楮紙 / 一明廿四日晝七時より: 是迄之通以上 / 1271-01-03封紙一括 / 170

1271-03 書状(途中会津山田陽次郎らに出会い川向の味方孤軍にて出張願につき、庄田・倉崎に出会い評議のところ、御国の大切には替えられず、弾薬尽き一戦ならず) / 一通(一紙) / (明治元年七月末 / 八月上旬) / 一四・三×三七・六 / 切紙 楮紙 / 今日ハ先ツ無御滞其地迄: 不相成ニ付乍残念 / 端裏書「甘参謀越地引取之節会士望云々」 / 1271-01-03封紙一括 / 後欠 / 170

1272 御門主様宛 安田治部書状(今般弊藩へ御巡行日限仰出のところ、越後表未だ片付かず同様につき安田治部御機嫌伺のこと) / 一通(二紙) / (明治元年六月) / 一四・六×三五・〇 / 切継紙 楮紙 / 安田治部 ↓ 御門主様御名 / 今般弊藩江御巡行: 同人江使者申付此段申上候 / 図書館時代のラベルには番号「1272」と記載、マイクロでは1262-01 / 170

1285-01 意見書(弾薬・器械十分買入、金銀吹立の職人を募り金銀の附属する御蔵宝物類より金銀出来致したく) / 一通(三紙) / (明治元年八月) / 一四・八×六一・三 / 切継紙 楮紙 / 一此際ニ相至り弾薬器械: 御仕為シ之様仕度存候 / 端裏書「至急ニ付諸建白」 / 1285-01-17包紙一括 / 包紙「ウワ書」 / 包紙「建白」 / 無

1285-02 意見書(弾薬・器械国力を尽くし買入、金銀吹立所補理し職人を募り御蔵宝物類から金銀取り出し、国境防禦につき) / 一通(四紙) / (明治元年八月) / 一四・九×六四・三 / 切継紙 楮紙 / 一此際ニ相至り弾薬器械: 大丈夫ニ御築立候様仕度奉存候 / 1285-01-17包紙一括 / 1285-01と内容類似 / 無

1285-03 米沢藩宛 達書写(長岡浪人の扱い、近村百姓は勝手次第帰村、新潟下役人は新潟表へ差帰し謹慎のこと) / 一通(一紙) / (明治元年) 一月八日 / 一六・二×二四・八 / 切紙 楮紙 / 長岡浪人事: 差帰し謹身可罷在事 / 1285-01-17

包紙一括／柱題「米沢藩へ御下知之覚」／無

1285-04 森長義達書（沢本守也米沢表へ密使申しつけにて周旋振感心につき、以後兵隊と本陣の用向しばらく相除のこと）／一通（二紙）／（明治元年八月下旬カ）／一五・〇×一九・〇／切紙 楮紙／杉山盛之進／沢本守也米沢表へ：申達候由吹聴有之／1285-01-17包紙一括／無

1285-05 人数書上（新発田・新潟・新津・水原・亀田・白根へ入込兵隊数）／一通（二紙）／（明治元年八月カ）／一五・三×五一・三／切紙 楮紙／一 薩州長州：メ五千人余／1285-01-17包紙一括／柱題「柴田入込人数」、マイクロでは1285-01-171

1285-06 軍勢書付（福島・相馬方面他藩境派遣の仙台藩兵）／一通（三紙）／（明治元年八月）／一五・〇×七三・四／切紙 楮紙／福島 大越文五郎：一二小隊若生文十郎／1285-01-17包紙一括／無

1285-07 意見書（若松落城間近にて賊降伏後の扱いにつき）／一通（二紙）／（明治元年）／一五・〇×六六・二／切紙 楮紙／会議所より之談判ニ若松之落城：有之度評判ニ相及候事／1285-01-17包紙一括／本文前に異筆で「隊」とあり／無

1285-08 書付（国家大事の際につき早追にて罷下り急ぎ申達のこと）／一通（一紙）／（明治元年正月カ）／一三・六×二三・〇／切紙 楮紙／国家大事之際ニ付：御借りいたし急下申達候事ニ候／1285-01-17包紙一括／毛利業広の筆／無

1285-09 願書（同盟諸藩に面目なし、尊藩の御為を勘考、御謝罪御嘆訴なくては汚名を流す）／一通（二紙）／（明治元年八月下旬カ）／一五・〇×五二・〇／切紙 楮紙／御前文相略々然は過日：御聞取被下度候／1285-01-17包紙一括／甘粕継成の筆／無

1285-10 報告書（新発田密使に加茂へ参り周辺状況につき報知）／一通（二紙）／（明治元年七月下旬カ）／一三・六×四三・六／切紙 楮紙／新発田密使ニ加茂ニ来り：大隊引率来を願ふのミ／1285-01-17包紙一括／マイクロでは1285-02-171

1285-11 意見書（歎願書提出の上城外へ謹慎につき、この上は朝裁を待つ他これなく）／一通（二紙）／（明治元年九月二日）／一五・一×五九・〇／切紙 楮紙／寸紙拝呈然は切迫と申：実に筆紙に難尽事に御座候／1285-01-17包紙一括／甘粕継成の筆／無

1285-12 伺書（大刑の伺の節は知藩事様・大参事の判にて認めるべきか、刑法官の印判にて公用人持参でもよいか）／一通（二紙）／（明治二年カ）／一四・七×一二・七／切紙 楮紙／大刑之御伺ニ相成候節御書エ：早急御申越可被下候／1285-01-17包紙一括／下札あり、木滑政愿の筆／無

1285-13 書付（古幕御使番小田井蔵太と慎中千坂の面談大意、再挙を計り徳川氏のアダに報いるための周旋仕るべく談判）／一通（二紙）／（明治元年九月以降）／二九・八×三六・〇／切紙 楮紙／仙台動き候ハ、拙国独立：深く知り候人ニハ無之一面会也／1285-01-17包紙一括／千坂高雅の筆／無

1285-14 問答覚書（会津落城後、同地の兵隊および婦女子の取扱につき問答）／一通（二紙）／（明治元年）／一五・〇×二六・五／切紙 楮紙／問会津落城ニ相及候上は兵隊：姿ニ付断然御取行可然云々／1285-01-17包紙一括／無

1285-15 八郎・広吉宛 掘尾重興書状（火器装備状況報知、北越の情勢につき北越の参謀は世良と違い仁者、討薩の檄も列州に布告致したく）／一通（三紙）／（明治元年）六月一六日／一五・六×九七・二／切紙 楮紙／保助↓八郎様・広吉様／一 鉄器野ニ御買置無之由：繁忙也無用早々頓首／1285-01-17包紙一括／無

1285-16 木滑政愿・中里盛直宛 田中源之進書状（整わざる儀あり、今晚の進撃は延引、明一三日の夜八ツ時の手筈にて報知）／一通（二紙）／（明治元年）八月一三日／一四・五×三八・五／切紙 楮紙／田中源之進↓木滑要人様・中里丹下様／一 書状呈上候今十二日之夜：右為可申進態人差越候已上／1285-01-17包紙一括／マイクロでは1285-03-171

1285-17 大國頼隣宛 森長義書状（福島は反形顕然の様子につき若公出馬を待ち居ること）／一通（二紙）／（明治元年八月）七日／一五・〇×四〇・八／切紙 楮紙／森三郎右衛門↓大國筑後様／福嶋反形顕然の様子：尚追々可申上候以上／1285-01-17包紙一括／無

1291 進撃手配書（越後方面進撃につき）／一通（三紙）／（明治元年）七月一日／一三・七×一一・五・三／切紙 楮紙／七月十八日定ムル所ノ進撃手配：丸ク如図振合スヘシ／171

1295 陣中軍令（陣中における法度）／一通（三紙）／（明治元年六月）一五・七×九〇・七／切紙 楮紙／一隊頭隊長指揮無之内：早速可申出事／柱題「軍令」／171

1297 意見書（越後は洪水数十万石の流損のところ兵乱起れば動揺に及ぶ、会津と一同となることを憂苦、御家が越後を鎮撫となるよう致されたく）／一通（二〇紙）

／(明治元年)／一五・八×五〇一・三／切継紙 楮紙／会津長岡両藩越地人民：委細申上度候以上／171

1298 長岡藩土河井継之助達書(交代日限一九日のこと、福井先栃尾口々討入の節 弾薬・人足・大砲共連れたきこと、潜行の節の心配)／一通(四紙)／(明治元年)／一三・八×一〇五・七／切継紙 楮紙／交代日限十九日之事：夫々深切介抱可致事／端裏書「河井継之助直書 軍配」／171

1306 戦況報告書(富嶋辺にて打ち合いにて、富島・亀貝辺は皆焼け、長岡蔵王辺にて焼き打ち)／一通(三紙)／(明治元年)／一五・五×一一・〇／切継紙 楮紙／唯今椿沢迄物見之者：右椿沢出張先より申越候／端裏書「長岡藩某より報告」／椿沢出張先よりの報告／171

1311 総督宮沙汰書(春來賊徒官軍に抗するため土地人民疲弊につき心得違いなきよう)／一通(二紙)／(明治元年)／一四・六×五九・八／切継紙 楮紙／春來賊徒官軍二相抗し候砌：可相守総督宮御沙汰候事／171

1317 願書(岩城表平城落城につき応援下されたく)／一通(三紙)／(明治元年)／一六・〇×四二・五／切継紙 楮紙／岩城表官賊追々押来平城も：御応援被下候様仕度奉存候／171

1321 上杉齊憲宛 沙汰書写(一月限東京へ出府のこと、その節利根川まで銃器用意のこと)／一通(二紙)／(明治元年)／一四・五×四三・〇／切継紙 楮紙／御名／右来ル十一月限東京：最前御沙汰之通／171

1322 絵図(荒沢村より大峠、介小屋までの図)／一鋪(二紙)／(明治元年)／二七・七×三九・五／切紙 楮紙／171

1323 絵図(荒沢村より大峠に向かう図)／一鋪(二紙)／(明治元年)／二七・二×三六・八／切紙 楮紙／171

1387-07 賢只宛 愚弟書状(五十騎宰配頭内聞、老体にて山川を渉り宰配を取り総軍の指揮不行届につき隠居願)／一通(五紙)／(明治元年)八月九日／一四・五×一三三・四／切継紙 楮紙／愚弟拝↓賢兄公／五十騎宰配頭：御相談仕候以上／1387-01-10紙繕一括／177

1387-08 千坂高雅宛 甘粕継成書状(死力を尽し小国を守るよう尽力、会津津川口より打出は第一策につき)／一通(二紙)／(明治元年)八月四日／一六・三×三八・〇／切継紙 楮紙／備後↓太郎左衛門様／私昨十三日：被下間敷候頓首／1387-01-10紙繕一括／177

1387-09 覚書(薩摩藩他、越後境へ繰込人数と会津越後探索)／一通(二紙)／(明治元年八月)／一五・〇×三六・五／切紙 楮紙／一千五百人数：御座候哉不存候／1387-01-10紙繕一括／柱題「関谷相詰居候人数」、筆跡は甘粕継成カ／177

1387-10 人名書上(中隊頭宮島三河、農商兵大隊頭千坂益三郎他、板谷出兵の部隊編成)／一通(三紙)／(明治元年八月)／一四・六×九〇・六／切継紙 楮紙／軍目付 綱島長之助：宮原周助 ヌ／1387-01-10紙繕一括／柱題「板谷口出張」／177

1421 上杉齊憲宛 太政官沙汰書写(家来中入京停止、京都屋敷召上のこと)／一通(三紙)／(明治元年)五月／一四・八×七〇・七／切継紙 楮紙／御名／其藩事松原：御沙汰候事／新国駒次が京都から帰国の節に持参した旨の記載あり／177

1430 沙汰書(楠社建立につき希望あれば神祇官か兵庫県へ御手伝の品柄目録納むべきこと)／一通(三紙)／(明治元年カ)六月／一七・五×一一七・五／切継紙 楮紙／先般楠社御建立：不苦候事／177

1519-10 奥羽越列藩布告書写(奥羽越列藩同盟側の正当性を示す、アメリカ他九か国宛)／一通(二紙)／慶応四年七月／一四・八×三六・〇／折紙 楮紙／奥羽越列藩軍務総督等謹告：量勿咎其唐突則幸甚幸甚／1519-01-13紙繕一括／包紙あり／221

1519-11 米沢軍事方宛 会津藩軍事方書状(新発田には凶徒羅引き入れにつき尊藩出兵のこと)／一通(三紙)／(明治元年)七月二九日／一五・六×四五・三／切継紙 楮紙／会津藩軍事方↓米沢御軍事方／今度新発田二而凶徒等を引入候二付：宜御処置可成下候以上／裏打あり／1519-01-13封紙一括、1519-01-13紙繕一括／封紙上書「嘉慶詔勅 一通」／221

1519-12 本庄昌長他一名宛 竹俣久綱・中条明資書状(版籍取調のこと今に一軒も差し出しなく)／一通(二紙)／(明治二年)四月六日／一六・四×六〇・八／切継紙 楮紙／東京詰之間↓米沢御詰之間／已前得御意候版籍取調の儀：草々此旨申入候以上／1519-01-13封紙一括、1519-01-13紙繕一括／封紙あり／221

1519-13 米沢詰之間宛 東京詰之間書状(奥羽諸藩の削封および首謀者の処罰につき、旅館腸胃病流行)／一通(一一紙)／(明治元年)二月二日／一四・七×三一・二／切継紙 楮紙／東京三弟↓米沢三兄／一簡拝呈甚寒之砌御座候此表：別乾坤を覚御自愛御精勤に御座候／端裏書「十二月十二日付」／1519-01-13封紙一括、1519-01-13紙繕一括／221

1520—05 軍政府総督宛 浅間甚兵衛意見書(越後・最上・白川・岩城の四か所御出勢にては人数不足、当家は越後へ専心のこと)／一冊(三丁)／(明治元年)七月／一四・八×三六・〇／横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／浅間甚兵衛↓軍政府総督嶋津賢大夫御左右／西賊侵暴二付越後最上白川：御仁免奉伏願候頓首再拜／1520—01505紐一括／221

1522—03 竹俣長門宛 本間光美書状(新潟表の戦況につき、同所在住スネルによると軍艦三艘なければ勝利おぼつかなく横浜表での購入承引下されたく)／一通(三紙)／(明治元年)八月五日／一六・四×九五・五／切継紙 楮紙／本間外衛光美(花押)↓竹俣長門殿／態々早追を以得貴意候然は：宜御取計急々御廻之程奉祈候以上／端裏書「八月五日本間外衛より来状」／1522—01506紙縫一括／竹俣長門は原文記載のまま、本来は色部久長宛カ、本間は酒田の商人／221

1522—04 中川富義意見書(鉄船購入にて船頭・水主等を雇用すべきかにつき、鉄船購入は良策も夷兵雇用は不同意、スネル参謀職就任につき)／一通(六紙)／(明治元年六月～七月カ)／一五・〇×一四五・三／切継紙 楮紙／英助拜／鉄船御買入にて右船取扱候：早速御断り被遊儀奉存候／端裏書「敏ナルヲ貴」／1522—01506紙縫一括／南府意見書を貼り継ぐ／221

1530—01 毛利業広・竹俣久綱宛 新保朝綱書状(駒ヶ嶺戦争敗北にて国境戦争目前につき、東南へ至急出兵すべきこと、岩沼表の情勢につき報知)／一通(三紙)／(明治元年)八月一日／一五・七×一四四・〇／切継紙 楮紙／白石より左馬之助↓米沢御詰之間侍史／越地御引揚只今頃は着揃二も：奉歎願外他事無御座候百拜頓首／1530—01503封紙一括／221

1530—02 樋口九十郎探索書(駒ヶ嶺戦争後の同地情勢につき、駒ヶ嶺から白石への引き上げ過程の報告)／一通(三紙)／(明治元年)八月一日／一六・〇×一四一・五／切継紙 楮紙／樋口九十郎／一大内村二而吉泊居候処仙台藩：右之通遂探索候以上／端裏書「樋口探索書」／1530—01503封紙一括／221

1530—03 絵図(駒ヶ嶺より白石に至る地形図)／一枚(二紙)／(明治元年八月)／三〇・〇×五二・八／継紙 楮紙／継目剥離／1530—01503封紙一括／221

1530—04 市川豊後宛 島津教忠書状(陣鉦差越につきお請け下されたく)／一通(二紙)／(明治元年)八月六日／一四・六×三一・九／切継紙 楮紙／島津利馬教忠(花押)↓市川豊後殿／以別紙申入候：如斯御座候恐々謹言／端裏書「以付札申入候」／封紙あり、付札あり／221

1530—05 使者書上(官軍の福島本営に参った使者につき)／一通(三紙)／(明

治元年)八月六日／一四・九×四九・七／切継紙 楮紙／当月上旬官軍方に使者二参候者：使者参り談判致候証拠也／端裏書「戊辰八月」／221

1530—06 竹俣久綱宛 本間孫四郎書状(四境切迫につき進撃の見通し、弾薬送付のこと)／一通(二紙)／(明治元年)八月七日／三〇・一×三七・三／豎紙 楮紙／孫四郎↓美作様 待史／一輪拜啓仕候然は種村：其内肝文付申上候頓首／封紙あり／221

1530—07 竹俣久綱・大滝忠恕宛 山形藩士水野三郎右衛門・石原兵衛書状(まづ鎮撫の趣ありがたく承服も同盟各藩への名義立ちかねること)／一通(三紙)／(明治元年)八月九日／一六・三×九五・八／切継紙 楮紙／石原兵衛・水野三郎右衛門↓竹俣美作様・大滝新蔵様／一簡拜呈秋冷之節益御安泰：奉仰候誠恐謹言／封紙あり／221

1530—08 木滑政愿他二名宛 二本松藩士和田要人書状(赤湯へ引き移る家中妻子総人数八五人のこと)／一通(二紙)／(明治元年)八月六日／一四・六×四八・六／切継紙 楮紙／和田要人↓木滑要人様他二名／赤湯へ引移候家中妻子：右申上度如此御座候以上／端裏書「戊辰八月」／221

1530—09 三瀧政清宛 会津藩士大庭源之助書状(お手数ながら各藩様へ御弁達くだされるよう)／一通(二紙)／(明治元年)八月一日／一五・八×五六・〇／切継紙 楮紙／大庭源之助↓三瀧政清様／尺素を以啓上仕候：余ハ拜顔可奉万謝候頓首／221

1530—10 下條親英宛 千坂高雅書状(小国駅より大里峠出立にて本陣着、極切迫のこと)／一通(三紙)／(明治元年)八月一日／一六・一×九七・二／切継紙 楮紙／太郎左衛門↓外記様／以飛札致啓達候然は：草々如此御座候以上／封紙あり、封紙に別紙として卯八月一七日付大里峠元締所書状添付あり／221

1530—11 竹俣久綱宛 下條親英書状(御出馬の砌につき、各方面への御巡覽、勞撫下される儀につき行程報知)／一通(三紙)／(明治元年)八月一日／一五・三×九四・〇／切継紙 楮紙／外記↓美作様／一昨十六日之貴翰昨夜亥之過相達：奉拜呈候以上／端裏書「八月十八日付」／封紙あり／221

1531—06 人名書(五月戦傷者書き上げ)／一通(三紙)／(明治元年)六月一日／一四・七×一〇六・〇／切継紙 楮紙／廿九日戦：国許江相送候事／1531—01508紙縫一括／柱題「六月朔日銃創書上申事」／221

1531—08 中里盛直宛 倉崎清典書状(諸口苦戦、新発田勢勇戦のこと、弾薬不足の報知)／一通(三紙)／(明治元年)六月二日／一四・八×七〇・〇／切継紙

楮紙／七左衛門↓丹下様／中嶋源次郎昨日着二付：大込合罷在候二付□□迄申上候以上
／1531-01-08紙縫一括／封紙あり／221

1548 会津藩軍令等写（戦場での心得、大砲、騎兵、散兵、喇叭等の用兵、禁制、陣中掟他）／一通（七紙）／慶応四年五月／一五・七×二八九・四／切継紙 楮紙／五
不可：借受写取之／末尾に「右者会藩井沢より借受写取之」とあり／223

1677 天童藩士野呂武太夫書状（柴橋における賊徒鎮圧、しかし極手薄につき変事
出退の節は万端ご依頼致したく）／一通（四紙）／（明治元年）閏四月／一六・四×一
一八・六／切継紙 楮紙／織田兵部大輔使者 野呂武太夫／薄暑之節御坐候処：使者口
上申合候／232

1685 村名書上（今町、五百川、大曲戸村他四一か所、戊辰戦争関係と推定）／一
通（一紙）／江戸後期（年月日未詳）／一五・七×四〇・一／切紙 楮紙／中之橋 今
町：上八沼 下沼 メ／柱題「当村近口新発田領村々」後筆裏書「列戦固村々」／23
2

幕末維新期—明治元年—九月—一二月

0811 木滑政愿・三瀧清蔵宛 庄田秀苗書状（兵乱後の越後預地の差配につきい
かなるか等意見）／一通（三紙）／（明治元年）一月一日／一四・三×八一・一／切
継紙 楮紙／江↓米御三人様／近頃坂田潔：可然候頓首／裏打あり／裏打済の封紙「木
滑要人様・三瀧清蔵様 越甚五右衛門」／123

0903-03 両局意見書（太政官の新法に対する東京の屋敷確保につき）／一通（五
紙）／（明治元年）二月一日／一四・八×一一二・四／切継紙 楮紙／両局／此間
中御屋鋪被成御受取：不憚潜妄申上候以上／端裏書「御屋鋪御買入之両局存寄書」／9
03-01-05紙縫一括／関連する浄運院詰と会談所、御役所の意見書一点を貼付
137

0903-04 倉崎清典・黒井繁邦宛 森長義書状（吉岡伝衛、岩村精一郎、急ぎ出
張につき駕籠、人足都合願う）／一通（三紙）／（明治元年）頃／一四・五×五八・〇
／切継紙 楮紙／杉山盛之進↓倉崎七左衛門様・黒井小源太様／鑑察不便只今至急：御
申達可被下（以下破損）／端裏書「倉崎七左衛門様 黒井小源太様 杉山盛之進」／9
03-01-05紙縫一括／137

1022 覚書（小川平次左衛門他二五名の村松藩士の役職等、堀楽齋他は家財關所と

の風聞あり）／一通（三紙）／（明治元年）／一四・七×八二・七／切継紙 楮紙／右
之拾人之：風聞有之候／柱題「覚」／163

1114-03 木滑政愿宛 窪田源右衛門・小見鍋蔵書状（仙台農兵による松本誠蔵
他傷害事件、仙台藩世子が四条公に拜謁他）／一通（八紙）／（明治元年）九月二五日
／一二・三×二六〇・〇／切継紙 楮紙／窪田源右衛門・小見鍋蔵↓木滑要人様／草々
得御意候：可得御意候以上／170

1123-10 大滝忠恕・倉崎清典宛 三瀧政清他二名書状（鉄御頭死去、御建白を
高鍋屋敷へ持参につき）／一通（二紙）／（明治元年）一月二七日／一五・六×六七・
五／切継紙 楮紙／清蔵他二名↓新蔵様・七左衛門様／鉄御頭廿二日分：御自愛奉折候
以上／端裏書「東京より十一月廿七日付」／封紙あり、差出は「青木信太夫 越甚五右
衛門・三浦清之進」／無

1123-11 毛利業広・竹俣久綱宛 中条明資書状（茂憲の国政向、嘆願書拝受、
越後方面参謀よりの諸書物取調催促他）／一通（五紙）／（明治元年）一月一六日／
一四・三×一三五・〇／切継紙 楮紙／東京詰之間↓米御詰之間／一輪拝啓仕候：追々
可申上候以上／端裏書「〇」／封紙あり／無

1123-15 对庄内藩戦闘關係寒河江付近絵図（閏四月一日より寒河江方面にて
庄内藩兵と戦闘時）／一鋪（一紙）／明治元年／三六・二×二九・二／楮紙／1123
-15-20包紙一括／無

1123-16 順作・忠三郎宛 御役所伺書（当寺の住持と居残り土佐藩役人と酒宴
開催につき）／一通（二紙）／明治元年一月九日／一四・五×五〇・〇／切継紙
楮紙／御役所↓順作殿・忠三郎殿／当寺御借受依頼：御内談いたし候以上／端裏書「十
八」／1123-15-20包紙一括／宛名の下に別意なき他書込みあり／無

1123-17 触書写（二月五日付の大目付触、軍艦にて上洛仰せ出ださる他）／
一通（一紙）／近世後期（年月日未詳）／三〇・〇×三七・五／折紙 楮紙／大目付江
：不洩様可被相触候／1123-15-20包紙一括／柱題「追々相達候大御目付触之
写」、文久三年カ／無

1123-18 立磐宛 香竹書状（預金と借用金の二つの裁判に決するにつき）／一
通（一紙）／近世後期（年未詳）二月二九日／二七・〇×三〇・五／豎紙 楮紙／香
竹↓豎磐先生御親展／月幽御取過御察上候：相讓候也／1123-15-20包紙一括
／無

1123-19 意見書（奥羽連合拳兵につき謝罪降伏を求める意見、仙台、米沢両藩
謝罪自訴の大旨）／一通（一紙）／（明治元年カ）／二九・八×三六・七／豎紙 楮紙

／奥羽連合拳兵：何□□寛大之／1123—15、20包紙一括／後欠／無

1123—20 意見書（軍制は新古折衷取捨肝要、西洋銃術は当今の急務、銃剣術の重要性他）／一通（五紙）／（慶応年間）／一五・三×一五三・五／切継紙 楮紙／一御軍政之儀：當時至急之儀ト奉存候／1123—15、20包紙一括／無

1134—05 竹俣久綱宛 木滑政愿書状（三藩同僚より別紙の通りにて天幸恐悦、嘆願書類借用願）／一通（二紙）／（明治元年）一〇月一日／一四・八×二七・二／切紙 楮紙／木要人↓美作様侍史／三藩同僚より：被下度奉存候以上／竹俣の返事あり／170

1137—04 安藤信正歎願書写（奥羽同盟の儀につき官軍に抗し先非悔悟、寛典の処置を歎願）／一通（三紙）／（明治元年）／一五・七×一〇七・二／切継紙 楮紙／安藤鶴翁／当三月中対馬守：誠恐恐惶謹言／1137—01、09紙繕一括／170

1140—01 大滝忠恕・倉崎清典宛 木滑政愿他二名書状（会津降伏人への賄、仙台藩坂但木引渡し、箱館出兵につき土佐藩へ相談他）／一通（五紙）／（明治元年）一〇月一八日／一四・七×一七三・〇／切紙 楮紙／要人他二名↓新蔵様・七左衛門様／一輪拝呈寒冷：可被成候恐惶謹言／端裏書「東京より十一月十八日付」／1140—01、07紙繕一括／封紙ウウ書「大滝新蔵様・倉崎七左衛門様 青木信太夫・越甚五右衛門・三浦清之進」／170

1146—04 小倉善左衛門報告書（庭坂の兵は引揚、丹羽丹波隊預り、東京出府命令等二本松藩土と談判の趣）／一通（八紙）／（明治元年）一〇月一七日／一四・六×一六七・五／切継紙 楮紙／小倉善左衛門／一以前御談判：差上申候以上／1146—01、05紙繕一括／柱題「二本松藩羽木権蔵瀬尾右衛門止宿江罷出呉候様昨日以紙面申越候ニ付今日罷越談判之趣左之通」、源太郎他一名宛 役所廻状等を継ぎ足す／170

1198 総督府宛 上杉茂憲歎願書案（降伏謝罪仕らざる藩へ先鋒、寛仁の御沙汰仰せ付けられれば冥加の至り）／一通（四紙）／（明治元年）九月九日／一五・二×一五〇・〇／切継紙 楮紙／藤原茂憲／臣茂憲泣血再拜：誠恐誠惶頓白／明治元年九月九日付条の総督府宛 歎願書の草案／170

1199—01 堀尾重興意見書（庄内討伐の罪御伺なくては先の建白文言に差障、庄内悔悟謝罪の歎願は御家先鋒へ出す様周旋）／一通（二紙）／（明治元年）九月一七日／一四・七×三一・三／切継紙 楮紙／堀尾保助／一討庄之罪一応御伺：相済申ましく奉存候事／端裏書「戊辰九月」／柱題「御見込建言仕候」／170

1199—02—01 大滝忠恕・小幡親徳宛 木滑政愿書状（仙台役人の談判等彼等へのみ任せては不安につき）／一通（二紙）／（明治元年）九月五日／一五・八×四七・

〇／切継紙 楮紙／要人↓新蔵様・源吾／今曉仙台今飛脚到着：御朝飯否か出勤可被申候／端裏書「□□□□九月五日付」／1199—02—01が02を包む／170

1199—02—02 願書（両冊誤字のところへ紙を貼るにつき御右筆へ御命のこと）／一通（一紙）／江戸後期（年月日未詳）／一五・三×六・五／小切紙 楮紙／両冊誤字之処江：正字之程奉願上候／1199—02—01が02を包む／無

1199—03 中條政恒書状（村松藩処置、宮様米沢入りの様子、松本・堀尾暗殺他）／一通（三紙）／（明治元年）一〇月五日／一五・七×九五・〇／切継紙 楮紙／一今日村松藩小笠原：十月五日九つ時過認置／端裏書「十月五日付新発田出張上与七郎より申来候書」／170

1199—04 柿崎家教宛 念覚寺他二名再建歎願書（境内へ御台場築立、七月二九日境内焼失につき先跡の通り建立願）／一冊（二丁）／明治元年一〇月／一三・七×三七・五／横帳 長帳綴表紙無し 楮紙／越後椿沢村念覚寺他二名↓柿崎泉様／170

1199—05 会談所・御金蔵宛 芝役所伺書（板垣退助、谷守部、渡辺清左衛門へ自家の謝詞勸心を結ぶにつき内談）／一通（三紙）／明治元年一〇月二九日／一二・三×六九・二／切継紙 楮紙／芝御役所↓会談所・御金蔵／過ル八月中：御内談いたし候以上／宛名の下に「別意無御座候」とあり、中川富義の筆／170

1201—01 達書控（若殿様庄内討伐先鋒出馬につき武田大膳に御旗奉行仰せ付け）／一通（二紙）／（明治元年）九月一七日／一四・五×三六・〇／切継紙 楮紙／九月十七日：島津利馬申渡候事／継目剥離／1201—01、05紙繕一括／嶋津利馬／170

1201—02 毛利業広他二名宛 千坂高雅書状（上山藩の嘆願書理届のみならべ嘆息、薩摩庄内打ち合ひにつき残念）／一通（四紙）／（明治元年）九月二〇日／一四・八×七四・五／切継紙 楮紙／源蔵↓御詰之間／上ノ山江着否：不都合一通申入候以上／端裏書「九月廿日夕」／継目剥離／1201—01、05紙繕一括／封紙あり、毛利上総・加地権平・嶋津利馬宛／170

1201—03 木滑政愿宛 小見鍋蔵書状（外人屋にて熊谷齋に出会し御用状の趣につき仙台藩より両三人派遣を依頼等）／一通（四紙）／（明治元年）九月二九日／一五・〇×九五・七／切継紙 楮紙／鍋蔵↓要人様／此廿八日飛脚兩人着：御評判被成下度候頓首／継目剥離／1201—01、05紙繕一括／封紙あり、木滑政愿・三藩清蔵宛／170

1201—04 黒井繁邦宛 佐藤秀敏書状（漆山・柏倉・北目陣屋へ金穀取調に取懸るところ時勢変動につき）／一通（二紙）／（明治元年）九月三日／一六・二×七三・

○/切継紙 楮紙/源右衛門↓小源太様/先日者御役替結構：辻渡罷在候/端裏書「九月十三日付」/継目剥離/1201-01-05紙縫一括/170

1201-05 倉崎清典他三名宛 庄田秀苗書状(玉川駅へ芸州藩新発田藩使節着、明日より大軍繰込度につき談判等)/一通(二紙)/明治元年 九月七日/一六・〇×七四・二/切継紙 楮紙/惣五郎↓七左衛門様他三名/昨日玉川駅江無滞御着：大略拝呈仕候以上/端裏書「戊辰九月」/1201-01-05紙縫一括/170

1202 竹俣久綱宛 大國頼重書状(吉岡一同高山二本松へ罷越し渡部参謀へ歎願他)/一通(三紙)/明治元年 九月三日/一四・八×八六・三/切継紙 楮紙/筑後↓美作様/此間申上候通り一昨日：御通し置被下候ト奉存候啓上/封紙あり/無

1203-01 斉藤篤信宛 竹俣久綱書状(評判事につき御出勤ならるべく、いづれ最上へ御越しなくては済まずと再考)/一通(二紙)/明治元年 九月二四日/一五・〇×三〇・四/切継紙 楮紙/権平↓主計様/御不快に候得共：御心懸御尤に存候以上/1203-01-02封紙一括/目録作成時には1203-01-02と封紙は別置されていた、封紙ウワ書「津表諸参謀承旨之処江尚以当大夫中より依テ莊境江乗込候事」/170

1203-02 賢兄宛 愚弟書状(早く取極なくては相済まざることにつき早急御出勤ならるべく)/一通(二紙)/明治元年 九月二四日/一五・〇×五三・〇/切継紙 楮紙/愚弟↓賢兄/早々御出勤可被成：取運成し候/1203-01-02封紙一括/170

1204-01 木滑政愿・大滝忠恕宛 芹沢政温・中條政恒書状(此度的一条につき諸藩往復の使者口上書か日記様のもの差出す様坂田氏申聞、庄内も既に謝罪状差出上は恭順勿論のところ越後口増勢あり他)/一通(四紙)/明治元年 九月二六日/一五・九×一七七・五/切継紙 楮紙/善三郎・与七郎↓要人様・新蔵様/一簡啓上仕候：要用のミ写し申上候拜首/端裏書「九月廿六日付夕新発田詰芹沢上より申来」/1204-01-10紙縫一括/無

1204-02 竹俣久綱宛 毛利業広書状(左沢探索にて松山藩繰出の間えもあるにつき早く御出勤の方)/一通(二紙)/明治元年 九月二〇日/一五・二×三一・三/切継紙 楮紙/上総↓美作様/林藤七郎薩ノ吉人：御出勤の方と存候以上/1204-01-10紙縫一括/無

1204-03-01 軍政府宛 綱木軍事局書状(入関禁する様に嚴重に相達につき御局よりも厳達願)/一通(一紙)/明治元年 八月二九日/一五・三×三七・五/切継紙 楮紙/綱木軍事局↓軍政府/別紙之通探索之段：右得御意趣御座候以上/1204-01-10紙縫一括、1204-03-01-03合綴/無

1204-03-02 千坂高雅宛 毛利業広書状(左沢探索にて庄内藩手配の様子につき早く御出勤を待つ)/一通(一紙)/明治元年 九月二〇日/一五・二×三〇・〇/切継紙 楮紙/上総↓太郎左衛門様/林藤七郎為探索左沢辺江：御出勤奉待候以上/1204-01-10紙縫一括、1204-03-01-03合綴/無

1204-03-03 木滑政愿・片桐忠静宛 二本松藩士和田要人口上書写(二本松城切迫に及び主人家族共立退きにつき家中の者共救助願)/一通(二紙)/明治元年 一五・〇×四七・〇/切継紙 楮紙/用人役和田要人↓木滑要人様・片桐藤右衛門様/此節二本松城切迫：御許容被下候様申上度事/1204-01-10紙縫一括/1204-03-01-03合綴/無

1204-04 黒井繁邦宛 松本誠蔵書状(佐藤御頭引戻の事件委細相談、江口復蔵と大熊権平帰国他)/一通(一紙)/明治元年 九月二日/一五・〇×三七・〇/切継紙 楮紙/松本誠蔵↓黒井小源太様/佐藤御頭引戻之事件：先ツ筆略申上候以上/端裏書「九月十二日付」/1204-01-10紙縫一括/マイクロでは1204-06/170

1204-05 庄田秀苗宛 木滑政愿書状(若殿名代として新発田本陣へ機嫌伺、庄内へ官軍一大隊繰込にて玉川小国へ宿陣等)/一通(七紙)/明治元年 九月六日/一五・二×一六四・〇/切継紙 楮紙/要人↓惣五郎様/川口ハ七時：右要用のみ早々拝呈候以上/1204-01-10紙縫一括/マイクロでは1204-05/170

1204-06 尊公宛 小子書状(若殿庄内討伐先鋒として明一八日出馬につき)/一通(二紙)/明治元年 九月一七日/一五・二×四一・三/切継紙 楮紙/小子↓尊公/若殿様討庄御先鋒：御出勤御尤仕候拜/端裏書「戊辰九月」/1204-01-10紙縫一括/糊はがれ、マイクロでは1204-02/170

1204-07 御国兩人宛 越後詰兩人書状(薩摩参謀へ贈答のため国産品新発田まで送付のこと、仙台の不都合懸念につき)/一通(三紙)/明治元年 九月一〇日/一三・八×八六・五/切継紙 楮紙/越詰兩人↓御国御兩人様/御田願有之もの：込合申早々百呈/端裏書「越九月十日付」/1204-01-10紙縫一括/越後詰から米沢宛、木滑政愿筆、異筆にて追伸あり/無

1204-08 覚書(会津の使者降伏謝罪歎訴につき骨折の方決評、官軍に合体等謝罪の実効)/一通(二紙)/明治元年 九月/一五・三×二八・〇/切継紙 楮紙/今八日会ノ一ノ瀬：兵を関江繰出し可申事/端裏書「戊辰九月」/1204-01-10紙縫一括/無

1204-09 大滝忠恕報告書(相馬降伏謝罪の経緯、奥羽一統謝罪につき貴藩へ依頼等中村藩士との会談内容)／一通(四紙)／(明治元年)一〇月五日／一五・二×一〇・三／切継紙 楮紙／大滝伝蔵／一七月中岩城平落城之時：此段申上候／端裏書「大滝六老中村藩里見内話書」／継目剥離／1204-101-10紙縫一括／柱題「中村藩里見源蔵内話」、マイクログでは1204-103／170

1204-110 木滑政愿・大滝忠恕宛 堀尾重興書状(新発田にて村松藩浮沈につき前田又八より申し聞き)／一通(三紙)／(明治元年)一〇月九日／一四・七×八四・二／切継紙 楮紙／堀尾保助↓木滑要人様・大滝新蔵様／不思議二晴続候処：宜候間何分了□候／端裏書「戊辰十月」／1204-101-10紙縫一括／マイクログでは1204-104／170

1205 兵糧方報告書(越後より米沢へ向かう諸藩兵および玉川駅等の兵糧米書上)／一通(四紙)／辰(明治元年)九月／一五・〇×一一九・〇／切継紙 楮紙／兵糧方／米沢口軍配：右之通中勘取調申候以上／170

1206 堀尾重興・中川富義宛 渡辺三左衛門書状(村松より米沢表への脱走者重罪の風聞につき太政官役人へ周旋願)／一通(四紙)／(明治元年)一〇月六日／一六・三×一七一・〇／切継紙 楮紙／渡辺三左衛門↓堀尾保助様・中川英助様／以飛札啓上仕候：尚追々可申上候以上／端裏書「十月六日付渡部三左衛門」／170

1207-01 木滑政愿・小幡親徳宛 庄田秀苗書状(遊撃將軍城下逗留、諸藩兵附属の報告)／一通(一紙)／(明治元年)一〇月七日／一六・〇×二八・〇／切継紙 楮紙／惣五郎↓要人様・源吾様／遊撃將軍御入之上：式百人余ニ可相成候／1207-101-10紙縫一括／170

1208 木滑政愿他二名宛 中條政恒書状(宮様進物の刀至急送付を依頼)／一通(二紙)／(明治元年)一〇月九日／一五・三×四五・〇／切継紙 楮紙／与七郎↓要人様他二名／別啓奉御意候然は：被下候様仕度奉存候以上／端裏書「十月十二日御渡し」／170

1209 木滑政愿他二名宛 高山政康書状(太政官歎願一冊差出、八島田人数一条、庭坂人数、仙台開城他)／一通(六紙)／(明治元年)一〇月一三日／一四・九×一七・三・五／切継紙 楮紙／与太郎↓要人様他二名／昨夜郷便相達尊書拝見仕候：早卒貴答申上候以上／170

1210 北越総督府通行証(高鍋藩岩村虎雄他五名新発田より東京まで通行)／一通(二紙)／(明治元年)一〇月一四日／二〇・六×一四・二／小切紙 楮紙／北越総督府(朱印)↓所々同断役人中／辰十月十四日越後国新発田：東京迄通行被免／封紙ウワ書「御印鑑」／170

12113 木滑政愿他二名宛 高山政康書状(信夫郡代官謹慎につき桑折民政局が立つまで御国より人数出張取締)／一通(五紙)／(明治元年)一〇月一七日／一五・〇×一一一・〇／切継紙 楮紙／与太郎↓要人様他二名／再啓仕候昨夜：早略申上候以上／端裏書「十月十七日付」／170

12114 米沢藩隊長宛 参謀達書(松平若狭父子東京府へ差送りにつき家族付添人守衛人数差出)／一通(二紙)／(明治元年)一〇月一五・〇×四八・五／切継紙 楮紙／若松在陣参謀↓米沢藩隊長中／会津降伏人御撫：出張被付／奥書に「松木幾之進隊出張」とあり／170

1215-04 下平忠勤・長尾権十郎宛 村松藩士伴郷左衛門・野口彦兵衛請取書(上下五二人・脇差・刀請取)／一通(二紙)／明治元年一〇月一九日／二四・三×三三・八／豎紙 楮紙／伴郷左衛門(黒印)・野口彦兵衛(黒印)↓下平彦三郎様・長尾権十郎様／一上下五百拾式人：申上候処仍如件／1215-01-05紙縫一括／柱題「覚」／170

1215-05 大滝忠恕・木滑政愿宛 芹沢政温・中條政恒書状(吉井幸輔留守にて不都合、庄内嘆願書、日記諸藩往復の書状差出の内達、官賊の二字不都合他)／一通(六紙)／(明治元年)九月二五日／一五・六×二三・〇／切継紙 楮紙／善三郎・与七郎↓新蔵様・要人様／其後之一左右：急便可申上候頓首／端裏書「九月廿五日付新発田詰芹沢上より申来候書状」／1215-101-05紙縫一括／170

1216 官軍会計所宛 米沢軍事局願書控(長岡藩士東京出府につき御印鑑成し下されたく)／一通(二紙)／辰(明治元年)一〇月一四・六×三〇・二／切継紙 楮紙／米沢軍事局↓官軍御会計所／長岡藩：御印鑑被成下度奉存候以上／斉藤篤信の筆、柱題「覚」、別紙で長岡藩士書上あり／170

1219-01 渡辺三左衛門宛 大野忠兵衛書状(村松御父子様重刑の風説につき力願)／一通(二紙)／(明治元年)一〇月五日／一六・〇×八三・〇／切継紙 楮紙／大野忠兵衛↓渡辺三左衛門様／一筆啓上仕候：如斯御座候恐惶謹言／端裏書「十一月六日付□□大野忠兵衛」／1219-01-02紙縫一括／170

1219-02 書上(堀右衛門三郎他村松藩士の処置)／一通(二紙)／(明治元年)一九・五×二四・八／豎紙 楮紙／両旦那供廻り：多仲祐次御預ケ／1219-01-02紙縫一括／170

1220-05 千坂高雅他二名宛 斉藤篤信書状(山内容堂に色部久長戦死等申上げ、秋月世子に駿河守様御出府、献金他内意同等)／一冊(五丁)／(明治元年)一〇月七日／二四・九×一七・二／豎帳 紙縫綴冊子装 表紙無し 楮紙／主計↓御詰之間／1220-01-09紙縫一括、1220-05の封紙で05-08一括／封紙あり、万

願寺与一・毛利上総・加地権平宛／無

1220-06 願書(御征討につき三万両献金願)／一通(二紙)／明治元年一月／一六・三×二三・五／切紙 楮紙／御名／今般 御征討二付：奉懇願候以上／1220-01-09紙繕一括、1220-05の封紙で05-08一括／斎藤篤信の筆、マイクロでは1220-01／170

1220-07 上杉勝道願書案(天機伺出府につき止宿屋敷拜借願)／一通(二紙)／近代(年月日未詳)／一四・二×一八・〇／切紙 楮紙／上杉駿河守／私儀 今般天機為御窺：乍恐奉願候以上／1220-01-09紙繕一括、1220-05の封紙で05-08一括／マイクロでは1220-02／170

1220-08 坂田潔宛 薩摩藩士吉井友実書状(宮様着、長岡家来出府、米沢下邸一条、島津伊勢出立につき)／一通(一紙)／(明治元年)一月三日／一六・六×三五・五／切紙 楮紙／吉井↓坂田先生／拜見御堅勝：右申上候□々頓首／1220-01-09紙繕一括、1220-05の封紙で05-08一括／マイクロでは1220-03／170

1221 中條明資他二名宛 新保朝綱書状(君上御登京、献金、会津降伏人賄米につき秋月邸へ参上し心得向指揮願)／一通(一〇紙)／(明治元年)一月八日／一四・三×三三四・五／切紙 楮紙／芝詰左馬之助↓米沢御詰之間侍史／追而寒冷候御詰之間：草々申上□候以上／端裏書「江戸十一月八日付」／封紙あり、中条豊前・万願寺与一・毛利上総・加地権平、島津利馬宛／170

1222-07 会談所・元締所宛 御役所用状(御供養衛は中田駅より御返し、御供道中より御減少)／一通(三紙)／明治元年一月九日／一二・三×四五・〇／切紙 楮紙／御役所↓会談所・元締所／御供養衛者中田駅：御内談いたし候以上／1222-01-10紙繕一括／会談所等の異筆書き込み等あり／170

1222-08 会談所・元締所宛 御役所用状(夫方共昼夜出精につき御褒美成し下され)／一通(三紙)／明治元年二月一日／一四・五×四〇・五／切紙 楮紙／御役所↓会談所・元締所／御登り依頼夫方共：御内談いたし候以上／1222-01-10紙繕一括／会談所等の異筆書き込み等あり／170

1222-09 会談所他宛 御役所用状(密雲転寮につき祝物の詮議)／一通(四紙)／明治元年二月五日／一四・五×五九・五／切紙 楮紙／御役所↓会談所・元締所／此度密雲転寮二付：御内談いたし候以上／1222-01-10紙繕一括／170

1222-10 会談所他宛 御役所用状(猿橋哲二郎湯野川郷衛へ御渡し)／一通(四紙)／明治元年一月一日／一四・五×五五・五／切紙 楮紙／御役所↓会談所

右之通猿橋：致御内談候以上／端裏書「猿橋健次自主之御評判」／1222-01-10紙繕一括／会談所の異筆書き込み等あり、包紙あり、ウワ書「大滝六老建白書」／170

1223-01 大滝忠恕・小幡親徳宛 池田正広・高坂政寛書状(長岡藩御預藩士帯刃につき別紙の通り伺、休泊の儀も村松同様に周旋)／一通(二紙)／(明治元年)一月九日／一六・二×六一・〇／切紙 楮紙／池田恭太郎・高坂為蔵↓大滝新蔵様・小幡源吾様／一簡拜呈仕候：如此御座候恐惶謹言／1223-01-02封紙一括／封紙あり／170

1223-02 伺書(長岡藩は鎗銃器ばかり預り置き帯刀苦しからざる旨御達につき)／一通(二紙)／(明治元年)一月／一五・二×四一・五／切紙 楮紙／昨日從御本營：御窺申上候以上／1223-01-02封紙一括／下札あり／170

1224-02 米沢詰之間宛 中条明資・新保朝綱書状(箱館一条、徳川氏を主として軍艦に向い説諭、奥羽寛典の一策御座あるべく他)／一通(七紙)／(明治元年)一月三日／一四・二×二〇六・〇／切紙 楮紙／東京詰左馬之助・市兵衛↓米府御詰之間／一輪拜呈追日寒氣：要用のミ申上候以上／端裏書「十一月十三日付」／1224-01-11紙繕一括／包紙あり／170

1224-03 倉崎清典他二名宛 三瀧政清書状(御治定にて不都合になり残念、氏家駅御着陣等七日以降の道中の様子につき)／一通(三紙)／(明治元年)一月一日／一四・五×五六・七／切紙 楮紙／清蔵↓七左衛門様他二名／九日夕九時頃江戸表分：一通り得貴意候頓首／1224-01-11紙繕一括、03-04封紙一括／封紙あり、1224-04の封紙カ／170

1224-04 木滑政愿他三名宛 新保朝綱書状(君上御登に変評、謝罪金献納年割は不当、会津降伏人の賄方飯料他)／一通(五紙)／(明治元年)一月八日／一四・二×一五二・五／切紙 楮紙／江小子↓米御三人様／一輪拜啓候：草略得御意候頓首／1224-01-11紙繕一括、03-04封紙一括／封紙ウワ書「木滑要人様大滝新蔵様 倉崎七左衛門様 三瀧清蔵様 越甚五左衛門」／170

1225 上杉御用懸宛 軍務官札問局達書(米沢藩足輕佐藤文太・同土屋力弥引渡謹慎申し付け)／一通(三紙)／(明治元年)一月二日／一七・七×六二・五／切紙 楮紙／軍務官札問局(黒印)↓上杉用掛中／米沢藩 足輕 佐藤文太：此段及御達候以上／1225-1226紙繕一括／封紙あり／170

1226-01 新保朝綱・庄田秀苗宛 高鍋藩士岩村虎雄書状(米沢藩へ箱館出兵の達につき御奮発迅速御進軍にて御奏功を祈る)／一通(二紙)／(明治元年)一月九日／一六・七×五五・五／切紙 楮紙／岩村虎雄↓新保左馬之助様・越甚五右衛門

様／將又此度者箱館表：右御礼旁々々頓首／12255／1226紙縫一括、1226—01503封紙一括／柱題「岩村虎雄分書翰写」／170

1226—02 大滝忠恕・倉崎清典宛 新保朝綱・三瀧政清書状(岩村虎雄より別紙の通申来、坂田潔より取消につき却って願立に成る様左京亮の御趣意)／一通(二紙)／(明治元年)一月三日／一六・七×八六・〇／切継紙 楮紙／江兩人↓米御兩人様／一輪致拜啓候：早速可得御意候頓首／12255／1226紙縫一括、1226—01503封紙一括／封紙あり、ウワ書「御用筋 大滝新蔵様 倉崎七左衛門様 越甚五右衛門 三瀧清蔵」／170

1226—03 大滝忠恕・倉崎清典宛 三瀧政清書状(君上御道中滞なきにつき)／一通(二紙)／(明治元年)一月三日／一四・八×四八・〇／切継紙 楮紙／清蔵↓新蔵様・七左衛門様／明卯之刻飛脚御差立：御奉仕可被成候恐惶謹言／12255／1226紙縫一括、1226—01503封紙一括／170

1228—01 米沢詰之間宛 東京詰之間書状(奥羽越諸藩のための歎願書、甘粕献言を差し下し)／一通(二紙)／(明治元年)一月二六日／一四・三×三九・〇／切継紙 楮紙／東京詰之間↓米沢御詰之間／奥羽越諸藩之為：御落掌可被下候以上／端裏書「十一月廿六日付」／1228—01509紙縫一括、01504封紙一括／170

1228—02 上杉育憲歎願書案(奥羽越諸藩の抵抗威は臣育憲に由る)／一通(二紙)／辰(明治元年)一月／一六・五×八五・五／切継紙 楮紙／藤原□□／臣、負謹之：誠恐誠惶謹言／1228—01509紙縫一括、01504封紙一括／170

1228—03 竹俣久綱宛 木滑政原書状(箱館出兵願提出につき坂田潔・毛利恭助等の議論)／一通(六紙)／(明治元年)一月二六日／一四・四×一五九・五／切継紙 楮紙／青信太夫↓権平様侍史／脚便江之御尊書：御沙汰を奉仰候頓首／1228—01509紙縫一括、01504封紙一括／170

1228—04 甘糟継成意見書(会津鎮撫急務につき箱館出兵は以の外)／一通(五紙)／(明治元年)一月二〇日／一四・六×一三二・五／切継紙 楮紙／甘糟備後此度箱館一乱二付：可被成義と奉存候事／1228—01509紙縫一括、01504封紙一括／170

1228—07 大滝忠恕・倉崎清典宛 下平忠勤・長尾権十郎書状(新発田にて参謀に村松藩寛大仕置につき周旋)／一通(三紙)／(明治元年)一月一九日／一五・二×一五九・〇／切継紙 楮紙／下平彦三郎・長尾権十郎↓大滝新蔵様・倉崎七左衛門様／(欠損)拜啓仕候：周旋致し(後欠)／端裏書「越後十一月十九日付」／1228—01509紙縫一括／封紙あり／170

1229—02 会談所他宛 役所用状(三谷より献上御礼として男帯地・菓子成し下しにつき内談)／一通(三紙)／明治元年二月／一五・〇×三七・七／切継紙 楮紙／御役所↓会談所・元締所／三谷より献上もの：可被申上候以上／1229—0150紙縫一括／会談所・元締所・順作の意見書込あり／170

1229—03 会談所宛 役所用状(興禅寺和尚召し出しにつき内談)／一通(二紙)／明治元年二月六日／一四・五×二七・八／切継紙 楮紙／御役所↓会談所／先日興禅寺和尚：御内談いたし候以上／1229—01510紙縫一括／会談所・物書の意見書込あり／170

1229—05 会談所他宛 役所用状(浄雲院と面談の亭主方および献立につき内談)／一通(二紙)／明治元年一月二一日／一四・五×五二・五／切継紙 楮紙／御役所↓会談所・元締所／高井手跡両小姓頭：可被申上候以上／1229—01510紙縫一括／会談所ほかの意見書込あり／170

1229—06 会談所他宛 役所用状(私用外出は月六度限り扱んどころなき用事は七時より御許しにつき内談)／一通(二紙)／明治元年一月二一日／一四・三×三六・〇／切継紙 楮紙／御役所↓会談所／度々之外出者：致御内談候以上／1229—01510紙縫一括／会談所・忠三郎の意見書込あり、拍子木受取についての口達手控の別紙あり／170

1229—07 会談所他宛 役所用状(安養院借受け金、土佐兵隊借住の賄い、樽代につき内談)／一通(二紙)／明治元年二月一四日／一四・七×三九・二／切継紙 楮紙／御役所↓会談所・元締所／安養院借受け二付：御内談いたし候以上／1229—01510紙縫一括／会談所ほかの意見書込あり／170

1229—09 会談所・元締所宛 役所用状(宮島誠一郎、勝海舟より秘密承り菓子三両分贈るにつき内談)／一通(二紙)／明治元年一月二六日／一四・五×二五・〇／切継紙 楮紙／御役所↓会談所・元締所／宮島誠一郎度々：御内談いたし候以上／1229—01510紙縫一括／会談所・物書の意見書込あり／170

1229—10 会談所・元締所宛 役所用状(右筆・片山・宮島、記録事諸書事多のところに明りなき座敷につき火鉢御渡し等内談)／一通(二紙)／明治元年一月二二日／一二・三×五〇・二／切継紙 楮紙／御役所↓会談所・元締所／此間下宿割替：御内談いたし候以上／1229—01510紙縫一括／会談所・物書の意見書込あり／170

1230 米御詰之間宛 東京詰之間書状(箱館出兵申立て、会津降伏飯米一条、奥羽越諸藩のため罪引き受けの草稿、山内容堂に拝謁、等)／一通(一〇紙)／(明治元年)一月二六日／一四・三×三三八・五／切継紙 楮紙／東京詰之間↓米御詰之間／寸楮

拝啓強寒之節：拝呈仕候已上／170

1231-07 織田亮平宛 片山昇願書(食料・雑費を当分藩が受け持ちにつき、成兵同様に取扱下されたく)／一通(四紙)／(明治元年)十一月二七日／一六・四×一六〇・六／切継紙 楮紙／米沢藩片山昇↓監察頭取織田亮平／先達而塩原入：此段奉伺候以上／1231-01-10紙縫一括／「監察頭取織田亮平」の名札付属、付札あり／170

1231-09 窪島政章・上倉鉄蔵宛 山口三郎書状(二八日新潟へ繰り込み、官軍上陸にて防禦術尽き、諸手引揚後は官軍御改めとして廻村の趣他、戦況披露)／一通(四紙)／辰(明治元年)十一月八日／一八・〇×一五三・七／切継紙 楮紙／謹一郎事山口三郎↓窪島太七様・上倉鉄蔵様／私儀廿七日：奉願上候已上／端裏書「越後水原より十一月八日付 山口三郎」／1231-01-10紙縫一括／「伺之通」の紙一枚同封、宛先は窪島多七の誤記、封紙あり、但し他の書状用で1238他が入っていたものカ／170

1232-01 本庄昌長他三名宛 中条明資書状(越後岩那郡二〇〇石余領地につき、会津降伏人へ賄米につき)／一通(三紙)／(明治元年)十一月二七日／一四・三×六五・三／切継紙 楮紙／市兵衛↓与一殿他三名／以別紙申入候然者：申入如斯御座候以上／端裏書「以付札申入候」／170

1232-02 書上(齊憲出府に向けた手配、土州侯にては御家に御尽力、以後の謝御頼みなされたく)／一通(三紙)／(明治元年)一月頃／一四・五×五六・〇／切継紙 楮紙／一御道中御供方：為御登二相成度云々／木滑政愿の筆／170

1233 米沢藩重臣中宛 平藩士松本堅貞書状(別紙書取にて申上の歎願の旨御推察願いたく)／一通(二紙)／(明治元年)十一月二八日／一八・〇×七八・〇／切継紙 楮紙／松本右門堅貞(花押)↓御重臣中様／未得拝顔率爾之至：呈拙書候恐惶謹言／1233-1234包紙一括／170

1234 米沢藩重臣宛 平藩士松本堅貞書状(仙台表において降伏し対馬守隠居、尊藩函館出帥のこと伝承につき勤王実効として隊に差加え願)／一通(五紙)／(明治元年)十一月)／一八・〇×二二八・六／切継紙 楮紙／安藤対馬守家来警城小名浜出張松本右門↓米沢御判御重臣中様／先般於仙台表：幾重にも奉願候以上／1233-1234包紙一括／170

1235 若林吉祐他二名宛 平藩士味岡重太夫・上坂助太夫書状(貴藩降伏後出兵の趣伝承につき、私共一小隊尊藩兵隊中に差加え願)／一通(五紙)／(明治元年)十一月二八日／一八・〇×二一七・一／切継紙 楮紙／味岡重太夫・上坂助太夫↓若林宗大様他二名／一筆啓上仕候：奉願候恐惶謹言／封紙あり／170

1236 覺書写(御帰順につき薩摩參謀村田勇右衛門・安芸隊長寺本栄之助、上関村問屋渡辺利右衛門への褒賞)／一通(三紙)／辰(明治元年)十一月／一四・六×七七・八／切継紙 楮紙／右両人者越後：此段申出候以上／端裏書「御帰順二付要件之申立」／柱題「覚」／170

1237 弁事局宛 上杉勝道伺書案(本家不埒にて謹慎につき私儀も同様謹慎のところが、今般東京行幸にて天機同は如何心得るべきか)／一通(二紙)／辰(明治元年)十一月／一四・三×三九・五／切継紙 楮紙／駿河守様御名↓弁事御中／本家御名儀不埒：御内意奉伺候以上／170

1238 「仙藩肥後陣門江歎願謝罪之取調書」(明治元年八月、仙台藩から熊本藩陣中への謝罪の顛末、九月一五日まで)／一冊(五丁)／近代(年月日未詳)／二四・七×一七・二／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／170

1239-01 会談所・元締所宛 御役所用状(御家老御交代の節、芝寮主へ蠟燭一箱口上書添へ遣わす)／一通(二紙)／明治元年二月二日／一四・五×三五・五／切継紙 楮紙／御役所↓会談所・元締所／屢々御家老御交代：致御内談候以上／1239-01-05紙縫一括／宛先の下に別意なき旨の返答を記載／170

1239-02 会談所・元締所宛 御役所用状(会津降伏人御撫育のための飯米運送困難にて、会津当年収納米の内拝借にて降伏人賄いたく)／一通(二紙)／明治元年一月二二日／一二・三×四四・五／切継紙 楮紙／御役所↓会談所・元締所／会津降伏人御撫：此段奉伺候已上／1239-01-05紙縫一括／宛先の下に別意なき旨の返答を記載／170

1239-03 会談所宛 御役所用状(両寺に詰合の者猥りに外出し不謹慎に見えるにつき外出差し止めしかるべき)／一通(二紙)／明治元年一月一七日／一五・〇×五六・五／切継紙 楮紙／御役所↓会談所／両寺江談合之者：御内談いたし候以上／1239-01-05紙縫一括／宛先の下に別意なき旨の返答を記載／170

1239-04 会談所宛 御役所用状(麻布様、来一五日御立につき宿刻内談)／一通(三紙)／明治元年一月二日／一四・七×五一・〇／切継紙 楮紙／御役所↓会談所／麻布様来ル十五日：御内談いたし候以上／1239-01-05紙縫一括／宛先の下に別意なき旨の返答を記載／170

1239-05 会談所・御金蔵宛 御役所用状(罪人へ布団御渡しにつき内談)／一通(三紙)／明治元年一月一六日／一二・四×五二・五／切継紙 楮紙／御役所↓会談所・御金蔵／湯野川郷衛分：御内談いたし候以上／1239-01-05紙縫一括／宛先の下に返答を記載／170

12440 平藩士河端道順書状 (尊藩隊末に附属、北地出師の儀朝廷へ願ひ取扱いの件御承引につき礼) / 一通 (三紙) / (明治元年) 二月五日 / 一六・二×一〇三・〇 / 切継紙 楮紙 / 安藤対馬守内 河端道順 / 此度奥羽列藩降伏 : 御含置可被下候已上 / 170

12441 平藩士河端道順書状 (御城下滞留中の取扱ひにつき礼) / 一通 (二紙) / (明治元年) 二月五日 / 一六・〇×四〇・八 / 切紙 楮紙 / 安藤対馬守内 河端道順 / 御城下滞留中 : 御披露可被下候已上 / 170

1243101 弁事局宛 上杉勝道書状 (首謀人色部久長は七月二九日新潟にて討ち死につき) / 一通 (二紙) / 辰 (明治元年) 二月 / 一六・五×六一・四 / 切継紙 楮紙 / 上杉駿河守 / 弁事御中 / 首謀人 上杉式部家老 色部長門 : 被成下度奉存候以上 / 170

1243102 弁事役所宛 中條明資伺書 (上杉齊憲先達で官位召し上げのところ、勝道は官位取上の沙汰なく、これまで通り従四位下侍従と心得しかるべきや) / 一通 (一紙) / 辰 (明治元年) 二月 / 一六・六×二八・三 / 切紙 楮紙 / 上杉式部内 高井市兵衛 / 弁事役所 / 上杉弾正先達 : 可然候哉奉伺候以上 / 170

1243109 米沢詰之間宛 東京詰之間書状 (秋月藩より首謀者を色部長門として提出し越後において討死と書き加えるべき旨提案につき報知) / 一通 (四紙) / (明治元年) 二月二〇日 / 一五・〇×一〇三・八 / 切継紙 楮紙 / 去ル十七日御隠君様 : 右要用一ト通り申入候以上 / 170

1244107 木滑政愿・三瀧政清宛 新保朝綱書状 (諸藩御処置厳寛色々の模様、宮島聞き取りの別紙差し上げのこと) / 一通 (一紙) / (明治元年) 一〇月二六日 / 一四・五×三三・五 / 切紙 楮紙 / 今般諸藩御所置之儀は : 御汲覽置可被下候以上 / 端裏書「十一月朔日相達」 / 1244107 / 10封紙一括 / 前欠、封紙ウワ書「木滑要人様 三瀧清蔵様 江戸 越甚五左衛門」 / 無

1244108 木滑政愿他三名宛 中川富義・庄田秀苗書状 (会津領内人馬大いに差支え、岩村虎雄上着否右京亮へ奥羽の事情言上、宮島誠一郎を因州屋敷大総督府へ差し出し申談のこと) / 一通 (六紙) / (明治元年) 一〇月二六日 / 一四・五×一六九・二 / 切継紙 楮紙 / 英助・右京 / 要人様他三名 / 一輪拝啓 : 宜敷御沙汰可被下候以上 / 1244107 / 10封紙一括 / 無

1244109 御役所宛 中川富義書状 (諸家江戸屋敷の模様につき、因幡屋敷は総督府になり、薩摩・長州も御上屋敷はなし) / 一通 (二紙) / (明治元年) 一〇月二六日 / 一六・四×二七・三 / 切継紙 楮紙 / 中川英助 / 御役所 / 江戸中御諸家之御やしき : 相分り不申候以上 / 1244107 / 10封紙一括 / 無

1244110 宮島誠一郎聞書 (奥羽処置の儀につき萃頂宮様御内山城房の密話) / 一通 (一紙) / (明治元年) 一〇月二六日 / 二四・一×三三・二 / 切紙 楮紙 / 誠一郎 / 一 / 今度結末筑後守 : 心得二相成議論二奉存候 / 1244107 / 10封紙一括 / 柱題「萃頂宮様御内山城房密話」 / 無

1244111 大滝忠恕・倉崎清典宛 窪島政章・池田正広書状 (参謀蒲生新蔵の御達、長岡民政府の一条、会津表のこと変わりになきにつき報知) / 一通 (二紙) / (明治元年) 二月九日 / 一五・〇×六三・二 / 切継紙 楮紙 / 恭太郎・多七 / 宮内様・七右衛門様 / 昨廿日之刻過飛脚 : 御奉職候様奉通祈候以上 / 無

1245101 米沢四名宛 東京二人書状 (叛逆謀叛の者取調べにつき評議にて色部長門とするまでの経緯報知) / 一冊 (四丁) / (明治元年) 二月二〇日 / 二五・三×一六・四 / 豎帳 紙縫綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 二人 / 米沢御四人様 / 十二月十七日晴万々 : 余ハ後便にて相略申候以上 / 作成者は筆跡から木滑要人 / 170

1245102 米沢四名宛 東京二人書状 (若殿様官位の儀につき父の罪子に及すべきに無きよう談判のこと) / 一通 (二紙) / (明治元年) 二月二〇日 / 一五・八×八〇・五 / 切継紙 楮紙 / 東京二人 / 米沢御四人様 / 追啓一左兵衛 : 決評二御座候以上 / 封紙あり、〇一とは別筆 / 170

12446 談判覚書 (主謀者の差出につき色部長門とすべく片山一貫・宮島誠一郎、岩村虎雄へ談判) / 一通 (三紙) / (明治元年) 二月二〇日 / 一六・五×一八・五 / 切継紙 楮紙 / 仁先達御厚意被仰下候 : 委曲拝承仕段申述帰舎 / 柱題「片山仁一郎・宮島誠一郎岩村虎雄江参談判左二」 / 170

12447 上杉勝道重臣宛 弁事達書 (御用につき来二六日已刻出頭すべきこと) / 一通 (一紙) / (明治元年) 二月二四日 / 二一・〇×三四・七 / 切紙 楮紙 / 弁事 / 上杉式部殿重臣中 / 御用之儀候間来ル : 廿六日已刻出頭可有之候也 / 170

12448 斉藤篤信・甘粕継成宛 山本寺勝強書状 (侍組へ交代至急に仰せ付けられ、天朝御賄にて余計にてならぬよう御含み下されたく) / 一通 (三紙) / (明治元年) 二月二四日 / 一四・四×七三・八 / 切継紙 楮紙 / 伊予 / 主計殿・備後殿 / 過日得御意置候 : 得御意度可有之候以上 / 170

12449 加賀藩他四藩隊長宛 参謀達書 (降人高田・松代両藩へお預けにつき護送のため宿割の者二人ずつ人選のこと) / 一通 (三紙) / (明治元年) 二月二四日 / 一四・八×七〇・三 / 切継紙 楮紙 / 在陣参謀 / 加州藩隊長中他四隊長 / 今般降人高田・松代 : 可被差出候事 / 170

1250 御金蔵役所宛 寛助・吉次書状 (降人高田・松代両藩へお預けにて護送の内

達につき、国表より早急人数遣わし下されたく) / 一通(三紙) / (明治元年) 一二月二五日 / 一四・二×七二・三 / 切継紙 楮紙 / 吉次・寛助 ↓ 御金蔵御役所御一統様 / 御一統様猶以御壮栄 : 申達被下置早々 / 宛先の下に来書の通りにするしかない旨の返答を記載、作成者の一人は真野寛助カ / 170

1251 大滝忠恕・倉崎清典宛 小倉将監書状 (高田・松代両藩へ降人御渡しにつき宿割他申来報知) / 一通(二紙) / (明治元年) 一二月二五日 / 一四・四×四四・五 / 切継紙 楮紙 / 将監 ↓ 新蔵様・七左衛門様 / 一簡拝呈然れハ : 可被下候以上 / 170

1252 古海勘左衛門・斎藤篤信宛 小倉将監書状 (高田・松代両藩へ降人御渡しにつき大急にて役人手配のこと) / 一通(三紙) / (明治元年) 一二月二五日 / 一四・二×六八・〇 / 切継紙 楮紙 / 将監 ↓ 勘左衛門様・主計様 / 一簡拝啓仕候然れハ : 如斯御座候以上 / 170

1253-01 諸口返済金書上 (三谷三九郎、密雲庵、水野三郎兵衛、細木伊三郎他より計二万五〇〇八両) / 一通(三紙) / (明治元年二月) / 一五・九×一一・二・〇 / 切継紙 楮紙 / 一 四千両 : 御引除金 / 1253-01-06 紙繕一括 / 柱題「諸口返済」 / 170

1253-02 会談所宛 御役所用状 (別紙諸銀主への返済に関する内談の経過) / 一通(五紙) / 明治元年二月二四日 / 一五・七×六五・〇 / 切継紙 楮紙 / 御役所 ↓ 会談所 / 別紙諸銀主 : 御内談いたし候以上 / 1253-01-06 紙繕一括 / 宛先の下に返答を記載、奥裏に「明治元年十二月分 御借入金口々申訳の評判」とあり / 170

1253-03 会談所・元締所宛 御役所用状 (密雲和尚より当年分の金穀御改めの厚意、三谷家へも当年分元利休頼入につき内談) / 一通(五紙) / 明治元年二月二四日 / 一五・一×七六・五 / 切継紙 楮紙 / 御役所 ↓ 会談所・元締所 / 此度密雲より当年分の金穀ハ深く : 御内談いたし候以上 / 端裏書「明治二年十二月分 三谷ト密雲江元利共ニ休之旨頼入候二付 : 」 / 1253-01-06 紙繕一括 / 宛先の下に返答を記載 / 170

1253-04 会談所・元締所宛 御役所用状 (密雲和尚より継目の祝儀として献上の束本三〇〇疋につき、近例の通り御納戸入とすべきと内談) / 一通(二紙) / (明治元年) 一二月一五日 / 一五・一×二三・五 / 切継紙 楮紙 / 御役所 ↓ 会談所・元締所 / 密雲和尚より : 御内談いたし候以上 / 端裏書「四十一」 / 1253-01-06 紙繕一括 / 宛先の下に返答を記載 / 170

1253-05 会談所・元締所宛 御役所用状 (飛脚の差立てにつき内談) / 一通(二紙) / 明治元年一月二七日 / 一四・五×三〇・〇 / 切継紙 楮紙 / 御役所 ↓ 会談所・元締所 / 参謀斎藤殿已前 : 御内談いたし候以上 / 端裏書「廿七」 / 1253-01-06

6 紙繕一括 / 宛先の下に返答を記載 / 170

1253-06 会談所・元締所宛 御役所用状 (上洛の節病人へ施薬下されるにつき内談) / 一通(二紙) / 明治元年一月一六日 / 一四・五×二一・七 / 切継紙 楮紙 / 御役所 ↓ 会談所・元締所 / 是まで御上洛の節 : 左ニ御内談いたし候以上 / 端裏書「十六」 / 1253-01-06 紙繕一括 / 宛先の下に返答を記載 / 170

1255-01 会談所・元締所宛 御役所用状 (梶川伊兵衛諸御用便宜のため白銀屋敷のうち一〇坪ほど拝借願いにつき内談) / 一通(二紙) / 明治元年二月一九日 / 一五・〇×三三・〇 / 切継紙 楮紙 / 御役所 ↓ 会談所・元締所 / 別紙指副の通梶川伊兵衛 : 致御内談候以上 / 端裏書「十五」 / 宛先の下に返答を記載、奥裏に「四十五」とあり / 170

1255-03 会談所・元締所宛 御役所用状 (寒気強く凍死に及ぶまで凍える覚悟にて痛み入る、御物書・手元供廻りの下宿替内談) / 一通(五紙) / 明治元年一月二五日 / 一四・五×七八・五 / 切継紙 楮紙 / 御役所 ↓ 会談所・元締所 / 寒入候而別而寒気強く : 御内談いたし候以上 / 端裏書「廿五」 / 宛先の下に返答を記載、奥裏に「下宿替之御評判 不用」とあり / 170

1255-04 会談所・元締所宛 御役所用状 (寒風の時節役々入浴できぬ者多く痛み入る、四日に一度両院へ風呂を立て休息の手当されたく内談) / 一通(三紙) / 明治元年一月二三日 / 一四・五×四二・七 / 切継紙 楮紙 / 御役所 ↓ 会談所・元締所 / 寒風の時節外出御禁制二候へハ : 御内談いたし候以上 / 端裏書「廿四」 / 宛先の下に返答を記載 / 170

1255-08 会談所宛 両局用状 (水戸形勢探索派遣のところ動乱鎮静、御供方・兵隊多人数にては世間耳目を倒立させるとの委曲上申か内談) / 一通(六紙) / 明治元年一月三〇日 / 一二・四×八三・四 / 切継紙 楮紙 / 両局 ↓ 会談所 / 水戸形勢為探索湯の川 : 御内談いたし候以上 / 端裏書「二」 / 宛先の下に返答を記載 / 無

1255-09 会談所宛 御役所用状 (御親兵・囚人送りにて三日三晩不寝の勤務、休息の手段につき内談) / 一通(二紙) / 明治元年一月一九日 / 一二・四×三四・〇 / 切継紙 楮紙 / 御役所 ↓ 会談所 / 御親兵沢殿熊男囚人 : 致御内談候以上 / 端裏書「十九」 / 宛先の下に返答を記載 / 無

1255-10 会談所・御金蔵宛 御役所用状 (登り込み人数多人数につき兵隊順次差返すべく内談) / 一通(八紙) / (明治元年) 辰一月一四日 / 一四・五×一七四・五 / 切継紙 楮紙 / 御役所 ↓ 会談所・御金蔵 / 追々登り込有之 : 致御内談候以上 / 端裏書「十四」 / 宛先の下に返答を記載 / 無

1256 年寄衆宛 興禅寺伺書(三丸様御下宿座敷の豊大破のため手入れ下された)／一通(一紙)／辰(明治元年)二月／一八・〇×四九・〇／切紙 楮紙／興禅寺御年寄衆中様／今般御三丸様御下宿：此段御伺奉申上候以上／柱題「以書付御伺申上候事」／170

1268 平藩土堀内喜右衛門書状(今般福島表にて御家来衆より出張藩士へ事情説論にて一同承伏、社稷存続のため周旋願う)／一通(三紙)／(明治元年九月)／一六・〇×一八・四／切紙 楮紙／安藤齋翁内 堀内喜右衛門／秋冷之節御座候処：申上置候様申付候以上／封紙あり／170

1288 「箇条書」(官軍乗り込み後の諸民政心得通知)／一冊(一七丁)／明治元年一月／二三・九×一七・〇／豎帳 紙縫綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／カ〇本 □／171

1362-01 島津教忠他三名宛 中條明資書状(函館出兵に対する土佐藩と高鍋藩の意見相違につき)／一通(七紙)／(明治元年)一月一八日／一四・四×二三・七五／切紙 楮紙／東京詰之間↓米 御詰之間／左右如何不知：至要寸楮拝呈仕候以上／端裏書「〇に二」、東京十一月十八日」／1362-01-02 包紙一括／封紙ウウ書「万願寺与一様 毛利上総様 加地権平様 島津利馬様 高井市兵衛」／176

1362-02 島津教忠他三名宛 中條明資書状(長岡人護送方、岩村虎雄より函館出兵願立しかるべく他)／一通(四紙)／(明治元年)一月一八日／一四・五×一七・五／切紙 楮紙／東京詰之間↓米 御詰之間／一筆相認候：御詳悉奉願候已上／端裏書「〇に二」、東京十一月十八日」／1362-01-02 包紙一括／176

1388-03 米沢藩宛 軍務官札問所達書(土屋力弥他軍監にて召捕当人共預り置くにつき通知)／一通(二紙)／辰(明治元年)一月一五日／一五・五×七九・五／切紙 楮紙／軍務官札問所(黒印) ↓上杉藩江／右之者過日：及御達候以上／1388-01-10 紙縫一括／177

1388-04 出羽諸藩公用人宛 森長義廻状(外田中村藩花房藩下賜、当所詰合役人共引移につき通知)／一通(三紙)／(明治元年カ)一月一七・五×九八・〇／切紙 楮紙／米沢藩杉山盛之進↓龜田御藩他九藩公御用人中様／以廻章致啓上候：如斯御座候以上／1388-01-10 紙縫一括／封筒と本紙を貼継ぐ／177

1388-09 木滑政愿他二名宛 三瀧政清書状(御着殿恐悦、両参謀は今夕李平泊り他報知)／一通(五紙)／(明治元年)一月四日／一四・六×七九・〇／切紙 楮紙／清蔵↓要人様他二名／一翰拝呈仕候：相陳申候頓首／1388-01-10 紙縫一括／参謀名から年代推測、本陣警護の部隊割を記した別紙附属／177

1388-10 毛利業広他二名宛 中條明資書状(板谷駅江被遊御着座、委細之儀者三瀧御年寄より申越につき報知)／一通(三紙)／(明治元年)一月五日／一四・五×四五・五／切紙 楮紙／市兵衛↓上総殿他二名／以飛脚申入候：如此御座候以上／1388-01-10 紙縫一括／封紙あり／177

1391 町奉行申立書(朝廷より仰せ出されの規則書速やかに御差し下されたし)／一通(二紙)／(明治元年カ)一〇月／一六・三×四一・〇／切紙 楮紙／町奉行／一 綱 刑法 規則書：御含被下度事／柱題「覚」、町奉行からの申し立てを転送し、付札で返答するよう依頼、付札は木滑政愿の筆／177

1432 毛利業広他二名宛 中條明資書状(天皇還行につき上杉齊憲の帰国伺は勝手次第のこと、茂憲家督御礼のため東京へ参上他)／一通(八紙)／(明治元年)一月二日／一四・四×二七・一／切紙 楮紙／東京詰之間↓米御詰之間／一翰啓上嚴寒之節：呈寸楮候以上／端裏書「十二月十二日付東京御詰之間」／封紙あり、詳細の発給は封紙に記載／177

1516 主計宛 隠居書状(戦況観測、会津落城も近々との説もあり、日本中野も山も官軍となること、この書面披見後はぜひ火へ投じるべきこと)／一通(三紙)／(明治元年)九月一日／一四・七×二二・〇／切紙 楮紙／隠居↓主計／□□今日其地江召：尊通可有之候以上／端裏書「例之大走筆能々推見相済、早速沈鎮火可被致候：」／221

1518-01 千坂高雅宛 毛利業広書状(先達て無名の上書につき眉を顰めるのみ)／一通(八紙)／(明治元年)一月二日／一六・〇×三〇・〇／切紙 楮紙／上総↓太郎左衛門様／御私書拝見仕候先々去ル十六日：切角寒氣御自愛可被成候已上／1518-01の末尾に紙縫で02を括る／221

1518-02 千坂高雅宛 毛利業広書状別紙(本間相州去る一八日隠居家督につき二六日ころ酒田表へ罷り下るとのこと)／一通(四紙)／(明治元年)一月二日／一六・〇×二〇・六／切紙 楮紙／別啓本間相州も去ル十八日隠居家督：不悪御承知置可被下候已上／1518-01の末尾に紙縫で02を括る／221

1519-01 会谈所宛 窪島政章他二名書状(色部の死骸片付として弥三郎新潟表着、旧幕臣歎願書落手、近々三条へ転宮の風聞につき伺い、村松藩堀右衛門三郎家来来訪のこと他)／一通(八紙)／(明治元年)一月六日／一六・二×三三・〇／切紙 楮紙／多七他二名↓御会谈所中様／態々一簡拝啓仕候先以去月廿九日：数多有之候へ共追々申候以上／端裏書「十一月六日付越後□□□」／1519-01-04 紐一括、1519-01-13 紙縫一括／221

1519-02 大滝忠恕他二名宛 木滑政愿書状(松前出兵の一条困りいること)／

一通(二紙)／(明治元年)一月二六日／一六・六×七六・四／切継紙 楮紙／信大夫↓宮内様他二名／寸翰拜呈：方後信相讓申候以上／1519-001-04紐一括、1519-001-13紙縫一括／封紙あり／221

1519-003 会談所宛 恭太郎・高崎為蔵書状(色部弥三郎跡式のこと、色部総督死骸の片付けにつき関谷村名主より首もらい受け光林寺にて火葬、新潟奉行所旧幕臣謹慎のこと)／一通(三紙)／(明治元年)一月八日／一六・二×一六九・三／切継紙 楮紙／為蔵・恭太郎↓会談所御詰合中様／一昨六日多七為蔵御：御達書差上候間御落手可被下候以上／端裏書「戊辰十一月」／1519-001-04紐一括、1519-001-13紙縫一括／作成者の一人は池田正広カ／221

1519-004 占書(大御上・若御上・駿河様・佐渡様・御国内それぞれに関する冬至占)／一通(六紙)／(明治元年)一月八日／一六・二×一七一・〇／切継紙 楮紙／明年元年十一月八日冬至易諸占申上候事：御す、ミ有て大幸御座有へし／1519-001-04紐一括、1519-001-13紙縫一括／221

1519-005 会談所宛 両局用状(剣術精選警衛隊の所属につき、家老より使番までの出勤につき伺いおよび協議)／一通(八紙)／(明治元年)一月九日／一四・三×一〇・三／切継紙 楮紙／両局↓会談所／別紙絵図面二枚指添：可然候致御内談候以上／1519-001-13紙縫一括／袖に図面を紙縫で添付あり／221

1519-006 毛利業広他一名宛 中條明資書状(行政官より呼び出しにて八六か村地所召し上げの達、屋形様その表発駕のこと)／一通(三紙)／(明治元年)一月二五日／一六・五×一四一・一／切継紙 楮紙／東京詰之間↓米沢御詰之間／去ル十八日御差立之：右得御意草々以上／1519-006-08は同一の封紙入り、1519-001-13紙縫一括／221

1519-007 西郷吉二郎宛 安田恭助書状(遊撃隊交代も一通り決まりのこと)／一通(四紙)／(明治元年)七月一日／一三・九×一一二・三／切継紙 楮紙／安田恭助↓西郷吉次郎様／御離□始末尚御勇：此旨早々用事迄勿々不悉／1519-006-8は同一の封紙入り、1519-001-13紙縫一括／221

1519-008 書状(先便表状をもって東西へ公務人仰せ付けの旨承知)／一通(一紙)／近代(年月日未詳)／一六・五×一八・一／切紙 楮紙／再白先便表状を以上東西：御承知置可被成候以上／1519-006-8は同一の封紙入り、1519-001-13紙縫一括／221

1521-006 会談所宛 両局用状(松前の脱艦につきいせや彦次郎へ探索いたさせたく内談)／一通(一紙)／(明治元年)二月七日／一七・四×二四・三／切紙 楮紙／両局↓会談所／昨日至而聞耳な新聞有之：御内談いたし候以上／端裏書「三十六」

／1521-001-10紐一括／221

1521-007 片山一貫書状(会津降伏人の扱いにつき、会津収納米をもって賄い、追って返納の願、早速重役どもへも申間の上願い出る旨)／一通(二紙)／(明治元年)二月二五日／一六・五×六二・七／切継紙 楮紙／木下三平／昨廿四日於城中弁事多欠与兵衛内々：被成下度願置候／1521-001-10紐一括／221

1522-006 上杉茂憲宛 行政官沙汰書(旧領別紙村書の通り今般佐竹右京大夫・溝口伯耆守両藩へ取締仰せつけるにつき、早々地所引渡しのこと)／一通(二紙)／(明治元年)二月／二一・二×九一・三／切継紙 楮紙／行政官↓上杉式部／其藩旧領別紙村書之通：御沙汰候事／端裏書「十二月」／1522-001-06紙縫一括／221

1531-003 詰之間宛 斉藤篤信書状(岩村虎雄より箱館の動乱につき出征仰せ出さるること)／一通(四紙)／(明治元年)一月三日／一六・三×一七五・五／切継紙 楮紙／主計拜↓御詰之間／要旨而已二申上候：深く御注意奉願候以上／端裏書「江戸十一月十三日付」／1531-001-08紙縫一括／221

幕末維新期—明治元年—貼継・貼込—戊辰文書

1330-001 「戊辰文書 乾」(1330-001-01-13の表紙)／一卷／近代(年月日未詳)／二三・四×四四・八／黄緑地唐草模様原表紙／伊佐早兼古書之宝／1330-001-01-13卷子装／172

1330-001-01 朝廷宛 橋本信之他三名言上書控(徳川慶喜赦免につき)／一通(九紙)／慶応三年二月／一八・一×二二五・一／楮紙／橋本主税他三名／此来頻有不：誠惶誠恐頓首謹言／1330-001-01-13卷子装／元は切継紙／172

1330-001-02 岩倉具視書状写(徳川慶喜処罰につき各々公儀をつくすこと)／一通(四紙)／(明治元年)四月／二一・六×二〇八・三／楮紙／具視 □二考フルニ創業：尽サンコトラ欲ス／1330-001-01-13卷子装／元は切継紙／172

1330-001-03 奥羽列藩盟約書／一通(六紙)／(明治元年)五月／一五・六×一三一・七／楮紙／今度奥羽列藩：可加嚴譴者也／1330-001-01-13卷子装／元は切継紙／172

1330-001-04 上杉斉憲宛 奥羽鎮撫総督達書(庄内藩兵天童へ暴動の報知あり、援兵差し出し賊徒打ち払うべし)／一通(三紙)／(明治元年)四月八日／一九・二×七〇・五／楮紙／鎮撫総督(朱印)↓上杉中将／今般庄内賊兵：賊徒討払可申事／

1330-01-01-13 卷子装／元は切継紙、冒頭に上封あり墨書「上杉弾正大弼殿 鎮撫 総督 封」／172

1330-01-05 米沢藩建言書控（徳川慶喜らへ寛大の処置を願う）／一通（一紙）／（明治元年）四月／二〇・二×四三・六／楮紙／上杉弾正大弼内毛利上総／夫皇國之能：被成下度奉存候／1330-01-01-13 卷子装／元は切紙／172

1330-01-06 上杉斉憲宛 奥羽鎮撫總督達書（新庄副總督本陣手簿につき相應の人数差し出すべし）／一通（一紙）／（明治元年）閏四月／一八・一×二九・二／楮紙／鎮撫總督（朱印） ↓米沢中将／羽州新庄當時：警衛可致者他／1330-01-01-13 卷子装／元は切紙／172

1330-01-07 千坂高雅・竹俣久綱宛 新庄藩士舟生定成書状（尊藩より警衛人数差し出すはすのころ、沢様院内へ転陣）／一通（六紙）／（明治元年）五月六日／一八・八×一二七・二／楮紙／舟生源右衛門定成（花押） ↓千坂太郎左衛門様・竹俣美作様／過日於白石表沢様：此段申上候以上／1330-01-01-13 卷子装／元は切継紙／172

1330-01-08 竹内久綱・同役中宛 中村藩士岡田恭胤他四名書状（御応援御出兵は模様により依頼す）／一通（五紙）／（明治元年）六月二三日／一七・六×九八・五／楮紙／岡田監物恭胤（花押） 他四名 ↓竹俣美作様・御同役中様／一筆啓上仕候：御座候恐惶謹言／1330-01-01-13 卷子装／元は切継紙、冒頭に上封あり墨書「上杉弾正大弼様御内 竹俣美作様 御同役中様 相馬因幡守内 岡田監物 佐藤勘兵衛」／172

1330-01-09 上杉斉憲・上杉茂憲宛 公現法親王書状（なお天地に愧ざる名算ありたし、委細円覚院申し述べ）／一通（三紙）／（明治元年）九月八日／一七・二×一七・一／楮紙／公現 ↓米沢両御名／涼氣肅然之処：円覚院可申述候也不備／1330-01-01-01-13 卷子装／元は切継紙／172

1330-01-10 米沢藩家老宛 円覚院書状（御藩の議論様替の説あり宮様直書持参）／一通（四紙）／（明治元年）九月二日／一五・六×七七・三／楮紙／円覚院 ↓御家老中様／寸毫致拜啓候：御座候以上／1330-01-01-13 卷子装／八日付公現法親王書状とひと組、発給関係は切取られ冒頭に貼り付けられている、元は切継紙／172

1330-01-11 福島出張米沢藩本営宛 白河口総督府参謀達書（猪苗代へ転陣し会津降人警衛せよ）／一通（二紙）／（明治元年）九月二九日／二〇・二×四九・四／楮紙／福島出張米沢藩兵隊 ↓白川口総督府参謀：右急速猪苗代転陣：警衛可有之候事／1330-01-01-13 卷子装／冒頭に上封あり墨書「メ 九月廿九日発 福島

出張 米沢藩 本営 急辞 白川口総督府 参謀、元は切継紙／172

1330-01-12 大滝忠恕宛 上山藩士中村祐右衛門書状（謝罪歎願と秋田方面出陣し捕縛の兵につき執成願い）／一通（三紙）／（明治元年）一〇月五日／一三・二×一一二・一／楮紙／中村祐右衛門 ↓市川宮内様貴下／一翰拝呈仕候：可被下候以上恐惶謹言／端裏書「十月五日付」／1330-01-01-13 卷子装／元は切継紙／172

1330-01-13 米沢藩会議所詰宛 若松在陣参謀達書（会議所へ罷り出づべし）／一通（二紙）／（明治元年）十一月二日／一六・九×二三・五／楮紙／在陣参謀 ↓米沢藩会議所詰／御用有之候：可被罷出候也／1330-01-01-13 卷子装／元は切継紙／172

1330-02 〔戊辰文書 坤〕（1330-02-01-08の表紙）／一卷／近代（年月日未詳）／二〇・二×四二・五／黄緑地唐草模様原表紙／伊佐早兼古書之宝／1330-02-01-08 卷子装／172

1330-02-01 新政府触書（徳川慶喜征討準備）／一通（三紙）／（明治元年）二月三日／二〇・二×六三・四／楮紙／今度慶喜以下賊徒等：被仰出候事／1330-02-01-08 卷子装／元は切継紙／172

1330-02-02 中里盛直・堀尾重興宛 仙台藩士玉蟲誼茂・鈴木敬賢書状（至急用向きあり面会依頼）／一通（四紙）／（明治元年）五月二六日／一六・二×七四・五／楮紙／玉虫左大夫、鈴木直記 ↓中里丹下様・堀尾保助様／日増炎天相催候：無他事閣筆頓首／1330-02-01-08 卷子装／元は切継紙／172

1330-02-03 竹俣久綱・色部久長宛 庄内藩士石原重美他二名書状（軍艦引寄のためスネルへ出金願い）／一通（四紙）／（明治元年）八月七日／一七・五×一六〇・一／楮紙／石原平右衛門重美（花押） 他二名 ↓竹俣美作様・色部長門様／一筆致啓上候：御座候恐惶謹言／1330-02-01-08 卷子装／元は切継紙／172

1330-02-04 米沢藩重役中宛 土佐藩士伴正順他二名書状（降伏勧告）／一通（三紙）／（明治元年）八月／二〇・三×七八・一／楮紙／土州伴権大夫他二名 ↓米沢御藩御重役中様／此度為会賊追討：可申承候以上／1330-02-01-08 卷子装／冒頭に上封あり墨書「米沢御藩 御重役中様 土州 谷守部 片岡健吉 伴権大夫、元は切継紙／172

1330-02-05 竹俣久綱・千坂高雅宛 会津藩士菅野長修・上田兼教書状（これまで弊藩滞在の桑名藩士が米沢藩領内通行につき報知）／一通（五紙）／（明治元年）九月七日／一四・八×八二・七／楮紙／学太輔・権兵衛 ↓美作様・太郎左衛門様／弥御

堅勝凌可被成：御座候頓首／1330-02-01-08 卷子装／元は切継紙、末尾に上封あり墨書「〇九月七日付 米沢様御藩 竹俣美作様 千坂太郎左衛門様 萱野権兵衛 上田学太輔」／172

1330-02-06 堀尾重興宛 会津藩士秋月胤永・手代木勝任書状（談判のため暫時休戦の取り計らいを依頼す）／一通（三紙）／（明治元年）九月八日／一四・二×八三・五／楮紙／秋月悌二郎・手代木直右衛門↓堀尾保助様／昨夜内啓仕候：奉存候已上／1330-02-01-08 卷子装／元は切継紙／172

1330-02-07 毛利業広他二名宛 中村藩士泉胤富他二名書状（降伏以来の高配に対する礼）／一通（五紙）／（明治元年）九月二日／一五・六×二一六・五／楮紙／泉内蔵助胤富（花押）他二名↓竹俣美作様他二名／一筆致啓上候：御座候恐惶謹言／1330-02-01-08 卷子装／元は切継紙、冒頭に上封あり墨書「上杉弾正大弼様御内 毛利上総様 竹俣美作様 相馬因幡守内 泉内蔵助 大浦庄右衛門」／172

1330-02-08 竹俣久綱他二名宛 仙台藩士大条孫三郎他七名書状（国情通知のため佐沢良平、菅原龍吉派遣）／一通（三紙）／（明治元年）一〇月／一七・〇×一九・二／楮紙／大條孫三郎道徳（花押）他七名↓竹俣美作様他二名／一筆致啓達候：御聞取可被下候恐惶謹言／1330-02-01-08 卷子装／元は切継紙、冒頭に上封あり墨書「十月〇日付 竹俣美作様 島津利摩様 大條孫三郎 遠藤吉郎左衛門」／172

幕末維新期—明治元年—貼継・貼込—残存戊辰文書

1346-01 「残存戊辰文書 乾」(1346-01-01-60の表紙)／一点／近代(年月日未詳)／三九・八×二七・七／浅葱地散らし模様原表紙／二枚目の台紙に「林泉文庫」印あり、表紙・裏表紙部に往来物断簡の貼り込みあり／174

1346-01-01 官軍総大将宛 徳川慶喜書状写(偶然の行き違いより騒擾に及び謝罪、原本は明治元年一月七日付)／一通(一紙)／近代(年月日未詳)／一四・六×一四・二／楮紙／一七日大坂城：謹□□候以上／元は切紙／174

1346-01-02 錦旗切并由来書(孝明天皇親征初詔の節、勅命により献納した錦旗の切れ、増田家旧蔵とあり)／一枚(一紙)／江戸後期(年月日未詳)／三五・五×三・五／楮紙／文久三年八月：増田家ノ旧蔵ノ興讓学校展覽会之印ノ錦旗切れの法量縦三・五 横三五・五、由来書の法量縦二四・六、横一一・四、蔵書印は由緒書にあり、由緒書の元は小切紙／174

1346-01-03 下條親英・治部宛 片桐藤右衛門書状(関東脱走勢の敗走、多分軍器御調達也)／一通(四紙)／(明治元年)閏四月一日／一六・三×二一・八／楮紙／藤右衛門↓外記様・治部様／一簡啓上仕候：奉神念候頓首ノ端裏書「江戸御留守居」／元は切継紙、付箋二枚貼付、治部は安田治部カ／174

1346-01-04 奥羽同盟列藩軍議書(白河・庄内・北越の処置等に関する軍事計画)／一通(九紙)／(明治元年)一五・一×二九九・六／楮紙／一 薩長を始官軍大卒白川江：為致説得可然事ノ柱題「白河ノ所置」、元は切継紙、本紙先端は切られている／174

1346-01-05 色部久長宛 竹俣久綱他二名書状(信濃川を挟み大砲打ち合ひ他戦況)／一通(三紙)／(明治元年)五月二日／一五・〇×四八・一／楮紙／詰之間↓越地御詰之間ノ則勘定早に而：御意候以上ノ封紙あり、封紙墨書「黒印」 色部長門様 千坂太郎左衛門 毛利上総 竹俣美作、元は切継紙、本紙末尾を切断／174

1346-01-06 千坂高雅・竹俣久綱宛 新庄藩士舟生定成・川部伊織書状(沢様の秋田領への移動問い合わせにつき回答)／一通(三紙)／(明治元年)五月五日／一九・〇×一〇〇・六／楮紙／戸沢中務大輔内 川部伊織・舟生源左衛門↓千坂太郎左衛門様・竹俣美作様ノ去月廿八日：書取申上候以上ノ元は切継紙／174

1346-01-07 色部久長・甘粕継成宛 若林秀秋書状(越後戦況につき山吉佐久馬より承知、長岡落城の由につき総督の命に反し関に滞留す)／一通(四紙)／(明治元年)五月二日／一四・六×七二・七／楮紙／作兵衛↓長門様・備後様ノ昨日途中二而：御下知可被下候ノ端裏書「五月廿二日」／元は切継紙／174

1346-01-08 色部久長宛 上杉勝応書状(越地容易ならざる形勢につき発足のところ戦況報知)／一通(三紙)／(明治元年)五月二日／一六・一×九二・七／楮紙ノ主水↓長門殿ノ以飛札得御意候：御推覧可被下候以上ノ元は切継紙／174

1346-01-09 米沢詰之間宛 色部久長書状(退去不可、主水様進撃、御国よりも出勢下されたく、蒸気船買入資金につき他)／一通(四紙)／(明治元年)五月二三日／一四・六×八七・六／楮紙ノ仁津駅旅舎↓米沢御詰之間ノ当表形勢別紙ノ通り：相略申候以上ノ五月二六日付朱筆勘返あり、元は切継紙、本文朱書きあり、朱書きの付箋二枚貼付／174

1346-01-10 上杉勝応宛 色部久長書状(一昨一九日長岡落城、小国に退陣し一左右次第進退下されたく)／一通(三紙)／(明治元年)五月二日／一四・六×四三・九／楮紙ノ以飛札奉拜啓候：奉存候頓首敬白ノ元は切継紙／174

1346-01-11 書状(地勢宜しからず防戦難しき場所、仙台兵他揃い次第平押

しの指図願い)／一通(一紙)／(明治元年)／一七・七×一六・九／楮紙／地勢不
防戦：奉存候以上／端裏書「総□ □村」／元は切継紙／174

1346-01-12 色部久長宛 中條明資書状(大井田隊、撒兵隊残らず加茂へ繰
り出し、明日より大合戦始まり総督も繰り込み下されたく)／一通(二紙)／(明治元
年)五月三日／一五・二×二六・八／楮紙／豊前↓長門様／以飛脚得御意候：御意度
早々以上／元は切継紙／174

1346-01-13 列藩軍議書(二三日列藩軍議の内容、見附口、栃尾他各口の戦
略)／一通(二紙)／(明治元年五月)二三日／一六・三×三二・八／楮紙／○見附口
ハ長岡口：官軍五十人程出張／元は切継紙、柱題「廿三日列藩軍議如左」／174

1346-01-14 色部久長宛 倉崎清典書状(加茂出勢につき人数繰り出し下さ
れたく)／一通(二紙)／(明治元年)五月二三日／一五・一×三五・八／楮紙／長岡
落城後：日々奉企望候以上／元は切継紙／174

1346-01-15 色部久長宛 会津藩士梶原景賢書状(今夕手代木同道罷り出の
こと委細承知)／一通(一紙)／(明治元年)六月六日／一六・六×四八・三／楮紙／
平馬押↓長門様／龍墨忝拜見仕候：御座候已上／元は切継紙／174

1346-01-16 色部久長・中老宛 甘粕継成書状(今日中総督出馬し加茂に本
陣御立て下されたく)／一通(二紙)／(明治元年)五月二三日／一五・一×四一・〇
／楮紙／甘粕備後↓御総督・御中老／大急申上候然者：可被下候恐々頓首／元は切継紙
／174

1346-01-17 色部久長宛 新保朝綱書状(関駅まで出陣急ぎ御沙汰申し上ぐ
べき心得他)／一通(三紙)／(明治元年)五月晦日／一四・八×八七・八／楮紙／新
保左馬之助↓色部長門様／戦争之模様ハ：申上奉存候／元は切継紙／174

1346-01-18 仙台・米沢兩藩重役中宛 宮島吉久・太田盛書状(旧幕陸軍奥
州入につき手配、我々上京の儀苦心)／一通(七紙)／(明治元年)六月二日／一五・
六×二二・七・二／楮紙／宮島誠一郎吉久(花押)・太田盛□□(花押)↓仙米兩藩御重
役様中／此度旧陸軍総裁：御無音可仕候恐惶謹言／元は切継紙／174

1346-01-19 齊藤篤信意見書(手控、進軍の方策につき書き上げ)／一通(一
紙)／辰(明治元年)五月二日／一六・一×五六・六／楮紙／齊藤主計／一 会軍者
定而：儀肝要之事／端裏書「五月廿四日接戦前本営迄申立之事」／元は切紙、柱題「手
控」／174

1346-01-20 本陣宛 千坂高雅書状(新発田の状況、同盟固宜しからざる事

をなすときは一言の諫言もあるべく)／一通(七紙)／(明治元年)六月五日／一四・
五×二〇七・〇／楮紙／太郎左衛門↓御本陣附下／今日之戦も：御心得御尤二候／元は
切継紙／174

1346-01-21 色部久長宛 旧幕臣松長三郎書状(新潟奉行支配所郷村・諸
書物等引き渡しにつき出張いたされたく)／一通(三紙)／(明治元年)六月一日／一
五・七×五五・九／楮紙／松長三郎↓色部長門様／以剪紙啓上仕候：御座候以上／元
は切継紙、差出宛所表記は封紙より／174

1346-01-22 齊藤篤信宛 甘粕継成書状(斥候を遠くし見張番を厳にして敵
令下ざるべし)／一通(二紙)／(明治元年)六月七日／一五・一×三五・三／楮紙／
甘粕備後↓御用□□齊藤主計様／段々之御尽力：相談可仕候早々以上／元は切継紙、差
出宛所表記は封紙の表書より／174

1346-01-23 齊藤篤信宛 甘粕継成書状(明朝大挙に決定、大本は見附より
直に漆山側面を打つ手筈)／一通(一紙)／(明治元年)六月五日／一六・〇×二五・
五／楮紙／備後↓主計様／弥明朝大挙之方に：御尽力致御頼候以上／元は切紙、差出宛
所表記は封紙の表書より／174

1346-01-24 齊藤篤信宛 甘粕継成書状(土壘を築き持久の心得肝要のこと)
／一通(一紙)／(明治元年)六月五日／一六・〇×二五・六／楮紙／甘粕備後↓齊藤
主計様／決然御勇進之由：御尽可被成候早々／元は切紙、差出宛所表記は封紙の表書よ
り／174

1346-01-25 色部久長宛 竹俣久綱書状(異国船出沒にて新発田へ談判のこ
と、新発田一条何分当惑)／一通(二紙)／(明治元年)六月七日／一四・五×四〇・
五／楮紙／美作↓長門様／四方八方江之：御座候右草々不尽／元は切継紙／174

1346-01-26 色部久長宛 山田秀發書状(新発田領意外の騒動、郷民暴動の
こと)／一通(二紙)／(明治元年)六月九日／一五・〇×三一・九／楮紙／山田民弥
↓新潟総督 机下／華墨拜見仕候：貴意候恐惶謹言／元は切継紙／174

1346-01-27 佐藤正直宛 会津藩士手代木直右衛門書状(横浜表は当年種紙
払底にて西洋諸国差支につき奥羽との交易致すべく内談)／一通(四紙)／(明治元年)
六月六日／一六・〇×七七・七／楮紙／手代木直右衛門↓米沢様御陣營佐藤源右衛門様
さし上置／剪紙呈仕候：申上候以上／元は切継紙、差出宛所表記は封紙より／174

1346-01-28 色部久長宛 会津藩士一柳幾馬書状(新発田行の儀佐藤君のみ
ご出張下されたく、新発田へ懸念あるにつき取り計らい願う)／一通(三紙)／(明治
元年)六月七日／一六・四×八三・三／楮紙／一柳幾馬↓色部長門様／過刻御談御座候

：御座候已上／元は切継紙、差出宛所表記は封紙の表書より／174

1346-01-29 色部久長宛 会津藩土棍原景賢書状（平松武兵衛出起のこと、新発田の事情探索のこと）／一通（二紙）／（明治元年）六月九日／一六・五×八三・六／楮紙／平馬↓長門様／前略御免可被下候：御座候已上／元は切継紙、封紙墨書「色部長門様 棍原平馬」／174

1346-01-30 色部久長宛 千坂高雅書状（会津兵不足につき、大急ぎにて罷り出るよう評判下さるべく）／一通（四紙）／（明治元年）六月二十七日／一三・九×八八・六／楮紙／太郎左衛門↓長門様／大急ニ申入候：御座候可被下候以上／元は切継紙／174

1346-02 「残存戊辰文書 坤」（1346-02-01、90の表紙）／一点／近代（年月日未詳）／四〇・〇×二七・八／浅葱地散らし模様原表紙／二〇ノ5／表紙・裏表紙部に往来物断簡の貼り込みあり、台紙二枚目に「林泉文庫」の印あり／174

1346-02-01 齊藤篤信宛 千坂高雅書状（栃尾方面の戦況伺い）／一通（二紙）／（明治元年）七月／一四・〇×四九・〇／楮紙／太郎左衛門↓主計様／栃尾方面戦ひ之模様ハ：御詰候様致度存候以上／元は切継紙、差出宛所表記は封紙の表書より／174

1346-02-02 河井継之助・齊藤篤信宛 千坂高雅書状（長岡上組宮原村河島屋染蔵等駆込中心につき、御詮儀宜しく取り計らい下されたく）／一通（二紙）／（明治元年）七月五日／一五・六×四九・〇／楮紙／千坂太郎左衛門↓河井継之助様・齊藤主計様／拜啓長岡上組：御座候以上／元は切継紙／174

1346-02-03 齊藤篤信宛 長岡藩土花輪求馬書状（陣ヶ峯交替につき状況伺い、早く交代するようお願い）／一通（二紙）／（明治元年）七月十九日／一五・六×七七・七／楮紙／長岡藩中老 花輪求馬↓齊藤先生尊下／愈御勇健被成：申上候頓首／元は切継紙、差出宛所表記は封紙の表書より／174

1346-02-04 齊藤篤信宛 崩橋書状（その表へ今日中に大井田手・横山手より繰り込ませる筈につき報知）／一通（二紙）／（明治元年）七月十九日／一三・七×二六・七／楮紙／崩橋子↓馬陵賢兄／其表江今日中ニ：度奉存候以上／元は切継紙、差出宛所表記は封紙の表書より／174

1346-02-05 色部久長宛 棍原景賢書状（当分出港しかねるにつき報知）／一通（三紙）／（明治元年）七月八日／一六・三×一八・八／楮紙／平馬↓長門様／拙簡拜呈仕候：御座候已上／元は切継紙／174

1346-02-06 色部久長宛 旧幕臣安田幹雄書状（昨夜以来当地極窮民大いに沸騰、寺院等に集会のこと）／一通（二紙）／（明治元年六月）／一六・三×六八・〇／楮紙／安田幹雄↓色部長門様／度々之貴翰難有：心配ニ奉存候／元は切継紙、差出宛所表記は封の表書より／174

1346-02-07 齊藤篤信宛 千坂高雅書状（今日より必死の決戦と注進、栃尾周辺の戦況につき報知）／一通（三紙）／（明治元年）七月四日／一三・七×六六・五／楮紙／太郎左衛門↓主計様／別紙兩人只今注進ニ：御示し可被下候以上／元は切継紙／174

1346-02-08 齊藤篤信宛 千坂高雅書状（長岡今日進撃のところ不幸にして出水、何卒両三日中お守り下されたく）／一通（四紙）／（明治元年）七月二日／一三・六×一二・六／楮紙／太郎左衛門↓主計様／長岡今日進撃之処：御取量可被下候以上／元は切継紙／174

1346-02-09 木滑政愿・中里盛直宛 片山一貫・小見鍋蔵書状（仙台藩黒沢吉岐の越後応援につき報知、此表の形勢と南部・秋田の不都合筆紙に尽くしがたき事情、宮様御住居につき衆議一決）／一通（三紙）／（明治元年）六月一日／一五・八×七九・六／楮紙／片山仁一郎・小見鍋蔵↓木滑要入様・中里丹下様／甚暑之砌御座候得：奉願候勿々頓首／元は切継紙／174

1346-02-10 齊藤篤信宛 倉崎清典書状（仙台藩大隊頭黒沢吉岐一〇〇人余の人数の由、仙台詰片山・小見より書面到来、手厚く取り扱ひのこと報知）／一通（一紙）／（明治元年）七月八日／一三・八×二一・一／楮紙／倉崎七左衛門↓齊藤主計様／仙勢繰込ニ相成：此段申上候／元は切継紙／174

1346-02-11 齊藤篤信宛 甘粕継成書状（長岡の形勢につき飛札の一策執行すべきか総督へ伺い、河井と相談にて用いるべき火具差上ること、討薩檄刻梓を望む者あり）／一通（三紙）／（明治元年）七月十九日／一三・八×八三・六／楮紙／備後↓主計様／扱々以外成大雨：御密議次第ト存候以上／元は切継紙／174

1346-02-12 軍令（八丁沖潜行の節彼よりの砲声聞こえた場合、福井口にて大砲連発等、攻撃手配の規約）／一通（一紙）／（明治元年）七月十九日／一六・六×四七・五／楮紙／一八丁沖潜行之節：御駆付被下度事／端裏書「長岡恢復期約」／元は切継紙／174

1346-02-13 齊藤篤信宛 甘粕継成書状（大策挙行にて今度こそ天下国家の成敗興廃に関する大戦、飛札焼立の一策は心を用い下されたく他）／一通（二紙）／（明治元年）七月二十四日／一三・八×四三・四／楮紙／備後↓主計様／弥以今夕ハ：相略申候頓首／端裏書「回復前 甘粕」／元は切継紙／174

1346-02-14 齊藤篤信宛 甘粕継成書状（今朝三間市之進参り、昨夜八丁湯探索の由、明朝決策となれば早速申し上げるにつき漏泄なきよう願う）／一通（二紙）／（明治元年）七月二三日／一四・五×四七・九／楮紙／備後↓主計様／無理成御防禦：希申候早々頓首／元は切継紙／174

1346-02-15 齊藤篤信宛 甘粕継成書状（明日大挙につき河井継之助等此表へ繰り込み、長岡勢は大急ぎで此表へ参るよう取り計らい下されたく）／一通（二紙）／（明治元年）七月一九日／一三・八×五〇・三／楮紙／備後↓主計様／今夕二及び：御尤二候早々以上／端裏書「長岡進撃前 甘粕」／元は切継紙／174

1346-02-16 木滑政愿他二名宛 大滝忠恕書状（上方筋軍艦六艘松ヶ崎上陸につき、松ヶ崎周辺における諸藩対応等状況報知）／一通（二紙）／（明治元年）七月二五日／一五・三×九四・一／楮紙／新蔵↓要人様他二名／昨朝早々得御意候：御意候以上／裏打あり／元は切継紙、端裏あり／174

1346-02-17 倉崎清典他二名宛 堀尾重興書状（新発田藩の状況を極密報知、新発田城へ賊入城との説会津藩水原邸より報知）／一通（四紙）／（明治元年）七月二六日／一四・〇×六三・〇／楮紙／堀尾保助↓倉崎七左衛門様他二名／極至急申上候然者：待候歟是亦可恐もの二御座候／元は切継紙／174

1346-02-18 木滑政愿・中里盛直宛 倉崎清典書状（新発田藩離叛につき周辺情報報知、米沢・会津・仙台なり出兵なくては相済まず）／一通（四紙）／（明治元年）七月二七日／一三・八×八八・六／楮紙／七左衛門↓要人様・丹下様／芝田叛キ候ヶ條迎ハ：御座候以上／裏打あり／元は切継紙、付箋二枚貼付／174

1346-02-19 齊藤篤信宛 千坂高雅書状（今日の軍議は川向を進撃の上、模様次第川手前は引き取ることに決す、大急ぎにてお示し下されたく）／一通（三紙）／（明治元年）七月二八日／一四・五×六三・二／楮紙／太郎左衛門↓主計様／今日之軍議ハ川向ヲ一進撃之上：御守り被下度存候以上／端裏書「戦争中 千坂」／元は切継紙／174

1346-02-20 両参謀宛 香坂全昌書状（三方面戦況報知、何卒小隊拝借つかまつりたく願）／一通（二紙）／（明治元年）八月一日／一四・八×六九・七／楮紙／勘解由↓両御参謀／三面大炊助江：奉願申上候以上／元は切継紙／174

1346-02-21 木滑政愿他三名宛 大滝忠恕書状（二本松襲撃の策略打ち合わせるもその運びにて移りかね、板谷・相馬方面等の戦況報知）／一通（二紙）／（明治元年）八月八日／一五・〇×一五一・〇／楮紙／庭坂詰新蔵↓要人様他三名／八月十三日板谷駅江：被下度候頓首／元は切継紙／174

1346-02-22 齊藤篤信宛 甘粕継成書状（若松城への攻撃にて最早落城の体、この際にいたり仙台と庄内へ談判の上悔悟謝罪致さずしては相済まず）／一通（四紙）／（明治元年）八月二四日／一五・〇×一〇二・一／楮紙／備後↓主計様／今晚蔵田熊之助会津分：申上候早々以上／裏打あり／元は切継紙／174

1346-02-23 千坂高雅宛 島津完蔵書状（山本寺御高家胸壁の状況につき、会城西四里程の片門に砲声頻りにいたすこと）／一通（二紙）／（明治元年）八月晦日／一五・三×七一・六／切継紙 楮紙／嶋津完蔵↓尊大夫閣下／山本寺御高家胸壁之為：早急御報奉願候以上／上封を本紙の左端に貼継ぐ、本紙の右端のみ白紙に貼付／174

1346-02-24 倉崎清典・黒井繁邦宛 大滝忠恕書状（諸藩へ残らず布告説得の上、速やかに謝罪嘆願の運びと致したく手配）／一通（二紙）／（明治元年）九月一日／一四・八×七〇・七／楮紙／新蔵↓七左衛門様・小源大様／九月八日昼頃：早々拜啓頓首／裏打あり／元は切継紙／174

1346-02-25 木滑政愿・大滝忠恕宛 高山政康書状（吉岡監察米沢表へ立ち寄りの調整につき経過の報知）／一通（三紙）／（明治元年）九月二三日／一四・七×一〇六・二／切継紙 楮紙／与太郎↓木滑要人様・市川宮内様／一昨廿一日監察吉岡と：得御意候以上／端裏書「高山□□ 九月廿三日付」／台紙から剥離／174

1346-02-26 会議所宛 米沢軍務局伺書（守場近辺村々の対策、二本松・村松謹慎のための米沢城下引き取りにつき兵隊配備の旨承知）／一通（二紙）／（明治元年）九月二七日／一五・一×七八・四／楮紙／米沢軍事局↓御会議所／一若松城江死士を募り：御指図奉願候以上／柱題「御伺之覚」、元は切継紙／174

1346-02-27 庄田秀苗・原三左衛門宛 小田切勇之進書状（庄内兵の米沢人を悪むため用心のこと、庄内兵六三〇人止宿につき）／一通（三紙）／（明治元年）九月一日／一六・五×八九・四／楮紙／山形出張先小田切勇之進↓莊田惣五郎様・原三左衛門様／以飛足態々御報告申上候：御座候謹言／元は切継紙／174

1346-02-28 木滑政愿他二名宛 倉崎清典書状（会津降参にて滝沢村の寺院へ謹慎、残党追払、庄内の謝罪につき）／一通（四紙）／（明治元年）九月二四日／一五・三×一三二・九／楮紙／七左衛門↓要人様他二名／一昨夜ハ御国分之御用状：御座候以上／元は切継紙／174

1346-02-29 三瀧政清宛 倉崎清典書状（昨夜宮島熊蔵庄内一条につき土佐参謀衆へ談判、各所鎮撫の手配につき報知）／一通（四紙）／（明治元年）九月二六日／一五・二×一一二・七／楮紙／七左衛門↓清蔵様／廿四日城請取之後：御座候以上／元は切継紙／174

1346-02-130 木滑政憲・黒井繁邦宛 倉崎清典・三瀧政清書状(若松出先土佐参謀板垣退助の差配にて二本松・村松の扱いにつき、越後において新発田先鋒の申立につき)／一通(六紙)／(明治元年)九月十七日／一五・四×一六二・五／楮紙／七左衛門・清蔵→要人様・小源太様／若松出先之土州参謀板垣泰助分：不容易場合御量奉仰候／兵糧の世話などについて齊藤篤信による加筆あり、付箋一枚貼付け、元は切継紙／174

1346-02-131 千坂高雅他二名宛 新保朝綱書状(庄内謝罪嘆願の件につき一刻もはやく軍門へ罷り出るようお願い)／一通(六紙)／(明治元年)九月二一日／一四・五×一九六・三／楮紙／御途中白岩駅分左馬之助↓与一様他二名／宮内御止宿分：御用捨奉願候已上／元は切継紙／174

1346-02-132 書状(明日薩摩勢九五〇人計当駅止宿にて庄内表へ繰り込みの模様)／一通(三紙)／(明治元年)九月二九日／一四・六×六八・五／楮紙／態与一筆申上候：早々如斯御御座候以上／元は切継紙／174

1346-02-133 詰之間宛 新保朝綱書状(庄内藩降伏の次第について報知)／一通(八紙)／(明治元年)九月二七日／一五・一×一八八・四／楮紙／左馬之助↓御詰之間執事／其時早此時遅鳴：申上候恐悦已上／裏打あり／元は切継紙／174

1346-02-134 書付断簡(会津降伏人の取り扱いにつき)／一通(二紙)／(明治元年九月)／一六・六×二一・六／切継紙 楮紙／(前欠)：両家江御下ケ云々／前欠、台紙に貼られていない／174

1346-02-135 毛利業広・竹俣久綱宛 齊藤篤信書状(仙台表の近状開城・謝罪、諸兵器の提出にいたること、南部表相分ならず、新発田表の状況報知)／一通(三紙)／(明治元年)一〇月六日／一六・四×一三四・四／楮紙／主計↓上総様・権平様／一筆拜啓仕候：貴意候以上／元は切継紙／174

1346-02-136 齊藤篤信宛 中條政恒書状(大急ぎの用談につき早々立ち戻り下されたく)／一通(二紙)／(明治元年)八月二四日／一四・五×二五・七／楮紙／本陣分↓齊藤主計様／唯今利左衛門参り申候：飛札申上候以上／上封あり墨書「大急御用筋 齊藤主計様 大里峠本陣分 上与七郎」、元は切継紙／174

1346-02-137 竹俣久綱宛 大國頼隣書状(御国へ参謀来訪につき至急仙庄へ出向くこと、福島引払の場合二本松惣人数への賄向打切のこと等報知)／一通(四紙)／(明治元年)一〇月三日／一五・七×九五・六／楮紙／筑後↓権平様／会津猪苗代へ：申上候以上／元は切継紙／174

1346-02-138 総督・参謀宛 大石琢蔵書状(久我様五日発足にて行程報知)／一通(三紙)／(明治元年)一〇月四日／一八・二×八一・三／楮紙／大石琢蔵↓御惣督・御参謀 膝下／寸翰拝呈陳者：承引可被成候稽首／元は切継紙／174

1346-02-139 倉崎清典・児島右門宛 浄恩寺書状(諸軍勢暴悪不正の振舞い歎願書・簡条別紙にてご承引下されたく願)／一通(三紙)／辰(明治元年)一一月三日／一六・六×八九・七／楮紙／浄恩寺↓倉崎七左衛門様・児島右門様／今般宮本氏御帰藩二付：不能尽謹言／上封あり墨書「米沢御藩 倉崎七左衛門様 児島右門様 尊下要用書 越後国蒲原郡 差出村 浄恩寺」、元は切継紙／174

1346-02-140 島津教忠宛 山本寺勝強書状(交代の兵隊分配不足につき大急ぎ遣わされたく願)／一通(四紙)／(明治元年)一一月八日／一四・八×一〇六・三／楮紙／伊予↓利馬様／以書面致啓達候然者：御意如斯御座候以上／本紙継ぎ部分で剥離／元は切継紙、末尾の本紙のみ台紙に貼られている／174

1346-02-141 宮島吉久宛 森寺常德書状(天下諸藩に遅れず断然非常の御改正ありたく、天下社稷のため渴望、原本は明治二年一〇月月二八日付)／一通(三紙)／近代(年月日未詳)／一五・九×一二五・九／楮紙／從横濱任幸便一書拜呈：御座候早草々／元は切継紙、一枚台紙から剥離、柱題「森寺大和守從横濱来翰之写」、書状の差出表記「邦拜」、宛所表記「宮盟台」／174

1346-02-142 藩政府重役宛 宮島吉久書状(藩政改革の建言、非常の改正なくては容易ならざる儀、三条家の恩顧を蒙るは御家の幸福)／一通(七紙)／(明治二年)一一月九日／一五・九×二二九・一／楮紙／宮島誠一郎吉久(花押)↓米沢政府御在職御衆中様／十一月八日右大臣様：被下度奉存候頓首／元は切継紙／174

1346-02-143 齊藤篤信宛 甘粕継成書状(木滑出府につき隣藩取りなしの歎願書提出の評議につき、薩州村田勇右衛門小子へ面会したくのこと)／一通(二紙)／(明治元年)一一月六日／一五・一×七三・三／楮紙／備後↓主計様／騒擾之此節無：拜託申迄二候早々頓首／元は切継紙／174

1346-02-144 中村藩使者石橋兵太夫口上書(本領安堵につき配慮の礼)／一通(三紙)／(明治元年)一一月／一六・六×九四・四／楮紙／相馬因幡守使者石橋兵太夫／甚寒之節御座候得共：御頼以使者得貴意候／紙は三枚台紙から剥離、元は切継紙、柱題「弾正大弼様 因幡守分」／174

1346-02-145 宮島吉久・片山一貫・岩村虎雄對話書(米沢藩の戦争首謀者差し出しに関する密話)／一通(二紙)／(明治元年)一一月二五日／一六・五×四三・二／楮紙／此間御重役様方：死一等ヲ(後欠)／元は切継紙、台紙から剥離、後欠、柱題「十二月十五日宮島片山高鍋邸江岩村虎雄密話之條」／174

幕末維新期—明治元年—貼継・貼込—残存戊辰文書続集

1345—01—01 「残存戊辰文書続集 乾」(1345—01—01—172の表紙) / 一点/近代(年月日未詳) / 三一・三×四四・一 / 浅葱地散らし模様原表紙 / (二〇) / 林泉文庫 / 表紙の後一頁目に「残存戊辰文書 良」, 「綱紀公延宝五丁巳歳始而御居判二而拝領之御書」, 裏表紙見返しに「毛利内匠との」の墨書の貼紙あり / 174

1345—01—01 越後出張某手控(五月五日〜六月一七日の日記) / 一通(四紙) / (明治元年) / 一四・八×一八・〇 / 楮紙 / 五日ノ部: 昨夜帰 十八日 / 元は切継紙 / 174

1345—01—02 若林秀秋手控(越後列藩合従勧誘) / 一通(二紙) / (明治元年) 五月 / 一七・四×三八・六 / 楮紙 / 上杉弾正大弼内若林作兵衛 / 向署之砌愈: 口上申含候 / 端裏書「(半裁され判読困難) 新発田江」 / 柱題「手控」, 元は切継紙 / 174

1345—01—03 甘粕継成宛 相浦三郎右衛門・宗太書状(会津藩の響応、明日は白河口へ出陣、御城修行隊の近況) / 一通(四紙) / (明治元年) 五月六日 / 一四・七×一四五・五 / 楮紙 / 宗太・三郎右衛門 / 備後様 / 飛脚差立二付申上候: 已奉得貴意候以上 / 元は切継紙, 作成者の一人は若林宗太吉祐カ / 174

1345—01—04 陣所詰之間宛 江戸付詰之間用状(新潟奉行所より別紙の通り差し越しにつき対応依頼) / 一通(四紙) / (明治元年) 五月八日 / 一五・一×一一・六・四 / 楮紙 / 江戸付詰之間 / 御陣所御詰之間 / 今十八日晝増田勝八郎: 御詳悉可被下候以上 / 端裏朱書「五月」 / 元は切継紙 / 174

1345—01—05 色部久長・甘粕継成宛 若林秀秋書状(長岡落城の援兵は差し出さず要所に留め置くべき他戦略につき) / 一通(三紙) / (明治元年) 五月二二日 / 一四・五×七七・二 / 楮紙 / 作兵衛 / 長門様 / 備後様 / 昨日途中二而: 御下知可被下候 / 端裏書「控ハ無之候間御返し可被下候」 / 元は切継紙 / 174

1345—01—06 上杉斉憲諭達(会津藩降伏謝罪により征討諸隊解兵) / 一通(六紙) / (明治元年) 閏四月(二五日) / 一五・一×一四八・五 / 楮紙 / 上意 先達而白石表江出張: 懇々可申達旨 上意二候事 / 元は切継紙 / 174

1345—01—07 堀尾重興・小島作右衛門宛 山田八郎書状(援兵依頼、大崎にて東軍勝利、米沢藩預地になりたしとの新潟町嘆願書差し回す) / 一通(三紙) / (明治元年) 五月二五日 / 一五・一×九二・二 / 楮紙 / 山田八郎 / 堀尾保助殿・小島作右衛門殿 / 〆熊大急梅沢熊太相達致啓上候: 御座候恐惶謹言 / 端裏書「月」, 同朱書「五月」

／元は切継紙 / 174

1345—01—08 海外各国在港総督宛 甘粕継成奥羽越列藩同盟布告案(我が同盟諸藩以外には兵器援兵を提供しないよう懇願す) / 一通(三紙) / (明治元年) 六月 / 一五・二×四四・六 / 楮紙 / 奥羽越同盟中 / 甘糟之氣付 奥羽越之列藩: 是我力所乞也再拜頓首 / 元は切継紙 / 174

1345—01—09 原三左衛門意見書(長岡へ援兵を出さざる色部総督らを取り糺し、御出馬ありたく) / 一通(四紙) / (明治元年) 五月二六日 / 一五・五×一五五・三 / 楮紙 / 原三左衛門(黒印) / 此度北越騷擾大兵: 誠惶誠恐再拜敬具 / 柱題「謹而奉言上候事」, 元は切継紙、別紙で「言上書」とあり / 174

1345—01—10 色部久長宛 長名美術書状(大台場築立は大金を費やすだけで無用) / 一通(二紙) / (明治元年) 六月四日 / 一四・八×三一・二 / 楮紙 / 名美術 / 長門様 / 先達而築立候: 申上候以上 / 元は切継紙 / 174

1345—01—11 伊達慶邦宛 佐竹義堯書状写(会津御一味の儀は延引しかるべく、九條殿へは取り成し仕る) / 一通(一紙) / (明治元年) 六月二日 / 一六・〇×三九・〇 / 楮紙 / 一筆致啓上候: 可申上候以上 / 端裏朱書「□□□□」 / 元は切継紙 / 174

1345—01—12 三瀧清蔵・長井藤十郎宛 堀尾重興書状(同盟に非協力的な新発田藩への対処案) / 一通(六紙) / (明治元年) 六月五日 / 一四・五×一五七・三 / 楮紙 / 堀尾保助 / 三瀧清蔵様・長井藤十郎様 / 一筆致啓上候: 御座候恐惶謹言 / 元は切継紙 / 174

1345—01—13 軍事方宛 会津藩士柏崎才一報告書(江戸の状況、新政府軍の動向、スネル帆船は一日頃着船のほず他) / 一通(三紙) / (明治元年) 六月六日 / 一五・九×一〇二・八 / 楮紙 / 柏崎才一 / 御用所御軍事方 / 一 松平太郎始旗下: 御座御聞取可被下候 / 元は切継紙、柱題「江戸」 / 174

1345—01—14 色部久長宛 大滝忠恕書状(新発田城攻撃のため明日午の刻まで出兵依頼) / 一通(二紙) / (明治元年) 六月八日 / 一五・五×四八・八 / 楮紙 / 大滝新蔵 / 色部長門様侍史 / 新発田領以外: 千禱候不備 / 柱題「大滝新蔵今来状左之通」, 元は切継紙 / 174

1345—01—15 軍令(新発田攻伐関係、老侯、本営を葬りお出でを促す他) / 一通(三紙) / (明治元年) 六月 / 一五・三×五八・五 / 楮紙 / 御中軍之兵ヲ進: 屹度見届候事 / 端裏朱書「六月」, 端裏書「平尾」之助 / 元は切継紙 / 174

1345—01—16 立岩泰蔵・宮与太郎報告書（新庄にて入手した、仙台周旋方よりの秋田表九條殿の状況につき）／一通（五紙）／（明治元年）六月一七日／一五・〇×二五・四／楮紙／宮与太郎・立岩泰蔵／去月廿八日新庄表着之事：罷出管二御座候／元は切継紙／174

1345—01—17 色部久長宛 旧幕臣安田幹雄書状（お預けの時計返却依頼、巡見のため馬拝借依頼）／一通（二紙）／（明治元年）六月二二日／一五・八×五二・八／楮紙／安田幹雄↓色部長門様／尔来は御疎情に：已勿々頓首／元は切継紙／174

1345—01—18 色部久長宛 旧幕臣安田幹雄書状（指示あれども役宅転宅は不都合のため不可、用事済めば会津へ引き取るつもり）／一通（五紙）／（明治元年）六月二二日／一五・五×一五一・六／楮紙／安田幹雄↓色部長門様／以手紙得御意候：御意度早々以上／元は切継紙、別紙で「色部長門様 安田幹雄」とあり／174

1345—01—19 木滑政愿・中里盛直宛 中條政恒・古藤政徳書状（院内付近での開戦に備え、中田の米沢藩へ兵力増強依頼）／一通（四紙）／（明治元年）七月六日／一五・七×一九〇・二／楮紙／伝之丞・与七郎↓要人様・丹下様／其後弥御多祥：申上候頓首／元は切継紙／174

1345—01—20 内藤安右衛門宛 吟味方書状（大滝・及位にて大戦争につき）／一通（二紙）／（明治元年）七月一日／一五・一×四一・一／楮紙／吟味方↓内藤安右衛門様／態々村継を以：御座候以上／元は切継紙／174

1345—01—21 町奉行所宛 今井兵左衛門書状（仰せ付けらる一条は評判中につき山形より近況報告）／一通（二紙）／（明治元年）七月一三日／一四・七×四七・二／楮紙／今井兵左衛門↓御町奉行所／山形分幸便二付：迄早々以上／元は切継紙／174

1345—01—22 塩田才八宛 新潟出張役所用状（スネルへ注文の武器代金支払の交易につき）／一通（二紙）／（明治元年）七月一九日／一六・〇×七一・〇／楮紙／御役所↓才八殿／スネル江追々注文致置候：可被申上候以上／元は切継紙／174

1345—01—23 エドワード・スネル宛 米沢藩約定書（ミニエー銃・シャープール銃と弾丸買入につき）／一通（二紙）／（明治元年）七月一六・一×三九・二／楮紙／米沢 今井吉次印・山田八郎印↓瑞生園エトアルトス子ル殿／一 式千挺：其條約状仍如件／柱題「為取替申約定書之事」、元は切継紙／174

1345—01—24 米沢役所宛 新潟出張役所用状（別紙の通りスネルへ注文の軍器代金取り扱い依頼）／一通（二紙）／（明治元年）七月一九日／一六・〇×三七・一／楮紙／新潟御役所↓米沢御役所／一筆令啓達候：御座候恐々謹言／元は切継紙、庚子

（明治三年）七月の伊佐早謙の覚書一通添付／174

1345—01—25 千坂高雅・色部久長宛 毛利業広他二名書状（秋田へ転戦の庄内兵に代り米沢藩兵を越後へ派遣、東方の江口縫殿右衛門よりの書状転送す）／一通（五紙）／（明治元年）七月一九日／一五・一×一七・六／楮紙／上総他二名↓太郎左衛門殿・長門殿／北地切迫之処：御座候以上／元は切継紙、1345—01—25—01—03は1345—01—25の別紙／174

1345—01—25—01 中村藩士伊藤廉蔵書状写（岩城平落城弊藩切迫につき江口縫殿右衛門殿に応援依頼）／一通（一紙）／（明治元年七月）／一四・三×三六・六／楮紙／相馬因幡守使者伊藤廉蔵／今般岩城平落城二相成候：以使者申上候／元は切紙／174

1345—01—25—02 登坂右膳書状写（江口縫殿右衛門隊は東方への応援、御藩至急の節はそちらへ向かうべく）／一通（二紙）／（明治元年）七月／一四・六×二五・四／楮紙／今般岩城平落城相成候：以使者申達候／元は切紙／174

1345—01—25—03 中川富義書状写（秋田万之助の使者大山健次郎への返答、江口縫殿右衛門隊は東方への応援、御藩至急の節はそちらへ向かうべく）／一通（二紙）／（明治元年）七月／一四・五×五一・八／楮紙／岩城表官賊：御間置可被下候／元は切継紙、冒頭に大山の書状書写あり／174

1345—01—26 大将宛 山田俊次書状（栗山にて村松藩と協力し分取した物品と米の分配につき伺い）／一通（三紙）／（明治元年）七月二八日／一五・九×九三・二／楮紙／俊次拜↓御大将机下／以手紙得御意候：御座候以上／端裏書「切迫之□□□□□迄」／元は切継紙／174

1345—01—27 公現法親王令旨写（列藩同盟のことは当面、伊達慶邦、上杉斉憲が管轄すること）／一通（一紙）／（明治元年）七月／二二・五×三四・五／楮紙／此度奥羽越列藩：然分之御事二候／元は切継紙／174

1345—01—28 木滑政愿・中里盛直宛 中條政恒他二名書状（荏戸、院内方面戦況報告、弾薬供給願ひ）／一通（八紙）／（明治元年）八月一日／一四・九×二七三・三／楮紙／与七郎他二名↓要人様・丹下様／以飛札申上候：御推覧可被下候謹言／端裏書「八月朔日付」／元は切継紙／174

1345—01—29 香坂頼母宛 竹俣久綱書状（蓬生戸口の防備指示、人数早速引き取る事）／一通（二紙）／（明治元年）八月一日／一五・〇×三六・〇／楮紙／美作↓頼母殿／蓬生戸御境口：可有之候以上／1345—01—29—30貼継／元は切継紙／174

1345—01—30 香坂頼母宛 竹俣久綱書状（二本松落城し福島に迫る勢い、東境御固が専一）／一通（一紙）／（明治元年）八月一日／一五・〇×三六・一／楮紙／美作↓頼母様／昨廿九日二本松も：此事二御座候／1345—01—29、30貼紙／元は切継紙／174

1345—01—31 長尾景直宛 香坂頼母書状（竹俣大夫より御用状、至急小国出勢の上は農兵共は戻るよう取計のこと）／一通（一紙）／（明治元年）八月二日／一四・八×三五・一／楮紙／香坂頼母↓長尾権四郎様／別紙御用状：差上申候以上／元は切紙／174

1345—01—32 小川忠弘宛 木滑政愿他二名書状（挟撃のため繰り出しの旨承知したが、鉄砲撃ち果たし不可、蓬生戸口御固めにつき）／一通（三紙）／（明治元年）八月一日／一四・五×七四・四／楮紙／要人他二名↓源太郎様／拜読挟撃之策：御承知可被成候／元は切継紙、本紙裏に「越後□□□□ 小川源太郎様 木滑要人 中里丹下」とあり／174

1345—01—33 中川富義他三名宛 香坂七右衛門書状（村山郡防禦築立報告、庄内・仙台・米沢藩抱の博徒は別々に繰り出すべく談判のつもり）／一通（四紙）／（明治元年）八月四日／一四・七×一五二・八／楮紙／七右衛門↓英助様他三名／以手紙得御意候：申上候以上／端裏書「上山 八月四日付」／元は切継紙／174

1345—01—34 長尾景直宛 詰之間用状（新潟瓦解につき関辺出張の人数は引き揚げ、御境固に尽力のこと）／一通（三紙）／（明治元年）八月四日／一四・六×五二・四／楮紙／詰之間↓長惣督／今四夕剋上泉刑部帰着：御聞取可被成候以上／元は切継紙／174

1345—01—35 片山一貫宛 小見鍋藏書状（明日は惣兵隊桑折止宿につき尽力願い他）／一通（三紙）／（明治元年）八月四日／一四・六×五三・七／楮紙／鍋藏↓仁二郎様／江口兵隊帰途之儀ニ：早々申上候頓首／元は切継紙／174

1345—01—36 会談所三人宛 片山一貫書状（相馬応援の兵隊は桑折まで参るつもり他戦況報告）／一通（二紙）／（明治元年）八月五日／一六・二×三九・八／楮紙／仁一郎↓会談所御三人様／時勢切迫之内：勿々頓首再拜／元は切継紙／174

1345—01—37 長尾景直宛 長尾景綱・小川忠弘書状（中條に潜伏の官賊討伐し大砲、鉄砲分捕り報告）／一通（三紙）／（明治元年）八月六日／一五・〇×四九・七／楮紙／小川源太郎・長尾小太郎↓長尾権四郎様／今晝庄内村上両藩今：御届候以上／元は切継紙／174

1345—01—38 長尾景直宛 詰之間用状（毛利業広一己の判断で関は引き上げ

境固専要と指示したことを詫び、その表にて臨機の判断は有り難く）／一通（五紙）／（明治元年）八月七日／一五・〇×六七・三／楮紙／詰之間↓長惣督／上泉刑部帰着之日ハ：一言候恐々／元は切継紙／174

1345—01—39 長尾景直宛 竹俣久綱書状（渡辺利左衛門の關係者龍八の嘆願により下関退去は取りやめ、板谷口は差したることなし）／一通（二紙）／（明治元年）八月七日／一五・〇×四一・七／楮紙／美作↓権四郎様／渡部利左衛門：御意候以上／元は切継紙／174

1345—01—40 木滑政愿他二名宛 古藤政徳書状（上山より探索の最上地方の状況報知）／一通（四紙）／（明治元年）八月一日／一五・〇×二六／楮紙／伝之丞↓要人様他二名／拜啓仕候然ハ：御参考申上置候拜／元は切継紙／174

1345—01—41 長尾景直宛 竹俣久綱・千坂高雅書状（その表切迫につき諸勢繰り出し、卑怯者あれば斬り捨てと仰せあり）／一通（一紙）／（明治元年）八月二日／一四・四×二一・四／楮紙／千坂太郎左衛門・竹俣美作↓長尾権四郎殿／其表至急切迫二付：此段申入候以上／元は切紙／174

1345—01—42 島津教忠宛 仙台藩土石川豊後書状（相馬境駒ヶ峰探索報告、図とも）／一通（一八紙）／（明治元年）八月三日／一四・七×二四六・一／楮紙／豊後↓利島様／去ル七日夕方白石表へ：以飛脚得御意候以上／図の大きさ縦二九・七、横三六・九、元は切継紙／174

1345—01—43 小林和直宛 今原書状（酒田滞在のスネルより板倉勝静お出で願いあり、産物売却、蒸気船運賃につき）／一通（四紙）／（明治元年）八月三日／一五・〇×一五〇・六／楮紙／今原↓五兵衛様／一簡拜呈去十日：草々頓首拜具／元は切継紙／174

1345—01—44 木滑政愿・三瀧清宛 小田切勇之進書状（上山藩中村祐右衛門周旋、山形へ主水様御入り交渉経過報告）／一通（二紙）／（明治元年）八月四日／一四・七×七八・二／楮紙／小田切勇之進↓木滑要人様・三瀧清蔵様／一筆申上候：御座候謹言／元は切継紙／174

1345—01—45 浅宮喜内宛 小松駒在陣軍事方用状（御隊下横田大蔵方入江健三郎、胡乱の者につき取り締まり依頼）／一通（二紙）／（明治元年）八月五日／一四・六×二六・九／楮紙／小松駒軍事方↓常安寺御詰合浅宮喜内様／御隊下横田大蔵方：御座候以上／元は切継紙、浅宮は常安寺詰合／174

1345—01—46 役所宛 綱木守備隊書状（仙台藩大泉兵記より聞合の会津の様子、賊兵は須川野村木地小屋村の間に居る由他）／一通（二紙）／（明治元年）八月二

二日／一五・〇×四二・七／楮紙／綱木御箇中↓御役所／以飛脚申上候：申上候以上／元は切継紙／174

1345-01-47 役所宛 綱木村庄屋大川孫四郎書状(猪苗代の向かい、須賀野村での戦況報告)／一通(一紙)／(明治元年)八月二日／一五・二×三一・六／楮紙／綱木庄屋大川孫四郎(黒印) ↓御役所／今廿二日朝会津猪苗代：御注心中候以上／柱題「以書御注心中候事」、元は切継紙／174

1345-01-48 長尾景直他二名宛 千坂高雅書状(会津、石筵より破れ猪苗代焼失、奥羽連合につき議論に及びたく、甘粕参謀帰国指示)／一通(三紙)／(明治元年)八月三日／一五・二×八六・三／楮紙／太郎左衛門↓権四郎様他二名／会津石筵分相敗し：早々申入候以上／元は切継紙、本紙裏に一長尾権四郎様 甘粕備後様 斉藤主計様 千坂太郎左衛門」とあり／174

1345-01-49 長尾景直宛 竹俣久綱書状(斎藤へ甘粕より申した通りに決す、小川とよく談判のこと他)／一通(二紙)／(明治元年)八月二日／一四・五×三九・一／楮紙／美作↓権四郎様／一筆申入候：右草々不尽／元は切継紙、本紙裏に「長尾権四郎殿 竹俣美作」とあり／174

1345-01-50 大里峠軍政府宛 小川忠弘書状(下関村の渡辺三左衛門手代元次郎等関辺探索、敵地往來は寛大に過ぎる、この方の防備策)／一通(四紙)／(明治元年)八月二日／一五・三×一〇九・〇／楮紙／金丸詰小川源太郎↓大里峠軍政府／三左衛門手代：右申上度誠惶不具／元は切継紙、本紙裏に「大里様軍政府 金丸詰小川源太郎」とあり／174

1345-01-51 千坂高雅他三名宛 長尾景直書状(賊徒猪苗代まで討ち入り、この表精兵小田井蔵大隊城下へ差し越す)／一通(三紙)／(明治元年)八月二日／一四・八×二四・〇／楮紙／権四郎↓太郎左衛門様他三名／賊徒会津猪苗代迄：御指揮可被成候以上／元は切継紙／174

1345-01-52 長尾景直他四名宛 詰之間用状(昨朝若松落城、官軍御迎えより他なし)／一通(四紙)／(明治元年)八月二日／一四・六×一〇八・〇／楮紙／詰之間↓権四郎殿他四名／若松落城二昨朝相成：御遣し可被下候以上／元は切継紙／174

1345-01-53 長尾景直他二名宛 下條親英書状(今暁石滝止宿へ別紙届き、申す言葉もなし、若殿すぐさま帰城)／一通(二紙)／(明治元年)八月二日／一五・三×二四・三／楮紙／外記↓権四郎様他二名／今暁七半時石滝：御座候早々以上／元は切継紙、別紙は1345-01-52／174

1345-01-54 軍政府宛 菅名但馬書状(小玉川辺より当方へ援軍願)／一通(二紙)／(明治元年)八月二日／一五・三×四五・二／楮紙／菅名但馬↓軍政府／以書面得御意候：御意候以上／元は切継紙／174

1345-01-55 勘之丞宛 今井利義・市内書状(粟料酒下賜の沙汰、軍政府の御達は不適、されば我々出勤に及ばず)／一通(三紙)／(明治元年)八月二日／一四・七×六九・九／楮紙／市内・吉江↓勘之丞様／只今戦士江：貴意候以上／元は切継紙／174

1345-01-56 斎藤篤信・黒井繁邦宛 千坂高雅他二名書状(本陣まで罷り越し大村参謀に出会い陳情、書類は出さず全て口上とす)／一通(二紙)／(明治元年)八月二日／一五・一×三八・五／楮紙／太郎左衛門他二名↓主計殿・小源太様／二本之都合ハ：不覚候不尽／元は切継紙／174

1345-01-57 長尾景直宛 毛利業広書状(左近司周助へ別紙の通り仰せ出され、四番隊半隊頭に任命)／一通(二紙)／(明治元年)九月一日／一四・五×三六・八／楮紙／毛利上総業広(花押) ↓長尾権四郎殿／一筆令啓達候：御座候恐々謹言／元は切継紙、別紙任命書あり／174

1345-01-58 長尾景直宛 竹俣久綱書状(追々人数引き纏め帰陣するよう指示)／一通(二紙)／(明治元年)九月一日／一五・五×二二・八／楮紙／竹俣美作↓長尾権四郎殿／御自分其御境口：早々可被引取候以上／端裏朱書「九月十日」墨書「長尾権四郎殿 加地権平」／元は切継紙／174

1345-01-59 倉崎清典・黒井繁邦宛 片山一貫・小幡親徳書状(去る一日、城中へ罷り出で、世子新発田出張の始末申し述べ他)／一通(二紙)／(明治元年)九月一日／一四・九×四八・二／楮紙／源吾・仁一郎↓七左衛門様・小源太様／一翰啓上：御意候以上／元は切継紙／174

1345-01-60 倉崎清典・黒井繁邦宛 小幡親徳書状(福島表にて国論一定今朝連盟の歎願書差出す他三ヶ条)／一通(二紙)／(明治元年)九月二日／一四・九×二八・八／楮紙／源吾↓七左衛門様・小源太様／一簡拝啓上：御聞取可被下候以上／元は切継紙／174

1345-01-61 松原駅軍事局宛 軍目付・軍監・大隊頭書状(午刻大塩線り込み、熊倉辺の状況他、林辺大八らより申し越す)／一通(一紙)／(明治元年)九月一日／三〇・〇×三七・九／楮紙／大隊頭・軍監・軍目付↓松原駅軍事局御衆中様／態と拝啓午刻大塩へ：早々得御意候以上／端裏朱書「九月十六」墨書「林辺大八熊倉分申越す」／元は切継紙／174

1345—01—62 千坂高雅宛 大國頼麟書状(仙台兩名の書付一条、本陣に書付差出他)／一通(六紙)／(明治元年)九月一日／一五・〇×一四四・七／楮紙／筑後↓与一様／仙台 御兩名：敢申上候以上／端裏書「□□□大國筑後殿令」、同朱書「九月十四日」／元は切継紙／174

1345—01—63 山田八郎宛 三瀧政清・倉崎清典書状(官軍御賄の米味噌草鞋等不足につき手配願ひ他)／一通(五紙)／(明治元年)九月一日／一四・七×一一・〇／楮紙／七左衛門・清藏↓八郎様／官軍城下表二而：御座候以上／元は切継紙／174

1345—01—64 黒井繁邦宛 小幡親徳書状(去る二日城内へ罷り出嘆願書一条談判の状況他)／一通(二紙)／(明治元年)九月一日／一五・六×四八・八／楮紙／源吾↓小源太様／去ル十二日城内へ：御聞取可被下候以上／元は切継紙／174

1345—01—65 齊藤篤信宛 高鍋藩土坂田潔書状(御藩総兵隊人数書と新発田処置の書類一切差出の沙汰、早々取調のこと)／一通(三紙)／(明治元年)九月一日／一四・六×三九・九／楮紙／坂田潔↓齊藤主計様／昨日御会議所ニ：奉願上候以上／元は切継紙／174

1345—01—66 木滑政愿・黒井繁邦宛 三瀧政清・倉崎清典書状(兵糧弾薬等早急手配願ひ他)／一通(三紙)／(明治元年)九月一日／一五・〇×七三・六／楮紙／倉崎七左衛門・三瀧清藏↓木滑要人様・黒井小源太様／追々申参候：奉存候以上／端裏朱書「九月十七日」／元は切継紙／174

1345—01—67 木滑政愿他二名宛 黒井繁邦書状(明日官軍一五〇〇人綱木へ繰り込みとのことだが、八〇〇人しか下宿なく交渉願ひ他)／一通(三紙)／(明治元年)九月一日／一四・五×八一・〇／楮紙／從綱木駅小源太↓会議所御詰要人様他二名／明十八日官軍千五百人：可被下候已上／端裏書「(半裁され判読困難)：黒井：」／元は切継紙／174

1345—01—68 黒井繁邦宛 森長義書状(若松城下にて土佐藩軍監兩人との談判報告)／一通(五紙)／(明治元年)九月一日／一四・九×一五二・六／楮紙／杉山盛之進↓黒井小源太様／以書面得御意候：相略申候以上／元は切継紙／174

1345—01—69 木滑政愿他二名宛 黒井繁邦書状(米草鞋等当駅より会津領塩川方面への運送につき)／一通(二紙)／(明治元年)九月一日／一四・六×三八・七／楮紙／小源太↓要人様他二名／別紙数通至急之云々：可被下候已上／元は切継紙／174

1345—01—70 参謀宛 大石琢蔵書状(山形表引取の庄内勢、舟町に滞在、最

上・村山の状況他)／一通(四紙)／(明治元年)九月一日／一五・六×一〇八・三／楮紙／琢蔵↓参謀御執事申様／今十九日朝五時過：相讓申候稽首／元は切継紙／174

1345—01—71 千坂高雅宛 山本寺勝強書状(会津兵攻撃の米沢兵苦戦、一七日仁和寺宮会津坂下へ御繰り込みの由他)／一通(四紙)／(明治元年)九月一日／一五・一×一四一・七／楮紙／伊予↓与一様／去ル十七日：先ツ一通申上候以上／元は切継紙／174

1345—01—72 木滑政愿宛 黒井繁邦書状(村松藩士一条の紙面拝見、二本松・村松兩藩とも御城下へ到着の筈)／一通(二紙)／(明治元年)九月一日／一四・八×二三・四／楮紙／小源太↓要人様／村松藩士一條云々：御詳悉可被下候已上／元は切継紙／174

1345—01—73 三瀧政清他二名宛 高山政康書状(先だつて二本松表へ出張後の状況他)／一通(六紙)／(明治元年)九月一日／一五・四×一四三・六／楮紙／与太郎↓清藏様他二名／先達而二本松表江：御差越可被下候以上／元は切継紙／174

1345—01—74 黒井繁邦宛 原三左衛門書状(二本松兵は米沢城下に謹慎、改めて熊倉等守場の指示あり他)／一通(四紙)／(明治元年)九月一日／一五・二×八〇・一／楮紙／三左衛門↓小源太様／態と拝啓：御意候以上／元は切継紙、付箋二カ所あり／174

1345—01—75 木滑政愿・大滝忠恕宛 原三左衛門・庄田秀苗書状(薩摩藩の軍監宮川助五郎粗暴にて騒動の一件)／一通(二紙)／(明治元年)九月一日／一四・九×五九・七／楮紙／惣五郎・三左衛門↓要人様・新蔵様／若殿様無御滞申：御意候以上／元は切継紙／174

1345—01—76 木滑政愿・大滝忠恕宛 庄田秀苗他二名書状(騒動は尾張藩小隊取締役佐藤健三郎の周旋にて静まりご安心下されたく)／一通(二紙)／(明治元年)九月一日／一五・一×四七・三／楮紙／惣五郎他二名↓要人様・新蔵様／夜前騒擾二付：御意候以上／元は切継紙／174

1345—01—77 覚書(会津藩桃沢彦次郎、庄内藩石田(石原多門)との降伏交渉、仙台の様子)／一通(二紙)／(明治元年)九月一日／一四・六×二一・八／楮紙／一会合桃沢彦次郎：早急兵隊繰出候方／柱題「参考」、元は切継紙／174

1345—01—78 三瀧政清宛 倉崎清典書状(昨夜半、森台へ会津藩上使入り来たり降伏決心、薩摩・土佐と交渉につき)／一通(一紙)／(明治元年)九月一日／二一・一×二七・一／楮紙／昨夜半森台へ：御聞取可被下候以上／端裏書「此書面八倉

崎今三瀧迄遣し候分也」／元は豎紙、差出宛名は端裏書より判断／174

1345-01-179 竹俣久綱宛 大國頼隣書状（会津切迫、そのうち謝罪申し出、仙台の脱走説得状況探索他）／一通（三紙）／（明治元年）九月二日／一四・八×八一・七／楮紙／筑後↓美作様／御付札之御別紙：申上候以上／元は切継紙／174

1345-02 「残存戊辰文書続集 坤」（1345-02-01、176の表紙）／一点／近代（年月日未詳）／三一・四×四四・三／浅葱地散らし模様原表紙／二〇）
2 林泉文庫／表紙見返しに「安田若狭との」、裏表紙見返しに「安田若狭との」、安田兵庫との、「上杉弾正少弼 松平伊豆守 阿部豊後守 阿部□□守」墨書の貼付あり、林泉文庫印は表紙ではなく二枚目の台紙に押印、「残存戊辰文書 巽」の貼紙あり／174

134-02-01 木滑政愿他二名宛 倉崎清典・三瀧政清書状（会津の取扱につき報知、北方の村々鎮撫手配、与板組横山隊の先陣も土佐勢と一同に進軍）／一通（七紙）／（明治元年）九月二日／一五・〇×二〇三・〇／楮紙／七左衛門・清蔵↓要人様他二名／十八日夜半頃：御意候以上／元は切継紙／174

1345-02-02 木滑政愿・大滝忠恕宛 斎藤篤信・倉崎清典書状（庄内の形勢不分明につき早く探索下されたくとのことにて、庄内へ斥候のこと）／一通（二紙）／（明治元年）九月二日／一四・九×六〇・四／楮紙／斎藤主計・倉崎七左衛門↓木滑要人様・大滝新蔵様／以飛脚得御意候：御意候以上／元は切継紙／174

1345-02-03 大滝忠恕・高山政康宛 木滑政愿書状（仙台・庄内引揚の兵隊、寒河江へ逗留につき戦争となる由、奥羽の平定早くその運びとなるよう）／一通（四紙）／（明治元年）九月二日／一五・二×一〇九・九／楮紙／要人↓新蔵様・惣五郎様／世子御本陣分：御座候以上／元は切継紙／174

1345-02-04 木滑政愿宛 庄田秀苗書状（干城隊という当地に流浪の博徒先払のこと、御附軍監より進軍の督責）／一通（二紙）／（明治元年）九月三日／一五・二×四一・二／楮紙／惣五郎↓要人様／干城隊ト云当地ニ：御座候以上／元は切継紙／174

1345-02-05 御詰之間宛 新保朝綱書状（干城隊本陣へ着仕、刀槍使わしたく願）／一通（三紙）／（明治元年）九月三日／一四・四×五六・八／楮紙／左馬之助↓御詰之間／委曲庄田分：奉願候以上／元は切継紙／174

1345-02-06 大滝忠恕宛 新保朝綱書状（会津降伏の調整に付き、黒田参謀二六日まで休戦納得なるや）／一通（四紙）／（明治元年）九月二日／一四・五×七八・六／楮紙／左馬之助↓新蔵様／今廿四日志津宿迄：草々已上／元は切継紙／174

1345-02-07 黒井繁邦・三瀧政清宛 森長義書状（明日開城にて請取渡につき確認）／一通（五紙）／（明治元年）九月二日／一五・二×一三九・一／楮紙／盛之進↓小源太様・清蔵様／昨夜半頃会議所分：御推覧奉仰申候敬白／元は切継紙／174

1345-02-08 木滑政愿・黒井繁邦宛 三瀧政清書状（もはや開城の手数も済みこの後の処置につき検討、済民隊仮参謀額賀大吉へ仰せ付け）／一通（三紙）／（明治元年）九月二日／一五・一×六二・二／楮紙／清蔵↓要人様・小源太様／最早開城引渡之：御座候以上／元は切継紙／174

1345-02-09 毛利業広・竹俣久綱宛 新保朝綱書状（宮川軍監進軍、会津降伏につき休戦）／一通（九紙）／（明治元年）九月二日／一五・二×二八〇・八／楮紙／左馬之助↓上総様・権平様／昨廿四日無：奉呈寸楮候已上／元は切継紙／174

1345-02-10 軍政府役人宛 江口復蔵上申書（仙台領野上駅にて米沢の者兩人殺害につき、御手附尻馬より聞き取りのこと）／一通（二紙）／（明治元年）九月二日／一五・一×三九・五／楮紙／江口復蔵↓軍政府役人中様／仙台領野上駅にて：申上候頓首／元は切継紙／174

1345-02-11 官軍参謀宛 米沢藩願書（庄内藩降伏謝罪の歎願書提出につき暫時休兵下されたく）／一通（二紙）／（明治元年）九月二日／二〇・二×五〇・九／楮紙／米沢藩神保乙平↓官軍御参謀中／一筆啓仕候：御座候恐惶謹言／元は切継紙／174

1345-02-12 三瀧政清宛 倉崎清典書状（降伏人塩川へ護送、警護人数不足につき検討のこと、仁和寺宮越後へお帰りのこと）／一通（二紙）／（明治元年）九月二日／一五・九×六四・九／楮紙／七左衛門↓清蔵様／如命今日之：御座候以上／元は切継紙／174

1345-02-13 三瀧政清宛 横山与市書状（会津人数大内村より塩川駅へ引退の達につき器械弾薬等の手続き）／一通（二紙）／（明治元年）九月二日／一四・九×五〇・六／楮紙／横山与一↓三瀧清蔵様／以紙面得御意：相略申候已上／元は切継紙／174

1345-02-14 降伏人書付（田島表より塩川駅にて罷り越す降伏人取り調べ書上）／一通（三紙）／（明治元年）九月二日／一四・三×五七・四／楮紙／九月廿八日：七百六拾三人／元は切継紙／174

1345-02-15 出羽松山藩士天利十右衛門口上書（尊藩より出兵となり当惑、悔悟謹慎につき御取りなし下されたく願）／一通（一紙）／（明治元年九月）／一八・

○×八一・四／楮紙／酒井紀伊守使者天利十右衛門／是迄奥羽合國之：此段奉頼候／元は切継紙／174

1345-02-16 毛利業広・島津利馬宛 山本寺勝強書状（會議所より別紙二通到来、会城請取につき一小隊人数差し出すべき旨御達にて松木幾之進・木村丈八差し出す）／一通（三紙）／（明治元年）九月二十五日／一五・〇×六七・五／楮紙／山本寺伊予（黒印）↓毛利上総殿・島津利馬殿／一筆令啓達候：御座候恐々謹言／元は切継紙／174

1345-02-17 会津在陣軍監軍令（会津降伏につき猥りに会津藩士等と偽り唱えるべからず）／一通（二紙）／（明治元年）九月／一四・七×六一・〇／楮紙／会津在陣軍監と会津出張軍監／会津降伏二付而ハ：も他／元は切継紙、作成者は会津在陣軍監の差出一通、会津出張軍監の差出一通／174

1345-02-18 米沢藩宛 達書（猪苗代へ置かれる降人お預けにつき入念に警衛のこと）／一通（二紙）／（明治元年）九月／一五・一×二七・九／楮紙／米沢藩江／右此涯猪苗代江：警衛可致候事／元は切継紙／174

1345-02-19 毛利業広・島津利馬宛 山本寺勝強書状（西園寺中納言殿別紙書付お渡しにつき、降人警衛等よろしく御沙汰のこと）／一通（二紙）／（明治元年）九月二六日／一五・一×三九・七／楮紙／山本寺伊予（黒印）↓毛利上総殿・島津利馬殿／一筆令啓達候：御座候恐々謹言／元は切継紙／174

1345-02-20 達書（お預けの会津人塩川賄方一切委任につき取り計らうこと）／一通（一紙）／辰（明治元年）九月／一五・〇×一五・〇／楮紙／此度御預けニ：御取計有之度候事／元は切継紙／174

1345-02-21 達書（庄内・仙台へ出兵の官軍応援として今日より向々へ一小隊上山辺まで繰り出し、大小小荷駄方御勤めになるよう取計）／一通（二紙）／辰（明治元年）九月／一五・〇×二五・五／楮紙／此度庄内仙台江：御取計有之度候事／元は切継紙／174

1345-02-22 毛利業広他二名宛 山本寺勝強書状（會議所より書付二通お渡しにつき）／承知の上よろしく御沙汰のこと）／一通（二紙）／（明治元年）一〇月一日／一四・八×四〇・一／楮紙／山本寺伊予（黒印）↓毛利上総殿他二名／一筆令啓達候：御座候恐々謹言／端裏書「十月二日会津分相達候御用状」／元は切継紙／174

1345-02-23 三瀧政清宛 倉崎清典書状（塩川謹慎の降人姓名・惣人数取調、薩摩・佐土原は庄内向の兵引き戻し）／一通（三紙）／（明治元年）一〇月二日／一三・九×五一・四／楮紙／倉崎七左衛門↓御用筋三瀧政清様／塩川謹慎之：奉存候以上／元

は切継紙、一〇月四日塩川駅にて三瀧政清差出の付箋一枚あり／174

1345-02-24 竹俣久綱宛 大國頼隣書状（参謀御国来訪につき諸方番兵割等調整）／一通（五紙）／（明治元年）一〇月二日／一五・四×一二三・五／楮紙／筑後↓権平様／木梨参謀御国へ：申上候以上／元は切継紙／174

1345-02-25 毛利業広・竹俣久綱宛 新保朝綱他二名書状（齊藤参謀は当地出立、大総督府より久我中納言殿当地鎮撫・裁判のため明日着、仙台異心にて米沢藩人暗殺の懸念につき報知）／一通（五紙）／（明治元年）一〇月三日／一五・九×一三・四／楮紙／左馬之助他二名↓上総様・権平様／一筆奉啓候：申上候以上／元は切継紙／174

1345-02-26 木滑政愿・大滝忠恕宛 高山政康書状（吉岡監察と面談にて二本松勢の取扱につき、総督正親町殿福島表へ繰り込み）／一通（三紙）／（明治元年）一〇月三日／一四・六×六五・九／楮紙／与太郎↓要人様・宮内様／猶又申上候：申上候以上／元は切継紙／174

1345-02-27 会津在陣官軍参謀廻達写（東京行幸の布告、東北征討につき防寒毛布等下賜、白河口取締のこと通達七通）／一通（六紙）／（明治元年）一〇月一日／一三・九×一八七・〇／楮紙／○東京 行幸：差廻申候以上／柱題「官軍参謀方以御廻状相達候御書付七通之写」、元は切継紙／174

1345-02-28 毛利業広他二名宛 山本寺勝強書状（官軍参謀方より廻状七通到達のこと）／一通（二紙）／（明治元年）一〇月三日／一五・一×五〇・一／楮紙／山本寺伊予（黒印）↓毛利上総殿他二名／一筆令啓達候：御座候恐々謹言／元は切継紙／174

1345-02-29 山本寺勝強宛 倉崎清典・三瀧政清書状（当所の會議所も仕舞にて仙台へ人数繰り込み、会津・庄内・仙台取極の上は君上始め奥羽諸藩江戸乗込のこと）／一通（三紙）／（明治元年）一〇月三日／一四・〇×七八・二／楮紙／七左衛門・清蔵↓伊予様／当所之會議所も：申上候以上／端裏書「十月三日」／元は切継紙／174

1345-02-30 竹俣久綱宛 山本寺勝強書状（三瀧参謀は若松出張のところ諸藩の参謀二本松に引取につき、いづれ御家のみにて警衛せざるをえず）／一通（三紙）／（明治元年）一〇月四日／一五・〇×六二・三／楮紙／伊予↓権平様／倉崎参謀分：留筆仕候早々以上／元は切継紙／174

1345-02-31 木滑政愿他二名宛 三瀧政清書状（当表より人足差し出したき旨相談のところ聞き受けのこと、鉄丸様帰国の相談）／一通（二紙）／（明治元年）一

○月六日／一五・〇×六八・五／楮紙／清蔵↓要人様他二名／込合中二付：御意候謹言
／元は切継紙／174

1345-02-32 木滑政愿・大滝忠恕宛 高山政康書状(当表に正親町殿下向につき追々仙台へ押し出しの見込み)／一通(四紙)／(明治元年)一〇月六日／一四・九×一〇八・〇／楮紙／与太郎↓要人様・宮内様／一昨日は当表江：申上候以上／元は切継紙／174

1345-02-33 木滑政愿他三名宛 庄田秀苗書状(若殿様一〇日御着城の都合、庄内処分の経過について報知)／一通(三紙)／(明治元年)一〇月七日／一五・七×九八・二／楮紙／惣五郎拜↓要人様他三名／若殿様今七日朝五時：取量可被下候以上／元は切継紙／174

1345-02-34 木滑政愿他二名宛 中條政恒書状(謝罪以来の実効を申し上げるよう本営より御達につき火急御申し越し下されたく)／一通(五紙)／(明治元年)一〇月九日／一五・〇×一七〇・八／楮紙／上与七郎↓要人様他二名／以急便申上候：申上候以上／元は切継紙／174

1345-02-35 木滑政愿・大滝忠恕宛 高山政康書状(村松一条当惑のこと、諸方への配備につき相談)／一通(六紙)／(明治元年)一〇月一〇日／一五・一×一四六・二／楮紙／与太郎↓要人様・宮内様／昨日は脚便を以：早略拝呈頓首／端裏書「〇〇〇〇十月十日付」／元は切継紙／174

1345-02-36 毛利業広他二名宛 山本寺勝強書状(在陣参謀より別紙の通り御達につき猪苗代詰役人へ申達のこと)／一通(三紙)／(明治元年)一〇月一四日／一五・一×三九・八／楮紙／山本寺伊予(黒印)↓毛利上総殿他二名／一筆令啓達候：御座候恐々謹言／元は切継紙／174

1345-02-37 米沢藩隊長衆宛 若松在陣官軍参謀達書(猪苗代にて謹慎の会津藩人賄方、これからは米沢藩にて取計のこと)／一通(二紙)／(明治元年)一〇月一四日／一七・〇×一九・一／楮紙／若松在陣参謀↓米沢藩隊長衆中／猪苗代江謹慎：御取計可有之候事／元は切継紙／174

1345-02-38 木滑政愿他二名宛 高山政康書状(久我様・諸兵隊御通行の手配につき連絡)／一通(五紙)／(明治元年)一〇月一六日／一五・〇×一八一・九／楮紙／与太郎↓要人様他二名／久我様御通行：奉願候以上／元は切継紙／174

1345-02-39 黒井繁邦宛 三瀧政清書状(其表へ交代の義につき御国より当駅詰の挨拶にて報知)／一通(一紙)／(明治元年)一〇月一六日／一五・五×一五・〇／楮紙／清蔵↓小源太様／其表江交代之義：貴意候頓首／元は切継紙／174

1345-02-40 倉崎清典宛 黒井繁邦書状(三瀧同役より申し越しの義につき、当時は三瀧なくては済まず)／一通(二紙)／(明治元年)一〇月一七日／一三・二×二八・六／楮紙／小源太↓七左衛門様／前文之通三瀧同役今：御座候已上／元は切継紙／174

1345-02-41 木滑政愿他三名宛 黒井繁邦書状(降伏人の賄方白河へ引揚以降は御藩にて引き受けるべき達につき相談、宮様通行の手配、当表は町人ども戻り安堵の様子)／一通(七紙)／(明治元年)一〇月一五日／一四・七×二七五・六／楮紙／小源太↓要人様他三名／一筆致啓上候：御座候謹言／元は切継紙、付箋あり／174

1345-02-42 三瀧清蔵宛 黒井繁邦書状(猪苗代降人の賄いにつき通知、会津父子および重臣東京お召しの由通知)／一通(二紙)／(明治元年)一〇月一七日／一・九×三四・〇／楮紙／小源太↓清蔵様／〇猪苗代降人江：可被下候已上／端裏書「三瀧宛」／元は切継紙、付箋あり／174

1345-02-43 出羽松山藩主酒井忠良歎願書写(城外謹慎につき寛大の御沙汰下されたく歎願、九月付)／一通(一紙)／(明治元年)一〇月一八日／一八・二×四九・七／楮紙／方今 王政御一新之折：恐惶恐惶頓首謹言／元は切継紙／174

1345-02-44 亀田藩主岩城隆邦歎願書写(領外退去につき寛典の御沙汰下されたく歎願、九月付)／一通(二紙)／(明治元年)一〇月一九日／一九・二×五四・八／楮紙／臣隆邦恐惶頓首：誠恐誠惶謹言／元は切継紙／174

1345-02-45 会談所宛 黒井繁邦書状(高田村辺にて百姓暴挙につき嚴重取締の達報知)／一通(二紙)／(明治元年)一〇月一六日／一四・八×一八・六／楮紙／小源太↓各様／高田村辺江：御座候以上／元は切継紙、柱題「十月十六日巳之刻御達し」／174

1345-02-46 会談所宛 黒井繁邦書状(諸方にて屯集暴挙の模様につき諸郷へ触差出のこと)／一通(二紙)／(明治元年)一〇月一六日／一五・〇×五二・一／楮紙／小源太↓各様／当駅江も扱下村々々：可申上候已上／元は切継紙／174

1345-02-47 会談所宛 黒井繁邦書状(一揆への対応につき参謀より暴動等なきよう口達あり、一揆鎮静への対応報知)／一通(四紙)／(明治元年)一〇月一六日／一四・八×二五・一／楮紙／小源太↓会談所各位／別紙手控之通：御座候已上／元は切継紙、付箋あり／174

1345-02-48 三瀧政清宛 黒井繁邦書状(姉川参謀より会津父子および重臣護送のこと等通知のこと)／一通(二紙)／(明治元年)一〇月一七日／一二・九×二九・五／楮紙／若松詰小源太↓清蔵様／今十七日巳之刻：相頼とのよし／元は切継紙、

付箋あり／174

1345-02-49 黒井繁邦宛 森長義書状(猪苗代粮米につき当惑、兵隊交代の相談、百姓一揆への対応につき通知)／一通(五紙)／(明治元年)一〇月二二日／一四・七×一三五・二／楮紙／盛之進↓小源太様／一輪拝呈仕候：御意候以上／元は切継紙／174

1345-02-50 在陣官軍参謀達書(降伏人の処罰・護送の手続きにつき)／一通(四紙)／(明治元年)一〇月／一四・六×一〇九・六／楮紙／一十月十九日：可被申出候事／元は切継紙／174

1345-02-51 会談所宛 黒井繁邦書状(村々鎮静、佐川官兵衛より寒気甚だしきにつき布団貸渡願)／一通(四紙)／(明治元年)一〇月二三日／一四・四×七七・八／楮紙／小源太↓会談所各様／目黒利兵衛帰国ニ付：猶期後便候已上／元は切継紙／174

1345-02-52 木滑政愿他二名宛 黒井繁邦書状(猪苗代・塩川とも少人数で降伏人警護、村々鎮撫のため交替の兵隊下されたく、佐川官兵衛無心願の千両につき評判の状況伺)／一通(四紙)／(明治元年)一〇月三日／一五・〇×九二・一／楮紙／小源太↓要人様他二名／一簡拝啓然れハ：恐惶謹言／元は切継紙／174

1345-02-53 黒井繁邦宛 森長義・鏞久右衛門書状(参謀会議所より書付にて降人脱走の件、不取締につき嚴重取締の達)／一通(三紙)／(明治元年)一〇月三日／一四・九×六八・九／楮紙／盛之進・久右衛門↓小源太様／以飛脚得御意候：奉希上候以上／元は切継紙／174

1345-02-54 調書(塩川駅における会津降人の脱走人書上)／一通(二紙)／(明治元年)一〇月／一四・四×四〇・六／楮紙／塩川駅脱走人：成田蔵助メ／元は切継紙／174

1345-02-55 木滑政愿他二名宛 黒井繁邦書状(脱走人の件、秋月悌次郎が東京へ差登につき護送兵一〇人差出下さるよう、一〇日より猪苗代・塩川に民政局取立他)／一通(四紙)／(明治元年)一〇月五日／一四・八×一一七・三／楮紙／小源太↓要人様他二名／態と致啓上候：猶期後便候謹言／元は切継紙、付箋あり／174

1345-02-56 木滑政愿・大滝忠恕宛 坂蘭漢書状(粮米拝借の願書を会計局に提出につき手続き経過、松前騒動につき報知)／一通(六紙)／(明治元年)一〇月七日／一五・二×二二・一〇／楮紙／坂蘭漢押↓木滑要人様・大滝新蔵様／一輪拝呈仕候：此御発途之よし／元は切継紙／174

1345-02-57 島津教忠宛 山本寺勝強書状(若松詰参謀方より去る五日書付一通お渡しにつき報知)／一通(二紙)／(明治元年)一〇月八日／一四・〇×三四・九／楮紙／山本寺伊予(黒印)↓島津利馬殿／一筆令啓達候：御座候恐々謹言／元は切継紙／174

1345-02-58 降人守衛米沢藩隊長宛 若松在陣官軍参謀達書(秋月悌次郎早々東京へ護送につき其藩よりも守衛兵隊一〇人差し出すべく)／一通(二紙)／(明治元年)一〇月五日／一四・九×二八・〇／楮紙／在陣参謀↓降人守衛米沢藩隊長江／秋月悌次郎早々：可被申候事／元は切継紙／174

1345-02-59 降人守衛米沢藩隊長宛 若松在陣官軍参謀達書(去五日秋月悌次郎護送のため兵隊に達した旨間違いに付き申達)／一通(一紙)／(明治元年)一〇月七日／一四・九×二四・〇／楮紙／在陣参謀↓降人守衛米沢藩隊長江／去ル五日秋月悌次郎：此段申達候事／元は切継紙／174

1345-02-60 島津教忠宛 山本寺勝強書状(当表病院不足、太田道舜着にて病院相達するところ永話にて交替の者差し越さるべく)／一通(二紙)／(明治元年)一〇月／一四・七×三八・八／楮紙／山本寺伊予(黒印)↓島津利馬殿／一筆令啓達候：御座候恐々謹言／元は切継紙／174

1345-02-61 太田道舜履歴書(江戸の西洋医学所入塾後、若松病院詰仰せ付けられるまでの履歴書上)／一通(五紙)／(明治元年)一〇月／一四・九×一六五・二／楮紙／太田道舜／私義去四月中：相動罷在候事／元は切継紙／174

1345-02-62 土肥源蔵宛 福順寺書状(当村にてお預かりの鉄砲につき御印鑑下されば早速差し上げと承知下されたく)／一通(二紙)／(明治元年)一〇月一四日／一六・五×八〇・五／楮紙／田井福順寺↓米沢土肥源蔵様／此度宮本氏：早々頓首再拜／元は切継紙、封紙あり墨書「十一月十四日 米沢土肥源蔵様 尊下要書 田井福順寺」／174

1345-02-63 所持品書上(松本誠蔵・堀尾啓助所持の刀・羽織等)／一通(三紙)／(明治元年)一〇月／一四・六×五六・四／楮紙／一刀一腰：御座候以上／元は切継紙、柱題「松本誠蔵殿堀尾啓助所持之大小品物調」／174

1345-02-64 旧新潟奉行所属吏栗原伝五郎・神田龍輔歎願書(新潟港の取締につき、先般御附属の者共と当地立去との境界を民政局にて御弁別致されたく)／一通(四紙)／(明治元年)一〇月／一四・五×一一五・五／楮紙／栗原伝五郎・神田龍輔／新潟港之儀は：奉願候以上／元は切継紙、封紙あり墨書「歎願申上候書付 神田龍輔 栗原伝五郎」／174

1345—02—65 戸狩左門他五名宛 淨照寺書状(外藩にては諸民鎮撫せず官軍の暴威筆紙に尽くしがたく、当年中御乗り出しを願う)／一通(三紙)／(明治元年)一月一日四日／一六・五×一・二一・六／楮紙／淨照寺↓戸狩左門様他五名／此度宮本氏御座候恐々敬白／元は切継紙／174

1345—02—66 軍政府・会談所合議書(越後表における軍事賞罰通達および合議)／一通(二紙)／(明治元年)一月二七日／一四・七×八九・四／楮紙／軍政府↓会談所／増岡孫次郎 右者於越後：可被下候以上／元は切継紙、付箋一四枚あり／174

1345—02—67 山中兵部宛 毛利業広・島津教忠書状(松前へ脱走の者多勢上陸乱入につき同地の模様承知致したく伺い)／一通(一紙)／(明治元年)一月二六・一×八一・一／楮紙／毛利上総業広(花押)・島津利馬教忠(花押)↓山中兵部様・御同役中様／一筆致啓達候：御座候恐惶謹言／元は縦紙か、山中は弘前藩士／174

1345—02—68 小杉長三郎・鏑久右衛門口上書(松前辺に脱走人多人数上陸乱妨の風聞あり、同性模様柄承知致したく伺)／一通(三紙)／(明治元年)一月一五・一×七六・九／楮紙／小杉長三郎・鏑久右衛門／甚寒之節御座候：口上申含候／元は切継紙／174

1345—02—69 降人護送処置手続書(塩川・猪苗代降伏人の処置に関する手続書上)／一通(五紙)／(明治元年)一月二六日／一四・八×一四三・八／楮紙／此度降服人：五十八九任之積り／端裏書「会津令十二月六日相達」／元は切継紙、付箋二枚あり／174

1345—02—70 竹俣久綱宛 山本寺勝強書状(四家の処分につき状況報知、当表出張兵隊への賄い、降人お預けにつき報知)／一通(五紙)／(明治元年)一月九日／一四・九×一六一・八／楮紙／伊予↓権平様／貴翰拝誦仕候：御意候以上／元は切継紙／174

1345—02—71 毛利業広・竹俣久綱宛 山本寺勝強書状(参謀より達として猪苗代詰周旋方立岩泰蔵へ附属、片山十左衛門に軍監の心得をもって大橋繁太に示談の上万事勤め他)／一通(二紙)／(明治元年)一月二〇日／一五・〇×六三・〇／楮紙／山本寺伊予勝強(花押)↓毛利上総殿・加地権平殿／一筆令啓達候：御座候恐々謹言／元は切継紙／174

1345—02—72 若松在陣官軍参謀達書(降人に寛大の仁恤をもって御扶持下される)／一通(二紙)／(明治元年)一月二〇日／一五・〇×六三・八／楮紙／在陣参謀／此度降人輩：可及差図候事／元は切継紙／174

1345—02—73 若松在陣官軍参謀達書(森長義へ軍監の心得をもって猪苗代表へ出張し、降人取締・民政両役万事取計のこと)／一通(一紙)／(明治元年)一月一五・一×一四・九／楮紙／若松在陣参謀／杉山盛之進右者軍監之：可被取計候事／元は切継紙／174

1345—02—74 米沢藩宛 若松在陣官軍参謀達書(降人守衛兵隊賄下されるにつき申達)／一通(二紙)／(明治元年)一月二五・一×二五・九／楮紙／若松在陣参謀↓米沢藩江／降人守衛兵隊：此段申達候事／元は切継紙／174

1345—02—75 金沢他四藩隊長宛 若松在陣官軍参謀廻達(降人高田・松代両藩へ御預けにつき、藩々戌兵より護送仰付にて二名ずつ人選のこと)／一通(二紙)／(明治元年)一月二四日／一五・八×五一・五／楮紙／在陣参謀↓加州藩隊長中他四藩／今般降人高田松代両藩江：可被差出候事／元は切継紙／174

1345—02—76 若松在陣官軍参謀達書(米沢藩一小隊は野尻駅へ出張し新発田藩と交替、一分隊は赤津村へ出張近村探索のこと)／一通(二紙)／(明治元年)一月一四・六×三九・四／楮紙／在陣参謀／米沢藩一小隊、近村探索可被致候事／元は切継紙／174

1345—02—77 山本寺勝強・小倉将監宛 大橋繁太・登書状(降人護送兵隊心得方の通知)／一通(四紙)／(明治元年)一月二五日／一四・四×一四三・三／楮紙／登・繁太↓伊予様・将監様／降人護送兵隊：可被下候以上／元は切継紙／174

1345—02—78 斉藤篤信・甘粕継成宛 山本寺勝強書状(別紙の通りの内達にて取り計らい下さるべく、周旋方一小隊に二人ずつ附属のこと)／一通(三紙)／(明治元年)一月二六日／一五・〇×八〇・七／楮紙／伊予↓主計様・備後様／態与以飛脚：御意候以上／元は切継紙／174

1345—02—79 古海勘左衛門・斉藤篤信宛 小倉将監書状(降人護送二八日頃よりと申すことにて手配尽くすこと)／一通(三紙)／(明治元年)一月二六日／一五・三×五〇・五／楮紙／将監↓勘左衛門様・主計様／一翰拝呈仕候：御座候已上／元は切継紙／174

1345—02—80 甘粕継成・大滝忠恕宛 森長義・元助書状(諸藩会議所詰より申立の賄いにつき)／一通(一〇紙)／(明治元年)一月二八日／一四・八×三九・一・三／楮紙／盛之進・元助↓備後様・新蔵様／諸藩会議所：御坐候頓首／元は切継紙／174

1345—02—81 若松間書(松前屯集脱走兵追討につき、新発田・松前および西京・東京へ出兵の達)／一通(三紙)／(明治元年)一月二〇日／一四・六×七二・四／楮

紙／一明春松前二：由二御坐候／柱題「若松表聞書」、元は切継紙／174

幕末維新期—明治元年—貼継・貼込—外題無し

1200 外題無し(1200-01-010の表紙)／一卷／近代(年月日未詳)／二〇・五×三一・〇／卷子装 深緑卍繫ぎ地に唐草模様後補表紙／未巻〇本／1200-01-10卷子装／無

1200-01 木滑政愿・大滝忠恕宛 村松藩土堀右衛門三郎書状(会津方面へ出張の人数今日当城下へ着、武器請取につき承知)／一通(二紙)／(明治元年)九月一日／一五三・五×四九・五／切継紙 楮紙／堀右衛門三郎↓木滑要人様・大滝新蔵様／御手紙拝見仕候：如斯御座候以上／1200-01-10卷子装／無

1200-02 神保乙平宛 庄内藩土酒井帯刀書状(色々御面倒になり御迷惑のこと多謝、別紙何分宜しく扱を願う他)／一通(一紙)／(明治元年カ)九月六日／一五・七×四四・五／切継紙 楮紙／酒井帯刀↓神保乙平様／夜前ハ参上□候：如此御座候以上／1200-01-10卷子装／無

1200-03 高山政康宛 吉岡伝衛書状(参謀同道にて米沢表まで出る積りが昨日より木梨精一郎若松表へ罷越につき)／一通(二紙)／(明治元年)九月二三日／一五・八×五四・〇／切継紙 楮紙／二本松吉岡伝衛↓福島出張米沢藩本陣高山与太郎様／以手□得其意候：御座候□□已上／1200-01-10卷子装／無

1200-04 米沢役人宛 上山藩土松平信徽他二名願書(漆山陣屋脱走勝沼精之允他七人、別紙の通り歎願書差出につき)／一通(四紙)／(明治元年)一〇月一〇日／一五・五×一四二・三／切継紙 楮紙／松平外記信徽(花押)他二名↓米沢様・御役人中様／以剪紙致啓上候：如斯御座候以上／1200-01-10卷子装／無

1200-05 口上書(九条殿下秋田へお越にて仙台より人数出張につき御応援として人数差出の旨)／一通(二紙)／(明治元年)／一七・〇×三六・二／切継紙 楮紙／此度 九条殿秋田江：以使者申上候／1200-01-10卷子装／使者挨拶口上、新庄藩カ／無

1200-06 木滑政愿宛 甚六書状(新庄様より長々の滞陣につき御賄御酒御肴頂戴等報告)／一通(二紙)／(明治元年)六月二五日／一四・九×一七・八／切継紙 楮紙／甚六↓要人様／新庄表江十八日：被成下度申上候／1200-01-10卷子装／無

1200-07 木滑政愿宛 平山礪右衛門・天野拾書状(岩城口西軍弊藩を相侵しては防禦相叶いがたきにつき援兵願)／一通(二紙)／(明治元年)七月九日／一五・三×四一・〇／切継紙 楮紙／平山礪右衛門・天野拾↓木滑要人様／一昨日御内話之通：早々頓首再拜／1200-01-10卷子装／無

1200-08 千坂高雅他二名書状案(官軍へ降伏歎願の旨承知、弊藩も謝罪につき互いに天下のため尽力したく)／一通(三紙)／(明治元年)一〇月四日／一四・三×六九・〇／切継紙 楮紙／鑄木源蔵他二名↓様・様・様／御手紙致拝見候：曾々恐々謹言／1200-01-10卷子装／無

1200-09 書状(白川棚倉辺危急につき出兵奮致されたく)／一通(二紙)／(明治元年)／一五・三×三四・〇／切継紙 楮紙／以手紙啓上仕候：乍失家前奉伺候／1200-01-10卷子装／無

1200-010 詔書写(汝百官群臣ヲ朝会シ大ニ施設スルノ方ヲ諮詢ス)／一通(二紙)／明治二年四月／二〇・〇×一〇六・八／切継紙 楮紙／詔朕嚮ニ汝百官：百官羣臣ソレ最哉／1200-01-10卷子装／無

1254-01 在邑大広間席宛 達書写(別紙御奏聞状に感激の面々は上坂のこと、原本は慶応三年二月付)／一通(四紙)／(慶応三年)／一四・六×一八・四／切継紙 楮紙／臣慶喜不肖之身を以：上坂候様可被致候事／端裏書「公方様於大坂御奏聞諸大名江之御達書」〇元 慶応三年十月中／1254の貼継は剥離多数／1254-01-24貼継／後欠／170

1254-02 東海道鎮守府諭告写(東征の趣旨と一同安堵のこと、原本は明治元年四月一〇日付で江戸市中に出されたもの)／一通(二紙)／(明治元年四月頃)／一五・五×四三・七／切継紙 楮紙／叡慮之趣奉拝承：裁判有之者也／1254-01-24貼継／柱題「別紙之通東海道鎮撫總督府々仰出候条」／無

1254-03 田安中納言宛 大総督府参謀達書写(江府鎮撫万端取締委任、見込みの儀申し出他大目付触一件、原本は明治元年閏四月二日付)／一通(一紙)／(明治元年閏四月頃)／一四・二×四〇・八／切継紙 楮紙／田安中納言：右之趣□□江可相達候事／1254-01-24貼継／無

1254-04 家中宛 達書写(御発駕につき御送勤御免、火の用心のこと、原本は明治元年閏四月九日付)／一通(二紙)／(明治元年閏四月頃)／一四・五×四九・〇／切継紙 楮紙／今般会津藩謝罪：右之趣可被得其意候以上／端裏書「慶応四年閏四月九日」／継目剥離／1254-01-24貼継／無

1254-05 日記(明治元年閏四月一〇日から一六日の高島着まで、上杉齊憲の動

向が中心)／一通(六紙)／(明治元年閏四月頃)／一四・五×八七・八／切継紙 楮紙／一当宿御着キの上高家衆：御酒被成下之／継目剥離／1254-011-24貼継／前後欠／無

1254-006 意見書案(大山・世良等王威を借り暴行、会津藩との経緯を考慮し討伐をやめ同心協力のこと)／一通(四紙)／(明治元年閏四月)／一五・〇×一三・〇／切継紙 楮紙／此度会藩為御周旋：幾重にも奉懇願候／継目剥離／1254-011-24貼継／無

1254-007 日記(明治元年六月二三日、二五日、越後下関滞在中の上杉齊憲の動向中心)／一通(五紙)／明治元年六月／一六・三×一〇九・〇／切継紙 楮紙／六月廿三日 雨：御茶菓被成下之／継目剥離／1254-011-24貼継／料紙の縦幅はそれぞれ異なる、最大寸法を採録／無

1254-008 軍政府宛 須藤久道意見書案(越後万民鎮撫の策として、伊夜日子明神に武具奉納、祈祷させ守札等領内に配布他)／一通(三紙)／(明治元年)六月／一五・五×四五・〇／切継紙 楮紙／須藤美保吉↓軍政府／一伊夜日子明神ハ：多罪々々／継目剥離／1254-011-24貼継／柱題「越後万民鎮撫之策」／無

1254-009 御用部屋宛 久保民次意見書(何変の節の御引退の場所、供廻、御国女中の扱い等対応案)／一通(三紙)／(明治元年八月末、九月)／一四・五×七五・〇／切継紙 楮紙／久保民次↓御用部屋／最早至急之御場合：内密申上候以上／端裏書「内〇元切廻候節久保民次存寄書」／継目剥離／1254-011-24貼継／文中に会津若松落城とあり時期を推定、松印様や御輿の準備とあり、女性の避難関係／無

1254-010 御用人意見書(四方の戦況悪化、御立除には反対、御一同本丸にあり四方防衛のこと)／一通(二紙)／(明治元年八月末、九月)／一四・五×三五・〇／切継紙 楮紙／御用人／形勢を以考候ニ：御指揮奉希候／1254-011-24貼継／1254-009と関連カ／無

1254-011 添役意見書(近国諸藩の君臣婦女子逃来たり治安悪化につき奥でも道具取り始末の心がけが肝要)／一通(二紙)／(明治元年八月末、九月)／一四・五×二一・五／切紙 楮紙／此節近国諸藩：相成間敷候哉／1254-011-24貼継／「御添役評判書差出ニ付別紙ニ愚意申上候」とある剥離した付箋一点あり／無

1254-012 意見書(小笠原長行、板倉勝清ら高貴の人も冷や飯で飢えを凌ぐ状況、部屋方にも衣食儉約のこと)／一通(二紙)／(明治元年八月末、九月)／一四・七×二一・五／切継紙 楮紙／一先般 宮様之：御懇諭御座候様致度存候／1254-011-24貼継／老女衆年寄方が心遣いすればよいとする用人の下札あり／無

1254-013 千坂高雅書状(世子、関へ御出馬の事も仙台や諸藩へ話、抜け駆けなるまじく、御国も無人にて御政事も立たず)／一通(二紙)／(明治元年九月頃カ)／一四・五×三一・五／切継紙 楮紙／高雅／其始め 齊藤主計：慎申中如何不備／1254-011-24貼継／無

1254-014 軍政府役人中宛 江口復蔵書状(松本誠蔵、堀尾敬助殺害一件、尻馬伊勢次探索の結果を報知)／一通(二紙)／(明治元年)九月二六日／一五・二×六八・〇／切継紙 楮紙／江口腹蔵↓軍政府 御役人中様／仙台領野上駅ニ而：乍早略申上候頓首／1254-011-24貼継／「米沢藩戊辰文書」一六一号／無

1254-015 安田治部宛 中條明資達書(上杉茂憲隠居、茂憲家督のこと行政官ご沙汰あり、近習中へ御達のこと)／一通(三紙)／(明治元年)一二月七日／一四・五×九四・〇／切継紙 楮紙／高井市兵衛↓安田治部殿／駿河守様御呼懸：可被相達候以上／端裏書「明治元年十二月七日」／1254-011-24貼継／無

1254-016 達書(土地人民差し上げのこと太政官へ申し立ての含み、勤王の素志貫徹のこと、原本は明治二年三月七日付)／一通(二紙)／(明治二年)／一四・七×五八・五／切継紙 楮紙／王政御復古二付而者：委細者年寄共可申聞候／1254-011-24貼継／無

1254-017 上杉茂憲告上意達書(土地人民差し上げ仰せ立てられたく、そのご趣意奉体のこと)／一通(四紙)／(明治三年)三月七日／一五・三×一〇六・五／切継紙 楮紙／時勢変換大政御一新：懇に可被相達候事／端裏書「明治二年三月七日」／継目剥離／1254-011-24貼継／柱題「上意之大旨」／無

1254-018 弁事宛 上杉茂憲願書(末家駿河守分とも封土返上のこと)／一通(二紙)／明治二年三月一四日／一五・〇×四〇・三／切継紙 楮紙／御名↓弁事御中／今般大政御復古：誠恐誠惶謹白／1254-011-24貼継／無

1254-019 安田治部宛 本庄昌長書状(版籍奉還につき太政官より沙汰あり、茂憲へ伝達を依頼)／一通(二紙)／明治二年四月二三日／一四・四×五五・五／切継紙 楮紙／大和↓治部様／去ル十四日 屋形様：御申上可被成／継目剥離／1254-011-24貼継／無

1254-020 上杉茂憲宛 行政官達書(版籍奉還のこと聞こし召さる、米沢藩知事に任ず)／一通(二紙)／明治二年六月／一四・八×五七・八／切継紙 楮紙／太政官↓上杉茂憲／明治二已 六月十九日：被 仰付候事／1254-011-24貼継／二通を一通に書写／無

1254-21 上杉茂憲告上意達書写(士族の家禄削減につき弁え、勤王の素志貫徹のこと)／一通(四紙)／近代(年月日未詳)／一五・〇×七五・八／切継紙 楮紙／今般被 仰出候上意：深く相心得可申事／端裏書「安田彦平太」／1254-011-24 貼継／柱題「上意之大旨」／無

1254-22 達書写(今般廢刀勝手次第、擊劍所廃止、執心の者が最寄りの場所にて稽古は勝手のこと)／一通(二紙)／近代(年月日未詳)／一四・八×三一・二／切継紙 楮紙／今般廢刀勝手次第：稽古候義ハ可為勝手事／1254-011-24 貼継／無

1254-23 版籍奉還関係書類写(明治四年七月一日付の詔書、同時期の太政官沙汰書、上杉齊憲・茂憲連名の士族に対する告諭他)／一通(五紙)／(明治四年)／一四・八×一八二・五／切継紙 楮紙／去ル五日知事様江：遂相談候事二候／1254-011-24 貼継／無

1254-24 達書写(改革につき医家の称号と卒列廻扶持を廃止、世襲の卒は士族、一代抱の者は平民に編入のこと)／一通(二紙)／辛未(明治五年)六月／一四・六×五〇・〇／切継紙 楮紙／今般一層改革二付：平民族江相返し候事／継目剥離／1254-011-24 貼継／無

1347 上杉重定宛 松平周防守書状封紙(外題無し、反転し1347-011-65の表紙に転用)／一点／江戸中期(年月日未詳)／三二・三×四六・五／素紙後補表紙／旧史料名は「残存戊辰文書」だが史料自体には記載なし／174

1347-01 中里盛直宛 中里行蔵書状(今日昼前山形に着、上山の山村久馬らと面談、山形・庄内・漆山方面情勢、明朝は総督大兵を率い出張下されたく他)／一通(六紙)／(明治元年)閏四月二八日／一四・六×一六七・五／切継紙 楮紙／行蔵↓丹下様／以飛札致拜呈候：早々申上候以上／端裏朱書「戊辰閏四月大老」／朱書き端裏書あるが端裏部分継がれており解説不可、異筆書状断簡でこの度の事件は全て色部長門殿の所為と申立云々とあり／174

1347-02 田中光儀書状写(新潟に江戸表より越す俗吏帰府願い出、新潟諸役所受取のため家老職一人出張下されたく他、原本は明治元年五月二五日付)／一通(二紙)／近代(年月日未詳)／一四・八×三七・二／切継紙 楮紙／以尺楮令啓問候：如斯御座候以上／端裏書「田中康太郎手紙写」／174

1347-03 書状(新潟港は米沢にて預かり、辞退すれど再三御願あり、やむなく内々御引受のこと報知)／一通(三紙)／(明治元年)五月二二日／一四・五×七〇・五／切継紙 楮紙／一新潟港之儀：委細申上候心得二候事／柱題「新潟事件」／174

1347-04 書状(新発田、新潟まで出兵の由だが進まず心外、玉葉入用、長岡の合戦に二〇万発使用、成るたけ御持ち下されたく他)／一通(一紙)／(明治元年)五月二三日／一四・九×一四・三／小切紙 楮紙／芝田新潟迄出兵：此段申上候以上／174

1347-05 総督宛 書状(笹岡にて待たず出立の儀は小林より詳悉のはず、関駅にて主水様渡辺に在陣、当駅俄に引き返せば人心動揺他)／一通(三紙)／(明治元年)五月二三日／一四・七×九三・三／切継紙 楮紙／總督机下／時刻相遅候二付：如斯御座候以上／端裏朱書「戊辰五月□中□」／作成は若林秀秋、受取は色部久長カ／174

1347-06 色部久長宛 若林秀秋書状(老耄馳帰り後、同日夕丈七にお渡しの用状拝見、御出馬延引につき過激の論も発し、この上、尽力を祈る)／一通(二紙)／(明治元年)五月二五日／一五・一×六一・三／切継紙 楮紙／作兵衛↓長門様／耄馳帰後同日：老筆御□見可申候拜具／端裏朱書「戊辰五月□中□」／174

1347-07 二本松右京宛 色部久長書状(笹岡まで御繰出のところ、中老より引合いあり五十公野まで退陣の由、当表切迫につき土肥伝右衛門他二隊を繰り出し下されたく)／一通(二紙)／(明治元年)／一四・五×二四・一／楮紙／色部長門↓二本松右京殿／長岡迄御繰出之処：此段□□いたし候以上／端裏書「濟」、同朱書「辰七月」／元は切継紙、控か写カ／174

1347-08 堀尾重興・小嶋伊右衛門宛 長名美衛他二名書状(新潟港へ官軍軍艦差廻しの模様、別紙山田八郎申す通り、会議の結果、三手三小隊他派遣人数詳細)／一通(二紙)／(明治元年)五月二五日／一四・八×五九・一／楮紙／長名美衛他二名↓堀尾保助殿・小嶋伊右衛門殿／一筆令啓達候：為其如此御座候恐々謹言／端裏書「月」／元は切継紙／174

1347-09 書状(周旋方等私手元まで召し返し、総督御目見のこと)／一通(二紙)／(明治元年)／一六・〇×三九・六／楮紙／名主居村水原支配：御取計被下度奉存候／元は切継紙／174

1347-10 おりふ宛 神保乙平書状(この度の一条は留守中の頼み、竹内よりお聞きなされたく、白崎一和田その他懇意、この度武士再生の媒と御覚悟他)／一通(二紙)／(明治元年)五月二〇日／一四・七×三九・四／楮紙／神保乙平↓おりふとの／此度之一条留守中：萬めて度期後首候草々／元は切継紙、前に乙平に急出張を命じる旨の達書写を貼付／174

1347-11 千坂高雅書状(一九日進撃御定、新発田は一方の先鋒に向け一合戦させたく、大口・押切・福井の攻口評判)／一通(二紙)／(明治元年)六月一八日／一

三・九×三八・七／楮紙／千坂太郎左衛門／十四日合戦之：御申達可有之候以上／元は切継紙／174

1347-12 親宛 駒次郎書状（会津表大兄盛んに稽古、屋形様御出馬、その表にてアメリカ・イタリア人へ面会の由、国元へもアメリカ人石田名助方へ止宿他）／一通（二紙）／（明治元年）六月十九日／一四・五×五七・一／楮紙／駒次郎御親様／去ル十二日御目付：自出度申上候以上／端裏朱書「戊辰六月」／元は切継紙、端裏朱書きあるが解読不可／174

1347-13 太政官沙汰書写（今般松平肥後、酒井左衛門尉連勅、云々）／一通（四紙）／（明治元年）／一五・〇×一〇七・六／楮紙／今般松平肥後酒井左衛門：石井完之進／柱題「覚」、元は切継紙／174

1347-14 宮与太郎書状（この度御差越の人数は九牛の一毛、御賄方一向の者五、六人遣わされたく他）／一通（二紙）／（明治元年）／一四・八×二五・九／楮紙／与太郎／此度御差越二相成：御遣被成下度存候／元は切継紙、作成者は宮与太郎カ／174

1347-15 宮与太郎・立岩恭藏書状（九条殿南部より、沢殿は野代より出帆、小倉勢の動向、仙台藩一戦覚悟につき一小隊か三〇目筒打ち手出立を願う他）／一通（四紙）／（明治元年）六月二十五日／一五・一×五五・八／楮紙／宮与太郎・立岩恭藏／九条殿者南部カ：一ツ書ニシテ申上候以上／元は切継紙、二名は仙台本陣詰め／174

1347-16 木滑政愿宛 樋口甚六書状（秋田表の模様、小倉藩秋田表線入は九条殿転陣のため、この度派遣の人数にお渡し玉葉は七〇ずつでは心もとなく他）／一通（二紙）／（明治元年）六月二十五日／一五・二×六七・四／楮紙／樋口甚六↓木滑要人様／以飛札申上候：評判之上申上候以上／端裏書「樋口甚六」／元は切継紙／174

1347-17 宮与太郎・立岩恭藏書状（別紙申入れる、八匁筒には当惑、筒改の度に十分な鉄砲なし、取替二丁の他六、七丁送付願う他）／一通（二紙）／（明治元年）六月二十五日／一五・〇×一〇・五／楮紙／宮与太郎・立岩恭藏／猶又別紙申上候：御送被成下度申上候以上／元は切継紙／174

1347-18 木滑政愿宛 樋口甚六書状（秋田表も切迫、国中三分の二は官軍方と聞こゆ、草鞋銭不足、中田村にて小給の者兵威を張り調練のためにも銭下されたく他）／一通（二紙）／（明治元年）六月二十五日／一五・二×四八・二／楮紙／甚六↓要人様／残暑之節御座候得共：奉伏願候以上／端裏書「樋口甚六」／樋口は中田（金山町）滞在、元は切継紙／174

1347-19 御物書所宛 御兵具所覚書（鉄砲所有数取り調べにつき）／一通（一

紙）／辰（明治元年）六月二六日／一五・二×二七・二／楮紙／御兵具所↓御物書所一 式拾挺 木村源右衛門：相違無御座候以上／柱題「覚」、元は切継紙／174

1347-20 木滑政愿・中里盛直宛 古藤政徳・中条政恒書状（秋田藩、新庄との藩境に陣営構築、至急人数および弾薬・兵糧を遣わされたくし）／一通（六紙）／（明治元年）七月七日／一六・五×二六三・九／楮紙／伝之丞・与七郎↓要人様・丹下様／御飛札呈上仕候：乱筆御免奉希候／端裏朱書「戊辰七月上」／元は切継紙、端裏書解読不可、『米沢藩戊辰文書』所収の「五五 上与七郎等書翰 木滑政愿等宛」は前日のもの／174

1347-21 宮丸宛 色部久長書状（最上方面は懸念、その他は恐れるに足らず、官軍は金銭なく、無銭飲食、士民とも金銭無きものを「太政官」と唱える）／一通（五紙）／（明治元年）七月一日／一四・七×一七六・四／楮紙／長門↓宮丸殿／七月五日付之御書面：草々申入候以上／端裏朱書「戊辰七月」／元は切継紙、文中の当港は新潟／174

1347-22 大滝忠恕・中里盛直宛 木崎定之助書状（江戸のことは小生に委任下さるよう会津軍局と談合、さらに多才の士両三名、江戸に派遣願う）／一通（三紙）／（明治元年）七月一日／一五・六×七八・三／楮紙／木崎定之助↓大滝新蔵様・中里丹下様／一簡肅呈仕候：流涕二不絶誠、恐々々々／巻封に「米沢表御政事局二而大滝新蔵様 中里丹下様 従武府 木崎定之助」あり、〇七月十五日付とあり、元は切継紙／174

1347-23 斉藤篤信宛 大滝甚兵衛書状（罪に陥りし山田近道詮議のところ格別の訳合いも見えず、総督も用捨然るべきとの意向他）／一通（三紙）／（明治元年）七月一日／一五・三×七四・一／楮紙／田井本陣カ 大滝甚兵衛↓枋尾御本陣 斉藤主計様／此間者不得拜顔候：如此御坐候以上／巻封に「枋尾御本陣 斉藤主計様 要用御直披 田井本陣カ 大滝甚兵衛」とあり、甘糟継成「北征日記」六月四日条に記述あり、差出宛名は巻封墨書より、元は切継紙／174

1347-24 下関本陣宛 金谷村陣屋書状（佐藤市之允、会津藩雜賀孫六郎ら、各国布告書等携え新潟へ入港の予定、宮島誠一郎は横浜から出帆、京都へ潜入の策他）／一通（八紙）／（明治元年七月下旬カ）／一五・一×一〇五・六／楮紙／金谷村陣屋↓下関村御本陣／七月廿四日頃横浜出帆：一 三百二十人 柏倉勢／巻封に「下関村御本陣 大急御用 金谷村 御陣屋」とあり、元は切継紙／174

1347-25 渡辺三左衛門宛 小田定右衛門書状（七月二五日、官軍太夫浜へ上陸、村上藩官軍方に転向、見附より湯川桃川往来嚴重御用心、この段、米沢侯御繰出方へ御注下されたくし）／一通（二紙）／（明治元年）七月二九日／一五・二×七〇・四／楮紙／小田定右衛門↓渡辺三左衛門様 御取次中／大急飛札啓上仕候：右申上度如斯御座候

謹言／元は切継紙、渡辺は下関村の豪農／174

1347-26 書状（加治へ出張の者がもたらした官軍方陣營の様子、赤谷口の戦況等に関する風聞、報知）／一通（四紙）／（明治元年八月二日カ）／一四・四×一三・二／楮紙／一新発田新飯田御内渡：風聞如此御座候以上／元は切継紙／174

1347-27 書状（七月一日、弘前城下旅宿へ弘前藩佐藤英馬・梶文左衛門到来、弘前藩、やむを得ず同盟を離脱、官軍へ合体の旨を告げる）／一通（一紙）／（明治元年七月カ）／一五・四×五〇・六／楮紙／今般奥羽御盟約：内意申合候様二相聞／元は切紙／柱題「辰之七月十一日弘前城下旅宿江御当藩佐藤英馬：演説之趣書取」174

1347-28 飯田履次宛 金子兵八・落合龍次郎書状（塩谷出張の高橋佐次右衛門より聞繕書到来につきご覧に入れる）／一通（一紙）／（明治元年）八月二日／一六・〇×三六・二／楮紙／金子兵八・落合龍次郎↓飯田与惣右衛門様／一筆啓上仕候：此段申上候以上／元は切紙／174

1347-29 遠藤長左衛門宛 会津藩士本多卯兵衛書状（官軍三〇〇人程昨夜四ツ時中条へ着と柳沢光邦より注進あり、官軍浜手へ三〇〇人繰り出す、火急出立の節は御注進申し上ぐ）／一通（二紙）／（明治元年）八月九日／一六・四×六一・六／楮紙／会津本多卯兵衛↓遠藤長左衛門様／火急以早打御意候：奉言上候頓首／巻封に「米沢様御内 遠藤長左衛門様 急用 持倉 本多卯兵衛」とあり、元は切継紙／174

1347-30 会津藩士本多卯兵衛書状（七月二五日から越後各地の戦況報告、新潟攻防戦、長岡落城他）／一通（三紙）／（明治元年八月カ）／一四・七×七四・九／楮紙／会津軍事探索方 本田右兵衛／賊勢 六艘二千四百人：鉄砲二而打殺さる／元は切継紙、宛先不明だが米沢藩の者、前出遠藤長左衛門カ／174

1347-31 軍政府宛 梅津直人書状（早々関の御人数ならびに沼郷の御固人数お繰り出し下されたし）／一通（一紙）／（明治元年）八月九日／一三・七×三二・四／楮紙／梅津直人↓軍政府／只今百人程黒門カ：高をはらせ大さハキ／元は切紙／174

1347-32 書状（仁科越中家来持参の会津藩軍事奉行萱野右兵衛よりの書状の聞書、米沢藩に関村口より御進撃下されたしとのこと、越後戦況）／一通（三紙）／（明治元年八月）／一五・七×九七・九／楮紙／仁科亡越中家来松沢勝弥：赤谷□□候様奉願候／元は切継紙／174

1347-33 龍善寺大蔵卿書状（下間民部卿の内命を蒙り、七月一七日白石城着、本山内命、輪王寺宮の回復の思召をもって竹中の書状を会津若松へ持参、檜原口から綱木への印鑑にては通行できず）／一通（一紙）／（明治元年）八月一日／二九・七×三七・一／楮紙／龍善寺大蔵卿／拙僧儀東本願寺重役下間民部卿：御問合御不審之儀／

元は豎紙、宛先は米沢藩の者、「寛大院義親戊辰日記」七月一七日条に「鈴木木右衛門小石川龍善寺大蔵卿入来小田井（蔵太）カ之書状持参云々」と記述あり／174

1347-34 小林和直宛 神保乙平書状（評議替りにて、板倉勝静は酒田に御出でなき旨早追をもって仰せ越され、スネルは酒田に参る他）／一通（一紙）／（明治元年）八月一日／一四・九×三七・五／楮紙／神保乙平↓小林五兵衛／又評議替二相成徳山様ハ：御含被成下度奉願候／元は切継紙巻封に「〇寒風沢カ 小林五兵衛 急き 神保乙平」とあり、小林は勘定頭、神保乙平は酒田詰／174

1347-35 米沢詰之間 新保朝綱書状（岩沼の仙台侯から頼みあり旗巻間道より打ち出すべし、寒風沢に外国船到着、ミニエー銃一五〇挺買ひ込みたく、柏倉等の飛地取締の対応案）／一通（一〇紙）／（明治元年）八月一日／一五・八×三三・七・〇／楮紙／左馬之助↓米沢御詰之間執事／三十四日付御用状昨十五日夕方：御推覧奉歎願候百拜／端裏書「八月十七日付白石詰立る」／元は切継紙／174

1347-36 軍令（総軍出陣は一番貝次第遅滞なく本日詰め揃うべし、軍監、軍目付の職務、小休の際の取り決め、怪我人・病人の取り扱い）／一通（四紙）／（明治元年）八月一日／一四・三×六三・五／楮紙／一 総軍出陣之儀者：右之通堅相守可申事／端裏書「戊辰□□」／柱題「軍陣心得」、元は切継紙／174

1347-37 斎藤篤信宛 小川忠弘・菅名但馬書状（今日大津英助隊は当表へ繰り込ませ、当面弱隊を小国川応援に残し、二小隊は繰り替へと治定、最早兵隊十分他）／一通（二紙）／（明治元年）八月一日／一四・九×四九・四／楮紙／源太郎・但馬↓主計様／拜誦然ハ今日大津英隊：如斯得御意候以上／元は切継紙／174

1347-38 甘粕継成・庄田秀延宛 大滝甚兵衛書状（御馬廻組小越・蓼沼二小隊、ハツ口へ繰り込み、与板組のうち引き揚げ大里峠へ差し向けと拜約だが小越ら不参他）／一通（二紙）／（明治元年）八月一日／一五・〇×四三・七／楮紙／大滝甚兵衛↓甘粕備後殿・庄田惣五郎殿／先月金丸ニおひて御評判致候ニ：得御意度如是御座候以上／元は切継紙／174

1347-39 紋蔵他二名宛 役所書状（固胸壁築き立てかたがた、別紙の通り大意に出張を達すること軍政府にて評判）／一通（二紙）／（明治元年）八月二日／一四・六×二九・八／楮紙／御役所↓紋蔵殿他二名／綱木駅カ猶又追懸：此段共可申上候以上／元は切継紙／174

1347-40 役所宛 大尺次左衛門・柳町助四郎書状（檜原番所より当駅丹蔵への申越には、猪苗代に賊（政府軍）参るとの噂につき至急御固めの衆中他庄屋へ伝達とのこと、聞繕のため二人檜原へ差し越す）／一通（二紙）／（明治元年）八月二日／一五・一×五一・〇／楮紙／大尺次左衛門・柳町助四郎↓御役所／以飛脚申上候：不取敢

申上候以上／元は切継紙／174

1347-41 軍政府宛 大滝甚兵衛書状(総督千坂高雅より改めて御達の書付一通お渡し、当地出張の向きへ洩れなく達すべき旨承知)／一通(一紙)／(明治元年)八月二三日／一四・九×二三・九／楮紙／大滝甚兵衛↓大里峠軍政府／此度捻督令改而御達二相成候書付：右御請申上候以上／包紙に「御用筋大里峠宿陣 庄田捻五郎様 八ツ口合 大滝甚兵衛 □合無御座候ハ、参謀軍監之御内御報知可申」とあり、元は切紙／174

1347-42-01 上杉勝道宛 行政官沙汰書写(上杉弾正家来ども、その藩に依頼し歎願書取り次ぎ、土佐藩をもって差し出すも、会津藩に党与、私に盟約を結び狂暴を逞しくす、よって官剥奪のうえ征伐仰せ出さる、原本は明治元年八月)／一通(二紙)／(明治元年) 戊辰八月／二七・八×八〇・三／楮紙／此度上杉弾正家来共其藩二依頼：此段可申聞御沙汰候事／元は豎紙、行政官からの沙汰書の写を米沢新田藩京都留守居の小森治郎右衛門が米沢藩に転送、1347-01-42-02の別紙／174

1347-42-02 役所詰合中宛 小森治郎右衛門書状(八月七日宮様御着、八月二三日太政官より右別紙御書付お渡しあり、写を差上げ、御国につき色々沙汰あり、姫様ご心配、飛鳥井家も如何なる沙汰あるや他)／一通(二紙)／(明治元年) 九月六日／一六・三×四七・六／楮紙／小森治郎右衛門↓御役所詰合中様／以手紙啓上仕候：御盛運益々御長久奉祈候以上／元は切継紙、1347-01-42-01の本紙／174

1347-43 三瀧政清・林辺金左衛門宛 山田勇七・蔵田熊之助書状(桑名藩兵隊間道より猪苗代方面へ罷り越すにつき探索のため晦日四ツ時頃、佐藤武十郎らを派遣、その探索の次第、熊倉辺の戦況他)／一通(四紙)／(明治元年) 九月二日／一五・〇×二二〇・三／楮紙／山田勇七・蔵田熊之助↓三瀧政清様・林辺金左衛門様／晦日四ツ時頃佐藤武十郎：是令委々御聞取可被下候／元は切継紙／174

1347-44 黒井繁邦宛 倉崎清典・三瀧政清書状(大塩駅に横山隊繰り込み、敵勢退散、明日は芋川大膳隊繰り出したきも、米は明朝の分もなし、早急御手配ありたし)／一通(三紙)／(明治元年) 九月三日／一五・三×七四・七／楮紙／七左衛門・清蔵↓小源太様／今日檜原駅迄三大隊繰込之内：御聞上可被下候以上／端裏書「御□十三□付」／端裏に「御□□二会津」とあり、元は切継紙／174

1347-45 大滝忠恕宛 高山政康書状(若殿様は庄内討伐のため御出馬、この表の人数御引き上げ、参謀局へもよ聞き繕い引き上げの方とす、仙台表も動揺他)／一通(四紙)／(明治元年) 九月八日／一五・六×九五・六／楮紙／与太郎↓宮内様／尊翰奉拝誦候：猶追而可申上与早卒頓首／元は切継紙／174

1347-46 毛利業広・竹俣久綱宛 新保朝綱書状(庄内藩使者三名同道にて海味御本陣着、一人は神保乙平同道、六十里越に向かい鎮静の手配、二人は市川同道、黒田参謀の跡を追い謝罪の都合だが、官軍六十里越に至らば戦争となるべく)／一通(四紙)／(明治元年) 九月二日／一四・七×一八・七／楮紙／左馬之助↓上総様・権平様／摘大夫昨夜九時海味御本陣へ着被致：早急被遣度奉願候以上／包紙の差出は新保朝綱と下條親英、包紙に「加地権平様 毛利上総様 新保左馬之助 下條外記「後筆」〇九月廿二日付也同日相達候御用状」とあり、元は切継紙／174

1347-47 毛利業広・島津教忠宛 山本寺勝強書状(会津開城の後につき飛脚を差し立て入日記の通り差し越すので、よろしく取り計らいありたし)／一通(二紙)／(明治元年) 九月五日／一五・〇×四八・二／楮紙／伊予↓上総様・利馬様／以別紙申入候：書状巻結ニシテ紙申入候／元は切継紙／174

1347-48 木滑政愿他二名宛 黒井繁邦書状(林辺金左衛門より別紙の通り申し越しにつき付札す、若殿様御出馬、御混雑の苦、松宮勇次郎一党は当駅逗留、棒返しにもならずお指願願う)／一通(二紙)／(明治元年) 九月七日／一四・六×三九・九／楮紙／小源太↓要人様他二名／唯今別紙塩川表林辺金左衛門方より：よろしく御評判被下候已上／巻封に「九月十七日夜 御三人様 小源太」とあり、元は切継紙／174

1347-49 おりよう宛 神保乙平書状(私二三日深更着、今朝越後へ降伏書持参の御使者兩人と出立、最上表若殿様御本陣へ兩人を同道のつもり、奥羽一同降参、嘆かわしく他)／一通(三紙)／(明治元年) 九月二日／一五・五×一〇四・五／楮紙／神保乙平↓おりよふとの／私者廿三日之深更参り：めて度早々頓首／巻封に「酒田旅宿 宿許江 神保乙平」とあり、元は切継紙／174

1347-50 木滑政愿・黒井繁邦宛 三瀧政清書状(別紙の通り若松より申し来る、米味噌草鞋の手配、昨二八日夕方当駅へ会津降伏人七六三人到着、兵隊腰物、面付目録添え上田学太輔より受領)／一通(三紙)／(明治元年) 九月二日／一四・九×九六・五／楮紙／清蔵↓要人様・小源太様／別紙之通若松相達申候：御休め可被下候以上／端裏書「九月廿九日付三瀧」／文中の「主水様」は上杉勝道、元は切継紙／174

1347-51 行政官達書写(改元の旨、御東幸多端につき弁事より仰せ出さる、秋田万之助の京都詰家来は藩邸に禁足、出入り差止のところ今度免ぜらる他)／一通(三紙)／(明治元年) 九月／一五・一×六一・一／楮紙／今般御即位御大礼被為済：株札願候向者武ッ割被免事／端裏書「九月廿八日相達□□大□大□大□」／達書は計四通、元は切継紙／174

1347-52 毛利業広他二名宛 山本寺勝強書状(会議所より御書付お渡しにつき、会津人仰方の儀、当所元締方へ申達滞りなきよう取り計らい、御役人を小荷駄方へ打込の姿にして差し出されたく)／一通(三紙)／(明治元年) 一〇月一日／一五・一×五

三・七／楮紙／伊予↓上総殿他二名／以別紙申入候：如斯御座候以上／端裏朱書「十月朔日」／元は切継紙／174

1347-53 木滑政憲・大滝忠恕宛 高山政康書状（仙台の降伏は安心、旧幕脱走兵異心の者あり、会津謝罪歎願書は渡辺へ差し出し、小生より差し出すようとのことにつき、調印の儀弁明し疑惑氷解他）／一通（四紙）／（明治元年）一〇月七日／一五・一×一三〇・六／楮紙／与太郎↓要人様・宮内様／拜啓仕候然者今日昼後：猶期後雁候以上／端裏書「十月七日付高山御使番書面」／元は切継紙、文中の斉藤參謀は斉藤篤信、「正親町殿」は奥羽追討白河口総督の正親町公董／174

1347-54 木滑政憲・大滝忠恕宛 小幡親徳書状（七日夕方到着、元縮量の下役差し越されたく、六日、四条隆調仙台入城、宮様も昨今頃御出立か、幕兵と仙台藩新規取り立ての額兵隊等が石巻辺に屯集、官蔵より三〇〇俵を掠奪他）／一通（三紙）／（明治元年）一〇月一日／一四・九×八二・八／楮紙／源吾↓要人様・宮内様／一簡拜呈然者五日退 城後：得貴意御沙汰奉願候以上／端裏書「十月十一日付仙台詰小幡□□」／元は切継紙、文中の「学兵隊」は額兵隊／174

1347-55 毛利業広他二名宛 山本寺勝強書状（会津在陣参謀方より別紙三通の通り御達しあり取り計らい、御沙汰のこと）／一通（二紙）／（明治元年）一〇月二日／一五・一×四二・〇／楮紙／山本寺伊予（黒印）↓毛利上総殿他二名／一筆令啓達候：如斯御座候恐々謹言／元は切継紙、黒印の印字は「勝強」／174

1347-56 米沢藩宛 達書（青木村その他病院取締のためその藩より六人指し出すこと）／一通（二紙）／（明治元年）一〇月二〇日／一四・六×一七・二／楮紙／青木村其外病院為取締：品々名前可被申出候事／元は切継紙／174

1347-57 米沢藩宛 達書（猪苗代の会津藩降伏人、病気につき青木村病院へ差送りのため警衛人数送るべきこと他）／一通（五紙）／（明治元年）一〇月二〇日／一四・五×一二・〇／楮紙／猪苗代降伏人五拾人：外二下役式人メ式拾四人／付札カに「昨日若松表分相達し候森行人之書面入御覽申候 小源太」とあり、「森行人」は森長義、元は切継紙／174

1347-58 黒井繁邦宛 森長義書状（参謀姉川栄蔵より青木村・小山村の病院取締仰せ付けらる、一揆は郷頭・肝煎差し替への趣意、猪苗代兵糧米は民政局議論思うようには参らず）／一通（五紙）／（明治元年）一〇月二〇日／一二・九×一六六・六／楮紙／盛之進↓小源太様／昨日御出立後猪苗代糧米：行届兼申二付奉歎願候以上／元は切継紙付札に「〇若松表分之御用状御廻し致候」とあり、「姉川参謀」は久留米藩姉川栄蔵／174

1347-59 黒井繁邦宛 森長義書状（一揆の根本は郷頭・肝煎らの積年の収斂を

憎み官軍討入に乗じて、差し替えたきまでの含み、真野寛助は今日民政局出頭、兵糧米不足し迷惑の筋歎願に及ぶ）／一通（五紙）／（明治元年）一〇月二一日／一四・六×一五三・四／楮紙／盛之進↓小源太様／今日御遣し之礼妨一件：右草々得御意候以上／1347-101-56と1347-101-57が書き写されている、元は切継紙／174

1347-60 会談所宛 黒井繁邦書状（村々騒ぎ立ち当駅へも乱入の風聞あるも無事にすむ、一揆に対しやむなく砲発し、死傷者四、五〇〇名あり、そのため怒りを激するやも知れず懸念）／一通（二紙）／（明治元年）一〇月二一日／一五・一×三四・七／楮紙／小源太↓会談所各様／昨日以飛脚申上候：追々可申上候已上／元は切継紙「三白」の「昨日申越候行人軍目周旋方出張之儀」は1347-101-58の猶々書にある「随而軍目鑑久右衛門早速参り候様御心得可被下候」という文言に対応／174

1347-61 会談所宛 黒井繁邦書状（尾形惟一、会津の降伏人河村善兵衛を若松より猪苗代へ護送中に河村より切りかけられ負傷、善兵衛は行方不明、新政府軍参謀姉川栄蔵にも探索を依頼さる）／一通（二紙）／（明治元年）一〇月二一日／一五・一×四三・四／楮紙／小源太↓会談所各様／真向二寸五分斗り：穿撃致し呉候様届置候事／元は切継紙1347-101-60-101の猶々書にある別紙に相当、「参謀姉川」は久留米藩姉川栄蔵、『米沢藩戊辰文書』No.一九七に関連記述あり／174

1347-62 会談所宛 黒井繁邦書状（森長義より唯今別紙の通り、兵隊護衛に疲れ、雪も積もり寒気につきお手当願う、会津降伏人の分として酒五〇〇〇人分お送り下されたし他）／一通（三紙）／（明治元年）一〇月二一日／一五・〇×六八・三／楮紙／小源太↓会談所各様／一筆致啓上候：要用而已得御意候謹言／端裏書「一」／元は切継紙／174

1347-63 三瀨政清宛 黒井繁邦書状（お目通りの上御評判と存じ大急ぎにて罷り越すも、余りにお急ぎにて大不都合、思うだけの半分も申し上げかね困却、御使番、軍目付のうち周旋方派遣を願う）／一通（三紙）／（明治元年）一〇月二一日／一五・〇×六一・五／楮紙／小源太↓清蔵様／私同心神原庄蔵江飛脚申付：御自重のミ奉祈候頓首／元は切継紙／174

1347-64 会談所宛 黒井繁邦書状（猪苗代兵糧米困惑のうち、真野寛助より承り困迫、対応を真野へ申し含め遣わされたし、村々騒動鎮静の様子なれど、肝煎差替につき揉合、軍目付周旋方の衆の到着を渴望他）／一通（二紙）／（明治元年）一〇月二四日／一四・六×五一・九／楮紙／小源太↓会談所各様／只今真野寛助若松表分：御披見可被下候以上／端裏書「十月廿四日黒井分之書状」／元は切継紙／174

1347-65 毛利業広他二名宛 山本寺勝強書状（会津藩降伏人河村善之助、尾形惟一を手負わせ一件につき、在陣参謀より書付をもって申達あり、右書付と去る一九日

依頼の御届書に対し御沙汰ありたし) / 一通(二紙) / (明治元年) 一〇月二三日 / 一四・一×四一・四 / 楮紙 / 山本寺伊予↓毛利上総殿他二名 / 一筆令啓達候 : 如斯御座候恐々謹言 / 元は切継紙 / 174

幕末維新期—明治元年—日記・手控

0629 「執政日誌」(明治元年正月六日、一〇月二二日、村松藩関係、特に大政奉還後の越後と奥羽諸藩の軍事関係) / 一冊(三〇丁) / 近代(年月日未詳) / 一四・四×三五・三 / 横帳 長帳綴 共紙原表紙・白地厚紙後補表紙 楮紙 / シ〇本 / 表紙は厚紙で補強、本文の冒頭に「明治元年戊辰年」とあることから後の写しか / 100

0640 大滝忠恕「仮日録」(明治元年七月二九日、一〇月二二日、新潟陥落時の状況、降伏交渉他) / 一冊(二四丁) / 明治元年 / 一五・〇×一八・八 / 横半帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙 / 藤原忠恕(花押) / カ〇本・一六 / 107

1279 「戊辰日記」(明治元年一〇月一六日、一二月二六日、米沢詰) / 一冊(一七丁) / 明治元年一〇月 / 一五・五×三九・五 / 横帳 長帳綴 素紙後補表紙 楮紙 / 役所役中川富義の筆、表題は後補の外題貼紙による / 170

1280 松木隊「越地日記」(明治元年五月五日、九月二日) / 一冊(三二丁) / 明治元年五月 / 一三・七×一八・八 / 横半帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙 / 松木隊 / エ〇本 林泉文庫 / 171

1284 探索書(会津藩探索方による探索の大略綴) / 一冊(二二丁) / (明治元年) / 一四・〇×三八・五 / 横帳 長帳綴 表紙無し 楮紙 / 林泉文庫 / 171

1318 触留帳(慶応三年一月、明治四年八月分、藩主名や太政官からの触が中心) / 一冊(二九丁) / 慶応三年一月 / 一五・〇×三六・七 / 横帳 長帳綴 表紙無し 楮紙 / ム〇本・一五五 / 旧蔵者は安田治部と推定 / 171

1319 長尾景直「触書訴文済口留」(触書・御用状・意見書等、四月二四日、九月二八日) / 一冊(七八丁) / 明治元年四月 / 二一・七×一五・五 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙 / 長尾 / フ〇本 林泉文庫 / 表紙に「米沢伊佐早謙蔵」の朱書あり / 171

1324-01 「京都言上」一(慶応三年九月、同四年四月七日、京都藩邸から国許への報告書二冊分) / 一冊(二〇五丁) / 慶応三年九月 / 二三・三×一五・二 / 縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙・縹地横刷毛目後補表紙 楮紙 / 真野寛助↓小島徳太郎 / 四三

四冊 / 一冊毎に国許に送付したもの / 171

1324-02 「言上」二(慶応四年四月八日、閏四月一〇日、京都藩邸から国許への報告書三冊分) / 一冊(六六丁) / 明治元年四月 / 二三・二×一五・四 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・縹地横刷毛目後補表紙 楮紙 / 四三ノ二 / 171

1324-03 「言上」三(慶応四年閏四月一〇日、五月三日、京都藩邸から国許への報告書二冊分) / 一冊(五四丁) / 明治元年閏四月 / 二三・二×一五・二 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・縹地横刷毛目後補表紙 楮紙 / キ〇本 / 四紙挟み込み / 171

1324-04 「言上」四(慶応四年五月二日、八月五日の帰国、京都藩邸からの国許への報告書二冊分) / 一冊(七四丁) / 明治元年五月 / 二三・二×一五・三 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・縹地横刷毛目後補表紙 楮紙 / 四三ノ四 / 墨付七丁 / 171

1328 「戊辰史料 原本」(1328の表紙) / 一冊 / 近代(年月日未詳) / 二三・〇×一六・三 / 縦帳 仮綴 素紙原表紙 楮紙 / ホ〇本 / 1328-01、03合綴 / 172

1328-01 留帳(戊辰戦争時、四月上旬、九月九日の軍令、略日記等) / 一冊(二六丁) / 明治元年 / 一五・〇×一七・〇 / 横半帳 長帳綴 表紙無し 楮紙 / 1328-01、03合綴 / 172

1328-02 小幡貞助覚書(隠密御用につき宮様動向他書取) / 一通(二紙) / 明治元年頃 / 一四・七×二四・一 / 切継紙 楮紙 / 一昨十八日 : 城下へ着不致候間(後欠) / 1328-01、03合綴 / 後欠 / 172

1328-03 小幡貞助覚書(宮様、謝罪周旋、仙台藩他動向) / 一冊(二二丁) / 明治元年頃 / 一五・五×二四・一 / 縦帳 紙縫綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 1328-01、03合綴 / 末尾に九月二日仙台詰め小幡源五郎より嫡子貞助へ渡した文書の写とあり / 172

1341 藤安行「越後雑簿」(明治元年五月二六日、六月七日の北越戦争の死傷者他) / 一冊(二三丁) / 明治元年六月 / 二二・〇×一六・〇 / 横半帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙 / 藤安行(花押) / エ〇本 林泉文庫 / 墨付八丁 / 174

1351 「外人屋応接ノ記」(四月七日の大滝忠恕等と仙台藩との交渉記録、七月二五日、八月一七日の記録) / 一冊(一六丁) / 明治元年 / 二四・五×一六・〇 / 縦帳 紙縫綴冊子装 表紙無し 楮紙 / タ〇本・二一ノ一 / 大滝忠恕の筆、封筒あり、封筒墨書「辰四月外人応接」 / 175

幕末維新期—明治元年—戊辰戦争時軍制

- 1326 「御上坂別冊」(明治元年正月一日、大坂に向け出兵時の供奉者、触書他) / 一冊(一九五丁) / 近代(年月日未詳) / 二七・五×一九・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地横刷毛目原表紙 楮紙 / 一 / 171
- 0849-01 米沢藩陣立書(一之手大井田義真隊と二之手中條明資隊の部隊編成) / 一冊(四丁) / (明治元年) / 二二・一×三二・六 / 横帳 長帳綴 表紙無し 楮紙 / 0849-01、02紙綴一括 / 124
- 0849-02 米沢藩陣立書(一之手大井田義真隊と二之手の中條明資隊の部隊編成) / 一冊(七丁) / (明治元年) / 一一・九×三二・六 / 横帳 長帳綴 表紙無し 楮紙 / 0849-01、02紙綴一括 / 0849-01とほぼ同内容 / 124
- 0849-03 米沢藩行列書(一之手大井田義真隊、二之手の中條明資隊、三之手五十騎組隊、隊士名も記載) / 一冊(二五丁) / (明治元年) / 三一・七×二二・二 / 横帳 長帳綴 表紙無し 楮紙 / 後欠、五十騎組は江口隊と推定 / 124
- 1274 立岩則親「越後御出勢押前」(越後出兵時の行軍につき) / 一冊(七丁) / 明治元年閏四月 / 一一・五×三三・〇 / 横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙 / 書記方頭取 立岩半三郎 / エ〇本 / 170
- 1275 書記方頭取「最上表御出勢押前」(最上方面出兵時の行軍につき) / 一冊(一三丁) / 明治元年閏四月 / 一一・三×三三・〇 / 横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙 / 書記方頭取 / モ〇本 / 墨付七丁 / 170
- 1276 「五軍押前行列」(諸軍行軍につき行列) / 一冊(七二丁) / 明治元年四月 / 二五・〇×一七・五 / 縦帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 170
- 1277 書記方頭取「軍政府雜錄」(明治元年四月四日～閏四月四日の軍政府日誌) / 一冊(二二丁) / 明治元年四月 / 一五・〇×三三・六 / 横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙 / 書記方頭取 / 墨付一五丁 / 170
- 1281 「諸口御固最上越後御出勢人数」(藩境の諸口と、閏四月の最上方面、五月の越後方面の出陣部隊編成) / 一冊(八丁) / 明治元年閏四月 / 一一・九×三二・六 / 横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 171
- 1282 初御蔵宛 桜孫左衛門「与板五之手戦士一統江被成下御手当米請取帳」(五月一日～一四日手当米受取帳) / 一冊(六丁) / 明治元年五月 / 一五・〇×一八・〇 / 横半帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙 / 桜孫左衛門↓初御蔵 / 林泉文庫 / 171
- 1283 軍令(会津猪苗代出張・板谷・福嶋詰・御国引き戻り人数書付) / 一通(四紙) / (明治元年) / 一五・四×九五・五 / 切継紙 楮紙 / 会津猪苗代出張：委細八相略申候 / 端裏書「御□□」 / 171
- 1289 軍令(陣中における法度) / 一通(四紙) / (明治元年) / 一五・〇×一一・九・四 / 切継紙 楮紙 / 一長官々々之差図ニ随ひ：右条々堅可相守者也 / 柱題「御法度」 / 171
- 1290 軍令(行軍に関する規則通達) / 一通(一紙) / (明治元年) / 三〇・三×三七・〇 / 折紙 楮紙 / 〇発行 / 前日大隊頭ヨリ明日何時某：手負昇十二人 / メ / 柱題「行軍規則」 / 171
- 1292 選士書付(大隊頭・軍監・隊頭・半隊頭・士卒選定の基準) / 一通(二紙) / (明治元年) / 一五・〇×三五・三 / 切継紙 楮紙 / 大隊頭 年齢二拘ハラス老人ト雖：第一 / 柱題「撰士之法」 / 171
- 1293 軍令(陣中における法度) / 一通(三紙) / (明治元年) / 一六・〇×七七・八 / 切継紙 楮紙 / 一無根浮言を申触らし：本陣江差出可受指揮事 / 柱題「増補之条」 / 171
- 1294 軍令(陣中における指揮の心得) / 一通(二紙) / (明治元年) / 一三・九×四三・六 / 切継紙 楮紙 / 一惣事之心得巨細と無く：被仰出候事 / 端裏書「指揮之心得」 / 171
- 1296 軍令(越後口進軍における法度) / 一通(三紙) / (明治元年) / 一四・七×六一・五 / 切継紙 楮紙 / 越後口賊徒益暴逆ヲ：被為処御軍法者也 / 柱題「御軍令」 / 171
- 1299 軍令(大口・品木進撃の手配) / 一通(三紙) / (明治元年) / 一三・八×八八・〇 / 切継紙 楮紙 / 七月廿二日進撃手配：不慮之変ニ応すへし / 甘粕継成の筆 / 171
- 1300 軍令(見附口・与板口・栃尾口・弥彦口進撃の手配) / 一通(一紙) / (明治元年) / 二七・八×三八・一 / 折紙 楮紙 / 見付口 一五十人位：一式百人余 会津勢 / 柱題「進撃手配」 / 171
- 1301 軍令(栃尾進撃における手配書付) / 一通(三紙) / (明治元年) / 一三・八×九七・五 / 切継紙 楮紙 / 一十九日昼前ヨリ栃尾ニ：龕灯ヲ互ニ丸ク如図振合スへ

シ／171

1302 軍令(本山口・西村通・切通口・長沢口諸軍分配)／一通(一紙)／(明治元年)／一六・〇×四一・五／切紙 楮紙／本山口 中条隊：高野広次／柱題「諸軍ノ分配」／171

1303 軍令(城山外諸隊分配)／一通(一紙)／(明治元年)／一五・五×五三・四／切紙 楮紙／城山 廿五人位 保地九郎右衛門隊：廿五人 千本木林吉隊／171

1304 軍令(中条野口の配置書付)／一通(二紙)／(明治元年)／一三・八×二三・八／切紙 楮紙／一物頭 佐藤八右衛門：総計 四百三拾八人／柱題「中条野口」／171

1305 軍令(加茂出張隊の宿陣配置)／一通(二紙)／(明治元年)／一六・三×四二・五／切紙 楮紙／廿二日 香坂与三郎隊：本陣見廻り可相勤事／柱題「加茂宿出先宿陣割合」／171

1307 軍令(栃尾進撃における手配書付)／一通(一紙)／(明治元年)／一三・六×三七・五／切紙 楮紙／井深隊式拾人 高野隊拾六人：メ百三拾人／柱題「栃尾進撃手配」／171

1308 軍令(高田・松代両藩へ派遣される周旋方人名)／一通(一紙)／(明治元年)／一四・八×一八・五／切紙 楮紙／周旋方 滝沢孫兵衛：高田松代両藩江御遣之分／171

1309 軍令(玉川詰・大里峠関門固人数配置)／一通(二紙)／(明治元年)／一五・〇×五七・八／切紙 楮紙／玉川詰 参謀飯田覚右衛門：同遠山栄次郎 71

1310 軍令(五月晦日の行軍配置)／一通(一紙)／(明治元年)／一六・一×二九・五／切紙 楮紙／晦日軍配 ○衝鋒隊 村々前路先鋒：一同 香坂隊／171

1312 軍令(病院・周旋方・兵隊等の人数割)／一通(一紙)／(明治元年)／一四・八×三八・六／切紙 楮紙／一病院三人被仰付候方：但シ弓張又ハ棒張とか／171

1313 軍令(月岡寺本陣・大崎本陣人数割)／一通(二紙)／(明治元年)／一六・〇×一八・六／切紙 楮紙／一見先 月岡寺本陣吉野尾坂：侍組精選隊 下秀丸／171

1314 軍令(急変時および敵地における心得達)／一通(二紙)／(明治元年)／一四・五×三二・五／切紙 楮紙／一急変之節ハ於本陣合図之証：指揮尤肝要之事／171

1315 軍令(進軍における参考、苦戦の節は死傷数多につき中奥野表へも病院差向けのこと他通達)／一通(一紙)／(明治元年)／一三・七×三八・五／切紙 楮紙／一鋼鉄精選隊弥以御仕組：早速御取札御制度之事／柱題「参考」／171

1316 軍令(陣中における合言葉通知)／一通(二紙)／(明治元年)／一三・四×三八・〇／切紙 楮紙／是迄之合詞合印賊方ニ而真似候模様：間違相改可申事／171

幕末維新期—明治元年—編纂物—御日帳

0630-001 「御日帳」(明治元年元旦〜二月晦日、人事、家督、賞与他)／一冊(二九三丁)／明治元年／二七・五×一八・五／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・白茶地茶横刷毛目後補表紙 楮紙／二／100-103

0630-002 「御日帳」(明治元年三月一日〜六月二九日)／一冊(三三〇丁)／明治元年／二七・五×一八・五／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・白茶地茶横刷毛目後補表紙 楮紙／ラベル剥離／100-103

0630-003 「御日帳」(明治元年七月一日〜九月二九日)／一冊(四六五丁)／明治元年／二七・七×一八・三／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・白茶地茶横刷毛目後補表紙 楮紙／二ノ三／100-103

0630-004 「御日帳」(明治元年一〇月一日〜二月二九日)／一冊(四三八丁)／明治元年／二七・八×一八・三／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・白茶地茶横刷毛目後補表紙 楮紙／二ノ四／100-103

0630-005 「御日帳」(明治二年元旦〜三月晦日)／一冊(六〇六丁)／明治二年／二七・〇×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 白茶地茶横刷毛目後補表紙 楮紙／三ノ二／100-103

0630-006 「御日帳」(明治二年四月一日〜六月晦日)／一冊(三二二丁)／明治二年／二七・八×一八・〇／豎帳 袋綴冊子装 白茶地茶横刷毛目後補表紙 楮紙／三ノ三／100-103

0630107 「御日帳」(明治二年七月一日～一〇月二九日)／一冊(四〇四丁)
 後補表紙 楮紙／三 四冊／1001103
 袋綴冊子装 共紙原表紙・白茶地茶横刷毛目

0630108 「御日帳」(明治二年一月一日～二月二九日)／一冊(四〇九丁)
 後補表紙 楮紙／三ノ四／1001103
 袋綴冊子装 共紙原表紙・白茶地茶横刷毛目

幕末維新期—明治元年—編纂物—東京御帳

0631101 「東京御帳」(明治元年一〇月七日～同二年正月晦日)／一冊(二九二丁)
 後補表紙 楮紙／四 五冊／1041106
 袋綴冊子装 共紙原表紙・白茶地茶横刷毛目

0631102 「東京御帳」(明治二年四月九日～五月二九日)／一冊(三八二丁)
 後補表紙 楮紙／四ノ二／1041106
 袋綴冊子装 共紙原表紙・白茶地茶横刷毛目

0631103 「東京御帳」(明治二年六月一日～七月二九日)／一冊(三五八丁)
 後補表紙 楮紙／四ノ三／1041106
 袋綴冊子装 共紙原表紙・白茶地茶横刷毛目

0631104 「東京御帳」(明治二年八月一日～一〇月二九日)／一冊(二八八丁)
 後補表紙 楮紙／四ノ四／1041106
 袋綴冊子装 白茶地茶横刷毛目

0631105 「東京御帳」(明治二年一月一日～二月晦日)／一冊(一九七丁)
 後補表紙 楮紙／四ノ五／1041106
 袋綴冊子装 白茶地茶横刷毛目

0631106 「東京御帳」(明治三年元旦～三月晦日)／一冊(二八〇丁)／明治三年／二七・三×一九・二／豎帳 袋綴冊子装 白茶地茶横刷毛目後補表紙 楮紙／五四冊／1041106

0631107 「御日帳」(明治三年三月一日～四月二九日、東京分)／一冊(二九八丁)／明治三年／二七・二×一九・〇／豎帳 袋綴冊子装 茶地横刷毛目後補表紙 楮紙／五ノ二／1041106

0631108 「東京御帳」(明治三年四月一日～六月二九日)／一冊(三六八丁)
 後補表紙 楮紙／五ノ三／挟込文書あり／1041106
 袋綴冊子装 共紙原表紙・白茶地茶横刷毛目

0631108101 太政官達写(明治六年五月八日、太政官から元武家華族に履歴提出を指示)／一通(二紙)／近代(年月日未詳)／一五・一×七二・五／切継紙 楮紙／元武家家族江 藩翰譜：出来次第順次可差出之事／端裏書「刻相達□□□□□□□□」／末尾に宛所として「府県宛」と記されるが筆写した人物が書き加えたものと推測、0631108に挟込、他一枚挟込あるが書き損じのもの／1041106

0631109 「東京御帳」(明治三年七月一日～九月晦日)／一冊(二九六丁)／明治三年／二七・一×一八・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地横刷毛目後補表紙 楮紙／五ノ四／1041106

0632 「日誌」(明治三年一〇月一日～閏一〇月二九日、東京分)／一冊(一八三丁)／明治三年一〇月一日／二七・三×一八・五／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／二〇本 林泉文庫／小口墨書や記載形式などから、東京御帳と一連の日誌と推定した／107

幕末維新期—明治元年—編纂物—機事叢録

1352101 奉行詰之間「東京機事叢録」(明治二年正月、東京から米沢宛の御用状類、行政官達書他)／一冊(五七丁)／明治二年一月／二一・九×一五・七／豎帳 袋綴冊子装 白茶地茶斜刷毛目原表紙 楮紙／奉行詰之間／詰之間／墨付四八丁、小口墨書に「六」とあり／175

1352102 奉行詰之間「東京機事叢録」(明治二年二月中旬まで、東京から米沢宛の御用状類、行政官達書、藩内外の談判他)／一冊(五二丁)／明治二年二月／二二・九×一五・七／豎帳 袋綴冊子装 白茶地茶斜刷毛目原表紙 楮紙／奉行詰之間／詰之間／小口墨書に「七」とあり／175

1352103 奉行詰之間「東京機事叢録」(明治二年二月中旬、東京から米沢宛の御用状類、小倉直吉・宮島誠一郎他の意見書、行政官達書他)／一冊(四九丁)／明治二年／二三・〇×一五・七／豎帳 袋綴冊子装 白茶地茶斜刷毛目原表紙 楮紙／奉行詰之間／詰之間／小口墨書に「八」とあり／175

1352104 奉行詰之間「東京機事叢録」(明治二年三月、東京から米沢宛の御用状類、行政官達書他)／一冊(五四丁)／明治二年三月／二三・〇×一五・七／豎帳

袋綴冊子装 白茶地茶斜刷毛目原表紙 楮紙／奉行詰之間／詰之間／小口墨書に「九」とあり／175

1352-105 奉行詰之間「東京機事叢録」(明治二年三月二十九日、四月一日、東京から米沢宛の御用状類、行政官達書他)／一冊(五五丁)／明治二年／二二・九×一五・七／豎帳 袋綴冊子装 白茶地茶斜刷毛目原表紙 楮紙／奉行詰之間／詰之間／小口墨書に「十」とあり／175

1352-106 奉行詰之間「東京機事叢録」(明治二年四月一日、五月一日、東京から米沢宛の御用状類、昌平学入寮願書他)／一冊(五六丁)／明治二年／二三・〇×一五・七／豎帳 袋綴冊子装 白茶地茶斜刷毛目原表紙 楮紙／奉行詰之間／詰之間／175

1352-107 奉行詰之間「東京機事叢録」(明治二年七月三日、七日、東京から米沢宛の御用状類、行政官達書他)／一冊(五六丁)／明治二年／二二・九×一五・七／豎帳 袋綴冊子装 白茶地茶斜刷毛目原表紙 楮紙／奉行詰之間／詰之間／墨付五三丁／175

1352-108 奉行詰之間「東京機事叢録」(明治二年七月一日、二五日、東京から米沢宛の御用状類、行政官達書他)／一冊(五四丁)／明治二年／二二・九×一五・七／豎帳 袋綴冊子装 白茶地茶斜刷毛目原表紙 楮紙／奉行詰之間／詰之間／175

1352-109 奉行詰之間「東京機事叢録」(明治二年八月二三日、九月、東京から米沢宛の御用状類、静岡藩職制と租税高)／一冊(四七丁)／明治二年／二二・八×一五・七／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／奉行詰之間／詰之間／175

1352-110 奉行詰之間「東京拾遺機事叢録」(明治二年二月、六月、米沢痛情、酒田詰大井田修平書状、外国交際他御下問につき上杉茂憲答書他)／一冊(六三丁)／明治二年／二二・八×一五・七／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／奉行詰之間／詰之間／175

1352-111 奉行詰之間「会津機事叢録」(明治元年九月、十一月九日、会津方面出張の藩士から米沢宛の御用状類、会津藩土書状類)／一冊(七七丁)／明治元年／二三・〇×一五・七／豎帳 袋綴冊子装 白茶地茶斜刷毛目原表紙 楮紙／奉行詰之間／詰之間／小口墨書に「一ノ冊」とあり／175

1352-112 奉行詰之間「会津機事叢録」(明治元年一〇月、十一月、会津方面出張の藩士から米沢宛の御用状類)／一冊(六一丁)／明治元年／二二・七×一五・五／豎帳 袋綴冊子装 白茶地茶斜刷毛目原表紙 楮紙／奉行詰之間／詰之間／小口墨書に「二ノ冊」とあり／175

1352-113 奉行詰之間「会津機事叢録」(明治元年一月八日、同二年二月一七日、会津方面の藩士から米沢宛の御用状類、若松表聞書他)／一冊(六九丁)／明治元年／二三・〇×一五・五／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／奉行詰之間／詰之間／小口墨書に「三」とあり、墨付六一丁／175

1352-114 奉行詰之間「会津機事叢録」(明治元年一月二八日、二月二六日、会津方面出張の藩士から米沢宛の御用状類、若松表聞書他)／一冊(六八丁)／明治元年／二二・九×一五・五／豎帳 袋綴冊子装 白茶地茶斜刷毛目原表紙 楮紙／奉行詰之間／詰之間／175

1352-115 奉行詰之間「越後機事叢録」(明治二年二月一日、五月二日、越後方面出張の藩士から米沢宛の御用状類、越後府権判事坂田潔建白他)／一冊(六一丁)／明治二年／二二・八×一五・六／豎帳 袋綴冊子装 白茶地茶斜刷毛目原表紙 楮紙／奉行詰之間／詰之間／175

1352-116 奉行詰之間「越後機事叢録」(明治元年一〇月六日、同二年正月一七日、越後方面出張の藩士から米沢宛の御用状類、村松一件他)／一冊(五六丁)／明治元年／二二・九×一五・五／豎帳 袋綴冊子装 白茶地茶斜刷毛目原表紙 楮紙／奉行詰之間／詰之間／175

1352-117 奉行詰之間「越後機事叢録」(明治元年八月、十一月三日、越後方面での降伏申出から新発田にて謝罪一件、越後方面から米沢宛の御用状類他)／一冊(五九丁)／明治元年／二二・八×一五・七／豎帳 袋綴冊子装 白茶地茶斜刷毛目原表紙 楮紙／奉行詰之間／詰之間／175

1352-118 奉行詰之間「機事叢録」(長州藩職制、学校分課、封建郡県論、長薩肥土四藩上表)／一冊(四五丁)／明治二年頃／二二・九×一五・七／豎帳 袋綴冊子装 白茶地茶斜刷毛目原表紙 楮紙／奉行詰之間／詰之間／墨付三八丁、学校分課は明治二年に頼又次郎から借り宮島吉久が書写した旨の記載あり／175

1352-119 奉行詰之間「機事叢録」(土佐藩による降伏歎願の手続き、庄内藩降伏交渉、福島方面における仙台藩暴政に対する坂蘭溪対応)／一冊(四三丁)／明治元年／二二・八×一五・七／豎帳 袋綴冊子装 白茶地茶斜刷毛目原表紙 楮紙／奉行詰之間／詰之間／墨付三八丁／175

1352-120 奉行詰之間「機事叢録」(明治元年一月一日、同二年三月九日、最上、庄内、秋田方面の聞書、盛岡藩への使者他)／一冊(四七丁)／明治元年／二三・〇×一五・七／豎帳 袋綴冊子装 白茶地茶斜刷毛目原表紙 楮紙／奉行詰之間／詰之間／墨付五四丁／175

1352-21 奉行詰之間「庄内機事叢録」(明治元年閏四月二八日、八月二四日、最上・新庄・庄内から米沢宛御用状、秋田藩使節帰国時の書状、山形藩より来状、漆山陣屋一件他)／一冊(七八丁)／明治元年／三二・八×一五・六／豎帳 袋綴冊子装 白茶地茶斜刷毛目原表紙 楮紙／奉行詰之間／墨付七五丁／175

1352-22 奉行詰之間「庄内機事叢録」(明治元年八月三日、一〇月一〇日、南部藩より来状、庄内攻めの軍令、最上・庄内方面から米沢宛の御用状他)／一冊(六八丁)／明治元年／三二・九×一五・七／豎帳 袋綴冊子装 白茶地茶斜刷毛目原表紙 楮紙／奉行詰之間／詰之間／175

1352-23 奉行詰之間「機事叢録」(明治元年三月、一〇月、太政官宛 上杉斉憲建白書、会津藩寛典のため奥羽列藩嘆願書類)／一冊(四二丁)／明治元年／三二・九×一五・五／豎帳 袋綴冊子装 白茶地茶斜刷毛目原表紙 楮紙／奉行詰之間／詰之間／175

1352-24 奉行詰之間「東京機事叢録」(明治二年六月四日、二七日、東京から米沢宛の御用状、南部邸にて堀尾重興聞書他)／一冊(五六丁)／明治二年／三二・八×一五・七／豎帳 袋綴冊子装 白茶地茶斜刷毛目原表紙 楮紙／奉行詰之間／詰之間／175

幕末維新期—明治元年—編纂物—戊辰軍記

1338-01 「戊辰軍記 首巻」(序目録凡例紀原)／一冊(二二丁)／近代(年月日未詳)／二六・三×一八・一／豎帳 袋綴冊子装 山吹地原表紙 楮紙／鳥有山人の識言あり／174

1338-02 「戊辰軍記 一」(徳川討伐の兵三道より下る事、鎮撫使仙台へ下向の事他二節)／一冊(四七丁)／近代(年月日未詳)／二六・三×一八・一／豎帳 袋綴冊子装 山吹地原表紙 楮紙／174

1338-03 「戊辰軍記 二」(越後表へ初めて出兵の事他四節)／一冊(四〇丁)／近代(年月日未詳)／二六・四×一八・一／豎帳 袋綴冊子装 山吹地原表紙 楮紙／174

1338-04 「戊辰軍記 三」(大面山切通山合戦の事他五節)／一冊(四四丁)／近代(年月日未詳)／二六・四×一八・一／豎帳 袋綴冊子装 山吹地原表紙 楮紙／174

1338-05 「戊辰軍記 四」(敵軍見附駅より引退の事他三節)／一冊(四三丁)／近代(年月日未詳)／二六・三×一八・一／豎帳 袋綴冊子装 山吹地原表紙 楮紙／174

1338-06 「戊辰軍記 五」(大口村大合戦の事他三節)／一冊(三八丁)／近代(年月日未詳)／二六・四×一八・一／豎帳 袋綴冊子装 山吹地原表紙 楮紙／174

1338-07 「戊辰軍記 六」(福島村敵陣へ進撃の事他三節)／一冊(三九丁)／近代(年月日未詳)／二六・四×一八・一／豎帳 袋綴冊子装 山吹地原表紙 楮紙／174

1338-08 「戊辰軍記 七」(荷頃土ヶ谷合戦の事他三節)／一冊(三八丁)／近代(年月日未詳)／二六・四×一八・一／豎帳 袋綴冊子装 山吹地原表紙 楮紙／174

1338-09 「戊辰軍記 八」(新庄背盟、味方敗軍の事他三節)／一冊(四四丁)／近代(年月日未詳)／二六・四×一八・一／豎帳 袋綴冊子装 山吹地原表紙 楮紙／174

1338-10 「戊辰軍記 九」(長岡回復を議する事他五節)／一冊(五一丁)／近代(年月日未詳)／二六・四×一八・一／豎帳 袋綴冊子装 山吹地原表紙 楮紙／174

1338-11 「戊辰軍記 十」(味方敗軍、総勢引き上げの事他三節)／一冊(四五丁)／近代(年月日未詳)／二六・四×一八・一／豎帳 袋綴冊子装 山吹地原表紙 楮紙／174

1338-12 「戊辰軍記 十一」(沼村において和議、世子新発田へ御出張の事他二節)／一冊(二六丁)／近代(年月日未詳)／二六・四×一八・一／豎帳 袋綴冊子装 山吹地原表紙 楮紙／174

1338-13 「戊辰軍記 十二」(会津勢敗軍、若松城攻の事他三節)／一冊(三八丁)／近代(年月日未詳)／二七・五×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 山吹地原表紙 楮紙／174

1338-14 「戊辰軍記 十三」(若松開城降伏の事他三節)／一冊(三六丁)／近代(年月日未詳)／二六・四×一八・一／豎帳 袋綴冊子装 山吹地原表紙 楮紙／174

1353-01 「福島方面附録」(明治元年八月一日〜九月一日の米沢藩・同盟諸藩降伏の経緯についての編纂記録)／一冊(二二丁)／近代(年月日未詳)／一五・三×三七・〇／横帳 長帳綴 表紙無し 楮紙／二一ノ四／1353-01〜04封紙一括、1353-01〜02紙綴で括付／大滝忠恕の筆、斉藤篤信・窪田茂遂等の校閲あり、1353は戊辰軍記編纂関連カ／176

1353-02 大滝忠恕記録草稿(明治元年正月・四月の戊辰戦争編纂記録の草稿)／一冊(六丁)／近代(年月日未詳)／二一・五×一六・五／横帳 仮綴 表紙無し 楮紙／1353-01〜04封紙一括、1353-01〜02紙綴で括付／墨付二丁／176

1353-03 戊辰戦争編纂記録草稿(明治元年九月下旬〜十一月)／一通(五紙)／近代(年月日未詳)／一四・五×二四・〇／切綴紙 楮紙／(前欠)ヲ徹シ分遣庄内：米沢藩隊長中／1353-01〜04封紙一括／前欠／176

1353-04 甘粕継成等記録草稿(明治元年九月頃の戊辰戦争編纂記録についての校閲・補足や本文の意見等)／判断不能／近代(年月日未詳)／法量計測不可／切紙 楮紙／1353-01〜04封紙一括／糊剥がれ、紙片多数のため法量は計測不可、1353-01の補足カ、甘粕継成・大滝忠恕等の筆／176

1354 「白川新庄軍記稿」(戊辰戦争での白川口合戦、半蔵金山合戦、新庄背盟味方窮厄の事他)／一冊(四二丁)／近代(年月日未詳)／二五・五×一八・〇／縦帳 袋綴冊子装 紺地原表紙 楮紙／シ〇本・白川新庄 林泉文庫／朱字で追記多数、一部は大滝忠恕による朱筆、1338「戊辰軍記」の稿本／176

幕末維新期—明治元年—編纂物—御維新以降原稿

1363-01 「御維新以降原稿 一」(明治元年正月一〇日〜二月二八日、主に新政府への上申文書)／一冊(四〇丁)／近代(年月日未詳)／二四・三×一六・三／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・黄地後補表紙 楮紙／二二 林泉文庫／「御維新以降原稿」は政府・米沢藩の間での達・願書・届など公的書類の写／176

1363-02 「御維新以降原稿 二」(明治二年正月九日〜六月二九日)／一冊(三四丁)／近代(年月日未詳)／二四・三×一六・一／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・黄地後補表紙 楮紙／二二 林泉文庫／176

1363-03 「御維新以降原稿 三」(明治二年七月二日〜二月晦日)／一冊(五五丁)／近代(年月日未詳)／二四・三×一六・二／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・

黄地後補表紙 楮紙／二二 林泉文庫／176

1363-04 「御維新以降原稿 四」(明治三年元旦〜六月二七日)／一冊(五二丁)／近代(年月日未詳)／二四・四×一六・二／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・黄地後補表紙 楮紙／二二 林泉文庫／176

1363-05 「御維新以降原稿 五」(明治三年七月三日〜九月二八日)／一冊(三四丁)／近代(年月日未詳)／二四・四×一六・二／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・黄地後補表紙 楮紙／二二 林泉文庫／176

1363-06 「御維新以降原稿 六」(明治三年一〇月二日〜閏一〇月二九日)／一冊(二八丁)／近代(年月日未詳)／二四・四×一六・二／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・黄地後補表紙 楮紙／二二 林泉文庫／176

1363-07 「御維新以降原稿 七」(明治三年一月四日〜同四年一〇月七日、米沢藩名での文書)／一冊(二七丁)／近代(年月日未詳)／二四・四×一六・二／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・黄地後補表紙 楮紙／二二 林泉文庫／176

幕末維新期—明治元年—編纂物—戊辰事情等

1331-01 「解兵以来事情」(明治元年九月一日〜二六日)／一冊(四六丁)／近代(年月日未詳)／二三・九×一六・〇／縦帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／表紙は二重、野紙使用、1331は二冊とも同内容／172

1331-02 「解兵以来事情」(明治元年九月一日〜二六日)／一冊(四五丁)／近代(年月日未詳)／二七・四×一九・五／縦帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／表紙は二重、野紙使用／172

1332 「戊辰事情起元」(慶応三年一〇月一五日〜明治元年八月二日)／一冊(一〇五丁)／近代(年月日未詳)／二七・〇×一九・〇／縦帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／野紙使用／172

1333 「戊辰事情」(慶応三年一〇月二五日〜明治元年一月一三日)／一冊(四七丁)／近代(年月日未詳)／二六・九×一九・八／縦帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／野紙使用／172

1339-01 「元米沢藩戊辰事情概旨 三」(越後出兵の事状、越後戦線の戦況他)／一冊(二六丁)／近代(年月日未詳)／二四・六×一六・二／縦帳 袋綴冊子装 共

紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／巻一、二欠、途中に主計日として、斎藤篤信に関する朱字追記、別冊参照の記載あり、別冊は1343／174

1339-02 「元米沢藩戊辰事情概旨 四」(福島、会津、庄内、北越各方面での降伏交渉)／一冊(四五丁)／近代(年月日未詳)／二四・七×一六・三／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／1331と同内容、斎藤篤信に関する朱字追記あり／174

1342 「北越后州出陣記 岩手県各藩主系譜之大略」(北越戦争における撤兵二番隊の行動、戊辰戦争時の盛岡藩に関する編纂記録)／一冊(八四丁)／近代(年月日未詳)／二三・八×一六・三／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地横刷毛目後補表紙 楮紙／ホ〇本 林泉文庫／筆跡が異なる二点の写本を合綴、一冊目に「渡辺儀十郎君所蔵」とあり、「北越后州出陣記巻之一」は同内容二冊あり／174

1343 「越地事情補遺」(六月四日～七月二九日の北越戦争の戦況)／一冊(五丁)／近代(年月日未詳)／二四・七×一七・〇／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／表紙に鉛筆書で「斎藤篤信筆」とあり、1339-01の別冊に相当／174

1350 「奥羽御征討戦地事実」(溝口直正家記の写、戊辰戦争時の新政府軍としての新発田藩の動向)／一冊(六一丁)／近代(年月日未詳)／二三・二×一五・二／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・縹地後補表紙 楮紙／ア〇本・一七七 林泉文庫／後半は同盟軍としての動向を一部含む、明治六年以降の成立、野線紙に記載、／175

幕末維新期—明治元年—編纂物—上杉史料

0626-01 「上杉史料 堀尾重興御上洛日記 一」(慶応元年十一月一日～同二年二月五日の日記写)／一冊(九四丁)／近代(年月日未詳)／二七・〇×一八・二／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／二一／「本郷 上杉氏」の野紙を使用／100

0626-02 「上杉史料 堀尾重興御上洛日記 二」(慶応二年元旦～六月一日の日記写)／一冊(四三丁)／近代(年月日未詳)／二六・九×一八・三／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／二一／「本郷 上杉氏」の野紙を使用／100

0626-03 「上杉史料 堀尾重興御上洛日記 三」(慶応二年二月七日～四月五日の日記写)／一冊(四七丁)／近代(年月日未詳)／二六・八×一八・三／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／二一／「本郷 上杉氏」の野紙を使用／100

0626-04 「上杉史料 堀尾重興御上洛日記 四」(慶応二年四月七日～八月晦日の日記写)／一冊(八六丁)／近代(年月日未詳)／二六・九×一八・三／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／二一／「本郷 上杉氏」の野紙を使用／100

0626-05 「上杉史料 堀尾重興御上洛日記 甲印一」(慶応元年二月二〇日～慶応二年一月晦日の日記写)／一冊(九四丁)／近代(年月日未詳)／二六・九×一八・二／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／二一 伯爵上杉家／内題「若殿様御上洛表盤之控 一」、付箋多数、「本郷 上杉氏」の野紙を使用／100

0626-06 「上杉史料 堀尾重興御上洛日記 甲印二」(慶応二年二月一日～三月晦日の日記写)／一冊(六三丁)／近代(年月日未詳)／二六・九×一八・二／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／二一 伯爵上杉家／内題「若殿様御上洛二付表盤之控 二」、付箋多数、「本郷 上杉氏」の野紙を使用／100

0626-07 「上杉史料 堀尾重興御上洛日記 甲印三」(慶応二年四月一日～五月二九日の日記写)／一冊(五四丁)／近代(年月日未詳)／二六・八×一八・二／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／二一 伯爵上杉家／内題「若殿様御上洛表盤之控 卷之三」、付箋多数、「本郷 上杉氏」の野紙を使用／100

0626-08 「上杉史料 堀尾重興御上洛日記 甲印四」(慶応二年六月一日～九月二九日の日記写)／一冊(七四丁)／近代(年月日未詳)／二六・九×一八・二／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／二一／内題「若殿様御上洛表盤之控 卷之四」、付箋多数、「本郷 上杉氏」の野紙を使用／100

0626-09 「上杉史料」(明治元年四月一日～五月二五日の甘粕継成日記の写)／一冊(四八丁)／近代(年月日未詳)／二六・九×一八・二／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／二一／「本郷 上杉氏」の野紙を使用／100

0626-10 「上杉史料」(明治元年〇月以降の御用状留、「明治三年九月御家事仮御日帳」写)／一冊(五二丁)／近代(年月日未詳)／二六・九×一八・二／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／二一・十五冊／「本郷 上杉氏」の野紙を使用、ラベルの「十五冊」は「二一」ラベルに手書きで加筆／100

0626-11 「上杉史料 天保十四年記 明治二年記 同三年記」(天保十四年の上杉齊憲正室貞姫の御袖留御祝式、明治二年正月～四月の日記、明治二～三年の写)／一冊(九四丁)／近代(年月日未詳)／二六・九×一八・二／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／二一／「伊佐早幸吉納」の朱文字あり、「本郷 上杉氏」の野紙を使用／100

0626-12 「上杉史料」(東京及び米沢の上杉邸に関する上杉齊憲の動向を記し

た日誌の抜書、明治二年元旦、二月三日／一冊(六〇丁)／近代(年月日未詳)／二六・九×一八・二／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／二一／一部焼け焦げ、内題「御尚邸日誌抜書」、「本郷 上杉氏」の罫紙を使用／100

幕末維新期—明治元年—編纂物—戊辰史料

1327-01 「戊辰史料」(戊辰戦争顛末、慶応四年閏四月一八日～一月)／一冊(三七丁)／近代(年月日未詳)／二三・六×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／一〇二／四／172

1327-02 「戊辰史料」(明治元年七月御用留、五月の竹俣久綱の奥羽陣押日記、越後見附金井誠一郎蔵本の御宿陣中諸事帳の写)／一冊(六九丁)／近代(年月日未詳)／二三・六×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／ホ〇本／172

1327-03 「戊辰史料」(1327-03、06は越後見附金井誠一郎蔵本の御宿陣中諸事帳、明治元年五月三日～六月二日)／一冊(五八丁)／近代(年月日未詳)／二三・六×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 素紙後補表紙 楮紙／ホ〇本／172

1327-04 「戊辰史料」(御宿陣中諸事帳写、明治元年六月二日～七月四日)／一冊(六二丁)／近代(年月日未詳)／二三・六×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 素紙後補表紙 楮紙／一〇二／2／172

1327-05 「戊辰史料」(御宿陣中諸事帳写、明治元年七月五日～二九日)／一冊(四九丁)／近代(年月日未詳)／二三・五×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 素紙後補表紙 楮紙／ホ〇本／172

1327-06 「戊辰史料」(御宿陣中諸事帳写、明治元年七月二九日～一〇月一日)／一冊(七九丁)／近代(年月日未詳)／二三・六×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 素紙後補表紙 楮紙／一〇二／172

幕末維新期—明治二年～四年—明治二年

0023 立岩則親手控帳(屋代郷を除く藩領村高及び権大属准席以下の席次名簿と俵禄俵数)／一冊(六五丁)／明治二～三年頃／一四・六×一八・八／横半帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／立岩則親／林泉文庫／俵禄は三五俵と二〇俵／002

0027 尊台宛 小子書状(下長井郷御取上の御達、弾薬購入につき他)／一通(二紙)／(明治二年)正月八日／一五・二×八七・二／切継紙 楮紙／小子↓尊台／別啓得御意：申上候以上／端裏書「御直披物」／002

0028-01 大滝忠恕他三名宛 木滑政愿他二名書状写(土地変更の嘆願書は知藩事任命の後提出につき、それまで土地受取は猶予下された)／一通(二紙)／(明治二年)六月四日／一四・四×六九・〇／切継紙 楮紙／信太夫他二名↓宮内様他三名↓寸書拜呈御上地引渡：右要用のみ草々拜呈／端裏書「木滑書面之写」／0028-01、10紙綴一括／002

0028-02 民部官役所宛 宮島誠一郎書状写(領地の内四万石召上、佐竹・溝口両家へ郷村等引渡の旨畏み奉る)／一通(二紙)／明治二年六月四日／一四・四×五七・六／切継紙 楮紙／宮島誠一郎↓民部官御役所／昨年十二月中領地之内四万石：此段御請申上候已上／端裏書「御請書之写」／0028-01、10紙綴一括／002

0028-03 米沢三兄宛 江戸三弟書状(四万石上地引替、長沼良之輔尺力のこと、お持たせ御刀の所々献上、東京還幸、戊辰戦争の首謀者処分)／一通(三紙)／(明治二年)正月二日／一五・〇×一〇六・五／切継紙 楮紙／江戸三弟↓米三兄／拜啓各地上々様益御機嫌克：如此御座候以上／0028-01、10紙綴一括／002

0028-04 対談書(庄田秀苗他の削地繰替の周旋依頼に対し、肥前藩多久与兵衛より改革の実効を挙げた後、歎願しかるべしとの返答)／一通(三紙)／(明治二年)正月三日カ／一六・六×一四九・五／切継紙 楮紙／正月二日越甚五右衛門：有之候ハ、可申上候云々／0028-01、10紙綴一括／筆跡から作者は宮島誠一郎と推定、「東京日記 一」(早大宮島文書A三三二) 正月三日条参照／002

0028-05 大滝忠恕・黒井繁邦宛 神保乙平書状(酒田民政取締太田衛太郎の上地の件につき執り成し、東京の首尾上々、酒井家上地変更につき私見)／一通(四紙)／(明治二年)六月二七日／一六・三×一七七・三／切継紙 楮紙／神保乙平↓大滝新蔵様、黒井小源太様／一筆翰呈仕候：当用斗申上候頓首／端裏書「六月廿七日付酒田神保乙平書翰」／0028-01、10紙綴一括／002

0028-06 米沢役所宛 東京役所書状(上地繰替延引、版籍奉還建白至急御決着ありたし)／一通(三紙)／(明治二年)二月一日／一六・七×一三三・八／切継紙 楮紙／東京御役所↓米沢御役所／一筆令啓候：為其如此御座候恐惶謹言／端裏書「〇二月十九日」／0028-01、10紙綴一括／002

0028-07 宮島誠一郎宛 前島密書状(六本木邸の儀は御意に酬いる積り、なお評判の上お答え申し上ぐ)／一通(二紙)／(明治二年)二月七日／一五・五×七四・八／切継紙 楮紙／前島来助拜↓麻布御屋敷詰 宮島誠一郎様貴酬／今朝者失敬之至：

貴酬々々拜具／002810紙縫一括／002

0028108 米沢三人宛 東京詰三人書状（正月一四日～二〇日までの日記、上地繰替一件、五郎左衛門丹羽家へ引越しの件、首謀一件他）／一冊（三丁）／（明治二年）一月二〇日／二四・〇×一七・二／縦帳 紙縫綴冊子装 表紙無し 楮紙／東京詰三人↓米沢御三人様／002810110紙縫一括／二人の筆、一人は木滑政愿カ／002

0028109 民部官役所宛 小川忠弘書状写（四万石召上の地所受取のため酒田民政局より向役派遣につき弊藩に御達しなく対応伺い）／一通（二紙）／（明治二年）六月四日／一四・六×四三・八／切継紙 楮紙／御名内小川源太郎↓民部官御役所／昨年十二月中：此段奉御候以上／端裏書「御伺書 御付札之写」／002810110紙縫一括／佐竹、溝口に引渡すべき旨の回答貼紙あり／002

00281101 役所宛 中条書状（別紙の通り役所触の分相違すべし）／一通（二紙）／（明治二年）七月一日／一四・〇×三三・〇／切継紙 楮紙／中条↓役所別紙之通：可相違候事／2810110紙縫一括、002811010103封紙一通／002

0028110102 達書写（今般官位復旧上地振替につき勤王貫徹の事）／一通（三紙）／（明治二年）七月／一四・一×九〇・七／切継紙 楮紙／今般御官位：可被相違候事／2810110紙縫一括、002811010103封紙一通／封紙あり、封紙ウワ書「役所 中條」／002

0028110103 達書写（今般官位復旧上地振替につき勤王貫徹の事）／一通（二紙）／（明治二年）七月／一四・一×六九・〇／切継紙 楮紙／今般御官位：可被相違候事／2810110紙縫一括、002811010103封紙一通／10102と同文／002

0847 「軍政便覧」(部隊ごとの編成一覧表)／一鋪(二二紙)／(明治二年頃)／一〇・七×七・〇／縹地藤紋原表紙 斐紙／明治二年正月の軍制改革に対応／124

1108 大滝忠恕他二名宛 黒井繁邦書状（若松表より申し越しの通り鉄砲買上になるよう評判を依頼、今日より高田藩へ三五四人を護送）／一通（三紙）／（明治二年）正月五日／一四・五×八四・五／切継紙 楮紙／将監↓新蔵様他二名／別紙唯今若松表：如斯御座候已上／端裏書「御三人様 将監」／170

1109 総督・軍監宛 森長義・片山一貫書状（降人脱走暴動防止のため弊藩自力をもつて銃を買上げにつき金子千両送付願い）／一通（二紙）／（明治二年）正月五日／一四・九×四九・五／切継紙 楮紙／小子カ・盛之進↓御惣督・御軍監机下／降人共追々

：御座候以上／端裏書「若松より」／170

1114101 会谈所宛 山吉盛典書状（下條正雄を東京へ同道との三宮耕庵の提案につき評判願）／一通（三紙）／（明治二年）八月二八日／一六・〇×九九・八／切継紙 楮紙／新八↓会谈所御中／以別紙中得御意：奉希候以上／端裏書「八月廿八日付」／111410102封紙一括／170

1114102 庄田秀苗・小川忠弘宛 山吉盛典・村山善左衛門書状（藩内通用の贋金製造者逮捕にて天朝への伺につき）／一通（五紙）／（明治二年）八月二八日／一五・三×一七七・〇／切継紙 楮紙／新八・善左衛門↓会谈所御中／任幸便得御意：可被下候勿々拜／端裏書「八月廿八日付会津」／111410102封紙一括／封紙あり／170

1114105 猪俣宮次・中島久兵衛宛 堀尾重興・中川富義書状（若松表へ戍守兵差出、備前公は米沢の国情承知等、軍監長沼良之輔より申し聞く他）／一通（三紙）／（明治二年）一月二六日／一六・三×一五七・〇／切継紙 楮紙／保助・英助↓宮次様・伊右衛門様・皆様／今朝山岸才助：奉祈候以上／封紙あり／170

1115101 三浦清之進他二名宛 木滑政愿他二名書状（東京にて忍藩松平家より養子貫請願につき御評判を願う）／一通（四紙）／（明治二年）正月二六日／一六・三×一七九・五／切継紙 楮紙／東京三人↓御国御三人様／両三日前：申談置候／端裏書「正月廿六日付」／111510106封紙一括／封紙墨書「三浦清之進様・黒井小源太様・市川宮内様 青木信太夫・越甚五衛門・倉崎七左衛門」、三浦清之進は変名の可能性あり／170

1115102 片山一貫宛 長沼良之輔書状（模様は至極宜しく中島五位殿も尽力につき）／一通（二紙）／（明治二年）正月二二日／一五・九×五二・二／切紙 楮紙／高輪長沼良之助↓米沢御屋敷木下三平様侍史／奉拜啓候：奉希候以上頓首／111510106封紙一括／170

1115103 片山一貫宛 長沼良之輔書状（御内談一条は決して心配なし）／一通（二紙）／（明治二年）正月三日／一五・六×五三・五／切紙 楮紙／長沼良之輔↓木下三平様侍史／兎角鬱陶敷天気：草々頓着／111510106封紙一括／170

1115104 三浦清之進他二名宛 木滑政愿他二名書状（御供勢簡略につき当家の対応、丹羽五郎左衛門様天機伺他）／一通（二紙）／（明治二年）正月二六日／二四・〇×一二・〇／切紙 楮紙／東京三人↓米沢御三人様／正月廿一日晴：呈上いたし候已上／111510106封紙一括／二紙一綴／170

1115105 報告書（庄田秀苗、軍務官にて書付受取、戍兵手配につき若松表参謀

方へ何然るべし)／一通(一紙)／(明治二年)正月二六日／一六・四×五七・〇／切紙 楮紙／昨廿五日：可然存候／端裏付箋「甚五右衛門軍務官江罷出受達候趣書取之一通」／1115-01-06封紙一括／170

1115-06 片山一貫報告書(上地につき備前侯は米沢の国情を承知し尽力等中島五位殿の話)／一通(一紙)／(明治二年)一六・四×四九・三／切紙 楮紙／昨廿五日中島：成功ト被申度由／端裏付箋「長沼良之輔参り談判之趣仁一郎書取ニシテ差出之通」／1115-01-06封紙一括／柱題「正月廿六日晩方長沼良之輔殿入来之話頭」／170

1117-01 甘粕継成宛 高山政康書状(長州軍監勝間田と戦争談、三宮耕庵は御国に尽力他)／一通(四紙)／(明治二年)二月一六日／一四・五×二二・二／切紙 楮紙／与太郎備後様／一輪拝呈仕候：申上度拝呈頓首／1117-01-05紙繕一括／170

1117-03 中川富義他六名宛 堀尾重興・中島久兵衛書状(金札引替も今日までの日限、三条・岩倉へ進物他)／一通(四紙)／(明治二年)七月二九日／一六・三×二三九・五／切紙 楮紙／保助・久兵衛・英助様他六名／一輪拝啓仕候：御自愛奉祈候頓首／端裏書「七月廿九日付八月八日達」／1117-01-05紙繕一括／無

1117-04 堀尾重興・庄田秀苗報告書(篤之助様御内縁の件につき忍藩より連絡、郡県論・封建論につき相談)／一通(八紙)／(明治二年)三月七日／一六・五×四三三・〇／切紙 楮紙／堀尾保助・越甚五右衛門／一篤之助様御内縁之儀：以書取申上候以上／端裏書「三月七日付」／1117-01-05紙繕一括／柱題「三月七日払曉兩人相揃葉研坂侯へ参上御用人長野八十四郎江對話之趣左之通」／無

1117-05 本庄昌長他三名宛 木滑政愿書状(齊憲叙爵し御暇も伺いの通り、公御用人勤の者の上京を乞う)／一通(四紙)／(明治二年)一〇月二九日／一五・八×一二五・五／切紙 楮紙／要人↓大和様他三名／寸翰奉拝呈候：奉拝呈候頓首／117-01-05紙繕一括／封紙あり／無

1121 齊藤篤信宛 千坂高雅書状(庄内藩主からの刀拝領につき頂戴苦しからず)／一通(三紙)／(明治二年カ)三月六日／一四・五×五七・八／切紙 楮紙／太郎左衛門↓主計様／今日者遂ニ：可被下候以上／端裏書「千総督莊侯贈刀之事」／170
1123-01 本庄昌長他三名宛 中條明資書状(大滝、木滑の六老辞職願、板垣退助・毛利恭助へ謝礼)／一通(三紙)／(明治二年)七月三日／一六・三×一四七・〇／切紙 楮紙／麻布邸詰之間↓米沢御詰之間／去月廿六日御差立之：如此御座候以上／1123-01-02封紙一括／封紙あり／無

1123-02 木滑政愿願書(耳遠かつ魂精衰につき隠居願)／一通(二紙)／(明治二年)七月一日／一六・六×三四・一／切紙 楮紙／木滑要人／私儀耳遠ニ相成：御内意奉伺候以上／1123-01-02封紙一括／封紙あり、ウワ書「御伺」／無

1123-03 竹俣久綱他二名宛 中条明資・毛利業広書状(主上東下、芝より麻布邸へ会谈所等引移、上杉勝道出府の有無他)／一通(四紙)／(明治二年)三月二九日／一六・四×一九三・三／切紙 楮紙／麻布邸詰之間↓米沢御詰之間／其御地御方々様：如斯御座候以上／端裏書「三月廿九日付東京御用状四月八日御渡」／1123-03-07封紙一括／封紙あり、ウワ書「三月廿九日付四月八日御渡」、マイク口では1123-01-170

1123-04 竹俣久綱他二名宛 中条明資・毛利業広書状(篤之助、忍松平家へ縁組決定の旨承知)／一通(二紙)／(明治二年)三月二九日／一六・五×九三・五／切紙 楮紙／麻布邸詰之間↓米沢御詰之間／去ル廿六日：大略申入候以上／1123-03-07封紙一括／マイク口では1123-02-170

1123-05 宮島誠一郎報告書(上杉勝道上京につき毛利恭助と相談の内容、小田切右衛門上京につき)／一通(二紙)／(明治二年)三月二九日／一五・八×五四・〇／切紙 楮紙／誠一郎／駿河守様御登：右両条申上候／1123-03-07封紙一括／マイク口では1123-03-170

1123-06 竹俣久綱他二名宛 中条明資・毛利業広書状(別紙甘粕参謀の申出採用願)／一通(一紙)／(明治二年)三月二九日／一六・五×二八・一／切紙 楮紙／麻布邸詰之間↓米沢御詰之間／再白甘粕参謀：此段申入候以上／1123-03-07封紙一括／マイク口では1123-04-170

1123-07 甘粕継成意見書(曾根小太郎等三名、慶応義塾にて英学修行願)／一通(二紙)／(明治二年)三月二九日／一四・八×六三・五／切紙 楮紙／甘粕備後／当今の形勢：被成下度存候以上／1123-03-07封紙一括／マイク口では1123-05-170

1123-08 宮島誠一郎「削地事件東久世参謀大村達也ニ談判手続書」(四万石削封の場所につき東久世参謀大村達也との談判報告)／一冊(三丁)／(明治二年)正月二六日／二七・五×一九・三／縦帳 紙繕綴冊子装 表紙無し 楮紙／誠一郎／1123-08-09封紙一括／無

1123-09 米沢詰之間宛 白銀邸詰之間書状(日誌類、宮島誠一郎書取送付)／一通(三紙)／(明治二年)正月二七日／一四・五×六七・九／切紙 楮紙／銀邸詰之間↓米沢御詰之間／明廿八日金幸領下り：艸略如此御座候以上／1123-08-09封紙一括／封紙あり、但し本来は1123-01-02の封紙／無

1123-12 大滝忠恕他二名宛 上美謙之輔・鐘久尾書状(下長井の件につき坂田と相談の内容他) / 一通(六紙) / (明治二年) 六月三日 / 一六・四×二六二・〇 / 切継紙 楮紙 / 謙之輔・久尾↓宮内様他二名 / 下永井件既ニ: 御保護奉方禱候 / 封紙あり / 無

1123-13 下條親英他四名宛 木滑政愿書状(門地門閣廃止、秩祿減の諸藩改革につき) / 一通(七紙) / (明治二年) 一月一日 / 一六・六×三六七・五 / 切継紙 楮紙 / 要人↓御国御詰之間侍史 / 一輪奉拜呈候: 御海恕奉仰候頓首 / 端裏書「十一月十一日付」 / 封紙あり / 無

1123-14 大滝忠恕他二名宛 木滑政愿書状(封土返上につき奥羽諸藩の動向、麻布邸修復にて移住他) / 一通(三紙) / (明治二年) 三月一日 / 一六・二×一七一・五 / 切継紙 楮紙 / 要人↓新蔵様他二名 / 寸翰拜呈: 乱筆御披見奉祈候 / 端裏書「三月十四日書付」 / 封紙あり、マイクロでは1123-107 / 170

1123-21 三宮耕庵談話書取(削封の件につき奥羽事情感心慷慨にて周旋他) / 一通(三紙) / (明治二年) / 一五・一×八七・七 / 切継紙 楮紙 / 三宮日此度: 護送之運も付申候 / マイクロでは1123-106、柱題「三宮耕庵東京より当初江罷下候付御削封奥羽事情感心慷慨致候人物故東京之模様承度下宿を尋面語致し左之通」 / 170

1124-01 大滝忠恕他二名宛 木滑政愿・莊田秀苗書状(篤之助様養子一条につき忍邸にて相談、麻布邸今日引渡、太政官東京へ引移り他) / 一通(六紙) / (明治二年) 三月二〇日 / 一六・三×二八五・五 / 切継紙 楮紙 / 信太夫・甚五右衛門↓宮内様他二名 / 寸翰拜呈: 乱筆御披見奉祈候 / 1124-01 / 02 封紙一括 / 封紙あり / 170

1124-02 木滑政愿書状(屋代郷吉次郎召し捕らえにつき召捕人手配下されし) / 一通(一紙) / (明治二年) 三月二〇日 / 一六・三×三三三・六 / 切継紙 楮紙 / 別啓屋代郷: 手配被下度存候 / 端裏書「追啓候」 / 1124-01 / 02 封紙一括 / 170

1126 千坂高雅宛 山本寺勝強書状(北村徳太郎一条で大事件出来、三宮耕庵出立につき御品成し下され候様) / 一通(二紙) / (明治二年) 四月七日 / 一八・四×五七・二 / 切継紙 楮紙 / 伊予↓与一様 / 今日切にて: 申上候忽々 / 封紙あり / 170

1137-01 本庄昌長他三名宛 中条明資書状(明日一日御発駕、二〇日着城) / 一通(二紙) / (明治二年) 七月一日 / 一六・〇×三八・五 / 切継紙 楮紙 / 麻布詰之間↓米沢御詰之間 / 今朝御伺書: 如斯御座候以上 / 1137-01 / 09 紙縫一括 / 封紙あり / 170

1137-08 庄田秀苗・木滑政愿書状(公議人に片山一貫を仰せ付けらるべく) / 一通(二紙) / (明治二年) 五月 / 一六・四×五九・五 / 切継紙 楮紙 / 庄田総五郎・木滑要人 / 奥羽越諸藩: 可然奉存候以上 / 1137-01 / 09 紙縫一括 / 1137-08、09は同一封紙 / 170

1137-09 米沢詰之間宛 麻布邸詰之間書状(公議人に片山を推薦、猿橋哲次郎当地で見当たり、奥羽巡察に平松甲斐権介出立) / 一通(四紙) / (明治二年) 五月一日 / 一六・五×一五三・八 / 切継紙 楮紙 / 麻布邸詰之間↓米沢御詰之間 / 態々脚力相設: 一ト通り申入候以上 / 1137-01 / 09 紙縫一括 / 170

1140-02 庄田秀苗・小川忠弘宛 片山一貫書状(荒凶につき麦を植付、蝦夷地一条諸藩争つて願ひ出る、会津降伏人発船他) / 一通(三紙) / (明治二年) 八月二三日 / 一五・二×一二・八 / 切継紙 楮紙 / 三平↓会談諸彦侍史 / 拜啓当地不相替: 勿々頓首 / 端裏書「八月廿三日付」 / 1140-01 / 07 紙縫一括 / 封紙あり、ウワ書「米沢会談所越甚五衛門様 小川源太郎様御用筋 東京木下三平」 / 170

1141-01 御詰之間宛 東京詰之間書状(産物御立組につき堀尾今井を横浜へ差出、赤湯村角次を召捕) / 一通(二紙) / (明治二年) 五月一日 / 一六・四×六一・五 / 切継紙 楮紙 / 東京詰之間↓御詰之間 / 今井勘定頭: 可有之候以上 / 1141-01 / 03 紐一括 / 『甘粕備後継成遺文』一五〇ページに關連記載あり / 170

1141-02 風説書(攘夷鎮港の集會等頼又次郎話、公議所郡県論抜粹) / 一通(二紙) / (明治二年) / 一六・三×四六・五 / 切継紙 楮紙 / 向両国二中村: 神田諸生持来ル / 1141-01 / 03 紐一括 / 170

1141-03 探索書(賄賂行われ人撰不正、朝廷不穩につき宮島と毛利恭助密話) / 一通(二紙) / (明治二年カ) / 一六・五×三三・七 / 切継紙 楮紙 / 去月廿八日: 申聞候条 / 1141-01 / 03 紐一括 / 170

1142 本庄昌長他二名宛 中条明資・竹俣久綱書状(別紙の通り色部長門方天裁御渡され) / 一通(三紙) / (明治二年) 五月二日 / 一四・五×七〇・五 / 切継紙 楮紙 / 中条豊前(黒印)・加地権平(黒印) ↓本庄大和殿他二名に / 一筆令啓達候: 如是御座候恐々謹言 / 170

1143 上杉茂憲宛 軍務官達書写(叛逆首謀者色部長門家名断絶) / 一通(二紙) / (明治二年) 五月 / 一八・七×六三・三 / 切継紙 楮紙 / 昨臘依御沙汰: 申付候事 / 170

1146-05 「明治元戊辰以後書類 林泉文庫」(1146-05の表紙) / 一枚 / 近代(年月日未詳) / 一八・〇×一三・八 / 切紙 楮紙 / 1146-01 / 05 紐一

括、1146-05-01-04 貼継/170

1146-05-01 書状 (若松落城せず、我々持口は至急の口にて隊下必死の働を為す他) / 一通 (二紙) / (明治元年) 九月二日 / 一四・二×五・五 / 切継紙 楮紙 / 増岡三太郎: 奉祈候以上 / 1146-01-05 紐一括、1146-05-01-04 貼継 / 170

1146-05-02 太政官布告写 (後志国磯屋郡のうち後別川西は米沢藩支配、上杉齊憲叙爵) / 一通 (二紙) / 明治二年九月 / 一四・五×六七・五 / 切継紙 楮紙 / 太政官 / 九月十五日: 可相達事 / 1146-01-05 紐一括、1146-05-01-04 貼継 / 米沢藩: 上杉齊憲: 上杉茂憲宛の達書三通の写 / 170

1146-05-03 大滝忠恕宛 大滝新十郎書状 (支那と仏開戦、大村益次郎暗殺、鍋島公蝦夷地長官御免他) / 一通 (三紙) / (明治二年) 九月二日 / 一五・七×八五・〇 / 切継紙 楮紙 / 新十郎 / 父上様 / 湯の川行人: 奉祈上候頓首拜具 / 1146-01-05 紐一括、1146-05-01-04 貼継 / 170

1146-05-04 大滝忠恕宛 大滝新十郎書状 (蝦夷地開拓、清国が憐羅の属国となる様子、当地元々より金子引替他) / 一通 (二紙) / (明治二年) 九月三日 / 一六・六×一一・二 / 切継紙 楮紙 / 新十郎 / 父上様 / 幸便有之付: 奉祈候頓首拜具 / 1146-01-05 紐一括、1146-05-01-04 貼継 / 170

1174-02 密雲宛 木滑政愿他五名書状 (先年弊藩より貴寺へ永々御寄付米の儀は違約致さず) / 一通 (四紙) / (明治二年) 五月二日 / 一九・〇×一五・二・〇 / 切継紙 楮紙 / 上杉式部内青木信太夫他五名 / 増上寺神明谷密嚴和尚御遺跡察當時密雲和尚御法類中 / 以手紙啓上仕候: 如是御座候以上 / 170

1174-03 米沢元締役所役人中宛 密雲口上書 (御用弁金の元利返済、昨季分無利足にとの国評につき) / 一通 (三紙) / 明治二年七月 / 一八・二×一四八・〇 / 切継紙 楮紙 / 増上寺会下密雲 / 米沢様元締役所御役人中 / 一従前愚察より: 奉懇願候以上 / 柱題「口上書」、七月二日付木滑政愿・中里丹下宛 大滝忠恕書状の封紙にて包む / 170

1212-01 木滑政愿他二名宛 中條政恒書状 (仁和寺宮様御立につき吉井幸輔に使者勤め、嘆願書御届書手遅れ、君上御出府他) / 一通 (四紙) / (明治元年) 一〇月一七日 / 一五・五×一一五・五 / 切継紙 楮紙 / 上与七郎 / 木滑要人様他二名 / 栗林京二付一筆申上候: 要旨而已早々申上候以上 / 端裏書「上与七郎書面十月十七日付」 / 1212-01-03 包紙一括 / 170

1212-02 四人宛 新保朝綱保書状 (諸藩より改革向の議論、貨幣偽造云々の布

告、雲井龍雄一件にて繁多他) / 一通 (六紙) / (明治三年) 五月八日 / 一四・〇×一四六・五 / 切継紙 楮紙 / 保御四人様 / 今日立飛脚御差立二付: 時候御厭奉祈申候以上 / 1212-01-03 包紙一括 / 170

1212-03 千坂高雅・竹俣久綱宛 山本寺勝強書状 (三宮耕庵、水野徳太郎は尽力につき昨年春よりの建白手続書御遣し下されたく他) / 一通 (七紙) / (明治二年) 二月二日 / 一四・三×一七一・〇 / 切継紙 楮紙 / 伊予太郎左衛門様・美作様 / 以飛脚御意候然は: 此条早々御意候以上 / 端裏書「二月廿一日付山本寺」 / 1212-01-03 包紙一括 / 170

1212-04 会談所宛 役所用状 (謹慎外出下宿取締方につき中条豊前御達案) / 一通 (三紙) / 明治元年一月一日 / 一四・二×五八・三 / 切継紙 楮紙 / 御役所 / 会談所 / 御着之上御締方御達無之: 可被下候御内談いたし候以上 / 1212-04-10 包紙一括 / 柱題「覚」、会談所の下に異筆で「別意無御座候」とあり / 無

1212-05 藩庁御役所宛 伺書 (公用人帰藩中の月量御用多端につき従僕貸渡願) / 一通 (四紙) / (明治三年) 閏一〇月 / 一五・〇×八三・五 / 切継紙 楮紙 / 鎌久 / 藩庁御役所 / 私儀公用人帰藩中: 此条奉伺候也 / 1212-04-10 包紙一括 / 明治三年閏一〇月三日付権大属伺書を貼り継ぐ、会計局・小参事の回答あり / 無

1212-06 太政官布達写 (諸寺院揭示の下馬下乗の札取払および東京府諸邸宅上地につき) / 一通 (二紙) / (明治三年) 八月 / 一五・三×七四・五 / 切継紙 楮紙 / 太政官 / 従前諸寺院二揭示有之候: 者は返上可致候事 / 1212-04-10 包紙一括 / 無

1212-07 倉崎清典宛 二本松藩士和田要人書状 (若殿様対顔につき左京大夫様より御祝ひ下されたき思召にて御重役御名前前教示願) / 一通 (三紙) / (明治二年) 八月二七日 / 一四・七×八三・五 / 切継紙 楮紙 / 和田 / 倉崎様 / 益御安泰拜賀候: 申上度如此御座候以上 / 1212-04-10 包紙一括 / 封紙あり / 無

1212-08 書状 (一条殿より借受の御殿拝領につき御座之間御縁通御住居御延引他) / 一通 (二紙) / (明治二年) 三月一七日 / 一六・五×七〇・〇 / 切継紙 楮紙 / 其 御殿是迄八戸氏働二而: 御出有之度被存候以上 / 1212-04-10 包紙一括 / 無

1212-09 木滑政愿宛 中川富義伺書 (月岡一郎糾問所頭取に転役につき対応問合せ) / 一通 (四紙) / (明治元年) 二月一日 / 一四・五×四八・五 / 切継紙 楮紙 / 英助 / 要人様 / 右は吉岡武之助か叔父にて: 右評判之趣可申上候以上 / 端裏書「三十二」 / 1212-04-10 包紙一括 / 木滑から中川への回答あり、会談所他宛 御役所伺書を継ぐ / 無

1212-110 湯野川忠国宛 鳥居親直書状(今日出立につき知事様へ宜しく申上されたく) / 一通(二紙) / (明治二年) 一月二九日 / 一八・二×六九・五 / 切継紙 楮紙 / 鳥居少巡察 ↓ 湯野川郷衛殿 / 万事御丁寧且御使者: 御申上被下候様頼存候以上 / 1212-104 150 包紙一括 / 無

1212-111-01 報告書(会津表戌兵につき若松猪苗代塩川等取締の経緯および出張人数) / 一通(五紙) / 明治二年五月 / 一四・四×七八・〇 / 切継紙 楮紙 / 一去年八月廿三日: 右之通二御座候 / 1212-111 150 包紙一括、1212-111-01 150 包紙一括 / マイクロでは 1212-104-01 / 170

1212-111-02 御役所宛 軍務局用状(会津表出張の兵隊軍吏調査につき) / 一通(二紙) / (明治二年) 五月一日 / 一四・七×三四・四 / 切継紙 楮紙 / 軍務局 ↓ 御役所 / 当時会津表江出張之: 御評判可被成候以上 / 1212-111 150 包紙一括、1212-111-01 150 包紙一括 / マイクロでは 1212-104-02 / 170

1212-111-03 会談所宛 御役所用状(当今海陸諸道出張兵員取調につき) / 一通(二紙) / (明治二年) 五月一日 / 一四・五×三〇・二 / 切継紙 楮紙 / 御役所 ↓ 会談所 / 当今海陸諸道出張: 御内談いたし候以上 / 1212-111 150 包紙一括、1212-111-01 150 包紙一括 / マイクロでは 1212-104-03 / 170

1212-112 総督府宛 畠山左衛門他二名請書控(官軍へ降伏の長岡藩兵御家にて取計方承知につき) / 一通(二紙) / (明治元年) 九月七日 / 一五・〇×三八・五 / 切継紙 楮紙 / 畠山左衛門他二名 ↓ 総督府 / 御手紙拝見仕候: 此段御申請上候以上 / 1212-111 150 包紙一括 / マイクロでは 1212-105 / 170

1212-113 風説書(仙台藩は御家を恨む、松前脱走衆中当国へ乱入、御評判よろしく他、越後の状況) / 一通(三紙) / 明治二年正月六日 / 一六・一×一一・〇 / 切継紙 楮紙 / 一旧臘丹羽最上辺: 右風聞文ヶ奉申上候以上 / 端裏書「越一月六日」 / 1212-111 150 包紙一括 / 柱題「聞取書」、マイクロでは 1212-106 / 170

1212-114 東京詰両公宛 正権大属書状(斗南藩極逼迫につき宝刀差上げ他) / 一通(五紙) / (明治三年) 九月二日 / 一四・六×一二九・五 / 切継紙 楮紙 / 正権大属 ↓ 東京御詰両公机下 / 一去ル廿五日: 奉仰念候頓首々々 / 1212-111 150 包紙一括 / マイクロでは 1212-107 / 170

1212-115-01 東京役所宛 京都役所願書(軍務官より海陸諸道出張兵員取調差出の達仰せ出だされにつき) / 一通(二紙) / (明治二年) 四月二五日 / 一五・四×一二・一 / 切継紙 楮紙 / 京都御役所 ↓ 東京御役所 / 一筆致啓達候: 如此御座候恐惶謹言 / 1212-111 150 包紙一括、1212-115-01 150 包紙一括 / マイクロでは

1212-108-01 / 170

1212-115-02 米沢役所宛 東京役所願書(京都にて甚だ心配につき兵員取調願) / 一通(一紙) / (明治二年) 五月四日 / 一六・四×三五・七 / 切継紙 楮紙 / 東京御役所 ↓ 米沢御役所 / 以別紙申入候: 為其如此候以上 / 1212-111 150 包紙一括、1212-115-01 150 包紙一括 / マイクロでは 1212-108-02 / 170

1212-115-03 会談所宛 役所用状(当藩諸道出張の兵員無く、会津表戌兵一大隊差し出し届出につき内談) / 一通(二紙) / (明治二年) 五月三日 / 一四・六×三四・〇 / 切継紙 楮紙 / 御役所 ↓ 会談所 / 右之通東京分: 致御内談候以上 / 1212-111 150 包紙一括、1212-115-01 150 包紙一括 / 異筆にて会談所、詰之間物書の返答記載、マイクロでは 1212-108-03 / 170

1215-03 徳右衛門宛 中川富義書状(芝密雲和尚より古証文書替願、興禪寺和尚上京につき入料再願) / 一通(二紙) / (明治二年カ) 三月三日 / 一四・七×四九・〇 / 切継紙 楮紙 / 英助 ↓ 徳右衛門様 / 猶以御勇健奉祥賀候: 後便を奉期候以上 / 1215-01 150 紙縫一括 / 170

1217 刑部省宛 森長義何書(府藩県罪人御仕置につき) / 一通(二紙) / (明治二年) 一月三日 / 一九・〇×五八・五 / 切継紙 楮紙 / 米沢藩杉山盛之進 ↓ 刑部省御役所 / 府藩県罪人御仕置: 此段奉伺候以上 / 刑部省の付札あり、「東京御帳」同日条に記載あり / 170

1218 米沢詰之間宛 木滑政愿書状(金札引替上納、三条公大殿様へ御懇会の御意味森寺か宮島へ内話他) / 一通(四紙) / (明治二年) 一月四日 / 一六・六×一五三・五 / 切継紙 楮紙 / 要人 ↓ 米沢御詰之間閣下 / 一翰奉拜呈候: 早々申上候頓首 / 170

1220-01 木滑政愿他三名宛 片山一貫他二名書状(不容易御罪人手配につき米沢藩土有無申し越し願) / 一通(二紙) / (明治二年) 七月八日 / 一三・八×五一・三 / 切継紙 楮紙 / 三平他二名 ↓ 要人様他三名 / 今八日巳ノ刻: 奉拜謝候頓首 / 1220-01 150 紙縫一括、1220-02 の封紙で 1220-01 150 紙縫一括 / マイクロでは 1220-07 / 170

1220-02 木滑政愿他三名宛 莊田秀苗他二名書状(酒田民政局御用掛と上地請取の儀談判、庄内上地受取、於猷様御入興他) / 一通(七紙) / (明治二年) 七月九日 / 一六・五×三六二・〇 / 切継紙 楮紙 / 三平他二名 ↓ 要人様他三名 / 寸楮拜啓候: 御奉職奉祈候早々頓首 / 1220-01 150 紙縫一括、1220-02 の封紙で 1220-01 150 紙縫一括 / マイクロでは 1220-08 / 170

1220-03 半二郎・平田東助宛 八郎書状(御軍艦製造木材取調御用、当地官禄

御引替につき)／一通(三紙)／(明治四年)五月五日／一五・二×九四・四／切継紙
楮紙／八郎↓半二郎様・道策様／御軍艦製造：要用のミ呈寸楮候拜／12220101
09紙縫一括、12220102の封紙で12220101より04一括／マイクローでは12
20104／170

1220104 木滑政愿他二名宛 三瀧政清書状(庄内仙台降伏、三四百人白河へ引
揚他)／一通(三紙)／(明治元年)九月二九日／一五・〇×五六・三／切継紙 楮紙
／清蔵↓要人様他二名／今般猿橋八右衛門：以飛脚得御意候拜／1220101
紙縫一括、1220102の封紙で1220101より04一括／封紙あり、ウワ書「九
月廿九日会津詰三瀧より申来書面」、マイクローでは1220105／170

1220109 本庄昌長他二名宛 中条明資書状(公用人小川源太郎御残し庄田秀苗
御下しの方につき評判願、森長義公用人手代勤仰せ付け願等)／一通(四紙)／(明治
二年)七月十七日／一六・三×一九〇・〇／切継紙 楮紙／豊前↓大和殿他二名／明十
八日帰飛脚：如斯御座候以上／1220101より09紙縫一括／封紙あり、マイクロー
は1220106／170

1224101 政府宛 毛利業広書状(当地御屋敷譲り受け、長州藩治職制、封建郡
県尚論一冊差下し、学業御取開き他)／一通(七紙)／(明治二年)二月二七日／一六・
三×三三五・〇／切継紙 楮紙／寓舎↓政府／今廿七日支侯宰領：御推覧希申候以上
／端裏書「二月廿七日付御用状」／1224101より11紙縫一括／封紙あり、封紙ウワ
書「高井市兵衛殿・万願寺与一殿・加地権平殿 毛利上総」／170

1224108 堀尾重興報告書(橋山佐渡別首等南部邸山本直右衛門の話、首謀の苗
字断絶、版籍返上等長沼良之輔の話)／一通(九紙)／(明治二年)六月六日／一四・
五×三一・〇／切継紙 楮紙／堀尾保助／五月五日：為御参考申上置候以上／122
4101より11紙縫一括／包紙あり／170

1227101 庄田秀苗・木滑政愿書状(首謀の天裁につき色部家御家内ならびに家
臣共へ内々御手当手厚につき)／一通(三紙)／(明治二年)五月／一六・四×一一〇・
五／切継紙 楮紙／甚五右衛門・信太夫／首謀天裁意外之：有之度奉存候以上／122
7101より07包紙と紙縫一括／詰之間の所見を記した付札あり／170

1227102 木滑政愿宛 斎藤篤信書状(同役甘粕大病、正雜租税調査、長州千石
以上減祿、減祿官祿の調如何他)／一通(五紙)／(明治二年)十一月一日／一六・
〇×一三七・三／切継紙 竹紙／主計↓要人様／拜啓今般之大急：如此御座候以上／1
227101より07包紙と紙縫一括／封紙あり／170

1227103 米沢三人宛 東京三人書状(御暇願進達、戸田右門興禅和尚等御賞、
此表は足輕不足、御屋敷手配他)／一通(四紙)／(明治二年)二月二日／一六・三×

一五二・五／切継紙 楮紙／東京三人↓米沢御三人様／一言上御再幸何か：大略右得御
意候以上／端裏書「二月二日付」／1227101より07包紙と紙縫一括／木滑政愿の
筆、柱題「要用」／170

1227104 大滝忠恕・倉崎清典宛 窪島政章他二名書状(松宮雄次郎の処置、清
民隊の儀伺い、米沢・上山・山形の弾薬預かり他)／一通(二紙)／(明治元年)一
月二〇日／一六・〇×九九・〇／切継紙 楮紙／多七他二名↓新蔵様・七左衛門様／去
ル十五日付之：貴酬旁申上候以上／端裏書「越後十一月廿一日付」／1227101
紙縫一括と紙縫一括／封紙あり、一部糊はがれ／170

1227105 黒井繁邦・三瀧政清宛 片山一貫他二名書状(葉研坂様御預金、若松
表撤兵隊引揚げ、屋代郷引渡し他)／一通(七紙)／(明治二年)七月十七日／一四・
九×二三四・〇／切継紙 楮紙／甚五右衛門他二名↓将監様・清蔵様／去ル八日立六日
：奉折候勿々頓首／1227101より07包紙と紙縫一括、1227105より07封紙
一括／封紙あり、東京会谈所より米沢会谈所宛／170

1227106 黒井繁邦・三瀧政清宛 小川忠弘・片山一貫書状(参議四人交代にて
形勢变换につき甚五右衛門御残りを御勤考下されたし)／一通(四紙)／(明治二年)
七月十七日／一四・九×九〇・〇／切継紙 楮紙／源太郎・三平↓将監様・清蔵様
御宿老御着之上：奉拝呈候頓首／1227101より07包紙と紙縫一括、122710
5より07封紙一括／片山一貫筆の追記の付箋あり／170

1227107 庄田秀苗他二名書状(民部省よりの両羽取締方の御達につき秋田邸で
処置振評判)／一通(三紙)／(明治二年)七月／一三・八×五九・三／切継紙 楮紙
／甚五右衛門他二名／去ル十二日辰半刻：御手配有之度奉存候以上／1227101
紙縫一括と紙縫一括、1227105より07封紙一括／170

1228105 米沢藩宛 軍務官布達(市中四五之区取締申し付け)／一通(一紙)
／(明治二年)七月／一七・五×三二・六／切紙 楮紙／軍務官↓米沢藩／市中四五之
：取締申付候事／1228101より09紙縫一括、05、06、08、09紙縫一括／
170

1228106 行政官布告(大政諮詢のため会同衆議苦勞につき此度帰藩仰せ付け)
／一通(二紙)／(明治二年)七月／一七・五×五七・一／切継紙 楮紙／大政諮詢
：御沙汰候事／1228101より09紙縫一括、05、06、08、09紙縫一括／1
70

1228108 会計官役所宛 小川忠弘請取書状(正金引替札半高二分万二千八五
両)／一通(一紙)／明治二年六月／三二・三×四三・七／堅紙 楮紙／上杉式部家来
参政小川源太郎印↓会計官御役所／高拾七万六千六百拾七石：被成請取申候以上／122

8—01—09 紙縫一括、05、06、08、09 紙縫一括／柱題「請取申金札之事」／170

1228—09 会計官役所宛 小川忠弘請取証控（旧臘土地仰せ付けられ候分正金引替金札半高五千両の請取）／一通（一紙）／明治二年六月／三一・五×四三・七／豎紙 楮紙／上杉式部家来参政小川源太郎印↓会計官御役所／高四万石 此半高：被成請取申候以上／1228—01—09 紙縫一括、05、06、08、09 紙縫一括／柱題「請取申金札之事」／170

1229—01 会談所宛 役所用状（二本松様へ引越につき閑暇の横井常助へ御用懸仰せ付けの内談）／一通（二紙）／明治二年正月三日／一四・三×二四・五／切継紙 楮紙／御役所↓会談所／二本松様江御引越：致御内談候以上／1229—01—10 紙縫一括／会談所・物書の意見書込あり、裏書「明治二年正月五郎左衛門様御引越二付御用懸被仰付御評判」／170

1229—04 会談所他宛 役所用状（密雲和尚召出の日および料理につき内談）／一通（二紙）／明治二年正月二日／一四・八×四七・七／切継紙 楮紙／御役所↓会談所・元締所／芝之密雲和尚：御内談いたし候以上／1229—01—10 紙縫一括／会談所他の意見書込あり／170

1231—03 上杉駿河守公用人宛 弁事伝達所達書（御用につき明一九日巳刻出頭のこと）／一通（二紙）／（明治二年カ）五月一八日／一八・〇×五三・四／切継紙 楮紙／弁事伝達所↓上杉駿河守殿公用人中／御用有之候条：出頭可有之候也／1231—01—10 紙縫一括／弁事伝達所／170

1232—03 本庄昌長他二名宛 竹俣久綱・中条明資書状（大平祐作、会津降伏人東京へ罷り登る途中、猿橋哲次郎似寄の者見当りにつき）／一通（二紙）／（明治二年）五月一日／一四・五×六二・〇／切継紙 楮紙／権平・豊前↓大和殿他二名／以別紙申入候然者：如斯御座候以上／端裏書「以付札申入候」／170

1232—05 本庄昌長他二名宛 竹俣久綱・中条明資書状（去二三日御下問につき参内の旨弁事局より御達につき）／一通（二紙）／（明治二年）六月二七日／一四・〇×五六・三／切継紙 楮紙／加地権平・中條豊前（黒印）↓本庄大和殿他二名／一筆令敬達候：申入如斯御座候以上／170

1243—03 御両様宛 三人書状（上納金のこと貴国は勤王一図の国柄にて領内説諭の上尽力致されたく）／一通（二紙）／（明治二年）七月二四日／一五・〇×五三・四／切継紙 楮紙／三人様↓御両様／森三郎右衛門：奉呈愚論候以上／1243—03—08 包紙一括／前欠カ／170

1243—04 談判覚書（薩摩藩公用方理事有馬藤太による談判、天朝への上納金徴収の経緯と目的につき意見）／一通（一紙）／（明治二年七月）／三〇・四×三六・七／折紙 楮紙／薩藩公用方理事：甚意味有ルべし／1243—03—08 包紙一括／170

1243—05 毛利業広他二名宛 莊田秀苗書状（国許出立の面々芝淨運院に止宿、今日飛脚に御用状一封渡すにつき報知）／一通（二紙）／（明治元年）一〇月二七日／一六・五×六一・六／切継紙 楮紙／越甚五右衛門秀苗（花押）↓毛利上総様他二名／一筆致啓上候：恐惶謹言／1243—03—08 包紙一括／170

1243—06 莊田秀苗届書控（上杉齊憲出府関係、越後口総督より東京へ出府の仰渡に対する返答）／一通（三紙）／辰（明治元年）一〇月／一六・三×一一・二／切継紙 楮紙／御名内 越右京／私儀来ル十一日限：偏奉歎願候以上／1243—03—08 包紙一括／柱題「十月廿四日差出候御請願御届書等四通左之通」／170

1243—07 宮島誠一郎書状写（酒田表を秋田・新発田両藩に引き渡すとの達に関する協議状況報知）／一通（三紙）／（明治二年）六月四日／一四・五×一一・七・〇／切継紙 楮紙／宮島誠一郎／六月四日御呼懸：大略申上候頓首／端裏書「宮島誠一郎書面之写」／1243—03—08 包紙一括／170

1243—08 窪嶋政章・竹田善五郎書状（このたび領分の内削地取締向貴藩へ仰せ出につき万端お願いの通知）／一通（二紙）／（明治二年）正月／一七・七×五三・〇／切継紙 楮紙／竹田善五郎・窪嶋多七／春寒退兼候得共：委細は口上申合候／1243—03—08 包紙一括／170

1243—10 上杉勝道願書（下長井・西郷・小国郷は従来通りお預け下され、代地として屋代郷召し上げ下されたく）／一通（三紙）／（明治二年）／二一・五×一二・五・八／切継紙 楮紙／上杉式部／弊藩之儀者昔百廿万石：心願之外無他事候事／170

1243—11 上杉勝道願書（召上地の繰替について再度歎願）／一通（六紙）／（明治二年）六月／二〇・〇×二九・九／切継紙 楮紙／上杉式部／昨年朝裁ヲ以被召上：奉哀請候誠惶誠恐／170

1244—01 本庄昌長三名宛 中条明資書状（勝手次第第出立苦しからざる旨仰出につき発駕の手配、弁事役所より甘粕継成の所在尋ねられる他）／一通（五紙）／（明治二年）七月九日／一五・六×二四・一・六／切継紙 楮紙／豊前↓大和殿他三名／脚力相設一筆申入候：右申入度迄如斯御座候以上／別紙あり／170

1244—02 詰之間書状（米沢新田藩主家家老御登せ、学校は当時学生二〇〇人余、新寮作事に取りかかる模様他）／一通（二紙）／近代（明治二年頃）四日／一六・六×

二三・五／切紙 楮紙／詰之間↓御詰之間／麻大夫為御登：模様に見得申候／1244-02-06 包紙一括／170

1244-03 米沢詰之間宛 麻布邸詰之間書状（見込お尋ねにつき昨日建白一通印封にて御触頭佐竹まで差出）／一通（二紙）／（明治二年）五月四日／一六・八×八七・四／切紙 楮紙／麻布邸詰之間↓米沢 御詰之間／以別紙申入候先以：右要用一通り申入候以上／1244-02-06 包紙一括／170

1244-04 須佐權平答書（今般重大につき見込申し上げるよう下問につき、私は外に見込み無し）／一通（二紙）／巳（明治二年）五月／一六・五×三二・五／切紙 楮紙／上杉駿河守内・須佐權平／今般重大之事件：奉申上候以上／1244-02-06 包紙一括／170

1244-05 莊田秀苗・小川忠弘応接聞書（会津・仙台降伏後の状況、今後の見込みとして奥羽に三府一〇県建てる積もり他につき三宅耕庵へ応接）／一通（三紙）／（明治二年）／一六・五×一一・八／切紙 楮紙／会仙ノ贖金：実に可嘆可悲事に候／1244-02-06 包紙一括／柱題「三宅香庵へ越小川忠接之緊要」／170

1244-06 五箇条誓文写／一通（二紙）／（明治元年）／一六・五×三〇・〇／切紙 楮紙／一 広く会議ヲ興シ：此旨趣ニ基キ協心努力セヨ／1244-02-06 包紙一括／柱題「詔書御文中五事」／170

1255-02 会談所・元締所宛 役所用状（三局より三谷三九郎へ旧年来の御謝伺につき内談）／一通（一九紙）／明治二年正月二〇日／一四・五×二六四・三／切紙 楮紙／御役所↓会談書・元締所／昨日高井手元三谷江被相尋候：致御内談候以上／宛先の下に返答を記載／170

1255-05 詰の間賞典聞書（諸藩の賞典に関する内情・密話の報知）／一通（二紙）／（明治二年）六月四日／一五・五×五四・〇／切紙 楮紙／詰之間／六月二日 賞典：御心得の為申上置候／無

1255-06 米沢四人宛 東京三人書状（首謀一条決評につき御国評御評判はご尤の御評意、上地請取の儀につき所見）／一通（三紙）／（明治二年）六月四日／一四・七×六五・二／切紙 楮紙／東京三人↓米沢御四人様／首謀一条御決評之儀二付：此段のミ追啓拝呈いたし候／端裏書「木滑書面之写 二通之内」／無

1255-07 会談所・元締所宛 御役所用状（浄運院へ金五両下され然るべくにつき内談）／一通（二紙）／明治二年正月七日／一五・〇×四一・二／切紙 楮紙／御役所↓会談所・元締所／浄運院之儀は十月廿五日：御内談いたし候以上／宛先の下に返答を記載、奥裏に「明治二年正月分 浄雲院江金五両被成下方御評判」／無

1257 米沢藩宛 軍務官達書写（若松表へ戌兵差出）／一通（二紙）／（明治二年）正月／一九・五×六一・〇／切紙 楮紙／軍務官↓米沢藩／若松表為戌守：御沙汰候事／封紙あり／170

1258 総督副軍令（攻守ともに私に退かぬこと他）／一通（四紙）／明治二年正月／一七・〇×一五九・四／切紙 楮紙／総督／一攻守共其隊頭より：可行軍法者也／柱題「副軍令」170

1259 米沢詰之間宛 東京詰之間書状（片山一貫・宮島誠一郎建白の趣は尤、早く人材拔擢すべく、若松戌兵軍監のこと、削封一条の協議につき報知）／一通（三紙）／（明治二年）正月二六日／一六・五×二四・五／切紙 楮紙／東京詰之間↓米沢御詰之間／両御地御方々様：脚力相設申候以上／170

1260 片山一貫・宮島誠一郎意見書（天下の大局不分明につき人材拔擢第一の急務にて建言）／一通（三紙）／明治二年正月／一九・六×一二五・三／切紙 楮紙／片山仁一郎・宮島誠一郎／明日目達四聡侯儀古聖：謹テ奉建言候頓首再拜／封紙あり／170

1261 会談所宛 古藤政徳書状（印鑑受取にて、関門通行はその国の印鑑にて通行のこと）／一通（三紙）／（明治二年）二月三日／一五・〇×六九・五／切紙 楮紙／伝之丞↓会談所御三人様／一朱印鑑十枚：被下度奉存候頓首／端裏書「三日付」／170

1262-01 年寄衆宛 興禪寺願書（本堂を始め座敷、台所、玄関屋根破損につき御手入れ下されたく）／一通（二紙）／明治二年二月二日／一九・五×四三・五／切紙 楮紙／興禪寺↓御年寄衆中様／本堂を初御座敷：此段御伺申上候以上／柱題「以書付御伺申上候事」／170

1263 老中衆宛 興禪寺願書（先年中より数度普請お願いのところ、五月一六日孝林院様法事に手入れ下されたく）／一通（二紙）／巳（明治二年）四月／二〇・〇×五五・四／切紙 楮紙／興禪寺↓御年寄衆中様／先年中より数度：此段御伺申上候以上／柱題「口上書」／170

1264-01 会談所宛 役所用状（興禪寺への法事賄料および鐘堂普請につき内談）／一通（二紙）／（明治二年）六月二七日／一六・五×三六・〇／切紙 楮紙／御役所↓会談所／興禪寺分紙別紙両通：致御内談候以上／1264-1-04 紙縫綴／奥裏「明治二年六月 興禪寺御法事御賄料并釣鐘金評」／170

1264-02 御役所用状別紙（興禪寺鐘堂につき詮議評判ありたく）／一通（二紙）／（明治二年）／一四・〇×一三・五／切紙 楮紙／御役所／興禪寺分紙之通申立：

御評判有之度奉存候 / 1264-1-04 紙縫綴 / 筆跡から作成者は木滑要人と推定 / 170

1264-03 御年寄衆宛 奥禪寺願書 (法会の賄料につき今般改革のため皆式省略ながら、何卒半減の沙汰聞繰下されたく) / 一通 (一紙) / (明治二) 六月 / 一六・〇 × 四一・〇 / 折紙 楮紙 / 奥禪寺 ↓ 御年寄衆中様 / 御法会二付御賄料: 此段奉願申上候以上 / 1264-1-04 紙縫綴 / 柱題「御伺申上候事」 / 170

1264-04 御年寄衆宛 奥禪寺願書 (仮建釣鐘堂倒れにつき来月三日御法事前に建立下されたく) / 一通 (一紙) / (明治二) 六月 / 一六・〇 × 四〇・五 / 折紙 楮紙 / 奥禪寺 ↓ 御年寄衆中様 / 仮建釣鐘堂: 此段御伺申上候以上 / 1264-1-04 紙縫綴 / 柱題「御届申上候事」 / 170

1355 「忠死御祭文」 (戊辰戦争戦没者の供養時) / 一通 (二紙) / 明治二年三月 / 二七・七 × 五五・八 / 切継紙 楮紙 / 維明治二年歳次: 俱登天永垂勇名 / 柱題「祭陣込臣文」 / 176

1360 「戦功残録取調帳」 (戊辰戦争での戦死者等への加増記録) / 一冊 (七丁) / 明治二年頃 / 一五・八 × 三七・七 / 横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙 / セ〇本 / 色部家が山浦家として再興後の記載より年代を推定、但し、その他の精査は未 / 176

1366 大滝忠恕「御削封御上地為請取官吏出張二付取量牒」 (明治二年七月二日 ~ 同九月一七日) / 一冊 (一二丁) / 明治二年七月 / 一四・九 × 一九・〇 / 横半帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙 / 市川宮内 / オ〇本・三ノ二 / 176

1374 「太政官日記 公議所日記 合本」 (明治二年六五号の太政官日記と、明治二年四月第九と五月第一二の公議所日記) / 一冊 (四八丁) / 明治二年 / 二一・七 × 一四・九 / 豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙 / タ本 林泉文庫 / 三冊合綴、木版、各表紙に毛筆で大滝の名と定価一匁五分の印あり、各書に版元等の奥付あり / 177

1375 下問書 (版籍返上知藩事任命につき所存忌憚なく申出のこと) / 一通 (一紙) / (明治二年) 五月 / 一九・八 × 五三・八 / 切紙 楮紙 / 版籍返上之儀: 可申出候事 / ハ〇本・二ノ二 / 木版 / 177

1377 大滝忠恕「奉使本末」 (酒田県知事津田山三郎下向につき酒田へ使者勤めの日記、明治二年九月一五日 ~ 一〇月二五日) / 一冊 (一六丁) / 明治二年 / 一四・六 × 一八・三 / 横半帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙 / 市川宮内 / ホ〇本・二ノ三 / 177

1385-01 民部官役所宛 堀尾重興伺書 (弊藩国産のうち蚕胤を横浜表へ駄走一時御免願) / 一通 (三紙) / (明治二年) 六月 / 二〇・〇 × 九二・五 / 切継紙 楮紙 /

上杉式部内堀尾保助 ↓ 民部官御役所 / 弊藩国産之内: 至急奉伺候以上 / 1385-01-10 紙縫一括、1385-01-02 封紙一括 / 177

1385-02 民部官役所宛 古藤政徳伺書 (帰藩出立勝手次第御せ渡さるにつき順延発途願) / 一通 (三紙) / (明治二年) 七月一〇日 / 二〇・〇 × 六六・七 / 切継紙 楮紙 / 米沢藩古藤伝之丞 ↓ 民部官御役所 / 今般帰藩出立勝手次第: 此段奉伺候以上 / 1385-01-10 紙縫一括、1385-01-02 封紙一括 / 177

1385-03 弁事役所宛 中条明資伺書 (御下問仰せ出さるうち悪金銀のこと他二ヶ条につき別冊差上願) / 一通 (二紙) / (明治二年) 五月 / 二一・五 × 六〇・〇 / 切継紙 楮紙 / 上杉式部家来中条豊前 ↓ 弁事役所 / 此度御下問: 奉伺候様申付候以上 / 1385-01-10 紙縫一括、1385-03-04 封紙一括 / 177

1385-04 丸田九左衛門・大熊軍助宛 達書 (両家に御役筒永々御附につき門弟のうち仰せ付らる) / 一通 (二紙) / 近代 (年未詳) 正月二日 / 一五・五 × 五八・五 / 切継紙 楮紙 / ↓ 与板大筒御鉄砲組頭丸田九左衛門・与板大熊軍助 / 右者大筒様打: 於長尾権四郎宅申渡之事 / 1385-01-10 紙縫一括、1385-03-04 封紙一括 / 177

1385-07 千坂高雅宛 森長義書状 (削封につき藩士扶持上げ、朝廷に暇を出す兵隊献せば如何、東京へ歎願書差し出し他三宮耕庵との密話) / 一通 (四紙) / (明治二年) 二月一七日 / 一五・四 × 二一・三・五 / 切継紙 楮紙 / 盛之進 ↓ 与一様侍史 / 三宮耕庵トハ極懇意: 奉懇願候多罪百拜 / 端裏書「二月十七日付」 / 1385-01-10 紙縫一括 / 177

1385-08 大滝忠恕他二名宛 森長義書状 (若松戎兵我藩一手にて持切る様に東京軍務官決議他につき報告) / 一通 (六紙) / (明治二年) 二月一日 / 一五・七 × 二八・三・九 / 切継紙 楮紙 / 盛之進 ↓ 新蔵様他二名 / 三宮耕庵昨晦日帰着: 可申上候頓首 / 1385-01-10 紙縫一括 / 本紙裏墨書「二月会津」 / 177

1385-09 黒井繁邦宛 若林吉祐書状 (猪苗代降人、松代行高田行出立にて我藩護送につき報告) / 一通 (五紙) / (明治二年) 正月八日 / 一四・五 × 一六四・五 / 切継紙 楮紙 / 宗太 ↓ 将監様 / 六月四日差出之御細書: 如此得貴意候以上 / 1385-01-10 紙縫一括 / 本紙裏墨書「正月八日付 猪苗代若林行人之書面其□差上申候」あり / 177

1385-10 黒井繁邦宛 小子書状 (若松表成兵、松代表護送差免他につき報告) / 一通 (五紙) / (明治二年) 二月一日 / 一五・〇 × 一六四・〇 / 切継紙 楮紙 / 小子 ↓ 将監様 / 以飛札申上候: 早々申上候以上 / 1385-01-10 紙縫一括 / 177

1387-02 米沢藩公用人宛 弁官役所達書（甘粕備後の当時の呼称他、取調返答のこと）／一通（一紙）／（明治二年）七月一日／二〇・五×四八・五／切紙 楮紙／弁官役所↓米沢藩公用人中／其藩甘粕備後：取調御答有之度候也／1387-01、10紙縫一括／甘粕継成の存命につき年代推測／177

1387-03 米沢藩知事宛 弁官達書（齊藤篤信に御用あり、東京へ罷り出ること）／一通（二紙）／（明治二年）七月／二〇・〇×六一・二／切紙 楮紙／弁官↓米沢藩知事殿／其藩士齊藤主計儀：可申付事／1387-01、10紙縫一括／177

1387-04 齊藤篤信宛 太政官達書（待詔院下局出仕のこと）／一通（一紙）／（明治二年）七月／一九・〇×二九・四／切紙 楮紙／太政官↓齊藤主計／待詔院下局：申付候事／1387-01、10紙縫一括／177

1387-05 米沢藩知事宛 弁官達書（齊藤篤信、待詔院下局出仕のこと）／一通（二紙）／（明治二年）八月四日／一九・〇×三九・〇／切紙 楮紙／弁官↓米沢藩知事殿／其藩齊藤主計儀：此旨相達候也／1387-01、10紙縫一括／177

1387-06 弁官役所宛 小川忠弘届書（御尋の趣、甘粕備後とも相唱へ東京にあり）／一通（三紙）／（明治二年）七月一日／二〇・五×六三・五／切紙 楮紙／米沢藩小川源太郎↓弁官役所／甘粕備後儀：此段御答申上候以上／1387-01、10紙縫一括／177

1388-01 米沢藩公用人宛 大学校布達（二宮忠蔵、即日入寮のこと）／一通（二紙）／（明治二年カ）九月六日／一七・六×五二・八／切紙 楮紙／大学校↓米沢藩公用人中／過日入寮願：御達可有之候也／1388-01、10紙縫一括／大学校の名称から年代を推定／177

1388-02 達書写（監察使差廻るにつき御趣意貫徹するよう民部輔殿口達）／一通（二紙）／（明治二年カ）／二〇・五×五九・四／切紙 楮紙／昨今御達之通：尽力可致事／1388-01、10紙縫一括／柱題「民部輔殿口達之略」、明治初期の可能性もあり／177

1388-08 会談所宛 宮島誠一郎願書（小田切勇之進、聖堂国史編集開始につき推挙ありたし）／一通（二紙）／（明治二年）七月二七日／一六・五×八七・五／切紙 楮紙／誠一郎拜↓会談所／今日長州藩：伏而奉懇願候頓首／1388-01、10紙縫一括／宮島誠一郎日記の同日条に記載あり／177

1389-01 順作・直吉宛 御役所書状（根岸の本間孝太郎献金につきまず会談所、元締所より去年の謝礼申し上げが然るべく）／一通（二紙）／明治二年正月二五日／一四・六×四九・〇／切紙 楮紙／御役所↓順作殿・直吉殿／根岸之本間孝太郎儀：右

評判之趣可被御申上候以上／1389-01、04紙縫一括／奥裏に概要の記載あり、物書関係の日野順作、小倉直吉か／177

1389-02 会談所・元締所宛 御役所書状（白金屋敷鉄砲張立小屋拝借の染屋善右衛門立ち退きの御手擬として玄米一俵下賜の評判）／一通（一紙）／明治二年正月三日／一四・九×二七・六／切紙 楮紙／御役所↓会談所・元締所／白銀御屋敷内鉄砲：御内談致候以上／1389-01、04紙縫一括／会談所、物書が別意無き旨の書き込みあり、奥裏に概要の記載あり／177

1389-03 忠三郎宛 御役所書状（明日御着の上一統に御酒下賜には器不足のため御壺に盛りたく）／一通（一紙）／明治元年一月二日／一四・四×二八・二／切紙 楮紙／御役所↓忠三郎殿／明日御着之上：右評判之趣可被御申上候以上／1389-01、04紙縫一括／会談所、御金蔵が別意無き旨の書き込みあり／177

1389-04 順作・忠三郎宛 御役所書状（当時、齊憲の御趣意を弁え東京謹慎の詰合一統へ寒中御勞りとして御酒下賜然るべき旨内談）／一通（二紙）／明治元年二月一日／一四・五×四六・〇／切紙 楮紙／御役所↓順作殿・忠三郎殿／当日詰合一統：右評判之趣可被御申上候以上／1389-01、04紙縫一括／会談所からの返答の記載あり、それをうけ御役所から順作・忠三郎へ転送、会談所は木滑政慮の筆／177

1390 報告書（大垣藩の一〇月付藩政改革書写、膳所藩知事宛山崎権大參事他の意見書、京都藩邸の処置につき二月付太政官達）／一通（九紙）／明治二年カ／一五・〇×四四七・八／切紙 楮紙／一他之藩々同済之条件：但拝借地之分御返上可然事／端裏書「東京状」／包紙あり、端裏の記載から、東京で写し取られた文書が国許に送られたものか／177

1394-01 米沢藩宛 兵部省達書（別紙の者、函館表にて官軍に抗衡につき引き渡し、その藩にて禁錮五〇日のこと）／一通（三紙）／（明治二年）十一月／一九・五×八九・八／切紙 楮紙／兵部省↓米沢藩／別紙名前之者：禁錮申付候事／端裏に付箋あり、本紙裏に史料名の貼込付箋あり／177

1394-02 人名書（米沢町人次郎左衛門倅茂平）／一通（二紙）／（明治二年）一月／一七・三×一九・五／切紙 楮紙／米沢藩：茂平 メ／1394-01に綴込／177

1397 民部省布告（各藩組合中と接近の府県藩は申し談ずべきこと他二か条）／一通（二紙）／（明治二年）七月／二〇・〇×七四・四／切紙 楮紙／民部省／一各藩組合中：布告致為可き事／「東京御帳」の明治二年七月二日条に記載あり／177

1400 東京府御役所宛 米沢藩森長義伺書（麻布飯倉片町上杉家屋敷脇の組合辻番所取り払いたく）／一通（二紙）／（明治二年）一月二日／一九・九×五二・八／切紙 楮紙／米沢藩杉山盛之進↓東京府御役所御中／麻布飯倉片町：此段奉伺候以上／東京府御役所、伺の通りとすべき旨の付札あり、「東京御帳」の明治二年一月二日条に記載あり／177

1401 米沢詰之間宛 東京寓舎書状（篤之助、忍松平家縁組内定の件、片山一貫を公議人に御差出、松本誠藏・堀尾啓助暗殺一件他）／一通（七紙）／（明治二年）三月七日／一六・五×三七七・二／切紙 楮紙／寓舎↓詰之間／篤之助様御縁談御内定御申越：英助出立明朝之方二相成候以上／端裏書「三月七日夜付御用状」↓下総守様は忍藩主松平忠誠／177

1403 高橋九之助宛 米沢軍政府申渡書（昨年越後に鉛献納奇特、刀一腰、樽一荷遣わす）／一通（三紙）／明治二年四月／一七・八×七六・〇／切紙 楮紙／米沢軍政府↓高橋九之助殿／昨年越後表争擾二付：刀一腰樽一荷遣之もの也／177

1404-01 会談所諸君宛 片山一貫書状（一〇月中警衛人数交替につき士分・足輕各々一小隊ずつ、周旋方二人、喇叭手二人御登せ下されたく他）／一通（三紙）／（明治二年）九月四日／一六・五×七三・四／切紙 楮紙／三平押↓会談所諸君／別啓本邸大隊頭申出：御恵評之程奉仰候以上／1404-01-02 包紙一括／本書状は1404-02の別紙に相当／177

1404-02 会談所諸君宛 片山一貫書状（執参を権参事として然るべき義、先般引替金のうち價金あり、雲井龍雄上京の由にて驚愕、勤学生御内用金他）／一通（四紙）／（明治二年）九月四日／一五・二×一三六・四／切紙 楮紙／三平↓米沢会談所諸君／一輪拜啓何事も至急之事故四日：奉遥祈候草々九拜／1404-01-02 包紙一括／包紙表に「御用筋 大滝新蔵様 倉崎七左衛門様 黒井小源太様 三瀧清蔵様 木滑要人 越甚五左衛門」、裏に「十二月廿日付」とあり、文中の中島五位は中島錫胤、源太郎は中之間年寄小川源太郎／177

1405 森長義書状（正権大参事は執参相当との太政官布告につき、官掌手塚泰助の指図を仰ぎ、なお書取をもって中島五位に伺い、その通りにてよろしきとの返答）／一通（二紙）／（明治二年九月頃）／一六・五×七四・八／切紙 楮紙／杉山盛之進／公議人ハ執参中分可相勤旨：執参之事／1404-02に同様の内容あり、言及はないが1404-01の別紙か／177

1406 宮島誠一郎書状（蝦夷地開拓は出願遅れなきようとの大久保参議の忠告、実効なく削地繰替の寛典につき政府内で失策との声あり、蝦夷地開拓を出願し御奉公ありたしとの森寺邦之輔の忠告を報ず）／一通（三紙）／（明治二年）九月四日／一六・六×一〇九・七／切紙 楮紙／宮島誠一郎／蝦夷開拓之義：難計此段申上候以上／米沢

藩執参宛か、1402-02に蝦夷地開拓出願の件に言及があり、同文書中の「別紙」に相当か／177

1408-01 米沢詰之間宛 麻布詰之間書状（篤之助様御引移後別条なし、佐渡様御同様御出精、駿河守様公議人誰ぞ一人差登せ下されたく）／一通（二紙）／（明治二年）四月二日／一六・六×六四・二／切紙 楮紙／麻布詰之間↓米沢御詰之間／両御地御方々様益御機嫌能成御座：右申入度迄草々以上／1408-01-04 包紙一括／包紙あり、表に「本庄大和殿 万願寺与一殿 毛利上総殿 中条豊前殿 加地権平」裏に「〇四月廿八日付五月十日御詰」とあり／177

1408-02 報告書（今二七日、刑法官にて長沼良之輔より聞く趣として、松前の戦況、回天座礁、不日鎮定の見込み、役人一変の模様につき明日より刑法官を會計官宅へ移す由）／一通（二紙）／（明治二年四月頃）／一六・五×四八・五／切紙 楮紙／一 今廿七日於刑法官長沼氏二内々：余り手狭なる事といふ／1408-01-04 包紙一括／差出人は筆跡等から堀尾保助と推定、1408-01の記述から、本史料はその別紙と判断される、堀尾は芝浄雲院詰、麻布詰之間宛カ／177

1408-03 意見書（上杉勝道の見込書出来次第、東京へ差し登されたし、公議人御差し登せは御用人又は御小姓筆頭にて然るべく）／一通（一紙）／（明治二年四月頃）／一六・五×一九・三／切紙 楮紙／今日五ツ時麻布重役御呼出二付：又ハ御小姓筆頭二而も可然存候／1408-01-04 包紙一括／付札に「麻大夫登之節ハ勿論用人壹人道中仮名タルヘシ」とあり、1408-01にも関連記載あり、米沢詰之間宛カ、筆跡から作者は宮島誠一郎と推定、宮島は芝浄雲院詰／177

1408-04 麻布詰之間宛 報告書（四月二五日刑法官にて長沼良之輔からの聞き取り、赤湯村角次仲々間四人手負わせ一件、削地下長井へ繰替、草莽が後藤・木戸排除を迫り政府動揺の模様他）／一通（三紙）／（明治二年四月頃）／一六・九×一五八・一／切紙 楮紙／一 四月廿五日刑法官へ：于今勝敗候儀ハ付申来候由外統之／1408-01-04 包紙一括／柱題「密」、差出人は筆跡等から堀尾保助と推定、本史料は1408-01の別紙と判断、堀尾は芝浄雲院詰／177

1410 本庄昌長他二名宛 斎藤篤信書状（斎憲叙爵の仰せ蒙り無事発駕、私は待詔院奏任出仕、藩制改革は御勇断ありたく、愚意参考に供す他）／一冊（三丁）／（明治二年）一月一日／二三・五×一五・八／豎帳 紙縫綴冊子装 表紙無し 楮紙／主計↓御詰之間／一簡致拜啓候寒冷之候二御座候処：申上度迄如此御座候以上／包紙あり、表に「本庄大和様毛利上総様新保左馬之助様 斎藤主計」、裏に「〇十一月朔日御渡十二月十二日写済」の記載とあり／177

1412 米沢藩宛 若松県通知書（若松民政局廃止、若松県新設につき引合のため印鑑御回し置きのこと）／一通（二紙）／（明治二年）六月／一九・五×五一・六／切紙

紙 楮紙／若松県↓米沢藩／今般若松民政政局被廢：仍而此段申進候者也／包紙あり、米沢藩 岩代国若松県」と記載あり／177

1413-02 会計官宛 古藤政徳伺書（今般府藩県へ石高に応じ金札割渡、同額の正金を会計官へ上納と御達しのところ、昨年一月召上の四万石の地所は引渡し済ます、この分の取立につき）／一通（二紙）／（明治二年）六月一日／一九・一×五七・〇／切継紙 楮紙／上杉式部内古藤伝之丞↓会計官御役所／今般府藩県共高壹万石二付：上納可仕候哉奉伺候以上／端裏朱書「六月十四日」／1413-01-05紙縫一括／包紙あり、付札に「書面上地之分いまた不引渡上者伺之通可被相心得候」と記載あり／177

1413-03 会計官宛 古藤政徳伺書（今般府藩県へ石高に応じ金札割渡、同額の正金を会計官へ上納と御達しのところ、末家駿河守は領地所持せず、正金上納御免下されたく）／一通（三紙）／（明治二年）六月一日／一九・一×九五・〇／切継紙 楮紙／上杉式部内古藤伝之丞↓会計官御役所／今般府藩県共高一万石二付：此段奉伺候以上／端裏朱書「六月十四日」／1413-01-05紙縫一括／包紙あり、付札に「書面伺之通引替二不及候」とあり／177

1415 「御目録留」（明治二年八月～同三年六月の上杉齊憲・茂憲からの贈物の目録書控、一部は書式を図示）／一冊（三二丁）／明治二年／一五・六×二三・三／横半帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／赤ラベル表記無／177

1416-01 「大殿様御発駕御行列」（上杉齊憲の従五位叙位のため上京につき）／一冊（七丁）／明治二年一月／一一・四×三三・五／横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／177

1416-02 行列帳（仰先立から大竹籠まで）／一冊（四丁）／（明治二年カ）／一一・五×三四・〇／横帳 長帳綴 表紙無し 楮紙／1416-01と類似だが小規模へ／177

1416-03 行列帳（一之手、二之手分、一之手は大井田隊カ）／一冊（一九丁）／（明治二年カ）／一一・三×三二・七／横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／現状は一か所のみで綴じ、二隊分で「御」の記載なし、他2点と無関係カ／177

1419 四条家役人宛 惣持寺口上書（摂津県より拙寺納所召し出され、惣持寺儀は田安家支配につき左様承知すべき旨驚愕、当御殿（四条隆平）へ歎願す）／一通（二紙）／明治二年三月十九日／二七・五×六八・〇／切継紙 楮紙／摂州惣持寺（黒印）↓四条様御役人中様／一 今般摂津県分拙寺納所：難有仕合七奉存候以上／端裏書「摂州総持寺願書」／柱題「奉嘆願口上」／177

1420 上宛 北村屋久三郎願書（天皇東幸に御供する十津川郷士の御賄御用を引き続き務めたく）／一通（四紙）／明治二年三月／三六・五×一四三・五／継紙 楮紙／高辻通油小路東入町 北村屋久三郎（黒印）↓上／私儀従来御為筋：難有仕合可奉存候以上／裏打あり／柱題「乍恐奉懇願上候御事」／177

1423 日記断簡（六月二五日付東京府宛 木滑政愿書類の控、浜町屋敷に盗品と思しきものあり他）／一通（一紙）／（明治二年）六月二五日／二四・〇×三三・二／縦紙 楮紙／東京府 御役所：一之外二礼服／筆跡と内容から作者は木滑政愿と推定／177

1434 大滝忠善建白書（藩政改革のため政府を本城へ移す、門閥廃止他八か条）／一冊（四丁）／（明治二年）一月／二七・二×一九・七／縦帳 紙縫綴冊子装 表紙無し 楮紙／大滝忠善敬具／大滝忠善は新十郎／177

1435 本庄藩他出羽国内九藩公用人宛 米沢藩廻章（上杉齊憲叙爵御礼のため上京を報知）／一通（三紙）／（明治二年）一月一日／一九・三×一一・〇・七／切継紙 楮紙／米沢藩 杉山盛之進↓本庄御藩他九藩 右公御用人中様／以廻章致啓上候：如斯御座候以上／宛名の下に各藩の返事を記載、封紙あり、封紙ウワ書「廻章」／177

1519-09 大滝忠恕他二名宛 鐘久尾他二名書状（井上広松と申すもの米沢藩を名乗り越後徘徊につき召捕のこと）／一通（六紙）／（明治二年カ）七月一日／一五・三×一二七・四／切継紙 楮紙／久尾他二名↓会谈所御中／井上広松申もの米沢藩を名乗り：余ハ後首委細可申上候以上／1519-01-13紙縫一括／封紙あり／221

1520-01 米沢藩宛太政官達書写（雲井龍雄その藩へ御預けにつき至急引取のこと）／一通（一紙）／庚午（明治二年）五月／一三・八×二七・八／切紙 楮紙／太政官↓米沢藩／雲井龍雄儀其藩江御預：嚴重取締可致候事／1520-01-05紐一括、1520-01-03紐一括／221

1520-02 御同人宛 保書状（雲井龍雄藩地へ引取、麻布様軍資金御免につき願の通り仰出のこと）／一通（二紙）／（明治二年）五月一日／一五・〇×八〇・七／切継紙 楮紙／保↓御同人様／前文御用捨然は小島龍三郎事雲井龍雄：時候御厭之程奉願候以上／1520-01-05紐一括、1520-01-03紐一括／221

1520-03 五人宛 兩人書状（雲井龍雄引取につき苦心のこと、千坂高雅大参事罷免願書につき、兵部省より森長義を軍監任命他）／一通（七紙）／午（明治三年）七月二日／一五・〇×二七〇・七／切継紙 楮紙／兩人↓御五人様／明廿二日卯之刻六日使：折角時下御保護奉祈念申候以上／端裏書「機密之事有之候二付御心得可被成下候以上」／1520-01-05紐一括、1520-01-03紐一括／221

1521102 民部輔口達控(取締の監察使を差し回すにつき御趣旨貫徹尽力のこと)／一通(三紙)／(明治二年カ)／一七・八×八一・五／切継紙 楮紙／民部輔殿口達之大略：貫徹候様尽力可致事／152110110紐一括／221

1521105 弁事役所宛 古藤政徳伺書(主人駿河守(上杉勝道)持病につき出府仕兼ね、名代重臣をもって天機伺いたく)／一通(二紙)／(明治二年カ)五月一八日／二〇・〇×五七・〇／切継紙 楮紙／上杉駿河守内古藤儀之丞↓弁事役所宛先般御布告二付主人駿河守儀：被成下度此段奉伺候以上／端裏書「五月十八日 上杉駿河守」／152110110紐一括／付札あり／221

1521108 上杉勝道公用人宛 弁事伝達所達書(御用の儀につき即刻出頭のこと)／一通(二紙)／(明治二年)六月二四日／一八・一×四七・二／切継紙 楮紙／弁事伝達所↓上杉駿河守殿公用人中／御用有之候条：即刻出頭可有之候也／152110110紐一括／弁事伝達所は明治二年七月に改称により年代を推定／221

1521110 弁事宛 上杉茂憲伺書(家督相続御礼の天機伺につき御礼献上物の伺)／一通(二紙)／巳(明治二年)正月九日／一九・六×四二・五／切継紙 楮紙／上杉式部↓弁事御中／旧臘七日家督相続被仰付：御差函被成下度此段奉伺候以上／152110110紐一括／封紙あり、付札あり／221

1522102 上杉勝道公用人宛 会計官達書(五か年平均租税録につき、今もって提出なく差支えにて至急提出のこと)／一通(二紙)／(明治二年)六月／一七・〇×七〇・八／切継紙 楮紙／会計官↓上杉駿河守殿公用人／先般於皇都御布告相成候：至急差出可被申候也／端裏書「六月」／1522101106紙縫一括／0631103「東京御帳」明治二年六月一日日条に本家宛の同文言を収録／221

1523101 本庄昌長他二名宛 斉藤篤信書状(十分改革による藩内一新につき、今更は旧格禄他で威張る世の中ではなく、高家衆はじめ侍組等が参考の活眼となるべきこと)／一通(四紙)／(明治二年)一月五日／一六・〇×一一・〇／切継紙 楮紙／主計↓御詰之間／一筆致啓上候然私儀是迄：活眼二仕度被存候拜白／1523101103封紙一括／221

1523102 弁官宛 伯太藩知事願書(落債の儀細取調べ提出するよう指図のところ、出格のご憐愍をもって願の趣を下されたく願)／一通(二紙)／明治二年一月／一六・〇×三五・三／切継紙 楮紙／伯太藩知事↓弁官御中／右藩債之儀先般承願仕候処：懇願候以上／1523101103封紙一括／221

1523103 斉藤篤信伺書(三部衛門・一之進のうちいづれかに名を相革め申した伺)／一通(一紙)／巳(明治二年)一月五日／一六・一×三〇・〇／切紙 楮紙／斉藤主計／右兩名之内：此段奉伺候／1523101103封紙一括／柱題「覚」／2

21

1524101 千坂高雅・竹俣久綱宛 中條明資・毛利業広書状(今日のことまづ格別の儀にも至らず、今晚固の方申しつけ、明二日差立てのこと)／一通(三紙)／(明治二年)一月二日／一五・〇×五五・五／切継紙 楮紙／東京詰之間↓米府御詰之間／昨廿日夜固今朝飛脚：書通結副差下申候以上／1524101102封紙一括／221

1524102 千坂高雅・竹俣久綱宛 中條明資・毛利業広書状別紙(会津藩秋月悌次郎への尋問概要等長沼氏の談話報知)／一通(四紙)／(明治二年)正月二日／一四・五×一二・六・五／切継紙 楮紙／清助／一昨夕監察長沼氏の嘶会津藩：諸話之内申上置候以上／1524101102封紙一括／221

1525101 本庄昌長他二名宛 毛利業広・中條明資書状(秋田藩より廻状をもって達書一通・雛形一通到来につき、至急取調の上雛型の通り認め廻達のこと)／一通(三紙)／(明治二年)三月晦日／一五・〇×八二・三／切継紙 楮紙／毛利上総(黒印)・中條豊前(黒印)↓本庄大和殿他二名／一筆令啓達候然は去ル廿五日：如斯御座候恐々謹言／端裏書「以付札申入候」／1525101103封紙一括／221

1525102 本庄昌長他二名宛 毛利業広・中條明資書状別紙(麻布飯倉片町へ御屋敷引き移りにつき、別紙の通り木下三平弁事役所へ持参し官掌落手のこと)／一通(三紙)／(明治二年)三月／一五・〇×五八・五／切継紙 楮紙／上総・豊前↓本庄大和殿他二名／以別紙申入候然は昨廿八日：右之趣為可申入如斯御座候以上／端裏書「以付札申入候」／1525101103封紙一括／付札あり／221

1525103 本庄昌長他二名宛 毛利業広・中條明資書状別紙(東下の諸侯供連の儀伺書へ付札をもって指図あり、布告書等差下すにつきよろしく取り計らいのこと)／一通(二紙)／(明治二年)三月二日／一六・五×六五・八／切継紙 楮紙／上総・豊前↓本庄大和殿他二名／以別紙申入候然は去ル十五日：右之趣為可申入如斯御座候以上／端裏書「以付札申入候」／1525101103封紙一括／付札あり／221

1526101 大滝忠恕他二名宛 三瀧政清書状(貞姫様一条につき、旧臘再縁願差出し、その後西京において交渉の経過報告)／一通(四紙)／(明治二年)三月一四日／一四・五×九二・六／切継紙 楮紙／清蔵↓宮内様他二名／貞姫様御一条二付：右様御含可被下候頓首／1526101102封紙一括／221

1526102 大滝忠恕宛 庄田秀苗・木滑政原書状(貞姫一条につき、三瀧政清上京にて再縁の交渉経過報知)／一通(四紙)／(明治二年)三月一四日／一五・〇×八二・五／切継紙 楮紙／甚五右衛門・信大夫↓新蔵様／三瀧同僚別紙之一条小子共評は：宜敷御心得可有之候以上／1526101102封紙一括／221

1527 徳太郎宛 十郎書状(修行として一か年滞留のこと申し出につき、小川・森より会谈所へ参り御不審の段仰せ下さり御尤ものことなるも、何分にも御推察下された)／一通(三紙)／(明治二年)三月晦日／一六・四×一〇・一〇／切継紙 楮紙／十郎↓徳太郎様／私儀為修行一ヶ年滞留之条申出：幾重にも奉願候頓拜／221

1529 千坂高雅他二名宛 中條明資書状(小姓頭容態急変にて死去につき、跡役検討のこと)／一通(六紙)／(明治二年)一月二十七日／一四・二×一九四・二／切継紙 楮紙／東京詰之間↓米沢御詰之間／天道是乎非乎嗚呼：不取敢此条のミ拝置以上／端裏書「十一月廿七日付十二月朔日相達本国之分」／封紙あり／221

1531-01 米沢皆様宛 東京二人書状(長沼氏の話にて薩摩の軍艦一艘品川沖にて破船、京師にて郡県論の議論には西国藩にも不同意あり他)／一通(七紙)／(明治二年)二月晦日／一六・五×三二四・一／切継紙 楮紙／東京二人拜↓米沢皆様／一翰拜啓仕候不同之：折角御自愛奉願候以上／1531-01-08紙縫一括／221

1531-02 米府宛 白銀邸書状(郡県論諸藩主張につき、米沢のみ異見別論申し唱えては天下不通のこと)／一通(二紙)／(明治二年)二月九日／一六・五×一〇・五／切継紙 楮紙／銀邸↓米府／今十九日夜中迄も：御英断奉仰望候以上／端裏書「東二月十九日付御用状」／1531-01-08紙縫一括／221

1531-04 大滝忠恕他二名宛 古藤政徳書状(幕臣一件も委細談判、御下ヶ金につき会計金払底にて京師より差上なくては渡し兼ねる、新発田および周辺の状況報知)／一通(五紙)／(明治二年)二月二日／一五・一×一五八・三／切継紙 楮紙／伝之丞↓宮内様他二名／今并勘定頭着二相成：宜御心得置可被下候頓首／端裏書「新発田〇二月二日付」／1531-01-08紙縫一括／221

1531-05 対話覚書(郡県への移行に向けた多久与兵衛との対話)／一通(二紙)／(明治二年)二月七日／一六・三×八三・五／切継紙 楮紙／兩人開口旧冬会津降伏人：真二勤王之実効と可申云々／1531-01-08紙縫一括／柱題「二月七日味口越木戸弁事多久与兵衛宅対話」／221

1531-07 小川忠弘・宮島誠一郎談判覚書(版籍奉還に関する談判)／一通(三紙)／(明治二年)二月七日／一六・二×一一六・三／切継紙 楮紙／二月七日小川源太郎：肥前は一切承知不致候云々／1531-01-08紙縫一括／221

1676-03-01 上杉茂憲上意達書(版籍奉還上表をうけ儉約のこと)／一通(三紙)／明治二年三月二五日／一五・〇×九四・五／切継紙 楮紙／今般封土御返上：可申達との上意二候事／1676-01-05紙縫一括、1676-03-01-02包紙一括／後半に儉約令を記載／232

1676-03-02 孝明天皇宸翰写(参勤交代の緩和と武備充実、上洛の廃典を再興した幕府を賞与、軽拳に攘夷にあたった三条実美と長州藩を非難)／一通(九紙)／文久四年正月二七日／一四・四×二七四・二／切継紙 楮紙／朕不肖ノ身ヲ以：山陵ヲ安シ奉リ(後欠) 1676-01-05紙縫一括、1676-03-01-02包紙一括／後半部欠／232

1676-04-01 米沢五人宛 小島書状(郡県論につき決断の上、要人持参を希望す、福聚院の代地につき堀尾が徳川家用人前島密に相談、棚倉藩士檄文と宮島建白を一覧下された他)／一通(四紙)／明治二年二月九日／一五・一×一二二・二／切継紙 楮紙／江 小島拜↓米 御五人様／一翰致拜啓致候：余者後信ニ相讓候頓首／1676-01-05紙縫一括、1676-04-01-02包紙一括／作者は小島徳太郎カ／232

1676-04-02 棚倉藩士安川繁成檄文写(奥羽列藩は是非とも版籍奉還し、国是を計り王事に勤勞すべしとのこと)／一通(三紙)／明治二年二月一六・七×一五五・三／切継紙 楮紙／阿部基之助外交官 安川文九郎／凡人ハ天地間の靈物：御裁許ヲ仰候事／1676-01-05紙縫一括、1676-04-01-02包紙一括／仙台南部庄内辺での遊説と対応、私見を記載、1676-04-01の別紙／232

1676-05-01 水野忠敬宛 外国官伺書写(開鎖の論古今議者の説多し、開国ならば方今の交際永続すべきか、鎖国ならば攘夷を決心か等につき一七項目)／一通(四紙)／(明治二年カ)／一六・六×二三七・一／切継紙 楮紙／外国官／一 開鎖ノ論古今：御評議希望仕候／1676-01-05紙縫一括、1676-05-01-03包紙一括／水野羽後守宛に外国官より尋ねたものとの記載あり／232

1676-05-02 弁官宛 榊原政敬嘆願書写(高田藩転封時より困窮、維新に際し、文武奨励、人材育成のため不足分は増加ありたく)／一通(四紙)／近代(明治二三年)一二月一日／一六・四×二三四・九／切継紙 楮紙／乍恐謹白奉歎願候：誠惶誠恐頓首謹言／1676-01-05紙縫一括、1676-05-01-03包紙一括／232

1676-05-03 酒井忠義宛 沙汰書写(酒井忠悳、鳥羽伏見の戦いにて徳川慶喜に与せし罪により蟄居、養子直之助が家督相続他)／一通(三紙)／(明治元年)五月／一七・五×一九・四／切継紙 楮紙／別紙之通酒井：御沙汰候事／1676-01-05紙縫一括、1676-05-01-03包紙一括／酒井若狭守忠義は小浜藩主、酒井雅楽忠悳は姫路藩主／232

幕末維新期—明治二年～四年—明治三年

1134-111 藩庁御役所宛 石丸双橋伺書(炊出係小川藤助自己の見込みをもって差留不調法につき下知願)ノ一冊(二丁)ノ明治三年一〇月九日ノ二九・七×一六・七ノ縦帳 紙縫綴冊子装 表紙無し 楮紙ノ石丸双橋(黒印)ノ藩庁御役所ノ1134-1101ノ紙縫一括ノ柱題「以書付不調法申上候事」ノ無

1134-112 会計局宛 藩庁少属伺書(当表差留なく下知取消然るべきにつき内談)ノ一通(二紙)ノ明治三年一〇月一〇日ノ一五・〇×四・〇ノ切紙 楮紙ノ藩庁小属ノ会計局ノ右之通函以下ノ御内談いたし候ノ1134-1101ノ紙縫一括ノ会計局・小参事ノ回答ありノ無

1224-110 弾正台宛 米沢藩伺書(藩の監察掛の奏任官非違糾弾、弾正台笠提灯目印利用につき伺)ノ一通(三紙)ノ庚午(明治三年)十一月三日ノ二〇・五×八三・〇ノ切紙 楮紙ノ米沢藩ノ彈正台御中ノ藩之監察掛者ノ右両条奉伺候已上ノ端裏朱書「庚午十一月十三日」ノ1224-101ノ紙縫一括ノ包紙あり、付札ありノ170

1224-111 弁官宛 米沢藩願書(国内外神社取調差出につき猶予願)ノ一通(二紙)ノ庚午(明治三年)二月二六日ノ二一・三×九一・五ノ切紙 楮紙ノ米沢藩ノ弁官御中ノ先般国内大小神社ノ此段奉願候以上ノ端裏朱書「庚午十二月廿六日」ノ1224-101ノ紙縫一括ノ包紙あり、付札ありノ170

1231-110 刑部省宛 米沢藩伺書及付札(戦犯の取扱につき伺および刑部省からの回答)ノ一通(四紙)ノ庚午(明治三年)九月一七日ノ一八・七×一七二・一ノ切紙 楮紙ノ米沢藩ノ一首タルモノ鼻ノ御届致候コトニ候哉以上ノ1231-101ノ紙縫一括ノ前欠カノ無

1231-102 弁官宛 米沢藩知事願書(当藩毛利大参事病身につき願いの通り罷免下されたく)ノ一通(二紙)ノ(明治三)庚午一〇月一五日ノ二〇・五×五八・〇ノ切紙 楮紙ノ米沢藩知事ノ弁官御中ノ当藩毛利大参事近來ノ御執奏被成下度奉存候ノ1231-101ノ紙縫一括ノ170

1231-104 米沢藩権大参事宛 兵部省達書(御用につき明三日参省のこと)ノ一通(二紙)ノ(明治三年)八月二日ノ一七・六×七九・〇ノ切紙 楮紙ノ兵部省ノ米沢藩権大参事殿ノ御用之儀有之候条ノ十一字参省可有之候也ノ1231-101ノ紙縫一括ノ「東京御帳」同日条に記載ノ170

1231-105 米沢藩公用人宛 弁官伝達所達書(御用につき明一三日巳刻礼服用にて出頭のこと)ノ一通(二紙)ノ(明治三年)八月二日ノ一八・一×六六・五ノ切

紙 楮紙ノ弁官伝達所ノ米沢藩公用人ノ御用之儀候間明ノ出頭可有之候也ノ1231-101ノ紙縫一括ノ「東京御帳」同日条に記載ノ170

1231-108 刑部省宛 米沢藩伺書(御一新以来城内を藩庁と改めにつき、藩庁他役所内の窃盗は他所より罪一等加えるべきや)ノ一通(二紙)ノ庚午(明治三年)一〇月三日ノ一七・四×九六・一ノ切紙 楮紙ノ米沢藩ノ刑部省ノ從來藩ニ於て城内之盗ハ此段奉伺候以上ノ1231-101ノ紙縫一括ノ170

1262-102 藩庁宛 興禅寺願書(拙僧住持職仰せ付けられる節、先例により金下賜下されたく)ノ一通(二紙)ノ庚午(明治三)二月二日ノ二一・七×一〇一・〇ノ切紙 楮紙ノ興禅寺ノ御藩庁御掛中様ノ拙僧住持職被仰ノ御聞濟奉願上候以上ノ柱題「奉祈願候事」ノ170

1368 「御触書」写(常備兵関係者の日記、明治三年一〇月一八日ノ同五年一月三日)ノ一冊(九三丁)ノ(明治期)ノ二五・一×一七・〇ノ縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 機械漉紙ノオ本・三〇ノ「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用、元の作者は内藤新一郎カノ176

1376 「備忘」(藩庁規則、諸局規則、民事局規則他七六項目、同四年九月の諸制度概要)ノ一冊(二一六丁)ノ明治三年一〇月九日ノ八×一八・六ノ横半帳 長帳綴白茶地原表紙 楮紙ノヒ〇本 林泉文庫ノ墨付八八丁、表紙に墨書「丈清」とありノ177

1381 米沢藩宛 弁官達書(宮島誠一郎儀、待詔院下院への出仕御免)ノ一通(二紙)ノ庚午(明治三年)閏一〇月一九日ノ一六×六六・九ノ切紙 楮紙ノ弁官ノ宮島誠一郎儀ノ此旨相達候也ノ端裏朱書「庚午閏十月」ノ177

1383 米沢藩宛 弁官達書(上杉家家禄は藩制定額をもって二九二石六斗下る)ノ一通(五紙)ノ庚午(明治三年)二月一八日ノ一八・二×一六八・七ノ切紙 楮紙ノ弁官ノ米沢藩ノ上杉従五位家禄ノ此段相達候也ノ177

1386-101 弁官宛 森長義届書(別紙取調書暗殺一条仙台藩刑部省に何につき届)ノ一通(二紙)ノ午(明治三年)二月一九日ノ二×七九・〇ノ切紙 楮紙ノ米沢藩公用人森三郎ノ弁官御役所ノ別紙取調書之趣ノ此段御届申上候以上ノ1386-101ノ紙縫一括、1386-101ノ封紙一括ノ177

1386-102 弁官宛 森長義届書(国事に斃れた者共を御取調書上の御達につき謝罪使者堀尾啓助・松本誠蔵を報告)ノ一通(三紙)ノ午(明治三年)二月一九日ノ二×八五・四ノ切紙 楮紙ノ米沢藩公用人森三郎ノ弁官御役所ノ右者明治元戊辰ノ知事申付越候以上ノ1386-101ノ紙縫一括、1386-101ノ封紙一括ノ177

1386-03 太田郷輔・上田登之助書状(謝罪相談の使者非命の死、其節の挨拶向一切わからずにつき通知)／一通(三紙)／(明治二年カ)二月／二〇・五×一・一五・〇／切継紙 楮紙／太田郷輔・上田登之助／先般御謝罪の儀：重役共申付候／1386-011512紙綴一括、1386-011506封紙一括／177

1386-04 報告書(堀尾啓助、松本誠藏暗殺の仙台藩士日野徳次郎につき仙藩佐沢良平・菅原龍吉書状、刑部省伺書下書、吟味取調書)／一冊(五丁)／(明治三年二月)／二四・二×一六・〇／豎帳 紙綴綴冊子装 表紙無し 楮紙／1386-011512紙綴一括、1386-011506封紙一括／作成者は芹沢政温・目黒忠利と推定／177

1386-05 芹沢政温・目黒忠利報告書(日野徳次郎口書不審につき仙台藩への談判並びに届書案)／一点(三紙)／(明治三年)二月／一四・五×一〇八・〇／切継紙 楮紙／芹沢善三郎・目黒八郎／談判之趣：此段重而申上候以上／1386-011512紙綴一括、1386-011506封紙一括／柱題「日野徳次郎口書之内不審之廉々於東京仙藩人へ二応談判合之上御届書差出相成候様仕度左二申上候」／177

1386-06 佐沢良平・菅原龍吉宛 目黒忠利・芹沢政温書状(堀尾啓助無印鑑ゆえ殺害との口実になつては迷惑につき通知)／一通(五紙)／(明治三年)二月一日／一四・七×一五七・〇／切継紙 楮紙／目黒八郎・芹沢善三郎↓佐沢良平様・菅原龍吉様／貴翰致拝見候：如此御座候以上／1386-011512紙綴一括、1386-011506封紙一括／177

1386-07 諸役職者俵数書上(諸役勤方の恩賞の俵数取り調べ)／一通(三紙)／(明治三年カ)／一四・五×八九・二／切継紙 楮紙／一三十俵 大参事：御貨物蔵役 ヌ／1386-011512紙綴一括、1386-011512封紙一括／柱題「諸役勤方為御賞二代目江被成下俵数取調」／177

1386-08 達書写(屋形様少将御昇進につき太刀馬代献上のこと、原本は天保四年七月五日付)／一通(二紙)／江戸後期(年月日未詳)／一四・八×三八・五／切継紙 楮紙／一天保四年七月五日：申渡之候事 ヌ／1386-011512紙綴一括、1386-011512封紙一括／柱題「天保四年七月五日御達左之通」／177

1386-09 書上写(水野和泉守他將軍上洛御供および留守役骨折の者褒美の取調、原本は文久三年付)／一通(一紙)／江戸後期(年月日未詳)／一四・七×三一・〇／切紙 楮紙／御刀 備前長守：泊をも仕骨折候付／端裏朱書「文久三年十一月廿九日付四日飛脚申来」／1386-011512紙綴一括、1386-011512封紙一括／177

1386-10 達書写(病後御城へ罷り出、万石以上の御礼につき、原本は天明七年

九月一七日)／一通(一紙)／江戸後期(年月日未詳)／一六・四×四八・〇／切紙 楮紙／万石以上之：御礼者無御座候／端裏書「松平左近將監様今：もらひ被成候由にて御渡シ」／1386-011512紙綴一括、1386-011512封紙一括／柱題「大屋遠江守殿被相渡候書付写」、本紙裏に寛政年間に写した旨の墨書あり／177

1386-11 御役所用状(小森次郎右衛門、貞姫様詰切勤めにつき褒美を御役所・会談所・元締所で回議)／一通(一〇紙)／明治元年二月／一五・〇×一二〇・六／切継紙 楮紙／御役所↓会談所・元締所／小森次郎右衛門儀：御内談いたし候以上／端裏書「〇十二」／1386-011512紙綴一括、1386-011512封紙一括／複数の伺書を継ぐ／177

1386-12 御記録所用状(乱心断絶苗字も先例の通り末家嫡子をもって本家相続につき)／一通(四紙)／慶応三年二月／一五・〇×一一七・五／切継紙 楮紙／御記録所／右之通相見申上候：此段申上候以上／1386-011512紙綴一括、1386-011512封紙一括／柱題「別紙御渡二付遂詮議候処左之通」／177

1387-01 米沢藩宛 兵部省達書(遠藤参三郎、翻譯局書記に任命)／一通(二紙)／庚午(明治三年)二月三日／二〇・五×六六・〇／切継紙 楮紙／兵部省↓米沢藩／其藩遠藤参三郎：此旨相達候事／1387-011510紙綴一括／177

1388-05 弁官宛 米沢藩知事伺書(天機伺不参のため進退につき)／一通(二紙)／庚午(明治三年)一月四日／二〇・四×八一・五／切継紙 楮紙／上杉米沢藩知事↓弁官御中／去ル朔日：此段奉伺候以上／1388-011510紙綴一括／端裏書ウウ書「庚午十一月四日 伊藤管掌御渡」／177

1388-06 弁官宛 米沢藩伺書(御布令の曆、藩にて更に刊写管内限り施行したく)／一通(二紙)／庚午(明治三年)一月／二一・二×七六・〇／切継紙 楮紙／米沢藩↓弁官御中／年々御布令：此段伺候以上／1388-011510紙綴一括／177

1388-07 弁官宛 米沢藩願書(海軍資金上納分、雪中道路差支か今に到着せず猶予下されたく)／一通(二紙)／庚午(明治三年)二月二六日／二一・〇×九九・〇／切継紙 楮紙／米沢藩↓弁官御中／海軍資金：此段奉願候以上／1388-011510紙綴一括／177

1392 弁官伝達所宛 山吉盛典伺書(江秋水より雲井龍雄へ送付の書類、東京府のいづれに送るべきか指揮下されたく)／一通(三紙)／庚午(明治三年)七月二五日／二〇・三×九二・二／切継紙 楮紙／米沢藩公用人山吉新八↓弁官御伝達所／先達二而奉親候：奉伺候以上／付箋貼付／177

1393 米沢藩宛 東京府通知書（雲井龍雄を一八日一時に当府へ護送のこと）／一通（二紙）／庚午（明治三年）八月一七日／一九・八×四三・三／切紙 楮紙／東京府↓米沢藩御中／士族雲井龍雄 相明十八日：相被出候也／177

1395 米沢藩公用人宛 弁官伝達所達書（御用の儀につき一三日巳の刻出頭のこと）／一通（二紙）／（明治三年）五月二日／一八・〇×六四・七／切紙 楮紙／弁官伝達所↓米沢藩公用人／御用の儀候間：可有之候也／「東京御帳」の同日条に記載あり／177

1396 兵部省達書（先月二九日本丸での兵式天覧の節当番にて出ざる兵員は一三日に天覧、一〇時出揃のこと）／一通（二紙）／（明治三年）二月／一七・四×八七・二／切紙 楮紙／兵部省／先月廿九日於：可伺出候事／内閣官報局「法令全書 明治三年」に記載あり／177

1398 弁官宛 新保朝綱伺書（昨夜藩邸長屋一棟焼失により私の進退如何）／一通（二紙）／庚午（明治三年）二月二日／二〇・一×九五・八／切紙 楮紙／新保米沢藩権大参事↓弁官／昨夜第八字：此段奉窺候以上／端裏朱書「米沢藩」／付札あり／177

1399 弁官宛 米沢藩伺書（従来銭融通一〇〇枚のところ他領同様九六枚にしたく）／一通（二紙）／庚午（明治三年）一月一八日／一八・九×七一・七／切紙 楮紙／米沢藩↓弁官御中／藩内銅銭従前：此段奉窺候以上／端裏朱書「庚午十一月十八日」／付札あり／177

1402 弁官宛 米沢藩伺書（片山一貫、宣教使に不束の義あり、宣教使差免、謹慎申し付け、右代り人選のうえ藩地より差し出したく）／一通（二紙）／（明治三年）庚午一月／二一・〇×七三・三／切紙 楮紙／米沢藩↓弁官御中／片山仁一郎 右者先達而：此段奉伺候以上／端裏朱書「庚午十月」／付札に「人撰之上早々差出可申事」とあり、包紙あり／177

1407 千坂高雅宛 斉藤篤信書状（七日御用召、待詔院へ奏任の列に加えられる、一〇日、尚又御用召、龍顔を拝す、右御吹聴、貴意を得べきこと）／一通（二紙）／（明治三年）一月一五日／一六・五×六七・〇／切紙 楮紙／斉藤三郎右衛門篤信（花押）↓大参事御中／一筆致啓上候：御沙汰奉願候恐惶謹言／包紙あり、表に「大参事御中 斉藤三郎右衛門」、裏に「〇正月十五日御礼状廿七日御誌」とあり／177

1411-01 米沢藩公用人宛 兵部省伝達所達書（御用の儀あり即刻参内のこと）／一通（二紙）／（明治三年）五月三日／二〇・〇×五三・五／切紙 楮紙／兵部省伝達所↓米沢藩公用人中／御用の儀有之候間：即刻参省可有之候也／1411-01 〓02包紙一括／包紙あり、「米沢藩知事」と記載、包紙に付箋あり、「藩印拝受之御礼」と記載あり／177

と記載あり／177

1411-02 弁官宛 上杉茂憲書状（京都留守官より藩印成し下され拝受、御礼申し上ぐ）／一通（二紙）／（明治三年）五月／二八・〇×三八・〇／切紙 楮紙／米沢藩知事茂憲↓弁官御中／今般京都於御留守官：右御礼奉申上候以上／1411-01 〓02包紙一括／「米沢藩」罫紙使用／177

1413-01 弾正台宛 森長義上申書（長沼良之輔、昨年奥羽巡察先の藩県より借請の五〇〇両のうち、未済分、親類の者共返済につき、到着次第早速返上すべく）／一通（二紙）／（明治三年）午一月／一九・二×三〇・〇／切紙 楮紙／米沢藩公用人森三郎↓弾正台御役所／長沼良之輔昨年中奥羽巡察先キ：此段申上候以上／1413-01 〓05紙縫一括／包紙あり／177

1417 弾正台宛 森長義上申書（長沼良之輔、昨年奥羽巡察先の藩県より借請の五〇〇両のうち、未済分云々）／一通（二紙）／（明治三年）午一月／一九・二×六〇・五／切紙 楮紙／米沢藩公用人森三郎↓弾正台御役所／長沼良之輔昨年中奥羽巡察：此段申上候以上／1413-01と同一内容／無

1425 太政官布達書（藩制につき、原本は明治三年九月カ）／一冊（二丁）／（明治三年九月）／一五・二×三八・〇／横帳 長帳綴 表紙無し 楮紙／177

1426 「御布告」（門閥廃止、陪臣の士族編入基準他）／一冊（四丁）／明治三年一月／二六・〇×一七・三／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／177

1433-01 毛利業広他二名 新保朝綱書状（雲従隊仮隊頭安田順吉へ用状差下につき）／一通（三紙）／（明治三年）五月一三日／一四・〇×五一・五／切紙 楮紙／新保新（黒印）↓毛利安積殿他二名／一筆令啓達候：如此御座候恐々謹言／1433-01 〓03封紙一括／封紙あり、全体の封紙に安田順吉下りにつき元状差添とあり、本書状の封紙に五月二日に小嶋へ附属し下り達した旨の記載あり／177

1433-02 米沢藩宛 太政官達書（雲井龍雄を藩地へ引き取り厳重取締のこと）／一通（二紙）／庚午（明治三年）五月／一六・二×四一・五／切紙 楮紙／太政官↓米沢藩／雲井龍雄儀：取締可致候事／1433-01 〓03封紙一括／177

1433-03 米沢藩他四藩宛 山形藩土宇津木雪庭・関口鈞三書状他写（原本は明治三年、前半は五月九日付で、弁官より支配地引き渡し仰せ渡され報知す、後半は五月八日付上山藩より、松平信庸に藩主後見仰せ付けられ報知）／一通（五紙）／近代（年月日未詳）／一四・〇×一二九・七／切紙 楮紙／以廻状致啓上候：廻状持廻り申付候以上／1433-01 〓03封紙一括／177

1521-04 米沢藩公用人宛 弁官伝達所達書（御用の儀につき明日一〇時出頭のこと）／一通（一紙）／（明治三年）六月三日／一七・五×四八・五／切紙 楮紙／弁官伝達所↓米沢藩公用人／御用の儀候間明廿四日：出頭可有之候也／1521-01-10 紐一括／「東京御帳」同日条に記載／221

1982 日誌掛「米沢藩歴日誌」（二〇月二三日、二月二六日、達書・布告書の写、任官免官、褒美、隱居家督等）／一冊（二五六丁）／明治三年／二三・七×一六・一／豎帳 袋綴冊子装 白茶地後補表紙 楮紙／長谷川 堀口／米沢藩印／墨付二四六丁、日誌二冊を合綴、二冊目に署名／無

1984 立岩則親「藩制御改革職員並揭示御布令共一式」（上杉弥五郎家の処遇につき書状写、布告書類、藩制による職員一覧、一〇月二四日以降）／一冊（七三丁）／明治三年／一五・一×三八・二／横帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／少属立岩則親／ハ〇本 已証／無

幕末維新期—明治二年～四年—明治四年

1117-02 三左衛門他二名伺書（万国歴史著者報告願ひ、小森雄次に京都邸委任につき東京評議関係）／一通（六紙）／（明治四年）六月七日／一五・二×一八二・〇／切紙 楮紙／三左衛門他二名／万国歴史：別意無御座候／1117-01-05 紙縫一括／六月一三、七月二日の伺書、回答書あり、いずれも異筆、一部「許可」、「裁決」の朱印あり／170

1231-01 刑部省宛 米沢藩伺書及付札（新律綱領中に了解し兼ねる条件につき伺）／一通（六紙）／明治四年五月四日／一七・七×一七〇・六／切紙 楮紙／米沢藩↓刑部省御中／新律綱領中了解仕兼候条件：御指揮奉仰候也／1231-01-10 紙縫一括／170

1231-06 伝右衛門書状（勝海舟への謝礼の金額と贈答品につき議論）／一通（二紙）／近代（年月日未詳）／一九・〇×五五・七／切紙 楮紙／伝右衛門／勝房州公去年七月：相添候事も可然候／1231-01-10 紙縫一括／原三左衛門、宮島誠一郎他が意見を書き継ぐ、結論は賄料八〇両と糸織三把とあり、文中に閏十月とあり明治三年以降だが年未詳／170

1364 「知事様從五位様御上京ニツキ御行事」（明治四年三月二五日上杉茂憲・斎憲上京、六月三日斎憲帰藩）／一冊（一四丁）／明治四年／二七・一×一九・三／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／176

1409 弁官宛 米沢藩伺書（このたび藩政改革伺の通り聞き届けにつき権大参事高山政康藩地へ差下し、その間、東京御用の節は少参事原正祐取り量らひの伺い）／一通（三紙）／辛未（明治四年）五月二四日／二一・四×九一・〇／切紙 楮紙／米沢藩↓弁官御中／今般藩制改革伺之通御聞届ニ：此段奉伺候以上／端裏書「辛未五月廿四日」、同朱書「米沢藩」／包紙あり、包紙に「毛利上総殿 加地権平殿 島津利馬殿 山本寺伊予」とあり、「伺之通」との付札あり／177

1424 表紙（1424-01-06の表紙）／一枚／近代（年月日未詳）／二八・〇×一九・七／紙縫綴冊子装 厚紙後補表紙／1424-01-06合綴／177

1424-01 弁官宛 上杉茂憲伺書写（人民平均の理に基づき改革につき、原本は明治四年五月一三日付）／一通（四紙）／近代（年月日未詳）／二一・二×一七九・〇／切紙 楮紙／今般人民平均之理に基き：御執奏可被下候以上／1424-01-06合綴／伺の通りとする旨の付箋写あり、原本の差出表記「米沢藩知事」宛所表記「弁官御中」／177

1424-02 弁官宛 上杉茂憲伺書写（〇1と同内容、人民平均の理に基づき改革につき、原本は明治四年五月一三日付）／一通（四紙）／近代（年月日未詳）／二一・二×一七二・八／切紙 楮紙／今般人民平均ノ理ニ基キ：御執奏可被下候以上／1424-01-06合綴／原本の差出表記「米沢藩 知事上杉茂憲」宛所表記「弁官御中」／177

1424-03 「革政大意」（四民平均、禄券、廃刀のこと）／一冊（四丁）／明治四年頃／二七・六×一九・五／豎帳 紙縫綴冊子装 表紙無し 楮紙／1424-01-06合綴／177

1424-04 米沢藩達書写（衣食住の禁制撤廃、組織改編、士族平民の他の身分呼称廃止につき医家は他へ編入のこと、原本は明治四年六月）／一冊（五丁）／近代（年未詳）六月／二七・五×一九・五／豎帳 紙縫綴冊子装 表紙無し 楮紙／1424-01-06合綴／「米沢藩」の野紙を使用、原本の差出表記「米沢藩庁」／177

1424-05 米沢藩知事告諭写（士族に対し、四民平均、士族の常職を解く、原本は明治四年六月）／一冊（二丁）／近代（年月日未詳）／二七・六×一九・五／豎帳 紙縫綴冊子装 表紙無し 楮紙／1424-01-06合綴／原本の差出表記「米沢藩知事」／177

1424-06 米沢藩知事告諭（四民平均、士族の常職を解く）／一冊（四丁）／辛未（明治四年）六月／二七・五×一八・五／豎帳 紙縫綴冊子装 表紙無し 楮紙／米沢藩知事／1424-01-06合綴／木版／177

1427 米沢藩知事告諭案写（四民平均、士族の常職を解く、原本は明治四年六月）／一冊（五丁）／近代（年月日未詳）／二八・〇×二〇・〇／豎帳 紙縫綴冊子装 表紙無し 楮紙／「米沢藩」の野紙を使用／177

1428 米沢藩達書写（衣食住の禁制撤廃につき、原本は明治四年六月付）／一通（一紙）／近代（年月日未詳）／二八・〇×三九・八／豎紙 楮紙／従前衣食住二付：生活安全をなすを要す／「米沢藩」の野紙を使用、綴跡あり／177

1429 米沢藩知事達書写（士族に対し、四民平均、士族の常職を解く、一四二四一〇五と同文、明治四年六月）／一冊（三丁）／近代（年月日未詳）／二八・五×二〇・〇／豎帳 紙縫綴冊子装 表紙無し 楮紙／「米沢藩」の野紙を使用／177

1522-05 上杉茂憲宛 弁官達書（別紙一通達のこと）／一通（二紙）／辛未（明治四年）六月五日／一八・〇×五二・三／切紙 楮紙／弁官↓上杉米沢藩知事殿／別紙一通：可被相達候也／端裏書「辛未六月五日」／1522-01-06紙縫一括／221

1983 『新貨條例』（諭告、例目、品位置目表、造幣規則他、貨幣制度統一と金本位制の実施）／一冊（三〇丁）／明治四年五月／二二・七×一五・四／豎帳 袋綴冊子装 黄地菱文後補表紙 楮紙／太政官・大蔵省／木版／無

幕末維新时期—廃藩置県以降—米沢県・置賜県

1370 「置賜県官員表」（権令関義臣から等外出仕まで七四名、朱字で出身地を記載）／一枚（一紙）／明治六〇七年頃／三九・〇×三三・三／豎紙 楮紙／一三〇 置賜県官員表／木版／176

1521-03 米沢県宛 飢肥県達書（加藤助一郎別紙人頭書の通り管轄替につき、県管轄除の旨挨拶）／一通（二紙）／（明治四年）九月八日／一九・〇×五九・三／切紙 楮紙／飢肥県↓米沢県御中／先般及御掛合置候：及御挨拶候也／1521-01-10紙一括／221

幕末維新时期—廃藩置県以降—上杉伯爵家

0694-01 「享保六年の明治二年迄百六拾壹ヶ年藩内士族給禄内御借上高調帳」（米一四二万石余、錢一四二貫余を計上）／一冊（二五丁）／明治四年八月／三〇・

五×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／ハ〇本／0694-01-02合綴／114

0694-02 三島通庸宛 堀尾重興・大滝忠恕「旧米沢藩主上杉氏藩士ヨリ禄知及俸米ノ内借上金穀高」（享保六年の明治二年の総計一四二万石余・九九七八両余を計上）／一冊（二〇丁）／明治九年一月／二八・〇×一九・五／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／堀尾重興・大滝新蔵↓山形県令三島通庸／0694-01-02合綴／野線紙使用／114

0704-01 「享保六年の明治二年迄百六拾ヶ年藩内士族給禄内御借上取調」（米一四二万石余、錢一四二貫余を計上）／一冊（二五丁）／明治四年八月／三〇・〇×一九・〇／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／ハ〇本 林泉文庫／0704-01-02合綴／114

0704-02 「慶応二年分米方式ツ四歩御借上割立帳」（総計三万六〇九五石余・三二〇俵余・四五両余を藩士の各組より借上）／一冊（二二丁）／慶応三年六月／三一・一×一八・五／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／永井元四他二名／林泉文庫／0704-01-02合綴／114

1356 「戊辰役忠死者名籍 副本」（大滝龍蔵調べによる戊辰戦争の戦死者二八四名の名簿）／一卷（四紙）／明治三一年四月／二九・三×九三七・三／継紙 卷子本 浅葱地唐草模様原表紙 楮紙／斯の忠死者名籍ハ：御供松次郎／裏打あり／1356-1357木箱入／表紙の題箋「忠死者名籍」、柱題「戊辰之役忠死者名籍」、正本は上杉神社にあるとあり、布で包む、1356、1357の箱の墨書「忠死者名籍副本」、箱ラベル「乙第一二三号 古文書図書箱 経巻佛像佛器 忠死者名簿副本 二巻 戊辰役 西南役 箱入 南倉庫階上 北側筆筒八引出」他／176

1357 「西南戦争・日清戦争忠死者名籍」（西南戦争五二名、日清戦争四二名の戦死者名簿）／一卷（六紙）／近代（年月日未詳）／二九・二×三三〇・七／継紙 卷子本 浅葱地唐草模様原表紙 楮紙／上野忠恕：皆川米吉／裏打あり／1356-1357木箱入／表紙の題箋「忠死者名籍」、布で包まれている／176

1358 「忠死名籍」（戊辰戦争時の戦死者名簿、死亡年月日と戦死地、年齢、氏名）／一冊（三六丁）／近代（年月日未詳）／二七・五×一八・三／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地後補表紙・共紙原表紙 楮紙／七／176

1359 「戊辰戦役殉難者名籍」（戊辰戦争の戦死者の戒名、死亡年月日、戦死地、年齢、氏名）／一冊（四丁）／大正六年一〇月二一日／二六・六×一九・三／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 機械漉紙／ホ〇本／活版、表紙に「上杉伯爵家」とあり、大正六年七月一三日林泉寺にて戊辰戦役殉難者の五〇回忌供養を実施、「忠死名籍」の軸

物を謄写して一〇月二日に記念品とす／176

1361 上杉茂憲執事宛 史談会同書（故白川宮の伝記編述につき戊辰戦争の際、迎接内容につき照会他）／一冊（四丁）／（明治四四年）八月一四日／二七・五×二〇・〇／縦帳 紙縫綴冊子装 表紙無し 機械漉紙／史談会（印）↓伯爵上杉茂憲殿執事御中／拜啓御清穆奉賀候：申上候也敬具／コ〇本／史談会の野紙使用／176

1365-01 「明治廿二年議定上奏録 参」（第六三〇号民事訴訟法件、四月一日〜二月二〇日下付分）／一冊（三一八丁）／明治二二年／二五・三×一七・九／縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 機械漉紙／二九・貴和書一七六号・一八冊／本文はほぼ活版印刷、一部「元老院」の野紙を使用し院議を記載／無

1365-02 「明治廿三年議定上奏録 一」（第六五八号北海道及町村制を施行せざる島嶼の国税徴収の件他、一月九日〜七月一〇日下付分）／一冊（四三八丁）／明治二三年／二六・〇×一八・二／縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 機械漉紙／二九・貴和書一七六号・一八冊／本文はほぼ活版印刷、一部「元老院」の野紙を使用し院議を記載／無

1365-03 「明治廿三年議定上奏録 二」（第七一四号判事懲戒法他、七月二日〜九月三日下付分）／一冊（二六二丁）／明治二三年／二六・〇×一八・二／縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 機械漉紙／二九／本文はほぼ活版印刷、一部「元老院」の野紙を使用し院議を記載／無

1371 表紙（1371-01-05の表紙）／一冊／近代（年月日未詳）／二六・八×二〇・〇／縦帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙／カ〇本・三九／1371-01-05合綴／176

1371-01 上杉家『家範』（明治一七年勅書、誓書、明治二九年家政条規定の誓書、家範五四か条）／一冊（二三丁）／明治二九年三月／二六・八×二〇・〇／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 機械漉紙／上杉家／1371-01-05合綴／活版／176

1371-02 上杉家『家政条規』（二五〇か条）／一冊（二二丁）／明治四五年一月一日改刷／二六・三×一九・〇／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 機械漉紙／上杉家／1371-01-05合綴／活版／176

1371-03 伯爵上杉家『戊辰戦役殉難者名簿』（五〇年忌大要記念）／一冊（一四丁）／大正六年一〇月二日／二七・〇×一九・七／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 機械漉紙／伯爵上杉家／1371-01-05合綴／活版／176

1371-04 「上杉重房以来同定勝以前家系譜書上」（重房から定勝まで）／一冊（一

二丁）／文化五年二月／二六・九×二〇・二／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／上杉弾正大弼／1371-01-05合綴／176

1371-05 上杉弾正大弼「系譜之内御尋之箇條書上」（重房以後に分かれた家の系譜あらば差出のこと、定勝は弾正少弼とは申さざるや他九か条）／一冊（一〇丁）／文化五年二月／二六・九×二〇・二／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／上杉弾正大弼／1371-01-05合綴／上杉弾正大弼は治広／176

1372 上杉家『家範 家政條規』（家範五四か条と、その細則である家政条規一五〇か条）／一冊（三二丁）／明治二九年（家範）、明治三四年五月改刷（家政）／二六・二×一八・三／縦帳 紙縫綴冊子装 素紙後補表紙・共紙原表紙 機械漉紙／上杉家／カ〇本 吉江／活版／177

幕末維新时期—廃藩置県以降—米沢義社

0721 「明治六年十月〜同七年九月迄勘定帳」（金銀粗高、山林払代・商社・生産社他元方、計一四万六四八七両余）／一冊（七丁）／明治八年頃／一五・二×三六・七／横帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／メ〇本／墨付六丁、0722と同性格であり作成は恐らく義社／115

0722 義社「明治七年十月〜同八年九月迄勘定帳」（金銀粗高、山林払代・商社・生産社・通幣方貸付他元方、計一四万四五三両余）／一冊（八丁）／明治八年頃／一五・五×三八・四／横帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／義社／赤ラベル表記無／15

1373 「義社粗払紛擾始末」（明治九年一〇月〜同二二年五月、上杉家と士族の共同出資による館山製糸場の設立資金をめぐる一件）／一冊（七三丁）／（明治九年）／二三・二×一五・四／縦帳 袋綴冊子装 黒地原表紙 楮紙／キ〇本／後半は一月六日〜二月二日の木滑政愿の自筆日記／177

1378 「米沢義社記 全」（明治四年〜同九年の勘定帳簿及び規則、米沢義社関係文書の写し等）／一冊（九六丁）／近代（年月日未詳）／一一・五×一五・六／横半帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／林泉文庫／墨付七六丁／177

1379 鶴鳴館「義社粗払紛擾始末」（明治九年一〇月〜同二二年五月）／一冊（五〇丁）／明治二二年頃／二四・四×一六・五／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙／鶴鳴館／第四号／177

1422 新保朝綱宛 木滑政愿書状（義社弁金と残金の処理につき）／一通（三紙）
／近代（年未詳）（明治期）九月二十八日／一五・〇×四〇・五／切継紙 楮紙／痴翁↓
新様 玉机下／昨日連中御会之節…右要旨爾已早々申上候也／177

米沢市文化財調査報告書

上杉文書調査報告書

― 第二分冊 文書編 二 ―

令和八年三月三十一日 発行

発行 米沢市教育委員会

〒九九二-〇〇二二

山形県米沢市金池三丁目一番一四号

電話 (〇三三八) 二二一五二二

印刷 株式会社 川島印刷

山形県米沢市大字花沢三二一―二

